2024+ MODEL 3

Model 3 Premium
Model 3 Performance
Model 3 Standard

オーナーズ マニュアル

ソフトウェア バージョン:2025.44
North America

お客様のオーナーズマニュアルについて

お客様の車両に対してカスタマイズされた最新かつ重要な情報を得るには、車両のタッチスクリーンでアプリ ランチャーにタッチして、マニュアル アプリを選択します。この情報は、購入された機能、車両設定、マーケット地域、およびソフトウェア バージョンに応じた、お客様の車両に特有のものです。これとは対照的にテスラが提供するオーナー情報は適宜更新されるものであり、お客様の車両に特有の情報が含まれない可能性もあります。

リリースノート

ソフトウェアのアップデート後には、タッチスクリーンに新しい機能に関する情報が表示されます。これらはマニュアル アプリで**「リリースノート」**タブを選択するか、**「コントロール」** > **「ソフトウェア」** > **「リリースノート」**の順にタッチすれば、いつでも表示できます。車両の使用方法に関してオーナーズマニュアルの内容がリリースノートの情報と矛盾する場合は、リリースノートを優先してください。

イラスト図および製品仕様

本文書に掲載されるイラスト図は例示のために描かれています。車両のオプション、ソフトウェア バージョン、販売地域により、車両のタッチスクリーンに表示される情報は多少異なる場合があります。

本書に記載の仕様および説明は、印刷時に、すべて正確であることが確認されています。ただし、改良を続けることが Tesla の目標であるため、当社はいつでも製品変更を行う権利を留保します。本文書に不正確な記述や漏れを見つけられた方は、お手数ですが下記のメールアドレスまでご連絡下さい。

安全情報

タッチスクリーンでお客様の Model 3 のオーナーズマニュアルの安全情報を見ることができます。

お客様の Model 3 に関する詳細情報を確認するには、お客様の地域の Tesla ウェブサイトにアクセスして、Tesla アカウントにログインします。アカウントがない場合はサインアップしてアカウントを取得してください。

Model 3 に関して質問や疑問がある場合は、Tesla までお電話でご連絡ください。

© 2012-2026 TESLA, INC.

本書にあるすべての情報およびすべてのソフトウェアは、Tesla, Inc.およびライセンス許諾者の著作権およびその他知的財産権の対象となります。本ガイドは、Tesla, Inc. およびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。詳細情報は要求していただければ入手可能です。以下は、Tesla, Inc.の米国またはその他の国における商標または登録商標です。

MODEL 3 MODEL S TESLA TESLA ROADSTER

MODEL Y MODEL X TESLA MOTORS TESLA

CYBERTRUCK

目次

概要 3
エクステリア 3
インテリア 4
タッチスクリーン 6
車内の電子装備品 11
車両の状態 13
音声コマンド 17
カメラ 19

開閉 21
キー 21
Doors 26
ウィンドウ 28

収納エリア 30
リアトランク 30
フロント トランク 33
車内の収納 35

座席と安全拘束具 37
フロントおよびリア シート 37
シートベルト 40
チャイルドシート 43
エアバッグ 49

接続性 54
モバイル アプリ 54
Wi-Fi 57
Bluetooth 58
電話、カレンダー、ウェブ会議 60
スマート ガレージ 62

運転モード 65
始動と電源オフ 65
ハンドル 67
ミラー 71
ギアシフト 73
ライト 76
ワイパーとウォッシャー 79
ブレーキと停車 80
パーキングアシスト 84
オートブレーキ ホールド 86
Traction Control 87
加速モード 88
サスペンション 89
トラック モード 90
ドライバー[#10]プロフィール 93
走行情報 96
リアビュー カメラ 97
歩行者警告システム 98
けん引とアクセサリー 99

オートパイロット 106
関連事項 オートパイロット 106
オートパイロット 機能 109
信号機と一時停止のコントロール 117
フルセルフドライビング（スーパーバイズド） 124
オートパーキング 129
サモン 131
制限と警告 135

アクティブセーフティ 機能 139
レーン アシスト 139
衝突回避アシスト 142
スピード アシスト機能 145
キャビン用カメラ 146
キャビンレーダー 147

ダッシュカム、セントリー、セキュリティ . 148
安全とセキュリティ 設定 148
ダッシュカム 150
セントリー モード 152
ビデオ録画のための USB ドライブの要件 154

空調 156
空調を操作する 156
フロント通気口およびリア通気口の調整 161
寒冷環境におけるベストプラクティス 163
暑熱環境におけるベストプラクティス 166

ナビゲーションとエンターテイメント 167
地図とナビゲーション 167
メディア 174
シアター、アーケード、おもちゃ箱 177

充電とエネルギー消費 180
電気自動車のコンポーネント 180
高電圧バッテリーに関する情報 182
充電方法 184
プレコンディショニングと充電の予約 190
航続距離を最大限に伸ばす 191
高電圧バッテリーの健全性に関する情報 193

メンテナンス 194
ソフトウェア アップデート 194
メンテナンスサービスの間隔 196
タイヤのお手入れとメンテナンス 198
洗車 205
フロント ガラスのワイパー ブレード、ジェットおよびウォッシャー液 209
ジャッキ アップと引き上げ 211
部品とアクセサリー 212
応急タイヤ修理キット 215
自主メンテナンス 217

仕様 218

目次

識別ラベル.....218
車両総重量.....219
寸法.....221
サブシステム.....223
ホイールとタイヤ.....225

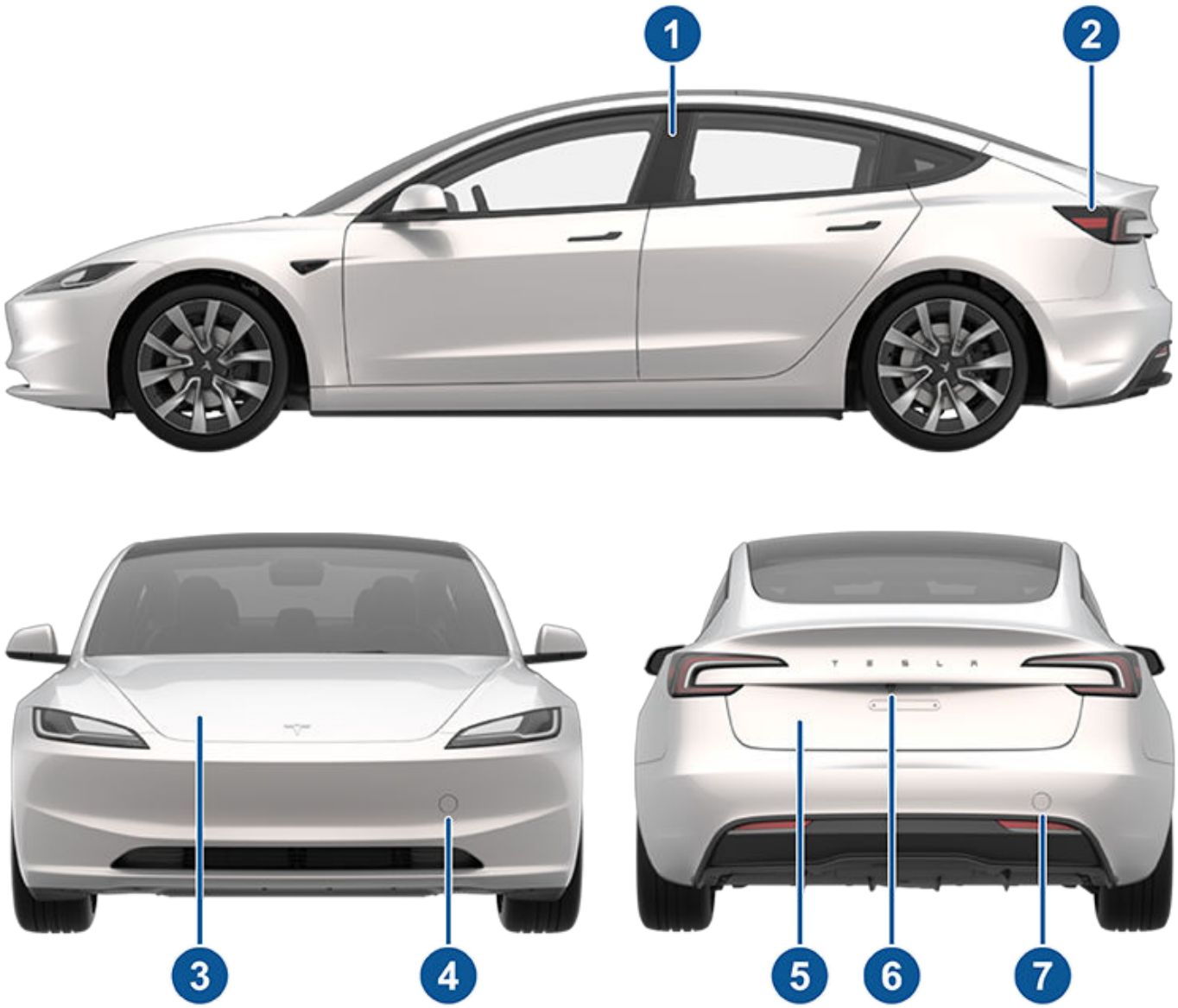
車両輸送者向け注意事項.....231
車両輸送者向け注意事項.....231

非常時.....234
Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する.....234
電力切れ.....235
電源がない状態でフードを開ける.....236
ジャンプスタート.....238
電力がない状態でドアを開く.....239
水没車両に関するガイダンス.....240

トラブルシューティング.....241
トラブルシューティングのアラート.....241

消費者情報.....300
オーナー情報について.....300
機能の使用可否に関する声明.....301
免責事項.....302
安全上の不具合を報告する.....304
車両所有権の管理.....305
認証適合性.....306

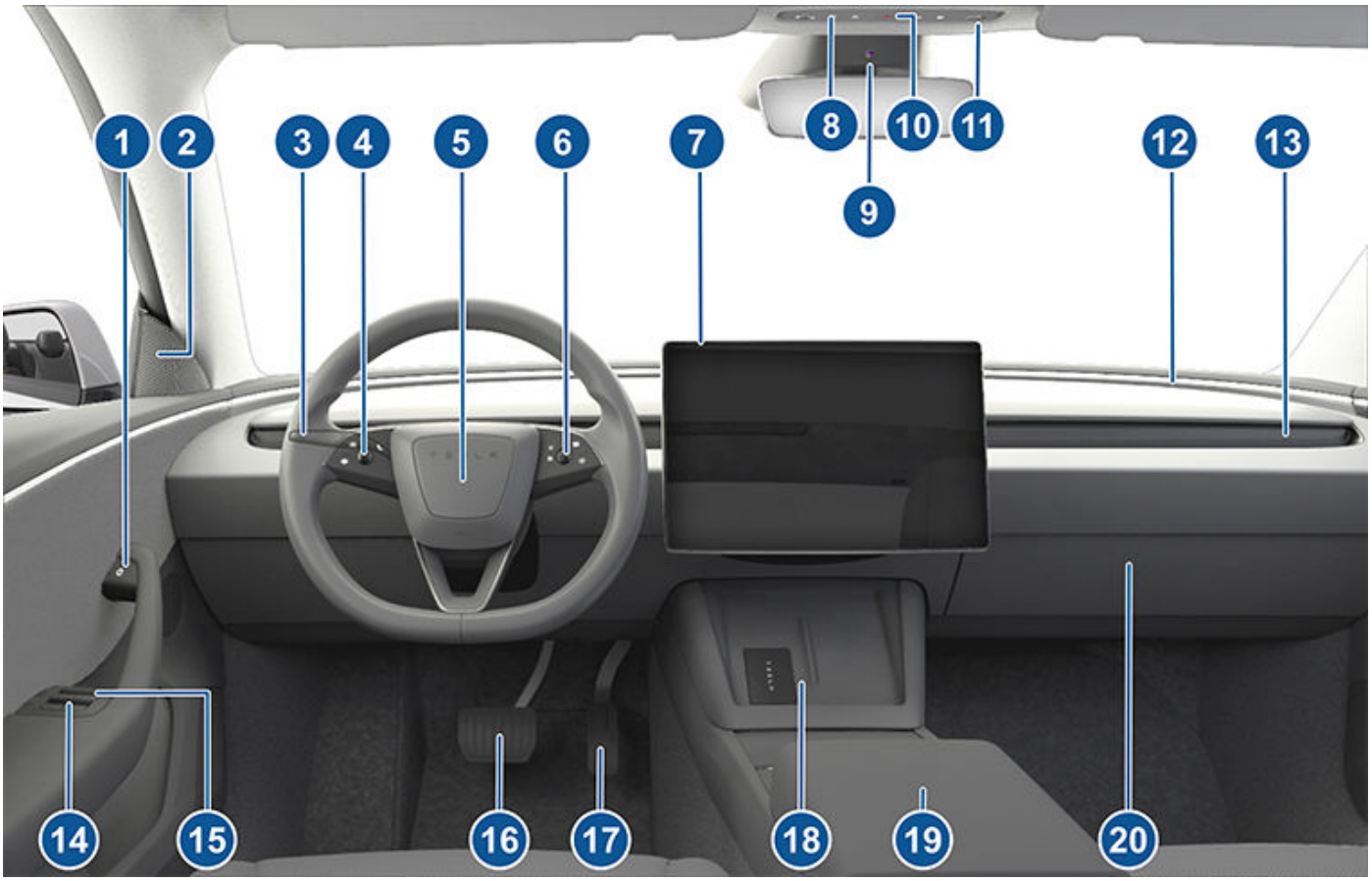
索引.....308



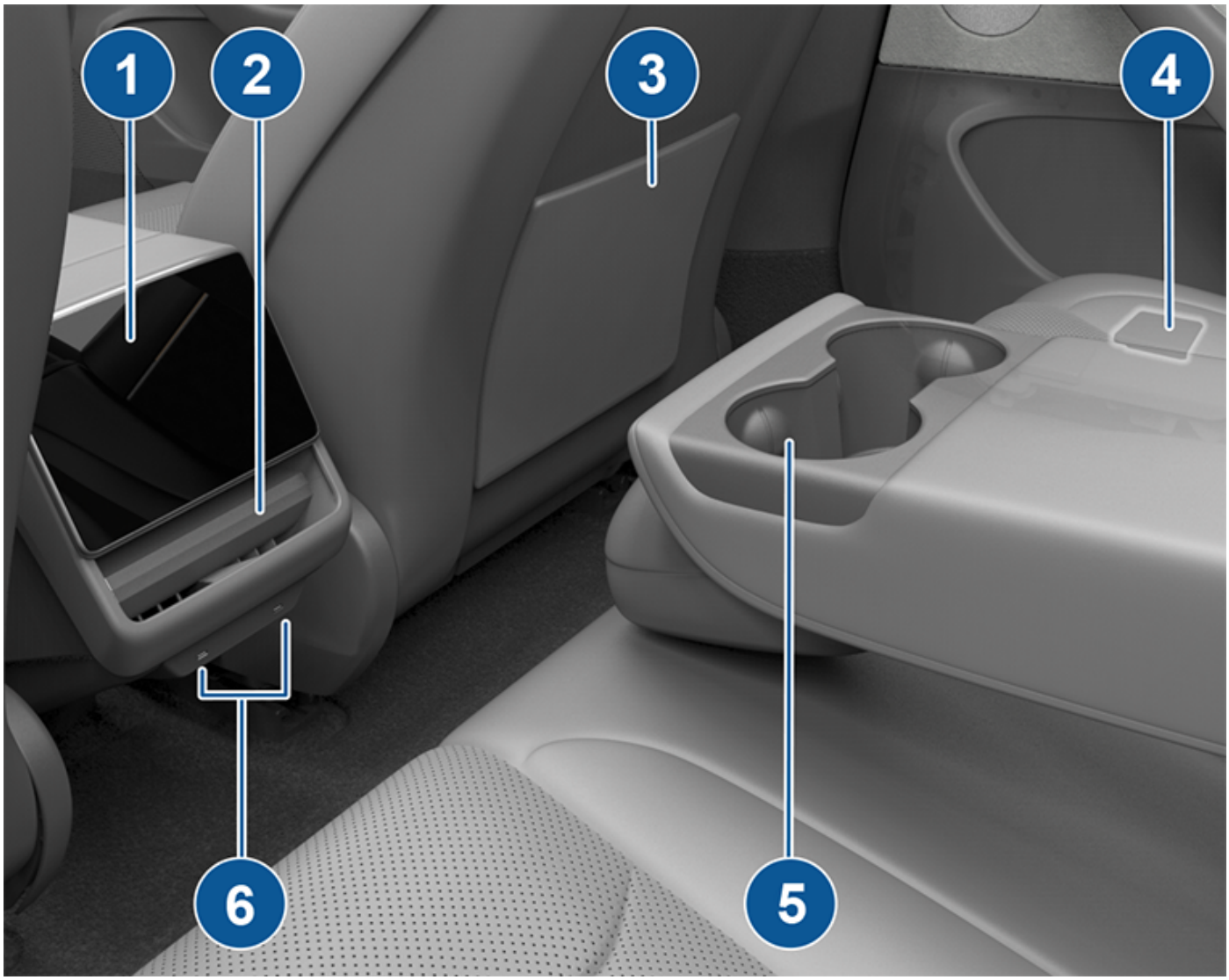
1. キー カード センサー（キー ページ 21）
2. 充電ポート (充電方法 ページ 184)
3. フード / フロントトランク (フロント トランク ページ 33)
4. フロントのけん引ボルト カバー（車両輸送者向け注意事項 ページ 231）
5. リア トランク (リアトランク ページ 30)
6. リア ビュー カメラ (リアビュー カメラ ページ 97)
7. リアのけん引ボルト カバー（車両輸送者向け注意事項 ページ 231）

オートパイロットカメラの位置は、カメラ ページ 19 を参照してください。

インテリア



1. ドアオープンボタン（車内からドアを開ける ページ 26）
2. ブラインドスポット警告ライト（ブラインドスポット警告ライト ページ 140）
3. ウィンカーレバー（装備されている場合）（ライト ページ 76 を参照）
4. 左側スクロール ホイール（左側スクロール ホイール（多機能） ページ 69）
5. ホーン（クラクション ページ 70）
6. 右側スクロール ホイール（右側スクロール ホイール（オートパイロット） ページ 69）
7. タッチスクリーン（タッチスクリーン ページ 6）
8. セカンダリー ドライブ モード セレクター(P R N D)(オーバーヘッド コンソールを使用してシフトする ページ 73)
9. 車内カメラ（キャビン用カメラ ページ 146）
10. ハザード警告灯（ハザードランプの点滅 ページ 78）
11. ルームライト（ライト ページ 76）
12. アクセントライト（装備されていれば）（ライト ページ 76）
13. エアコン通気口（空調を操作する ページ 156 参照）
14. パワーウィンドウスイッチ（ウィンドウ ページ 28）
15. マニュアルドアオープン（車内からドアを開ける ページ 26）
16. ブレーキペダル（ブレーキと停車 ページ 80）
17. アクセルペダル (回生ブレーキ ページ 81)
18. ワイヤレス電話充電器（ワイヤレス電話充電器 ページ 11）およびキーカード リーダー（キー ページ 21）
19. センターコンソール（センターコンソール ページ 35）
20. グローブボックス（グローブボックス ページ 35）



1. リア タッチスクリーン（装備されていれば）（リア タッチスクリーン ページ 9）
2. 調整可能な空調通気口（空調を操作する ページ 156）
3. シートポケット（装備されていれば）
4. リア ドア手動リリース（電力がない状態でリア ドアを開く ページ 239）
5. カップホルダー（リア コントロール ページ 35）
6. USB ポート（USB ポート ページ 11）

タッチスクリーン

注: オーナーズマニュアル全体にわたって、フロントのタッチスクリーンは単に「タッチスクリーン」、リアのタッチスクリーンは「リア タッチスクリーン」（装備されている場合）と呼びます。

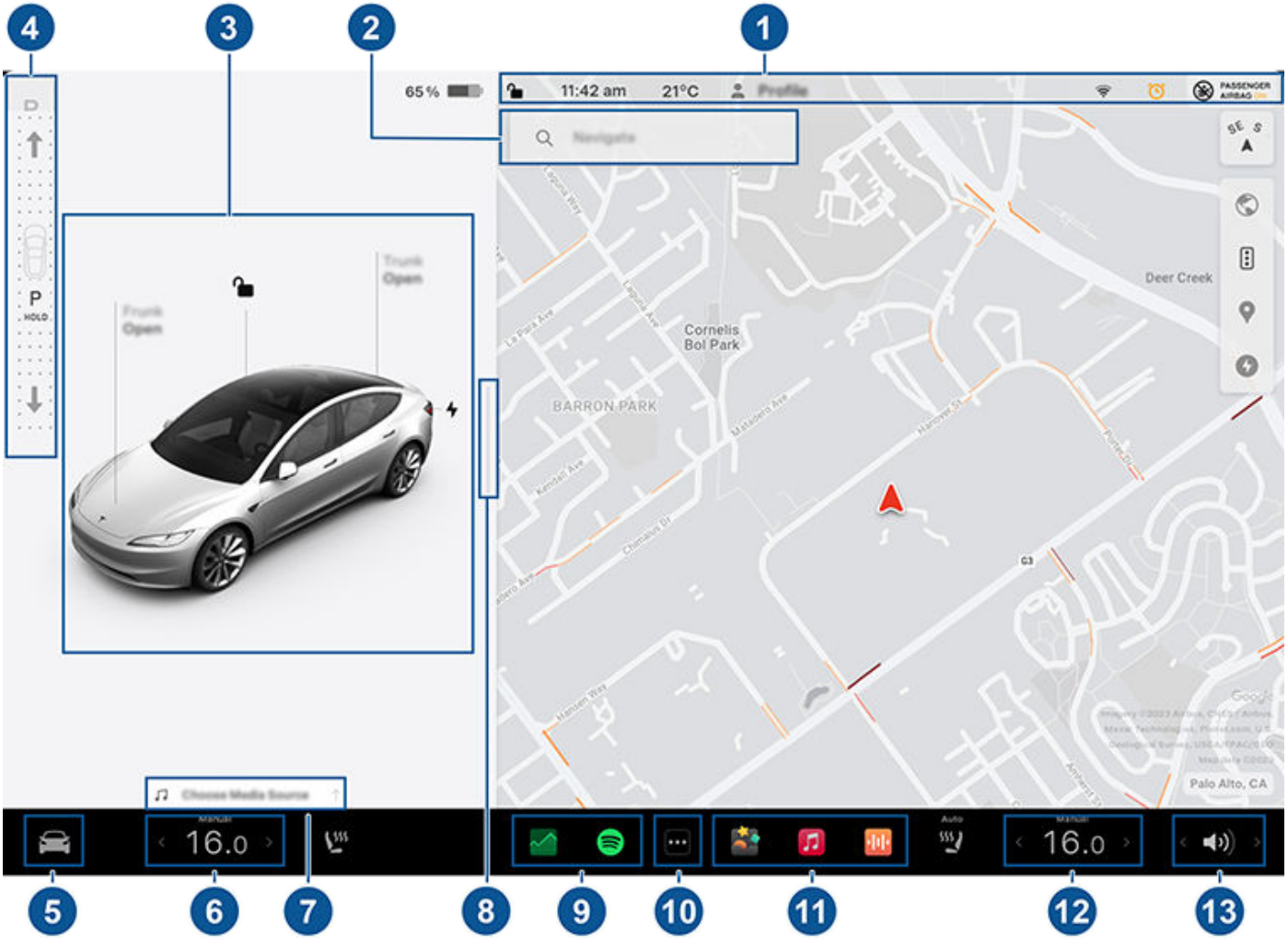
警告: 運転する時は、常に道路と周囲の交通環境に注意を払ってください。ドライバーが注意散漫となることを最小限に抑え、同乗者や他の道路利用者の安全を確保するために、走行中はタッチスクリーンによる設定の調整を行わないでください。

従来の車ではたとえば、ヒーターや空調やヘッドライトなどの調節に多くの物理的ボタンを使用していましたが、タッチスクリーンだけで多数の機能を制御できます。タッチスクリーンからは、メディアとナビゲーションのコントロールやエンターテイメント機能の使用、選択設定による Model 3 のカスタマイズが利用できます。一般的なタッチスクリーン コントロールにハンズフリーでアクセスするためには、音声コマンドを使用します（音声コマンド ページ 17 を参照）

タッチスクリーンが反応しない、または異常な動作を示す場合は、再起動してください（タッチスクリーンの再起動 ページ 9 を参照）。

注意: タッチスクリーンに画面保護フィルムを貼らないでください。そうした場合、タッチスクリーンに意図しない入力（偽の入力）、応答遅延、タッチに対する無反応、静電放電によるタッチスクリーンへの損傷などが生じるおそれがあります。

注: *各種イラストは、コンセプトの理解の促進のみを目的としています。車両オプション、ソフトウェア バージョン、販売地域、地域設定、言語設定によって、スクリーンの表示内容は異なります。*



1. **ステータスバー**: トップバーで車両のコントロールとステータスを確認します（トップ ステータス バー アイコン ページ 8 を参照）。
2. **ナビゲーション**: 地図の向きを変更し、目的地を検索またはナビゲーションし、ナビゲーション設定を変更します。（地図とナビゲーション ページ 167 を参照）。

3. **車両の状態**: このエリアには、運転、駐車、ドア開閉、ライト点灯のような Model 3 の現在のステータスをその都度表示します。走行速度および警告メッセージなどの重要情報を表示しますので、運転中このエリアを確認してください（車両の状態 ページ 13 を参照）。車両がパーキングにシフトしているときは、トランクや充電ポートを開けることができます。このエリアには、メディア、タイヤ空気圧、および走行情報のショートカット「カード」が含まれます。

   フルセルフドライビング（スーパーバイズド）（装備されている場合）が有効な場合、車両の状態エリアには道路と車両の周囲が映像表示されます。車両の状態エリアを端から端までドラッグすると表示を拡張/縮小することができます。表示を拡張すると、路面標示、一時停止標識灯、物体（ゴミ箱、柱ほか）など、車道やその周辺の詳細情報が表示されます。

4. **ドライブ モード ストリップ**: パーキング、リバース、ニュートラル、またはドライブにシフトするために使用されます。タッチスクリーンの端から助手席側にスワイプすると、ドライブモードストリップが表示されます。（ギアシフト ページ 73 を参照。）
5. **コントロール**: さまざまな機能を制御し、Model 3 をカスタマイズしてあなたの好みに合わせます。コントロール画面が地図の上に表示されます。コントロール画面のオプションにタッチすると、選択したオプションに関連するさまざまな設定および好みが表示されます。

   特定の設定を検索するにはコントロール画面の上部にある**検索**にタッチします。結果を直接変更するか、リンクをタップして「コントロール」にあるオプションに移動します。

   情報アイコンが特定の設定の隣に表示されているときに、それをタッチすると、関連する設定について役に立つ詳細情報を提供してくれるポップアップが表示されます。

   注: 車両のコントロール、設定および好み（空調、メディア、ナビゲーションなど）は音声コマンドを使用してハンズフリーで調整することができます（音声コマンド ページ 17 を参照）。

   注: このアイコンを長押しすると、タッチスクリーンのフィードバックを Tesla に送信することができます。

6. **空調（運転席）**: 左右の矢印を使用すると、キャビンの温度を調整できます。ポップアップの**「スプリット」**にタッチすると、運転席と助手席で個別に操作できるコントロールが表示されます。温度アイコンにタッチすると空調設定をカスタマイズできます（空調を操作する ページ 156 を参照）。温度コントロールが**「スプリット」**のときは、助手席空調が表示されて、運転席と助手席で個別に操作できるコントロールが提供されます。
7. **メディア プレイヤーのショートカット**: メディアプレイヤー アプリを使用しているときは、スワイプで最小化/最大化します。
8. **フルスクリーン パーキングビュー**助手席側にスワイプすると、メディアとナビゲーションのコントロールを 備えたフルスクリーンのパーキングビューが表示されます。
9. **マイ アプリ**: よく使用するアプリやコントロールにワンタッチでアクセスするため、ここで表示内容を選択することができます。マイ アプリをカスタマイズ ページ 7 を参照してください。
10. **アプリ ランチャー**: アプリ ランチャーにタッチするとアプリ トレイが開きます。アプリをタッチして開きます。選択したアプリがマップの上部に表示されます。アプリを終了するには、下にドラッグします。
11. **最近使用したアプリ**: 最近使用したアプリを表示します。ここに表示される最近使用したアプリの数は、**マイ アプリ**に追加したアプリの数によって変わります。**マイ アプリ**に最大数のアプリを追加している場合、直近に使用したアプリだけが表示されます。
12. **空調（助手席）**: 温度コントロールが**「スプリット」**のときは、運転席と助手席で個別に操作できるコントロールが提供されます。
13. **音量調節**: メディア プレイヤーと電話の音量を制御します（音量調節 ページ 174 を参照）。ナビゲーション指示の音量は別途制御されます（地図とナビゲーション ページ 167 を参照）。

マイ アプリをカスタマイズ

よく使用するアプリや設定にワンタッチでアクセスするため、タッチスクリーンの下部バーにある**マイ アプリ**エリアの表示内容をカスタマイズすることができます。

1. **マイ アプリ**エリアにあるアプリまたはコントロールを長押ししてカスタマイゼーション モードに入ります。このエリアが空白の場合、アプリ ランチャーにタッチします。
2. アプリまたはコントロールをアプリ トレイから下部バーの**マイ アプリ**エリアにドラッグします。

   注: アプリ トレイで選択したシートヒーターが、マイ アプリ エリアではなく温度の隣に表示されます。

注: マイ アプリに最大数のアプリやコントロールを既に追加している場合、アプリを追加すると右端のアプリが削除されます。

注: アプリまたはコントロールを長押ししてから該当する「X」にタッチして**マイ アプリ**エリアから削除します。

トップ ステータス バー アイコン

タッチしてすべてのドアやトランクをロック / アンロックします。

地域または目的地の天候を表示します。タッチすると、雨の確率、湿度、UV 指数など、天気および空気の質に関する詳細情報が表示されます。プレミアムコネクティビティが 必要です。

72°F

現在の温度を表示します。車両にプレミアムコネクティビティが装備されている場合、タッチすると、雨の確率、湿度、UV 指数など、天気および空気の質に関する詳細情報も表示されます。

AQI 64

Model 3 が地域の大気質指数（AQI）の値が低いことをが検知した場合のみ、タッチスクリーンのステータスバーに表示されます。AQI が低い場合は、黄色、オレンジ色、赤色、紫色、またはマルーン色の数字が表示されます。タッチすると、雨の確率、湿度、UV 指数など、天気および空気の質に関する詳細情報が表示されます。プレミアムコネクティビティが必要です。

16:20

車両は自動で時刻を更新します。時刻が正しくない場合、車両が最新ソフトウェアによるインターネットおよび GPS への接続性を持っていることを確認します。

Model 3 が通信距離内にプログラミングされた HomeLink を検出し、タッチスクリーンに HomeLink の画面またはポップアップがまだ表示されていない場合に限り、タッチスクリーンのステータス バーに表示されます。スマート ガレージ ページ 62 を参照してください。

Model 3 がパーキングにシフトしているときに限ってタッチスクリーンにステータス バーが表示されます。ドライバープロフィールを追加、設定（**バレーモード**および**イージーエントリーを使用**を含む）するかすばやく切り替えます。ドライバープロフィールはコントロール画面の上部からもアクセスできます。ドライバー[#10]プロフィール ページ 93 を参照してください。

Model 3 がパーキングにシフトしているときに使用可能であり、タッチすると現在の走行サイクルに対して手動でセントリーモードを有効または無効にします。車両を離れるたびにセントリーモードを自動でオン（またはオフ）にするには、**「コントロール」** > **「安全」** > **「セントリーモード」**の順に移動し、設定を有効にします。詳細情報については、セントリー モード ページ 152 を参照してください。

注: **「コントロール」** > **「セントリーモード」**でセントリーモードをオンまたはオフにした場合、車両のタッチスクリーン上のショートカットおよびモバイル アプリは現在の走行サイクルに限って作動します。

注: 2021 年 11 月 1 日ごろ以降に製造された車両の一部では、センター コンソール USB ポートが充電サービスしかサポートしていない可能性があります。その他のすべての機能については、グローブボックス内の USB ポートを使用してください。

Model 3 が Wi-Fi ネットワークに接続している場合に表示されます。

Model 3 がセルラー ネットワークに接続している場合に表示されます。このアイコンにタッチすると「Wi-Fi 設定」にすぐにアクセスできます。

Model 3 の携帯電話接続が使用不能である場合に表示されます。このアイコンにタッチすると「Wi-Fi 設定」にすぐにアクセスできます。

助手席エアバッグのステータス（エアバッグ ページ 49 を参照）。

所有者、追加されたドライバー、または使用している第三者アプリによって、Tesla アプリで車両の GPS 位置情報がアクティブにアクセスされている場合に表示されます。アイコンをタップすると詳細が表示されます。無効にするには、タッチスクリーンで**「安全」** > **「モバイル アクセスを許可」**の順に移動します。

サウンド検出を使用する機能（音声コマンドを含む）がアクティブなときに表示されます（サウンド検知 ページ 303 を参照）。

オートパイロットが有効になっている場合、キャビンカメラがドライバーの注意力を積極的に監視しているときに表示されます（オートパイロット 機能 ページ 109 またはフルセルフドライビング（スーパーバイズド） ページ 124 を参照）。

ポップアップメッセージおよび車両のアラート

ポップアップ メッセージが、タッチスクリーン最下部中央に表示されます。例えば、シートベルト リマインダ（人が座っている座席でシートベルトが装着されていない場合）、アラート通知（電話着信があった場合）、テキスト メッセージ（該当する場合）、音声コマンド（使用している場合）が表示されます。装備車の場合は、ポップアップ メッセージのオプション（電話応対

の可否、ヘッドライト メニューのオプション選択など）にタッチします。ポップアップ メッセージを無視するには、下にスワイプします。

車両のタッチスクリーンにアラートが表示された場合、**「詳細はこちら」**にタッチするとアラートおよびその解決方法に関する詳細情報を知ることができます。**「コントロール」**の上にあるベル アイコンにタッチすると、車両アラートおよび通知の一覧を表示することができます。

注: 現時点ですべてのアラートに追加情報が提供されているわけではありません。

タッチスクリーンの再起動

タッチスクリーンが応答しない場合や、異常な挙動を示す場合は、タッチスクリーンを再起動することができます。

警告: タッチスクリーンの再起動は車両を停止してパーキングに入れている時のみ行います。再起動中は、車両のステータス、安全に関する警告、バックアップ カメラなどが使用できなくなります。

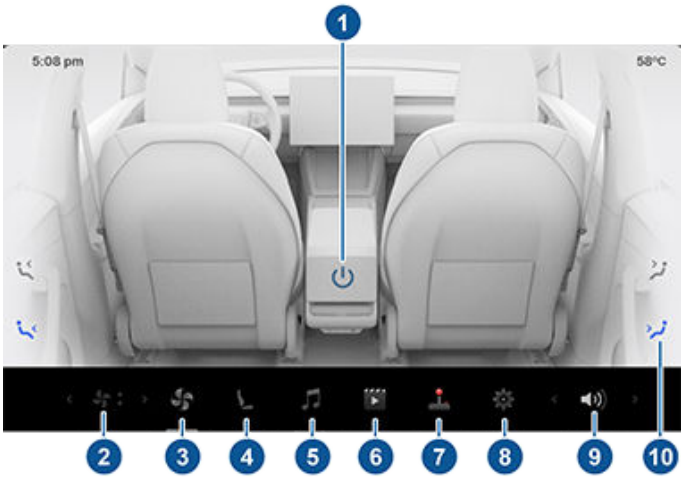
1. パーキングにシフトします。
2. タッチスクリーンが暗くなるまで、ハンドルの両方のスクロール ボタンを長押しします。スクロール ボタンを押しながらブレーキ ペダルを踏む動作は、実行しても何も起こらず、要求されることもありません。

3. 数秒後に Tesla ロゴが表示されます。タッチスクリーンが再起動するまで約 30 秒待ちます。数分経っても、タッチスクリーンが反応しなかったり、タッチスクリーンが通常とは異なる挙動が見られたりした場合は、（可能であれば）パワーサイクリングを試します。車両でパワーサイクリングを行う ページ 65 を参照してください。

注: スクロールボタンを押しても、タッチスクリーンが再起動されるだけです。車両のその他のコンポーネントを再起動することはなく、Model 3 の電源のオンオフも行いません。

リア タッチスクリーン

リア タッチスクリーン（装備している場合）を使用すると、後部座席の乗客は以下の機能を利用できます。



注: *各種イラストは、コンセプトの理解の促進のみを目的としています。購入された車両の構成や市場地域によって、デザインが異なる場合があります。*

1. **電源**: 電源アイコンをタッチして後部座席の空調システムをオンまたはオフにします。
2. **リア ファン速度**タッチしてファン速度を調整します。
3. **リア ファン**: タッチすると、リア ファンのオンオフ切り替え、ファン速度の調整、後部座席通気口からのエアフローの向きの制御ができます（フロント通気口およびリア通気口の調整 ページ 161 を参照）。
4. **シート**: リア シートヒーターを操作し、矢印を使用して助手席を前後に動かします。
5. **メディア**: 再生、一時停止、スキップ、現在再生中の楽曲の巻き戻しができます（メディア ページ 174 を参照）。
6. **ビデオ**: ビデオ ストリーミング サービスにアクセスできます。
7. **ゲーム:** タッチしてゲームオプションを選択します
8. **設定**タッチして、最大 2 セットの Bluetooth ヘッドフォンをペアリングして、明るさを変更し、ディスプレイをきれいにします。

   注: フロントタッチスクリーンを使用し、リアスクリーンアプリを起動して Bluetooth ヘッドフォンをリアディスプレイにペアリングすることもできます。

9. **音量**: タッチすると音量を調整できます。
10. **エア ウェーブ事前設定**: タッチすると、気流が乗員の頭部または胴体にすばやく向かいます。タッチスクリーンのエア ウェーブにタッチして動かすことで、欲しい場所に正確に気流を向けます。

注: またフロント タッチスクリーンを使用してもリア キャビンの空調設定を調節することができます（空調設定の調整 ページ 156 を参照）。

注: メディアおよび音量コントロールを調整すると、フロント キャビンの設定も調整されます。

フロントからリア タッチスクリーンを操作する

フロント ディスプレイからリア タッチスクリーンを操作するには、フロント タッチスクリーンの下部バーでリア スクリーン リモート コントロール アプリを開きます。オーディオ、動画、エアコンの他にも、このアプリを使用して、または**「コントロール」** > **「ディスプレイ」** > **「リア スクリーンをロック」**の順にタッチして、リア ディスプレイをロックすることができます。

ディスプレイおよびサウンド設定のカスタマイズ

表示設定を自分の好みに合わせるには、**「コントロール」** > **「ディスプレイ」**の順にタッチします。

- **表示モード**: 表示として、**「暗い」**と**「明るい」**のいずれかでカスタマイズします。**「オート」**に設定すると、周囲の照明状態に応じて明るさが自動的に変わります。
- **ブルーライトを軽減**: 有効にすると、ディスプレイが夜間に自動的により温かみのある色に調整されます。
- **明るさ**: スライダーをドラッグして手動でスクリーンの明るさのレベルを制御します。**「表示モード」**を**「オート」**に設定すると、周辺の照明状態と明るさの好みの両方に基づいて、タッチスクリーンが調整を行ないます。 Model 3 選択した明るさの好みを記憶し、タッチスクリーンを適切に調整します。
- **オートマティック ブラインドスポットカメラ**：オートマティック ブラインドスポットカメラを有効または無効にするにはタッチします。詳細な情報については、オートマティック ブラインドスポットカメラ ページ 19 を参照してください。
- **画面クリーニングモード**: 有効にすると、クリーニングしやすいように、タッチスクリーンは暗くなって一時的に停止状態になります。画面上の指示に従い、画面クリーニングモードを終了します。
- **リア スクリーンをロック**: リア タッチスクリーンへのアクセスをロックします。
- **スクロールホイールの機能**：左スクロールホイールを長押ししたときに変更できる設定を選択します（詳細については、ハンドル ページ 67 を参照）。
- **タッチスクリーン言語**: タッチスクリーンで使用する言語を選択します。

  注: Model 3 言語設定を変更するには、ギアをパーキングに入れる必要があります。言語を変更する際、Model 3 がシャットダウンされて再起動するため、若干時間がかかります。

- **音声認識言語**: 音声コマンドに使用する言語を選びます。
- **音声ナビ言語**: ナビゲーション システムが使用する音声ガイダンスの言語を使用します。

  注: 言語のダウンロードが必要な場合、ドロップダウン リストで言語を選択してダウンロードを開始します（Wi-Fi 接続が必要です）。

- **キーボードの言語**：さまざまな言語のキーボードを追加または削除します。デフォルトでは、選択したタッチスクリーン言語のキーボードが有効になっています。複数のキーボードを有効にしている場合は、キーボードがタッチスクリーンに表示されているときに地球儀アイコンをタッチするか、長押しして有効なキーボードのリストを表示することで、キーボードを切り替えることができます。
- **テキストサイズ**: **「標準」**か**「大」**を選択して、車両のタッチスクリーンの文字サイズをカスタマイズします。
- **時間**: 時間の表示フォーマットを 12 時間と 24 時間のいずれかから選択します。
- **エネルギー表示**: 残りエネルギーを表示するには、充電単位としてバッテリー残量のパーセントまたは推定走行可能距離を選択します。

  注: 充電の必要性が迫っている場合は、エネルギー予測を大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。さまざまな要因がエネルギー消費に影響を与えます。電力消費量に影響する要因 ページ 191 を参照してください。

- **距離**: 測定値をメートル単位（キロメートル、センチメートルなど）またはインチ単位（マイル、インチなど）で表示するかを選択します。
- **温度**: 温度表示として、華氏か摂氏のいずれかを選択します。
- **タイヤ空気圧**: タイヤ空気圧表示として、BAR か PSI のいずれかを選択します。

ディスプレイのカスタマイズの他に、Joe Mode を有効にして、重大な安全問題に関連しないすべてのチャイムの 音量を低くすることができます。**「コントロール」** > **「安全」** > **「Joe Mode」**の順にタッチして有効にします。

車両に名前を付ける

車両をさらにカスタマイズするために、名前を付けることができます。タッチスクリーンの右側にある Model 3 の画像の下の**「コントロール」** > **「ソフトウェア」** > **「車に名前を付ける」**をタッチします。車両にすでに名前が付いている場合は、既存の名前をタップして変更できます。ポップアップに新しい名前を入力して「**保存**」をタッチします。Tesla モバイルアプリにも、Model 3 の名前が表示されます。

車両をセットアップする

Tesla 車両を初めてセットアップする際のガイダンスが必要ですか？**「サービス」** > **「オーナーズマニュアル」** > **「Get to Know Your Tesla」**にアクセスして、オンボーディング用のガイドリソースにアクセスし、Model 3 に慣れてください。

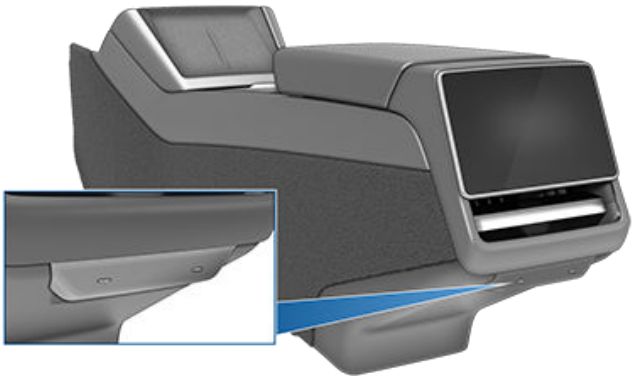
Model 3 の車内には、収納コンパートメントやカップ ホルダー（車内の収納 ページ 35 を参照）に加えて、USB ポート、ワイヤレス電話充電器、および低電圧電源アウトレットといったさまざまな電子装備品があります。

USB ポート

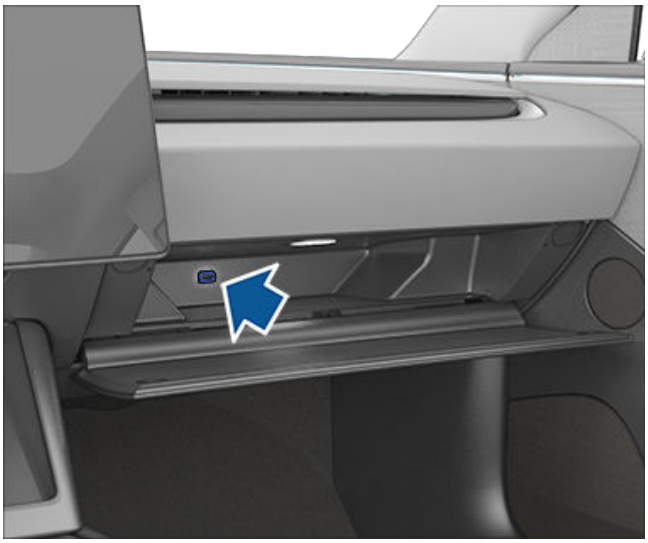
Model 3 には、4 つの USB ポートが装備されています。

- センターコンソールの後部コンパートメントには、USB デバイスの充電に使用される USB-C ポートが 1 か所あります。

- USB デバイスの充電に使用できる 2 つの USB-C ポートは、センターコンソールのリア キャビン通気口の下にあります。



- グローブボックス内部にも、USB-A ポートが 1 か所装備されています。このポートには、USB フラッシュ ドライブが搭載されています。この USB ポートのセキュアな設置場所は、セントリー モードやダッシュカムのビデオ映像の保存には理想的です。電話や USB デバイスからのオーディオ ファイルもサポートしています(デバイスからメディアを 再生 ページ 175 を参照)



USB フラッシュドライブのフォーマットについては、ビデオ録画のための USB ドライブの要件 ページ 154 を参照してください。

注: 車両が起動した状態であれば電源が供給されています。車両が起動した状態となる理由にはいくつかあります。たとえば、サモンなどの機能の使用時や、「エアコンをオンのままにする」、「ドッグモード」、「キャンプモード」、または「セントリーモード」などが有効なときです。低電圧バッテリーが充電されているか使用中の時、高電圧充電中、車両がモバイルアプリと通信中の時にも、車両が起動状態になります。アクセサリープラグを差し込んだままにしても低電圧バッテリーは放電しません。

注: USB 3.0 互換ケーブルを使用して、デバイスを USB ポートに接続します。非準拠ケーブルを使用すると充電に時間がかかり、接続上の問題や、パフォーマンスの低下が生じるおそれがあります。

注: USB ハブを使用して複数の機器を接続しないでください。複数のデバイスを接続すると、接続されているデバイスが充電されなかったり、メディア プレイヤー、セントリーモード、ダッシュカムなどに認識されないことがあります。

ワイヤレス電話充電器

ワイヤレス電話充電器はフロント コンソールに統合されており、Qi 対応の電話を最大 15W の電力で充電できます。電話機を充電するためには、 2 つある充電パッドのどちらかの上に電話機を置きます。電話はワイヤレス充電器と直接接続する必要があります。充電中のスマートフォンは暖かく感じることがありますが、これはインダクティブ方式充電で通常起きる現象です。

車内でワイヤレス携帯電話充電器の電源を無効にするには、**「コントロール」** > **「充電中」** > **「ワイヤレス電話充電パッド」**をタッチします。

注意: 充電する前に、電話と充電器の間にあるもの（コイン、鍵、金属製の物体など）を取り除き、一体型携帯電話ケースなどを使用している場合は、電話の上や裏に収納されている NFC カード（車両キーカード、クレジットカード、ホテルの鍵など）を取り出してください。NFC カードを取り出さずに電話を充電すると、カードが破損することがあります。

車両の電源が入っているとき（タッチスクリーンが有効でお客様が車内にいるとき）にお使いのスマートフォンをワイヤレス充電器に置くと、電話が充電されます。「エアコンをオンのままにする」、「ドッグモード」、「キャンプモード」、「セントリーモード」などの機能が有効になっていない限り、車から降りても電話機は充電されません。

注: 電話ケースが厚すぎる場合や金属製の場合、ワイヤレス電話充電器は動作しません。電話をケースから取り出し、充電器の上に置いてください。

アクセサリー電源

車両が使用中、またはユーザーの存在を検知すると、電源が供給されます。運転席に人がいる、タッチスクリーンが操作されている、または**キャンプ**モードの場合、ユーザーは存在すると見なされます。アクセサリーを接続したままにしておいても、低電圧バッテリーは消耗しません。

ユーザーが車内にいない状態で、デバイスへの電源供給や充電を継続したい場合は、**「コントロール」** > **「充電」** > **「アクセサリー電源をオンのままにする」**の順にタッチして、**「アクセサリー電源をオンのままにする」**を有効にします。Model 3 が低電力モードでない場合にのみ利用できます（低電力モード ページ 192 を参照）。

注: 「アクセサリー電源をオンのままにする」を有効にすると、車両がデバイスへの電源供給または充電を行っていない場合でも車両の電力消費量が増えます。

低電圧 電源

お客様の Model 3 には、センター コンソールのコンパートメントに電源アウトレットが装備されています。低電圧アウトレットを使用するには、センター コンソールのフロント コンパートメントを開きます。

電源アウトレットは 12A までの連続通電（最大 16A）が必要なアクセサリーに適合します。

警告: 電源アウトレットやアクセサリー端子は熱くなることがあります。

警告: 車両の電気系統に対する過剰な干渉を回避するために、パワーインバーターを含む、Tesla の純正品以外のアクセサリーを低電圧電源アウトレットに接続しないようにすることをお勧めします。ただし、Tesla の純正品以外のアクセサリーを使用した場合に、インジケーターのライトが点灯したり、警告メッセージが表示されたりアクセサリーが極端に熱くなったりするなどの誤動作や予期しない動作に遭遇した場合は、アクセサリーを低電圧電源アウトレットから直ちに取り外してください。

注意: 低電圧電源アウトレットを使用して Model 3 のジャンプ スタートを試みないでください。故障の原因となることがあります。

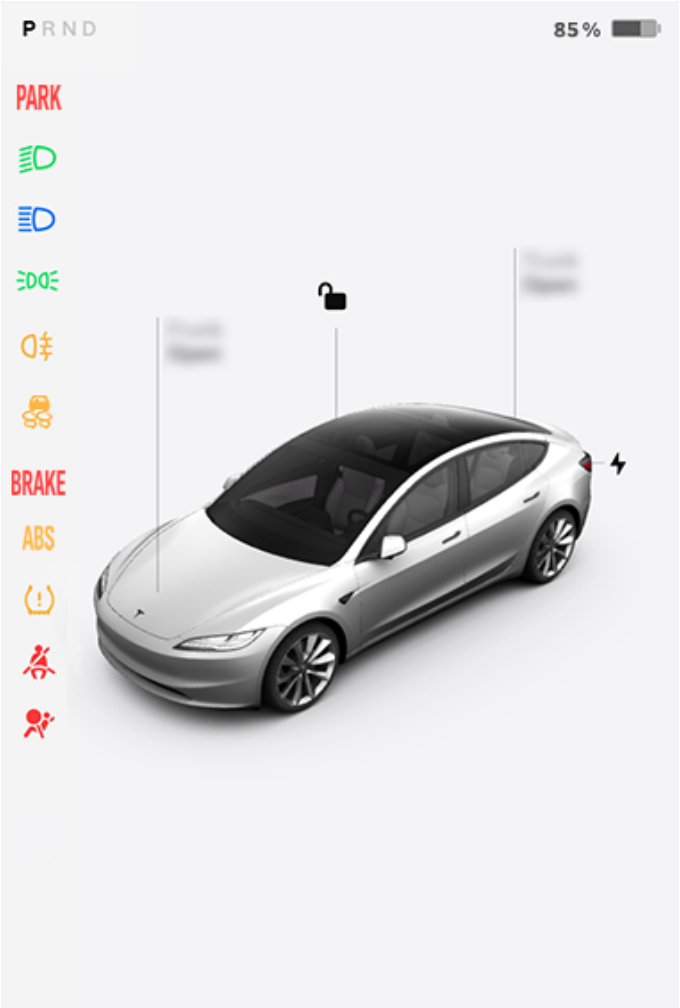
概要

タッチスクリーンには Model 3 の状態が常に表示されます。何が表示されるかは車両が次に挙げるどの状態かによって変わります。

- パーキング中（以下に示す）。
- 運転中（運転状態 ページ 15 を参照）。
- 充電中（充電ステータス ページ 185 を参照）。

Model 3 を駐車した場合、この状態エリアにはドライブ モード、推定航続距離、車の俯瞰画像が、トランクと充電ポートドアを開くタッチボタンと共に表示されます。ブレーキを踏むと Model 3 の電源が入り、インジケーターライトが短く点滅します。現在の状況に当てはまらない（たとえばシートベルトが着用されていない）インジケータライトは消灯します。インジケーターが点灯または消灯しない場合は、Tesla に連絡してください。

注: *次の画像は、デモンストレーション目的でのみ提供されています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。*



カード

車両のステータス表示の下部には、メディア、タイヤ空気圧データ、走行情報などにすばやくアクセスできるショートカット「カード」も表示されます。カードを左右にスワイプして、カードのショートカットをカスタマイズします。

インジケーター ライト

次のインジケーターライトは特定の状態を伝えるために点灯します。

米国:

Model 3 を最初に始動したときに短く表示される以外で、タッチスクリーンにこの赤色のブレーキ インジケーターが表示された場合は、ブレーキシステムの不具合が検出されているか、ブレーキ液の量が少なくなっています。ただちに Tesla にご連絡ください。一定の圧力でブレーキ ペダルをしっかりと踏み続けて、安全な場所に車両を停車させます。

カナダ:

Model 3 を最初に始動したときに短く表示される以外で、タッチスクリーンにこの赤色のブレーキ インジケーターが表示された場合は、ブレーキシステムの不具合が検出されているか、ブレーキ液の量が少なくなっています。ただちに Tesla にご連絡ください。一定の圧力でブレーキ ペダルをしっかりと踏み続けて、安全な場所に車両を停車させます。

米国:

ブレーキ ブースターの故障が検出されると、タッチスクリーンに黄色のブレーキ インジケーターが表示されます。一定の圧力でブレーキ ペダルをしっかりと踏み続けて、安全な場所に車両を停車させます。油圧ブースト補正が起動します（ブレーキと停車 ページ 80 を参照）。

カナダ:

ブレーキ ブースターの故障が検出されると、タッチスクリーンに黄色のブレーキ インジケーターが表示されます。一定の圧力でブレーキ ペダルをしっかりと踏み続けて、安全な場所に車両を停車させます。油圧ブースト補正が起動します（ブレーキと停車 ページ 80 を参照）。

米国:

Model 3 を最初に始動すると、タッチスクリーン上で ABS インジケーターが短く黄色に点滅します。このインジケーターが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなることがあります。慎重に運転し、急ブレーキは避けてください。

カナダ:

Model 3 を最初に始動すると、タッチスクリーン上で ABS インジケーターが短く黄色に点滅します。このインジケーターが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなることがあります。慎重に運転し、急ブレーキは避けてください。

米国:

パーキングブレーキをかけると、タッチスクリーンに赤色のパーキングブレーキ インジケーターが表示されます。

カナダ:

パーキングブレーキをかけると、タッチスクリーンに赤色のパーキングブレーキ インジケーターが表示されます。

米国:

パーキングブレーキに電気上の問題が生じると、タッチスクリーンに黄色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯し、不具合発生のメッセージが表示されます。

カナダ:

パーキングブレーキに電気上の問題が生じると、タッチスクリーンに黄色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯し、不具合発生のメッセージが表示されます。

注: メキシコで販売の車両は、製造場所によって、ブレーキ、ABS、パーキングの各インジケーターランプの文字またはアイコンが表示される場合があります。

タイヤの空気圧警告。タイヤの空気圧が許容範囲外になっています。タイヤ空気圧監視システム（TPMS）の不具合が検出されると、インジケーターが点滅します。TPMS が故障した場合は、Tesla に連絡してください。タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 198 を参照してください。

人が座っている座席のシートベルトが締められていません。シートベルト ページ 40 を参照してください。

エアバックの安全性。Model 3 を運転する準備が整ったときにこのインジケーターが点滅しない場合、または点灯し続ける場合は、ただちに Tesla に連絡してください。 エアバッグについてのご注意 ページ 53 を参照してください。

パーキング ライト（サイド マーカーライト、テールライト、ナンバープレート ライト）が点灯しています。 ライト ページ 76 参照。

ロービーム ヘッドライトがオンになっています。

ハイビーム ヘッドライトがオンで、**アダプティブ ヘッドライト**が無効または現在利用できなくなっています。

アダプティブ ヘッドライトが有効でハイビームがオン。 Model 3 ライトを検出した場合、すぐにハイビームをオフにします。 ハイビーム ヘッドライト ページ 76 参照。

アダプティブ ヘッドライトは有効ですが、Model 3 の前方にライトが検出されているためハイビームが点灯していません。光が検知されなくなるとハイビームは自動的にオンに戻ります。 ハイビーム ヘッドライト ページ 76 参照。

横滑り防止装置がブレーキ圧およびモーター出力を制御しホイールのスピンを最低限に抑えている際には、このインジケーター ライトが黄色に点滅します。Traction Control ページ 87 を参照してください。このインジケーターが点灯したままの場合、不具合が検出されていますので、直ちに Tesla へ問い合わせてください。

横滑り防止装置はホイールのスピンを最小化しなくなっています。後輪駆動車両でトラクション コントロール システムオフになっているか、四輪駆動車両でスリップスタート機能が有効になっています。Traction Control ページ 87 を参照してください。

車両のホールド機能が積極的にブレーキをかけています。オートブレーキ ホールド ページ 86 を参照してください。

ドアまたはトランクが開いています。Doors ページ 26、リアトランク ページ 30、またはフロント トランク ページ 33 を参照してください。

寒冷な条件が原因でバッテリーに蓄えられている電力が利用できなくなったときに、青い雪の結晶アイコンが表示されます。このような寒冷な気候条件下では、充電速度が低下することがあります。モバイル アプリを

使用して空調をオンにして、バッテリーを温めることができます。バッテリーが十分に温まると、雪の結晶アイコンが消えます。

回生ブレーキが制限されているときに表示されます。詳細情報については、回生ブレーキ ページ 81 を参照してください。

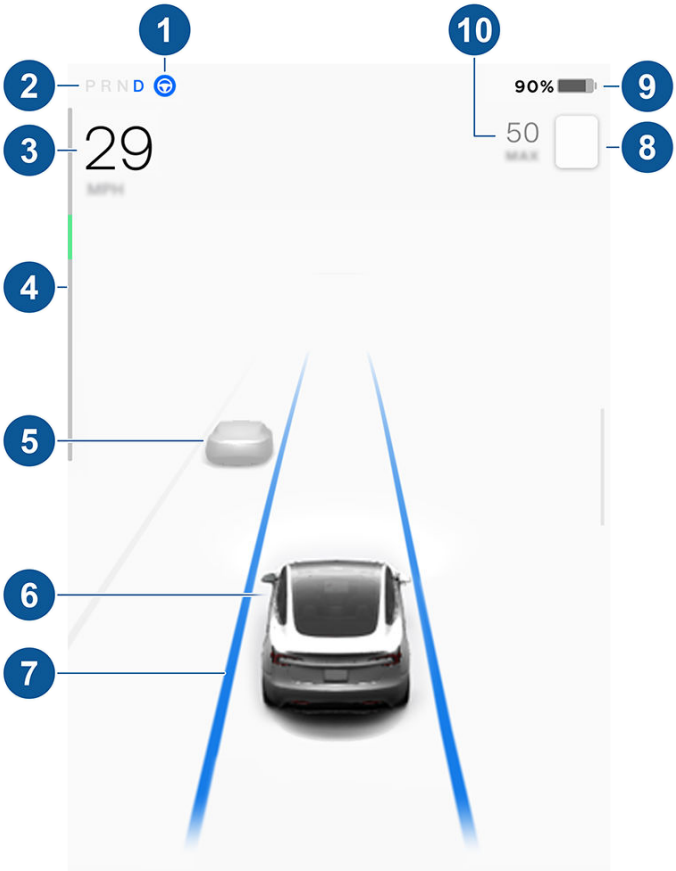
バッテリーの電力残量が少ないか、車両システムが加熱/冷却されているか、またはドライブ インバーターがエラーを検出したことにより、車両電源の利用が現在制限されています。

車両のタッチスクリーンに表示されるアラートポップアップについては、ポップアップメッセージおよび車両のアラート ページ 8 を参照してください。

運転状態

Model 3 運転中（または運転可能なとき）は、タッチスクリーンに現在の運転状況とオートパイロットコンポーネントが検出した道路のリアルタイムの視覚化された画像が表示されます（カメラ ページ 19 を参照）。視覚化された画像はタッチスクリーンのスペースを 有効活用するために、ブラインドスポットに車両が検出された時にドライバーに知らせるよう自動的にズームインとズームアウトを行います。

注: *以下の図は説明のみを目的としています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。*



1. オートステアリングが使える状態だがアクティブにしていない時は、アイコンは灰色です。オートステアリングが能動的に Model 3 を動かしている場合、アイコンは青色です（オートステアリング ページ 110 を参照）。
2. 現在選択しているドライブ モード: パーキング、リバース、ニュートラル、ドライブ。
3. 巡航速度。
4. パワー メーターには、電力使用量がリアルタイムで表示されます（詳細については回生ブレーキ ページ 81 を参照）。パワー メーターは運転ステータス画面の上部に縦に表示されることがありますが、機能は同じです。
5. 路上で他の車が検知されました（該当する場合）。
6. お客様の Model 3。物体が検出され、Model 3 の画像からカラーラインが放射されます（他の運転者、ガードレールなど）。検出された物体の位置に応じた場所にラインが表示されます。ラインのカラー（白、黄、オレンジまたは赤）は、Model 3 に対する物体の近さを表します。白はまだ物体が遠くあることを示し、赤になると物体がごく近くまで接近したことを示すため、ただちに注意を払う必要があることを示します。レーン アシスト ページ 139 を参照してください。
7. オートステアリングが有効な場合に通行区分車線を検出すると、その車線は青色にハイライト表示されます（オートステアリング ページ 110 を参照）。

   注: ナビゲート オン オートパイロットがオンになっていると、Model 3 の前方に走行車線が青色のラインで表示されます（ナビゲート オン オートパイロット ページ 111 を参照）。
8. スピードアシストが現在検出している速度制限（スピードアシスト機能 ページ 145 を参照）。

注: 速度制限のアイコンの周りに青色の輪郭が表示された場合、あなたが速度制限を超えていることを知らせています。

注: 検出された速度制限に関するアイコンは、該当する市場地域で使用される速度制限標識のスタイルを反映したものになります。

9. 推定航続可能距離（エネルギー）。表示されている値にタッチして利用可能なエネルギーの表示方法を変更します。航続距離とバッテリー残量（%）の間で切り替えることができます。また、**「コントロール」** > **「ディスプレイ」** > **「エネルギー表示」**の順にタッチしてエネルギーの表示方法を変えることもできます。

   注: 充電の必要性が迫っている場合は、予想航続距離を大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。

10. 設定巡航速度。トラフィックアウェア クルーズコントロールが使える状態で、巡航速度を設定していない場合、数値はグレー表示になります（トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 109 を参照）。

警告: タッチスクリーン下の車両のステータスに表示される重要なアラートメッセージに注意してください。それらのメッセージを無視すると重傷、または死亡につながる恐れがあります。

警告: タッチスクリーンは周囲の交通状況を表示しますが、車両によっては表示されないものもあります。車両の存在をタッチスクリーンで判断しないでください（ブラインドスポットなど）。必ずミラーと後ろを振り返って確認してください。

注: お客様の利便性を図るため、Tesla では音声コマンドに使用する言語をさまざまな言語からお客様が選択できるようにしています。別の言語を選択するには、**「コントロール」** > **「表示」** > **「音声認識の言語」**の順にタッチします。

音声コマンドを使用すると、タッチスクリーンを使用せずに各種設定を簡単に行ったり、したりできます。

音声コマンド

音声コマンドは自然な発話リクエストを理解するように設計されています。以下に音声コマンドで実行可能なアクションの例を挙げます（これらに限定されません）。

- 空調の好みを調整する
- フロントガラス ワイパーの速さおよび作動間隔を調整する
- 車両の各種機能を制御する
- 目的地までナビを実行する
- 連絡先に電話をかける
- アプリや設定とやりとりする

音声コマンドを開始するには、ハンドルの右側のマイク ボタンを一杯まで押します。チャイムが鳴ったら、要望を言ってください。

音声コマンドの例

音声コマンドの例のリストを示します。これは網羅的リストではありません。Tesla では継続的に音声コマンドの改良に努めています。

注: 一部の音声コマンド（セントリーモード、ドッグ モードなど）については、有効にするために車両をパーキングにシフトする必要があります。

空調

空調の好みを調整します。

- 「温度を下げて」
- 「温度を上げて」
- 「運転席のシートヒーターを入れて/切って」
- 「助手席を涼しくして」
- 「顔に気流を直接当てて」
- 「空調を同期して」
- 「ファン速度を上げて/下げて」
- 「リア デフロスターをつけて/消して」
- 「温度/ファンを設定して...」
- 「循環をオンにして」

フロント ガラス ワイパー

道路および気象条件の変化に基づいてフロント ガラス ワイパーの速度および作動間隔を更新してください。

- 「ワイパーを速く」
- 「フロント ガラス ワイパー速度を...だけ上げて/下げて」
- 「ワイパーを入れて/切って」

車両のコントロール

車両の各種コントロールを修正します。

- 「セントリーモードオン/オフ」
- 「車を安全に保って」
- 「ドアをロックして/ロック解除して」
- 「ドッグモードをオンにして」
- 「ミラーを閉じて/開いて」
- 「充電ポートを開いて/閉じて」
- 「充電を始めて/止めて」
- 「サービス設定を開いて」
- 「グローブボックスを 開いて」

ナビゲーション

場所を検索してその場所まで誘導します。

- 「[場所] ってどこ ?」
- 「[場所] までドライブ」
- 「[場所] まで行って」
- 「近くのスーパーチャージャーを 表示」
- 「おなかがすいた/楽しいな」 （地図とナビゲーション ページ 167 参照）。
- 「ナビを止めて」
- 「音声ガイダンスをミュート」

自宅または勤務先の住所をナビゲーション住所として設定している場合、「自宅までの道順」または「会社までつれてって」の音声コマンドを使用することができます。

連絡先

Bluetooth に接続した電話機（電話、カレンダー、ウェブ会議 ページ 60 を参照）から連絡先に発信またはテキスト送信するときは次のように言ってください。

- 「[連絡先名/電話番号] に電話して」
- 「[連絡先名/電話番号] にテキスト送信」

メディア

メディアを聞き、再生の設定を調整します。

- 「[曲名] が聴きたい」
- 「音量を下げて/上げて」
- 「スキップして次へ」
- 「曲を止めて/再生して」
- 「ソースを [メディアソース] に変えて」

音声コマンドの認識精度を向上するためには、アーチストや曲名など、コマンド内に複数の手がかりを含めてください。

アプリと設定

アプリや設定により簡単にナビゲーションができます。

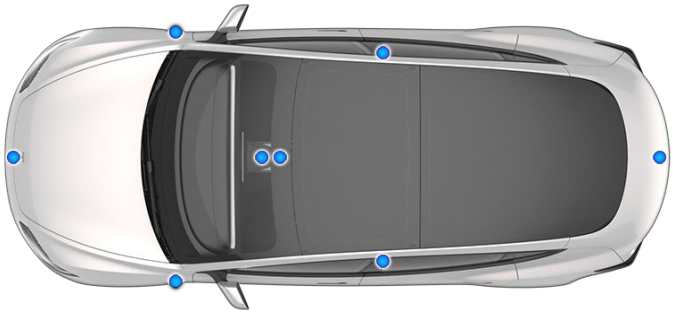
- 「[おもちゃ箱/ブラウザ/シアター/電話機] を開いて」
- 「...を検索」
- 「画面が明るすぎる」
- 「オーナーズ マニュアルを見せて」

「レポート」、「フィードバック」、または「バグレポート」と発話することでもバグレポートを提出することができます。

音声コマンドに関する詳細については、 https://www.tesla.com/support/voice-commands を参照してください。

注: 品質を引き続き向上できるように、Tesla では、音声コマンドのトランスクリプション(「温度を設定して…」など)を取得して処理します。音声の録音は収集されず、トランスクリプションはお客様の Tesla アカウントや車両 ID に関連付けられることはありません。お客様のプライバシー保護をより強力に保護できるように、個人データを含む音声コマンド(「....に移動して」や「...に電話をかけて」など)は取得しません。

お使いの Model 3 には、周囲を能動的に監視する、以下のコンポーネントが搭載されています。



- カメラはフロント バンパーのグリル上部に取り付けられています（カメラ搭載車の場合）。
- カメラは、リア ナンバープレートの上方に搭載されています。
- 各ドア ピラーにカメラが取り付けられています。
- フロントガラスのリア ビュー ミラーの上方にはカメラが 2 台取り付けられています。
- 各フロント フェンダーにカメラが取り付けられています。

Model 3 には、高精度電動アシスト ブレーキおよびステアリング システムも装備されています。

キャビン用カメラ

Model 3 は、バックミラーの上にキャビンカメラを装備しています。詳細な情報は、キャビン用カメラ ページ 146 を参照してください。

前方カメラ（搭載車の場合）

お客様の Model 3 には、フロント フェイシアのグリル上部に前方カメラが装着されています。

前向きカメラの映像を表示するには、アプリ ランチャーを開き、カメラ アプリをタッチするか、ハンドルの右側にあるカメラ アイコンをタッチします。上または下にスワイプすると、リア、フロント、サイドのカメラビューを切り替えることができます。

前向きカメラにはスプレー ノズルが装備されています。詳細な情報については、カメラのクリーニング ページ 205 を参照してください。

警告: 車両の周囲に人がいるかどうかや障害物があるかないかは、カメラの映像だけで判断しないでください。このカメラでは、車両への損傷や人身事故につながる可能性のある障害物や人を検出できない場合があります。また、カメラの検出能力はレンズの汚れや視界の遮断など、いくつかの外的要因によって低下することがあります。このため、カメラに頼って、Model 3 が障害物に近づいているかどうかを判断することは、車両や物体に損傷を与えたり、人身事故につながる恐れがあります。必ずご自分の目で確認してください。カメラは補助としてご利用ください。カメラは目視確認の代わりではなく、安全運転を不要にするものではありません。

オートマティック ブラインドスポット カメラ

オートマティック ブラインドスポットカメラは、車両のタッチスクリーンで**「コントロール」** > **「ディスプレイ」**をタッチし、オートマティック ブラインドスポットカメラをタッチすることで有効／無効を切り替えることができます。

有効な場合、ウィンカーを作動させるとタッチスクリーンに該当するサイド リピータ カメラの画像が表示されます。隣接する車線のドライバーの死角に車両が検出されると、画像に赤色の垂直線が表示されてドライバーに警告を与えます。例えば、左ウィンカーを作動させ、車両を検出すると、画像の左側に赤色の垂直線が表示されます。ドライバーはこの画像をタッチスクリーン上の別の場所に移動することができます。これを行うには、画像をタッチして新しい位置にドラッグします（有効な位置は、画像を長押ししたときに表示される影付きの領域で示されます）。

警告: オートマティック ブラインドスポットカメラ が搭載されていても、車線変更するときは周囲に注意を払い、肩ごしから後方確認を必ず行ってください。

走行中のカメラキャリブレーション

Model 3 オートパイロット機能が使用されているときは正確な操作が必要になります。そのため、車線逸脱防止および自動緊急ブレーキなどの一部の機能を初めて使用する前、または一部の種類のサービス修理後に、カメラはセルフ キャリブレーション プロセスを完了する必要があります。わかりやすくするために、タッチスクリーンに進捗インジケータが表示されます。

キャリブレーションが完了すると、アクティブセーフティ 機能だけでなく、オートパイロット機能も利用可能になります。キャリブレーションは通常、20〜25 マイルの距離を走行した後で完了しますが、距離は道路や環境条件によって異なります。例えば、自動車専用道路など、車線が複数あって視認性の高い車線区分線を持つ直線道路（の走行車線および隣接車線）を走行すると、キャリブレーションは早く完了します。上記の条件に

おいて Model 3 を 100 マイル（160 km）で走行させてもキャリブレーションが完了していない場合は Tesla までご連絡ください。

カメラの位置がキャリブレーションを実施したときの位置から動いてしまった場合（例えば、カメラやフロント ガラスを交換した場合）はそのキャリブレーションをクリアする必要があります。これには、**「コントロール」** > **「サービス」** > **「カメラキャリブレーション」** > **「キャリブレーションをクリア」**の順にタッチします。キャリブレーションがクリアされると、Model 3 はキャリブレーション手順を再実行します。これは多くの場合カメラの再キャリブレーションに役立ちますが、**「キャリブレーションをクリア」**はすべてのカメラやセンサーの 問題を解決しない場合があります。

注: キャリブレーションを行なうためには、走行車線と隣接車線の両方において（車両のそれぞれの側の 2 車線以上で）、カメラが車線区分線を鮮明に視認できる必要があります。最良の結果を得るためには、車線区分線が鮮明で、交通量の少ない（理想的には 5 車線以上ある）複数車線の高速道路の中央の車線を走行します。

注: キャリブレーションが完了するまで使用できない機能を使用しようとしても、その機能は有効にならず、タッチスクリーンにはメッセージが表示されます。

注: Model 3 は、Tesla がカメラのサービスを行った場合や、ソフトウェアのアップデート後に、キャリブレーションプロセスを繰り返します。

カメラに障害物がないようにする

それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（カメラのクリーニング ページ 205 を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model 3 のタッチスクリーンにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

特に車両を寒い屋外や湿った屋外に駐車する場合には、カメラのハウジング内に結露が生じる可能性があります。 タッチスクリーンには、カメラが遮られているというアラート、またカメラの障害物が取り払われるまでオートパイロットの機能の一部/すべてが一時的に制限されてるというアラートが表示されます。事前対策的に結露がないようにするために、暖かい温度に設定して、フロントウィンドウのデフロスターをオンにして、フロントの通気をドアピラーに向け車内を予め調節します（モバイル アプリ ページ 54 参照）。

キーの種類

Model 3 は、次の種類のキーをサポートしています。

- **「電話キー」** - お客様個人の電話は、Bluetooth を使用して Model 3 と通信できる「電話キー」として設定できます。電話キーでは、自動ロックおよび自動ロック解除をサポートしています。
- **キー カード** - 電話キーおよびキー フォブとは異なり、キー カードでは自動ロックおよび自動ロック解除をサポートしていません。電話キーのバッテリー切れ、紛失、盗難が発生した場合には、キー カードを使用して Model 3 をロック解除、運転、ロックしてください。
- **キー フォブ** - キー フォブ（装備されている場合）により、ボタンを押して、Model 3 のフロントおよびリアのトランクを開くことやロック/ロック解除、および運転することができます。お客様の販売地域で利用可能であれば、キー フォブも自動ロックおよび自動ロック解除をサポートしているため、電話キーのバックアップとして使用できます（降車後オートロック機能 ページ 27 参照）。

注意: 運転する際は、必ずキーを携帯してください。キーを携帯していない場合でも Model 3 を運転することはできますが、その場合は電源を一度切ると、再度オンにすることができません。

電話キー

注意: ペアリングされている電話機を車内に置いたままにしないでください（ハイキングやビーチに出かけたときなど）。車内に電話機を置いたままにしなければならない場合は、Bluetooth を無効にするか、電話機の電源をオフにしてください。

電話をキーとして使用すると、Model 3 へのアクセスには便利です。車両に近づくと、電話機の Bluetooth 信号が検出され、ドアハンドルを引いたときにドアのロックが解除されます。同様に、電話キーを携帯して降車し離れると、ドアは自動ロックされます（**「降車後オートロック」**機能がオンになっている場合（降車後オートロック機能 ページ 27 参照））。

一度スマートフォンが認証されると、Model 3 の電話キーとして使用する際にインターネット接続は不要になります。ただし、ハンズフリー通話や連絡先へのアクセス、スマートフォンからのメディア再生などを行うには、Bluetooth デバイスとしてペアリングおよび接続する必要があります（Bluetooth ページ 58 を参照）。

注: Apple Watch をキーとして使用するように設定することもできます。

NFC 機能のある一部のスマートフォンを使用して、キーカードを使用する場合と同様に、車両をロック/ロック解除することができます。Tesla モバイル アプリをが車両に正しくペアリングされていることを確認してから、電話機の NFC 機能を有効にします。有効になったら、電話機を運転席側ドアのピラーに置くだけで、ドアがロック/ロック解除します。このための特別な情報についてはスマートフォンの説明書を参照してください。

電話キーはデフォルトで「プライマリー」キーとして設定されており、車両は Bluetooth を使用して携帯電話が車両の近くにあることを検出します。Bluetooth が有効になっている状態で、ペアリングした携帯電話を車内に置いたままにすると、車内に座ったままモバイル アプリのロック アイコンを押しても、ドアはロックされません。キーを車内に置いたままだとロックできないことと基本的に同じです。このため、ペアリングされた電話キーを車内に置いてロックしたとしても、電話キーがすでに検出されているため、外側からドア ハンドルを引くと Model 3 がドアのロックを解除してしまうため車両の安全は確保されません。携帯電話をフロントトランク内に残したままにしないでください。

電話キーが Model 3 に接続されている状態でモバイルアプリのロックボタンを押すと、チャイム音が鳴り、タッチスクリーンにロックアイコンに触れるよう促すメッセージが表示されます。タッチスクリーン上のロックアイコンに触れると、降車後オートロックなどの電話キーによるロック設定が一時的に無効になります。そうしなかった場合、携帯電話がキーとして有効になっているため、たとえモバイル アプリでロック アイコンを押していても、車外のドア ハンドルを引くとドアのロックが解除されます車内からドアを開いた場合、電話キーが検知されている限り、ドアを外側からもう一度開けることができるようになります（詳細情報については内部からのロックとアンロック ページ 26 を参照してください）。

携帯電話置き忘れ検出

注: *Ultra-Wideband（UWB）に対応した iOS または Android デバイスが必要です。お使いの iOS または Android 機器の製造元のウェブサイトの仕様セクションを参照して、携帯電話がバックグラウンド UWB に対応しているかどうかを確認してください。*電話の設定で、「近くの機器との連係」が Tesla モバイル アプリに対して許可されていることを確認します。電話キーがすでにペアリングされている場合は、Tesla モバイル アプリを開き、**「電話キー」** > **「アップグレード」**に進みます。

電話キーが車内に残された際に Model 3 が通知するようにするには、**「コントロール」** > **「ロック」**をタッチし、**「携帯電話置き忘れ検出」**を有効にします。

運転者および全乗員が車両を降りた後、Model 3 が車内に電話キーが残されていることを検出すると、ドア（および必要に応じてフロントトランク、トランク、充電ポート）が閉じてしばらくしてから、チャイムが鳴り、タッチスクリーンにグラフィックが表示されます。

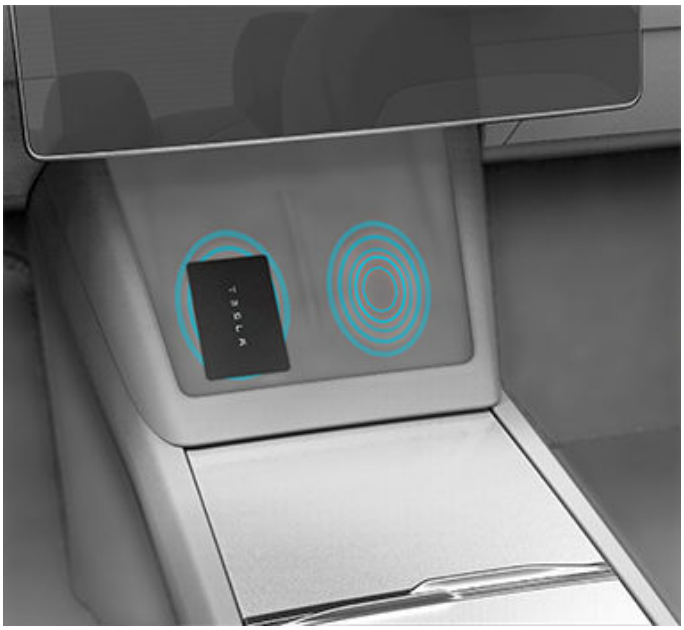
注意: 電話キーの置き忘れを確実に知らせる手段として**「携帯電話置き忘れ検出」**に依存しないでください。**「携帯電話置き忘れ検出」**は、Model 3 のセンターコンソール上またはその付近に置かれた携帯電話を検出するよう設計されています。**「携帯電話置き忘れ検出」**は、後部座席、トランク、フロントトランク、または車内のその他の場所に残された電話キーを検出しない場合があります。

キーカード

キーカードを使用して Model 3 のロック/ロック解除を行うには、図示されている通りの位置にカードを配置し、運転席側のドアピラーの上側およそ 1/3 の位置にあるカードリーダーにかざします。Model 3 がキーカードを検出すると、エクステリアライトが点滅し、ミラーが広げられたり折りたたまれたりして（プレミアム パッケージが搭載されていて「折りたたみ式ミラー」がオンになっている場合）、ホーンが鳴り（ロック確認音がオンの場合）、ドアがロック解除/ロックされます。

注: ワイアレス電話充電器または運転席側のドア ピラーにキーカードを物理的に接触させ、キー カードをトランスミッターにかざしたままで 1〜2 秒待つ必要があります。

乗車したら、キー カードをスキャンして 2 分以内にブレーキ ペダルを踏んで Model 3 の電源を入れてください（始動と電源オフ ページ 65 を参照）。2 分以上そのままの状態で待った場合、キーカードをセンター コンソールのワイヤレス充電器にあるカード リーダーの近くに置いて、再認証を行う必要があります。キー カードが検出されると、2 分間認証が再開します。



注: 有効になっている場合、降車後オートロック（降車後オートロック機能 ページ 27 を参照）は電話キーまたはキー フォブを持って車両から離れた場合にのみ作動します。キー カードを持って降車した場合、Model 3 は自動的にロック解除/ロックされません。

注: 電話キーをペアリングしている場合でも、キーカードを車内に残さないでください。

キー フォブ

キーフォブ アクセサリーを購入した場合でも、キーフォブを Model 3 のミニチュア版と考えるとすぐに使いこなすことができます。Tesla バッジのある方が表になります。キーには他のエリアと比べて柔らかい触り心地の 3 つのボタンがあります。

1. フロントトランク - フロントトランクのラッチを外すにはダブルクリックします。
2. すべてロック/ロック解除 - シングルクリックしてドアとトランクをロックします (すべてのドアとトランクを 閉めておく必要があります)。ダブルクリックしてドアとトランクのロックを解除します。
3. リア トランク - リア トランクのラッチを外すには、ダブルクリックします。充電ポート ドアを開くには、1〜2 秒間押し続けます。

車内に入ったら、キーフォブを押してから 2 分以内にブレーキ ペダルを踏んで Model 3 の電源を入れます（始動と電源オフ ページ 65 を参照）。2 分以上そのままの状態で待った場合、解除ボタンを再度押すか、またはキーフォブをセンター コンソールのワイヤレス電話充電器内にあるカード リーダーの付近に置く必要があります。キー フォブが検出されると、2 分間の認証が再開します。

キー フォブを携帯して Model 3 に近づいたり離れたりした場合、操作範囲内であれば Model 3 に向けてキー フォブのボタンを押す必要はありません。

周波数の近い無線機器がキーに影響を与える場合があります。その場合は、キーを他の電子機器（携帯電話、ノート パソコンなど）から 1 フィート（30 cm）以上離してください。

キー フォブの電池がなくなった場合でも、（キー カードと同様に）運転席側ドア ピラーにあるカード リーダーでキー フォブをスキャンすることで、キー フォブを使用して車両を運転することができます。

バッテリーの交換手順はキー フォブのバッテリーを交換する ページ 24 に記載しています。

注: 認証すると、同じキー フォブを複数の Model 3 で使用することができます（キーの管理 ページ 23 参照）。ただし、キー フォブを接続できるのは 1 度に 1 台の Model 3 のみです。そのため、他の Model 3 でキー フォブを使用したい場合は、キー フォブの平らな面を運転席側のドアピラーにあるカードリーダーにタッチしてください。

注意: キーを衝撃、高温、液体による損傷から保護してください。キーが溶剤、ワックス、研磨洗浄剤に触れないようにしてください。

パッシブ ロック/ロック解除

お使いのキー フォブを使用してハンズフリーで便利に Model 3 をロック/ロック解除できます。ペアリングしたキー フォブを携帯している必要がありますが、必ずしも使用する必要はありません。 Model 3 には、約 6 フィート（2 m）の範囲内でキー フォブの存在を認識できるセンサーが車両周辺に装備されています。そのため、キー フォブをポケットやハンドバックに入れておくと、ドアハンドルを引くだけでロック解除されます。キー フォブを携帯すると、キーを使用せずにリアトランク外側のドアハンドルを押してトランクを開けることもできます。**「降車後オートロック」**を有効にすると、キー フォブを持っている人が降車してキー フォブが作動範囲内にない状態になると、Model 3 は自動的にロックされます（降車後オートロック機能 ページ 27 参照）。キー フォブを Model 3 にペアリングすると、パッシブ ロック/ロック解除が自動的に有効になります。平らな面に Model 3 ロゴがプリントされているキーフォブには、車両のパッシブロック/ロック解除機能がありません。

注: セキュリティを強化するため、車両が使用されていないときにキー フォブが車両の範囲内にあっても （例えば車両の外に運転者が立っているなどしても）、車両が停止してから 5 分経過すると、パッシブ ロック/ロック解除は無効になります。この場合、キー フォブを振るか、ボタンを押してパッシブ ロック/ロック解除を再度有効にする必要があります。

キーの管理

Model 3 にアクセスできるすべてのキーのリストを 表示するには、**「コントロール」** > **「ロック」**の順にタッチします。それぞれのキーの横に表示されるアイコンは、そのキーが電話キー、キー カード、キー フォブのいずれかを表します。このリストを使用して Model 3 へアクセスできるキーを管理します。

Model 3 は一度に最大 19 個のキーをサポートします。そのうち 3 つは、電話キー、キーフォブ、またはウォッチキーとして設定できます。この制限に達した場合は、新しいキーを登録する前に既存のキーを削除する必要があります。

キーカードまたはキーフォブは、複数の Tesla 車両にペアリングできます。これにより、複数の車両を使用していたとしてもキーを何個も持つ必要がなくなりました。キーカードとキーフォブは、一度に多くの車両とペアリングして使用することができます。車両とペアリングすることで、その車両にアクセスして運転できるようになります。

注: キーフォブを車両とペアリングすると、そのキーフォブでパッシブエントリーが可能になるほか、遠隔操作でドアをロック解除したり、トランクやフロント トランクを開けたりすることができます。キーフォブを複数の Tesla 車両とペアリングした場合、パッシブエントリーと遠隔操作によるロック解除および開放は一度に 1 台にしか使用できません。キー フォブの平らな面を運転席側のドアピラーにあるカード リーダーにタッチさせて、パッシブエントリーまたは遠隔操作によるロック解除または開放を利用したい車両を選択します。

注: 1 台の車両にペアリングされたキーカードまたはキーフォブの名前を（ペンシル アイコンをタッチして）カスタマイズすると、そのキーカードまたはキーフォブがペアリングされた他の車両でもその変更された名前が表示されます。

注: 車両をリースしている場合、リース会社に連絡してキーを追加または削除してください。

電話キーを追加

電話機を電話キーとして追加した後は、その電話機を使用して Model 3 にアクセスすることができます。電話キーのペアリングを開始する前に、以下を確認してください。

- 電話機の一般 Bluetooth 設定が有効になっていること。
- Tesla モバイル アプリの電話機設定で Bluetooth が有効になっていること。例えば携帯電話の設定から Tesla モバイル アプリを選んで、Bluetooth 設定がオンになっていることを確認します。
- あなたの所在地へのアクセスが有効であること。電話機の設定で Tesla モバイル アプリを開いて、**「ロケーション」** > **「常時」**の順に選択します。モバイル アプリをバックグラウンドで実行し続けていると、快適にサービスをご利用いただけます。
- 車両のタッチスクリーンで「モバイル アクセスを許可」を有効にします（**「コントロール」** > **「安全」** > **「モバイル アクセスを許可」**）。

注: Model 3 は、Bluetooth を使用して電話機と通信します。多くの携帯電話では、バッテリー残量が少なくなると Bluetooth が無効になります。電話キーを設定する前に、お使いの携帯電話に Bluetooth を使用するための十分なバッテリー残量があることを確認してください。

電話キーを追加するには次の手順で行います。

1. Tesla モバイル アプリをお使いのスマートフォンにダウンロードします。
2. Tesla アカウントのユーザー名とパスワードを使用して Tesla モバイル アプリにログインします。

   注: 電話機を使用して Model 3 にアクセスするには、Tesla アカウントにログインした状態のままにする必要があります。

注: ハンズフリー トランクなど、車両にアクセスするための多くの便利な機能は、モバイル アプリで現在選択されている車両でのみ使用できます。お客様の Tesla アカウントに複数の車両が関連付けられている場合は、そのような便利な機能を使用したい車両がモバイル アプリで現在選択されていることを確認する必要があります。

3. 車内またはその近くで、、Tesla モバイル アプリを開いて、メイン画面で**「電話キーを設定」**にタッチするか、**「セキュリティ」** > **「電話キーを設定」**に進みます。

   Apple Watch をキーとして使用することもできます。車内または車両の近くにいるときに、Apple Watch で Tesla モバイル アプリを開いて**「ウォッチキーを設定する」**にタッチします（Apple Watch 用モバイル アプリ ページ 54 を参照）。

4. モバイル アプリおよび車両タッチスクリーンのプロンプトに従って電話キーを設定します。

Model 3 は、同時に 3 つの電話キーに接続できます。このため、3 つ以上の電話キーが検出されていて別の電話機を認証またはペアリングしたい場合は、接続されている他の電話キーを範囲外に移動させるか、その Bluetooth 設定をオフにします。

タッチスクリーンからのキーの追加

キーカードまたはキーフォブがすでに車両とペアリングされている場合は、タッチスクリーンを使用して新しいキーをペアリングできます。

1. タッチスクリーンで**「コントロール」** > **「ロック」** > **「キー」** > **「キーを追加」**の順にタッチします。
2. いずれかの無線電話充電器にあるカード リーダーで新しいキー カードまたはキー フォブをスキャンします。チャイムが鳴ると、新しいキーカードが認識されたことになります。

   注: キー フォブを追加する場合、キー フォブが室温になっていることを確認します。キー フォブがとても冷たくなっているときにペアリングを行うと失敗することがあります。

3. 車両にペアリング済みのキー カードまたはキーフォブをスキャンして、新しいキー ペアリングを確認します。
4. 完了すると、キーリストに新しいキーが表示されます。該当するペンシル アイコンにタッチしてキーの名前をカスタマイズします。

モバイル アプリからのキーの追加

あなたがその車両の所有者であれば、Tesla モバイル アプリを使用して新しいキーをペアリングできます。Tesla モバイル アプリからキーを追加すると、キーカードやキーフォブが使えない場合に役立ちます。

注: キーとモバイルアプリのペアリングは、ソフトウェアバージョン 2022.40 以降を装備する車両で、Tesla モバイルアプリのバージョン 4.29.0 でサポートされています。

1. 車内または車両の近くで、スマートフォンで Tesla モバイル アプリを開きます。
2. モバイル アプリで**「セキュリティとドライバー」**にタッチしてから**「キーカードを追加」**にタッチします。
3. いずれかの無線電話充電器にあるカード リーダーで新しいキー カードまたはキー フォブをスキャンします。

   注: キー フォブを追加する場合、キー フォブが室温になっていることを確認します。キー フォブがとても冷たくなっているときにペアリングを行うと失敗することがあります。

4. キーが正常にペアリングされると、モバイル アプリに確認メッセージが表示されます。モバイル アプリで**「完了」**にタッチし、カードリーダーからキーカードまたはキーフォブを取り出します。

完了すると、車両のタッチスクリーンにあるキーリストに新しいキーが含まれます。該当するペンシル アイコンにタッチしてキーの名前をカスタマイズします。

キーの削除

Model 3 にアクセスするためのキーを使用しなくなった場合（例えば、電話またはキーカードを失くした場合）、次の手順でキーを削除できます。

1. タッチスクリーンで、**「コントロール」** > **「ロック」**の順にタッチします。
2. キー リストで削除したいキーを見つけたら、該当するごみ箱アイコンにタッチします。
3. 指示が表示されたら、認証済みのキーカードまたはキー フォブをカード リーダーでスキャンして、削除されていることを確認します。完了すると、キーリストに削除したキーが表示されなくなります。

注: Model 3 では少なくとも 1 つの認証されたキーカードまたはキー フォブが常に必要です。キー リストに 1 つのキー カードしかない場合は、キーを削除できません。

キー フォブのバッテリーを交換する

アクセサリーのキー フォブには電池が内蔵されており、キー フォブのバージョンや選択した車両設定に応じて、通常使用で最大 1 年持ちます。バッテリー残量が低下すると、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。

キー フォブのバッテリーを交換する:

1. 柔らかい面の上にキー フォブのボタン側を下側にして置き、小さいマイナス ドライバーを使用して底部のカバーを外します。

2. 保持クリップからバッテリーを持ち上げて取り外します。

3. バッテリーの平らな面に触れないようにしながら新しい電池（CR2032 タイプ）を「**+**」側の面を上にして入れます。

   注: バッテリーはきれいに拭いて、平らな面に指を触れないようにして挿入します。バッテリーの平らな面に指紋が付いていると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。

   注: CR2032 電池は、電池を販売している小売店から購入できます。

4. 底のカバーを斜めにしながら、カバー上のつまみをキー フォブ上にある対応する溝に合わせます。それから、カバーをしっかりとキー フォブに押し付け、しっかりと閉めます。
5. Model 3 のロック解除/ロックを実施して、キー フォブが動作するかテストします。

警告: キー フォブの電池は化学火傷を起こす可能性があるので誤飲しないでください。キー フォブにはコイン電池が使用されています。コイン電池を誤飲した場合は、2 時間以内に深刻な体内の火傷が生じる可能性があり、死に至るおそれもあります。新品および使用済みの電池はお子さまの手の届かない場所で保管してください。電池コンパートメントがしっかり閉まらない場合は、電池の使用を中止して、お子さまの手の届かない場所で保管してください。電池を誤飲したり、体内のどこかにあると思われる場合は、すみやかに治療を受けてください。

キーカードおよびキーフォブの交換

キーカードまたはキーフォブを紛失した場合、Tesla ショップで交換品をご購入いただけます。ペアリングの準備ができたら、キーの管理 ページ 23 の手順に従ってください。セキュリティ上の理由から、**「コントロール」** > **「ロック」** > **「キー」** の順に移動して古いキーカードを忘れずに削除してください。

外部ドア ハンドルを使用する

親指を使用してドア ハンドルの幅広の部分を押します。ハンドルが自分の方に旋回してくるので、そのハンドルを引くかドアの端部をつかんで引くことによってドアを開けることができます。

ハンドルは自動的に収納されます。

ドアまたはトランクが開いているとき、タッチスクリーンに「ドアが開いています」のインジケーターが表示されます。

注: 寒冷時に車両のドアハンドル機能を正常に作動させるには、寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 163 を参照してください。

警告: ドア ハンドルを使用するときは、指、ジュエリー、アクリル製ネイルなどがドアまたはドアハンドル機構に挟まれないように注意してください。これを怠ると、怪我や事故につながる恐れがあります。

注意: クロージャ（ドア、リアトランク、またはフロントトランクなど）をバタンと閉めたり、無理に閉めたりすると、保証の対象にならない損傷が生じる場合があります。

車内からドアを開ける

Model 3 ドアは電動です。車内で座った状態でドアを開けるには、ドアを開くように押しながら、内部ドア ハンドルの上部にあるボタンを押します。

注: お子さまが後列座席のドアを開けないようにするには、チャイルドロックをオンにします（チャイルドロック ページ 27 参照）。

注: 万が一、Model 3 が低電圧の電力を喪失した場合、ドア ハンドルの上部にあるボタンを使用してドアを開くことはできなくなります。詳細情報については、電力がない状態でドアを開く ページ 239 を参照してください。

内部からのロックとアンロック

Model 3 の車内に着席した状態で、タッチスクリーン上のロック アイコンにタッチすると、すべてのドアおよびトランクをロック/ロック解除できます。

アイコンの表示は、ドアがロックされているかロック解除されているかを示すように変化します。

お持ちの携帯電話をキーとして有効化している場合、携帯電話が車内にあるか車外にあるかを車両が判断することはできません。Model 3 の車内にいるときに、車外からドアを開けないようにするためにドアをロックしたい場合、ドアを閉じてから、タッチスクリーンのロック アイコンを使用します。これにより、降車後オートロックといった携帯電話によるロック設定が一時的に無効になります。そうしなかった場合、携帯電話がキーとして有効になっているため、たとえモバイル アプリでロック アイコンを押していても、車外のドア ハンドルを引くとドアのロックが解除されます車内からドアを開いた場合、電話キーが検知されている限り、ドアを外側からもう一度開けることができるようになります（詳細情報については電話キー ページ 21 を参照してください）。

降車後オートロック機能

ドアとトランクは、認証された電話キーやペアリングしたキーフォブを携帯して車両から遠ざかると自動的にロックできます（2019 年 10 月 1 日前後以降の発注車両の場合）。この機能をオンまたはオフにするには、**「コントロール」** > **「ロック」** > **「降車後オートロック」**の順にタッチします。

注: Apple Watch をキーとして認証している場合、Apple Watch も降車後オートロックに使用できます。

ドアがロックされると、エクステリアライトが 1 回点滅してミラーが折りたたまれます（「**ミラー折りたたみ**」がオンになっている場合）。Model 3 がロックされているときの確認音を聞くには、**「コントロール」** > **「ロック」** > **「ロック確認音」**の順にタッチします。

注: **「おもちゃ箱」** > **「ブームボックス」** > **「施錠音」**の順にタッチして、車両を外部からロックするときの施錠音をカスタマイズします（歩行者警告システムが必要です）。

Model 3 次の場合、自動的にロックされません。

- **自宅を除く**チェックボックスにチェックを入れ、Model 3 を自宅として設定した場所に駐車します。場所を自宅として設定する方法の詳細については、自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 170 を参照してください。
- Model 3 内で電話キーやペアリングしたキー フォブが検出されている場合。
- ドアまたはトランクが完全に閉まっていない場合。
- 電話キーの Bluetooth 設定がオフになっています。
- 降車して、すべてのドアを 閉めてから数分間、Model 3 が認証済みのキーを検出すると降車後オートロック機能は無効になり、車両を離れてもロックされません。その場合は、次に車両を運転した後まで、手動でロックする必要があります。
- ドライバーが運転席ドアを使用しないで降車した場合。

注: 降車後オートロックが有効な場合であっても、車両がロックされていることを確認するのは、最終的にドライバーの責任です。

走行後オートロック

Model 3 走行速度が時速 8 km を超えると、すべてのドア（トランクを含む）は自動的にロックされます。

運転席ドアロック解除モード

最初に Model 3 をロック解除するときは、**「コントロール」** > **「ロック」** > **「運転席ドア ロック解除モード」**の順で有効化した場合に限って運転席ドアのロックが解除されます。キーが車両の運転席側にはあって助手席側にはない場合、運転席ドアのロックだけが解除されます。残りのドアをロック解除するためには、車内側の運転席ドアハンドルの上部にあるボタンを長押しするか、タッチスクリーンまたはモバイルアプリを使用するか、またはキー フォブをもう一度押します。

車両閉め忘れ通知

ドア、トランク、窓が開いたままになっているか、Model 3 が誤ってロック解除されたままになっている場合に、モバイル通知を受けるためには、**「コントロール」** > **「ロック」** > **「車両閉め忘れ通知」**の順にタッチします。

チャイルドロック

Model 3 はリア ドアにチャイルドロックを搭載しており、インテリア リリース ボタンでドアが開かないようにすることができます。タッチスクリーンで、**「コントロール」** > **「ロック」** > **「チャイルド ロック」**の順にタッチします。**「両方」**を選択して後部ドアの両方にチャイルド ロックをかけるか、**「左」**または**「右」**を選択して、特定のドアだけをオンにすることができます。

警告: 後部座席にお子さまを乗せている場合は、チャイルド ロックをオンにすることを推奨します。

パーキング時にロック解除

Model 3 を停止してパーキングにシフトすると、すべてのドアをロック解除することを選択できます。この機能をオンまたはオフにするには、**「コントロール」** > **「ロック」** > **「パーキング時にロック解除」**の順にタッチします。

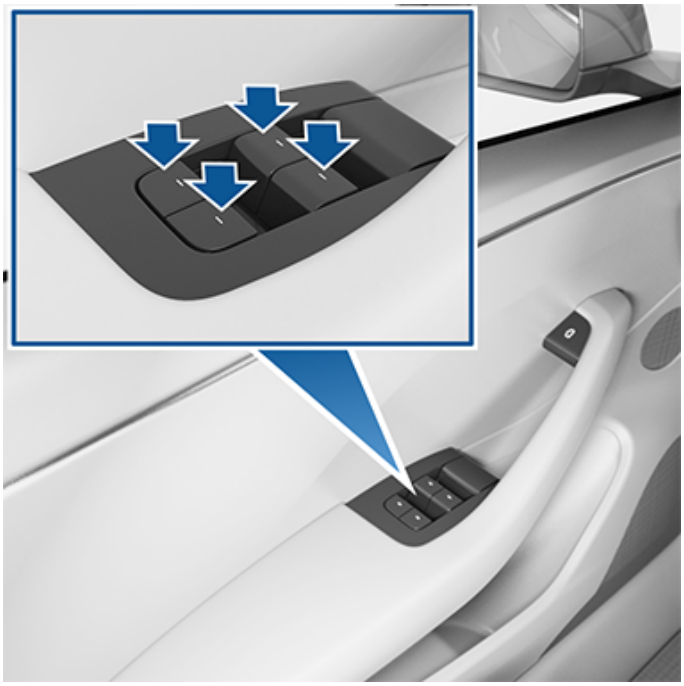
開閉

注: お客様の責任において、車両のロック後は、窓が閉じていることを確認してください。

スイッチを押して、対応するウィンドウを下げます。スイッチの操作には 2 段階あります。

- ウィンドウを完全に下げるには、スイッチを下まで完全に押してすぐに放します。
- ウィンドウを途中まで下げるには、スイッチを軽く押して希望の位置まで下がったらスイッチを離します。

注: 窓が完全に開いているときにそのドアを開こうをした場合、窓は少しだけ閉じます。同様にドアが既に開いているときに窓を全開にしようとした場合、窓はドアの端部から少しだけ上の場所で停止します。ドアが開いているときに窓を完全に開くには、スイッチをもう一度押します。



同様に、スイッチを引いてウィンドウを一番上まで上げます。

- ウィンドウを完全に下げるには、スイッチを下まで完全に押してすぐに離します。
- ウィンドウを途中まで上げるには、スイッチを軽く引いて希望の位置まで下がったらスイッチを離します。

注: 低温時には、ドアを開けやすくし、凍結を防ぐために、ウィンドウが完全に閉まる際に車両のトリムよりわずかに下で停止します。

ウィンドウを意図せずに開いたままにしておくと、Model 3 がモバイル アプリに通知を送信できるように設定できます（**「コントロール」** > **「ロック」** > **「開放ドア放置通知」**の順にタッチして、**「ドアとウィンドウ」**を選択します）。

また、**ロックしてウィンドウを閉めます**を有効にするには、**「コントロール」** > **「ロック」** > **「ロックしてウィンドウを閉めます」**の順にタッチします。有効にすると、Model 3 をロックした時に自動的にウィンドウを閉じます。

注: ウィンドウを寒冷時に備える際の情報は寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 163 を参照してください。

注意: ドアを開閉する際は、損傷を避けるためにウィンドウが自動的に少し下がります。ドアを開けるときにウィンドウを手動で上げた場合、ドアを閉じる際にウィンドウが少し下がることを確認してください。

警告: ウィンドウを閉める前に、すべての乗員、特にお子さまの身体の一部がウィンドウの外に出ていないことを確認してください。確認を怠ると、大けがにつながる可能性があります。

リアウィンドウをロックする

リア ウィンドウ スイッチを使用できないようにするには、**「コントロール」** > **「ロック」** > **「ウィンドウ ロック」**にタッチします。リア ウィンドウのロックを解除するには、**「ウィンドウ ロック」**を再度タッチします。

警告: 安全確保のため、後部座席にお子さまが乗っている場合は、リア ウィンドウ スイッチをロックすることをお勧めします。

警告: お子さまを付き添いなしで Model 3 内に放置しないでください。

ウィンドウのキャリブレーション

ブライト モールディングに触れたり、適切に開閉できなかったり、ドアが開いたときに通常よりも下がったりするなど、予期しない動作が発生した場合は調整して問題を解決することができます。

ウィンドウをキャリブレーションする方法:

1. 問題のあるウィンドウのドアを閉めます。
2. 運転席シートに座り、ドアを閉めます。
3. 運転席ドアのウィンドウ スイッチを使用して、該当するウィンドウが止まるまでウィンドウを**上げます**。
4. 運転席ドアのウィンドウ スイッチを使用して、該当するウィンドウが止まるまでウィンドウを**下げます**。
5. 手順 3 を繰り返し、該当するウィンドウが止まるまでウィンドウを**上げます**。

これでウィンドウのキャリブレーションが終了しました。キャリブレーション手順を踏んだ後でも問題が解決されない場合は、Tesla に連絡してください。

UV インデックス評価

Model 3 のルーフ、フロント ガラスおよび窓は、人を UV 光線（紫外線）から保護する能力に優れています。これらのガラス製部品は 2 未満の UV インデックス スケールを得ています。詳細については地域の UV インデックス仕様を確認してください。なお、太陽光線保護のために必要な予防措置を取る責任は引き続きあります。

開ける

リア トランクを開くには、Model 3 がパーキングになっていることを確認して、次のいずれかの操作を行います。

- 電話キーを前ポケットに入れてトランクに近づきます（ハンズフリー トランク ページ 30 参照）。
- タッチスクリーンで、対応する**「開く」**ボタンをタッチします。
- キー フォブのリアトランクボタンをダブルクリックします。
- モバイル アプリのリア トランク ボタンをタッチします。
- リアトランクのエクステリア ハンドルの下にあるスイッチを押します（有効なキーが検出されている必要があります）。

注意: 閉鎖されたエリア（ガレージなど）でリアトランクを開く前に、リアトランクを開いたときの高さが適切に調整されていて低い位置にある天井やその他の物体にぶつかることがないことを確認してください（電動トランクの開放時高さの調整 ページ 31 参照）。

Model 3 このスイッチを使用してリアトランクを開くには、ロック解除するかキーを検知している必要があります。

ドアまたはトランクが開いているとき、タッチスクリーンに「ドアが開いています」のインジケーターが表示されます。タッチスクリーンに表示される Model 3 の画像でトランクが開いた状態を示します。

注意: クロージャ（ドア、リアトランク、またはフロントトランクなど）をバタンと閉めたり、無理に閉めたりすると、保証の対象にならない損傷が生じる場合があります。

注意: アフターマーケット製アクセサリーを電動トランク（装備されている場合）に取り付けて重量が増加すると、自動で閉まったり、予期しない動作をするおそれがあります。これにより生じた損傷や必要となる修理は、保証対象外となります。

Model 3 の電源が全くない状況で、内側からリアトランクを開ける方法については、トランク内にある緊急トランク リリース ページ 31 を参照してください。

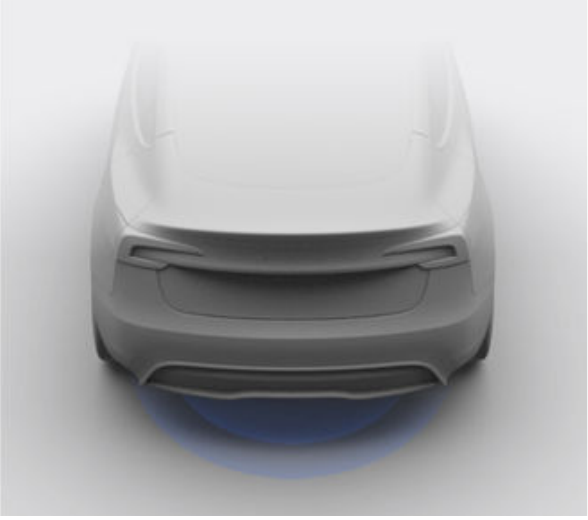
ハンズフリー トランク

ボタンを押さずにトランクを開けることができます。

注: *超広帯域 (UWB) をサポートする iOS または Android デバイスと、Tesla モバイル アプリ 4.29.5 以上 (iOS の場合)、または Tesla モバイル アプリ 4.41.0 以上 (Android の場合) が必要です。お使いの iOS または Android 機器の製造元のウェブサイトの仕様セクションを参照して、携帯電話がバックグラウンド UWB に対応しているかどうかを確認してください。*

電話の設定で、「近くの機器との連係」が Tesla モバイル アプリに対して許可されていることを確認します。電話キーがすでにペアリングされている場合は、Tesla モバイル アプリを開き、**「電話キー」** > **「アップグレード」**に進みます。

1. 有効にするには、**「コントロール」** > **「ロック」** > **「ハンズフリー トランク」**の順にタッチします。設定した自宅住所で自動ハンズフリー トランクを無効にするには、**「自宅を除く」**を選択します（自宅住所を設定するには自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 170 を参照）。
2. 電話キーを前ポケットに入れて、トランクに近づいて**静止します**。電話キーが検出されると、Model 3 からチャイムが鳴り、トランクが開きます。リクエストをキャンセルするには、車から離れてください。



注意: トランク内に電話機を置いたままにしないでください。トランクが勝手に開くおそれがあります。車内に電話機を置いたままにしなければならない場合は、Bluetooth を無効にするか、電話機の電源をオフにし、車両のロック/ロック解除を行うことができる別の方法を用意してください（キー ページ 21 参照）。

警告: トランクを(手動による操作を行わず)自動で開くときは、まずトランクの周囲に障害物(人や物など)がないか確認してください。人や物と接触しないようにトランクの動きを常に監視してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

電動トランクの開放時高さの調整

トランクの開口高さをカスタマイズし（装備されている場合）、それをデフォルトとして保存するか、ガレージなどの特定の場所で使用するよう保存します。

1. 開口高さを設定するには、タッチスクリーンを使用して、トランクが動いている間に一時停止します。または、手動でリアトランクを下げたり上げたりして希望する高さに調整します。
2. 希望する高さを保存するには、タッチスクリーンの表示されるプロンプトに従うか、または確認音が鳴るまでリアトランクの下側にあるボタンを長押しします。

3. トランクの開口高さを工場出荷時の設定にリセットしたり、保存した場所を消去したりするには、**「コントロール」** > **「サービス」** > **「保存された場所を削除」**に移動します。

注意: 構成（ホイール選択など）に応じて、車両のリア トランクを最大で約 6.5 フィート（2 m）まで開くことができます。リア トランクの高さを調整して、低い位置にある天井やその他の物体に当たらないようにします。

閉める

- タッチスクリーンで、対応する**「閉める」**ボタンをタッチします。
- キー フォブのリアトランクボタンをダブルクリックします。
- 下側にあるスイッチを押します リアトランク

警告: 運転する前に、トランクの前端を持ち上げてみて、ラッチがしっかり閉じられていることを確認してください。

貨物エリアへのアクセス

リア トランクのカーゴ エリアにアクセスするには、カーゴ カバーを引きます。これで、Model 3 のカーゴカバーを前方に折りたたんだり、取り外すことができます。

Model 3 を走行する前は、積荷をすべて固定し、重い積荷はトランクの下部に置くようにしてください。

リアトランク積載限度

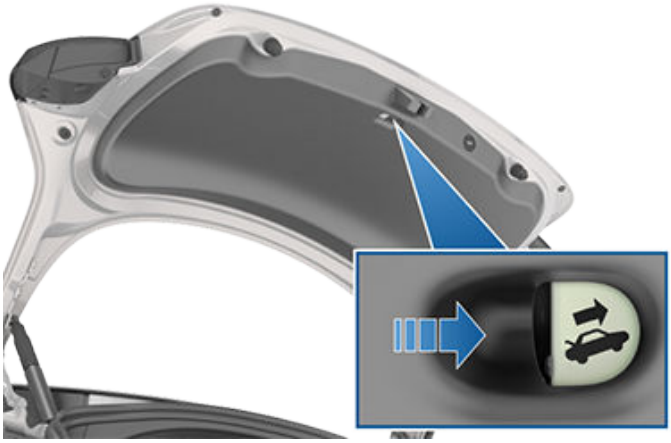
積載物の重量は、前後のトランクでできる限り均等に配分されるようにしてください。

注意: リアトランクの下部コンパートメントに重量 88 ポンド（40 kg）を超える荷物を載せたり、上部コンパートメント（下部コンパートメント カバーの上）に重量 198 ポンド（90 kg）を超える荷物を載せたりしないでください。さもないと、車に損傷を与える恐れがあります。

警告: 荷物を載せるときは、必ず車両の車両総重量（GVWR）を考慮してください（仕様 ページ 218 参照）。GVWR は、すべての乗員、フルード、および貨物を含む車両の最大許容総質量です。

トランク内にある緊急トランク リリース

また、Model 3 の電力が失われた場合、リア トランク内側にある照明付き機械式リリースを使えば、閉じ込められても内側から開けることができます。中に人が閉じ込められた場合は機械式リリースで脱出することができます。



1. 点灯したボタンを矢印方向にしっかり長押しすると、ラッチが解除されます。
2. このボタンを押しながらリア トランクを押すと開きます。

注: このボタンは外光に短時間当たった後、数時間光ります。

警告: お子さまをトランクの中で遊ばせたりしないでください。閉じ込められる恐れがあります。お子さまにシートベルトを着用させないと、事故にあった際重度の怪我または死亡事故につながるおそれがあります。特に空調機能が作動してない場合、お子さまが車両に閉じ込められると熱中症にかかり、または死亡に至るおそれがあります。

開ける

フロント トランクを開くには、Model 3 を確実にパーキングにシフトさせ、次のいずれかの操作でフードを引き出します。

- タッチスクリーンで、対応する**「開く」**ボタンをタッチします。
- キー フォブのフロント トランク ボタンをダブルクリックします。
- モバイル アプリのフロント トランク ボタンにタッチします。

ドアまたはトランクが開いているとき、タッチスクリーンに「ドアが開いています」のインジケーターが表示されます。タッチスクリーンに表示される Model 3 の画像でフロントトランクが開いた状態を示します。

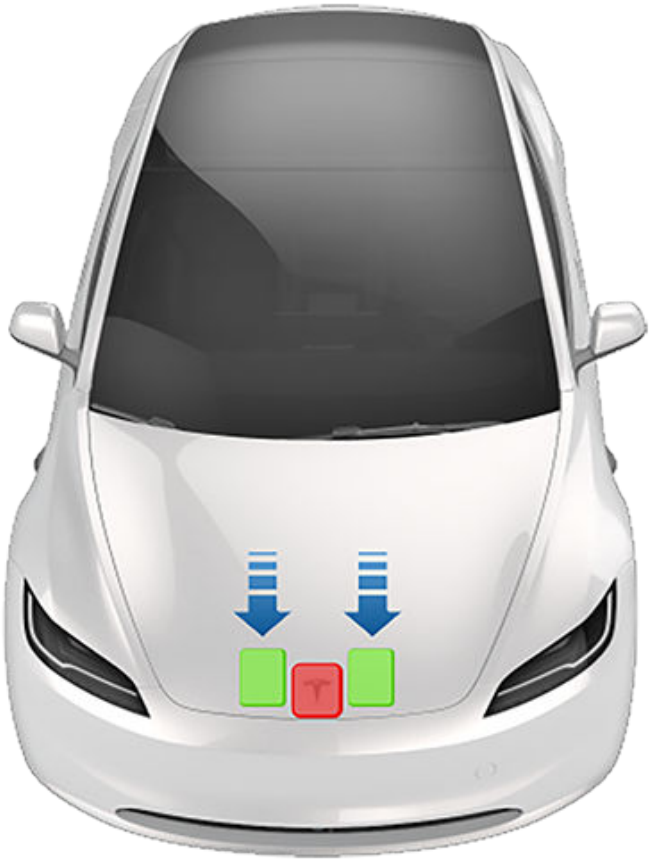
警告: ボンネットの開け閉めをする前に、ボンネット周囲に障害物 (人や物) がないことを確認してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

閉める

Model 3 ボンネットは自重でラッチがかかるほどの重量はありません。ボンネット フロント端部または中央を無理に押すと損傷することがあります。

ボンネットの正しい閉め方:

1. フードがラッチに触れるまでボンネットを下げます。
2. ここで示すように (緑色の箇所) 、両手をフードのフロント部分に置き、しっかりと押し下げてラッチにはめ込みます。
3. 慎重にフードのフロント端部を持ち上げてしっかりと閉まっていることを確認します。



注意: 認証済みの携帯電話をフロントトランク内に残したままにしないでください。

注意: 損傷を避けるために:

- ここで示す緑色の部分以外には力を加えないでください。赤色の領域に無理な力を加えると、損傷することがあります。
- ボンネットは片手で閉めないでください。片手で閉めると力が一個所に集中し、凹みや波打ちの原因となります。
- ボンネット前端には圧力をかけないでください。圧力をかけると、前端が曲がる恐れがあります。
- ボンネットを強く閉めたり、落としたりしないでください。
- スクラッチを避けるため、手には何も持たないでください（キー）。宝飾品もスクラッチの原因になります。

警告: 運転する前に、ボンネット前端をゆっくりと持ち上げてみて、フードが完全に閉じられた位置でラッチがかかり、動かないことを確認してください。運転前にフロントトランクがきちんと閉まっていることを確認することは、ドライバー責任です。

フロントトランクが開いたままになった状態でパーキングからシフトしようとすると、タッチスクリーン上に運転する意思を確認する通知が表示されます。運転中にフロントトランクを開いたままにすることを選択した場合、車速は制限されます。

以下の場合、フロントトランクがロックします。

- タッチスクリーン、キーまたはモバイル アプリを使用して Model 3 をロックした場合。
- キーを携帯して Model 3 から離れた場合（降車後オートロック機能 ページ 27 はオン状態）。
- バレーモードが有効な場合（バレーモード ページ 94 を参照）。

積載制限

荷物を積むときは、荷物の重量をフロント トランクとリア トランクの間でできるだけ均等に分散し、常に車両の車両総重量（GVWR）を考慮してください（仕様 ページ 218 を参照）。GVWR は、すべての乗員、フルード、および貨物を含む車両の最大許容総質量です。

注意: フロントトランクには絶対に 110 ポンド（50 kg）を超える荷物を積まないでください。さもないと、車に損傷を与える恐れがあります。

内部緊急解除

人がフロントトランクに閉じ込められても、トランク内でリリース ボタンのイルミネーションが点灯するため脱出することができます。

内部解除ボタンを押して、フロントトランクのラッチを解除し、ボンネットを押し上げます。

注: トランク内のリリース ボタンは、周囲からの光を受けたあと、しばらくの間は点灯します。

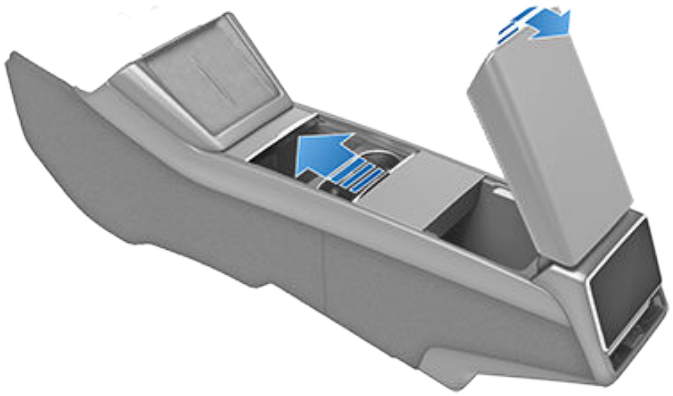
警告: フロントトランクには入らないでください。フロントトランクに人を入れて閉めないでください。

警告: フロント トランクに荷物を入れるときは、荷物がリリース ボタンに接触してフードが開いてしまうことのないよう注意してください。

センターコンソール

センター コンソールにはキー カード（キー ページ 21 参照）を読み取る RFID 送信機のほかに、カップ ホルダー、2 つの収納コンパートメント、さまざまな充電器（車内の電子装備品 ページ 11 参照）、リア タッチスクリーン（搭載車の場合）が格納されています。

メイン収納コンパートメントを開くには、フロント リップの下にあるラッチをひねります。カバーを前方にスライドさせて、フロント収納コンパートメントを開きます。



警告: センターコンソールを開けるときは、開口部の端やヒンジに手や指を近づけないでください。開口部やヒンジの近くに手や指を置くと、怪我をする恐れがあります。

リア コントロール

Model 3 には 2 列目シート背もたれ中央にリア コンソールが搭載されています。コンソールを引き下げると、リア カップ ホルダーにアクセスできます。これはアームレストとしても 使用できます。

注: リア コンソールは一定の状態で自発的にロックして、下げることができなくなります。例えば、急な坂道を走行している場合や急加速をした場合です。

グローブボックス

グローブボックスを開けるには、**「コントロール」** > **「グローブボックス」**の順にタッチします。グローブボックスが自動的に開き、ライトが点灯します。

グローブボックスを閉じるには、ラッチが閉じる位置まで上に押します。

グローブボックスのセキュリティを強化するには、**「コントロール」** > **「安全」** > **「グローブボックス PIN」**の順にタッチして、4 桁の PIN（グローブボックス PIN ページ 149 参照）を設定します。

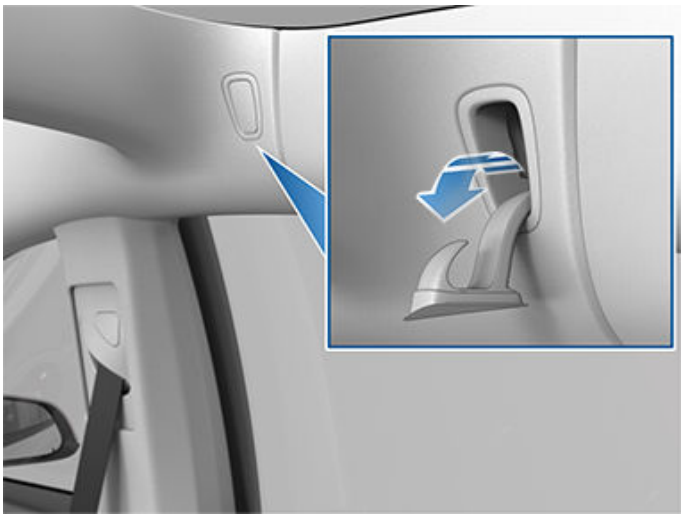
注: グローブボックスを開いたままにすると、しばらくするとそのライトは消えます。

注: グローブボックスが常にロックされるのは、グローブボックスを閉じた場合、モバイルアプリ、キーカードを使用して Model 3 をロックした場合、携帯電話キーを携行して Model 3 を降りた場合（ウォークアウェイ ドア ロックがオンであれば）、「バレー」モードがオンの場合です（バレーモード ページ 94 参照）。タッチスクリーン上のロックアイコンをタッチして Model 3 をロックする時には、グローブボックスはロックされません。

警告: 走行時はグローブボックスを閉め、衝突発生時や急停車時に乗員が負傷しないようにしてください。

コートハンガー

Model 3 には車両 2 列目両側のリア ウィンドウの上、にコートハンガーが装備されています。コートハンガーを押すとリリースされます。再び押すと格納されます。



シートボタンを使用してフロントシートを調整する

側面にボタンが付いているフロント シートにのみ適用されます。デザインは車種によって異なる場合があります。

1. シートを前後に動かし、シートの高さを調節し、傾斜角を増減させます。
2. バックレストを調整します。
3. ランバー サポートを調整します。

タッチスクリーンを使用して助手席を調整する場合、**「コントロール」** > **「シート」**にタッチし、助手席イラストの隣にある矢印を使用して座席を前後に移動します。

注意: シートが最完全に前方にあるときは、フロント シートの背もたれを前方に完全に動かさないでください。シートの上部がサンバイザーに当たって破損するおそれがあります。

警告: フロント シートを調整する前に、シートの周りに何もないことを確認してください（人や荷物など）。

警告: 運転中にシートの調整をしないでください。事故につながる恐れがあります。

警告: 走行中にリクライニングしたシートに座っていると、衝突時に乗員が腰ベルトの下に潜り込んだりシートベルトに巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。車両走行時は必ず、シートのリクライニングを 30°未満にしてください。

タッチスクリーンを使用してフロントシートを調整する

側面にボタンが付いていないフロント シートにのみ適用されます。

フロントシートを調整するには、下部バーのシートアイコン、または**「コントロール」** > **「シート」**にタッチします。タッチスクリーンを使用して、運転席および助手席を調整できます。運転席は、左側のスクロールホイールでも調整できます。

シートのキャリブレーション

運転席のキャリブレーションを実行できます。この機能は、シートの可動範囲が制限された場合や、ドライバーのプロフィールによる専用シート調整の自動実行がされていない場合に役立ちます。**「コントロール」** > **「サービス」** > **「運転席、ハンドルおよびミラーのキャリブレーション」** の順に移動し、タッチスクリーン上の指示に従ってください。

警告: キャリブレーション中は、運転席の後部や下に何もないことを確認してください。これらを怠ると、重傷を負うおそれがあります。

正しい運転位置

シート、ヘッドレスト、シートベルト、エアバッグはそれぞれ連動しており、乗員の安全性を最大限に確保するようになっています。これらの機能を正しく使用することで、保護性能を向上させることができます。

シート位置を正しく設定すると、フロントエアバッグからできるだけ離れた位置でシートベルトを正しく装着することができます。

1. 上体を起こし両足をフロアに着けた状態で着座し、シートの背もたれを直立位置にします。

2. ペダルに足が十分に届き、ハンドルを握ったとき腕が少し曲がることを確認します。胸がエアバッグカバーの中央から 10 インチ（25cm）以上離れるようにしてください。
3. シートベルトの肩ベルトが乗員の首と肩の間を通るようにします。シートベルトの腰ベルトが腹回りに通らず腰回りに密着するように装着します。

Model 3 シートにはヘッドサポートが組み込まれていますが、これは調整や取り外しができません。

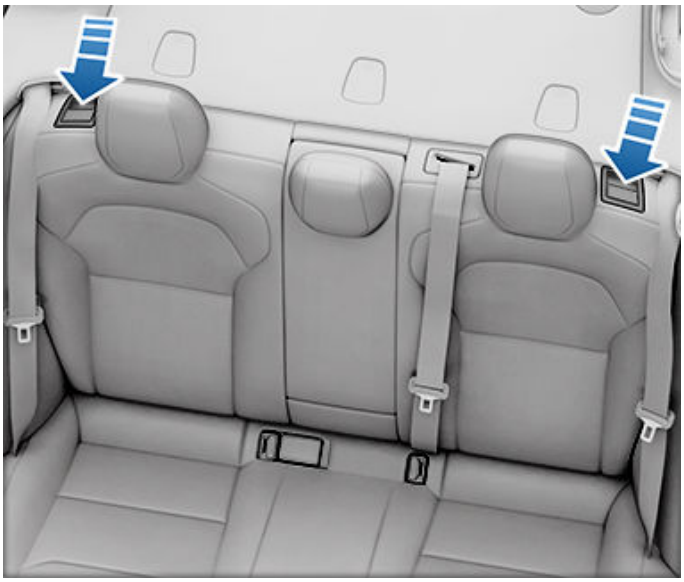
リアシートの折りたたみ

Model 3 スプリット リアシートは前方へ折りたたむことができます。

注: リアシートを前に折りたたんで走行すると、車両後部（トランク、サスペンションなど）からの騒音や振動が増加する場合があります。

注意: シートを完全に折りたたむ前に、シートベルトが外されていて、シートに物が残っていないことを確認してください。

折りたたむ前に、シートやリアシートの足元スペースから物を取り除いてください。リアシートバックを完全に平らにするには、フロントシートを前方へ移動させる必要がある場合もあります。



リアシートを折りたたむには、折りたたみ用のレバーを引き、シートを前方へ倒します。

警告: 荷物を収納したり配置するためにリアシートを取り外さないでください。これにより低電圧および高電圧の接続が露出し、車両の損傷や重症を引き起こす可能性があります。

リアシートの引き上げ

リアシートを引き上げる前に、シートベルトがバックレストの裏側に引っかかっていないことを確認します。

シートバックを上方へ引き、所定の位置にロックさせます。

シートバックを前方へ引き、直立位置でロックされていることを確認します。

警告: シートバックを直立位置に戻した際には、前後に押してロックされているか確認します。これを怠ると怪我をする危険が増します。

ヘッドサポート

フロント シートおよび 2 列目シートに装備されている組み込みヘッド サポートは調整することができません。

シートヒーター（装備されている場合）

フロントおよびリアシートは、3（最高）から 1（最低）までの 3 段階で動作します。シート ヒーターの操作方法については、空調を操作する ページ 156 を参照してください。

警告: 長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシート ヒーターの使用の際に十分注意してください。

シートカバー

警告: フロント シートにシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。また、車両に助手席用フロントエアバッグの状態を判断するために使用される乗員感知システムが装備されている場合、シートカバーがこのシステムの妨げになることがあります。

シートベルトの着用

シートベルトとチャイルドシートは、衝突の発生時に乗員を保護する最も効果的な手段です。したがって、シートベルトの着用はほとんどの地域で義務づけられています。

すべてのシートには、3 点式イナーシャリールシートベルトが装備されています。慣性リールベルトは、通常の運転状況で乗員が快適に移動できるよう自動的に張力がかかるようになっています。チャイルドシートを安全に固定するために、すべての乗員シート位置には自動ロック式リトラクター（ALR）機能が装備されており、一般的な成人の乗員に必要な長さを超えてシートベルトをすべて引き出すと、バックルが解除されるまでベルトを所定の位置で固定します（シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける ページ 45 を参照）。

シートベルト リールは、Model 3 が急加速、ブレーキング、コーナリング、または衝突の衝撃に伴う力を受けると、乗員の動きを抑えるために自動的に締め付けられてロックします。

シートベルト リマインダー

タッチスクリーン上のシートベルト リマインダーは、座席にいる乗員がシートベルトを着用していない場合に警告を出します。すべての乗員がシートベルトを外したにもかかわらずリマインダーがオンのままの場合は、シートベルトが正しく着用されていることを確認するために再度着用し直します。また乗員がいない座席から重い物 (書類かばんなど) を移動してください。リマインダー ライトが点灯したままになっている場合は、サービスを予約し、問題が解決するまでシートの使用を控えてください。

リア シートの位置に関連付けられているシートベルト リマインダーを一時的に無効化にすることができますこれは、リア シートに物を載せて運んでいるときに、シートベルト リマインダーの警告がトリガーされる状況で便利です。リマインダーを無効化するには、シートベルト リマインダーが有効になっているときにタッチスクリーンに表示されるシートベルト リマインダー ポップアップ メッセージ上の関連付けられているシートをタッチします。リマインダーが無効になっている場合、シートベルト リマインダー アイコンはチャイルドシート アイコンに置き換えられ、ポップアップ メッセージでシートをタッチしてリマインダーを再度有効にするまでその状態が続きます。

警告: 座席に乗員がいるときは、シートベルト リマインダーを無効にしないでください。

警告: シートベルトは、座席にいるすべての大人の乗員が着用する必要があります。

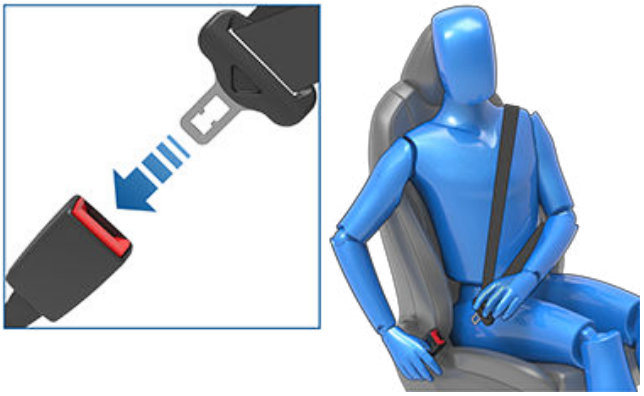
注: 法令で後部座席にシートベルト リマインダーが必要な地域の場合、これらのリマインダーを無効にすることはできません。物体が検出された場合に乗員のいない座席のリマインダーをキャンセルするにはシートベルトを締めるか、その物体を取り除く必要があります。

シートベルトを着用するには

1. 座席の正しい位置を確認します。ドライバーシートの正しい位置に関する詳細は、正しい運転位置 ページ 37 を参照してください。
2. シートベルトをスムーズに引き出して、シートベルトが骨盤、胸、鎖骨の中間点の上、首と肩の間に平らに位置するようにします。シートベルトが正しく取り回され、ねじれていないことを確認します。シートベルトまたはシートベルト コンポーネントの上には絶対に座らないでください。

   警告: シートベルトがねじれていたり、正しく取り回していないと、シートベルトが損傷したり、シートベルトシステムの機能に支障をきたすおそれがあります。

3. ラッチプレートをバックルの中にカチッという音がするまで差込みます。

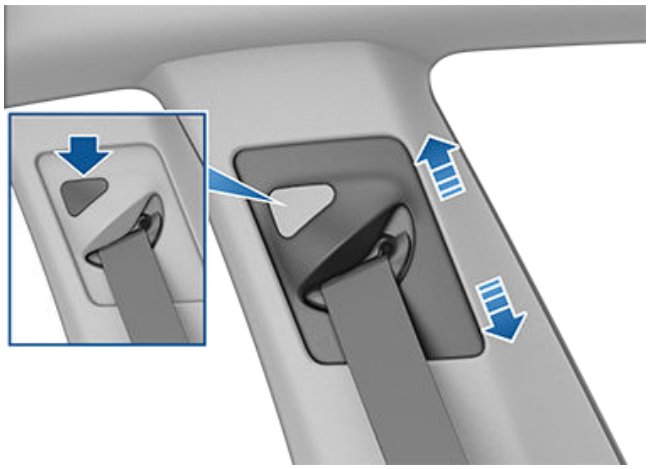


4. シートベルトを引いて、安全に固定されたことを確認します。
5. シートベルトの対角線部分をリールに向かって引き、余分な緩みを取り除きます。

ショルダー アンカーの高さを調整するには

Model 3 には各フロントシートに調節可能なショルダーアンカーが装備されており、シートベルトを正しい位置で装着できます。シートベルトは、運転時の正しい位置（正しい運転位置 ページ 37 を参照）にある場合、鎖骨の中間点を横切って平らになるように設計されています。シートベルトが正しい位置になっていない場合は、ショルダー アンカーの高さを調整します。

1. ショルダー アンカーのボタンを押さえたままロック機構を解除します。
2. ボタンを押したまま、必要に応じてショルダー アンカーを上下に動かして、シートベルトを正しく配置します。



3. ショルダー アンカーのボタンを放して所定位置にロックします。
4. ボタンを押さずに、シートベルトのベルト部分を引っ張り、ショルダー アンカーを下に動かして、所定位置にロックされていることを確認します。

警告: 運転前にシートベルトが正しい位置にあり、ショルダー アンカーが所定位置にロックされていることを確認します。シートベルトが正しい位置にないか、ショルダー アンカーが所定位置にロックされていない状態で動いている車両に乗っていると、衝突時のシートベルトの効果が低くなる可能性があります。

シートベルトを外すには

シートベルトが速く巻き込まれすぎないようにするために、バックル近くのシートベルトを持ち、バックルのボタンを押します。そうすることで、シートベルトが自動的に巻き込まれます。シートベルトが完全に巻き込まれるのを妨げる障害物がないことを確認します。シートベルトが緩んでぶら下がった状態にならないようにします。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、サービスを予約してください。

妊娠中の女性がシートベルトを着用するとき

腰ベルトは、腹部のふくらみを避け腰骨のもっとも低い位置にくるように調整します。肩ベルトは胸の中央を通るようにします。詳しくは医師の指示に従ってください。

警告: シートベルトが不快な場合は、シートベルトを正しく装着しないのではなく着座位置を調整してください。

警告: 衝突事故が発生した場合の衝撃を和らげようとして、人とシートベルトの間に絶対に物を入れないでください。

シートベルトプリテンショナー

フロント シートベルトには、前方向からの激しい衝突の際にエアバッグと連動して作動するプリテンショナーが装備されています。プリテンショナーはシートベルト下部アンカーとアッパー ショルダー ウェビングの両方を巻き込み、腰ベルトと肩ベルトの緩みを減らし、乗員の前方への移動を減少させます。

プリテンショナーとエアバッグが衝突時に作動しなかった場合、故障ではなくこれらの作動条件を満たすほどの強い衝撃が存在しなかったこと意味します。

後列の窓側シートには人が前に飛び出すことを抑えるため、シートベルトストラップを巻き取るためのショルダープリテンショナーが装備されています。

警告: プリテンショナー アセンブリを曲げたり、上に座ったり、妨害しないでください。そうすることでシートベルト システムの適切な機能を妨げる損傷を引き起こすおそれがあります。

警告: シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。一度作動したら、交換する必要があります。衝突事故の後、エアバッグ、シートベルトプリテンショナー、すべての関連コンポーネントなど異常がないか確認し、必要に応じて交換してください。

シートベルトのテスト

シートベルトが正しく作動することを確認するため、各シートベルトで以下の点検を行ってください。

1. シートベルトを締結している状態で、バックルに最も近いストラップを素早く力強く引きます。バックルはしっかりとロックされたままでなければなりません。
2. シートベルトを締結している状態で、ドアに最も近いウェビングを素早く力強く引きます。恒久的なシートベルト固定具はしっかりとロックされたままにしておく必要があります。この添付ファイルは絶対に削除しないでください。
3. シートベルトを外した状態で、ストラップを限界まで引き出します。引き出し操作がスムーズに行えることを確認し、ストラップに摩耗や損傷がないか確認します。ストラップを引き込ませて、引き込みがスムーズで完全であることを確認します。
4. ストラップを半分引き出した状態で、バックルを持ち、前方に素早く引きます。シートベルトが自動的にロックし、それ以上引き出せなくなったことを確認します。

シートベルトがこれらのテストのいずれかに合格しない場合、ただちに修理してください。故障したシートベルトの付いている座席には人を座らせないでください。

シートベルトのクリーニングについての詳細は、シートベルト ページ 207 を参照してください。

シートベルトに関する警告

警告: シートベルトは、短距離の運転であっても、すべての乗員が必ず着用しなければなりません。シートベルトを正しく着用しないと、衝突事故が発生した場合にけがや死亡事故につながる恐れがあります。

警告: 小さなお子さまは、オーナーズマニュアルに記載されているように、適切なチャイルドシートにしっかり座らせてください。取り付ける際は、必ずチャイルドシート製造元の取扱説明書の指示に従ってください。

警告: すべてのシートベルトが正しく着用されていることを確認してください。シートベルトを正しく着用しないと、衝突事故が発生した場合に負傷や死亡事故につながる危険性が増大します。

警告: シートベルトコンポーネントの上に座らないでください。そうした場合、安全具が損傷したり、不適切に展開する可能性があります。

警告: ペン、鍵、眼鏡など硬くて先端が尖った物、壊れやすい物を入れた衣服の上からシートベルトを着用しないでください。

警告: ストラップがねじれた状態でシートベルトを着用するのは避けてください。

警告: シートベルトは乗員 1 人につき 1 本使用します。お子さまを膝の上に乗せたまま、シートベルトを着用するのは危険です。

警告: 衝突事故発生時に着用されたシートベルトは、目視で損傷が確認できない場合でも、必ず Tesla または認定修理施設に点検または交換を依頼してください。

警告: シートベルトに摩耗の兆候がある、もしくは何らかの切り込みまたは損傷がある場合は、ただちに交換してください。

警告: シートベルトを化学物質、液体、埃、ゴミ、または洗浄液等で汚さないようにしてください。シートベルトが巻き込まない、またはバックルで固定できない場合は、ただちに交換する必要があります。モバイル アプリを使用してサービス予約をする。

警告: シートベルトの緩みを除去することを妨げる、またはシートベルトが緩みを調整することを妨げるような部品の追加や改造はしないでください。シートベルトの緩みが大きいと、乗員の保護が十分にできません。

警告: シートベルトの操作を妨げる、または操作に影響を与えるような改造はしないでください。

警告: シートベルトには、快適性や利便性を高めるために後付け製品を使用しないでください。

警告: シートベルトは、未使用時に完全に巻き込まれ、緩みのない状態である必要があります。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、サービスを予約してください。

警告: シートベルト システムにはユーザーが整備することができる部品はなく、火薬類が使用されている可能性があります。構成部品の分解、取り外しおよび交換はしないでください。

お子様を乗せるときのガイドライン

Model 3 シートベルトは大人や比較的大きなお子さま向けに設計されています。乳幼児または小児を固定するのは 2 列目シートだけにしてください。また、お子さまの年齢、体重、身長に合ったチャイルドシートを使用してください。

警告:「作動可能状態のエアバッグ」が前にあるシートでチャイルドシートを使用するのは絶対に避けてください。お子さまが大けがをしたり死亡事故につながる危険性があります。エアバッグ ページ 49 を参照してください。

警告: 2 列目にお子さまが座っているときに、ドライバーズプロフィールで**イージーエントリー**を設定しないでください。特に、お子さまが前向きのチャイルド シートやブースター シートに座っているときにその設定になっていると、運転席シートがお子さまを圧迫してしまう恐れがあります。この設定を使用しているときに、Model 3 に頼って 2 列目シートに着座しているお子さまの確認および適応を行わないでください（ドライバー[#10]プロフィール ページ 93 を参照）。

サンバイザーにあるラベルをお読みください。

注: 以下に示す画像は見本であり、実際の車両のラベルとは異なる場合があります。

Model 3 は、助手席に乗員センサーを備え、フロントエアバッグの状態をコントロールしています（エアバッグ ページ 49 参照）。

お子さまを助手席に乗せて運転する前に、助手席フロント エアバッグの状態がオフになっていることを必ずチェックしてください。

次回助手席に大人が乗る場合は、フロント助手席のエアバッグを必ず ON に戻してください。

警告: お子さまが助手席に乗車するとき、フロント エアバッグを OFF になっていることを確認することはドライバーの責任です。チャイルドシートを所定位置に設置した状態で助手席フロントエアバッグを非作動にすることができなかった場合は、お子さまおよびチャイルドシートをリアシートに配置し、モバイル アプリを使用してただちにサービス予約をしてください。

警告: 走行前に、必ずすべての Model 3 シートが直立位置にロックされていることを確認してください。これを怠ると怪我をする危険が増します。タッチスクリーンに表示されているすべての警告に注意を払ってください。

チャイルドシートを選ぶ

12 歳以下のお子さまは、2 列目、3 列目座席をご利用ください。常に、小さなお子さまの年齢と体重に合ったチャイルドシートをご利用ください。以下の表は、米国運輸省道路交通安全局（NHTSA）が判断したチャイルドシートの推奨に基づいています（詳細情報については、www.nhtsa.gov/ChildSafety/Guidance を参照してください）。

カテゴリー	乳幼児	幼児	小さなお子さま
年齢	1 歳未満*	1 歳以上*	4 歳以上で身長 145 cm 未満
重量	20 ポンド（9 kg）未満**	20 ポンド(9 kg)以上、40 ポンド(18 kg)未満*	40 ポンド（18 kg）以上

カテゴリー	乳幼児	幼児	小さなお子さま
チャイルドシートの種類	後ろ向き (または前後回転式)	前向き (または前後回転式)*	シートベルト保持式ブースターシート
シート位置	後ろ向き専用*	前向き*	前向き
推奨取り付け方法	お子さまとチャイルドシートの合計重量が 65 ポンド(29.5 kg)までであれば、LATCH**(下側のアンカーのみ)、またはシートベルトだけを使用して取り付けてください。***お子さまとチャイルドシートの合計重量が 65 ポンド(29.5 kg)を超えるようであれば、シートベルトだけを使用して取り付けてください。***	お子さまとチャイルドシートの合計重量が 65 ポンド(29.5 kg)までであれば、LATCH** (下側アンカーとトップテザー用アンカー)、またはシートベルトとトップテザーストラップを使用して取り付けてください。***お子さまとチャイルドシートの合計重量が 65 ポンド(29.5 kg)を超えるようであれば、シートベルトとトップテザーストラップを使用して取り付けてください。***	ロア ラッチ アンカー（利用可能な場合）を使用してブースター シートを固定し、お子さまをシートベルトで固定します。ブースター シートにラッチ アンカーが装備されていない場合は、お子さまの座っている状態のブースター シートをシートベルトで固定してください。ただし、お子さまとブースター シートの合計重量が 65 ポンド（29.5 kg）を超える場合は、お子さまの座っている状態のブースター シートをシートベルトだけで固定してください。

*** 最近のチャイルドシートの多くは、それに装着されている 5 点式ハーネスを使って長期間後ろ向きで利用できますが、指定の身長と体重制限の範囲内であることが条件です。お子さまはできる限り、後ろ向きにお乗せください。チャイルドシートメーカーの指示書をよく読み、慎重に、指示にもれなく従ってください。**

****ISOFIX** は、乗用車内にチャイルドシートを取り付ける方法の国際標準規格です。システムには、米国の **LATCH**（「Lower Anchors and Tethers for Children、チャイルドシートを自動車の座席に固定するときの国際規格」）およびカナダの **LUAS**（「Lower Universal Anchorage System、チャイルドシートを自動車の座席に固定するときの規格」）や **Canfix** など、他の地域名が入っています。「ユニバーサルチャイルドシート」または **UCSSS** とも呼ばれています。

***** チャイルドシートメーカーの指示によります。**

注: チャイルドシートを取り付けている場合も、シートベルト警告チャイムを鳴らさないようにするにはシートベルトをバックルに挿入する必要があります。

警告: 子供を車両に乗せて移動する際の方法と乗車位置を規制する法律は変更される場合があります。* Model 3 を運転する地域における最新の規則を把握し、それに従うことは運転者の責任です。米国各州における子供を同乗させるときの安全に関する法律については、http://www.ghsa.org/html/stateinfo/laws/childsafety_laws.html を参照してください。

警告: お子さまの体重とチャイルドシートの重量を合わせて 29.5kg（65 ポンド）を超えるような場合、チャイルドシートやシートベルト一体型のブースター シートに LATCH/Isofix/i-サイズのアンカーを使用しないでください。

より大きなお子さまを乗せるとき

お子さまの体格が大きくてチャイルドシート内に収まらない、しかし標準的なシートベルトを使用するには小さすぎるという場合は、年齢・体格に合ったブースター シートを使用してください。ブースター シートを固定する際は必ず、メーカーの取扱説明書の指示に従ってください。

警告: ブースターシートに大柄なお子さまが座る場合、大人同様にシートベルトを着用する必要があります。自動ロッキング リトラクタ（ALR）を作動させようとしてシートベルト ウェッビングを完全に広げないでください。

チャイルドシートを取り付ける

チャイルドシートを取り付ける一般的な方法は次の 2 通りがあります。

- シートベルトによる保持 - 車両に備え付けのシートベルトでチャイルドシートを固定します。
- LATCH で取り付ける - 車両の後列座席に組み込まれたアンカーバーにチャイルドシートを取り付けることができます。

チャイルドシートメーカーの取扱説明書および本文書に記載されている表を確認して、取り付け方法を判断してください。チャイルドシートによってはどちらの方法でも取り付けられます。取り付けに際しては必ずチャイルドシートメーカーの取扱説明書の指示に従ってください。

シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける

まず、チャイルドシートがお子さまの体重、身長、年齢に適していることを確認します。

お子さまに厚い生地の服を着せるのは避けて、お子さまとチャイルドシートの間には何も置かないでください。

お子さまに合わせて毎回ハーネスを調整します。

チャイルドシートを固定するために、すべての座席の着座位置に ALR（自動ロック式巻き取り装置）が取り付けられています。シートベルトを必要以上の長さに引っ張ると、ALR が作動してベルトがロックされます。バックルが外されストラップが巻き込まれないかぎりベルトはロックされたままです。ALR 機構はラチェットの働きをします。シートベルトの緩みを取り、ベルトが完全に巻き戻されるまでベルトがそれ以上延びるのを防ぎます。チャイルドシートを取り付ける際は、ストラップが**完全に**伸びきるまでシートベルトを引っ張って ALR を作動させてください。ALR システムは、シートベルトが伸びきった状態の際に作動します。

年長のお子さまを車両のシートベルトでブースター シートに直接拘束する場合、自動ロック式巻き取り装置（ALR）機能は使用しません。

注: シートベルトのバックルが外されベルトが完全に巻き込まれると、ALR のエンゲージが外れます。これでベルトは通常のシートベルトとして使えるようになり、内外に自由にスライドして緊急時のみロックします。チャイルドシートを取り付ける際は、ALR のエンゲージが外れた状態でシートベルトを限界まで伸ばして ALR をエンゲージします。

チャイルドシートを取り付ける際は、必ずチャイルドシートメーカーの指示に従ってください。以下に一般的なガイドラインを示します。

1. チャイルドシートを Model 3 の中に置き、シートベルトを限界まで伸ばします。チャイルドシートの製造元の指示に従ってシートベルトを通し、バックルで固定します。
2. シートベルトを巻き込み、チャイルドシートを Model 3 の座席にしっかり押し込みながらシートベルトの緩みを完全に取り除きます。
3. すべてのたるみが取り除かれたら、シートベルト ウェビングを強く引っ張って、オート ロックキング リトラクター (ALR) が作動することを確認します。

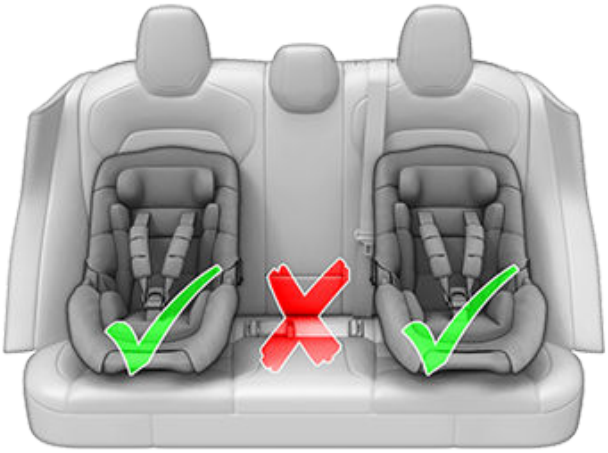
   注: ALR は、バックルを解除し、シートベルト ウェッビングを完全に引き込んでいない限り、解除されません。解除後は、ベルトを完全に伸ばして、ロック機構を再度噛み合わせるようにする必要があります。

4. シートベルト保持式のチャイルドシートにトップテザーが付いている場合は、トップテザーをチャイルドシートの背部に取り付けます（テザーストラップ上部を取り付ける ページ 47 を参照）。

LATCH（ISOFIX）対応チャイルドシートを取り付ける

下側の LATCH アンカーは、2 列目の窓際座席に用意されています。座席の背もたれとクッションの間にあります。各アンカーの正確な位置は、下図に示すようにチャイルドシート識別ボタンによって識別されます。このボタンは座席の背面にあり、対応アンカーの真上に位置しています。

2 列目の外側の位置にのみラッチ式チャイルドシートを設置します。シート中央にはシートベルト保持式のシートだけを使用します。



LATCH チャイルドシートを取り付けるには、チャイルドシートラッチをカチッと音がするまでアンカーバー上へスライドさせます。チャイルドシートを取り付ける際は、必ずチャイルドシートメーカーの指示に従ってください。

お子さまを座らせる前に、チャイルドシートが確実に取り付けられていることを確認します。チャイルドシートを左右にねじったり、座席から引き離そうと力を加えてもアンカーが動かないことを確認してください。

注: お子さまの体重とチャイルドシートの重量を合わせてを超える状況で、下側の LATCH 用アンカーをチャイルドシートまたはシートベルト一体型のブースター シートに使用しないでください。この場合は代わりに安全ベルトを使用してください。

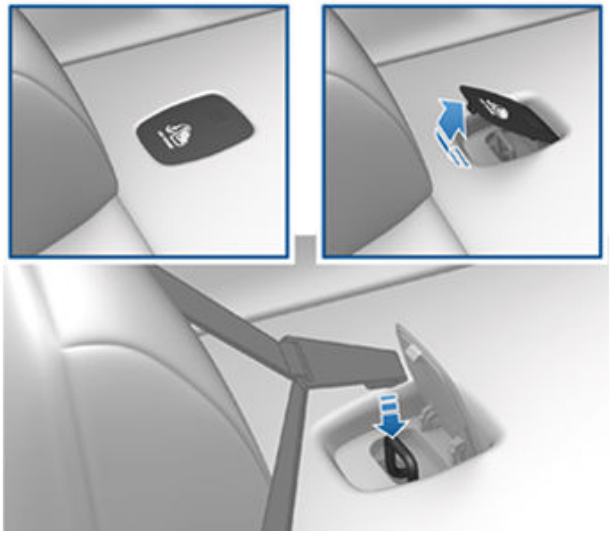
テザーストラップ上部を取り付ける

トップテザーストラップがある場合は、そのフックを後列座席の背面にあるアンカーポイントに取り付けます。

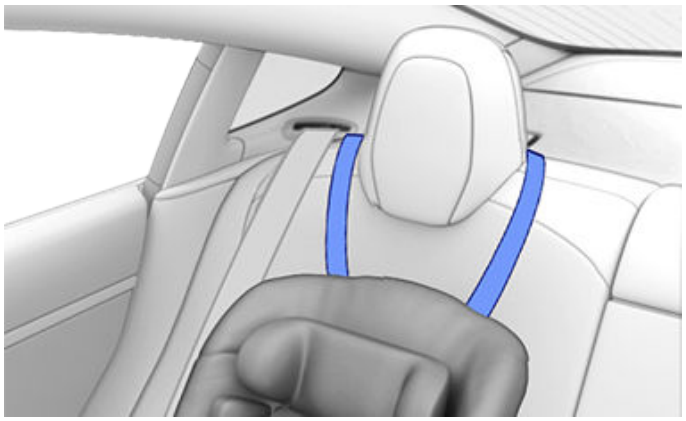
警告: チャイルド シートの製造元の説明書に従い、トップテザーストラップを締め付けてください。

警告: シートベルト保持式シートは必ず中央席に取り付けてください。

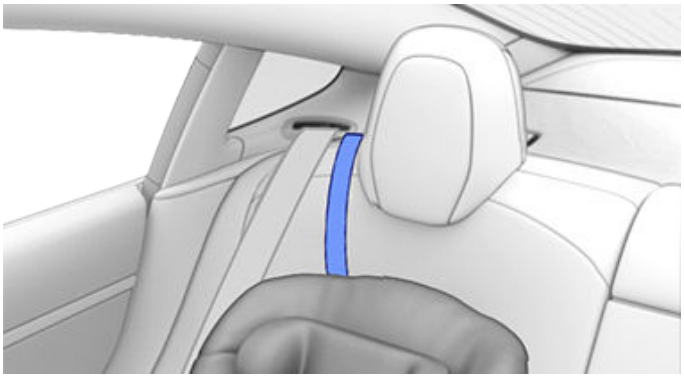
アンカー ポイントに届きにくい場合は、そのカバー後部を押し下げます。



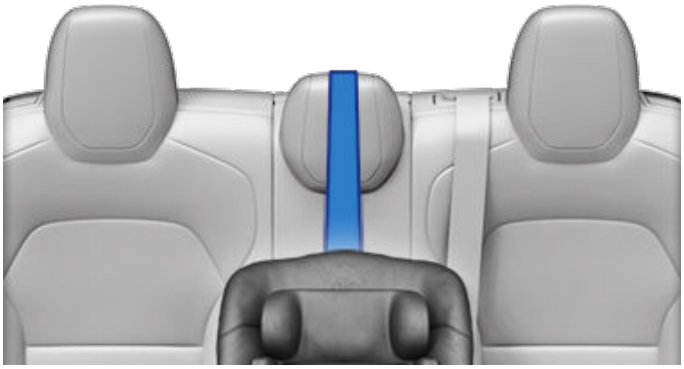
デュアルストラップ テザーでは、ヘッドサポートの両脇にストラップを通します。



窓際の座席のシングル ストラップテザーの場合、ストラップをヘッド サポートの外側に面する側（シートベルト引込機構と同じヘッドレストの側面）に通します。



後列の中央座席にシングルストラップテザーを使用する場合、ストラップをヘッドサポートの中央最上部に通します。



後列の中央座席にデュアルストラップテザーを使用する場合、ストラップをヘッド サポートのそれぞれの側面に通します。

チャイルドシートをテストする

チャイルドシートにお子さまを座らせる前に、チャイルドシートの取り付けに緩みがないことを必ず確認してください。

1. ベルトごとチャイルドシートをつかみ、前後左右にスライドさせてください。
2. シートが 1 インチ（2.5 cm）を超えて動く場合は、取り付けが不十分です。ベルトの長さを調節するか、あるいは LATCH チャイルドシートの場合は取り付けをやり直します。
3. 緩みが残る場合は、取り付け位置を変えるか、または別のチャイルドシートに替えてください。

チャイルドシート警告

警告: 非常に高い危険たとえチャイルドシートを使用するかどうかにかかわらず、お子さまを助手席には乗車させないでください。このシートの前方にはエアバッグがあります。乗員の体重が軽いことを Model 3 が感知してエアバッグを無効にするとしても、お子さまの保護をテクノロジーに任せきりにするのは賢明ではありません。

警告: チャイルドシートシステムは、膝ベルト、あるいは 3 点式シートベルトの腰部分で車両のシートに固定するように作られています。チャイルドシートが適切に車両に固定されていないと、衝突時にお子さまが危険になります。

警告: 衝突事故に関する統計によると、前席よりも後席で正しくシートベルトをしている方がより安全です。

警告: お子さまが体重 20 lbs (9 kg) 以下で自分一人では座れない場合は、前向きチャイルドシートの使用は避けてください。2 歳以下のお子さまは背骨と首の発達が十分でなく、正面からの衝撃による負傷を避けることができません。

警告: 小さいお子さまを大人の膝上に乗せるのは避けてください。常にお子さまに合ったチャイルドシートで保護する必要があります。

警告: お子さまの安全な着座を確実にするため、本書およびチャイルドシートの取扱説明書に記載されている全ての指示に従ってください。

警告: お子さまはできるだけ長い間、5 点式統合ハーネス使用の後ろ向きチャイルドシートに着座させる必要があります。

警告: チャイルドシートまたは補助シートの取り付けに使用されているシートベルトに対して、シートベルトエキステンダーは使用しないでください。

警告: より大きいお子さまを着座させる場合は、頭部が支持され、シートベルトが適切に調整され、しっかり着用されていることを確認してください。肩ベルトは顔および首から離れている必要があります。また、腰ベルトが腹部にかからないようにする必要があります。

警告: 2 つのチャイルドシートを 1 つのアンカーポイントに取り付けることは絶対に避けてください。万一衝突事故が発生した場合、1 つのアンカーポイントでは 2 つのシートを支えきれない可能性があります。

警告: チャイルドシート固定アンカーは、チャイルドシートが正しく取り付けられた状態で受ける荷重にのみ耐えられるように設計されています。大人用のシートベルトやハーネスとして使用したり、他の物や機器を固定するためには使用しないでください。

警告: ハーネスやテザーストラップが損傷したり摩耗したりしていないか、必ず点検してください。

警告: お子さまがチャイルドシート内にしっかり固定されている場合でも、お子さまのそばから離れないようにしてください。

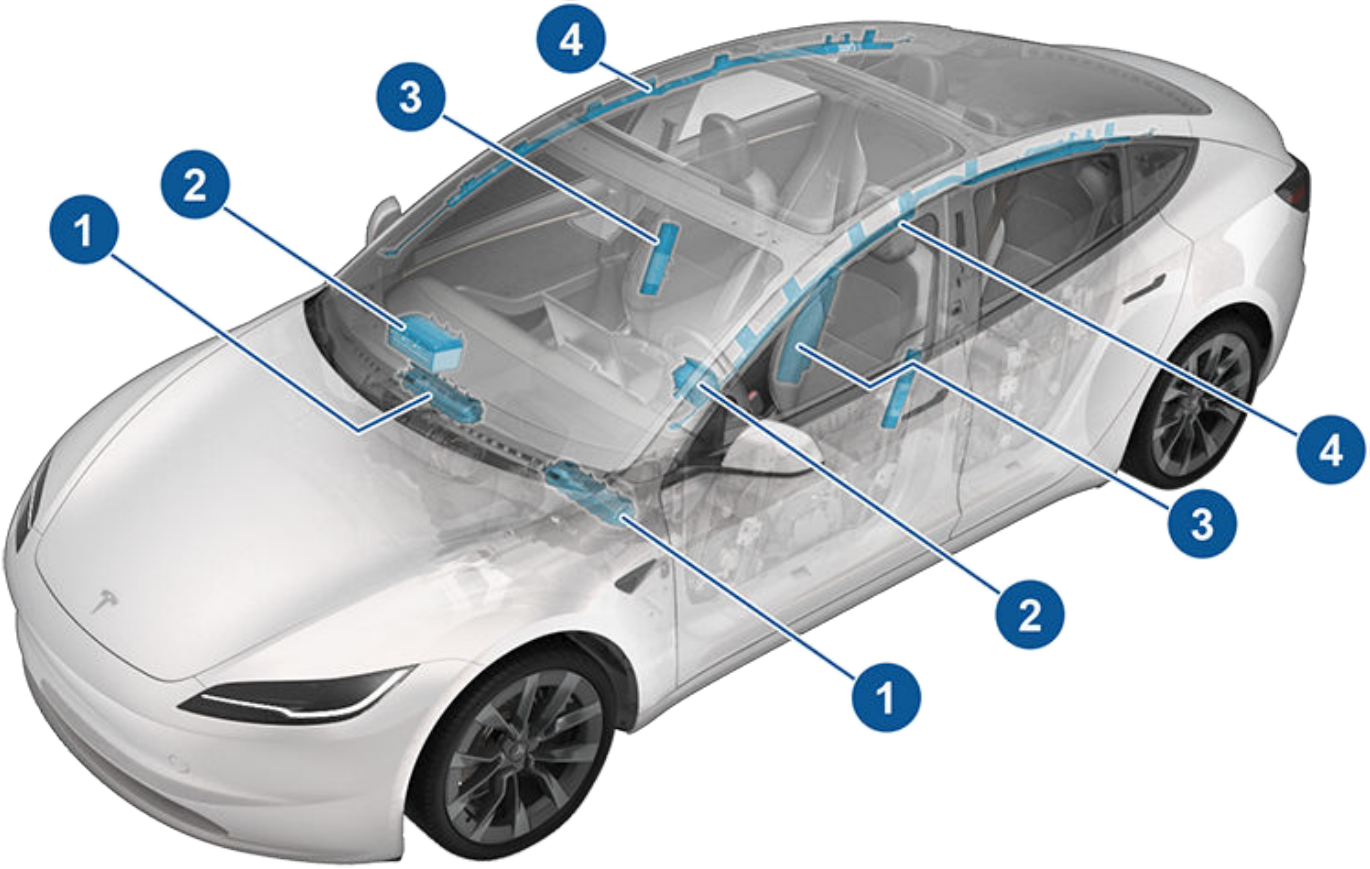
警告: 衝突事故の際に使用していたチャイルドシートは絶対に再使用しないでください。チャイルドシートの検査や取り替えはチャイルドシートの取扱説明書に従って実施してください。

エアバッグの位置

エアバッグは以下のように適切な位置に設置されています。エアバッグについての注意事項は、サンバイザーに表示されています。

Model 3 は、両方の指定された前席位置に、エアバッグと肩および腰ベルト（シートベルト アセンブリとも呼ばれます）を装備しています。事故が起きたときの大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。

注: 右ハンドル車では、助手席と運転席のエアバッグの位置が逆になります。



1. ニー エアバッグ
2. フロント エアバッグ
3. シート搭載サイドエアバッグ

   注: 車両には、運転席の内側にシート搭載エアバッグも装備されています。

4. カーテン エアバッグ

エアバッグの動作

エアバッグはセンサーが衝撃を検知して展開開始値を超えると膨張します。これらの展開開始値により、エアバッグが乗員を保護するタイミングで開けるよう衝撃の重大度を予想します。エアバッグは、大きな力で瞬時に展開し、大きな音を立てます。展開したエアバッグは、シートベルトとともに乗員の体の動きを制限し、けがのリスクを低減させます。

通常、フロント エアバッグは追突、横転、側面衝突、急ブレーキ、悪路の走行では展開しないように設計されています。同様に、フロントエアバッグは軽度の正面衝突、乗り上げ衝突、細い物体（ポールや樹木など）への軽度の衝突など、すべての正面衝突で展開するわけではありません。車体の外見が大きく変形してもエアバッグが展開しないことがあったり、逆に構造的な損傷の場合には比較的軽微な破損でもエアバッグが展開することがあります。したがって、衝突後の車両の外観から、フロント エアバッグが膨らんだかどうかを判断することはできません。

警告: 障害者に対応するために、エアバッグ システムに影響が及ぶ可能性があるように車両を改造する場合、事前にモバイル アプリを使用してサービス予約してください。

エアバッグの種類

Model 3 は、次のような種類のエアバッグを装備しています。

- フロントエアバッグ: フロントエアバッグは、助手席に乗車した大きなお子さまや大人を最大限に保護できるように設計されています。すべての注意事項や指示に従って、助手席にお子さまを乗せてください（地域で許可されている場合）。チャイルドシート ページ 43 を参照してください。
- ニー エアバッグニー エアバッグは、特定の状況下でフロント エアバッグと連動するように設計されています。ニー エアバッグは展開すると、足の動きを限定して、前席乗員の前方への動きを制限することで、ヘッド エアバッグがより効果的に働くように乗員の姿勢を整えます。
- シート搭載式サイドエアバッグ：前席に取り付けられたシート搭載式サイド エアバックは、骨盤と胴体の胸部を保護するのに役立ちます。また、運転席の内部に取り付けられたシート搭載式ファー サイド エアバッグは、ドライバーの頭部や胴体を保護するのに役立ちます。車両の衝突側と非衝突側の両方のシートに取り付けられたサイドエアバッグは、重度の側面衝突または重大なオフセット正面衝突の場合に膨らみます。
- カーテン エアバッグ: カーテンエアバッグは頭部を保護します。車両の衝突側と非衝突側の両方に取り付けられているカーテン エアバッグは、重大な側面衝突または重大なオフセット正面衝突を受けた場合、または横転した場合にのみ膨らみます。

エアバッグ ステータス インジケーター

助手席フロントエアバッグの状態は、タッチスクリーン上部に表示されます:

お子さまを助手席に乗せて運転する前に（地域で法的に許可されている場合）、助手席フロントエアバッグのステータスが OFF になっていることを必ず慎重に確認してください。助手席側のフロントエアバッグが OFF の場合、衝突が起きてもエアバッグは展開しません。このインジケーターは、座席に乗員がいないときでも表示されます。

助手席に乗車する大人の安全を守るために、必ず助手席フロントエアバッグを ON にしてください。助手席フロントエアバッグが ON の場合、衝突が起きるとエアバッグが展開します。

エアバッグ インジケータは、ドライブの開始時にタッチスクリーンに数秒間表示され、その間に以下の機能のチェックが行われます（該当する場合）：エアバッグ、プリテンショナーおよびロードリミッター付きシートベルト、インパクトセンサー、乗員センサー、シートベルトセンサー、パッシブセーフティコンポーネントワイヤーハーネス、車載拘束装置制御コンポーネント（例：加速度センサーおよびその他のパッシブセーフティコンポーネント）。

このチェックの後、エアバッグ インジケータはオフになります。エアバッグ システムが前述のコンポーネントのいずれかに障害を検出した場合、エアバッグ警告インジケータは点灯したままになります。この場合は Tesla サービスにお問い合わせくださいエアバッグ システムが Tesla によって点検されるまで、車両を運転しないでください。

助手席乗員感知

Model 3 は、助手席に乗員センサーを備え、フロントエアバッグのステータスをコントロールしています。

注: 乗員識別システム（OCS）は、規制要件 FMVSS208 を満たすもので、必要のない、または危険となり得る助手席のエアバッグ展開を自動的に検出します。

警告: エアバッグが作動するシートには、後ろ向きのチャイルドシートで乳幼児を座らせないでください。エアバッグが展開したときに、重傷や死亡につながる可能性があります。

対象の識別	OCS の助手席エアバッグステータス*	インジケーターステータス	注記
なし	0 フ	助手席エアバッグ OFF	

対象の識別	OCS の助手席エアバッグステータス*	インジケーターステータス	注記
対象	OFF または ON	助手席エアバッグ「OFF」または助手席エアバッグ「ON」	使用材/内容により異なります。
1 歳までのお子様向け設計の後ろ向きのチャイルドシート	０フ	助手席エアバッグ OFF	22 ポンド（10 kg）以下
前向きのチャイルドシート	OFF または ON	助手席エアバッグ「OFF」または助手席エアバッグ「ON」	22～35 ポンド（10～16 kg）
ブースター シートに座るお子さま	OFF または ON	助手席エアバッグ「OFF」または助手席エアバッグ「ON」	51 ポンド（23 kg）未満
大きなお子さま	OFF または ON	助手席エアバッグ「OFF」または助手席エアバッグ「ON」	51～103 ポンド（23～47 kg）
体重において最軽量のうちの 5 パーセントタイル以上に該当する女性	ON	助手席エアバッグ ON	約 103 ポンド（47 kg）以上
*助手席エアバッグのステータスインジケーターが状況と合致しない場合、該当の座席に人を乗せないでください。乗員を別の座席に乗せてください。モバイル アプリを使用してサービス予約をする。			

注: Model 3 の電源を入れてから乗員識別システム（OCS）が助手席エアバッグの正確なステータスを報告するのに約 6 秒かかります。そのため、Model 3 を最初に起動させたとき、エアバッグが OFF になっていたとしても （乗員の重量が 20 ポンド（9 kg）以下の場合）、タッチスクリーンが「助手席エアバッグ OFF」の状態を表示するまでに約 6 秒かかります。そうならない場合はモバイル アプリを使用してサービス予約をとり、お子さまを助手席に乗せないようにしてください。

感知システムが乗員の状態を正しく検出できるよう、次のことは行わないでください。

- シート下に物を置くこと。
- シートに重い物（書類鞄や大きなハンドバッグ）を乗せること。
- シート背もたれとシートクッションの間に物をはさむこと。
- シートの積み荷が妨げになる。
- カバー、マット、毛布等に限らず、シートと乗員の間に市販品を取り付ける、または置くこと。

こういった状態の場合、乗員センサーと干渉することがあります。上記の可能性を排除してもなお、エアバッグの状態が正常でない場合は、乗員にはリア シートに座ってもらい、モバイル アプリを使用してサービス予約を行い、エアバックを点検してもらってください。

注: 助手席の乗員センサーは、助手席のフロントエアバッグの動作にのみ関与しています。サイドエアバッグは影響を受けません。

警告: 助手席側エアバッグが前述の重量しきい値に基づいて予測される通りに ON/OFF 動作しない場合は、モバイル アプリを使用してただちにサービス予約をしてください。

警告: お子さまを助手席に座らせることが地域で法的に許可されている場合、ドライバーが責任を持って、助手席フロントエアバッグが OFF になっていることを確認してください。エアバッグを有効にしているときに、決して後ろ向きのチャイルドシートを使用してお子さまを助手席に座らせないでください。お子さまが大けがをしたり死亡事故につながる危険性があります。米運輸省高速道路交通安全局による推奨では、12 歳以下の乗員は全員後部座席に乗せなければなりません。

警告: Model 3 にシート カバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。乗員識別システムが装備されている場合は、その精度が低下する可能性もあります。

正確な乗員感知を確認する

正確に助手席の乗員を識別するために、乗員は次のことを行う必要があります:

- シートベルトを着用する。
- シートクッション中央に真っすぐに座り、背もたれに肩を付け、正面のフロアに足を快適に伸ばします。
- シートクッションの座位置を維持し、体重をシートから浮かせるようなことはしません（例:フロアを足で押したり、センターコンソールやアームレストを押して持ち上げたりすること）。
- 厚く湿った衣類やかさばる衣類（スキーウエアやパッド入りの衣類）を着用しないでください。

上記事項に加えて、以下のような状況では乗員識別システムの精度に悪影響を及ぼす可能性があります:

- 助手席にラジオ送信器（例:狩猟用ラジオまたはトランシーバー）を置くこと。

- 助手席のクッションに AC/DC インバータまたはインバータから電源を取るデバイス（例:携帯電話、タブレット、パソコン）を置くこと。
- チャイルドシートを取り付けているときに座席に液体（ペットボトル飲料など）や食品の容器を置くこと。
- 不適切にチャイルドシートを取り付け、チャイルドシートの下の部分全体がシートクッションにきちんと乗っていない状態になること。
- シート下に格納されている物、または背もたれとクッションの間に挟まっている物。
- シートに重い物 （書類鞄や大きなハンドバッグ） を乗せること。
- シートの積み荷が妨げになる。
- カバー、マット、毛布など、シートと乗員の間に取り付けられている、または置かれている市販品。

こういった状態の場合、乗員センサーと干渉することがあります。上記の可能性を排除してもなお、エアバッグの状態が不正であれば、乗員にはリア シートに座ってもらい、モバイル アプリを使用してサービス予約をしてください。

注: Tesla では 12 歳以下の乗員は全員後部座席に乗せるという、NHTSA（米運輸省高速道路交通安全局）の推奨に従っています。

注: 助手席の乗員センサーは、助手席のフロントエアバッグの動作にのみ関与しています。サイドエアバッグは影響を受けません。

警告: 指示に従わないと、乗員識別システム（OCS）に悪影響を及ぼし、重傷や死亡を招く可能性があります。

警告: 助手席のエアバッグが思うようにオン/オフに変わらない場合、助手席に人を乗せないでください。モバイル アプリを使用してサービス予約をする。

警告: 乗員識別システム（OSC）の精度を確保するため、助手席を改造しないでください。

警告: Model 3 にシート カバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。また、乗員感知システムの精度が低下する可能性もあります。

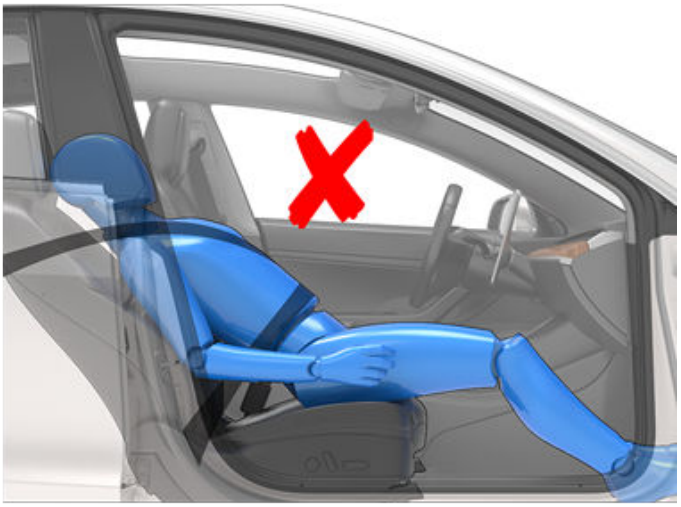
適切な座位置と不適切な座位置の例

適切な座位置:

不適切な座位置 - 乗員の足がフロアに着いていなければならない:

不適切な座位置 - 乗員はシートクッションで前のめりになってはならない:

不適切な座位置 - 車両が動いているときに乗員は背もたれを寝そべる位置まで後方に倒してはならない:



エアバッグ展開の影響

警告: エアバッグが展開するときは微粉末が放出されます。この粉末には皮膚に刺激を与える成分が含まれるため、目、切り傷や擦り傷に付着した際は、流水で完全に洗い流すようにしてください。

展開したエアバッグは収縮し、乗員にクッション効果を及ぼすと同時に、ドライバーの前方の視界が遮られないようにします。

エアバッグが膨張した場合、または車両が衝突した場合、電源を入れる前に車両のサービスを受ける必要があります。これに加え、エアバッグ、シートベルト プリテンショナーおよび関連するすべてのコンポーネントを必ず点検し、必要があれば交換してください。モバイル アプリを使用してただちにサービス予約をしてください。

衝突時には、エアバッグの膨張に加えて以下のようなことが起こります。

- 米国のみ: **「コントロール」** > **「安全」** > **「自動警察通報」** を有効にしている場合、車両は自動的に警察に緊急通報します。キャンセル指示とカウントダウン タイマーがタッチスクリーンに表示されます。
- ドアのロックが解除されます。
- ハザード警告灯が点灯します。
- 室内灯が点灯します。
- 高電圧系統が OFF になります。
- 窓が換気位置になります。
- 車両はブレーキがかかって停止します。

注: かかった衝撃や力の具合によっては、衝突の際にドアがロック解除しなかったり、損傷によってドアが開かなかったりする可能性があります。こういった場合、車内側の手動リリースでドアを開いたり、その他の脱出方法（他のドアから脱出する、窓を破るなど）を用いる必要があります。

注: 衝突によっては、エアバッグが膨張していなくても、車両が高電圧回路を遮断し電源が入らなくなり運転することができなくなります。モバイル アプリを使用してただちにサービス予約をしてください。

エアバッグについてのご注意

警告: 衝突時の大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。

警告: フロントシートの乗員は、展開したエアバッグが破裂してけがをすることがありますので、エアバッグモジュールの上に腕を載せないでください。

警告: Model 3 にシート カバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。乗員識別システム（OCS）が装備されている場合、その精度が低下する可能性もあります。

警告: エアバッグはかなりの速度と力で展開し、それによってけがをすることがあります。けがを減らすため、乗員は必ずシートベルトを着用し、できるだけシートを後ろへ引いて正しく座るようにしてください。国家道路交通安全局（NHTSA）は、乗員の胸とエアバッグの間の推奨最小間隔を 10 in（25 cm）としています。

警告: 地域の法令で許可されていない限り、助手席にお子さまを乗せないでください。地域のすべての法令に従い、お子さまの体重、身長、年齢に適した方法でお子さまを座らせてください。後列座席に乳幼児や小さなお子さまを安全に座らせてください。エアバッグが作動するシートには、後ろ向きのチャイルドシートで乳幼児やお子さまを座らせないでください。エアバッグが展開したときに、重傷や死亡につながる可能性があります。

警告: 前方でエアバッグが作動するシートでは後ろ向きのチャイルドシートの使用を控えてください。エアバッグが展開したときに、けがや死亡事故につながる可能性があります。

警告: サイド エアバッグが正しく膨張するように、乗員の胴体と Model 3 の側面の間のすきまはふさがないでください。

警告: 助手席に座る人はドアや窓に頭をもたれかけないでください。カーテンエアバッグが展開したときに、けがをすることがあります。

警告: 乗員は、エアバッグの上または近くに足、ひざなど、体の一部を置いてエアバッグの作動を遮らないようにしてください。

警告: ヘッドエアバッグの上または近く、フロントシートの横、車両側面のヘッドライナー、エアバッグカバーなどには、物を取り付けたり置いたりしないでください。エアバッグの展開が妨げられる可能性があります。これらには、ハンドル カバー、デカール、シート クッション、枕などが含まれます。車両がエアバッグが展開する原因となるほど激しく衝突をした場合、物体が重傷の原因となる可能性があります。

警告: 展開したエアバッグは部分的に熱くなっています。熱がさめるまで、手で触れないでください。

モバイル アプリ

Tesla モバイル アプリにより、Model 3iPhone®または Android™携帯端末とリモート通信することができます。

注: 上記のリストは Tesla モバイル アプリで利用可能な機能を完全に表しているものではありません。新機能や改良機能にアクセスするためには、最新バージョンのモバイルアプリがリリースされたらすぐにダウンロードしてください。

モバイル アプリを使用する方法

Tesla モバイル アプリで Model 3 との通信をセットアップするには:

1. Tesla モバイル アプリをお使いのスマートフォンにダウンロードします。
2. Tesla アカウントの認証情報を入力して、Tesla モバイル アプリにログインします。
3. **「コントロール」** > **「安全」** > **「モバイル アクセスを許可」** の順にタッチして、Model 3 へのモバイル アクセスを有効にします。
4. お使いの電話機の Bluetooth 設定が**「オン」**で、なおかつ Tesla モバイル アプリのグローバル設定で Bluetooth がオンになっている必要があります。例えば携帯電話の設定から Tesla モバイル アプリを選んで、Bluetooth 設定が有効化されていることを確認します。

モバイルアプリが車両とリモート通信できるようにするには、スマートフォンおよび車両が両方とも携帯電話サービスまたは Wi-Fi に接続されている必要があります。屋内の駐車ガレージなど携帯電話サービスが制限されている場所や携帯電話サービスが利用できない場所に駐車する場合、Tesla では、常にすぐに利用できる物理キーを携帯することを推奨しています。

携帯電話が Model 3 にキーとしてペアリングされ、車両の近くにある場合は、Bluetooth 経由でもモバイルアプリのコマンドが使用できます。

注: 携帯電話の通信接続が制限されていたり、予備キーが利用できないなど、保証対象外の問題のために Tesla のロックアウトアシスタンスが必要な場合にかかる費用は、ロードサイドアシスタンスポリシーの保証対象になりません。

注: Tesla は、Model 3 との連絡に第三者アプリを使用することをサポートしていません。

Apple Watch 用モバイル アプリ

お持ちの Apple Watch でモバイル アプリを使用することもできます。

Apple Watch 用の Tesla モバイル アプリの使用条件:

- Apple Watch Series 6、Apple Watch SE 2、Apple Watch Ultra 1、またはこれ以降の Apple Watch で watchOS 11.0 以降を有するもの。
- 車両ファームウェア バージョン 2024.44.25 以降。
- Tesla モバイル アプリ バージョン 4.39.5 以降。

お持ちの Apple Watch で Tesla モバイル アプリを使用する前に、お持ちの iPhone および Apple Watch が利用可能な最新のソフトウェア バージョンに更新されていることをご確認ください。Tesla モバイル アプリをお持ちの Apple Watch に追加するには、お持ちの iPhone で Watch アプリを使用してください。

Tesla Apple Watch アプリを使用すると、Model 3 のロック/ロック解除、トランクの開閉、およびフロント トランクを開くことができます。

さらには、携帯電話をキーとして使用する場合と同様にして、お持ちの Apple Watch をキーとして使うことができます。詳細な情報は、キー ページ 21 を参照してください。

概要

電話機と車両の両方でインターネット サービスが使用できる場合、Tesla モバイル アプリのホーム画面で以下のことができます。

- 車両をロック/ロック解除する。
- 暖房または空調を有効または無効にし、キャビンの空調を監視します。
- 車両の充電情報を確認します。充電ケーブルを差し込んでも、充電の詳細情報が表示されます。
- 充電ポートの開閉。

  注: バッテリー アイコンの隣にあるねじられた赤い線は、バッテリーが能動的に加熱されていることを示します（充電中や充電準備中を含む）。

- 車両の位置を確認します。
- 車両の推計航続距離を表示。
- フロントトランクを開きます。
- 車両のオドメーター、VIN、現在のファームウェア バージョンを確認します。

メディア設定がモバイル アプリに表示され、車両で現在再生されているメディアを一時停止、再生、巻戻し、早送り、および音量調整します。**「オーディオ設定」** > **「オプション」** > **「モバイル制御を許可」**の順にタッチしてメディア設定を有効にする必要がある場合があります。

車両がスーパーチャージャーで充電中の場合は、充電セッションに関する情報を「ライブ アクティビティ」として iPhone またはペアリングされた Apple Watch で直接確認することもできます。

注:「ライブアクティビティの 充電」には、モバイルアプリバージョン 4.45.0 以降と iOS 17.2 以降を搭載した iPhone が必要です。

サポート対象の動画ソースは、モバイルアプリのリンクを共有して動画を Tesla シアターに送信します。スマートフォンで再生したい映画、番組、ビデオに進み、共有ボタンにタッチします。Tesla アプリで動画を共有すると、Model 3 が駐車中の場合は、タッチスクリーンに動画が表示されます。

注意: Model 3 の車内にいるときに、車外からドアを開けないようにするためにドアをロックしたい場合、ドアを閉じてから、タッチスクリーンのロック アイコンを使用します。これにより、降車後オートロックといった携帯電話によるロック設定が一時的に無効になります。そうしなかった場合、携帯電話がキーとして有効になっているため、たとえモバイル アプリでロック アイコンを押していても、車外のドア ハンドルを引くとドアのロックが解除されます車内からドアを開いた場合、電話キーが検知されている限り、ドアを外側からもう一度開けることができるようになります（詳細情報については、電話キー ページ 21 を参照してください）。

プロフィール

最上部の角部にある「プロフィール」タブでは以下のことが可能です。

- Tesla アカウントを複数の車両に関連付けている場合は、車両を切り替えます。
- Tesla ショップに移動します。
- アカウント情報を管理して、注文履歴を表示します。
- セキュリティ アラームがトリガーした場合のカレンダーの同期、充電のアップデート、新しいソフトウェアのアップデートなど「設定」タブで受信する通知を表示してカスタマイズします。離れた場所からアップデートを開始し、進行をチェックすることができます。

「コントロール」

「コントロール」タブでは次のことが行えます。

- フロントまたはリアのトランクを開く。
- 遠隔からの Model 3 のロック、アンロック。

  注: モバイル アプリからロック解除している場合、車両は自動的に再ロックしません。

- 充電ポートの開閉。
- Model 3 の駐車場所を見つけるために、ライトを点滅させたり、ホーンを鳴らす。
- キーレス ドライブを有効にする。
- 車両に HomeLink 接続がプログラムされていてご利用いただける場合、ガレージのドアを開閉する（スマート ガレージ ページ 62 参照）。
- ウィンドウを換気する。

空調

車内温度を確認して、運転開始前に（車庫にある場合でも）キャビンを冷暖房し、シートヒーターを制御し、フロント ガラスの霜取りを行なうことができます。

- **「車の霜取り」**を有効または無効にすると、画面の下から上にスワイプすることで、フロントガラス、ウィンドウ、およびミラーの雪、氷、霜を溶かすことができます。
- **「ドック モード」**または**「キャンプ モード」**を有効または無効にします。
- **「キャビン過熱保護」**を有効にすると、高外気温状態でキャビンが極端に高温になるのを防げます。キャビン内の温度が 105°F（40°C）または選択した温度（使用可能な場合）を超えた場合に、エアコンを作動させるかファンだけを作動させるかを選択することができます。詳細情報については、空調を操作する ページ 156 を参照してください。
- 窓を開け閉めします。
- キャビンを希望の温度に予め調節し、ハンドルおよびシートヒーター（装備されている場合）をオンまたはオフにします。

モバイル アプリで Model 3 の温度調整を行うと、必要に応じてバッテリーも暖められます。モバイル アプリは、車両が希望するプレコンディショニング温度に達したことを知らせます。

注: 車両仕様と製造日によっては、モバイル アプリで Model 3 の霜取りを行うと、充電ポート ラッチの氷も溶かすことのできる車両もあります。これは、充電ポート ラッチがそのまま凍って充電ケーブルの抜き差しができないような極端な寒冷時や凍結するような状況では便利な機能です。

位置

注: *一部の機能は、すべての地域で利用できない場合があります。*

マップ上で Model 3 の位置と方向を特定し、動きを追跡する。

Tesla モバイルアプリで住所を入力してナビゲーションを開始したり、旅行の計画を立てたりし、その旅程を Model 3 に送信することもできます。Tesla モバイルアプリは、運転と充電にかかる時間を最小限に抑えるためのルートを選択し、必要な充電時間も提示します。**「旅程を編集」**をタッチすると、立ち寄り地点の変更や並べ替えが可能です。

「出発時のエネルギー量を設定」をタッチすると、旅行開始時の想定バッテリー残量を指定できます。

出発時のエネルギー量に応じて、充電ポイントを追加または調整することもできます。詳細な情報は、トリップ プランナー ページ 172 を参照してください。

サモン

シンプル サモンまたはエンハンスト スマート サモン（ASS）（サモン ページ 131 を参照）を使用して Model 3 の駐車および呼び出しができます。

予約

予約充電または出発予定時刻を有効にし、車両をプレコンディショニングします。詳細情報については、プレコンディショニングと充電の予約 ページ 190 を参照してください。予約充電または出発予定時刻は設定した場所に基づいて保存することができます。

将来のためにライトショーを計画することもできます。ライトショーの詳細については、シアター、アーケード、おもちゃ箱 ページ 177 を参照してください。

セキュリティ

「セキュリティ」タブでは次のことを実行できます。

- 電話機を車両にペアリングする（電話キー ページ 21 を参照）。
- セントリー モードを有効/無効に設定する（セントリーモードの使い方（USB フラッシュ ドライブあり） ページ 152 を参照）。
- バレーモードを有効/無効に設定する（バレーモード ページ 94 を参照）。
- 速度制限モード使い、車両の走行速度が選択した最大速度まで約 3 mph (5 km/h) に近づいたときに通知を受け取る機能を有効または無効に設定します（速度制限モード ページ 149 を参照）。
- モバイル アプリからダッシュカムおよびセントリーモードのクリップを視聴および共有してください。詳細情報については、ダッシュカム ページ 150 を参照してください。

  注: プレミアムコネクティビティとモバイル アプリ バージョン 4.39.5 以降が必要です。iOS においてのみ利用可能です。

アップグレード

フルセルフドライビング機能など、利用可能な最新のアップグレードを確認し、購入できます。

サービス

モバイル アプリでサービスを予約する方法については、サービスを予約する ページ 196 を参照してください。

ロードサイド

ロードサイドのリソースを表示し、（該当すれば）ロードサイドアシスタンスをリクエストします。ロードサイドアシスタンスに関する詳細については、Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する ページ 234 を参照してください。

2 人目のドライバーへのアクセス許可

Tesla モバイル アプリから別のドライバーへのアクセス許可を追加および削除することができます。

注: Tesla モバイル アプリ バージョン 4.3.1 以降が必要です。追加されたドライバーは、事前に登録されている Tesla アカウントを使用するか、アプリを使用して新しい Tesla アカウントを作成することができます。

ドライバーを追加するには、Tesla モバイル アプリで車両のホーム画面から**「セキュリティ」** > **「ドライバーの追加」**に進み、画面の指示に従います。

注: 追加されたドライバーはアップグレードの購入を除くすべてのアプリ機能にアクセスできます。

アクセスを削除するには、モバイル アプリを使用して**「セントリー」** > **「ドライバーの管理」**の順に進み、画面の指示に従います。

データ接続方法として Wi-Fi が用意されており、携帯電話通信網よりも速い場合も多くあります。Wi-Fi 接続は携帯電話が通じにくい、または通じない地域で特に便利です。ソフトウェアおよびマップのアップデートを速く確実に行うには、可能な限り Model 3 を Wi-Fi に接続させておくことが推奨されます（例えば自宅で駐車している時間など）。

Wi-Fi ネットワークへの接続方法は以下の通りです。

1. **「コントロール」** > **「Wi-Fi」**の順にタッチします。 Model 3 圏内にある Wi-Fi ネットワークの検索を開始し、検出されたものを表示します。

   注: リストに、既知の Wi-Fi ネットワークが表示されない場合、アクセス ポイントに Model 3 を近づけるか、レンジ エクステンダーで感度を上げてください。

   注: （使用可能な場合に）5GHz ネットワークに接続している場合、地域でサポートされているチャンネルを確認してください。

   サポートされている 5GHz ネットワーク チャンネル

36〜48	52〜64	100〜140	149〜165
✓	✓	✓	✓

2. **「Wi-Fi ネットワークを検索中」**で使用する Wi-Fi ネットワークを検索してタップするか、**「Wi-Fi ネットワークを追加」**で手入力により追加し、パスワードを入力（必要な場合）してから**「確定」**にタッチします。接続すると、その Wi-Fi ネットワークには**「既知の Wi-Fi ネットワーク」**と緑色のチェックマークが表示されます。ネットワークの圏内にいるときは、Model 3 を自動的に接続します。

   注: Model 3 は現在、キャプティブ Wi-Fi ネットワークへの接続をサポートしていません（キャプティブ Wi-Fi は、一般的に公共のホットスポットで使用され、ログインを許可する前にカスタム Web ポータルにアクセスし、サービス条件に同意することが必要です）。

注: 過去に接続したことのあるネットワークが圏内に複数ある場合、Model 3 は直近に使用したネットワークに接続されます。

注: Tesla サービス センターでは、Model 3 は Tesla サービス Wi-Fi ネットワークに自動的に接続されます。

診断

診断は、Wi-Fi 接続に関するより詳しい情報や、接続改善のヒントを提供します。アクセスするには、**「Wi-Fi」** > **「診断」**に移動するか、ソフトウェアアップデートのダウンロードまたはインストール中に、プログレスバーの下に表示されます。

ホットスポット

Wi-Fi ネットワークを使用する代わりに、モバイル ホットスポットを使用することもできます（料金がかかり、通信会社の制限があります）。運転中も接続を有効なままにしたい場合は、ホットスポットに接続した後に**「運転中に接続を維持」**を選択します。

トラブルシューティングのヒント

車両の Wi-Fi 接続が遅い、または接続に失敗する場合は、以下のヒントを試してください。

- タッチスクリーンで、Wi-Fi アイコンバーの本数（信号強度）を確認します。信号強度が低い場合は、Wi-Fi アクセスポイントを車両の近くに追加して信号を改善することを検討してください。
- タッチスクリーンを再起動します（タッチスクリーンの再起動 ページ 9 を参照）。
- Wi-Fi 接続を一旦削除してから、再び接続します。**「コントロール」** > **「Wi-Fi」**の順にタッチし、お使いのネットワークを選択して**「ネットワークを登録解除」**を実行し、それから**「既知のネットワーク」**でネットワークを再び選択します。
- 別の Wi-Fi ネットワークを試します。

Bluetooth® 互換性

Bluetooth デバイスがペアリングされていて通信範囲内にある場合、Model 3 でさまざまな Bluetooth デバイスを使用することができます。例えば、Bluetooth 対応電話機をペアリングして、ハンズフリーで使用することができます。Model 3 は電話機以外の Bluetooth 対応機器ともペアリングできます。例えば、iPod Touch、iPad、Android タブレットなどをペアリングして音楽を再生することができます。

電話機またはその他の Bluetooth デバイスを Model 3 で使用する場合、ペアリングが必要になります。ペアリングすることで、Model 3 はサポートしている Bluetooth デバイスと通信するようにセットアップされます。最大 10 台の Bluetooth 対応電話機をペアリングすることができます。特定の電話機を**優先デバイス**に指定していない場合、または**優先デバイス**に指定されている電話機が通信範囲内にない場合、Model 3 は常に最後に使用した電話機と接続します（その電話機が通信範囲内にある場合）。別の電話機に接続する場合はペアリングされたデバイス間の切り替え ページ 59 を参照してください。

注: キーとして使用するために電話機を認証しても（キー ページ 21 を参照）、電話機をハンズフリーで使用したり、電話機でメディアを再生したりはできません。電話機を以下のようにペアリングする必要があります。

注: 多くの電話では、電話のバッテリー電圧が低下すると、Bluetooth がオフになります。

注: 通常、Bluetooth はおよそ 30 フィート（9 メートル）までの距離の無線通信に対応していますが、通信の性能は使用している電話機やその他のデバイスで異なることがあります。

注: Model 3 は一度に最大 20 台の Bluetooth デバイスをペアリングできますが、同時に接続できるのは 2 台のデバイス（電話機 1 台とコントローラ 1 台、またはコントローラ 2 台）のみで、それぞれフロント タッチスクリーンとリヤ タッチスクリーン（装備されていれば）に接続できます。

注意: ペアリングされている電話機を車内に置いたままにしないでください（ハイキングやビーチに出かけたときなど）。車内に電話機を置いたままにしなければならない場合は、Bluetooth を無効にするか、電話機の電源をオフにしてください。

電話機または Bluetooth デバイスのペアリング

ペアリングすると、Bluetooth 対応の電話をハンズフリーで使用して、電話をかけたり受けたりすることや、連絡先リストまたは最近の通話履歴にアクセスすることなどが可能になります。また、電話でメディア　ファイルを再生することも可能になります。登録済みの電話機が通信範囲内にあれば、Model 3 はその電話機にいつでも接続できます。

1. 電話または Bluetooth デバイスをペアリングするには、Model 3 の車内に座り、タッチスクリーンがオンになっていることを確認します。
2. 電話機のロックを解除し、Bluetooth を有効にします（通常は電話機の [設定] で行います）。

   注: 携帯電話の機種によっては、Bluetooth 設定に進み残りの手順を行う必要があります。
3. タッチスクリーンで、**「コントロール」** > **「Bluetooth」** の順にタッチすると、新しいデバイスの Bluetooth スキャンが自動的に開始されます。
4. 電話機が表示されるのを待ってから **「接続」** にタッチします。
5. 電話に表示される数字がタッチスクリーンの数字と同じであることを確認します。次に、電話機からペアリングすることを確定します。
6. 電話にプロンプトが表示されたら、Model 3 がカレンダー、連絡先、メディアファイルといった個人情報にアクセスすることを許可するかどうかを指定します（連絡先と通話履歴のインポート ページ 58 を参照）。ペアリングされると、Model 3 によって **「コントロール」** > **「Bluetooth」** > **「ペアリングされたデバイス」** の下に電話機が表示されます。

ペアリングされたデバイスの設定を変更するには、**「コントロール」** > **「Bluetooth」** > **「ペアリングされたデバイス」** と進み、デバイス名の横にあるドロップダウンを開きます。

インポートまたは Bluetooth への接続に問題がある場合、詳細について Bluetooth のトラブル シューティング ページ 59 を参照してください。

「通話中にファン速度を下げる」 に切り替えると、通話中にファン速度を自動的に下げることができます。空調コントロールで **「自動」** が有効になっている必要があります（空調を操作する ページ 156 を参照）。

連絡先と通話履歴のインポート

電話がペアリングされたら、**「コントロール」** > **「Bluetooth」** > **「ペアリングされたデバイス」** に移動し、デバイス名の横にあるドロップダウンを開いて、電話機の連絡先、最近の通話、テキストメッセージへのアクセスを 許可するかどうかを指定します。アクセスを許可している場合は、電話アプリを使用して、連絡先リストや発信履歴に登録のある人に電話をかけたり、メッセージを送信できます（電話、カレンダー、ウェブ会議 ページ 60 参照）。連絡先をインポートするには、同期を許可するように電話を設定するか、連絡先の同期に関する確認を求める電話のポップアップ画面に応答する必要があります。この方法は使用している電話の種類によって異なります。詳細については、ご使用の電話に付属しているマニュアルを参照してください。

連絡先のインポートまたは Bluetooth を使用したペアリングに問題がある場合、詳細については Bluetooth のトラブル シューティング ページ 59 を参照してください。

Bluetooth デバイスの切断またはペアリング解除

電話または Bluetooth デバイスを切断してもペアリングしたままにする場合は、タッチスクリーンの Bluetooth 設定ドロップダウンで **「切断」** にタッチします（**「コントロール」** > **「Bluetooth」** > **「ペアリングされたデバイス」** > **「あなたの電話機」**）。デバイスを Model 3 で再び使うことがない場合は、**「デバイスの消去」** をタッチし、その後の指示に従います。登録を

解除したデバイスを Model 3 で使用するには、もう一度そのデバイスをペアリングする必要があります（電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 58 を参照）。

注: Model 3 から離れると、電話機との接続は自動的に切断されます。

注: 電話のペアリングを解除すると、電話をキーとして使用しても効果はありません。認証された電話機を解除するには、キーの管理 ページ 23 を参照してください。

ペアリングされたデバイス間の切り替え

Model 3 は、**「優先デバイス」**に指定した電話機に自動的につながります。優先デバイスとして電話を設定していなければ、Model 3 は、前回接続した電話につながります(ただし、その電話が作動範囲にあり、Bluetooth がオンである必要があります)。最後の電話が動作範囲内にない場合、車両は登録されている次の電話との接続を試みます。

別の電話に接続するには、**「コントロール」** > **「Bluetooth」** > **「ペアリングされたデバイス」**の順にタッチします。接続したい電話を選択し、**「接続」**にタッチします。接続したい電話がリストにない場合は、その電話をペアリングする必要があります。電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 58 を参照してください。

接続している場合、Bluetooth 設定画面では電話機名の隣に Bluetooth のロゴが表示され、Model 3 がその電話機に接続していることを示します。

Bluetooth のトラブル シューティング

車両は Bluetooth および BLE（Bluetooth Low Energy）を使用してスマートフォンを Model 3 にシームレスに接続します。いくつかの可能性のある要因により、ペアリング プロセスにおいて Bluetooth または BLE が切断され、問題が生じることがしばしばあります。Bluetooth に接続することで、車両は、オーディオ、通話、カレンダーなどの電話機能を使用することが可能になります。

BLE は電話キーなど受動的機能に使用されます。

注: 近くに有効なキーカードがない時に車両と電話機のペアリングを解除したり、電話キーとしての電話機を取り外したりしないでください。

Bluetooth のトラブルシューティングをするには、まずスマートホンを使用して、以下を試してみてください。

スマートホンのトラブルシューティング

スマートホンの設定およびアップデートのせいで、Bluetooth が接続できない。

- 電話機で Bluetooth を有効にします。既に有効になっている場合は、Bluetooth を一旦無効にしてから再び有効にします。
- 機内モードがオフになっていることを確認します。
- 電話機を充電します。電話機のバッテリー レベルが低すぎると、Bluetooth 機能をサポートできない場合があります。
- デバイスを適切にペアリングします。既にペアリングしている場合は、いったんペアリングを解除して再びペアリングしてみます。
- 電話機をメーカーが提供している最新のソフトウェアにアップデートします。
- デバイスの音声システムが、オーディオ出力ソースとして選択されていることを確認します。
- 電話機の設定で Bluetooth が許可されていることを確認します（例: データをオンにするか、Wi-Fi に接続している）。
- 電話機の電源をオフにしてから再びオンにします。
- モバイル アプリで位置の許可が「常にオン」に設定されていることを確認します。

Tesla モバイル アプリのトラブルシューティング

Tesla モバイル アプリを以下のとおり点検します。

- Tesla モバイル アプリのソフトウェアが最新であることを確認します。
- 電話キーを使用しているときに Tesla モバイル アプリにログインしていることを確認します。
- バックグラウンドで Tesla アプリが実行中であることを確認します。
- モバイル アプリでプロフィールを最後まで設定済みであり、設定を適切に構成していることをダブルチェックします。

車両のトラブルシューティング

車両の設定が、スマートホンとのペアリング機能に影響を与える可能性があります。

- Model 3 を充電します。車両のバッテリー レベルが低すぎる場合、Bluetooth 機能が使用不可になる可能性があります。
- 車両ソフトウェアをアップデートし、ソフトウェアが常に最新のものであることを確認します。**「コントロール」** > **「ソフトウェア」**の順に移動して、新しいソフトウェアのアップデートがないか確認します。
- タッチスクリーンを再起動します。タッチスクリーンの再起動 ページ 9 を参照してください。
- 車両を再起動します。

依然 Bluetooth が機能していない場合、車両とスマートホンのペアリングを解除します。次に両者を再びペアリングします。

BLE の電話キーに問題がある場合、車両の中で、**「コントロール」** > **「ロック」**の順に移動して、「キーとしての電話機」として設定されている電話機を削除します。次に再度、設定を戻します。ただしこれは車内にいて、信頼できるバックアップキー（キー カードなど）を持っている場合に限って行ってください。

電話アプリを使用する

Bluetooth を使用して電話機が Model 3 に接続され（Bluetooth ページ 58 を参照）、電話の連絡先にアクセスが許可されると（連絡先と通話履歴のインポート ページ 58 を参照）、電話アプリを使用して、電話に登録されている連絡先を表示して、ハンズフリーで電話をかけることができます。

- **通話**: 通話の履歴が時系列順で表示され、最新の通話が最初に表示されます。
- **メッセージ**: メッセージが時系列順で表示され、最新のメッセージが最初に表示されます。テキストメッセージを表示、送信および受信することができます。テキストメッセージを入力する代わりに、ハンドルの右側にあるマイクボタンをタップして、音声。

  警告: ドライバーが注意散漫となることを最小限に抑え、同乗者や他の道路利用者の安全を確保するために、走行中はテキストメッセージを確認したり送信したりしないでください。走行中は常に道路状況や交通状況に注意を払ってください。

- **「連絡先」**: 連絡先は、アルファベット順で掲載されており、名前または姓でソートできます。また、リストの右側にある文字を選択して、選択した文字で始まる名前にすばやくスクロールすることもできます。連絡先リスト上の名前をタッチすると、連絡先の利用可能な電話番号が、その他の利用可能な情報 (住所など) とともに右側のペインに表示されます。連絡先の電話番号をタッチして電話をかけます。
- **お気に入り**: お気に入りに指定した、電話機の中の連絡先を表示します。
- **カレンダー**: 電話からのカレンダー エントリーを表示します（カレンダー ページ 60 参照）。エントリーに電話番号や住所が含まれている場合、そのカレンダー エントリーの該当する情報にタッチして、電話をかけたり、目的地までのナビをしたりすることができます。

電話をかける

以下の方法で電話をかけることができます。

- 音声コマンドの入力 (音声コマンド ページ 17 を参照)。音声コマンドは、連絡先に電話を掛けたり、テキスト送信するための便利なハンズフリー手段です。
- 電話アプリのリストに表示される電話番号にタッチする - 連絡先、通話、カレンダー。
- 電話アプリで Model 3 のオンスクリーン　ダイヤラーを使用。

注: 安全上および法令上に問題がない場合は、電話機で直接番号をダイヤルするか、連絡先を選択することによって電話をかけることもできます。

注: 地図上のピンに触れ、ポップアップ ウィンドウで電話番号を選択することにより電話をかけることもできます (利用可能な場合)。

電話に応答する

電話機に着信があると、タッチスクリーンに発信者の番号または名前が表示されます (発信者が連絡先リストに含まれていて、Model 3 がその連絡先へアクセスできる場合)。

タッチスクリーンのオプションにタッチして、電話に**「応答」**するか、または**「無視」**するかを選択します。使用している電話と最新の通話に使用したスピーカーによっては、着信コールに使用したいスピーカーを選択するように求めるメッセージが表示されることがあります。

警告: 道路の状況に常に注意して運転してください。Bluetooth をオンにした状態でも、運転中の携帯電話の使用やプログラミングは深刻な怪我や死亡につながります。

警告: テキスト送信の使用禁止やハンズフリーの使用義務など、運転中の電話の使用に関して適用されるすべての法規に常に従ってください。

通話中オプション

通話中は、タッチスクリーンにその通話が表示されます。通話音量を調節するには、通話中に左スクロール ボタンを回します。左スクロール ボタンを左に倒すとミュート/ミュート解除になり、右に倒すと通話を終了します。

カレンダー

カレンダーには、スマートフォン（iPhone®または Android™）のカレンダーから送信された当日および翌日分の予定が表示されます。カレンダーは電話アプリに便利に統合されており、カレンダー の予定からミーティングに参加することができます。また、ナビゲーション システムにも統合されているのでイベントの場所へ移動することができます。

1. 電話機が Model 3 に電話キーとしてペアリングされていることを確認します。
2. Tesla モバイル アプリにログインしていることを確認します。
3. Tesla モバイル アプリで、**「プロフィール」** > **「設定」** > **「カレンダー同期」**の順にタッチします。

   注: カレンダー アプリのすべての 機能を利用できるようにするには、モバイル アプリの最新バージョンを使用することを推奨します。

4. 電話キーで、「**設定**」に移動し、Tesla モバイル アプリとカレンダーを共有するためのアクセスを許可します。そうすれば、カレンダーのデータがスマートフォンから Model 3 へ定期的 (かつ自動的) に送られるようになります。

カレンダー イベントに住所が含まれている場合は矢印が表示されます。住所にタッチすることで、そのイベントの場所までのナビゲーションを行わせることができます。

イベント毎に住所が指定されていて、乗車して運転の準備をしてから 2 時間以内にイベントが始まる場合、Model 3 は自動でイベントの住所に経路を指定します（オートナビゲーション ページ 169 参照）。

予定の情報アイコンにタッチすれば、その予定に関する情報が表示されます。メモに 1 つ以上の電話番号が含まれている場合、情報アイコンに電話のアイコンが表示され、カレンダーには 1 番目に検出された電話番号が表示されます。タッチして通話を開始します。予定にあるメモのポップアップ ウィンドウ内の任意の電話番号をタッチしても通話を開始することができます（これは特に電話会議の通話に便利です）。メモにウェブリンクが含まれている場合、リンクにタッチするとウェブ ブラウザーで開くことができます。

ズーム

車両のタッチスクリーンからシームレスにミーティングを開催し通話します。設定するには Zoom アプリにタッチしてサインインするか、ミーティングの ID を入力します。カレンダーに表示されているミーティングにアクセスすることや、Zoom のリンクにタッチしてテキスト メッセージでアクセスすることもできます。Model 3 がパーキングにシフトしているときに限れば、車両のキャビン カメラを使用して通話することもできます。Zoom で通話中にパーキング以外に車両をシフトさせると、キャビン カメラはオフになり、音声だけの通話に切り替わります。タッチスクリーンを使用して、映像のオン/オフ、ミュート/ミュート解除を切り替え、ミーティングのさまざまな設定をカスタマイズすることができます。

警告: 車両を公道上で「一時的に駐車」している（車両を縁石にそって、または駐車スポットに指定されていないところに、駐車しているなど）場合は、動画機能を使用しないでください。

警告: 周囲に注意を払い、ハンズフリー操作の義務など、運転中の電話の使用に関して適用されるすべての法規に常に従ってください。

myQ

装備されている場合、Model 3 は myQ®スマート ガレージにインテリジェントに接続できます。

myQ は、Model 3 とシームレスに連動するスマート ガレージ コントロール システムで、車両のタッチスクリーンまたはペアリングした電話機からガレージ ドアを遠隔監視および制御することができます。これは、ガレージ ドアを閉め忘れたときや、友人や家族を中に入れたいとき、遠隔操作で開閉したいとき（荷物を受け取るときなど）に便利です。myQ と Model 3 をリンクすることで、ガレージ ドアは近くにあるあなたの車両を検知し、それに合わせて自動的に開閉することができます。

警告: myQ は、安全停止とリバース機能の無い機器には使用しないでください。上記の安全機能を装備していない機器の開閉装置を使用すると、物的損害、けが、死亡事故を引き起こす危険性が大きくなります。

次の手順に従って車両で myQ を設定してください。

1. ガレージ ドアが myQ をサポートしている必要があります。myQ 互換性ツール（https://www.myq.com/app/myq-compatibility）を使用して判定してください。
2. ガレージが Wi-Fi 接続できることを確認します。myQ は Wi-Fi を使用してスマートフォンおよび車両と通信します。一部のガレージには、ハブに Wi-Fi や myQ の記号が付きます。車両からガレージを操作し監視するには、そのガレージに強い Wi-Fi 信号がある必要があります。

   注: ガレージに互換性がない場合、外付けの myQ ハブを購入して、この機能を利用することができます。

3. スマートフォンのアプリ ストアから myQ アプリをダウンロードします。このアプリを使用してアカウント情報を設定し、ガレージをスマートフォンにペアリングします。myQ を使用するためには、有料契約が必要であり、アプリから購入できます。
4. 車両が最新のソフトウェア バージョンを実行しており、Wi-Fi または LTE 接続があることを確認します。
5. タッチスクリーンの上部にあるガレージ アイコンにタッチするか、**「コントロール」** > **「ロック」** > **「myQ 接続済みのガレージ」** > **「アカウントをリンク」**の順にから指示に従ってガレージを Model 3 にペアリングします。ペアリングが完了すると、ガレージの監視および操作がタッチスクリーンでできるようになり、さらに myQ をカスタマイズすることもできます。

詳細情報、質問、トラブルシューティングの支援、損傷に対する補償請求については、www.myQ.com/Tesla にアクセスしてください。

HomeLink ユニバーサル トランシーバー

HomeLink® ユニバーサル トランシーバーが装備されている場合、ガレージ ドア、ゲート、ライト、セキュリティ システムなどの無線周波（RF）装置を最大 3 台まで操作することができます。

注: 製造日、販売地域および購入時に選んだオプションによって、HomeLink ユニバーサル トランシーバーが装備されていない車両もあります。

警告: HomeLink ユニバーサル トランシーバーは、安全停止とリバース機能の無い機器には使用しないでください。上記の安全機能を装備していない機器の開閉装置を使用すると、けがや死亡事故を引き起こす危険性が大きくなります。

対応しているモード

HomeLink は、車両と RF 機器との通信方法に応じて 3 種類の送信モードに対応します。送信モードの選択は対応する RF 機器により異なります。

- **標準モード**: RF 機器にリモコンが装備されている場合は標準モードを使用します。この場合、必ずリモコンを使用して機器を操作する必要があります（例、ガレージドアの遠隔操作など）。このモードはホームリンク デバイスに対して最も一般的に使用される送信モードです。
- **D モードまたは UR モード**: RF 機器にリモコンが装備されていない場合は、D モードまたは UR モードを使用します。この場合、受信機には「Learn」ボタンがあります（「Program」または「Smart」となっている場合もあります）。Model 3 がリモート コントロールとは対照的にデバイスの受信機と直接通信する点においては、D モードと UR モードは同様に機能します。

  注: D モードは主に北米で使用されているもので、欧州、中東、アジア地域では UR モードが一般的に使用されています。デバイスが互換性を持っているモードを確認するには、www.homelink.com にアクセスするか 1-800-355-3515 に電話して HomeLink に連絡してください。

機器はそれぞれ異なるモードで設定できます。たとえば、ガレージのドアを標準モードに設定したり、正面玄関を D モードに設定したりできます。送信モードを変更するには、**コントロール**画面の上部にある HomeLink アイコンをタッチして変更したい機器を選択します。機器を選択したら、**Program** を選択して機器で使用したいモードを選択します。**設定モード**をタッチして設定を確認し、画面に表示される指示に従います。

年式の古い車両の場合、ある 1 つの機器のモードを変更するとその他すべての機器のモードが変更されるため送信モードを変更する場合はご注意ください。選択したモードに対応していない機器は動作しない場合があります。タッチスクリーンの上にある HomeLink アイコンにタッチしてから、**「送信モードの変更」**にタッチします。

注: HomeLink デバイスの製品情報を確認して、どのモードがデバイスに対応しているか確認します。

HomeLink のプログラミング

HomeLink®をプログラムする:

1. フロントのバンパーがプログラム対象のデバイスの正面にくるように Model 3 を駐車します。

   注意: プログラミング中は、デバイスが開いたり閉じたりします。そのため、プログラミングをする前に、デバイスの周辺に人や物がないことを確認してください。

2. デバイスのリモコンに良好な状態の電池が入っていることを確認します。Tesla では、HomeLink のプログラミングを実施する前に、デバイスのリモートコントロールのバッテリーを交換することを推奨しています。
3. **コントロール**画面の上部にある HomeLink アイコンをタップします。
4. **「Homelink を作成」**にタッチします。
5. HomeLink 画面でデバイスの名称を入力し**「Enter」**または**「新しい HomeLink を追加」**をタッチします。
6. 使用するモード（標準、D モードまたは UR モード）を選択し、**「設定モード」**をタッチします。
7. **「開始」**にタッチしてから、スクリーン上の指示に従います。

   注: デバイスのプログラミング中に「受信機を記憶させる」という画面になったら、これが時間的制約のある場面であることを意識してください。デバイスのリモコンの Learn/Program/Smart ボタンを押した後、わずか約 30 秒の間に車に戻って、**「続行」**を押し、次に記憶させたホームリンク デバイスの名前を 2 回押してください。この作業を 30 秒以内に確実に完了できるようにするために、アシスタントを用意することを検討してください。

8. デバイスがプログラムされたら、**「保存」**をタッチしてプログラミングを完了します。
9. ホームリンクが正しく動作することを確認してください。場合によっては、次に進む前にプログラミング処理を複数回繰り返す必要があります。

プログラムすると、タッチスクリーンの該当する HomeLink アイコンにタッチすることでデバイスを操作することができます。HomeLink はプログラムしたデバイスの場所を記憶します。既知の場所に近づくと、タッチスクリーン上に HomeLink のコントロールが自動的に表示されます。走行して離れていくと、消えます。

注: Model 3 が通信距離内にプログラミングされた HomeLink デバイスを検出し、タッチスクリーンに HomeLink の画面またはポップアップがまだ表示されていない場合、タッチスクリーンの上部に HomeLink アイコンが表示されます。

注: ご不明な点や互換性に関する質問がある場合には、HomeLink までお問合せください (www.homelink.com または、1-800-355-3515 までお電話してください)。

自動開閉

タッチスクリーンを使用せずにホームリンク機器を動作させるために、近づいたら開く、離れると閉じるように機器を設定できます。

1. **「コントロール」**画面の上部にある HomeLink アイコンにタッチしてから、**「Homelink 設定」**にタッチして自動に設定したい機器を選択します。
2. 必要に応じ、次のようにしてデバイスの Homelink 設定を調整します
   - 近づいた時にデバイスが開くようにしたい場合、**「到着時に自動的に開く」**チェックボックスを選択します。
   - 矢印にタッチして、機器が自動的に開く際の Model 3 までの距離を指定します。
   - 車が離れたら機器が閉じるように設定したい場合は、**「出発時に自動的に閉じる」**チェックボックスを選択します。
   - Homelink の位置に到着したときにミラーをたたみたい場合は、**「自動格納式ミラー」**チェックボックスを選択します。これは狭い車庫で有用です。
   - デバイスを自動的に開閉する信号が送信されると、Model 3 がチャイムを鳴らすようにしたい場合、**「自動開閉時のチャイムを有効にする」**チェックボックスを選択します。

HomeLink は、ペアリング時の車両の GPS 位置を記憶しており、これに基づいて HomeLink デバイスと車両の位置関係を確認します。HomeLink は、ドアの開閉状態の検知および区別を行っておらず（例：オートオープンがトリガーされたとき、ドアがすでに開いている場合、ドアは閉じます）、通常、以下に基づいてオートオープンかオートクローズかを 判断します。

オートオープン：Model 3 が、ガレージ ドア（または他の HomeLink デバイス）の指定距離内に近づくと検出します。オートオープンは、接近する車両のギアがドライブに入っていて、HomeLink が有効になっている場合に限り開始されます。HomeLink は、車両がすでにそのエリアにいる場合は作動しません。

オートクローズ：HomeLink は、Model 3 がパーキングからリバースにシフトし、リバースで 23 フィート（7 メートル）以上移動すると作動します。

注: 指定距離内で何度もギアチェンジを行うと、オートクローズが正常に機能しない場合があります。

機器に自動的に開閉を行わせたくない場合は、カウントダウンが終了する前に **「自動開閉をしない (Skip Auto-Open)」**または**「自動開閉をしない (Skip Auto-Close)」**を押してください。

注: デバイスが完全に閉じられていることを確認する際はホームリンクを信用しないでください。

HomeLink 機器の場所をリセットする

ホームリンク機器に近づいた時に機器が開かない場合や、プログラミングされた機器に近づいてもタッチスクリーンに 告知が表示されない場合は、機器の場所をリセットする必要があることがあります。リセットするには、HomeLink 機器（ガレージ ドアやゲートなど）のできるだけ近くに車を停め、 **「コントロール」**画面上部にある Homelink アイコンにタッチして HomeLink 設定ページを表示します。リセットしたい機器の名前にタッチしてから、**「ロケーションをリセットする」**にタッチします。

デバイスの削除

HomeLink 機器を削除するには、**「コントロール」**画面上部にある Homelink アイコンをタッチしてから**「HomeLink 設定」**をタッチします。削除したい機器の名前をタッチして、**「削除する」**をタッチします。

注: 工場出荷時のリセットを実行して、他のすべての個人データ（保存されたアドレス、音楽のお気に入り、インポートされた連絡先など）と一緒に、HomeLink の設定を消去することもできます。工場リセットによる個人データの消去 ページ 305 を参照してください。

注: 万が一ご自身の Model 3 を売却する場合には、安全上の理由により、お使いの HomeLink デバイスを削除してください。

HomeLink のトラブルシューティング

標準モード

標準モードでは、Model 3 はホームリンク デバイスのリモコンが発信する RF 信号を記録します。タッチスクリーンの指示に従って車の前に立ち、デバイスのリモコンをフロント バンパーに向け、ヘッドライトが点滅するまでボタンを押したままにします。ヘッドライトが点滅したら Model 3 はリモコンを記憶していますので、タッチスクリーンの**「続行」**にタッチすることができます。ヘッドライトが点滅しない場合は次のようにしてください。

- リモコンの電池を点検します。プログラミングを開始する前にバッテリーを交換することをお勧めします。
- Model 3 の前面に立ち、デバイスのリモコンをテスラ エンブレムからの 2 インチ（5 cm）以内に配置します。
- ヘッドライトが点滅するまで、デバイスのリモコンのボタンを長押しします。場合によっては、リモコンのボタンを最長 3 分押し続ける必要があります。

  注: 一部のホームリンクのリモコンでは、1 回長押しする代わりに、短く複数回（1 秒に 1 回程度）リモコンを押すことが必要となる場合があります。長押しを数回試みてもうまくいかない場合は、毎秒 1 回程度で繰り返し押してみてください。

D モードおよび UR モード

D モードおよび UR モードにすると、機器の受信機が Model 3 を記憶します。タッチスクリーンで、機器の受信機にある「Learn」ボタンを押すよう指示があります（「Program」または「Smart」となっている場合もあります）。動作しない場合は、以下のガイドラインを参照してください。

- プログラムを試みるガレージドア、ゲートなどにできるだけバンパーを近づけて Model 3 を駐車します。
- 受信機の「Learn/Program/Smart」ボタンを確実に押します。受信機を記憶モードにする方法については、プログラムしたい RF 機器に付属される製品説明書を参照してください。
- デバイスのプログラミング中に「受信機を訓練」という画面になった場合、その操作には時間制限があることにご注意ください。デバイスのリモコンまたは受信機の Learn/Program/Smart ボタンを押した後、わずか約 30 秒の間に車に戻って、**「続行」**を押し、次に訓練したホームリンク デバイスの名前を 2 回押してください。以下の手順を他の人に手伝ってもらってください。
- 多くの受信機の記憶モードは、3 分～5 分間持続します。デバイスの「Learn/Program/Smart」ボタンを押した直後に、車両のタッチスクリーンに表示される指示に従ってください。

ご不明な点や互換性に関する質問がある場合には、HomeLink までお問合せください (www.homelink.com または、1-800-355-3515 までお電話してください)。

運転を開始

Model 3 に乗車するためにドアを開くと、タッチスクリーンの電源がオンになり、すべてのコントロールを操作できます。Model 3 をシフトさせるには、ブレーキ ペダルを踏み、タッチスクリーンのドライブ モード ストリップで上にスワイプしてドライブにシフトするか、下にスワイプしてリバースにシフトします（ギアシフト ページ 73 を参照）。

「オートシフト・アウトオブパーク」が有効な場合、Model 3 は検出された周囲の状況に応じてドライブまたはリバースを選択します。ブレーキ ペダルを踏むと、（運転席ドアが閉じられていて、運転席シートベルトが締められていると）車両はタッチスクリーンのドライブ モード ストリップに表示されている選択したドライブ モードにシフトし、アクセル ペダルを踏むと、車両はその方向に移動します。

注:「オートシフト・アウトオブパーク」をオンまたはオフにするには、**「コントロール」** > **「ダイナミクス」** > **「オートシフト・アウトオブパーク」**にタッチします。

「オートシフト・アウトオブパーク」が有効なときに加速を行う前に、タッチスクリーンを見て、Model 3 が希望するドライブ モード（ドライブまたはリバース）にシフトしていることを確認します。選択が正しくない場合や、**「オートシフト・アウトオブパーク」**が有効ではない場合、タッチスクリーンのドライブ モード ストリップで上にスワイプしてドライブにシフトするか、下にスワイプしてリバースにシフトして、新しいドライブ モードを選択します。ギアシフト ページ 73 を参照してください。

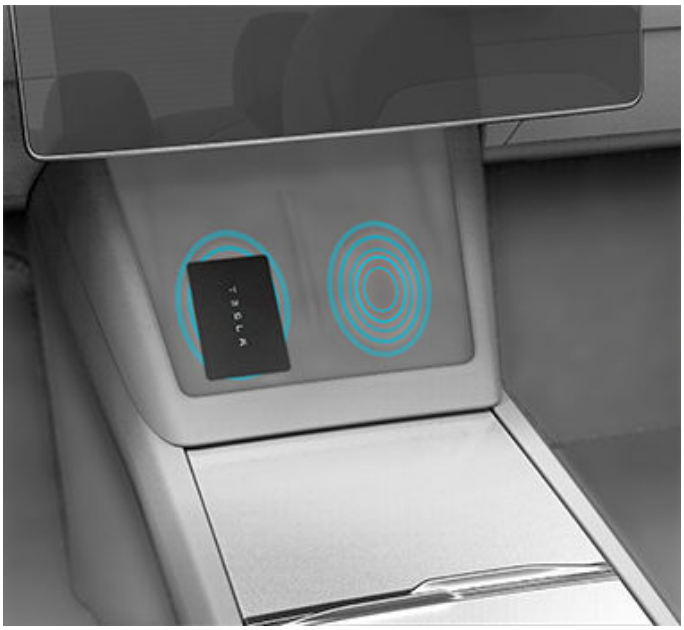
注:「ドライブ用 PIN」の機能が有効になっている場合（ドライブ用 PIN ページ 149 を参照）、Model 3 を運転可能にするには、タッチスクリーンで有効な PIN を入力する必要があります。

Model 3 の運転に必要な事項はすべて タッチスクリーンに表示されます。

ドライブが無効 - 認証が必要です

ブレーキを踏んだときに Model 3 がキーを検出しない場合（電話キーが検出されないか、またはキーカードを使用してから 2 分が経過した場合）は、運転するには認証が必要であることを知らせるメッセージがタッチスクリーンに表示されます。

このメッセージが表示されたら、RFID トランスミッターが読み取りやすいように、いずれかの電話ドックにキー カードを置いてください。2 分間の認証期間が再開され、ブレーキ ペダルを踏むことで Model 3 を開始できます。



Model 3 が電話キーを検出できるかどうかは、さまざまな要因（デバイスのバッテリー残量の低下、バッテリー切れ、Bluetooth 通信不可など）に影響されます。

電話キーまたはキー カードは常に携帯してください。運転後は、Model 3 を再起動するためにキーが必要になります。また、降車後、Model 3 を手動または自動でロックするときにもキーが必要です。

停止

運転を終了してパーキングにシフトしたら、単に車両から降ります。電話キーおよびキー フォブを持って Model 3 から離れると、自動的に電源がオフになり、タッチスクリーンもオフになります。

Model 3 また、運転席に座っていても、ギアをパーキングに切り換えて 30 分が経過すると自動的に電源がオフになります。

通常は必要な操作ではありませんが、車両が動いていなければ運転席に座ったまま手動で Model 3 の電源をオフにすることもできます。**「コントロール」** > **「安全」** > **「電源オフ」**の順にタッチします。 Model 3 ブレーキを踏むか、運転席のドアを開けると、しばらくして電源が自動的にオンに戻ります。必要に応じて、いったん車両を降りてから再度乗車してください。

注: Model 3 乗客が車両から降りたこと（例えば、運転席シートベルトが装着されておらず、車両がほぼ停止している）を検知すると自動的にパーキングにシフトします。ニュートラルにシフトする場合、ドアを開けて車から降りるとはパーキングにシフトします。車両をニュートラルのままにするには、けん引モードを有効にする必要があります（車両輸送者向け注意事項 ページ 231 を参照）。

車両でパワーサイクリングを行う

異常な挙動を示す場合や、意味のない警告が表示される場合、Model 3 の電源を入れ直すことができます。

始動と電源オフ

注: タッチスクリーンが反応しない、または異常な動作を示している場合は、車両の電源を再投入する前にタッチスクリーン再起動してください（タッチスクリーンの再起動 ページ 9 を参照）。

1. パーキングにシフトします。
2. タッチスクリーンで、**「コントロール」** > **「安全」** > **「電源オフ」**の順にタッチします。
3. 車両のどこにも触らないようにして、最低 2 分程度待ちます。ドアを開けたり、ブレーキペダルを踏んだり、タッチスクリーンを操作したりしないでください。
4. 2 分後、ブレーキペダルを踏むか、ドアを開けると、車両を起動します。

ハンドル位置の調整

警告: 運転中にハンドルを調整しないでください。

注意: ハンドルにアルコール系の手指消毒剤、ローション、日焼け止め、その他の製品が直接付着しないようにしてください。詳細情報については、ハンドル ページ 206 を参照してください。

タッチスクリーンの使用

ステアリングコラム下にレバーがない車両にのみ適用されます。

ハンドルを調整するには、**「コントロール」**にタッチしてから**「ステアリング」**アイコンをタッチします。

ハンドルの左スクロール ボタンを使用して、ハンドルを最適な位置に調整します。

- ハンドルの高さ/傾きを調整するには、左スクロール ボタンを上下に動かします。
- ハンドルを自分に寄せたり、自分から離したりするには、左スクロール ボタンを左右に動かします。

調整レバーの使用

この操作は、ステアリングコラム下に調整レバーがある車両にのみ適用されます。

ハンドルを調整するには、ステアリングコラム下のレバーを引き、ステアリングホイールを手動で希望の位置に動かします。

調整が終わったら、レバーをステアリングコラムに押し戻し、位置を固定します。

警告: Model 3 を運転する前に、レバーが完全にロックされていることを確認してください。

ハンドルの重みの調整

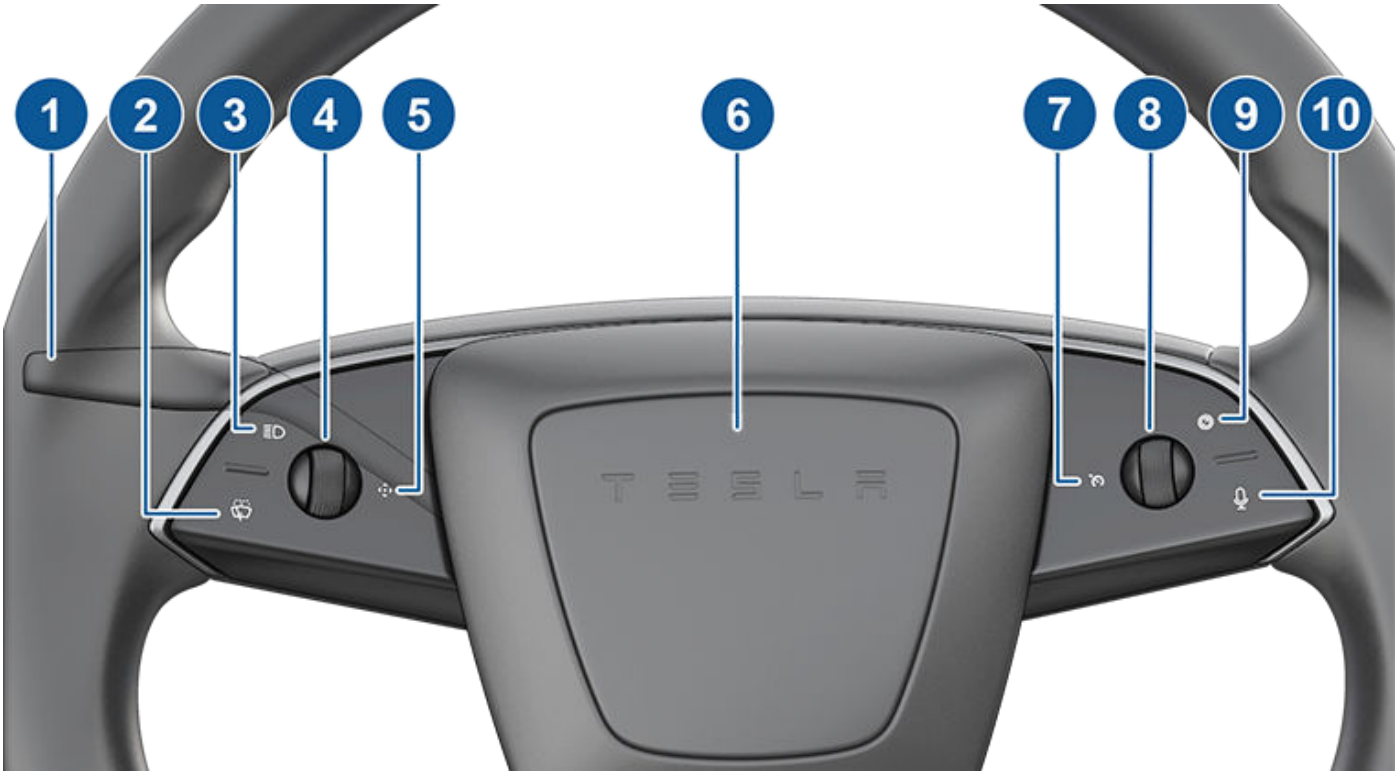
注: *トリム、構成、製造時期によっては、車両にハンドルの重さを調整するオプションが装備されていない場合があります。*

ステアリング システムの感触と感度をお好みに合わせて調整できます。

1. タッチスクリーンで **「コントロール」** > **「ダイナミクス」** > **「ハンドルの重さ」**の順にタッチします。
2. ステアリングのオプションを選択します。
   - **「軽い」**: ハンドルを楽に回せます。この設定にすると、市街地での Model 3 の運転と駐車が容易になります。
   - **「標準」**: ほとんどの条件で最適な操作性と応答性が得られる Tesla が推奨する設定です。
   - **「重い」**: ハンドルを回すのに必要な力が増します。高速で運転する際に Model 3 の応答性がよくなります。

ハンドルの概要

ステアリング ハンドルのデザインは異なりますが機能に変わりはありません。



1. ウィンカーレバー（装備されている場合）（ウィンカーレバーで操作するウィンカー ページ 78 を参照）
2. ワイパー（ワイパーとウォッシャー ページ 79 を参照）
3. ハイビーム ヘッドライト（ハイビーム ヘッドライト ページ 76 参照）
4. 左側スクロール ホイール（スクロール ホイール ページ 69 参照）
5. マルチファンクション アイコン（機能しません）
6. ホーン（クラクション ページ 70 参照）
7. クルーズ コントロール アイコン（機能しません）
8. 右側スクロール ホイール（スクロール ホイール ページ 69 参照）
9. 後方カメラ ボタン
10. 音声コマンド（音声コマンド ページ 17 参照）

スクロール ホイール

ハンドルの左側にあるスクロール ホイールは、ミラーの調整や音量コントロール、ワイパーの速度などの機能を制御します。右側スクロール ホイールは、オートステアリングの開始や最高速度制限などのオートパイロット機能を制御します。

左側スクロール ホイール（多機能）

モード	アクション	機能	詳細情報
通常	押す	メディアの再生/一時停止	メディア ページ 174
	左/右にチルト	次/前の曲	
	スクロール 上/下	音量調整	
ワイパー*	押す	速度の確定	ワイパーとウォッシャー ページ 79
	スクロール	ワイパー速度の選択	
多機能	長押し	機能の有効化/設定	左側スクロール ホイールのカスタマイズ ページ 69
	左/右にチルト	ナビの実行リスト	
	スクロール	機能を選択	
電話	左/右にチルト	通話の承諾/拒否	電話アプリを使用する ページ 60
	通話中、左にチルト	ミュート/ミュート解除	
	通話中、右にチルト	通話を終了	

＊ハンドルにあるワイパー ボタンを最初に押して有効にします。

左側スクロール ホイールのカスタマイズ

機能へのクイックアクセスを作成するには**「コントロール」** > **「ディスプレイ」** > **「スクロールホイールの機能」**の順にタッチして、リストから選択します。機能を選択すると、**「毎回確認する」**を選択しない限り、左側スクロール ボタンを長押しした時のデフォルト アクションが設定されます。

右側スクロール ホイール（オートパイロット）

モード	アクション	機能	詳細情報
シングル クリック＊	押す	有効 オートステアリング	オートパイロットの設定 ページ 109
	左/右にチルト	車間距離を調整する	
	スクロール 上/下	最高速度を調整する	
*（装備されている場合）をダブルクリックします。	押す	有効 トラフィックアウェア クルーズコントロール	
	２回押す	有効 オートステアリング	
	左/右にチルト	車間距離を調整する	
	スクロール	最高速度を調整する	
フルセルフドライビング（スーパーバイズド） **	押す*	有効 フルセルフドライビング（スーパーバイズド）	フルセルフドライビング（スーパーバイズド） ページ 124
Grok（ベータ版）	長押し	Grok と話す	Grok（ベータ版） ページ 175

***コントロール** > **オートパイロット** > **オートパイロットの起動**（装備されている場合）にタッチしてオートパイロット機能を有効にする方法を選択します。

最初にコントロール** > **オートパイロット** > **フルセルフドライビング（スーパーバイズド）**にタッチしてフルセルフドライビング（スーパーバイズド）を有効にします。

両側のスクロール ホイール

モード	アクション	機能	詳細情報
通常	両方を素早く押します	セカンダリー ドライブ モード セレクター（P、R、N、D）を有効にします	オーバーヘッド コンソールを使用してシフトする ページ 73
	両方を長押しします	タッチスクリーンを再起動します	タッチスクリーンの再起動 ページ 9

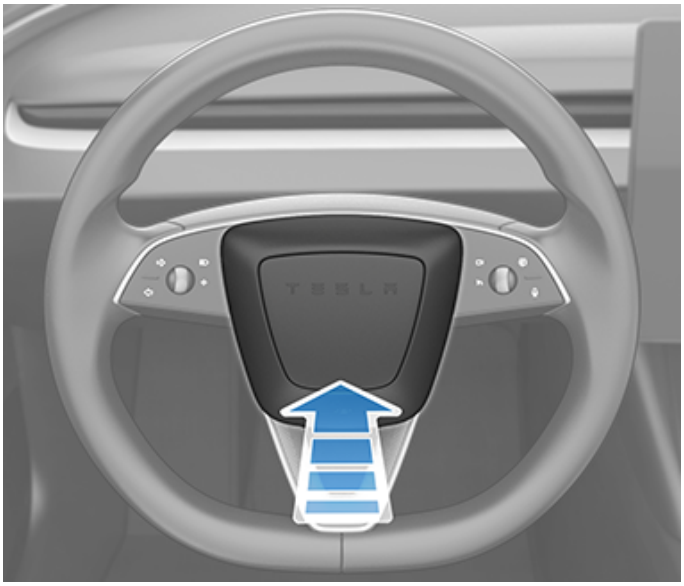
ヒーテッド ステアリング ホイール

注: *トリム、構成、製造時期によっては、車両にハンドルヒーターが装備されていない場合があります。*

ハンドルを温めるには、（装備されている場合）タッチスクリーンのファン アイコンにタッチして空調（空調設定の調整 ページ 156 を参照）を表示してから、ハンドル アイコンにタッチします。オンにすると、輻射熱でハンドルを快適な温度に保ちます。

クラクション

クラクションを鳴らすには、ハンドル中央のパッドを押し続けます。



外側ミラーの調整

「コントロール」 > **「ミラー」**の順にタッチして、エクステリアミラーを調整します。ハンドルの左スクロールボタンを押して**「左」**と**「右」**のどちらのミラーを調整するのかを選択します。次に左スクロール ボタンを以下のように使用して、選択したミラーを最適な位置に調整します。

- ミラーを上下に動かすには、左スクロール ボタンを上下に動かしてください。
- ミラーを内側または外側に動かすには、左スクロールボタンを左右に押します。

ステアリング ハンドルのデザインは異なる場合がありますが、機能に変わりはありません。

自動防眩およびオートチルト（装備されている場合）

注: **「ミラー自動防眩」**、**「ミラーオートチルト」**、「ミラーヒーター」機能は、構成、販売地域および製造日によって利用できない場合があります。

車両をリバースにシフトすると、両方の外側ミラーを自動的に下向きに傾けることができます。この機能のオンまたはオフを行うには、**「コントロール」** > **「ミラー」** > **「ミラー角度自動調節」**の順にタッチします。オートチルト位置を調整するには、**「チルト位置の調整」**をタッチし、必要に応じてミラーを調整してください。チルト位置を調整し**「保存」**をタッチすると、リバースにシフトするたびにミラーが設定された位置に自動で傾きます。ギアをリバース以外に戻すと、ミラーの角度はまた通常の位置（上方）へ戻ります。チルト位置を調整するには、**「ミラー角度自動調節」**を有効にする必要があります。

夜間運転の際のまぶしさを減少させるため、リア ビュー ミラーおよびサイド ミラーは自動的に減光します。この機能を有効または無効にするには、**「コントロール」** > **「ミラー」** > **「ミラー自動防眩」**の順にタッチします。

注: また、どちらのミラーも、リア ウィンドウ デフロスターとあわせてオン/オフになるヒーター（装備されている場合）を備えています。

格納式ミラー（装備されている場合）

注: *トリム、構成、製造時期によっては、車両に格納式ミラーが装備されていない場合があります。*

（狭い車庫やスペースの少ない場所に駐車する場合などに）ドアミラーを操作して格納および展開するには**「コントロール」** > **「ミラーを格納/展開」**の順にタッチします。左側のスクロールボタンの多機能操作を使用して、ミラーを折りたたんだり元に戻したりすることもできます（左側スクロール ホイールのカスタマイズ ページ 69 を参照）。

ミラーを操作して格納した場合、走行速度が 31 mph（50 km/h）に達しない限り（または**「コントロール」** > **「ミラーを展開」**にタッチしてミラーを操作して展開しない限り）ミラーは格納されたままになります。

注: 走行速度が 31 mph (50 km/h) を超えている場合、ミラーを格納することはできません。

降車して Model 3 をロックしたときにミラーを自動的に格納するように設定するには、**「コントロール」** > **「ミラー」** > **「ミラー自動格納」**の順にタッチします。Model 3 をロック解除するとミラーが自動的に展開します。

また、指定した場所に来るとミラーを自動的に格納するように設定することもでき、頻繁に訪れる場所でその都度操作して格納する必要がなくなります。設定をするには、保存したい場所で停車（または 3 mph (6 km/h) 未満で走行）し、ミラーを格納します。**ミラーを格納** コントロールに短時間表示された時、**ロケーションを保存する**をタッチします。

ミラーを自動で格納したくない場合は、ミラーが自動で格納する場所で**「コントロール」** > **「ミラーを展開」**をタッチして、**「ロケーションの削除」**をタッチします。.

保存済みの場所から離れる場合、走行速度が 3 mph（6 km/h）に達するか、または、**「コントロール」** > **「ミラーを展開」**の順にタッチするまでミラーは格納されたままになります。

注: 保存した場所に戻り、50 km/h 未満で走行している場合、ミラーを自動的に格納することができます。

注: ミラーの自動格納/展開は、いつでも（例えば Model 3 に電力がない場合でも）ミラーアセンブリを奥へ押し込むと展開され、手前に引くと格納されて、無効にすることができます。

注: Model 3 を駐車している間に着氷することが予測される場合は**「ミラー自動格納」**をオフにしてください。着氷により、サイドミラーの展開、格納ができなくなる場合があります。寒冷時にミラーを正しく作動させる方法については、寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 163 を参照してください。

自動格納ミラーを HomeLink にリンクさせることができます（スマート ガレージ ページ 62 を参照）。オンにするには、**「HomeLink」** > **「近くに来たらミラーを自動格納する」**の順にタッチします。

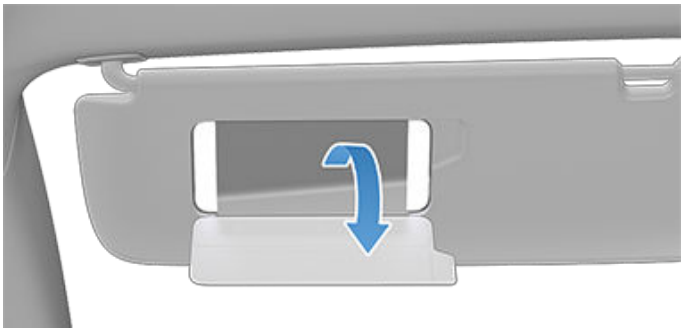
インテリア ミラー

バックミラー

バックミラーを操作して調整します。ドライブまたはニュートラルにシフトされているとき、バックミラーは時刻に基づき低照明では周囲の明るさに合わせて自動的に暗くなります（夜間の走行時など）。

バニティ ミラー

バニティミラーを出して点灯させるには、サン バイザーを手前に折り畳み、タブを使用してミラーカバーを下ろします。ミラー カバーを閉じると、ライトが消灯します。

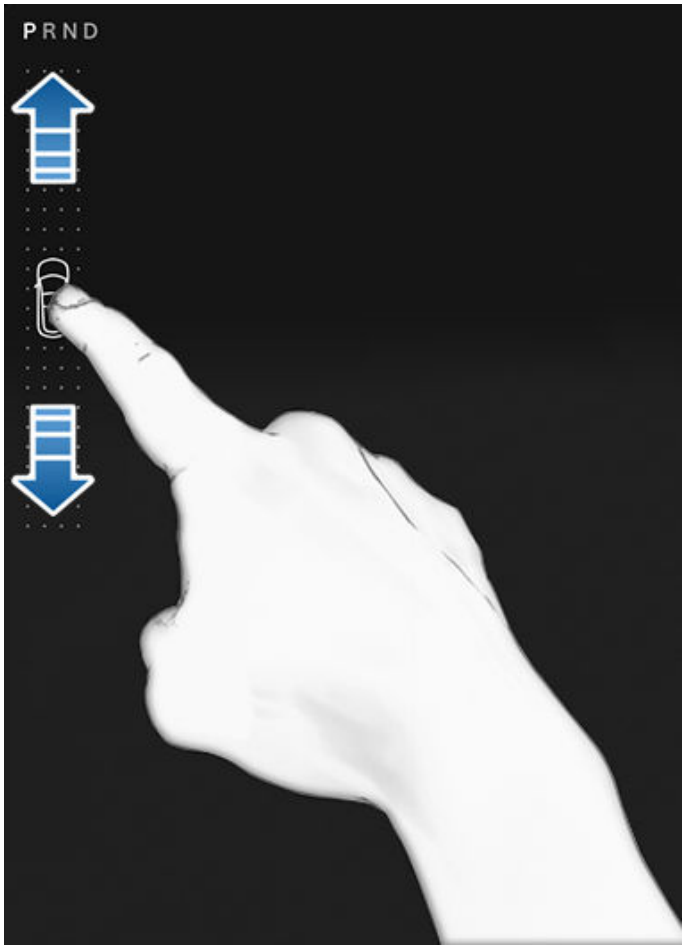


タッチスクリーンを使用してシフトする

パーキング状態でブレーキ ペダルを踏み込むと、タッチスクリーンの片側にドライブ モード ストリップが表示されます。ドライブ モード ストリップを使用して Model 3 をシフトする場合：上にドライブまでスワイプするか、下にリバースまでスワイプするか、パーキングのドライブ モード ストリップを押します。ギアシフトのたびにチャイムが鳴ります。

ニュートラルにシフトするには、**「コントロール」**を開いて**「ニュートラル」**アイコンを長押しし、Model 3 がニュートラルにシフトしたら離します。

タッチスクリーンには Model 3 がシフトしているギアが常に表示されますが、高速走行しているときはドライブ モード ストリップは非表示になります。ドライブ モード ストリップを常に表示するには、タッチスクリーンの端から助手席側に向かってスワイプします。



注: ドライブからリバースにまたはその逆にシフトするには、走行速度を 5 mph（8 km/h）よりも低速にする必要があります。

タッチスクリーンのドライブ モード ストリップには、常に**「パーキング」**ボタンが表示されます。5 mph (8 km/h) 未満で走行しているときに、ブレーキペダルを踏みながら、ドライブ モード ストリップの**「パーキング」**ボタンにタッチすると、パーキングにシフトします。緊急事態に、5 mph (8 km/h) を超えて走行している場合、**「パーキング」**ボタンを長押しすると、車両は徐々に減速して、停車します。

手動でシフトする場合、タッチスクリーンの使用が推奨されます。ただし、万が一タッチスクリーンが使用できなくなった状況では、オーバーヘッド コンソールのドライブ モード セレクターが自動的に作動し、ギアのシフトに使用されます（オーバーヘッド コンソールを使用してシフトする ページ 73 を参照）。

現在の走行速度では禁止されているシフトを試みると、タッチスクリーンにアラートが表示され、チャイムが鳴り、ドライブ モードは変更されません。

オーバーヘッド コンソールを使用してシフトする

タッチスクリーン上で手動シフトする他に、オーバーヘッド コンソールにある「P」、「R」、「N」または「D」を押してもシフトすることができます。多くの場合、これらのボタンはブレーキを踏みながらどれか一つのボタンを押して作動させない限り使用できません。有効になっているときはそれぞれのボタンに該当する LED が点灯し、「P」、「R」、「N」または「D」を選択すると該当する LED が橙色に点灯します。

タッチスクリーンが利用できない状況 (技術的な問題が発生している場合など)、または Model 3 がバレーまたはけん引モードの場合、オーバーヘッド コンソールのドライブ モード セレクターが自動的に起動するため、タッチする必要はありません。

注: ハンドルのスクロール ボタンを両方同時に*短い間*押しても、オーバーヘッド コンソールのドライブ モード セレクターをオンにできます。ただし、両方のボタンを押し*続ける*とドライブ モード セレクターが有効になると*共に*タッチスクリーンが再起動します（タッチスクリーンの再起動 ページ 9 参照）。

注: オーバーヘッド コンソールを使用してシフトするには、フロント トランクを閉じておく必要があります。

1. 駐車
2. 後進
3. ニュートラル
4. 走行

注: シフトのためにタッチスクリーンを使用することができて、オーバーヘッド コンソールのドライブ モード セレクターを手動で有効にした場合、1 分以内にシフトしないとオーバーヘッド コンソールは自動的に無効になります。

オートシフト（ベータ版）

注:「オートシフト」はベータ機能で、デフォルト設定ではオフになっています。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェア バージョンによっては、車両に**「オートシフト」**（ベータ版）が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

「オートシフト」（ベータ版）は、ドライブとリバース間のシフト操作またはパーキングからのシフト操作を自動で行い、方向転換、駐車、駐車スペースから後進で出るなどの操作を支援します。有効にするには、**「コントロール」** > **「ダイナミクス」** > **「オートシフト（ベータ版）」**の順にタッチして、そこで**「オン」**または**「フロムパーキング」**を選択できます。

オートシフト（ベータ版）を**オン**に設定すると、シフト操作を、周辺環境に合わせてタッチスクリーンを使わず行えます。この機能は、複数回の切り返しを伴う方向転換、駐車スペースから後進で出る操作、縦列駐車などの運転操作を支援します。車両でシフトがサポートされる場合は,、準備完了インジケーターがタッチスクリーンに表示されます。

「フロムパーキング」が選択されている場合、Model 3 はパーキングからシフトするときに（駐車ペースから出る際など）、ドライブまたはリバースを選択します。 Model 3 は、以下の場合にドライブ モードを選択します。

- **「オートシフト」**（ベータ版）が有効になっている。
- Model 3 が、パーキング（**「フロムパーキング」**の場合）、またはドライブまたはリバース（**「オン」**の場合）に入っている。
- 運転席のシート ベルトが着用済みである。
- ブレーキ ペダルが踏み込まれている。
- すべてのドアとトランクが閉じている。
- センター コンソールのドライブ モード セレクターが作動していない。

「オートシフト」（ベータ版）は運転体験を向上させる目的で設計されており、前方および/または後方に車両または物体が存在する状況で操作を開始する必要がある場合など、特定の状況でしか表示されない場合があります。ドライブ モードの選択を確認し、タッチスクリーンの指示に従ったうえでアクセルを踏み込みます。

この選択を無効にするには、ブレーキ ペダルを踏みタッチスクリーンのドライブ モード ストリップを使用して、希望するドライブ モードに手動でシフトします。無効にした場合、オートシフト（ベータ版）を再度表示させるには、もう一度ギアをシフトする必要があります。**オートシフト**（ベータ版）が利用できない場合は、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。

注: Model 3 は、以下に例示する（それらに限定されません）特定のモードや運転状況では、オートシフト（ベータ版）を許可しません。バレーモード、トラック モード、クリープ、けん引モードなど。

警告:「オートシフト」（ベータ版）に任せきりにせず、走行を開始する前には必ず選択を確認してください。常に注意を怠らず、周囲の状況を監視し、安全に操縦してください。

駐車

手動でパーキングにシフトするには、ブレーキ ペダルを踏み、タッチスクリーンのドライブ モード ストリップの**「パーキング」**ボタンにタッチします。タッチスクリーンを使用できない場合、オーバーヘッド コンソールにあるドライブ モード セレクターで「パーキング」を押してください。

Model 3 低速走行中に移動しないように自動的にパーキングにシフトします。これは、充電ケーブルを接続した場合、シートベルトを外した場合、またはドライブ、リバース、ニュートラルにシフトしているときにドアを開いた場合に発生します。充電ケーブルが取り外されていること、シートベルトを着用していること、ドアが閉まっていることを確認したうえで、パーキングからシフトしてください。

5 mph（8 km/h）を超える車速でパーキング ブレーキをかけようとすると、緊急ブレーキになります（ブレーキと停車 ページ 80 参照）。

注: 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、センター コンソールまたはタッチスクリーンのドライブ レバーの**パーキング** ボタンを長押しして Model 3 を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。

注: パーキング *から*シフトするときは、必ずブレーキ ペダルを踏んでください。

注意: Model 3 は、充電ケーブルが接続されている場合、または充電ポートを使用して充電ケーブルが差し込まれているかを判定することができない場合、パーキングからシフトすることができません。Model 3 がパーキングからシフトすることができない場合は、対処する方法に関する情報がないかタッチスクリーンを確認してください。

警告: ドライバーは自分で責任を持って、降車する前に必ず車両をパーキングに切り替えてください。Model 3 に頼ってパーキングへ自動シフトすることは決してしないでください。

走行

ドライブに手動でシフトするためには、タッチスクリーンのドライブ モード ストリップを上にスワイプするか、タッチスクリーンが使用できない場合はオーバーヘッド コンソールにあるドライブ モード セレクターで「D」を押します。Model 3 が停止状態またはバックギアに入った状態で時速 5 マイル（時速 8 km）未満で走行している際には、ドライブへ切り替えることができます。

バックする

リバースに手動でシフトするためには、タッチスクリーンのドライブ モード ストリップを下にスワイプするか、タッチスクリーンが使用できない場合はオーバーヘッド コンソールにあるドライブ モード セレクターで「R」を押します。リバースへのシフトは Model 3 が停止状態または走行速度が時速 5 mph（8 km/h）未満の場合にのみ行うことができます。タッチスクリーンの上隅にある **X** にタッチすると、手動でパーキングアシスト ビューを終了できます。

ニュートラル

ブレーキペダルを踏んでいない際にニュートラルに入れると、Model 3 は勝手に動き出します。ニュートラルにシフトするには、以下のいずれかを実施してください。

- **「コントロール」**を開いて**「ニュートラル」**アイコンを長押しし、Model 3 がニュートラルにシフトしたら離します。
- オーバーヘッド コンソールのドライブ モード セレクタから**「ニュートラル」**を選択します。

注: Model 3 がおおよそ 5 mph（8 km/h）より低速で走行中にニュートラル ポジションからシフトするには、ブレーキ ペダルを踏む必要があります。

Model 3 車両がけん引モードや洗車モードなどの特定のモード (車から離れても**ニュートラル**の状態を保持するモード) になっていない限り、運転席ドアを開けて車から降りるとき自動的に**パーキング**に切り替わります。

車両をニュートラルに保つには（けん引モード）

降車時に Model 3 をニュートラルに保ち、自由に回転できるようにするには（たとえば、平ボディトラックに引っ張るなど）、けん引モードを有効にする必要があります。

1. パーキングにシフトします。
2. ブレーキ ペダルを踏む。
3. **「コントロール」** > **「サービス」** > **「けん引」**にタッチします。タッチスクリーンには、Model 3 の正しい輸送方法を促すメッセージが表示されます。
4. [**けん引モードに入ります**] をタッチします。 Model 3 はブレーキが解除され、短い距離を押して動かす（歩行する速度以下）またはウィンチで（平ボディトラックなどに）引き上げることができます。

けん引モードの詳細については、有効 けん引モード ページ 231 を参照してください。

注: けん引モードでは、Model 3 はドライブモードにシフトしません。まず、**「けん引モードを終了します」**をタップして、けん引モードをキャンセルする必要があります。 けん引モード タッチスクリーンを使用してパーキングにシフトした場合もキャンセルされます。

ライトの調整

ライトを操作するには、タッチスクリーンで**「コントロール」** > **「ライト」**にタッチします。

注: また、運転中にライト略称メニューにアクセスするには、ハンドルのハイビームボタンにタッチします。ライト メニューがタッチスクリーンに表示され、各種ヘッドライト コントロールにすばやくアクセスできます。

タッチスクリーンでコントロールできるライトに加え、Model 3 には運転者の動作によって自動的にオン・オフするコンビニエンスライトがあります。例えば、Model 3 をロック解除したとき、ドアを開けたとき、パーキングにシフトしたときに、ルームライト、標識灯、テール ランプ、、パドル ランプが点灯します。これらは Model 3 をシフトまたはロックしてから 1〜2 分後、自動的に消灯します。

エクステリアライト

エクステリアライト（ヘッドライト、テールライト、サイドマーカーライト、パーキングライト、ナンバープレートライト）は、Model 3 の起動時に**「自動」**に設定されます。

「自動」に設定すると、暗い場所で走行しているとき、またはワイパーが作動しているときにエクステリアライトが自動的に点灯します。この設定を変更した場合、ライトは次に運転する際に**「自動」**設定に戻ります。

これらのオプションのどれかにタッチすると、エクステリアライトの設定が変更され、もう一度調整するか、次回運転するまでその設定を維持します。

- **オフ**: エクステリアライトは消灯します。走行すると、各販売地域の法律に応じて、デイタイム ランニングライトが点灯したままになる場合があります。
- **パーキング**: パーキング ランプ、側面標識灯、テール ランプ、ナンバープレート ランプが点灯します。
- **オン**: ロービーム ヘッドライト、側面標識灯、パーキング ライト、ライセンス プレートナンバーが点灯します。

注意: 視認性が良好でない条件下(例えば暗い場所、霧、雪、あるいは道がぬれているなど)では、ヘッドライトおよびリア ライトを必ずオンにしてください。デイタイム ランニングライトがオンになっている間は、後部テールライトがオフになります。確認を怠ると、損傷や深刻な大けがにつながる可能性があります。

ドームライト

ルームライト（マップ）をオンまたはオフにします。**「自動」**に設定すると、応援される Model 3 のロックを解除したとき、これまで同様にドアを開けたとき、またはパーキングにシフトしたときに、すべてのルームライトが 点灯します。

ルームライトのレンズをタッチすると、それぞれのルームライトを オン/オフすることができます。ルームライトをオンにすると、Model 3 の電源がオフになったときにルームライトが消灯します。手動でライトを点灯させたとき、すでに Model 3 の電源がオフになっていた場合、ライトは 60 分後に消灯します。

アクセントライト （装備されている場合）

アクセント ライトの有効/無効を切り替え、お好みの明るさや色にカスタマイズできます。**「夜間のみ」**に設定すると、車両の外が薄暗い状況が検出されたときや、コンビニエンス ライトを点灯したときに、アクセント ライトが自動的に点灯します。足元スペース ライトも、オンまたはオフにすることができます。

降車後のヘッドライト

周囲が暗い場所に Model 3 を停めて駐車すると、エクステリアライトは一時的に点灯し続けます。1 分後または Model 3 をロックした時点のどちらか早い時点で、ヘッドライトは自動的に消灯します。

注: Tesla モバイル アプリを使用して Model 3 をロックすると、ヘッドライトがただちに消灯します。ただし、降車後オートロックが有効になっているために車両がロックされた場合（降車後オートロック機能 ページ 27 を参照）、ヘッドライトは 1 分後に自動的に消灯します。

この機能のオンオフを切り替えるには、**「コントロール」** > **「ライト」** > **「降車後ヘッドライト」**にタッチします。**「降車後のヘッドライト」**がオフになっていると、パーキングにシフトしてドアを開けるとヘッドライトがすぐに消灯します。

ハイビーム ヘッドライト

ヘッドライトをコントロールするにはハンドルの左側にあるハイビーム ヘッドライト ボタンを使用します。

- 押してすぐに離すと、ハイビーム ヘッドライトが点滅します。
- 長押しするとハイビーム ヘッドライトが点灯します。タッチスクリーンには短時間のタイマーが表示されるので、ハイビーム ヘッドライトを点灯位置のままにするにはタイマーの時間、保持したままにする必要があります。ヘッドライトが点灯したら、もう一度このボタンを押すとヘッドライトが消灯します。

ヘッドライトの状態を示すために、タッチスクリーンに以下のインジケーターライトが表示されます。

ロー ビーム ヘッドライトが点灯しています。

「アダプティブ ヘッドライト」設定がオフでハイビームが点灯しているとき、または**「アダプティブ ヘッドライト」**設定がオンにされているが一時的に使用できない場合に点灯します。

現在、ハイビームがオンになっており、**アダプティブ ヘッドライト**は、Model 3 が反対方向から接近する車両を検出するかどうかに基づいて自動的に調整する準備ができています。

アダプティブ ヘッドライト 有効になっていますが、ハイビームは点灯しません。これは、Model 3 の前で光が検出されたか、Model 3 が低速または明るい周囲環境（たとえば、日中、または夜間の駐車場などの明るい場所）で移動しているためと考えられます。 **アダプティブ ヘッドライト**は、渋滞時に無効になります。

アダプティブ ヘッドライト

注: *販売地域、車のコンフィギュレーション、購入したオプション、ソフトウェア バージョンによっては、車両にアダプティブ ヘッドライトが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。*

アダプティブ ヘッドライトを有効にすると、ヘッドライトのビームが自動的に調整され、運転中の視認性が向上します。例えば、他の車両が Model 3 に接近しているときに、ハイビーム ヘッドライトを点灯している場合、ハイビーム ヘッドライトの個々のピクセルが減光され、眩しさを抑えます。

また、ヘッドライトは前方のカーブに合わせて調整され、夜間の視認性が向上します。

アダプティブ ヘッドライトを有効にすると、運転開始時に自動的にオンになります。**アダプティブ ヘッドライト**はデフォルトで有効になっており、無効になっている場合は、オートステアリングまたはフルセルフドライビング（スーパーバイズド）をオンにすると自動的に有効になります。この機能を無効するには、**「コントロール」** > **「ライト」** > **「アダプティブ ヘッドライト」**の順にタッチするか、ハンドルの左側にあるハイビーム ヘッドライト ボタンを押したときにタッチスクリーンに表示されるライトのポップアップを使用します。

警告: アダプティブ ヘッドライトは利便性向上のための機能に過ぎず、動作に制約があります。気象条件や走行状態に合わせて常に適切にヘッドライトを使用することは、ドライバーの責任です。

ヘッドライトの調整

ヘッドライトの角度を調整するには、**「コントロール」** > **「サービス」** > **「ヘッドライトの調整」**の順にタッチし、スクリーンの指示に従ってください。タッチスクリーンから調節したいヘッドライトを選択します。

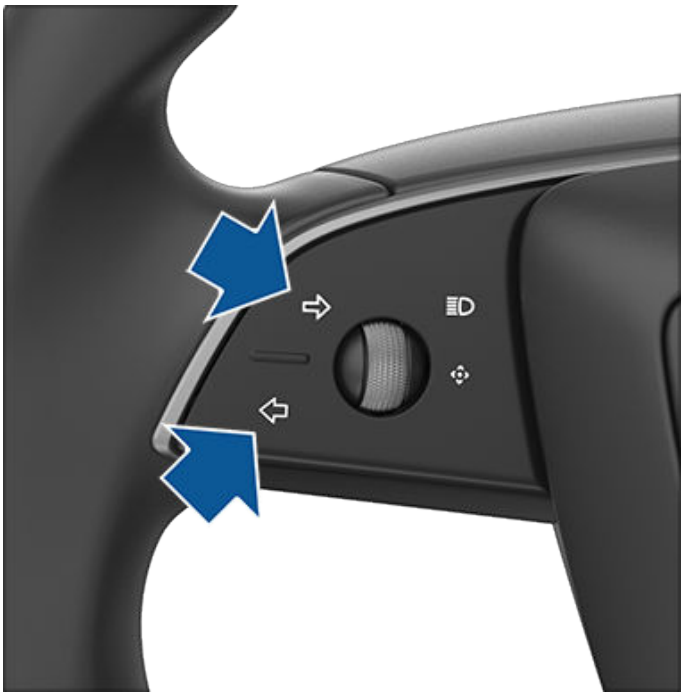
注: ヘッドライトは、通行車線が異なる地域で一時的に走行している場合(例えば、右側通行地域で運転しており、次に、左側通行地域を走る場合)、調節は必要ありません。

警告: ヘッドライトを調整するときは慎重に行ってください。Tesla は、ほとんどの運転状況で最適となるようヘッドライトの位置を慎重に調整しています。このため、ヘッドライトの調整方法を熟知していない限り、ヘッドライトを調整しないでください。一度調整すると、元の位置に復元することができませんのでご注意ください。ヘッドライトを調整する場合は、Tesla までご連絡ください。

ボタンで操作するウィンカー

ウィンカーを作動させるには、ハンドルの左側にある対応する矢印ボタンを押します。ウィンカーはハンドルの角度に基づいて解除されます（例えば旋回を終えた場合）。ウィンカーを解除するには、もう一度ウィンカー ボタンを押します。

「コントロール」 > **「ライト」** > **「自動ウィンカー」**が**「自動キャンセル」**に設定されている場合、Model 3 が、合流、車線変更、車道の分岐などの操作の完了を検出したとき、ウィンカーが自動的にキャンセルされます。この自動解除機能はいつでも無効にすることができます（複数車線にわたって車線変更しているのでウィンカーを点灯したままにしたい場合など）。無効にするには、ウィンカー ボタンを少し長く押し続けることによりウィンカーを作動させます。その後、最初の動作が完了したとき、ウィンカーはオンのままになります。**自動ウィンカー**が**「オフ」**に設定されている場合は、合流、車線変更、車道の分岐などの操作の後にウィンカー ボタンを押して、手動でウィンカーをキャンセルする必要があります。



ウィンカー作動中は、タッチスクリーンの該当するインジケーター ライトが点滅し、カチカチという音が鳴ります。

ウィンカーレバーで操作するウィンカー

ウィンカーを作動させるには、ウィンカー レバーを上または下に押します。

ウィンカーの動作中は、タッチスクリーンの対応するウィンカーのインジケーターが点灯します。 Model 3 また、クリック音を発します。

方向指示器を解除するには、レバーをもう一度同じ方向に押すか、反対方向に押します。ハンドルを回した場合（たとえば、ラウンドアバウトを走行中に方向指示器を点灯している場合）、レバーを反対方向に押すと、反対の方向指示器が作動します。

Model 3 が合流、車線変更、道路の分岐などの操作の完了を検出すると、方向指示器は自動的にキャンセルされます。

方向指示器レバーを少し押し続けると、いつでも自動キャンセルを無効にすることができます。

警告: オートステアリングまたは フルセルフドライビング（スーパーバイズド）を能動的に使用している場合、ウィンカーを作動させると Model 3 が車線変更する可能性があります（オートステアリング ページ 110 およびフルセルフドライビング（スーパーバイズド） ページ 124 を参照）。

ハザードランプの点滅

ハザードランプを点滅するには、頭上中央のドライブ モード セレクターのボタンを押します。すべてのハザードランプが 点滅します。もう一度押すとハザードランプが消灯します。

車両が深刻な衝突を検出した場合、ハザードランプが自動的にオンになり、自動的に高速点滅して、視認性を高めます。ハザードランプスイッチを 1 回押すと、ライトは通常の点滅に戻ります。2 回押すとすべてのハザードランプが 消灯します

注: ハザードランプはキーが近くになくても動作します。

ヘッドライトまたはテールライト内の水分

天候の変化、湿度レベル、または水の浸入（洗車など）により、車両のヘッドライトやテールライトに水分がたまることがあります。これは正常なことであり、暖かくなったり、湿度が減少すると、ほとんどの場合、水分は自然になくなります。エクステリア レンズに水がたまっていることに気付いた場合や、水分がエクステリアライトの視認性に影響を与えている場合は、Tesla サービスにお問い合わせください。

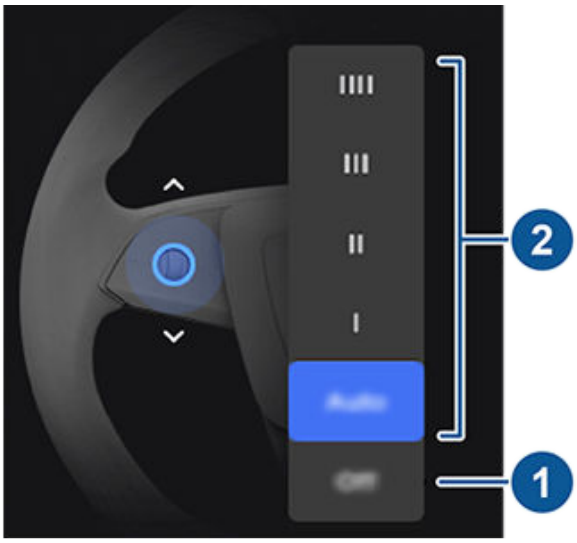
ワイパーとウォッシャー

ワイパー設定にアクセスするには、ハンドルのワイパー ボタンにタッチします。

- フロント ガラスをワイパーで拭くには、ワイパー ボタンを*押します*。ワイパーがすでにワイパー設定で動作しており、**「自動」**に設定されていない場合、ワイパー ボタンを押すと速度がサイクルで切り替わります。ワイパー速度は以下のサイクルで切り替わります。**I** > **II** > **III** > **IIII** > **III** > **II** > **I**。
- ワイパー ボタンを*押し続ける*と、フロント ガラスにウォッシャー液が吹き付けられます。ボタンから手を離した後、ワイパーはさらに 2 回動作し、車両および環境的な条件によっては、その後数秒おいてから 3 回目の動作を行います。ワイパー ボタンを押し続けても、ウォッシャー液を連続して吹き付けることができます。ボタンから手を離すとワイパーが作動します。

ワイパー設定は、**「コントロール」** > **「ワイパー」**をタッチしてもアクセスできます。

ハンドルのワイパー ボタンを押すと、タッチスクリーンにワイパー メニューが表示され、ワイパーの設定を調整することができます。ハンドルの左スクロール ボタンを上または下に回して希望する設定を選びます。



1. ワイパーをオフにします。
2. 次からワイパーの作動設定を選択します。
   - **IIII** - 連続、高速
   - **III** - 連続、低速
   - **II** - 間欠、高速
   - **I** - 間欠、低速
   - **「自動」** - Model 3 は降雨を検知し、拭き取りの速度と頻度を調整します。ワイパーが**「自動」**に設定された状態でワイパー ボタンを押すと、一時的にワイパーの感度が上がります。

     注: オートパイロットが作動している場合、ワイパーは**「自動」**に設定されます。オートパイロット作動時にワイパー設定を**「自動」**から変更することは可能ですが、次にオートパイロットを作動させるとワイパーは再び**「自動」**に初期設定されます。

     注: 現時点では、自動設定はベータ版です。ベータ版で自動設定を使用することに抵抗を感じる方には、必要に応じてワイパーを手動で動作させることをお勧めします。

注: 音声コマンドを使用してもフロント ガラス ワイパーの速度と作動間隔を調整することができます (音声コマンド ページ 17 を参照)。

ワイパーブレードのエッジを定期的にチェックし、きれいに清掃してください。ブレードが損傷している場合は、すぐに交換してください。ワイパーブレードの点検と交換についての詳細は、フロント ガラスのワイパー ブレード、ジェットおよびウォッシャー液 ページ 209 を参照してください。

注意: ボンネットの損傷を避けるため、ワイパーを作動させる前に、ボンネットが完全に閉じていることを確認してください。

注意: フロントガラスに氷がついている場合は、氷を取り除いてからワイパーを作動させてください。氷の角が尖っていてワイパーブレードのゴムを 傷める可能性があります。

注意: 厳しい寒冷下では、ワイパーブレードが凍結していたり、フロントガラスに張り付いていないことを確認してください。

ブレーキシステム

警告: ブレーキ システムは安全にかかわるため正常に機能することが非常に重要です。Model 3 ブレーキング システムのブレーキペダル、ブレーキ キャリパー、またはその他のコンポーネントで何か問題を感じた場合は、直ぐに Tesla までご連絡ください。

Model 3 最大のブレーキ圧をかけたときにホイールがロックすることを防止するアンチロック ブレーキ システム（ABS）を装備しています。この機構によって、大半の路面状態で急ブレーキ時のステアリング制御が改善されます。

緊急ブレーキ操作中は ABS が常に各ホイールの速度をモニターし、利用可能なグリップに応じてブレーキ圧を変更します。

ブレーキ圧が変わると、ブレーキ ペダルから振動が伝わります。これは ABS が作動していることを示すもので、異常な動作ではありません。振動が感じられる間は、ブレーキ ペダルを一定の圧力でしっかり踏み続けてください。

注: メキシコで販売の車両は、製造場所によって、ブレーキ、ABS、パーキングの各インジケーターランプの文字またはアイコンが表示される場合があります。

米国:

Model 3 を最初にスタートさせると、最初に ABS インジケーターが「タッチスクリーン」上で短く黄色に点滅します。このインジケーターが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなることがあります。慎重に運転し、急ブレーキは避けてください。

カナダ:

Model 3 を最初にスタートさせると、最初に ABS インジケーターが「タッチスクリーン」上で短く黄色に点滅します。このインジケーターが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなることがあります。慎重に運転し、急ブレーキは避けてください。

米国:

Model 3 を最初に始動したときに短く表示される以外で、「タッチスクリーン」にこの赤色のブレーキ インジケーターが表示された場合は、ブレーキシステムの不具合が検出されているか、ブレーキ液の量が少なくなっています。ただちに Tesla にご連絡ください。安全に停車できる状況であれば、ブレーキをしっかりと踏み続けて車両を停車させてください。

カナダ:

Model 3 を最初に始動したときに短く表示される以外で、「タッチスクリーン」にこの赤色のブレーキ インジケーターが表示された場合は、ブレーキシステムの不具合が検出されているか、ブレーキ液の量が少なくなっています。ただちに Tesla にご連絡ください。安全に停車できる状況であれば、ブレーキをしっかりと踏み続けて車両を停車させてください。

米国:

ブレーキ ブースターの故障が検出された場合、または回生ブレーキが使用できない場合、タッチスクリーンに黄色のブレーキ インジケーターが表示されます（回生ブレーキ ページ 81 を参照）。安全に停車できる状況であれば、ブレーキをしっかりと踏み続けて車両を停車させてください。油圧ブースト補正が作動する場合があります（油圧ブースト補正 ページ 81 を参照）。

カナダ:

ブレーキ ブースターの故障が検出された場合、または回生ブレーキが使用できない場合、タッチスクリーンに黄色のブレーキ インジケーターが表示されます（回生ブレーキ ページ 81 を参照）。安全に停車できる状況であれば、ブレーキをしっかりと踏み続けて車両を停車させてください。油圧ブースト補正が作動する場合があります（油圧ブースト補正 ページ 81 を参照）。

緊急ブレーキ操作

緊急時は、摩擦力の低い路面上でも、ブレーキ ペダルを床まで力一杯踏み込んで圧力を保ち続けます。ABS は、利用可能な摩擦力に従って各ホイールのブレーキ圧を調整します。この機能によってホイールのロックが防止され、可能な限り安全に停車することができます。

別の手段を使用して車両を停止させる必要がある場合は、タッチスクリーンのドライブ モード ストリップにあるパーキング ボタンを長押しして、ブレーキをかけ、ボタンを押したままにして駆動トルクを取ります。タッチスクリーンの端から助手席側にスワイプすると、ドライブモードストリップが表示されます。

警告: ブレーキ ペダルを軽く何度も踏むポンピングはしないでください。ポンピングは ABS の動作を妨げ、制動距離を長くするおそれがあります。

警告: 常に前の車との間に安全距離を保ち、危険な運転状況に注意してください。ABS は制動距離を改善することができますが、物理法則を変えることはできません。ABS はハイドロプレーニング現象（水の層がタイヤと路面との直接の接触を妨げる現象）の危険を防ぐこともできません。

注意: 衝突の危険が差し迫っている状況では、自動緊急ブレーキ（衝突回避アシスト ページ 142 参照）は自動的にブレーキをかけることがあります。自動緊急ブレーキは、衝突を防止するように設計されたものではありません。最善の場合でも、走行スピードを落とすことによって正面衝突の衝撃を最小限にくいとめるにすぎません。衝突回避を自動緊急ブレーキに頼りすぎると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

注意: 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、オーバーヘッド コンソールまたはタッチスクリーンのパーキング ボタンを長押しして Model 3 を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。

ブレーキディスク ワイピング

寒冷気候や雨天でもブレーキを確実に制動させるために、Model 3 にはブレーキ ディスク ワイピング機能が搭載されています。寒冷気候や雨天を検知すると、この機能はごくわずかな制動力を繰り返しかけて、ブレーキ ディスク表面から水分を取り除きます。

油圧フェード補正

Model 3 油圧フェード補正も搭載しています。これは、ブレーキ圧と ABS 動作でブレーキ性能の低下がないかを監視するのに役立ちます。ブレーキ性能の低下が検出されると（ブレーキがフェードしたり、寒冷時や雨天時など）、異音が聞こえたり、ブレーキ ペダルが足から離れるような感触があったり、ブレーキ圧力が大幅に上昇したと感じることがあります。ブレーキは通常どおりに使用します。ブレーキ ペダルから足を離したり、「ポンピング」したりすることなく、ブレーキを踏み続けます。

注意: 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、オーバーヘッド コンソールまたはタッチスクリーンのパーキング ボタンを長押しして Model 3 を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。

警告: 運転状況に危険が増している場合は、常に前方の車両との間に安全な車間距離を保ち、注意を払ってください。ブレーキ ディスク ワイピングおよび油圧フェード補正を使用中であっても、必ず適切な圧力をブレーキに付加してください。

油圧ブースト補正

Model 3 ブレーキ ペダルを踏んだときにブレーキを動作させるブレーキ ブースターを搭載しています。油圧ブースト補正には、ブレーキ ブースター故障時に機械動作面で支援する機能があります。ブレーキ ブースターの故障が検出されると、ブレーキ ペダルの踏み込みが固くなったように感じられ、ブレーキ ペダルを踏んだときにノイズが聞こえます。ほかの車両や歩行者とは安全な距離を確保し、慎重に運転します。ブレーキ ペダルの反応性の劣化があり得ます。ブレーキの制動距離が長くなることがあります。

回生ブレーキ

Model 3 の走行中に、運転者の足がアクセルペダル離れていると、回生ブレーキによって車両は減速し、余剰電力をバッテリーに戻します。停車に備えアクセルペダルから足を離して減速することで、回生ブレーキを利用して航続距離を伸ばすことができます。

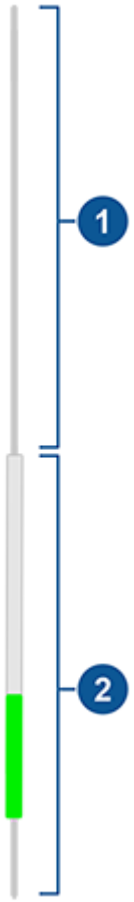
回生ブレーキによる車両の減速は、バッテリーの現在の状態に応じて異なる場合があります。例えば、バッテリーが冷えている場合や既に完全に充電されている場合、回生ブレーキが制限される場合があります。

アクセス ペダルから足を離したときに、バッテリーの状態に関わらず同じ量の減速を体験するためには、回生ブレーキが制限されたときに、通常のブレーキ システムが自動で作動する設定を選択することができます。**「コントロール」** > **「ダイナミクス」** > **「回生ブレーキ制限時にブレーキをかける」**の順にタッチします。

警告: **「回生ブレーキ制限時にブレーキをかける」**は。ブレーキが非常に高温の場合、作動しないことがあります。

注: **「回生ブレーキ制限時にブレーキをかける」**が有効なときにブレーキをかけると、ブレーキ ペダルは動くけれど、踏み込んだ時に普段よりも重く感じる可能性があります。これは想定された反応であり、Model 3 を減速させる能力に変化はありません。

パワー メーター（タッチスクリーンの車両ステータス エリアに表示される細い線）には、電力使用量がリアルタイムで表示されます。



1. バッテリーから出力される電力（車両の加速などに使用される電力）を表します。アクセルペダルを踏むと、パワーメーターの上半分が黒で（もしくは表示が暗い場合は白で）延びていきます。
2. 回生ブレーキから発生する電力、すなわち車両を減速させることで得られる電力を表します。バッテリーに戻されている電力は緑色で表示され、通常のブレーキ システムで使用される電力は灰色で表示されます。

注: 冬用のコンパウンドとトレッドデザインを採用したタイヤを取り付けると、回生ブレーキの制動力が一時的に低下する可能性があります。ただし、車両は継続的に再キャリブレーションするように設計されており、タイヤ交換の後、直線加速していくと回生ブレーキ力が徐々に回復していきます。大半のドライバーは通常運転を短時間行えば回復しますが、日頃ゆっくり加速するドライバーの方の場合は、再キャリブレーションが実行されている間は多少強く加速する必要がある場合があります。**「サービス」** > **「ホイールとタイヤ」** > **「タイヤ」**の順にタップしてウィンタータイヤを選択してこのプロセスを速めます。

注: Model 3 が回生ブレーキで減速されると（高速走行中に足をアクセルペダルから完全に離すなど）、ブレーキランプが点灯して、後続の人たちに車両が減速していることを知らせます。

注: Model 3 は回生ブレーキを使用しているので、このブレーキパッドは一般的に、従来のブレーキ システムのパッドほど頻繁には使用されません。ブレーキディスクワイピング機能（ブレーキディスク ワイピング ページ 81 を参照）は、ブレーキディスクの表面から水を取り除くために、定期的にわずかなブレーキ力をかけますが、それでも錆や腐食が蓄積する可能性があります（特に冬季に道路に凍結防止剤を撒く地域では）。ブレーキペダルを定期的に使用したり、必要に応じてブレーキを磨いたりすることで、このような汚れの蓄積を防ぐことができます（「Do It Yourself ガイド」の「ブレーキの磨き」を参照）。

警告: 積雪時やまたは凍結した道路状況では、。

警告: 車両に頼って、車両を適切に減速させたり、完全に停車させたりにしないでください。下り坂や回生ブレーキの低減や制限などの様々な要因により、停止距離が伸びる可能性があります。必ず、ブレーキペダルを踏んで十分に減速したり停止させたりできるように準備をしておいてください。

警告: 安全でないときに Model 3 が動く場合、ブレーキペダルを踏んでください。常に路上に注意を払い、車両を制御することはドライバーの責任です。これを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

警告: 回生ブレーキに頼って、ドライバーや車両を安全に保とうとしないでください。重い荷重がある場合の走行、急な坂道の走行、濡れた道路や凍った道路の走行などの様々な要因が、減速の程度や Model 3 が停車するまでの距離に影響します。十分に注意を払って運転し、必ず、交通状況や道路状況に合わせて適切にブレーキペダルを踏んで停車させられるよう準備をしておいてください。

警告: 非常に遅い速度で走行しているときには、正面衝突警告および自動緊急ブレーキは作動しません（衝突回避アシスト ページ 142 参照）。これらの機能が常に警告してくれるあるいは衝突の衝撃を回避または低減してくれるわけではないことをご認識ください。

パーキングブレーキ

パーキング ブレーキを手動で作動させるには、タッチスクリーンのドライブモードストリップ上の **「パーキング」** をタッチして押し続けます（ギアシフト ページ 73 を参照）。オーバーヘッド コンソールにあるドライブモードセレクターの「パーキング」を押し続けることでも、パーキングブレーキを作動させることができます。

(米国) パーキングブレーキをかけると、タッチスクリーンに赤色のパーキングブレーキ インジケーターが表示されます。

(カナダ) パーキングブレーキをかけると、タッチスクリーンに赤色のパーキングブレーキ インジケーターが表示されます。

パーキングブレーキは、他のギアにシフトすると解除されます。

(米国) パーキングブレーキに電気上の問題が生じると、タッチスクリーンに黄色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯し、不具合発生のメッセージが表示されます。

(カナダ) パーキングブレーキに電気上の問題が生じると、タッチスクリーンに黄色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯し、不具合発生のメッセージが表示されます。

注: パーキング ブレーキは後輪のみに作用し、ペダル ブレーキ システムからは独立しています。

注意: 万一、Model 3 の電力が失われると、タッチスクリーンにアクセスできなくなるため、ジャンプスタートしないと（ジャンプスタート ページ 238 を参照）、パーキングブレーキを解除することはできません。

警告: 積雪や凍結した場所では、特に冬用タイヤを装着していない場合、勾配のある路面で Model 3 がスリップするのを防ぐための十分なトラクションが後輪で得られない場合があります。積雪または凍結した場所での駐車は避けてください。車両を安全に駐車させることはドライバーの責任です。

警告: 駐車するには道路が急傾斜過ぎる場合、またはパーキング ブレーキが適切に作動していない場合、Model 3 にアラートが表示される場合があります。アラートはガイダンスを提供することを目的とし、特定の道路や天候条件などを含め、安全に車両を駐車するためにドライバーの判断を代わりに行うものではありません。車両を安全に駐車することができるかどうかの判断はこのアラートのみに頼らないでください。車両を安全に駐車させることはドライバーの責任です。

ブレーキの摩耗

Model 3 ブレーキ パッドはウェア インジケーターを備えています。ウエア インジケーターは、ブレーキ パッドに取り付けられた薄い金属片で、パッドが摩耗するとローターとの間でこすれてスキール音が鳴ります。このスキール音は、ブレーキ パッドの耐用寿命が尽き、交換が必要であることを示します。ブレーキパッドを交換するには、Tesla サービスにお問い合わせください。

タイヤとホイールを取り外して定期的にブレーキを点検する必要があります。ローターとブレーキ パッドの詳細な仕様と整備期限については、サブシステム ページ 223 を参照してください。さらに、Tesla では、冬季、凍結防止剤がまかれる道路では、毎年または 12,500 マイル（20,000 km）走行毎にブレーキキャリパーを清掃および潤滑することを推奨しています。

警告: 摩耗したブレーキ パッドを交換しないと、ブレーキシステムを損傷し、危険なブレーキ動作を招くおそれがあります。

パーキングアシスト

Model 3 には、近くの物体の存在を検出するためのセンサーがいくつか搭載されています。ゆっくり走行しているときに（駐車時など）、Model 3 の近くに物体が検出されると、車両が警告を発します。ドライブ時に Model 3 の前方で、リバース時に Model 3 の後方で物体が検出されると、車両が警告を発します。

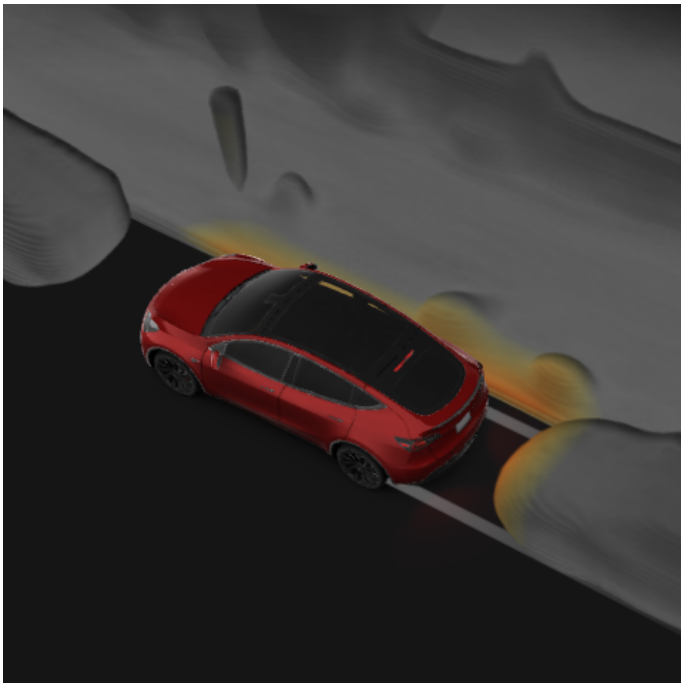
警告: 反対方向に Model 3 が勝手に動き出した場合に警告されないことがあります（たとえば、上り坂でドライブにシフトしているときに Model 3 が後退しても、パーキング アシストからは警告が表示されません）。

警告: 近づいている場所に物体があったり人がいたりするかどうかを調べるときに、パーキングアシストに頼らないでください。外部要因によってパーキングアシストの性能が低下し、センサーが読み取り不能になったり読み取りエラーが生じる場合があります（制約と誤警告 ページ 84 を参照）。したがって、Model 3 が障害物に近づいているかどうかをパーキング アシストに頼って判断すると、車両や物品を損傷したり、大けがの原因となるおそれがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、パーキング アシストは子ども、歩行者、自転車、動物、または移動したり突起している物体、カメラのすぐ近くもしくは離れたところにある物体、または、カメラのはるか上または下にある物体を検出できません。パーキングアシストは誘導のみを目的としており、運転者自身の直接の目視による確認を肩代わりすることは意図していません。パーキングアシストは注意深い運転に代わるものではありません。

Tesla Vision パーキング アシスト

注: *販売地域、車両構成、購入オプション、ソフトウェアバージョンによっては、Tesla Vision パーキング アシストが搭載されていないモデルがあります。*

車両は、Model 3 の前部、後部、側面に取り付けられたカメラを使って、タッチスクリーンの周囲の物体を忠実に再現します。



ビジュアライゼーションの色は、Model 3 と表示されている物体との距離に対応しています。赤色は Model 3 に近いことを示し、黄色は Model 3 から遠いことを示します。

視覚的、聴覚的フィードバック

リバースにシフトすると、タッチスクリーンにパーキング アシスト ビューが表示され、Model 3 の前後の直近位置に存在する物体を表示します。このビューは、Model 3 の前方に物体が検出されていない状態でドライブにシフトしたときに閉じます。この場合、パーキング アシスト ビューは、パーキング アシストの作動する速度より高速な速度で運転を開始すると自動的に閉じます。リバース時は、タッチスクリーンにも視覚的なフィードバックが表示されます（リアビュー カメラ ページ 97 参照）。**X** にタッチすると、手動でパーキング アシスト ビューを終了できます。

タッチスクリーンにカメラ アプリを表示し、低速で運転している場合、カメラアプリ画面の左上にあるボタンをタッチすることで、パーキングアシスト ビューに切り替えることができます。縦列駐車の援助が必要な場合に便利です。

チャイムがオンになっていれば（チャイムによるフィードバックの調整 ページ 84 を参照）、物体に近づいたときにビープ音が鳴ります。

注: パーキング アシストがフィードバックを提供できない場合は、タッチスクリーンに警告メッセージが表示されます。

注意: カメラを汚れ、異物、雪および氷のない状態に維持してください。高圧洗浄機をカメラに使用しないでください。センサーの表面を傷つけたり損傷したりするおそれのある尖ったものや研磨剤でカメラをクリーニングしないでください。

注意: カメラの近くにアクセサリーやステッカーを取り付けないでください。

チャイムによるフィードバックの調整

パーキングアシストを使用するときの音によるフィードバックをオン/オフすることができます。チャイムをオン/オフするには、**「コントロール」** > **「安全」** > **「パーキングアシスト チャイム」**の順にタッチします。

制約と誤警告

以下の場合、パーキング アシストが正常に機能していない可能性があります。

- 物体がおよそ 8 インチ（20 cm） 下方にある場合（縁石や低い柵など）。

  注意: 高さがない物体（縁石や低障壁など）が死角に入ることがあります。 Model 3 物体が死角にある間は、その物体について警告することはできません。

- 気象状態（豪雨、雪、または霧）。
- 物体が薄い場合（道路標識など）。
- パーキング アシストの動作範囲を超えている場合。
- 物体が音を吸収する場合またはやわらかい場合 (粉雪など)。

- 物体が傾斜している場合（傾斜している土手など）。
- Model 3 外気温度が極端に高いまたは低い環境で駐車したり運転した場合。
- 物体がバンパーに近すぎる場合。
- バンパーがずれている場合または損傷している場合。
- Model 3 に取り付けられている物体（バイク ラックやバンパー ステッカーなど）がパーキング アシストを妨害または遮蔽している場合。
- Model 3 が選択したのとは反対方向に勝手に動き出す場合（たとえば、上り坂でドライブにシフトしているときに Model 3 が後退しても、パーキング アシストからは警告が表示されません）。

その他のパーキング補助装置

パーキング アシストによる補助に加えて、リバースにシフトするとバックアップ カメラに Model 3 の周囲の映像が表示されます（リアビュー カメラ ページ 97 を参照）。

オートブレーキ ホールド

Model 3 が停止したときに、ブレーキペダルから足を離したあとも、オートブレーキホールドにより、ブレーキをかけ続けるようにすることができます。

このインジケーターは、Model 3 のオートブレーキホールドが作動しているときは常にタッチスクリーンに表示されます。

オートブレーキホールドを解除するには、アクセル ペダルを踏むか、ブレーキ ペダルを踏んで離します。

注: ギアをニュートラルにシフトしてもホールドは解除されます。

注: 走行用のギアに入れたまま、Model 3 のブレーキを約 10 分間有効にしておくと、Model 3 はパーキングにシフトされブレーキホールドはキャンセルされます。 Model 3 また、ドライバーが車両を降りたことを検知した場合にもパーキングにシフトされます。

説明

トラクション コントロール システムは、フロントとリアのホイールの速度を常に監視しています。Model 3 のトラクションが低下すると、システムがブレーキ圧とモーターの電力を制御してホイールスピンを最小にします。初期設定ではトラクション コントロール システムはオンになっています。通常の条件下では、安全性を最大にするためオンのままにしてください。

トラクション コントロール システムがホイールスピンを最小限に抑えるためにブレーキ圧とモーター出力を制御している際には、「タッチスクリーン」上のこの黄色いインジケーターが常に点滅しています。トラクション コントロール システムに異常が検出されると、このインジケータが点灯します。Tesla サービスにお問い合わせください。

警告: トラクション コントロール システムは、危険な運転や高速で急転回することで引き起こされる衝突事故を防止するものではありません。

ホイールのスリップを可能にする

スリップスタートを有効にすると、ホイールが一定の速度以下で回転するようになります。**スリップスタート**はあらゆる速度で有効にできますが、高速走行時には効果が薄れます。

通常時には、**スリップスタート**を有効にしないでください。ホイールを故意にスピンさせたい次のような場合にのみ有効にしてください。

- 積雪路面や砂利道での発進。
- 深雪や砂、泥道での走行。
- 穴や深い轍からの脱出。

ホイールを回転させるには、**「コントロール」** > **「ダイナミクス」** > **「スリップスタート」**にタッチします。

タッチスクリーンに**スリップスタート**が有効になったことを知らせる警告メッセージが表示されます。

スリップスタートは次回 Model 3 を始動したとき自動的に無効になりますが、有効にする必要がなくなった場合はすみやかに無効にすることを強く推奨します。

注: クルーズコントロールを使用しているときは、**スリップスタート**を有効にすることはできません。

加速モード

「コントロール」 > **「ダイナミクス」** > **「加速」**の順にタッチして、走行中に体感する加速の量を調整します。Model 3

- **コンフォート**：加速が制限され。快適な乗り心地でゆったりと運転することができます選択されると、タッチスクリーンに表示される運転速度の上に**「コンフォート」**と表示されます。
- **標準**：*（パフォーマンス車両以外の車両）*通常レベルの加速が得られます。
- **インセイン**：*（パフォーマンス車両）*最大レベルの加速が直ちに得られます。

  注: 「インセイン」ではトルクおよび電力を増大して使用するので、航続距離や電力消費効率が低下することがあります。

  注: 「インセイン」では、バッテリーは最適な温度範囲内に維持されます。バッテリーを温めるだけでなく、本設定では必要に応じてバッテリーを冷却します（例：高速運転時、急速な加速の間、長時間の運転時など）。

選択した加速モードを下げることで、キャビン暖房の効率を改善することができます。これにより、ピーク加速性能を提供するためのバッテリーの能力を維持する代わりに、ヒートポンプシステムがバッテリーからより多くの熱を奪うことで、キャビンを効率的に暖房することができます。これは寒冷気象時における走行効率を最大限にするために役立ちます。その後に加速モードのレベルを上げる場合、増加した加速レベルが得られるまでにバッテリーを温めるための時間が必要になることに注意してください。

パフォーマンス車両に限り使用可能ですが、**「コントロール」** > **「ダイナミクス」** > **「乗り心地とハンドリング」**の順にタッチすることで、サスペンション システムのリアルタイムの調整を行う設定によって、乗り心地とハンドリングの両方を最適化します。オプション:

- **標準** - 様々な道路や運転スタイルに合わせて調整を行い、滑らかなで十分にコントロールされた乗り心地を提供します。
- **スポーツ** - 確実にコントロールされた乗り心地を提供し、ドライバーの意思がより反映され、道路と連動しているような感覚になります。

オートパイロットが有効なときにサスペンション設定を自動的に調整して、より快適な乗り心地にすることもできます。**「コントロール」** > **「ダイナミクス」**の順にタッチして、**オートパイロットで標準の乗り心地とハンドリングを使用する**

注: トラック モード（装備されていれば）が有効な場合、**「乗り心地とハンドリング」**の設定は無効になります。**トラック モード**は、クローズドサーキット走行コースでのアグレッシブなドライビングをサポートするために、アダプティブ ダンピング設定を自動的に最適化します（トラック モード ページ 90 を参照）。

トラック モード

パフォーマンス Model 3 車両でのみ利用できるトラックモードは、スタビリティ コントロール、トラクション コントロール、回生ブレーキ、冷却システムを変更し、クローズドコース走行時の性能とハンドリングを向上させるよう設計されています。トラック モードは、モーター、回生ブレーキと、通常のブレーキシステムをスマートに操作してコーナリング性能を向上します。有効になっている場合、冷却システムは通常より高い冷却性能を発揮して、ハードな走行で加熱した車両システムを冷却します。

注: トラック モードは、パフォーマンスブレーキとタイヤを装備した状態のパフォーマンス Model 3 用に設計および調整されています。パフォーマンスブレーキおよびタイヤが装備されていない車両は、パフォーマンスと耐久性が比較的低くなる場合があります。

警告: トラック モードはレースサーキット場での走行のために設計されています。ドライバ―は、安全に運転し、周囲に危険が及ばないよう配慮する責任を負います。

警告: トラック モードは、走行するサーキットを熟知した、経験のあるサーキット ドライバーの使用を前提に設計されています。公道では絶対に使用しないでください。トラック走行を含め、車両を安全に走行させることはドライバーの責任です。トラック モードを使用する場合、車両の挙動が変わるため(トラクションと安定性コントロールを含む)、十分に注意してください。

トラック モードの使用

トラックモードは、Model 3 を起動したときは無効になっています。現在の運転でトラック モードを有効化し、パーキングにシフトし、次の手順に従ってください:

1. **「コントロール」** > **「ダイナミクス」** > **「トラックモード」** の順にタッチします。

   有効化されると、**「トラック」**の文字がタッチスクリーンの運転速度の上に表示され、地図にトラック モードポップアップ・ウィンドウが現われます。タッチスクリーンの車両ステータスエリアは Model 3 の色分け図を表示し、バッテリー、モーター、タイヤおよびブレーキに関する重要な状況情報を一目で把握できます。車両健全性のモニタリング ページ 91 を参照してください。

2. 必要に応じて、トラック モードのポップアップウィンドウで **「トラック モード設定」** にタッチし、トラック モード設定をカスタマイズできます（トラック モードのカスタマイズ ページ 90 を参照）。**「コントロール」** > **「ダイナミクス」** の順にタッチしてから、トラック モード設定の隣にある **「カスタマイズ」** をタッチすることでも、トラック モード設定にアクセスできます。

   注: 最適なパフォーマンスを得るためには、黄色または赤色の表示が出たら、バッテリーおよびモーターの温度が下がるまで待ってください。

3. ラップタイマーを使用する場合は、画面の指示に従って、地図にラップの開始/終了位置を定義するピンを置きます。その後、ラップタイマー上で**「スタート」**を押すと、運転セッションを始めることができます。始まるとラップタイマーはピンのあるラップの開始/終了位置を Model 3 が通過した時点で計測を始めます。ラップタイマーの使用 ページ 91 を参照してください。

4. シフトアンド**ゴー！**

   ラップタイマーを始動すると、タイマーは開始/終了位置を通過するごとに次のラップに備えてリセットされます。ラップタイマーの使用 ページ 91 を参照してください。

   さらにタッチスクリーンのカードエリアをスワイプするとリアルタイムで加速度計(G-メーター)を見ることができます。G メーター ページ 92 を参照してください。

   トラック モードがオンの場合:

   - オートパイロット 機能は利用できません。
   - スリップ スタート設定がオーバライドされています。
   - エネルギー消費は増加します。
   - エンターテインメント機能は利用できません。

   タッチスクリーン設定を使用し、いつでもトラック モードをオフにできます。Model 3 の電源を切ると、トラック モードもオフになります（運転後の冷却が進行中の場合は、タッチスクリーンに表示されます）。トラック モードがオフである場合、すべての設定は以前の状態に戻り、すべての機能が通常運転の状態に戻ります。

   注意: トラック モードがオンの場合、ドライビングアシスト機能は自動的に無効になります。どのような場合にも、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。トラック モードをオフにすると、ドライビングアシスト機能が自動的に再有効化されます。

トラック モードのカスタマイズ

トラック モードをカスタマイズするには、トラック モードをオンにすると地図に現われるトラック モードポップアップウィンドウ上で**「トラック モード設定」**にタッチします。**「コントロール」** > **「ダイナミクス」** の順にタッチしてから、トラック モード設定の隣にある **「カスタマイズ」** をタッチすることでも、トラック モード設定にアクセスできます。Tesla によって提供される、あらかじめ定義されたプロフィールのリストから既存のトラック モード設定を選択します。また、**「新しい設定の追加」**で設定プロファイル名を入力して、新しいプロファイルを作成し、好みと走行シナリオにあわせて設定を調整することや、特定のトラックのためにカスタマイズすることもできます。

- **「ハンドリング バランス」** - スライダーをドラッグすることで、Model 3 のコーナリングでのバランスを調整できます。バランスは、フロントアクスルとリアアクスルの 間でトルクを再配分することでカスタマイズできます。Model 3 が不安定な場合は、アンダーステア傾向となるようフロントバイアスを増やす設定を選択できます。車両が曲がりにくいときは、リアバイアスを増やしてみてください。-10（コーナリング中にフロントアクスルにより大きなトルクを配分 - アンダーステアに使用）と、+10（コーナリング中にリアアクスルにより大きなトルクを配分 - オーバーステアに使用）の間で任意の値を選択できます。**「ハンドリング バランス」** の変更は、直線加速には影響を与えません。

- **スタビリティ アシスト** - スタビリティ コントロール システムが車両の制御を支援するレベルを選択します。スタビリティ アシストはモーターのトルクを調整し、各ホイールに選択的にブレーキをかけることで、車両をより安定させ、ドライバーによる制御を支援します。

  警告: スタビリティ アシストの設定を変更した場合は、注意して運転してください。Model 3 の制御を失った場合に、スタビリティ コントロールの介入が減り、車両が安定しないことがあります。グリップの限界を超えて運転した経験がある場合のみ使用してください。

  - **減少**：トラック モードでのスタビリティ コントロールの介入を最大にします。オンロード モードに比べるとスタビリティ コントロールの介入は減少します。
  - **最小**：スタビリティ コントロールの介入を最小限に抑えます。
  - **オフ**: オーバーステア時のサポートは完全に無効化され、トラクション コントロールの介入はホイールのスピンを許容するよう制限されます。

- **パワートレイン耐久性** - トラック モードの設定を変更して、速度が上がるにつれて駆動出力が低減されるようにすることで、長距離走行時の車両の温度管理を改善できます。出力の低減により温度管理が改善され、バッテリーとモーターの過熱速度を抑えるのに役立ちます。出力の低減はラップタイムの低下につながりますが、ラップを重ねたときにより安定したパフォーマンスとタイムを実現します。

  注: パワートレイン耐久性は、バッテリーとモーターの過熱を積極的に防止する機能ではありません。

  - **Standard**: トラック モードにおける標準的な出力レベルで、出力は制限されません。最速の初期ラップタイムを達成できますが、熱によるパフォーマンスの低下が早まり、ラップを重ねたときにラップタイムが安定しなくなる可能性があります。
  - **増加**：速度が上がるにつれ、出力がわずかに減少します。ラップを重ねてもより安定したパフォーマンスが得られ、中程度の走行距離に最適です。
  - **最大**：初期のラップタイムは遅くなりますが、ラップを重ねても安定した出力とパフォーマンスが得られます。

- **「回生ブレーキ」** - スライダーをドラッグして利用可能な回生ブレーキの量を選びます。0〜100%の間で、5%刻みで値を選ぶことができます。Tesla では、ブレーキの過熱を防ぐため 100%の設定を推奨しています。

- **運転後の冷却** - 車両を降りた後に冷却装置で車両の構成部品を冷やし続けたい場合はオンに設定します。構成部品が十分に冷却された場合、または Model 3 の電源をオフにして再度オンにした場合、冷却は自動的に停止します。走行セッション間で、速く構成部品の温度を下げたい場合、運転後の冷却が便利です。運転後の冷却がオフの場合でも、構成部品は自然に温度が下がりますが、温度が下がるまでの時間が長くかかります。

- **ラップ時のダッシュカムの保存** - ラップタイマーを使用しているときに動画とデータを USB フラッシュドライブに保存する場合に有効にします。USB フラッシュドライブを、記載されている手順に従ってセットアップし、挿入する必要があります（ビデオ録画のための USB ドライブの要件 ページ 154 を参照）。この USB フラッシュドライブには **TeslaTrackMode** という名前のフォルダがある必要があります。有効にすると、トラックモードは各ラップの動画と関連データを保存します。トラック モードでは、さらに位置、速度、加速、アクセルの使用などに関する詳細の車両ステータスとテレメトリデータを保存します。これにより録画を見ることができ、また USB フラッシュドライブに CSV ファイルとして保存されているこのデータを解析することで、時間を失っているまたは捻出できている箇所がどこかを判断することができます。

  注: 2021 年 11 月 1 日ごろ以降に製造された車両の一部では、センター コンソール USB ポートが充電サービスしかサポートしていない可能性があります。その他のすべての機能については、グローブボックス内の USB ポートを使用してください。

トラック モードは、トラック モード プロフィールを 20 個まで保存できます。選択されたプロフィールを削除するには、設定画面の下部の**「削除」**をタッチします。

注: Tesla によって提供される、あらかじめ定義されたプロフィールは、変更や削除することはできません。

ラップタイマーの使用

トラック モードをオンにすると、地図にラップタイマーが表示されます。画面の指示に従って、地図に開始/終了ピンを配置してください。ピンが配置されたら、**「スタート」**を押して走行(周回) セッションを開始してください。Model 3 でスタート/フィニッシュラインを通過すると、ラップタイマーが自動的にラップのタイムを計測し、スタート/フィニッシュラインを通過するたびにタイマーをリセットし、現在のラップと今回の走行セッションにおける最速ラップとの差分をリアルタイムで表示します。地図内では、トラックが青で強調されています。

各ラップの終了後、ラップタイマーには、ラップに費やした時間が表示されます。また、前回のラップや走行セッションにおけるベストのラップに関連した時間も表示されます。

「ラップ時のダッシュカムの保存」がオンで（トラック モードのカスタマイズ ページ 90 を参照）、正面の USB ポートに適切にフォーマットされた USB フラッシュドライブが差し込まれている場合、トラック モードでは、走行セッションのビデオ（正面のカメラで撮影）が、ラップの詳細情報が記載された CSV ファイルと共に保存されます。

注: 走行セッションの終わりでタイマーを止めるには、ラップタイマーのポップアップウィンドウ上で**「停止」**をタッチします。

車両健全性のモニタリング

トラックモードを使用する場合、タッチスクリーンの車両ステータスエリアから、Model 3 の健全性を容易にモニターすることができます。様々な構成部品のステータスが色で表示され、現在の状態を判断することができます。理想的な温度範囲内にある場合、構成部品は緑色で表示されます。色は状態に応じ以下のように変わります:

- バッテリーが低温の場合は青色、また高温の場合は赤色で表示されます。
- ブレーキが低温の場合は青色、また高温の場合は赤色で表示されます。(ブレーキ過熱の早期アラート)。

- モーターが低温の場合は青色、また高温の場合は赤色で表示されます。
- タイヤ空気圧の動的な定値がタッチスクリーンに表示されます。タイヤが十分使用されていない場合は青色に、またはピークグリップを超えた時は赤色に表示されます。

注: 赤色で表示されているコンポーネントは、運転を停止して冷却する必要があることを示しています。

注意: トラック モードの使用中に発生した車両損傷あるいは負傷はドライバーの責任です。車両構成部品の過度の使用によって引き起こされた損害は、車両の保証の対象となりません。またレーシング、オートクロスあるいは競争は対象外となります。

G メーター

トラックモードにすると、タッチスクリーンにリアルタイムで G メーターが表示されます。G-メーターは、グラフで円形のメーターのピークラテラル、加速および減速値を表示します。走行履歴は陰をつけた部分で表わされます。各走行セッションの最初に G メーターがリセットされます。

注: G メーターカードをスワイプすると、別のカードを表示することができます。ただしトラック モードがオンの場合は、G メーターが既定のカードとして表示されています。

運転席シート、ハンドルポジション、またはドア ミラーの調整を初めて行う際は、これらの調整を保存するためのドライバー プロフィールを作成することを促すメッセージがタッチスクリーンに表示されます。ドライバープロフィールでは、Model 3 をカスタマイズする際に実施したさまざまな設定の保存もします。

プロフィール設定をクラウドに保存し、複数の Tesla 車でアクセスするには Tesla プロフィールをセットアップします（Tesla プロフィールの使用 ページ 93 参照）

新しいドライバー プロフィールを追加するには、タッチスクリーン上部にあるドライバー プロフィール アイコンをタッチします。**「ドライバープロフィール設定」** > **「ドライバーを追加」**をタッチして、ドライバーの名前を入力し、**「プロフィールを作成」**をタッチします。画面の指示に従い、ドライバー プロフィールにミラーおよびハンドル位置を保存します。

ドライバーに合わせて運転席とハンドルを自動的に調整して Model 3 への出入りをより便利にする**イージー エントリー**設定を保存（または既存のものを使用）する場合は、**「イージーエントリーを使用」**チェックボックスにチェックを入れます。

ドライバー プロフィールの保存または選択後、運転席シート、ハンドル、またはサイドミラーの位置を変更すると、新しい位置を**保存**するか、または前回保存した位置へと**元に戻す**ことを促すメッセージがタッチスクリーンに表示されます（その他の設定は自動的に保存されます）。保存や復元せずに設定を変更するには、そのメッセージを無視して構いません。

ドライバーのプロフィールを削除するには、タッチスクリーンの上部にあるドライバー プロフィールのアイコンをタッチし、**「ドライバーのプロフィール設定」**をタッチして、削除するドライバー プロフィールを選択します。選択したら、そのドライバー プロフィールを **「削除」**します。

注: バレーモードは、速度制限および Model 3 の一部の機能へのアクセスを制限する場合に使用するビルトイン ドライバー プロフィールです（バレーモード ページ 94 を参照）。

注: ドライバー プロフィールに基づいて実行されている自動調整を停止するには、ドライバーのプロフィールのドロップダウンメニューにある **「停止」**をタッチします。手動でシート、ミラー、ハンドルを調整すると、自動調整も停止します。

ドライバー プロフィールの選択

ドライバー プロフィールに従って Model 3 を調整するには、**「コントロール」**画面の最上部にあるドライバー プロフィール アイコンにタッチします。続いてドライバーを選択すると、そのドライバー プロフィールで保存されている設定に合わせて Model 3 が調整されます。複数の Tesla 車に簡単にアクセスするためにプロフィール設定をクラウドに保存する方法の詳細については、Tesla プロフィールの使用 ページ 93 を参照してください。

注: 希望されたストップモード設定はドライバーのプロフィールに同期していません。詳細な情報は、ブレーキと停車 ページ 80 を参照してください。

Tesla プロフィールの使用

（装備されている場合）シート調整、温度設定、ナビの最近の履歴やお気に入り、メディア設定およびデータ共有設定といったドライバーのプロフィール設定を Tesla プロフィールに保存し、Tesla アカウントでサポートされている車両で同期させることができます。これにより、サポートされているすべての Tesla 車で、プロフィール設定に簡単にアクセスすることができます。

Tesla プロフィールをセットアップするには**「ドライバーのプロフィール設定」**に移動して Tesla アカウント名を選択します。新しいプロフィールとしてセットアップするか、以前に使用していた既存のドライバーのプロフィールから設定をコピーすることができます。

追加のドライバーに対して Tesla プロフィールをセットアップするには、モバイル アプリから車両をドライバーたちと共有し、**「セキュリティとドライバー」** > **「ドライバーの管理」** > **「ドライバーの追加」**の順に移動します。追加ドライバーの Tesla アカウントからの招待を受け入れると、ドライバーのプロフィール設定に Tesla プロフィールが表示されます。車両へのアクセス権を削除すると、Tesla プロフィールも削除されます。モバイル アプリのアクセス権付与に関する詳細については、2 人目のドライバーへのアクセス許可 ページ 56 を参照してください。さらに、Tesla モバイル アプリからプロフィールの写真を変更することができます。

注: 一部の車両設定は類似する車両モデルの間でしか同期しません。シート、ステアリング、ミラーの位置が、期待するようには元に戻らない場合、該当する車両で**「コントロール」** > **「サービス」** > **「シート、ステアリング、およびミラーのキャリブレーション」**の順にタッチします。**オートパイロットの起動**（装備されている場合）の設定が元に戻らない場合は、**コントロール** > **オートパイロット** > **オートパイロットの起動**にタッチします（オートパイロットの設定 ページ 109 を参照）。

注: Tesla プロフィールは、ソフトウェアバージョン 2022.24 以降を搭載する車両でサポートされています。

車両から Tesla プロフィールを削除するには、次のようにしてその車両を Tesla アカウントから削除します。

1. Tesla モバイル アプリで右上隅のプロフィール アイコンにタッチします。
2. **製品を追加/削除**にタッチします。
3. **削除**にタッチします。
4. 削除する車両を選択します。

保存されている設定

Model 3 をカスタマイズするために指定した設定の一部は、ドライバー プロフィールに自動的に保存されます。保存されると、タッチスクリーンのドライバー プロフィール アイコンの隣に緑色のチェックマークが表示されます。自動的に保存されるドライバー プロフィールの例としては、

- ナビゲーション、温度、ライトおよびディスプレイ設定があります。
- オートパイロット およびドライブの好み。

ドライバー プロフィールとキーのリンク

ドライバープロフィールを特定のキーにリンクさせて、そのキーを持って車両に近づき運転席側ドアを開くと Model 3 が正しいドライバープロフィールを自動的に選択できるようにできます。ドライバーのプロフィールをキーにリンクさせるには、最初に必ずリンクを希望するドライバープロフィールを使用していることを確認してから、**「コントロール」** > **「ロック」** > **「キー」**の順にタッチします。ドライバー アイコンを切り替えると、キーのドライバープロフィールをリンクまたはリンク解除できます。リンクされると、キーの下にドライバー プロフィール名が表示されます。

注: Model 3 最大 10 件のドライバーのプロフィールをサポートします。ドライバー プロフィールに複数のキーをリンクさせることができますが、1 つのキーに複数のドライバー プロフィールをリンクさせることはできません。

イージー エントリー

イージー エントリー設定を定義すると、Model 3 への出入りを容易にするようにハンドルと運転席を動かすことができます。ドライバーは自分のドライバーのプロフィールに関連付けることで、イージーエントリー設定を使用することができます。イージー エントリー設定がドライバーのプロフィールに関連付けられると、パーキングにシフトして、運転席シート ベルトが外されたときに、ハンドルと運転席が自動的に調整され、Model 3 からの降車（および次回の乗り込み）が楽にできるようになります。車両に戻りブレーキペダルを踏むと、設定は自動的に前回のドライバープロフィールで使用された（またはドライバーのプロフィールがリンクされている場合はキーに基づく）設定を使用します。

ドライバーのプロフィールで **イージーエントリー**を使用するには、**「イージーエントリーを使用」**ボックスにチェックが入っていることを確認してください。

警告: 運転席の後ろの後列シートにチャイルドシートを取り付けているときには、運転席を自動で最後位置に動かすために「イージーエントリー」を使用しないでください。後列座席との間隔が狭くなると、運転席を動かしたときにお子さまの足に当たってしまったり、チャイルドシートを押し除けてしまう場合があります。

バレーモード

Model 3 がバレーモードになっているときは、次の制限が適用されます。

- Model 3 にアクセスして運転するためには、キー カードを使用する必要があります
- 速度は 70 mph (113 km/h) 以下に規制されます。
- 最大加速と最大出力は制限されます。
- フロントトランクとグローブボックスはロックされます。
- 自宅および職場のロケーションはナビゲーション システムで使用できません。
- 音声指示が無効になります。
- テキスト メッセージは非表示になります。
- オートパイロット の便利な機能が無効になります。
- 「モバイル アクセスを許可」設定は変更できません。
- HomeLink（地域で使用可能であれば）にアクセスできません。
- ドライバープロフィールにアクセスできません。
- Toybox や Theater などの一部のアプリは利用できません。
- Model 3 にアクセスできるキーのリストはタッチスクリーンに表示されません（キーの管理 ページ 23 を参照）。
- Wi-Fi と Bluetooth が無効になります。Model 3 がバレーモードにあるときは、新しい Bluetooth 機器をペアリングしたり、接続済みの機器を閲覧したり削除したりすることはできません。しかし通信エリア内に Bluetooth でペアリングした機器または既知の Wi-Fi ネットワークがある場合は、Model 3 は接続を行ないます。

バレーモードの開始

Model 3 をパーキングにシフトして、**「コントロール」** > **「安全」** > **「バレー モード」**にタッチするか、**「コントロール」**画面の最上部にあるドライバーのプロフィールアイコンにタッチしてから、**バレーモード**にタッチします。

バレーモードを初めて使用する場合は、バレーモードをキャンセルするときに使用する 4 桁の暗証番号を作成するようにタッチスクリーンから求められます。

バレーモードが動作している場合、タッチスクリーン上に**「バレー」**の文字が表示され、タッチスクリーンでドライバーのプロフィールが**「バレーモード」**に変わります。

また、モバイル アプリを使って、バレー モードを開始またはキャンセルすることもできます（Model 3 のギアがパーキングに入っている必要があります）。モバイル アプリを使用している場合は、アプリにログインする際、すでに Tesla アカウント認証情報を使ってログインしているので、PIN を入力する必要はありません。

注: **「ドライブ用 PIN」**の設定が有効になっている場合（ドライブ用 PIN ページ 149 を参照）、バレー PIN を定義または入力するには、ドライブ PIN を入力する必要があります。バレーモードになると、Model 3 は、ドライブ用 PIN の入力なしに車両を運転することが可能になります。

注: **「ドライブ用 PIN」**の設定は、バレーモードが有効のときは利用できません。

PIN を忘れた場合は、Model 3 内で Tesla アカウント認証情報を入力するとリセットできます（バレーモードもキャンセルされます）。モバイル アプリを使って PIN をリセットすることもできます。

バレーモードのキャンセル

Model 3 をパーキングにして、**「コントロール」**画面の最上部にあるドライバー プロフィール アイコンにタッチしてから、**「バレーモード」**にタッチして 4 桁の PIN を入力します。

バレーモードをキャンセルすると、直前まで使用していたドライバー プロフィールと温度調整の設定に関連するすべての設定が回復し、すべての機能が使用可能になります。

注: バレーモードをキャンセルするにはモバイル アプリから PIN を入力する必要はありません。

走行情報を表示する

走行情報は、タッチスクリーンの車両ステータス ディスプレイのカード エリア、または**「コントロール」** > **「走行データ」**の順にタッチしたときに、表示されます。現在の走行データとして、距離、期間、平均エネルギー使用量を表示できます。前回の充電以降の距離とエネルギーの総使用量および平均使用量、さらにこの後の走行についてのエネルギーの総使用量および平均使用量も表示できます。

トリップに名前を付ける、あるいは既存の名前を変更するには、トリップ名をタッチしてからトリップの新しい名前を入力し、最後に**保存**を押します。特定の走行データのメーターをリセットするには、対応する**リセット**にタッチします。

オドメーター

オドメーターを表示して走行距離を確認するには、以下のいずれかの操作を行います。

- **「コントロール」** > **「ソフトウェア」**の順にタッチします。
- **「コントロール」** > **「トリップ」**の順にタッチします。
- モバイル アプリを開き、メイン画面の最下部までスクロール ダウンします。

カメラ位置

Model 3 のリアビューカメラが搭載されています。

ギアをリバースに入れると、このカメラの画像がタッチスクリーンに表示されます。ハンドルの位置に応じてラインが運転方向を示します。ハンドルが動いても、これらのラインは調整されます。

Model 3 が車両の後ろを横切ろうとする物体（他の車両や歩行者など）を検出すると、リア ビュー カメラの画像に重なって赤い縦棒が表示されます。詳細な情報については、リア クロストラフィック アラート ページ 143 を参照してください。

Model 3 は、サイド カメラの画像も表示します（装備されている場合）。上または下にスワイプするだけで、サイドカメラ ビューを表示または非表示にできます。

注: タッチスクリーンにパーキング アシストからの視覚的フィードバックも表示されます（パーキングアシスト ページ 84 を参照）。

リア ビュー カメラのビューを表示するには、常にアプリ ランチャーを開いて、カメラ アプリにタッチします。

リバースにシフトしているときに、リア ビュー カメラの画像の代わりにタッチスクリーンに黒い画面が現れた場合、バックミラーを使用して周囲が安全であることを確認してから、後進を継続してください。リア ビュー カメラが使用できない状態が継続する場合、モバイル アプリを使用してサービス予約してください。

警告: 車両の背後に人の存在や障害物の有無はカメラ（複数）の映像だけで判断しないでください。このカメラでは、車両への損傷や人身事故を招くおそれのある障害物や人を検出できない場合があります。また、カメラの検出能力はレンズの汚れや視界の遮断など、いくつかの外的要因で低下することがあります。このため、カメラに頼って、Model 3 が障害物に近づいているかどうかを判断することは、車両や物体に損傷を与えたり、人身事故につながる恐れがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、カメラはあくまで補助手段としてご利用ください。カメラは目視確認の代わりではなく、安全運転を不要にするものではありません。

明瞭な画像を維持するには、カメラのレンズをきれいに保ち、視界が遮られないようにしてください。洗車 ページ 205 を参照してください。

歩行者警告システム

歩行者警告システムは、Model 3 が約 25 mph（40 km/h）未満で前進しているか、後進している時に音を出します。電気自動車は音がしないため、歩行者に車が接近していることを音で知らせます。この音は、Model 3 がパーキング以外にシフトされているときに鳴り、速度が上がるにつれて音量が上がります。

警告: 音が聞こえないと、歩行者は近づく車両に気づかない可能性があり、重傷事故や死亡事故につながる恐れがあります。歩行者に車両を確実に気付かせるために、歩行者警告システムを頼ることはしないでください。 歩行者警告システムが作動していない場合、サービス予約をしてください。

運搬能力- アクセサリー

けん引パッケージを使用すると、Model 3 でトレーラーのけん引やアクセサリー（自転車、スキー、スノーボードなど）の運搬が可能になります。

牽引パッケージには、付きの牽引ヒッチと、アクセサリーキャリアをサポートできる 2" x 2"（50 mm x 50 mm）のヒッチレシーバーが含まれています。アクセサリー運搬用のアダプターは、最大 121 lbs（55kg）までの垂直荷重に対応するように設計されています。のヒッチで自転車やスキー、その他の物を運搬するときは、最大重量を超えていないことを必ず確認してください。

重量計算時は、必ずアクセサリー キャリア自体の重量も含めてください。例えば、キャリアの重量を 40 lbs（18kg）と仮定すると、この重量しきい値は、それぞれおよそ 40 lbs（18kg）の 2 つの物品を輸送するために十分ということになります。けん引ヒッチの最大許容重量は、車両の乗員数により異なります:

	18 インチタイヤまたは 19 インチタイヤ
車両に 5 人の乗員。	121 lbs (55 kg)
車両の後列座席に 2 人以下の乗員。	121 lbs (55 kg)

注: 前に表示した重量は、Tesla が推奨するアクセサリーキャリアを使用する場合のものです。アクセサリーキャリアの重心とヒッチのボール間の垂直距離と水平距離の測定に基づいたものです（参考に Tesla 認可以外のアクセサリーキャリア ページ 99 の画像例を参照してください）。

注意: 許容（前述の通り）可能な Model 3 ヒッチの最大重量を超えると、重大な損傷を招く恐れがあります。

注意: けん引パッケージを装備していない Model 3 にアクセサリーキャリアを取り付けないでください。重大な損傷が生じる可能性があります。

Tesla 認可以外のアクセサリーキャリア

重量計算に加えて、必ずアクセサリーの全体荷重が指定重量を超えないようにし、ヒッチのボールからの指定距離を保つことが重要です。この距離は、アクセサリーキャリアと取り付けた物の重心に基づいて計算されます。Tesla 認可以外のキャリアを使用する場合には、けん引ヒッチのボールからアクセサリーの重心までの垂直距離と水平距離を測定してください。

注: 追加重量または荷重制限などの詳細情報については、アクセサリーキャリアの製品詳細をご相談ください。Tesla 認可以外のアクセサリーを使用して生じた損傷については、保証の対象になりません。

キャリアの取付および使用

アクセサリー キャリアを取り付けるには、牽引ヒッチを接続する必要があります(牽引ヒッチの接続 ページ 103 参照)。次に、作業はアクセサリーキャリアに付属の取扱説明書に従って行ってください。お客さまの地域でアクセサリーの運搬に適用されるすべての規制、法的義務を守ってください。

Model 3 のけん引パッケージには、ライト付きアクセサリーキャリアを使用するうえで必要なワイヤーが含まれています（電気系の接続 ページ 105 参照）。パッケージは、けん引モードのソフトウェアにも対応しています（けん引モード ページ 102 参照）。

アクセサリーキャリアのワイヤーハーネスをつなぐと、Model 3 はトレーラーの灯火類の接続を検出します。このインジケーターはタッチスクリーンで点灯し、けん引モードが無効になっていることを表します。

注: http://www.tesla.com へと進み、お客様の Model 3 のアクセサリーをご購入ください。他社製品も利用することができますが、Tesla では Tesla 認可品のみを推奨し、サポートしています（部品とアクセサリー ページ 212 参照）。車両に利用できるアクセサリー製品は地域により異なります。Tesla ブランド以外のキャリアを取り付けたい場合は、事前に製品情報を見て対応を確認してください。

注: 使用しない時は、ヒッチを取り外し、錆や腐食を防止するために乾燥した場所に保管してください。ヒッチのハウジングにはダストカバーをかけ、ほこりやごみが入らないようにしてください（牽引ヒッチの取り外し ページ 104 を参照）。

注意: キャリアを取り付けると、バックミラー、リアカメラやリア側の超音波センサーの有効範囲が遮られる場合があります。さらに、一部のオートパイロット機能が期待どおりに働かなくなることがあります。

注: Tesla は、アクセサリー キャリアの取り付および使用の結果発生した損害または人的傷害、アクセサリー キャリアに付属の取扱説明書における抜け、または取扱説明書に従わなかったことについては責任を負いません。アクセサリー キャリアの使用によって生じた損傷は保証対象にはなりません。

運搬能力- トレーラーけん引

トレーラーブレーキ	けん引能力
トレーラブレーキなし	1,650 lbs (750 kg)
トレーラブレーキあり	2,200 lbs (1,000 kg)

適合性証明書（車両の購入時に添付）、法定プレート（車両総重量 ページ 219 を参照）、またはけん引ヒッチラベルを参照してトレーラーの総重量を確認してください。これには、貨物と追加器材、Model 3 で安全に運搬できるトレーラーのヒッチ荷重が含まれます。トレーラーの重量とトレーラーのヒッチ荷重の最大総重量に加えて、以下のガイドラインを順守してください。

- トレーラー用ブレーキのメーカー指示書に正しく従い、トレーラーブレーキが適切に取り付けられ、正しく調整、維持されるようにしてください。
- ヒッチ荷重とは、トレーラーの重量がヒッチにかかる下向き荷重のことです。少なくとも総荷重の 4%である必要があります。最大ヒッチ荷重（またはカップリング ポイントでの技術的に許容される質量）は 200 lbs（100kg）です。けん引車両に載せる荷物や乗員、積み荷の量が多い場合は、許容されるタング荷重が減少することがあり、その場合は最大けん引能力も減少します。最大けん引能力は、GVWR（車両総重量）を超過しないことを前提に計算されます（車両総重量 ページ 219 を参照）。

注: 適合性証明書、ヒッチラベル、法定プレートの情報が本オーナーズマニュアルに記載の情報と一致しない場合、より先に示したものの情報が優先されます。

注意: けん引が車両に与える影響についての経験と知識があり、車両に積載物を安全に積み込み、固定し、運転することができる場合にのみ、Model 3 でけん引を行ってください。Tesla の取扱説明は、安全にけん引することに必要な知識とスキルをすべて網羅したものではありません。トレーラーけん引によって生じた損傷は保証対象にはなりません。

警告: 車両やトレーラーを過積載しないでください。お守りいただけない、パフォーマンスの低下、車両の損傷や車両コントロールの損失を招く恐れがあります。

警告: トレーラーヒッチを使って Model 3 を輸送しないでください（車両輸送者向け注意事項 ページ 231 参照）。

けん引時のタイヤ空気圧

トレーラーをけん引する場合、タイヤ空気圧はその負荷荷重に適合するように調整してください。18 または 19 インチのタイヤはけん引に使用することが許容されます。以下に示す空気圧までタイヤに空気を入れてください（異なる場合、この数値はタイヤと荷重載情報ラベルに印刷されたタイヤ空気圧に優先します）。

前輪	後輪	タイヤ空気圧（冷間時）
235/45R18	235/45R18	42 psi（290 kPa）
235/40R19	235/40R19	42 psi（290 kPa）

注: ウィンタータイヤを装着したけん引に関する情報は、Tesla サービスにお問い合わせください。

注意: 上記に記載のないタイヤを装着している場合、Model 3 をけん引に使用しないでください。

警告: タイヤが冷えているときに、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用してタイヤ空気圧をチェックしてください。走行すると、タイヤが十分に加温されてタイヤ空気圧に影響を及ぼします。直射日光や高温な場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になる恐れがあり大変危険です。

警告: Model 3 のタイヤに異常があるか、タイヤリペアキットで空気を入れた場合には、トレーラーをけん引することはできません。応急修理されたタイヤは、牽引荷重に耐えられません。異常があるか応急修理されたタイヤによるけん引は、故障あるいは車両の安定性を損なうことがあります。

トレーラーをけん引する前に

トレーラーをけん引する前に、以下を実行する必要があります。

- タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 198 に指定された冷間時タイヤ空気圧でタイヤに空気を入れます。
- トレーラーのけん引に適用されるすべての規制、法的義務を守ってください。規制に従わないと、ご自身の安全に問題が生じる場合があります。
- ブラインドスポットが大きくならないよう、後方の視界がよく見えるようにサイドミラーを調整する。
- **「けん引モード」**に設定します（けん引モード ページ 102 参照）。

以下を確認します。

- Model 3 取り付けたトレーラーとともに水平になっている。車両正面を上げて車両後部を下げる場合、運搬能力- トレーラーけん引 ページ 100 に記載の最大牽引能力や最大ヒッチ荷重を超えないよう確認してください。
- トレーラー ヒッチの部品や付属品、安全チェーン、と電気コネクター（リバース ライトやフォグ ライトなど）すべてに不具合がなく、正しく接続されている。問題がある場合は、トレーラーを牽引しないでください。
- トレーラーの燈火類が正しく点灯することを確認してください（ブレーキ灯、方向指示器灯、標識灯）。

  注: Model 3 がけん引モードの場合、またはトレーラーライトの接続を検出し、Model 3 がトレーラーの方向指示器の電気接続不良を検出した場合、接続不良側の方向指示器が通常より速く点滅します（けん引モード ページ 102 を参照）。

- トレーラー タングがヒッチ ボールにしっかりと接合されている。
- 安全チェーンがトレーラーとけん引車両間で適切につながれている。トレーラー タングの下に安全チェーンを通し、タングがヒッチから離れてもタングが路面に接触しないようにする。安全チェーンにはカーブを 曲がるときの余裕をもたせ、同時にチェーンが地面をひきずらないようにします。
- 積み荷がすべて固定されている。
- 車輪輪止めを使用できます。
- トレーラーのヒッチ荷重がトレーラー総重量の約 4〜10% で、「運搬能力- トレーラーけん引 ページ 100」に示す最大ヒッチ荷重を超えずにトレーラー荷量が均等に分散されています。

  注意: 荷重はタイヤに均等に加わり、リアに片寄るとトレーラーがふらつき、車両のコントロールを失う結果となります。

警告: トレーラー内で積み荷がしっかりと、動かないように固定されている。荷重が状況によって変化すると、車両のコントロールを失う結果となり、深刻な怪我につながることがあります。

牽引ガイドライン

Model 3 は、基本的には乗用車両として設計されています。トレーラーをけん引すると、エンジン、ドライブトレイン、ブレーキ、タイヤ、およびサスペンションにさらに負荷がかかり、航続距離が大幅に減少します。トレーラーをけん引しようとする場合には、次のガイドラインを留意し、従ってください。

- 走行速度を下げ、急激な操作を防止します。トレーラーけん引時にはトレーラーをつながない時に比べて、ステアリング、安定性、回転半径、制動距離、ブレーキ性能といった面に大きな違いがあります。
- 前方車両から最低 2 倍の距離を維持し、車間距離を十分に開けてください。これにより、急ブレーキの必要性を減らすことができます。急ブレーキをかけると、スキッドやジャックナイフを発生させ、コントロール不能に陥る場合があります。
- 急激に曲がらないようにしてください。急な旋回をすると、トレーラーが車両に接触し、損傷の原因となる可能性があります。トレーラーの車輪は車両の車輪より旋回の内側を通ることに注意してください。そのため、トレーラーが道路の縁石や標識、木々やその他の物に触れないように大きく旋回してください。
- トレーラーの灯火類や方向指示器の電球が切れていないことを定期的に点検してください。
- 貨物の安全を定期的に確認してください。
- 勾配のある場所に駐車しないでください (トレーラーをつけた状態での駐車 ページ 103 を参照)。
- けん引用のコンポーネントがいずれもしっかりと締められていることを定期的に確認してください。

警告: けん引ではブレーキを踏んでから停止するまでの距離が長くなります。けん引時には、車間距離を増やし、急ブレーキをかけることがないよう留意してください。事故につながる危険があります。

警告: お客さまの管轄区でトレーラーのけん引に適用されるすべての規制、法的義務を守ってください。規制に従わないと、ご自身の安全に問題が生じる場合があります。

警告: トレーラーのブレーキを車両のブレーキ系に接続しないでください。車両とトレーラーに損傷を与え、ブレーキ系の誤動作を招き、大けがにつながる可能性があります。

けん引モード

トレーラーをけん引している時は、常にけん引モードを有効にしてください。駐車中にトレーラーを電気接続すると、Model 3 は自動的に「けん引モード」を作動させます。トレーラーの電気接続を切断しても、「けん引モード」が自動で解除されるわけではありません。手動で「けん引モード」を作動させる、または解除するには、タッチスクリーンで**「コントロール」**>**「ダイナミクス」** > **「けん引モード」**の順にタッチしてください。以下のいずれかのインジケーターがタッチスクリーンに表示されます:

牽引モードが有効です。

Model 3 トレーラー灯火類の接続を検出していますが、けん引モードが無効になっています。アクセサリーが接続されている可能性があります。

Model 3 トレーラー灯火類の電気接続不良を検出しました。いくつかあるいはすべてのトレーラー灯火類が点灯していない恐れがあります。なるべく早く安全に停車して、トレーラーの灯火類のケーブルや接続に不良がないかを点検してください。問題が解決されたにも関わらずアイコンが赤色のままの場合は、けん引モードを一度オフにしてから再度オンにしてください。けん引を終了し、トレーラーの電気コネクターを取り外した場合は、けん引モードを手動で解除して、赤いアイコンをクリアします。

Model 3 がけん引モードの場合、またはトレーラー ライトの接続を検出し、車両がトレーラーの方向指示器の電気接続不良を検出した場合、接続不良側の方向指示器が通常より速く点滅します。けん引を終了して、トレーラーの電気コネクターを取り外すと、方向指示器が通常より速く点滅し始め、けん引モードが手動で解除されるまで、赤いトレーラー インジケーターがタッチスクリーンに表示されます。

けん引モードが有効になっているとき、一部のオートパイロット機能が使用できない場合があります。さらに、これらの機能は異なる動作をすることがあります。

- トラフィックアウェア クルーズコントロールは、前方にいる車両との車間距離を長めにとります。
- 側面衝突警告は作動しますが、ステアリング自動介入は無効になります。
- 自動緊急ブレーキ（衝突回避アシスト ページ 142 参照）による制動力は制限されます。

警告: Model 3 がトレーラーを検出して自動的にけん引モードに入るとはいえ、それに任せっきりにしないでください。トレーラーを引く前に必ず、けん引モードになっていることを常に確認してください。

警告: トレーラーをけん引している時には、いかなる状況でもけん引モードを終了してはなりません。大けがにつながる可能性があります。

トレーラーをつけた状態での駐車

可能な限り、勾配のある場所には駐車しないでください。ただし、勾配のある場所での駐車がどうしても避けられない場合には、トレーラーの車輪に車輪止めをつけてください。以下の手順を他の人に手伝ってもらってください。

- 一人がブレーキ ペダルを踏んだ状態を維持します。
- もう一人の人が車両タイヤの下り坂側のホイール下に車輪輪止めを置きます。
- 車輪止めが配置されたら、ブレーキ ペダルを離し、車輪止めが車両とトレーラーの重量を支えていることを確認します。

  注: 車輪止めをテストするときは、ホールド機構(オートブレーキ ホールド ページ 86 を参照)が車両を支えていないようにします。車両ホールドが Model 3 にブレーキをかけているときは、タッチスクリーンの車両ホールドインジケーターライトが表示されます。ホールドを解除するには、ブレーキペダルを踏んでから離します。

- 車両をパーキングにシフトします。

警告: 勾配のある場所での駐車が必要な場合は、常にトレーラーの全車輪に確実に車輪止めを置いてください。巻き込み確認を怠ると重大な損傷やけがにつながる恐れがあります。

牽引ヒッチの接続

Model 3 けん引パッケージには、2" x 2"（50 mm x 50 mm）のヒッチレシーバー付きの牽引ヒッチが含まれています。使用しない時は、ヒッチを取り外し、錆や腐食を防止するために乾燥した場所に保管してください。ヒッチ ハウジング上にダストカバーをつけたままにし、汚れやごみがロック内に入るのを防止ししてください。

警告: トレーラーをけん引する際には必ず Model 3 用トレーラーヒッチを使う必要があります。異なるタイプのトレーラーヒッチは取り付けないでください。

注: けん引する場合は必ず安全チェーンを取り付けてください。トレーラータングの下でチェーンを交差させ、トレーラーの積載物がしっかり固定されるようトレーラーのアイレットを取り付けます。

注: 連結ポイントの最大許容リア オーバーハングは 42 in.（1,070 mm）です。

トレーラーヒッチは次のように取り付けます。

1. Model 3 にはダストカバーを車両に固定するために 2 個のプッシュ クリップが使用されています。マイナス ドライバーなどの先端の薄いものを使用してクリップをひねってこじあけます。ダスト カバーを取り外し、安全な場所に保管します。
2. ヒッチのロッキング シリンダーにキーを挿入し、シリンダーを回してキーのトップを「開」位置に合わせます。
3. ロッキング シリンダをアダプタから約 0.2 in.（0.5 cm）引き出し、ロック解除アイコンがロッキングシリンダの上部に固定されるまで時計回りに回します。

   注意: ロッキング シリンダーは慎重に回してください。それが「開」位置にロックされない場合、元の「閉」位置に自動的に戻ってしまい、指を挟むことがあります。

4. ヒッチを下からしっかりとつかみ、ヒッチハウジングの対応する切り欠きに合わせます。

   注: ロッキング シリンダーは自由に回転させる必要があるため、そこをつかまないでください。

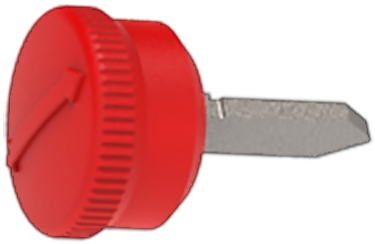
5. ヒッチをヒッチ ハウジングに押し入れるとロッキング シリンダーが速く回転し、自動的に「閉」位置でロックされます。
6. ヒッチを引き下げて、ヒッチがハウジングに完全に挿入されたことを確認します。ヒッチを引いた時に落とさないようにしてください。

   注: ヒッチがハウジング内でロックされていなければ、引いた時に落ちてしまいます。

7. キーを回して矢印をロッキング シリンダーにあるロック アイコンに合わせます。
8. キーを外し、安全な場所に保管します（車両内部を推奨）。

   注: キーはヒッチがロックされた時しか外せません。これにより、接続が適性であるということになります。キーが取り外されていない場合にはヒッチを使用しないでください。

   注: Tesla ではキーコードをメモしておくことをお勧めしています。キーを紛失して代替品を注文する場合には、このキーコードが必要になります。

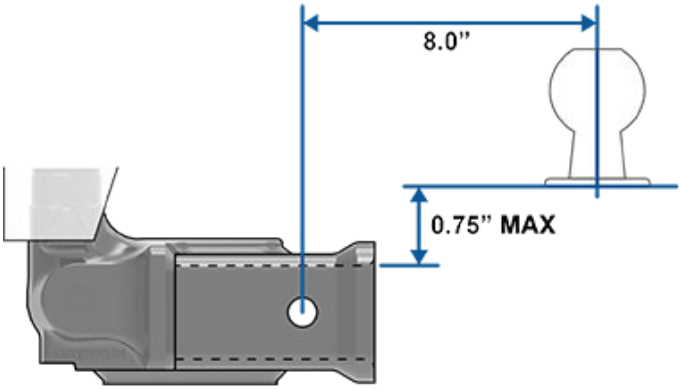


   注: トレーラーヒッチは、車両本体にボルト 6 本で取り付けます。

注: 冠水した道路を走行する場合、圧力を開放するためにダストカバーが開くことがあります。安全な場所に駐車したら、ダスト カバーを車両へ再び取り付けてください。

ボールマウントの取り付けと取り外し

の牽引パッケージにはボールマウントは含まれていません。けん引するトレーラーのタイプに適合したボールマウントを別途購入してください。ヒッチ レシーバーは、最大で 8.0 in（203 mm）、高さが最大で 0/75 in（19 mm）のボール マウントをサポートしています。ドロップ式ボールマウントは使用しないでください。



ボールマウントは次のようにして取り付けます。

1. 必要であれば、ロッキング ボルトからコッターピンを外し、ロッキングボルトをヒッチ アセンブリから引き出します。
2. ボール ホルダーをヒッチ アセンブリに差し込みます。
3. ボール ホルダーの穴をヒッチ アセンブリの穴と合わせます。
4. ロッキング ボルトをヒッチ アセンブリ/ボール ホルダーに通します。
5. コッターピンをロッキング ボルトの端にある穴に差し込みます。

ボールマウントは次のようにして取り外します。

1. ロッキング ボルトからコッターピンを外し、ロッキングボルトをボール ホルダー/ヒッチ アセンブリから引き出します。
2. ボール ホルダーをヒッチ アセンブリから引き出します。

牽引ヒッチの取り外し

けん引後は、ヒッチを取り外します。

1. キーを挿入し、アンロック アイコンにキー上部を合わせます。
2. ヒッチを（床に落とさないように）その底をしっかりと支えながら、ロッキング シリンダーを約 0.2 in.（0.5 cm） ほど引き出し、ロック アイコンが最上部にくるまで時計方向に回します。この位置で、ロッキング シリンダーは「開」位置でアンロックされ、ヒッチがヒッチハウジングからはずれます。

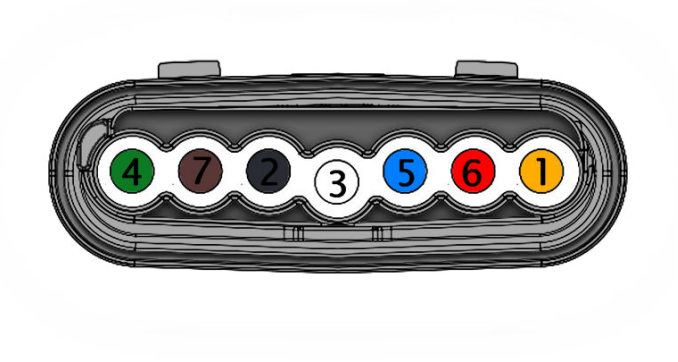
警告: ロッキング シリンダーは慎重に回してください。それが「開」位置にロックされない場合、元の「閉」位置に自動的に戻ってしまい、指を挟むことがあります。

3. ハウジング内にごみがたまらないように、ヒッチ ハウジングにダスト カバーをプッシュクリップを使用して再取り付けします。
4. ヒッチのロッキング シリンダー上のダスト カバーを閉じ、ヒッチを安全な場所に保管します。

   注: ヒッチを長持ちさせるには、定期的にその表面に樹脂非含有のグリスを塗布します。

電気系の接続

トレーラーは、テール ランプ、ブレーキランプ、側面標識灯、方向指示器灯を装備するよう規則で求められています。トレーラー照明の電源供給のため、ヒッチをサポートしほとんどのトレーラータイプに接続できるワイヤープラグ近くに 7 ピンワイヤー接続内蔵コネクタがあります。すべての電気的接続が作動し、すべてのトレーラー灯火が事前におよびけん引中に作動するようにすることは、運転者の責任です。実際に点検してください。



1. 左折灯
2. 後退灯
3. アース
4. 右折灯
5. 未対応
6. ブレーキライト
7. テールランプ

すべてのピンには低電圧電源があります。けん引中にトレーラー灯火類が消えた場合は、ヒューズ切れの可能もあります。Model 3 は、ヒューズが切れても警告を出しません。Tesla サービスにお問い合わせください。

注: 現時点で補助電力は利用できません。

注: 現時点ではピン 5 は対応していません。

注: トレーラーのフォグランプが検出されると、Model 3 はリヤフォグランプを無効にします（装備されている場合）。

注意: トレーラーの電気ケーブルが地面に接触あるいは引きずっていないこと、および引き回し時にケーブルの余裕が十分あることを確認してください。

警告: 電気コネクターは Tesla 設計品のみを使用してください。トレーラーの電気配線の継ぎ合わせや他の方法で直接接続することはしないでください。車両の電気系に損傷を与え、誤動作を招く可能性があります。

航続距離への影響

トレーラーをけん引すると、車両の重量と抵抗が増加します。その結果として、航続距離は大きく減少します。トリップ プランナーが牽引モードに基づき予想航続距離を調整しようとしますが、実際のエネルギー消費量は異なる場合があります。そのことを勘案した走行距離や充電場所の計画を立ててください。

関連事項 オートパイロット

オートパイロット は、運転をより快適で負担の少ないものにすることを目的とした高度なドライビングアシスト機能を組み合わせたものです。これらの機能のどれも、Model 3 を完全に自律的にはしませんし、ドライバーとしてのあなたに取って代わることもありません。

すべての Tesla 車両にはトラフィックアウェア クルーズコントロールが搭載されています。トラフィックアウェア クルーズコントロール は、前方に車両がある場合に速度を維持し、調整可能な車間距離を保ちます（トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 109 を参照）。

また、お使いの車両には、次のオートパイロット機能が利用可能な場合があります。有効になる具体的な機能は、市場地域、製造時期、ソフトウェアバージョン、オートパイロットハードウェア、車両構成によって異なります。お客様の車両に合わせた情報については、車両のタッチスクリーンでアプリ ランチャーにタッチして、マニュアル アプリを選択してオーナーズマニュアルをご覧ください。

- **オートステアリング**：車速と先行車両との車間距離を維持しながら、インテリジェントに Model 3 が車線を維持するようにします（「オートステアリング ページ 110」を参照）。オートステアリング には、**オートレーンチェンジ** (オートレーンチェンジ ページ 111)および**ナビゲート オン オートパイロット**が含まれます。（ナビゲート オン オートパイロット ページ 111 を参照）。

  注: *2025 年 10 月以降に注文された標準車両については、オートステアリング、オートレーンチェンジ、および ナビゲート オン オートパイロットは利用できません。*

- **オートパーキング**：Model 3 の縦列駐車または車庫入れ駐車を実行します（オートパーキング ページ 129 を参照）。
- **サモン**：車外にいる状態で、Tesla モバイル アプリを使用して Model 3 の駐車および呼び寄せを可能にします（サモン ページ 131 を参照）。
- **信号機と一時停止のコントロール**：車速を維持し、車間距離を保ち、車線をはみ出すことなく Model 3 を走行させながら、信号機や停止標識に合わせて減速や停止を行います（信号機と一時停止のコントロール ページ 117 を参照）。

  注: *2025 年 10 月以降に注文された標準車両については、信号機と一時停止のコントロールは利用できません。*

- **フルセルフドライビング（スーパーバイズド）**：道路の曲りに沿って目的地までドライブを行います。交差点、停止標識、ロータリーで停止し、通り抜けます。左右に曲がります。高速道路への進入/退出を行います（フルセルフドライビング（スーパーバイズド） ページ 124 を参照）。

オートパイロットが作動している場合、Model 3 には段階的に強まる一連の警告が表示され、ハンドルを握ったまま道路に注意を払うように促します。対応しない場合、オートパイロットは解除され、残りのドライブでは使用できなくなります。

Model 3 には、ドライバーの注意力を監視するキャビン カメラがリア ビュー ミラーに搭載されている場合があります。

オートパイロットの制限を理解することはお客様の責任であり、常にハンドルの上に手を置き、道路に注意を払い、直ちに対処できるように備えてください。制限、注意、警告の詳細については、「制限と警告」 ページ 135 を参照してください。

警告: オートパイロット はハンズフリーの機能ではありません。常にハンドルの上に手を置き、道路状況、周囲の交通状況、その他の道路利用者（歩行者や自転車など）に注意を払ってください。即座に対応できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

警告: オートパイロット は衝突警報システムでも衝突回避システムでもありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。オートパイロットに頼って Model 3 を十分に減速させようとしないでください。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

動作の仕組み

オートパイロット は Model 3 上のカメラを使用します。Model 3 の前面、背面、左側および右側にカメラが取り付けられています（「カメラ」 ページ 19 を参照）。

Model 3 には、ドライバーの注意力を監視するキャビン カメラがリア ビュー ミラーに搭載されている場合があります。ご自身の責任において、常にハンドルの上に手を置き、道路に注意を払い、直ちに対処できるように備えてください。

オートパイロットが作動している場合、Model 3 には段階的に強まる一連の警告が表示され、ハンドルを握ったまま道路に注意を払うように促します。対応しない場合、オートパイロットは解除され、残りのドライブでは使用できなくなります。

警告: オートパイロット は衝突警報システムでも衝突回避システムでもありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。オートパイロットに頼って Model 3 を十分に減速させようとしないでください。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

オートパイロットの限界を理解し、常に自ら制御できるように準備することはドライバーの責任です。制限、注意、警告の詳細については、「制限と警告」 ページ 135 を参照してください。

オートパイロット 条件

それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（カメラのクリーニング ページ 205 を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model 3 のタッチスクリーンにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

オートパイロット機能を使用する前、および一部のサービスのための訪問の後は、カメラをキャリブレーションするために短い距離をドライブする必要があります。詳細な情報については、走行中のカメラキャリブレーション ページ 19 を参照してください。

また、以下の場合、これらの機能が意図したとおりに動作しないことがあります。

- 道路に急カーブがある、または標高が大幅に変化している。
- 道路標識や信号機が不明瞭、あいまい、または整備が不十分である。
- 視認性が低い（激しい雨、雪、雹など、または夜間の道路照明が貧弱である）
- トンネル内や、カメラの視界を妨げる分離帯の近くなどを走行している。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。

上記の一覧はオートパイロット機能の正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。詳細については、「制限と警告」 ページ 135 を参照してください。

オートパイロット 機能	使用可能な条件
トラフィックアウェア クルーズコントロール	• 18 mph（30 km/h）から 85 mph（140 km/h）で運転中 **注:** Model 3 の前方 5 ft（1.5 m）以上のところに車両が検出された場合、より低速でトラフィックアウェア クルーズコントロールを作動させることができます。
オートステアリング	• 18 mph（30 km/h）から 85 mph（140 km/h）で運転中 **注:** Model 3 の前方 5 ft（1.5 m）以上のところに車両が検出された場合、より低速でオートステアリングを作動させることができます。 **注:** 生活道路、センターラインのない道路、またはアクセス管理されていない道路では、最大許容巡航速度が制限され、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。制限速度は、道路の制限速度に 10 km/h（5 mph）プラスした値です。 • ヘッドライトは**「オン」**または**「自動」**に設定されます。オートパイロットは昼間でも暗い場所（夕暮れ時や夜間）でも使用できますが、オートステアリングは、ヘッドライトが**「オフ」**に設定されると停止するか利用できません。オートステアリングが作動すると、**アダプティブ ヘッドライト**が自動的に有効になり（ハイビーム ヘッドライト ページ 76 を参照）、ワイパーが**「自動」**に設定されます。
ナビゲート オン オートパイロット	• 18 mph（30 km/h）から 85 mph（140 km/h）で運転中。 **注:** Model 3 の前方 5 ft（1.5 m）以上のところに車両が検出された場合、より低速でナビゲート オン オートパイロットを作動させることができます。 • アクセス管理された高速道路を走行しています。アクセス制限のある高速道路を離れると、ナビゲート オン オートパイロットはオートステアリングに戻ります。
フルセルフドライビング（スーパーバイズド）	• 85 mph（150 km/h）未満でドライブしている。

オートパイロット 機能	使用可能な条件
	注: フルセルフドライビング（スーパーバイズド）は、Model 3 の前方に車両が検出されたかどうかに関わりなく、Model 3 の停止時を含む、より低速で作動させることができます。 • ヘッドライトは**「オン」**または**「自動」**に設定されます。フルセルフドライビング（スーパーバイズド）は昼間でも暗い場所（夕暮れ時や夜間）でも使用できますが、ヘッドライトが**「オフ」**に設定されていると停止するか、使用できません。フルセルフドライビング（スーパーバイズド）が作動すると、**「オートハイビーム」**が自動的に有効になり（ハイビーム ヘッドライト ページ 76 を参照）、ワイパーが**「自動」**に設定されます。

このトピックでは、以下のドライビングアシスト機能を有効にして使用する方法について説明します。

注: *購入されたオプション、製造日、ソフトウェア バージョン、車両の構成、およびオートパイロットハードウェアによっては、以下の機能が装備されていない場合や、同機能が説明どおりには作動しない場合があります。 2025 年 10 月以降に注文された標準車両については、オートステアリング、オートレーンチェンジ、および ナビゲート オン オートパイロットは利用できません。*

- **トラフィックアウェア クルーズコントロール**：従来のクルーズコントロールと同様に、トラフィックアウェア クルーズコントロールは設定された走行速度を維持します。ただし、トラフィックアウェア クルーズコントロールは、先行車両からの距離を維持するために、必要に応じて Model 3 を減速または加速します。トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動している間であっても、Model 3 の操縦運転はドライバーの責任です（トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 109 を参照）。
- **オートステアリング**：オートステアリングは、トラフィックアウェア クルーズコントロールと同様に、設定速度（目の前に車両がない場合）または設定された車間距離（目の前に車両がある場合）を維持します。さらに、オートステアリングは、車線マーキング、路肩および車両や物体の存在を検出して、インテリジェントに Model 3 の走行車線を維持します（オートステアリング ページ 110 を参照）。

  注: オートステアリング は、ベータ版の機能です。

- **オートレーンチェンジ**: オートステアリングが作動しているときにウィンカーを作動させると、オートレーンチェンジによって Model 3 は、ウィンカーが示している方向に隣接する車線に移動します（オートレーンチェンジ ページ 111 を参照）。
- **ナビゲート オン オートパイロット**：ナビゲート オン オートパイロット トラフィックアウェア クルーズコントロールとオートステアリングの機能を基に構築されています。オートステアリングが作動している場合、ナビゲート オン オートパイロットを使用すると、Model 3 が車線を提案し、設定されている場合、車線を自動的に変更して他の車両を追い越し、ナビゲーション ルートをたどることができます（ナビゲート オン オートパイロット ページ 111 を参照）。

  注: ナビゲート オン オートパイロット は、ベータ版の機能です。

これらの機能は、Model 3 のカメラからの情報を使用して車線マーキング、路肩、ならびに Model 3 の周囲の他の車両および道路の使用者を検出します。

注意: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（カメラのクリーニング ページ 205 を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model 3 のタッチスクリーンにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

注意: オートパイロットの制限事項およびドライバーの介入が必要となる状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、制限と警告 ページ 135 を参照してください。

オートパイロットの設定

オートパイロット機能を使用する前に、**コントロール** > **オートパイロット**にタッチして機能をカスタマイズします。

- **設定速度**: 現在検出している速度制限と現在の走行速度のどちらでオートパイロットを作動させるかを選択します。**コントロール** > **オートパイロット**をタッチして、**速度制限**または**現在の速度**のいずれかを選択します。
- **オフセット**: **「速度制限」**を選択した場合、**「速度オフセットの設定」**にタッチしてオフセット量を指定できます。**「固定」**（すべての道路で特定量だけ巡航速度が調整されます）または**「パーセント」**（巡航速度は、その道路に対して検出された速度制限のパーセンテージとして調整されます）を選択できます。
- **オートパイロットの起動**（装備されている場合）：オートパイロットを有効にする方法を選択します。**「シングルクリック」**に設定している場合、右スクロール ボタンを 1 回押すと、トラフィックアウェア クルーズコントロールとオートステアリングの両方が作動します。**「ダブルクリック」**に設定している場合、オートステアリングを作動させるためには右スクロール ボタンを 2 回押す必要があります。

  注: トリム、構成、製造時期によっては、車両に**オートパイロット起動**が装備されていない場合があります。

  注: オートパイロットの起動 トラフィックアウェア クルーズコントロールをオートステアリングから独立して使用する場合は、**「ダブルクリック」**に設定する必要があります。

- **青信号チャイム**: カナダおよび米国: オンにしておくと、赤信号で待っていて青信号になるとチャイムが鳴ります。トラフィックアウェア クルーズコントロールを積極的に使用せず、前方に車両がある状態で赤信号待ちをしているときには、先行車両が発進するとチャイムが鳴ります。

トラフィックアウェア クルーズコントロール

トラフィックアウェア クルーズコントロールを有効にするには、**コントロール** > **オートパイロット** > **トラフィックアウェア クルーズコントロール**をタッチします。または、オートステアリングを選択し、**オートパイロットの起動**（装備されている場合）が**ダブルクリック**に設定されていることを確認してください。

注: トラフィックアウェア クルーズコントロール は、オートステアリングが有効で、**オートパイロットの起動**（装備されている場合）が **シングルクリック**に設定されている場合は利用できません。 トラフィックアウェア クルーズコントロール は、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）が有効の時も利用できません（フルセルフドライビング（スーパーバイズド） ページ 124 を参照）。

トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用するには：

1. 右スクロール ボタンを押し、アクセル ペダルをゆるめると、トラフィックアウェア クルーズコントロールで巡航速度が維持されます。トラフィックアウェア クルーズコントロールが有効になったことを示すチャイムが鳴ります。
2. 設定速度を変更するには、右のスクロール ホイールを上（加速）または下（減速）に回します。いつでもアクセル ペダルを踏んで、設定された巡航速度を一時的に無効にすることができます。詳細な情報は、オートパイロットの使用中 ページ 113 を参照してください。
3. トラフィックアウェア クルーズコントロールを解除するには、右スクロールボタンを押すか、またはブレーキペダルを踏みます。詳細な情報は、オートパイロットの解除 ページ 113 を参照してください。

トラフィックアウェア クルーズコントロールが利用可能であっても有効となっていない場合、タッチスクリーンに灰色で巡航速度が表示されます。表示されている数値は、トラフィックアウェア クルーズコントロールを有効にしたときに設定される速度を表しています。

トラフィックアウェア クルーズコントロールを有効にして、設定速度で巡航している場合、速度は青色の文字で強調表示されます。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロール は、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。トラフィックアウェア クルーズコントロールに頼って Model 3 を十分に減速させようとしないでください。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。詳細な情報は、制限と警告 ページ 135 を参照してください。

オートステアリング

注: *販売地域、車両構成、購入したオプション、オートパイロットハードウェア、ソフトウェア バージョンによっては、車両にオートステアリングが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。*

オートステアリングを有効にするには：

1. **コントロール** > **オートパイロット** > **オートステアリング（ベータ版）** をタッチします。
2. ポップアップウィンドウをよく読んで理解したら、**「はい」** をタッチします。

オートステアリングを使用するには：

1. 右スクロール ボタンを押します。

   注: オートパイロットの起動（装備されている場合）の設定が **「ダブルクリック」**, になっている場合、右スクロール ボタンを 2 回押してオートステアリングを作動させる必要があります（オートパイロットの設定 ページ 109 を参照）。

2. 設定速度を変更するには、右のスクロール ホイールを上（加速）または下（減速）に回します。詳細な情報は、オートパイロットの使用中 ページ 113 を参照してください。
3. オートステアリングを解除するには、右スクロールボタンを押すか、またはブレーキペダルを踏みます。詳細な情報は、オートパイロットの解除 ページ 113 を参照してください。

オートステアリングを作動させると、Model 3 では、作動していることを確認するためにチャイムが鳴り、道路に注意を払い、いつでも運転を引き継ぐ準備をしておくように注意喚起するメッセージが、タッチスクリーンに短い間表示されます。

オートステアリングが利用可能である（ただし、Model 3 を能動的に操舵してはいない）ことを示すため、タッチスクリーンの上隅のドライビング ギアの隣に灰色のオートステアリングアイコンが表示されます。オートステアリングが一時的に利用できない状況では、オートステアリング アイコンが消えます。（たとえば、運転速度がオートステアリングの動作に必要な速度内にない場合などです。）

オートステアリングが有効であることを示すために、タッチスクリーンにオートステアリング アイコンが青色で表示されます。

オートステアリングが車線マーキングを検出できる場合、走行車線の端がタッチスクリーン上に青色で表示されます。

オートステアリングが有効のときはいつでもトラフィックアウェア クルーズコントロールも有効になります。

オートステアリングが起動していて制限速度を検出できない場合、巡航速度はオートステアリングによって 45 mph（70 km/h）に制限されます。手動で加速して制限速度を超えることはできますが、アクセル ペダルを踏んでいる間は、障害物を検知しても Model 3 はブレーキをかけません。 オートステアリング は、アクセルペダルから足を離すとこの制限速度まで減速させます。その道路から離れるか、またはハンドルを使用してオートステアリングをオフにすると、必要に応じて再度、設定速度を上げることができます。

警告: オートステアリング はハンズオンのアシスタンス機能です。常にハンドルの上に手を置き、道路状況や周囲の交通状況に注意し、常にすぐに行動できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。オートステアリングの制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、制限と警告 ページ 135 を参照してください。

オートレーンチェンジ

注: *販売地域、車両構成、購入したオプション、オートパイロットハードウェア、ソフトウェア バージョンによっては、車両にオートレーンチェンジが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。*

オートステアリング作動中にウィンカーを作動させると、次の条件が満たされている場合、Model 3 はウィンカーが示す方向にある隣の車線に移動します。

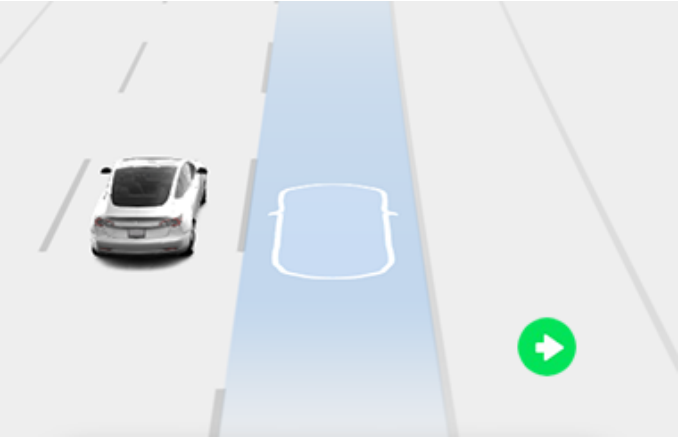
- ウィンカーを作動させている。
- この車線区分線は車線変更が行えることを示しています。
- 車線変更の途中で、Model 3 は目標車線の外側車線マーカーを検出する必要があります。車線区分線を検出できない場合は、車線変更は中止され、Model 3 は元の車線に戻ります。
- カメラの視野が遮られていない。
- Model 3 死角にある車両、または目標車線の中心まで車両や障害物を検出しません。車両またはその他の障害物が目標の車線に検知された場合、その障害物はタッチスクリーンの視覚化において赤色で表示され、車線変更が安全になるまで、Model 3 は車線変更を完了しません。

警告: オートパイロットは、隣接する車線の車両や障害物を検知するように設計されていますが、常に目視点検を実施して、目標の車線に安全かつ適切に移動できることを確認する責任がドライバーにはあります。データが不十分なためにオートパイロットが車線変更できない場合、タッチスクリーンに一連の警告が表示されます。そのため、オートレーンチェンジの使用中は、常にタッチスクリーンに注意を払い、Model 3 のハンドルを手動で制御できるように準備しておく必要があります。

オートパイロットが車線変更を実行する最小速度は、地域、隣接する車線の速度、およびその他の要因によって異なる場合があります。いつでも手動でハンドルを操作して、必要に応じて車線変更をする準備をしておいてください。自動車線変更を実行中に、追い越し加速が作動し Model 3 が前方の車両に近づくように加速します（追い越し加速 ページ 115 を参照）。

ウィンカーを作動させると、オートパイロットによって Model 3 は一度に 1 車線ずつ移動します。さらに車線を変更するためには、最初の車線変更が完了した後にウィンカーを再度作動させる必要があります。

Model 3 で車線変更を行う際は、前方の運転経路と周囲の状況を注視することで、自動車線変更機能の動作を監視することが重要です。いつでもハンドルを引き継げるように準備しておいてください。隣の車線に入ると、Model 3 が進入した車線の場所がタッチスクリーンに表示されます。



ナビゲート オン オートパイロット

注: *販売地域、車両構成、購入したオプション、オートパイロットハードウェア、ソフトウェア バージョンによっては、車両にナビゲート オン オートパイロットが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。*

ナビゲート オン オートパイロットを有効にするには、**コントロール** > **オートパイロット** > **ナビゲート オン オートパイロット（ベータ版）** をタッチします。そうしたら、ナビゲート オン オートパイロットを希望に合わせて動作するよう**カスタマイズナビゲート オン オートパイロット**をタッチします。

- **毎回運転開始時に有効にする**: ナビを実行する時にナビゲート オン オートパイロットを自動的に有効にするかどうか選択します。有効にすると、運転を開始するたびに「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンが経路案内リストに表示されます。
- **速度に応じた車線変更**: ナビゲート オン オートパイロットは、経路に応じた車線変更と速度に応じた車線変更の両方を実行できるように設計されています。速度に応じた車線変更はオプションです。この設定を使用して、速度に応じた車線変更を無効にすることや、設定した巡航速度を達成するために、ナビゲート オン オートパイロットでの車線変更をどの程度積極的に行うか（**「マイルド」**、**「平均値」**、または**「マッドマックス」**）を指定することができます。
- **走行車線へ戻る**: 目的地へのナビゲーション時に、ナビゲート オン オートパイロットで追い越し車線からの離脱を誘導するかどうかを選択します。ルートに基づいた車線変更や速度に基づいた車線変更に加えて、ナビゲート オン オートパイロットでは、他の車両を追い越していない時、低速の車線に留まるように追い越し車線からの車線変更を求めるリマインダーが流れます。これを無効にするには**「いいえ」**を選択し、Model 3 の追い越し車線での走行を維持します（ナビゲーション ルートに従う必要がある場合を除く）。
- **車線変更の確認が必要です**: （装備している場合）デフォルトでは、ナビゲート オン オートパイロットで車線変更を進める前に、該当する方向のウィンカーを作動させることによる確定が必要になります。3 秒以内に車線変更の確認を行わない場合、ナビゲート オン オートパイロットで車線変更の確定が必要であることを知らせるチャイムが鳴ります。
- **車線変更通知**: 車線変更の通知の有無または通知方法について指定することができます（**「オフ」**、**「チャイム」**、**「バイブレーション」**、または**「両方」**）。

「運転開始時に有効にする」がオンになっているとき、次の場合にナビゲート オン オートパイロットは自動的に作動します。

- オートステアリング は有効です。
- ドライバーが目的地に向かって移動しています。
- アクセスが管理された高速道路を走行しています。

有効になると、ナビゲーション ルートが有効になっていて、ルートに少なくとも 1 つの進入制限されている道路が含まれる場合、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンが常に地図の経路案内リストの上部に表示されます。

「運転開始時に有効にする」がオフになっている場合、経路案内の上にある**「ナビゲート オン オートパイロット」**ボタンにタッチすると、有効になります。「ナビゲート オン オートパイロット」を選択すると、オートステアリングが作動するたびに作動します。

目的地に移動中に、「ナビゲート オン オートパイロット」が使用可能ではあるがアクティブではない場合、「ナビゲート オン オートパイロット」アイコンが経路案内リストに表示されます。

「ナビゲート オン オートパイロット」が有効な場合、アイコンは青色になります。**「運転開始時に有効にする」**がオンになっている場合、ナビゲーションを開始する際に「ナビゲート オン オートパイロット」アイコンが選択されます。アイコンをタッチするとナビゲート オン オートパイロットがキャンセルされ、オートステアリングに戻ります。

「ナビゲート オン オートパイロット」が作動しているとき、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンは青色になり、走行車線は、Model 3 の前にある 1 本の青い線として、タッチスクリーンに表示されます。

経路案内には、ナビゲート オン オートパイロットによって誘導される地点（高速道路出口など）の隣に、オートステアリングアイコンが表示されます。

ナビゲート オン オートパイロットが作動すると、Model 3 は速度に応じた車線変更と経路に応じた車線変更の両方を自動的に行います。

- **速度に応じた車線変更:** ナビゲート オン オートパイロットでは車線を変更することで、目的地までの走行時間を短縮します。例えば、Model 3 が設定した巡航速度よりも低い速度で走行する車両の後ろを走行している場合、ナビゲート オン オートパイロットによって、追い越し車線に移動して追い越します。速度に応じた車線変更はオプションです。
- **経路に応じた車線変更:** ナビゲート オン オートパイロットは車線を変更して目的地までドライバーを誘導します。たとえば、Model 3 がナビゲーション ルートで指定している出口に近づくと、ナビゲート オン オートパイロットによって出口車線に移動します。

ルートベースの車線変更推奨を無視する（高速道路の右側の出口車線に向かっているが左車線を運転している場合など）と、ナビゲート オン オートパイロットでは出口へ誘導することができなくなるため、目的地に向かって再度ルート設定を行います。

注: 経路案内および高速道路のインターチェンジでの進行方向を決定する場合、ナビゲート オン オートパイロットでは高乗車率（HOV）車線を使用するかしないかを検討します。このため、現在の環境に**「HOV 車線の使用」**設定が適していることを確認します（地図とナビゲーション ページ 167 を参照）。この設定がオフの場合、時間帯がいつであっても、ナビゲート オン オートパイロットは HOV 車線を利用しません。この設定がオンの場合、ナビゲート オン オートパイロットは、該当する場合に、HOV 車線を利用します。

注意: ナビゲート オン オートパイロット では、ナビゲーション ルートによって退出や車線変更が決められている場合でも、オフランプでの退出や車線変更を試みない可能性があります。オフランプに向けて手動でハンドルを切れるよう、オフランプまたはインターチェンジから出るために必要な車線変更を行えるように、常に警戒を怠らずに、準備をしておいてください。

ナビゲート オン オートパイロット は、走行中の道路の種類に応じて有効または無効に切り替わります。ナビゲート オン オートパイロットが有効で、経路案内に従ってオフランプまたはインターチェンジに近づくと、該当するウィンカーが作動して、オートステアリングにより Model 3 がオフランプまたはインターチェンジに誘導されます。

アクセス管理されている高速道路から降りると、ナビゲート オン オートパイロットがオートステアリングに戻ります。チャイムが鳴り、タッチスクリーンに、走行車線が（Model 3 の前にある青色の線に代わって）青色の複数の線で表示されます。ナビゲート オン オートパイロットが無効化されても、オートステアリングは有効のままです。常に適切に対応できるように準備してください。

注: ナビゲート オン オートパイロット はハンズフリーの機能ではありません。常にハンドルの上に手を置き、道路状況や周囲の交通状況に注意し、常にすぐに行動できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。ナビゲート オン オートパイロットの制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、制限と警告 ページ 135 を参照してください。

オートパイロットの解除

トラフィックアウェア クルーズコントロール 以下の時にキャンセルされます：

- ハンドルの右スクロールボタンを押した場合。
- ブレーキ ペダルを押します。
- 走行速度が 85 mph (140 km/h)を超えた場合。
- リバース、パーキング、ニュートラルにシフトした場合。
- ドアが開いた場合。
- 自動緊急ブレーキが作動したとき（衝突回避アシスト ページ 142 参照）。
- 運転者のシートベルトが解除されるか、または運転者が座席から離れたとき。

トラフィックアウェア クルーズコントロールがキャンセルされたとき、 タッチスクリーン上の巡航速度アイコンが灰色になり、トラフィックアウェア クルーズコントロールが無効になっていることが示されます。

オートステアリング は、上記のいずれかの操作が実行されるとキャンセルされます。さらに、オートステアリングは次の場合にキャンセルされます。

- 85 mph（140 km/h）を超えている。
- あなたが手動でステアリングを引き継ぎます。

  警告: オートパイロットの起動（装備されている場合）が**「ダブルクリック」**に設定されている場合に、ドライバーが自ら操舵をしてオートステアリングがキャンセルされても、トラフィックアウェア クルーズコントロールは有効なままになります。**オートパイロットの起動**が**「シングルクリック」**に設定されている場合に、ドライバーが自ら操舵をして、オートステアリングがキャンセルされると、トラフィックアウェア クルーズコントロールもキャンセルされます。

- ドライバーがタッチスクリーンに表示される、ハンドルに手を置いたままにするように指示する反復的なリマインダーおよび後続のメッセージに対応しない。

オートステアリングをキャンセルすると、チャイムが鳴り、オートステアリング アイコンが灰色になって、オートステアリングが無効になっていることを示すか、アイコンが完全に消えて現在利用できないことを示します。

ナビゲート オン オートパイロット オートステアリングがキャンセルされると上記のようにキャンセルされます。さらに、ナビゲート オン オートパイロットは次の場合にキャンセルされます。

- 地図の経路案内リストで、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンにタッチします。この場合、オートステアリングはまだアクティブです。
- アクセス管理されている高速道路から離れます。これが起きたときは、オートステアリングはアクティブのままです。

ナビゲート オン オートパイロットでナビゲーションがキャンセルされてもオートステアリングがアクティブのままの場合、チャイムが鳴り、運転レーンの 1 本の青色の線が、車線の両側にある 2 本の青い線に視覚化されます。

トラフィックアウェア クルーズコントロールまたはオートステアリングをキャンセルした場合、Model 3 は慣性走行しません。代わりに、トラフィックアウェア クルーズコントロールが動作していないときにアクセル ペダルから足を放した場合と同様、回生ブレーキによって Model 3 が減速します（回生ブレーキ ページ 81 を参照）。

オートパイロットの使用中

トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動していて、オートパイロットが設定速度を維持している場合、タッチスクリーンに青色のテキストで速度が強調表示されます。

オートステアリングが有効な場合、ハンドルアイコンは青色で表示され、車線マーキングはその視覚化において青色で強調表示されます。

オートステアリングが車線マーカーを検知できない場合、先行車両を元に車線を決定します。オートステアリングは通常、Model 3 に走行車線の中央の位置を維持させようとします。ただし、オートステアリングが車線の中心から外れた走行経路に従う場合があります（たとえばガードレールが検出された場合）。

設定速度の変更

オートパイロットが有効な場合、前方に他の車両が検出されていないのであれば、Model 3 は設定巡航速度を維持します。車両の後ろで巡航する場合、Model 3 は必要に応じて加速および減速して、選択した車間距離を維持します（「車間距離の調整」ページ 114 を参照）。

アクセルペダルを踏み込むことで、いつでも手動で加速することができますが、ペダルをゆるめると、Model 3 は設定速度での巡航を再開します。

Model 3 カーブに進入または退出する際も巡航速度を調整します。

先行車両からの選択した距離を維持するため、Model 3 が積極的に減速すると、ブレーキランプが点灯します。ブレーキ ペダルのわずかな動きに気付くことがあります。ただし、Model 3 が加速をしているときは、アクセル ペダルは動きません。

設定速度の変更

右のスクロール ホイールを上（加速）または下（減速）に回して、設定速度を変更します。

クルーズ速度を現在の速度制限（指定したオフセットを含む）に変更するには、タッチスクリーンの速度制限標識を押します。

Model 3 が新たな設定速度に達するまで数秒かかる場合があります。

車間距離の調整

Model 3 と前方を走行する車両との車間距離を調整するには、ハンドルの右スクロール ボタンを左または右に押します。

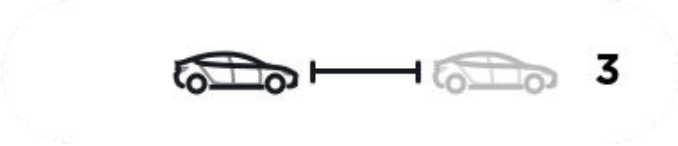
注: フルセルフドライビング（スーパーバイズド）が有効な場合、ハンドルの右スクロール ボタンを左または右に押すと、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）のプロフィールが変わります（フルセルフドライビング（スーパーバイズド） ページ 124 を参照）。

最も短い追従距離は 2 です。

注: *ステアリング ハンドルのデザインは異なる場合がありますが、機能に変わりはありません。*

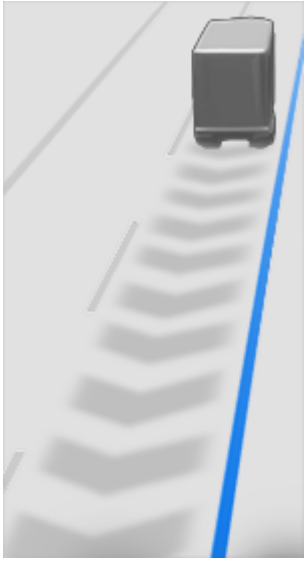
各設定は、Model 3 が現在の位置から先行車両のリアバンパーの位置に到達するまでにかかる時間に基づいた距離に相当します。 オートパイロット は、再度変更するまで設定を保持します。

車間距離を調整すると、タッチスクリーンに現在の設定が表示されます。



停止とスローダウン

隣接する車線を走行する車両より著しく速い速度で走行しているとき、Model 3 は自動的に走行速度を減速します。これは、交通量が多い場合や他の車両が頻繁に車線変更するような状況などにとても効果的です。Model 3 が他の車両が非常に低速であることを検知すると、タッチスクリーンには隣の車線が矢印でハイライト表示され、検知された車両は灰色に表示されて、Model 3 は適宜減速します。一時的にこの機能を無効にするためには、アクセル ペダルを踏み込みます。



前方に他の車両がある場合、Model 3 が完全停車したとしても、オートパイロットは低速において有効となったままとなります。たとえば、高速道路での著しい渋滞時に、Model 3 が完全またはほぼ完全な停止まで減速しても、オートパイロットは有効なままです。交通の流れがより速くなりだすと、オートパイロットによって再び設定速度まで加速します。

Model 3 が完全に停止している場合、オートパイロットがホールド状態になります。その場合、アクセル ペダルを短い間踏み込むと、巡航を再開します。

ホールド状態が有効な場合、タッチスクリーンにはホールドアイコンとメッセージが表示され、クルーズコントロールを再開する必要があることを示します。

Model 3 は、以下の状況でオートパイロットがアクティブな場合、ホールド状態になります。

- Model 3 が 5 分間停車していた場合。

- Model 3 が歩行者を検出した場合（歩行者が検出されなくなるとホールド状態は解除されます）。
- Model 3 の前方にいた車両が突然視界からいなくなった場合。
- Model 3 の前方に障害物を検出した場合。

高速道路出口またはその付近で巡航する

アクセス管理された道路（高速道路や自動車専用道路など）の出口付近を巡航しているときに、オフランプに向かってウィンカーを入れると、オートパイロットはドライバーが出口から退出しようとしているものとみなして Model 3 を減速させます。オフランプに向かって走行していない場合、オートパイロットは設定速度での巡航を再開します。

右側通行の地域の場合は、最も右側の車線を走行している時に出口の 164 ft（50 m）手前で右ウィンカーを出したときに限ってこれが行われます。同様に左側通行の地域の場合は、最も左側の車線を走行している時に出口の 164 ft（50 m）手前で右ウィンカーを出したときにこれが行われます。

注:「ナビゲート オン オートパイロット」が有効な場合、Model 3 は経路ベースの車線変更を実行して出口車線に入り、必要に応じてオフランプを通ってナビゲーション ルートをたどります。

高速道路のインターチェンジまたはオフランプで有効になっている場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールは、ドライバーが設定した速度を 5 mph（5 km）刻みで、最も遅い速度としては 25 mph（40 km）まで減速して、その場所を走行した他の Tesla 車両から報告された速度に一致させるように試みます。これを無効にして設定速度での巡航を継続するには、アクセル ペダルをすこしだけ踏み込みます。インターチェンジまたはオフランプを走行する間、（その速度を無効にするか、オートパイロット をキャンセルしない限り）新しい設定速度が保たれます。インターチェンジまたはオフランプを通過した後、設定速度は元の速度に戻るか、そのロケーションの必要性に応じて変更されます。例えば、他の高速道路に合流する場合、設定した巡航速度はインターチェンジに差し掛かる前の設定速度に戻ります。

警告: 場合によっては（データが不足している場合など）、トラフィックアウェア クルーズコントロールは高速道路のインターチェンジまたはオフランプの走行時に設定された速度を自動的に減速しない場合があります。適切な走行速度を決定するために、トラフィックアウェア クルーズコントロールのみに頼らないでください。Tesla では、道路状況に合った速度で、制限速度以内で安全に走行することが推奨されます。

進入制限のある道路（高速道路や自動車専用道路など）に進入するとき、オートパイロットは、高速道路の速度制限にユーザーが指定したオフセットを反映した走行速度に自動的に調整します。「ナビゲート オン オートパイロット」が作動している場合、アクセス管理された高速道路を出ると解除されます（オートパイロットの解除 ページ 113 を参照）。この場合、オートステアリングはアクティブのままです。

追い越し加速

ウィンカーを一時的に作動させ、前方車両に向かって Model 3 を加速します。以下の場合、一瞬だけウィンカー に保持すると、アクセル ペダルを踏まなくても、設定速度まですばやく加速することができます。

- トラフィックアウェア クルーズコントロール が作動中で前方に車両を検出している場合。
- 追い越し車線上に障害物または車両が検出されていない場合。
- Model 3 が、設定速度を下回り、かつ 72 km/ h を上回る速度で走行している場合。

注: オートステアリングが作動しているときに、ウィンカーを完全に作動させると、Model 3 は自動的に車線を変更します（オートレーンチェンジ ページ 111 を参照）。

Model 3 は、車線変更に時間がかかりすぎている場合、または Model 3 が先行車両に近すぎる場合、設定巡航速度に達したときに、加速を停止します。 Model 3 は、ウィンカーを解除すると、加速も停止します。

赤信号と一時停止標識の警告

オートパイロットの使用中に、赤信号や一時停止標識を通過しそうな事象を検出した場合、Model 3 はタッチスクリーン上に警告を表示し、チャイム音を鳴らします。これが表示されたら、**直ちに是正措置を取ってください。**

2、3 秒後、またはドライバーがブレーキ ペダルを踏んだ時のいずれか早い時点で、視覚および音声警告はキャンセルされます。

赤信号および一時停止標識の警告これにより、赤信号、一時停止標識、路面標示などで Model 3 は減速や停止することはありません。信号機と一時停止のコントロールの場合は、この機能を有効にすることで信号機や一時停止標識で Model 3 が自動的に停止します（信号機と一時停止のコントロール ページ 117 を参照）。

緊急車両

お客様の市場地域で利用可能な場合、高速道路で夜間オートパイロットを使用しているときに緊急車両からのライトが検出されると、Model 3 は自動的に車速を下げます。この際、タッチスクリーンには減速を知らせるメッセージが表示されます。また、チャイムが鳴り、ハンドルに手に置くようにリマインダーが表示されます。検出したライトが通過するか、見えなくなると、オートパイロットは巡航速度を再開します。または、アクセルを踏んで巡航速度を再開することもできます。

緊急車両の有無を判断するのにオートパイロット機能に依存しないでください。 Model 3 緊急車両からのライトを検出できるとは限りません。進行方向に注意を払い、常に即座に反応できるよう準備をしてください。

今すぐ運転を引き継いでください

オートパイロットが Model 3 のステアリング操作を制御できない場合は、警告のチャイムが鳴り、タッチスクリーンに次のようなメッセージが表示されます。

今すぐ運転を引き継いでください

このメッセージに気づいたら、**今すぐ運転を引き継いでください**。

ドライバーの注意力

オートパイロット 機能の使用時は、ドライバーは十分な注意を払う必要があります。**オートパイロットが作動している間は、常にハンドルに手を置く必要があります。また、周囲、道路、その他の道路利用者を監視する必要があります。**

警告: ドライバーの注意力を阻害することを意図したデバイスの使用は、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）の使用条件に違反するため、その車両における機能が永久に無効になり、今後の機能の使用が禁止される可能性があります。

オートパイロット では、ハンドルにわずかな力を加えるようにドライバーに促すメッセージが一定の間隔で表示されます:

ハンドルを少し回してください

オートパイロット は、ハンドルを回したときにわずかな抵抗を認識すること、またはドライバーがハンドルを（操舵をとって代わるために十分なほどの力を掛けることなく）手で回したことを認識することで、ドライバーの手を検知します。 オートパイロット は、方向指示器やオートパイロット レバーの操作、ハンドルのボタンやスクロール ホイールの使用などでもドライバーの手を検知したと判断します。Model 3 がハンドルのわずかな回転力を検出しない場合、タッチスクリーンが点滅し、最終的にチャイムが繰り返し鳴ります。オートパイロットが作動している間は、ハンドヘルド デバイスを使用しないでください。

ハンドルに若干の力を掛けるか、注意をすることを促すメッセージを繰り返し無視すると、残りの運転でオートパイロットは無効となり、以下に示すようにドライバーが自身で運転することを求めるメッセージが表示されます。手動で運転を再開しないと、オートパイロットは連続してチャイム音を鳴らし続け、警告灯を点滅し、速度を落として車両を完全に停止させます。

オートパイロット は現在の走行では利用不可です。 オートパイロット 強制解除 - 注意力警告の無視のため。

オートパイロットの一時停止

不適切な使用が検出された場合、オートパイロット機能の使用は一時停止されます。

「強制解除」が 5 回オートパイロットに達すると、オートステアリングおよびフルセルフドライビング（スーパーバイズド）の使用（装備されている場合）は 1 週間停止されます。強制解除とは、ドライバーが不注意のため音声および表示による警告を数回受けた後、現在の走行サイクルでそれ以降、オートパイロットシステムが解除されることを指します。

オートパイロットへのアクセスが一時停止されるまでの解除の残数は、**コントロール** > **オートパイロット**にタッチして確認できます。

強制解除は、再度強制解除を受けない限り、半週（3.5 日間）経過後に免除されます。

注: オートステアリング（装備されている場合）およびフルセルフドライビング（スーパーバイズド）へのアクセスが一時停止されると、オートパーキングにもアクセスできなくなります。しかし、トラフィックアウェア クルーズコントロールは引き続き使用でき、アクティブセーフティ 機能はすべて 有効のままです。

ドライバーの介入が必要な場合や、安全な走行を続けるためにすばやく運転を引き継ぐ必要がある場合があります。ドライバー側からの解除は、ドライバーの想定される操作であり、不正利用としてはカウントされません。

注: *販売地域、車両構成、購入したオプション、オートパイロットハードウェア、ソフトウェア バージョンによっては、車両に信号機と一時停止のコントロールが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。 2025 年 10 月以降に注文された標準車両については、信号機と一時停止のコントロールは利用できません。*

注: ***信号機と一時停止のコントロール はベータ版の機能で、Tesla の車両が頻繁に走行している道路で最もうまく機能します。 信号機と一時停止のコントロール は、青信号を含むすべての信号で停止を試み、青信号でも停止することがあります。***

信号機と一時停止のコントロール は、信号機と一時停止標識を認識して反応するように設計されており、トラフィックアウェア クルーズコントロールやオートステアリングの使用時には Model 3 を減速し、停止させます。この機能では、GPS データだけでなく車両の前方カメラを利用して、一時停止標識と一部の路面標示の他、緑色、点滅黄色、消灯など検出されたすべての信号機で車両を減速します。Model 3 が交差点に近付くと、タッチスクリーンに、減速を指示する通知が表示されます。続けるか確認する必要があり、そうしなかった場合タッチスクリーンのドライビング ディスプレイに表示された赤色の線で Model 3 は停止します。

警告: 交差点や路面表示に従って信号機と一時停止のコントロールが停止または通過するタイミングおよび位置を、**仮定したり予測したりしないでください**。ドライバーの目線から、信号機と一時停止のコントロールがいつも同じように動作するわけではありません。常に道路に注意を払い、ただちに対処できるように備えてください。交差点で停止するか通過するかを決めるのはドライバーの責任です。交差点で停止する、あるいはそのまま通過することが安全で適切であるとの判断を、信号機と一時停止のコントロールに委ねないでください。

ご利用の前に

信号機と一時停止のコントロールをご利用の前に、ドライバーは次のことを行う必要があります。

- 前方カメラの視界が遮られておらず（を参照）、キャリブレーション済（走行中のカメラキャリブレーション ページ 19 を参照）であることを確認してください。 信号機と一時停止のコントロール における信号機、一時停止標識、または路面標示の検出は、カメラの能力に依存します。
- 地図の最新バージョンが Model 3 にダウンロードされていることを確認してください。信号機と一時停止のコントロールは基本的に、車両のカメラからの視覚データを利用しますが、最新の地図データを使用することで一層の精度が得られます。現在ダウンロードされている地図のバージョンを確認するには、**「コントロール」** > **「ソフトウェア」**の順にタッチします。更新された地図を受け取るには Wi-Fi ネットワークに接続している必要があります（地図のアップデート ページ 173 参照）。
- 機能の有効化。車をパーキングに入れた状態で、**コントロール** > **オートパイロット**をタッチし、次に**信号機と一時停止のコントロール**をタッチします。有効にすると、信号機と一時停止のコントロールはトラフィックアウェア クルーズコントロールまたはオートステアリングがアクティブなときにいつでも動作します。

動作の仕組み

信号機と一時停止のコントロールが有効で、トラフィックアウェア クルーズコントロール、オートステアリング、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）、を利用している場合、タッチスクリーンにポップアップメッセージが表示され、前方に信号機、一時停止標識、または路面標示が検出されたことを伝えます。停止位置に近づくと、**青信号の交差点であっても、**Model 3 は減速して、Model 3 の停止予定位置が赤い線で表示されます。交差点を通過するには—たとえ信号が青の場合でも—アクセル ペダルを短く踏んで車両に進む許可を与える必要があります。そのまま進むことを確定すると、赤い停止線がグレーに変わり、Model 3 は交差点に進入し、設定した巡航速度に戻ります。

注: 前方の信号機が青のときに前の車両が交差点を通過中であることを Model 3 が検出すると、現在の走行車線が右左折専用車線でなくてもドライバーの手がハンドルにかけていることを車両が検知した場合、Model 3 はドライバーの確定操作がなくてもそのまま交差点を通過します。

注: アクセル ペダルを短く踏んで通過を承認した後でも、交差点進入直前に信号機が変わった場合（青から黄色、または黄色から赤）は、Model 3 がそのまま交差点に進入するのが不適切であると判断することがあります。その場合、Model 3 は停止動作に入るため、それを無視して前進させる場合は、アクセルを踏む必要があります。車両が適切かつ安全に停止あるいは加速するようにさせることは、常に運転者の責任です。

警告: 信号機と一時停止のコントロールにより、Model 3 フルセルフドライビング（スーパーバイズド）が作動していない限り、は交差点を曲がって通過しません。Model 3 は、右左折専用車線上では、赤色停止線で停止します。進むには、アクセル ペダルを短く踏みます—Model 3 は交差点を*直進*するため（たとえ右左折専用車線であっても）、交差点では手動で Model 3 を操舵する必要があります（オートステアリングはキャンセルされます）。

信号機と一時停止のコントロール は、以下の条件が満たされた場合にのみ説明どおりに動作するように設計されています。

- 次のオートパイロット機能のいずれかが有効になっています：
  - トラフィックアウェア クルーズコントロール
  - オートステアリング
  - フルセルフドライビング（スーパーバイズド）
- 前方の信号機、一時停止標識、路面標示をカメラが検出できる（カメラの視界が遮られておらず、信号機、一時停止標識、路面標示が見通せる位置にある等）。
- Model 3 のタッチスクリーン先方の信号機を「強調」フォーマットで表示している。 Model 3 はタッチスクリーンに色落ち表示されている信号機を認識していません。信号機がカメラの真正面にない場合（カメラの斜め前や隣の車線等）、タッチスクリーンはそれを色落ち表示し、Model 3 はそのための減速や停止を行いません。

警告: タッチスクリーンが前方の交差点を赤い停止線で表示していない場合、Model 3 は減速や停止を行いません。前方の交差点に注意し、交通状況を監視して車両がいつ停止すべきかを判断し、必要に応じて適切な行動をとるのは、運転者の責任です。

警告: 交差点で停止するかあるいはそのまま進むかの判断を、信号機と一時停止のコントロールに頼らないようにしてください。道路、前方の交差点、交通状況、横断歩道、歩行者に気を配って、慎重に運転してください。交差点で停止するか、そのまま進むかの判断は、常に運転者の責任です。すぐに対応できるように準備しておいてください。それを怠ると怪我や死亡につながる恐れがあります。

警告: 状況によっては、信号機と一時停止のコントロールが、信号機や一時停止標識を誤って認識して Model 3 が想定外の減速をすることがあります。いつでもすぐに操作できるように準備しておいてください。

警告: 信号の状態に関係なく、交差点を通過したい場合は、アクセル ペダルを短く踏んで確定する必要があります。確認を行わない場合、Model 3 は停止が適切ではない場合であっても、タッチスクリーンに表示されている赤い停止線で停止します。青信号で停止すると周りの運転者を混乱させるだけでなく、衝突や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。そのため、前方の交差点に気を配り、周囲の状況に応じて手動でブレーキやアクセル操作ができるように備えてください。

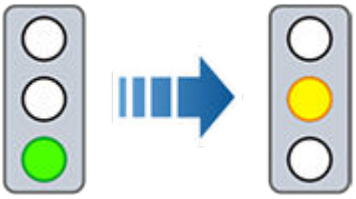
警告: 信号機や路面標示（特に複雑な交差点や、信号機や標識の一部が隠れているような交差点等）の自分の認識能力を過信しないでください。すなわち、Model 3 もそれを認識して適切な対応をするだろうと思い込まないでください。

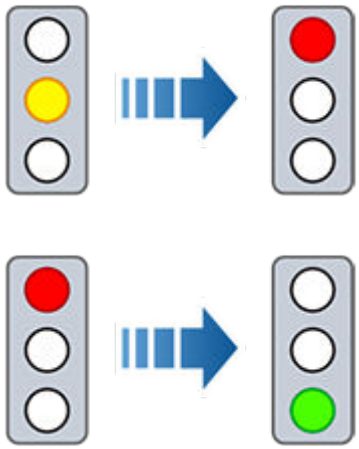
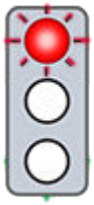
警告: 最新のマップデータでさえ、すべての信号機や一時停止標識が含まれているわけではありません。したがって、この信号機と一時停止のコントロールでは、信号機、一時停止標識、路面標示などを検出するためにカメラの能力が重要な役割を果たします。そのため、カメラの視野が塞がれた（樹木や大型車両、あるいは急勾配の坂や、急カーブにある大きな物体などで） 交差点では Model 3 が見落とすことがあります。

警告: 信号機と一時停止のコントロールは、注意深い運転や適切な判断に取って代わるものではありません。

信号

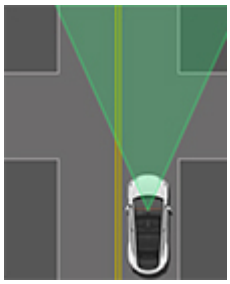
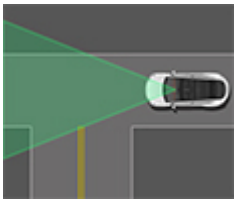
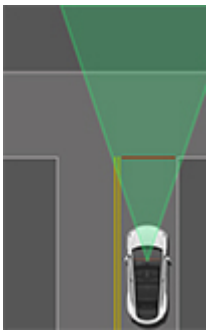
オートステアリングまたはトラフィックアウェア クルーズコントロールが作動し、信号機と一時停止のコントロールが有効になっている状態で運転している場合、Model 3 は信号機で制御される交差点に近づくと次のように反応するように設計されています。

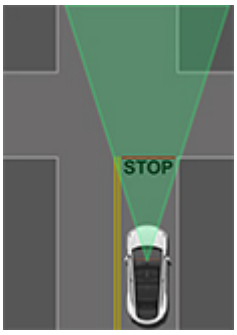
信号機の種類	車両の意図した応答
	青色信号機、または現在消灯している信号機（点灯していない）で、Model 3 は減速します。 交差点を通過しつつある車両に続いて走行している場合、タッチスクリーンには緑色の停止線が表示され、ハンドルに手をかけていれば、この場合も Model 3 はそのまま走行を続けます。 前方に車両がない場合、タッチスクリーンに赤色の停止線が表示されます。アクセル ペダルを短く踏んで、交差点を通過しすることを確定する必要があります。この確定操作をしないと、Model 3 はタッチスクリーンに表示されている赤色の停止線で停止します。 **注:** Model 3 交差点を抜けるときは、前方車両の走行速度を考慮しながら、すみやかに設定巡航速度に復帰します。
	Model 3 減速し、タッチスクリーンに表示される赤い停止線で完全に停止します。交差点を通過したい場合（例えば、信号が再び青になった場合、または Model 3 が完全に停止した場合など）、アクセル ペダルを短く踏む必要があります。
	Model 3 減速し、タッチスクリーンに表示される赤い停止線で完全に停止します。交差点を通過したい場合（例えば、信号が再び青になった場合）、アクセル ペダルを短く踏む必要があります。 **注:** 交差点を通過する指示を与えた*後に*信号機が変わった場合（青信号が黄色に変わる等）、Model 3 が交差点に入る前に安全に停止できると判断した場合は、Model 3 は通過せずに停止する場合があります。 **注:** Model 3 は、信号機が赤色の場合や黄色に変わった場合、交差点に入る前に安全に停止できる適切な距離があれば停止するように設計されています。 **注:** ブレーキを踏むことで、オートステアリングまたはトラフィックアウェア クルーズコントロールをキャンセルし、いつでも運転を引き継ぐことができます。

信号機の種類	車両の意図した応答
	
	Model 3 は減速します。進むには、アクセル ペダルを短く踏む必要があります。この操作をしないと、Model 3 はタッチスクリーンに表示されている赤色の停止線で停止します。 **注:** Model 3 を停止させないためには、および接近時の減速を最小限に抑えるためには、タッチスクリーンに赤い停止線が表示された後、いつでもアクセル ペダルを短く踏むことで進むことを確定できます。 Model 3 は、運転者による確認後、（前方車両の走行速度を考慮して）すみやかに設定した巡航速度に復帰します。 **警告:** 注意深く近づき、減速あるいは停止できるようブレーキペダルを踏む準備をします。
	Model 3 減速し、タッチスクリーンに表示される赤い停止線で完全に停止します。交差点を通過したい場合（例えば、交通法規や状況から、進むことが安全で合法であると判断できる場合）は、アクセル ペダルを短く踏む必要があります。

一時停止標識や路面標示

オートステアリングまたはトラフィックアウェア クルーズコントロールが有効になっている状態で運転している場合で信号機と一時停止のコントロールが有効の時、Model 3 は、一時停止標識、停止線、または道路標示によって制御される交差点に近づくと次のように反応するように設計されています。

交差点の種類	車両の意図した応答
 交通整理なし  T 字路の直進方向	Model 3 は、優先通行権があると考え、減速や停止をすることなく進みます。
 T 字路の突き当り道路	Model 3 が T 字路をマップデータで検出した場合、Model 3 は減速し、タッチスクリーンに表示されている赤い停止線で完全に停止します。交差点を通過したい場合は、ハンドルとアクセルを引き継ぐ必要があります。 **警告:** Model 3 は、一時停止標識や停止線がない場合や、マップデータに T 字路が含まれていない場合、T 字路で停止できません。注意して走行し、すぐに停止できるように備えてください（必要な場合や適切な場合）。
  一時停止標識	Model 3 減速し、タッチスクリーンに表示される赤い停止線で完全に停止します。交差点を通過したい場合は、アクセル ペダルを短く踏む必要があります。 **注:** 一時停止標識のある交差点で、Model 3 が停止する前にアクセル ペダルを短く踏んで進行することを確定した場合、その確定は無視されます。 Model 3 は一時停止標識を停止せずに通過できるようには設計されていません。 **注:** 交差点を曲がるには、オートステアリングを使用している場合であっても、方向指示器を出していても、ご自分でハンドルを回す必要があります　(それでオートステアリングはキャンセルされます)。

交差点の種類	車両の意図した応答
 一時停止標識や路面標示	
 路面標示	

警告: Model 3 環状交差点でも減速して停止します。ハンドル操作を引き継ぎ（オートステアリングはキャンセルされます）、アクセル ペダルを短く踏み、環状交差点を通過することを確定する必要があります。

警告: 横断歩道では、横断歩道が信号機で制御されているかどうか、また、カメラが横断歩道に歩行者や自転車を認識したかどうかによって、Model 3 は減速し、停止します。横断歩道では特に注意を払い、いつでも操作を引き継げるように準備しておいてください。それを怠ると怪我や死亡につながる恐れがあります。

制限事項

さまざまな状況や環境条件に応じて、信号機と一時停止のコントロール*は次の場所で停止する場合と停止しない場合があります。*

- 踏切
- 立ち入り禁止区域
- 料金所
- 横断歩道
- 譲れ標識や、一時的な信号機および一時停止標識（工事区間等）
- その他の交通 U ターン信号や歩行者横断用信号、走行車線指示信号等

さらに、次の条件が 1 つまたは複数ある場合には、信号機と一時停止のコントロールは想定通りの動作をしないか、無効になるか、あるいは動作しないことが考えられます。

- それぞれの間隔が非常に短い連続した信号機のある交差点。
- 見通しが悪い（豪雨、雪、霧等）あるいは悪天候がカメラやセンサーの動作を妨げている。
- 明るい光 (直射日光など) がカメラの視野を妨げている場合。
- カメラが妨げられている、覆われている、損傷している、適切にキャリブレーションされていない。
- 急な上り坂や急カーブでカメラが前方の信号機や一時停止標識を認識できない。

- 信号機、一時停止標識、路面標示が妨害されている（木や大型車などにより）。
- Model 3 が前方車両に非常に近くまで接近し、カメラの視界を妨げている。

警告: 上記の制限は、Model 3 が期待通りに動作しない原因の一部です。多くの予期せぬ状況が、信号機と一時停止のコントロールの正確な動作に悪影響を与えます。この機能を利用することで、注意深く、責任をもって運転する必要性が減るあるいはなくなるわけではありません。いかなる時でも適切かつとっさの行動がとれるよう備えておく必要があります。

フルセルフドライビング（スーパーバイズド）

注: *販売地域、車両構成、購入したオプション、オートパイロットハードウェア、ソフトウェアバージョンによっては、車両にフルセルフドライビング（スーパーバイズド）が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。*

フルセルフドライビング（スーパーバイズド）が作動している場合、Model 3 は目的地までドライブしようとします。道路のカーブに沿って進み、交差点で停止したり通過したり、左右に曲がったり、高速道路に出入りしたりします。

トラフィックアウェア クルーズコントロール、オートステアリング、およびナビゲート オン オートパイロットとは異なり、車線が明確なマルチレーン道路での使用を目的としていますが、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）はさまざまな運転シナリオで機能するように設計されています。フルセルフドライビング（スーパーバイズド）は、住宅街や都市部など、あらゆる種類の道路で使用できます。

警告: 対向車のある狭い道路、工事区域、複雑な交差点を通過しているときなど、特定の状況では、ドライバーの介入が必要になる場合があります。ドライバーの介入が必要になるシナリオの例については、「制限と警告」ページ 135 を参照してください。

フルセルフドライビング（スーパーバイズド） は、Model 3 の前面、背面、左右に取り付けられたカメラからの入力を使用して、Model 3 の周囲エリアのモデルを構築します（カメラ ページ 19 を参照）。Model 3 に搭載されているフルセルフドライビング（スーパーバイズド）は、この入力を使用し、ニューラルネットワークを迅速に処理し、目的地まで案内するための決定を行うように設計されています。

注: Tesla のフルセルフドライビング（スーパーバイズド）能力が進化するのに合わせて、Model 3 はワイヤレス ソフトウェアアップデートによってアップグレードされます。利用可能になったらすぐにアップデートをダウンロードしてください。

他のオートパイロット機能と同様に、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）では運転者に十分な注意を払う必要があり、運転者の対応を必要とする一連の警告が表示されます。**フルセルフドライビング（スーパーバイズド）が作動している間は、常に注意を払い、いつでも運転を引き継げるようにしておく必要があります。**フルセルフドライビング（スーパーバイズド）の作動中は、キャビン カメラがドライバーの注意力を監視します（ドライバーの注意力 ページ 127 を参照）。

警告: フルセルフドライビング（スーパーバイズド） では、常に道路に注意を払い、いつでも操作を引き継げる準備をしている必要があります。常に注意を怠らず、道路状況や周囲の交通状況に注意し、歩行者や自転車に注意を払い、常にすぐに行動できるように準備してください（特に見通しの悪いコーナー、交差点、狭い場所での運転時には注意が必要です）。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。フルセルフドライビング（スーパーバイズド）の制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、制限と警告 ページ 135 を参照してください。

注意: 不適切な使用が検出された場合、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）の使用は一時停止されます。詳細な情報については、「オートパイロット の一時停止」ページ 128 を参照してください。

注意: フルセルフドライビング（スーパーバイズド）の装備が拡張されるのに伴い、Tesla は米国およびカナダ以外の国のお客様を対象にした利用を段階的に可能にしていく予定です。それぞれの国においては、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）を時間をかけて適応させる必要のある独自のインフラ、運転動作、および交通パターンがあるので、新たに対象となった国でフルセルフドライビング（スーパーバイズド）を使用するドライバーは特に注意を払う必要があります。いつでも安全に運転を代われる準備ができている必要があります。

ご利用の前に フルセルフドライビング（スーパーバイズド）

1. フルセルフドライビング（スーパーバイズド）を有効化してください。Model 3 が駐車している間、**コントロール** > **オートパイロット** > **フルセルフドライビング（スーパーバイズド）**の順にタッチし、ポップアップ ウィンドウをよく読んで理解したうえで、**「はい」**をタッチします。

   注: Model 3 フルセルフドライビング（スーパーバイズド）を有効にするにはパーキングに入れる、または無効にして代わりにオートステアリングまたはトラフィックアウェア クルーズコントロールを有効にします。

2. （オプション）フルセルフドライビング（スーパーバイズド）のカスタマイズ設定。
   - **速度プロファイル**：必要に応じて、初期設定を**「Sloth」**に変更します。詳細な情報については、次を参照してください 速度プロファイルの選択 ページ 125
   - **HOV 車線の使用**: フルセルフドライビング（スーパーバイズド）がルート上で HOV（高乗車率）車線を利用するかどうかを選択します。

   注: フルセルフドライビング（スーパーバイズド）を有効にすると、**オートパイロットの起動**（装備されている場合）の設定は**「シングルクリック」**に設定され、トラフィックアウェア クルーズコントロールおよびオートステアリングは使用できません。

3. Model 3 のカメラが遮られておらず、キャリブレーション済みであることを確認してください（カメラ ページ 19 を参照）。 フルセルフドライビング（スーパーバイズド） における信号機、一時停止標識、または路面標示の検出は、カメラの能力に依存します。

   警告: ボール ヒッチ、バイク ラック、トレーラーなどを車両の後部に取り付けている場合はフルセルフドライビング（スーパーバイズド）を使用しないでください。Model 3 がカメラの遮断（たとえば、後部に取り付けられた自転車ラックなど）を検出すると、タッチスクリーンに警告が表示され、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）の性能が低下したり、場合によっては機能が使用できなくなったりすることがあります。

4. 地図の最新バージョンが Model 3 にダウンロードされていることを確認してください（地図のアップデート ページ 173 を参照）。フルセルフドライビング（スーパーバイズド）では基本的に、車両のカメラからの視覚データを利用しますが、最新の地図データを使用することで一層の精度が得られます。

速度プロファイルの選択

フルセルフドライビング（スーパーバイズド）が有効な間に Model 3 がどのくらいの速度で走行するか、また速度に基づいた車線変更をどの程度の頻度で行うかを決定するために、速度プロファイルを選択します。選択した速度プロファイルに加えて、Model 3 はナビゲーション データ、他の Tesla 車両からの過去データ、道路上の他車の速度、ならびに制限速度標識を使用して、走行速度を決定します。

デフォルトの速度プロファイルは**「Sloth」**です。速度プロファイルを変更するには：

- フルセルフドライビング（スーパーバイズド）が作動中に、タッチスクリーンで**「セルフドライビング」**をタップします。
- **コントロール** > **オートパイロット**をタッチします。
- ハンドルの右側のスクロール ボタンを上下に回します。

速度プロファイルを一度選択すると、次回フルセルフドライビング（スーパーバイズド）を使用するときにデフォルトでそのプロファイルが選択されます。選択した速度プロファイルは、ドライバー プロファイルにも関連付けられます（ドライバー [#10]プロフィール ページ 93 を参照）。

Sloth： Model 3 制限速度より低い速度で走行します。

コンフォート： Model 3 走行は遅い車線を選び、車線変更は最小限に抑えます。

Standard: Model 3 通常の速度で走行し、交通の流れに合わせて速度を調整します。

急ぎ： Model 3 より速い速度で走行し、車線変更をより頻繁に行います。

マッドマックス： Model 3 **「急ぎ」**プロファイルよりも速い速度で走行し、より頻繁に車線変更を行います。

運転を開始 フルセルフドライビング（スーパーバイズド）

フルセルフドライビング（スーパーバイズド）が有効になっている限り、速度が 85 mph (140 km/h)未満のとき（Model 3 が静止しているときも含む）、右スクロール ボタンを押すことにより、作動させることができます。

フルセルフドライビング（スーパーバイズド）が有効になると、タッチスクリーンに**「セルフドライビング」**が青色で表示されます。フルセルフドライビング（スーパーバイズド）プロファイルも併せて表示されます（速度プロファイルの選択 ページ 125 を参照）。

目的地を入力しない場合、Model 3 は最も可能性のある走行経路を選択するか、運転に基づいて目的地を提案します。

注: システムの意図した動作に違和感がある場合、または不安がある場合は、いつでもフルセルフドライビング（スーパーバイズド）を無効にすることができます。あなたは常に Model 3 を運転しています。

タッチスクリーンからフルセルフドライビング（スーパーバイズド）を開始する

タッチスクリーンからもフルセルフドライビング（スーパーバイズド）を作動させることができます。Model 3 がドライブまたはパーキングの状態のときに実行できます。

1. まず、**「コントロール」** > **「タップしてパーキングから FSD（スーパーバイズド）を開始」**の順にタッチして、この機能を有効にします。

   「ブレーキによる確認」は、初期設定で有効になっています。**「ブレーキによる確認」**が有効の場合、パーキングからフルセルフドライビング（スーパーバイズド）を開始するときに毎回確認のためブレーキ ペダルを短く踏む必要があります。

2. （任意）目的地を入力します。目的地を入力しない場合、Model 3 は最も可能性のある走行経路を選択するか、運転に基づいて目的地を提案します。
3. タッチスクリーンの**「セルフドライビングを開始」**をタッチし、プロンプトが表示されたら、ブレーキ ペダルを踏んで続行します。Model 3 がパーキングの状態の場合、車両はドライブまたはリバースにシフトし、駐車スペースから 発進して目的地へのナビゲーションを開始します。Model 3 がドライブの状態の場合、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）が直ちに作動し、Model 3 が設定された目的地へと走行します。

Model 3 が走行を開始した後にフルセルフドライビング（スーパーバイズド）をキャンセルするには、ブレーキ ペダルを踏むか、キャンセル フルセルフドライビング（スーパーバイズド） ページ 127 に記載されているいずれかの方法を使用します。

注意: 「パーキングから FSD（スーパーバイズド）を開始」は、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）が有効化され、利用可能な状態で、Model 3 が適切なドライバーの着席を検知している場合に限りご利用いただけます。「パーキングから FSD（スーパーバイズド）を開始」は、以下のような（これらに限定されません）さまざまな理由により、ご利用いただけない場合があります。

- Model 3 が運転席に適切なドライバーがいないことを検知した。
- Model 3 が運転席のシートベルトが着用されていないことを検知した。
- ドア、トランク、、またはフロントトランクが開いている。
- 充電ケーブルが車両に接続されている。
- Model 3 がバレーモード、トラックモード、またはその他のオートパイロットの使用が制限されるモードになっている。

注意: 乗員感知システムを阻害することを意図したデバイスの使用は、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）の使用条件に違反するため、その車両における機能が永久に無効になり、今後の機能の使用が禁止される可能性があります。

使用中 フルセルフドライビング（スーパーバイズド）

フルセルフドライビング（スーパーバイズド） は、車線変更、左右のターン、オンランプおよびオフランプのフォロー、目的地に到達するために必要に応じて道路の分岐を行います。

警告: 交差点や路面表示に従ってフルセルフドライビング（スーパーバイズド）が停止または通過するタイミングおよび位置を、仮定したり予測したりしないでください。ドライバーの観点からは、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）の動作に一貫性がないように見える場合があります。常に道路に注意を払い、ただちに対処できるように備えてください。交差点で停止するか通過するかを決めるのはドライバーの責任です。交差点で停止する、または通過することが安全で適切であるとの判断を、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）に委ねないでください。

タッチスクリーンには、道路や車両、歩行者、縁石、自転車などの検知対象物を含む Model 3 の周囲の環境が視覚化されます。ビジュアライゼーションでハイライト 表示されている対象物は、特定の時点でフルセルフドライビング（スーパーバイズド）がアクティブな 制御の判断基準としている対象物の優先度を表します。

注: フルセルフドライビング（スーパーバイズド）の視覚化情報は、目的地まで運転しようとするときにフルセルフドライビング（スーパーバイズド）が考慮する障害物、道路標識、道路信号などを総合的に表現したものではない場合があります。フルセルフドライビング（スーパーバイズド）を作動させている間は、Model 3 のカメラからのデータが使用されますが、視覚化では表示されない場合があります（カメラ ページ 19 を参照）。

注: 映像エリアをフルスクリーンまで拡大することができます。**コントロール** > **オートパイロット**をタッチして設定を有効にしたら、**フルセルフドライビングの拡張ビジュアライゼーション**をタッチします。次にタッチスクリーンで、映像ウィンドウハンドルをスワイプして画面全体まで拡大します。

オートステアリングおよびトラフィックアウェア クルーズコントロールと同様に、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）は速度、および（先行車両があれば）Model 3 の先行車両との車間距離を維持します。 フルセルフドライビング（スーパーバイズド） は、必要に応じて信号機や停止標識で減速停止し、歩行者、自転車、その他の道路上の車両に反応します。

たとえば、住宅街の道路を走行しているときに、Model 3 の前方の道路から別の車両がバックしてきた場合、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）は適切に車両を減速させるか停止させます。他の車両が走行車線を部分的に遮りながらバックしてきて停止した場合、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）によって 車両が減速し、その車線の幅が許せば、その車両を回避するように動きます。

先行車両が減速している場合、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）は、運転レーンに青い矢印が表示され、先行車両からの適切な後続距離を維持するために減速します。高速道路を走行中、操作（車線変更など）を行うと、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）によりタッチスクリーンにメッセージが表示されます。

警告: まれに、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）が、減速、停止、または停止標識または信号機のための制御再開を適切に行わない場合があります。アクセル ペダルを軽く踏んでシステムを 補助することもできますし、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）をいつでも無効にすることもできます。

車線変更

複数車線道路で車線変更を行うようにフルセルフドライビング（スーパーバイズド）に指示するには、右または左ウィンカーを作動させます。市街地または住宅街で、右または左ウィンカーを操作することは、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）に対してそれぞれ右折または左折をするように指示を出すことになります

ナビゲート オン オートパイロットとは異なり、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）では車線変更前の確認は不要です。車線変更または方向転換をキャンセルするには、ウィンカーをキャンセルするか、ハンドルまたはその他の車両コントロールを使用して介入します。

今すぐ運転を引き継いでください

オートパイロットが Model 3 のステアリング操作を制御できない場合は、警告のチャイムが鳴り、タッチスクリーンに次のようなメッセージが表示されます。

今すぐ運転を引き継いでください

このメッセージに気づいたら、**今すぐ運転を引き継いでください**。

目的地に到着する

目的地に到着したときに Model 3 がどのように動作するかを選択できます。フルセルフドライビング（スーパーバイズド）が有効な間は、選択されている場合、目的地での動作がタッチスクリーンに表示されます。

目的地での動作を選択するには、タッチスクリーンの車両ステータス セクションで**「セルフドライビング」**をタッチします。**「目的地に着いたら」**の下で、次のオプションから選択します。

- **パーキング**: 目的地で適切な駐車スペースが検出されると、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）は Model 3 に駐車します。

  注: 適切な駐車スペースが検出されない場合、Model 3 は代わりに路肩で停車します。

- **道路脇：**: Model 3 が目的地に到着すると、車両は短時間停車します（乗客を乗せたり降ろしたりするためなど）。

「パーキング」を選択した場合、**「駐車場」**、**「路上」**、または**「敷地内駐車スペース」**など、Model Y に選ばせたい駐車スペースの種類を指定することもできます。利用可能なオプションは目的地によって異なります。例えばスーパーチャージャーにナビゲーションしている場合は、**「 充電ポイント」**を選択できます。

オプションを選択すると、次回同じ目的地へのナビゲーションでフルセルフドライビング（スーパーバイズド）を使用する際、Model 3 は同じ動作をデフォルトとして適用します。

いずれの場合も、ナビゲーションが完了すると Model 3 はパーキングにシフトします。

キャンセル フルセルフドライビング（スーパーバイズド）

フルセルフドライビング（スーパーバイズド）をキャンセルするには、次のいずれかの操作を行います。

- ブレーキ ペダルを踏む。
- ハンドルの右スクロールボタンを押します。
- 引き継ぎ、手でハンドル操作します。

また、以下のいずれかの場合、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）は解除されます。

- ドライブ以外にシフトする。
- ドアまたは トランクが開いている。
- 自動緊急ブレーキ イベントがある（衝突回避アシスト ページ 142 を参照）。
- 運転者のシートベルトが解除されるか、または運転者が座席から離れたとき。
- ドライバーが注意を払うよう促す繰り返しのリマインダーや、その後タッチスクリーンに表示されるメッセージに応答しない
- フルセルフドライビング（スーパーバイズド） は使用できなくなります。これは、いくつかの理由で発生する可能性があります（たとえば、カメラが不鮮明になった場合）。フルセルフドライビング（スーパーバイズド）が解除されると、タッチスクリーンに警告メッセージが表示され、チャイムが鳴ります。このような場合は**直ちにハンドル操作を代わってください**。

ドライバーの介入が必要な場合は、できるだけ早く安全に解除するこようにしてください。フルセルフドライビング（スーパーバイズド）の解除は、他の道路利用者がいない安全な環境で行うことをお勧めします。そうすることで、このプロセスに慣れることができます。

ドライバーの注意力

オートパイロット 機能の使用時は、ドライバーは道路や周囲の状況、他の道路利用者に注意を払う必要があります。

キャビン カメラは、オートパイロットの作動中、ドライバーの注意力を継続的に監視します。

キャビンカメラがドライバーの注意力を積極的にモニタリングしているときは、ステータスバーに緑色のインジケーターが表示されます。

このシステムは無効にすることができません。キャビンカメラは、ドライバーの注意力を監視するために、ドライバーの目を完全に視認する必要はありません。例えば、ドライバーがサングラスを着用していても、システムは作動します。

ドライバーが何度も道路から目をそらすと、タッチスクリーンにより警告が表示されます。ドライバーが再び道路に注意を払い始めると、警告は解除されます。

道路から目を離さないでください

キャビンカメラがドライバーの手と腕の位置をはっきりと視認できない場合、タッチスクリーンはハンドルに軽く力をかけるようにドライバーに促すメッセージを定期的に表示します。

ハンドルを少し回してください

ドライバーがハンドルに軽く力をかけたり、注意を払うよう促したりする警告を何度も無視した場合、オートパイロットにより一連の重大度の高い警告が表示され、それらの警告が無視された場合、その走行サイクルではそれ以降、機能が無効になり、以下のメッセージが表示されます。

オートパイロット は現在の走行では利用不可です。 オートパイロット 強制解除 - 注意力警告の無視のため。

ドライバーが手動で運転を再開しないと、Model 3 は連続してチャイム音を鳴らし続け、警告灯を点滅し、速度を落として完全に停車します。

警告: オートパイロット機能を使用している間は、ハンドヘルド デバイスを使用しないでください。オートパイロット作動中にキャビンカメラがハンドヘルド デバイスを検出すると、タッチスクリーンに注意を促すメッセージが表示されます。

警告: ドライバーの注意力を阻害することを意図したデバイスの使用は、オートパイロットの使用条件に違反するため、その車両における機能が永久に無効になり、今後の機能の使用が禁止される可能性があります。

オートパイロットの一時停止

不適切な使用が検出された場合、オートパイロット機能の使用は一時停止されます。

「強制解除」が 5 回オートパイロットに達すると、オートステアリングおよびフルセルフドライビング（スーパーバイズド）の使用（装備されている場合）は 1 週間停止されます。強制解除とは、ドライバーが不注意のため音声および表示による警告を数回受けた後、現在の走行サイクルでそれ以降、オートパイロットシステムが解除されることを指します。

オートパイロットへのアクセスが一時停止されるまでの解除の残数は、**コントロール** > **オートパイロット**にタッチして確認できます。

強制解除は、再度強制解除を受けない限り、半週（3.5 日間）経過後に免除されます。

注: オートステアリング（装備されている場合）およびフルセルフドライビング（スーパーバイズド）へのアクセスが一時停止されると、オートパーキングにもアクセスできなくなります。しかし、トラフィックアウェア クルーズコントロールは引き続き使用でき、アクティブセーフティ 機能はすべて 有効のままです。

ドライバーの介入が必要な場合や、安全な走行を続けるためにすばやく運転を引き継ぐ必要がある場合があります。ドライバー側からの解除は、ドライバーの想定される操作であり、不正利用としてはカウントされません。

注: *販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョン、オートパイロットハードウェアによっては、オートパーキングが装備されていない場合があります。*

オートパーキング ではデータを使用して Model 3 を操作して、縦列駐車や直角駐車スペースに駐車することで、駐車を簡単にしています。

注: オートパーキング は、トラフィックアウェア クルーズコントロールが有効の時は利用できません。オートパーキングを使用するには、**コントロール** > **オートパイロット**をタッチしてオートステアリングまたはフルセルフドライビング（スーパーバイズド）を有効にしてください。

オートステアリングおよび フルセルフドライビング（スーパーバイズド）へのアクセスが一時停止されると、オートパーキングにもアクセスできなくなります。詳細な情報については、「オートパイロット の一時停止」 ページ 116 を参照してください。

警告: オートパーキングの制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、制限と警告 ページ 135 を参照してください。

注意: ボール ヒッチ、バイク ラック、トレーラーなどをけん引ヒッチに取り付けている場合はオートパーキングを使用しないでください。 オートパーキング は、他の車両の間や前方に駐車する場合、ヒッチで停止しない可能性があります。

注意: オートパーキングのパフォーマンスは、カメラが他の車両、物体、縁石などにどのくらい接近しているかにより左右されます。 それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（カメラのクリーニング ページ 205 を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model 3 のタッチスクリーンにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

パラメーター

オートパーキング は、以下のパラメーターに基づいて駐車できる可能性のあるスペースを 検知します。

直角駐車

- 走行速度が 8 mph（13 km/h）未満である必要があります。走行速度が速いと、オートパーキングが希望する駐車スペースを正確に検知することができない可能性があります。
- 駐車スペースの 幅は車両の幅以上である必要があります。
- 駐車スペースに 車両を駐車させるためには、その駐車スペースに、駐車ライン、道路のマーキング、またははっきりした縁石といった、視認可能な 3 本以上のラインがある必要があります。 オートパーキング は、3 本の視認可能な駐車ラインのない車庫などでは作動しない可能性があります。
- オートパーキング は、玉石やレンガといった凹凸のある路面では作動しない可能性があります。

縦列駐車

- 走行速度が 8 mph（13 km/h）未満である必要があります。走行速度が速いと、オートパーキングが希望する駐車スペースを正確に検知することができない可能性があります。
- 駐車しようとするスペースの 前または後には車両がある必要があります。

注: オートパーキング は斜め駐車スペースには対応していません。

オートパーキングの使用方法

運転中、オートパーキングで、Model 3 を駐車スペースに 駐車するには以下のステップに従ってください。

1. ゆっくり運転しながら、タッチスクリーンを観察して（安全に実行できることを確認した上で）オートパイロットが検出した駐車スペースの 候補を確認します。

   注: 検出された駐車スペースは、車両の位置および/または車両の周囲でオートパーキングが適切な運転経路を検出した時のみ表示されます。オートパーキングが適切な経路を決定できない場合（例えば、幅の狭い道路で駐車スペースに入ろうとすると車両の前部が隣接する車線をはみ出してしまうなど）は、車両の位置を変えるか、他の駐車スペースを 探すか、手動で駐車してください。

2. スポットを選択し、次にハンドルを離し、タッチスクリーンの **「開始」**をタッチします。
3. オートパーキング は、駐車が完了するとメッセージを表示します。

オートパーキングが Model 3 を駐車しているときにブレーキペダルを踏むと、駐車プロセスがキャンセルされます。

注意: Model 3 は、オートパーキングの作動中にドライバーがアクセル ペダルを踏んで現在の速度を上回る入力を加えた場合、ブレーキをかけません。この場合、速度が 6 mph（10 km/h）を超えると、オートパーキングはキャンセルされます。

警告: 決してオートパーキングに任せきりにせず、合法かつ適切で、安全な駐車スペースを 見つけてください。 オートパーキング では、常にパーキング スペースの 目標物を検出できるとは限りません。駐車スペースが適切かつ安全であることを、常に目で見て確認してください。

警告: オートパーキングがアクティブにステアリングを操作している場合 Model 3

- ハンドルの動きを邪魔しないようにしてください。ハンドルの動きを妨げると、オートパーキングがキャンセルされます。
- 周囲を継続的に確認してください。いつでもブレーキをかけて車両や歩行者や物体を避けられるようにしてください。
- タッチスクリーンを監視し、オートパーキングからの指示に注意を払ってください。

パーキングをキャンセルする

オートパーキング は次の場合に駐車シーケンスをキャンセルします。

- ドライバーがハンドルを手動で動かした場合。
- ギア シフトした場合。
- ブレーキ ペダルを押します。
- ハンドルの右スクロールボタンを押した場合。
- 駐車するための動作が 7 回以上ある場合。

今すぐ運転を引き継いでください

オートパーキングが Model 3 を操縦できない状況では、オートパーキングは警告チャイムを鳴らし、**「今すぐ運転を引き継いでください」**のメッセージを表示します。

これは次の場合に発生します。

- Model 3 が、ドアが開けられたこと、またはドライバーが車両から降りたことを検知したとき。
- 1 台または複数のカメラが損傷したり、汚れたり、障害物（泥、氷、雪、ラップ、ステッカーなどの粘着製品など）によって遮られたり、視界不良な状況（大雨、雪、あられなど、または照明が不十分）のとき。
- ドライバーの入力により速度が 6 mph（10 km/h）を超えたとき。
- 自動緊急ブレーキが作動したとき（衝突回避アシスト ページ 142 参照）。

このメッセージが表示されたら、**今すぐ運転を引き継いでください**。

注: *販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェア バージョン、オートパイロットハードウェアによっては、車両にエンハンスト スマート サモンおよびシンプル サモンが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。*

サモン は、Tesla モバイル アプリを使用して、ドライバーが車外に立っている間、Model 3 の駐車および呼び寄せを可能にします。

サモン にはシンプル サモンおよびエンハンスト スマート サモン（ASS）が含まれます。

シンプル サモン では、Model 3 をまっすぐ前進および後進させて、駐車スポットに入れたり駐車スポットから出したりできます。

エンハンスト スマート サモン は、Model 3 が（携帯電話の GPS を設定目的地として）ドライバーのいる場所まで、または選択した場所まで、必要に応じて物体を避けながら走行できるように設計されています。

サモンが作動している間は、あなたと Model 3 との間に障害物がなく見渡せる状態を維持することが推奨されます。車両とその周囲を常に注意深く監視し、制限と警告 ページ 133 についてよく理解してください。

ご利用の前に サモン

1. **コントロール** > **オートパイロット** > **ASS（アクチュアリー スマートサモン）** をタッチしてシンプル サモンとエンハンスト スマート サモンを有効にします。ポップアップウィンドウをよく読んで理解したら、**「はい」** をタッチします。
2. （オプション）サモンのカスタマイズ設定。
   - **完了音**：Model 3 が目的地に到着したときに外部に流す音を選択します。歩行者警告システム（歩行者警告システム ページ 98 を参照）が必要です。
   - **中止時のエミッション**：有効にすると、Model 3 はサモンが中止された場合のエミッションシステムのテストを実行します。歩行者警告システム（歩行者警告システム ページ 98 を参照）が必要です。
   - **「バンパー クリアランス」**（シンプル サモンのみ）：シンプル サモンが物体を検出して停止する距離を設定してください。この距離は、シンプル サモンが前進時に Model 3 の前面に検知する物体、または後進時に Model 3 の後ろに検知する物体にのみ適用されますので、ご注意ください。
   - **「連続押しが必要」**（シンプル サモンのみ）：Model 3 を移動させ続けるには、モバイル アプリのボタンを押し続ける必要があります。 Model 3 はボタンを離すと停止します。

     注: 「連続押しが必要」 が常に有効になっています。
3. （オプション）**「スタンバイ モード」** の有効化：Model 3 でサモンを開始できるようにしてウォームアップ時間を短縮するためには、スタンバイ モードをオンにします。スタンバイ モードが有効になっている間は、バッテリー電力が追加で消費されます。**「スタンバイ モード」** がオンになっているとき、以下の場所でスタンバイ モードを無効にすることでバッテリーを節約できます（自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 170 を参照）。
   - **自宅を除く** - お気に入りリストに自宅として設定した場所でスタンバイモードを無効にします。
   - **勤務先を除く** - お気に入りリストに勤務先として設定した場所でスタンバイモードを無効にします。
   - **お気に入りを除く** - お気に入りリストに登録した場所でスタンバイモードを無効にします。

   エネルギーを節約するために、サモンは午前 0 時から午前 6 時の間、または Model 3 がが低電力モードのときに**スタンバイモード**を自動的に終了します（低電力モード ページ 192 を参照）。この時間帯は、サモンの起動には少し時間がかかります。

   Model 3 を 24 時間以上パーキング状態のままにすると、車両が次に運転されるまで**スタンバイ モード**が無効になります。
4. Tesla モバイル アプリの最新バージョンをダウンロードします。 *サモン Tesla モバイル アプリのバージョン 4.38.0 以降が必要です。*
5. 以下のことを確認してください。
   - 携帯電話が Model 3 に接続され、約 279 ft（85 m）の距離内にいる（動作範囲 ページ 131 を参照）。
   - あなたが私有地にいる。 サモン は、周囲環境をよく知っていて何が起こるか予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。
   - 車両のカメラが正しくキャリブレーションされている（走行中のカメラキャリブレーション ページ 19 を参照）。
   - あなたが障害物に遮られることなく、Model 3 を視認できる。
   - Model 3 がパーキングにシフトしており、充電中ではなく、すべてのドアとトランクが閉じられている。
   - 4 本すべてのタイヤ空気圧が 34 PSI 以上であることが、タイヤ圧力監視システム（TPMS）によって確認されている。タイヤ空気圧の点検と維持管理に関する詳細については、タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 198 を参照してください。

動作範囲

サモンを使用するには、携帯電話が Model 3 に接続され、279 ft（85 m）の距離内にある必要があります。

サモンの作動中に、サモンが接続された Model 3 を携帯電話から 279 ft（85 m）離れた場所まで移動させると、車速が 3 mph（5 km/h）に制限されます。

Model 3 が接続された携帯電話から 328 ft（100 m）以上離れると、サモンは一時停止し、Model 3 が 345 ft（105 m）以上離れると、サモンは停止して終了します。

上記のいずれの場合も、Tesla モバイル アプリは触覚フィードバックを提供し、Model 3 が機能の動作範囲の限度に近づいた、または超えたことを知らせるメッセージを表示します。自分から遠ざかる方向の目的地に車両を移動させる場合、動作可能距離内に留まるために車両の後をついていく必要があるかもしれません。

注: サモンが 7.5 分以上継続して作動した場合、サモンは中止され、Model 3 はパーキングにシフトされます。

使用する サモン

サモンを使用して Model 3 の駐車または呼び寄せを行うには、次の手順に従います。

以下の手順は、Model 3 を駐車スペースにまっすぐ 進入または駐車スペースからまっすぐ 退出させるシンプル サモンと、障害物を回避しながらあなたのいる場所または指定した場所まで Model 3 を移動させるエンハンスト スマート サモンの両方について説明します。

1. （シンプル サモンのみ）Model 3 がドライブまたはリバースで駐車スペースにまっすぐ 進入または駐車スペースからまっすぐ退出できるように、Model 3 を駐車スペースに 合わせます。
2. Tesla モバイルアプリを開き、**「サモン」**にタッチします。

   モバイル アプリに、Model 3 の周囲が安全かどうかを判断するのに役立つよう、車両からのライブカメラ映像が表示されます。

   注: ライブカメラ映像を表示するには、お客様のモバイルデバイスが Model 3 に対して電話キーとして設定されている必要があります（キー ページ 21 を参照）。Tesla モバイル アプリでカメラ映像を表示しているときは常に、ヘッドライトが定期的に点滅します。車両にプレミアムコネクティビティが装備されている場合、ライブカメラ映像の表示は、セントリーモードの**「ライブカメラを表示」**機能と同じ時間制限が適用され、1 日あたりの累積使用時間は 1 時間（一部の地域では 15 分）です（セントリー モード ページ 152 を参照）。車両にプレミアムコネクティビティが 装備されていない場合、ライブカメラ映像の表示は 2 分間に制限されます。ただし、サモンが Model 3 をアクティブに 運転している場合は、Model 3 にプレミアムコネクティビティが 装備されているかどうかにかかわらず、カメラ映像の配信に制限はありません。

3. （エンハンスト スマート サモンのみ）**「ここに呼ぶ」**：障害物がなく Model 3 をはっきりと見渡せる、青い円内の場所で使用してください。

   タッチして**「ここに呼ぶ」**モードを選択します。選択すると、アイコンが青くなります。

4. （エンハンスト スマート サモンのみ）**「指定地に進む」**：十字アイコンをタッチしてから地図をドラッグして、選択する目的地にピンを置きます。続けて場所を変更したい場合、指を放してから地図に再度ピンを置き、**「指定地に進む」**をもう一度長押しします。

   タッチして**「指定地に進む」**モードを選択します。選択すると、アイコンが青くなります。

5. サモンを開始するには、以下を押し続けます。
   - **「前進」**または**「後進」**（シンプル サモン）。
   - **「ここに呼ぶ」**（エンハンスト スマート サモン）。
   - **「指定地に進む」**（エンハンスト スマート サモン）。
6. Model 3 はドライブまたはリバースにシフトした後、ゆっくりと前進または後進するか（シンプル サモンを使用している場合）、またはあなたがいる場所（**「ここに呼ぶ」**）または指定した場所（**「指定地に進む」**）へ移動します。さらに、ヘッドライト（およびドームライトおよび、装備している場合は、フォグランプ）が**「オン」**に設定され、ワイパーが**「自動」**に設定されます。

   「ここに呼ぶ」または**「指定地に進む」**を使用している場合、Model 3 は必要に応じて障害物を回避します。シンプル サモンを使用している場合、Model 3 は元の経路に最も近い経路を辿りながら障害物の回避を試みます。 シンプル サモンは、進路を大幅に塞ぐ障害物を回避するようには設計されていません。Model 3 がステアリング操作による障害物の回避を行うことができない場合、シンプル サモンは停止して終了します。

   モバイル アプリに、Model 3 からのカメラ映像の一部が表示され、より監視しやすくなります。それでも、サモン実行中は車両を直接目視できる状態を保つことが推奨されます。

7. **「前進」**または**「後進」**ボタン、あるいは**「ここに呼ぶ」**または**「指定地に進む」**ボタンから指を離すと、いつでも Model 3 を停止することができます。

   シンプル サモンを再開するには、Tesla モバイル アプリの**「前進」**または**「後進」**ボタンをもう一度押し続けてください。

   同様に、エンハンスト スマート サモンは、**「ここに来る」**または**「指定地に進む」**をもう一度押すだけで再開できます。

8. （シンプル サモンのみ）Model 3 が希望の位置に到達したら、**「前進」**または**「後進」**ボタンから指を離します。ボタンから指を離すと、Model 3 はすぐに動きを停止し、数秒後にパーキングにシフトします。
9. （エンハンスト スマート サモンのみ）Model 3 が目的地（**「ここに来る」**モード時）または指定した場所（**「指定地に進む」**モード時）に到着すると、ハザード警告灯が数秒間点滅した後、Model 3 はパーキングにシフトし、モバイル アプリにサモンが完了したことを示すメッセージが表示されます。

   警告: ボタンから指を離して Model 3 を停止させる時、車両の停止までわずかに遅れが出ます。そのため、常に車両の走行経路に細心の注意を払い、前もって車両が検知できない可能性のある障害物を予測することが重要です。

サモン は、次の場合にキャンセルされ、再開の操作が必要となります。

- ドア ハンドルが押されている、またはドアが開いている。
- ハンドル、ブレーキ ペダル、アクセル ペダル、シフトのいずれかを操作している場合。
- 走行経路が遮られているとき。
- Model 3 が 1,558 ft（475 m）の最大距離を移動したとき、またはサモンの開始から 7.5 分以上移動を続けたとき。

  注: サモンが Model 3 を前方に 6 ft（2 m）移動させてから、後方に 3 ft（1 m）移動させた場合、これは 9 ft（3 m）の移動とみなされます。

- お使いの携帯電話がスリープモードになっているか、Model 3 への接続が途切れた場合。
- Model 3 が安全上のリスクを検出した場合。

制限と警告

サモン は、次の場合に無効となります。

- Model 3 がバレーモードのとき（バレーモード ページ 94 を参照）。
- Model 3 がドッグ モードのとき（エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 158 を参照）。
- Model 3 が Drag Strip Mode （装備されている場合）（トラック モード ページ 90 参照）。

さらに、エンハンスト スマート サモンは公道では無効になります。 エンハンスト スマート サモン は、周囲環境をよく知っていて何が起こるか予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。

警告: シンプル サモンは公道でも使用が可能です。シンプル サモンを公道で使用するときは、必ず最大限の注意を払ってください。車道に入る（他の交通に合流する）のにシンプル サモンを使用しないでください。

サモンの性能は、物、人、動物、また他の車両への車両の接近を把握するカメラの性能に依存しています。 サモン は、以下の状況では設計どおりに動作せず、および／または中止される可能性があります。

- ルーフラック、トレーラーヒッチ、ボディキットなどのアクセサリーが Model 3 に取り付けられている、または固定されている場合。サモンが検出された障害物を回避するために Model 3 を操縦しているとき、Model 3 からはみ出したアクセサリーは考慮されません。
- 道路端の段差を検知した場合。 サモン は、道路端の急な段差を越えて Model 3 を移動させることはありません。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、カメラの動作を妨げている場合。
- Model 3 は、けん引モードになっているか、アクセサリーが取り付けられています。
- GPS データが利用できないか、携帯電話の電波が弱い場合。
- 走行路面が舗装されていない場合。
- 走行経路の勾配が 20%を超える場合。 サモン は平坦または緩やかな勾配（最大勾配 20%）の道路でのみ、動作するように設計されています。サモンが Model 3 を 10%以上の勾配で走行させている場合、車速は 3 mph（5 km/h）に制限されます。 サモン は、条件が悪い場合 10%以上の勾配では動作しない場合があります。

警告: 上記の一覧はサモンの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。Model 3 を常にコントロールできる状態でいることは、ドライバーの責任です。サモンが Model 3 を動かしているときは、その動きに注意を払い、即座に対応できるよう備えておいてください。これを怠ると、重大な損害や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。

注: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（カメラのクリーニング ページ 205 を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model 3 のタッチスクリーンにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

警告: サモン は、ドライバーの監督下でのみ使用できる機能です。車両とその周囲を常にモニターし、何かあった場合はすぐに対応できるようにしてください。エンハンスト スマート サモンおよびシンプル サモンを安全に、責任を持って意図されたとおりに使用することはドライバーの責任となります。 サモン は、周囲環境をよく知っていて何が起こるか予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。エンハンスト スマート サモンは、公道で使用しないでください。シンプル サモンは、公道でのみ使用し、必ず最大限の注意を払ってください。サモンの制限事項を理解するのは、お客様の責任です（制限と警告 ページ 133 を参照）。

警告: エンハンスト スマート サモン はいつでも中断できます。エンハンスト スマート サモンが安全上の理由で中断された場合、Model 3 が突然、または警告なしに停止することがあります。

警告: 常に Model 3 を停車させる必要があるかどうかを予測してください。携帯電話と Model 3 間の通信接続状況により、ボタンから指を放してから車が停車するまでに多少の遅れが生じる場合があります。

警告: 障害物の動きが予測できない環境でサモンを使用する場合は、厳重に注意してください。例:人、子供、または動物がいる場所。

警告: エンハンスト スマート サモン はすべての物体（特に縁石などの非常に低い物体、または棚などの非常に高い物体）を検知して停止するわけではなく、すべての対向または縦断交通状況に反応するわけでもありません。Model 3 は、車両のフロントフェンダー付近のカメラの死角にある障害物を検知できません。モバイルアプリ上のボタンを放して、常に Model 3 を停止できるように注意を払ってください。

警告: サモン は、ルーフラック、トレーラーヒッチ、ボディキットなどのアクセサリーが Model 3 に取り付けられている、または固定されている場合、意図したとおりに動作しないことがあります。サモンが検出された障害物を回避するために Model 3 を操縦しているとき、Model 3 からはみ出したアクセサリーは考慮されません。モバイルアプリ上のボタンを放して、常に Model 3 を停止できるように注意を払ってください。

警告: Model 3 は、車両のフロントフェンダー付近のカメラの死角に位置する障害物、非常に幅の狭い障害物（自転車など）、天井から吊り下げられている障害物などは検知できません。加えて、予期せぬ事態が起きると、サモンの駐車スペース内外へ移動させる性能が低下する場合があり、そのためにサモンは Model 3 を適切に移動できないことがあります。このため、車両の動きや周囲の状況を常に監視し、いつでもキーのいずれかのボタンを押して Model 3 を停止できるよう準備して待機する必要があります。

このトピックでは、以下のオートパイロット機能に関する警告、注意、および制限事項について説明します。

- トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 109
- オートステアリング ページ 110
- ナビゲート オン オートパイロット ページ 137
- フルセルフドライビング（スーパーバイズド）（市街地でのオートステアリング） ページ 137
- オートパーキング ページ 138

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェア バージョンによっては、前述の機能がすべては装備されてはいない場合や、機能が記述通りには作動しない場合があります。

警告: オートパイロットを使用する前に、以下の警告と制限をよくお読みください。すべての警告および指示に従わないと、損害、重大な怪我、または死亡事故につながる恐れがあります。

注: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（カメラのクリーニング ページ 205 を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model 3 のタッチスクリーンにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

トラフィックアウェア クルーズコントロール

トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用する際は、**常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。**常に道路に注意を払い、いつでも必要に応じて対応できるようにしてください。

さらに、常に道路状況や制限速度に応じた安全な速度で走行することはドライバーの責任となります。トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動している間は、次の制限に注意してください。

- 速度制限で変わっても巡航速度は変わらないような状況があることが考えられます。
- トラフィックアウェア クルーズコントロール は道路や運転の状況に応じて運転速度を調整しません。急カーブが続く曲がりくねった道路、表面が凍結していたり滑りやすくなっている道路、または一定速度での運転が不適切な悪天候（豪雨、雪、霧など）の中でトラフィックアウェア クルーズコントロールを使用しないでください。
- 適切な車間距離を維持するために、トラフィックアウェア クルーズコントロールのみに頼らないでください。
- トラフィックアウェア クルーズコントロール が、制動能力が限定されている、坂道を走行しているなどの理由で適切な速度制御を行えない場合があります。トラフィックアウェア クルーズコントロールが先行車両との車間距離を誤判定することもあります。下り坂を走行すると、Model 3 の走行速度が上がり、設定速度（場合によっては制限速度を超過する恐れがある）を超えてしまうことがあります。
- トラフィックアウェア クルーズコントロール は、時折ブレーキが必要でないとき、または予期しないときに Model 3 にブレーキをかけることがあります。その原因は、先行車両との車間距離が短いことや（特にカーブで）隣の車線上の車両や物体を検出することなどです。
- 車載 GPS（グローバル ポジショニング システム）の限界により、特に高速道路出口付近でカーブが検出されたり、ナビを使って目的地に向かっている時に提示ルートに従わない時など、Model 3 によって車両が減速することがあります。
- 場合によっては（データが不足している場合など）、トラフィックアウェア クルーズコントロールは高速道路のインターチェンジまたはオフランプの走行時に設定された速度を自動的に減速しない場合があります。
- トラフィックアウェア クルーズコントロール は、物体を検知できない場合があり、静止した車両や物体と衝突しないようにブレーキをかけたり減速したりできなくなることがあります。特に 50 mph（80 km/h）以上で走行しているときに追尾していた車両が視界から消え、その代わりに静止した車両や速度の遅い車両、または物体が前方に現れると、この現象が起きやすくなります。
- トラフィックアウェア クルーズコントロール が、走行車線上を走行していない車両や走行車線上に存在しない物体に反応し、Model 3 を必要でないときまたは不適切なタイミングで減速させる場合もあります。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは、以下の状況下では設計通りに動作しない可能性があります。

- 道路に急カーブがある、または標高が大幅に変化している。
- 道路標識や信号機が不明瞭、あいまい、または整備が不十分である。
- 視認性が低い（激しい雨、雪、雹など、または夜間の道路照明が貧弱である）
- トンネル内や、カメラの視界を妨げる分離帯の近くなどを走行している。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。

警告: 上記の一覧はトラフィックアウェア クルーズコントロールの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。 トラフィックアウェア クルーズコントロール は、予想外の理由により予期せずキャンセルされる可能性があります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をとれるようにしてください。Model 3 を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。トラフィックアウェア クルーズコントロールに頼って Model 3 を十分に減速させようとしないでください。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは歩行者や自転車を認識することが可能ですが、Model 3 の速度を減速するのに決してトラフィックアウェア クルーズコントロールだけに頼らないでください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

オートステアリング

警告: オートステアリング はハンズフリーの機能ではありません。常にハンドルに手を置いて、道路状況や周囲の交通状況に注意し、すぐに行動できるように常に準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

警告: オートステアリング は、注意力の高いドライバーが進入制限された高速道路などを走行するときに使用することを前提としています。オートステアリングを道路工事のある区間、自転車で移動している人または歩行者がいる可能性のある場所では使用しないでください。

警告: 適切な運転経路を決定する際に、オートステアリングに依存しないようにしてください。

注意: オートステアリング および関連する機能は、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- オートステアリング が車線マーカーを正確に認識できない場合。たとえば、車線マーカーがひどくかすれている、以前のマーカーが見えている、道路工事のために車線マーカーを変更している、車線マーカーが短区間で変更されている（車線の分岐、交差、合流で）、車線マーカーに物体や景観物が影を落としている、あるいは道路の表面に舗装の継ぎ目あるいは他のコントラストの高い線があるといった状況。
- 視界不良（豪雨、降雪、濃霧など）あるいは気候条件がセンサーの動作を妨げている場合。
- カメラまたはセンサーがふさがれていたり、覆われていたり、損傷している状況。
- 坂道を運転している時。
- 料金所に接近している時。
- 運転している道路が急カーブしている場合、または過度にでこぼこしている場合。
- 明るい光 (直射日光など) がカメラの視野を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- ウィンカーを出した時に、車両がドライバーの死角で検出された場合。
- Model 3 が走行中に先行車両に近づきすぎて、カメラの視界がさえぎられている場合。

警告: 様々な不測の事態によって、オートステアリングの機能が妨害される場合があります。この点に留意し、結果的にオートステアリングでは Model 3 を適切に操車できない場合があることを常に頭に入れておいてください。常に運転に注意を払い、素早く行動できるようにしてください。

警告: オートステアリング は、部分的に車線内にある物体の周りで Model 3 を操舵するようには設計されていません。また、場合によっては、車線を完全にブロックしている物体に対して停止しない場合もあります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をすばやく取れるようにしてください。Model 3 を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。

オートレーンチェンジ

注意: オートレーンチェンジを使用して車線を変更する場合、車線変更が安全かつ適切であるかどうかを判断するのは運転者の責任です。したがって、車線変更を開始する前に、常に死角、車線マーカー、および周囲の道路状況をチェックし、目標車線への移動が安全で適切であることを確認してください。

注意: オートレーンチェンジを使用する場合は、次の制限に注意してください。

- 適切な運転経路を決定する際に、オートレーンチェンジに依存しないようにしてください。前方の道路と車両を注視し、周囲を確認し、タッチスクリーンの警告に気を配りながら注意深く運転してください。即座に対応できるように準備してください。
- 交通状況が常に変化し自転車や歩行者が多い市街地の道路では、オートレーンチェンジを使用しないでください。
- オートレーンチェンジのパフォーマンスは、車線マーカーを認識するカメラの性能に左右されます。
- 急なカーブのある曲がりくねった道路、凍結道路あるいは滑りやすい道路、または豪雨、雪や霧などの天候がカメラ、またはセンサー（装備されている場合）の機能が妨害されている場合は、オートレーンチェンジを使用しないでください。
- 追い越し加速は、上記の状況（たとえば GPS データの欠落）以外にも、予測不可能な理由によってキャンセルされることがあります。走行中は常に注意を払い、車両の加速を追い越し加速機能にのみ依存しないようにしてください。
- 追い越し加速では、該当するウィンカーを出すと車速が増し、Model 3 は加速して先行車両に近づきます。トラフィックアウェア クルーズコントロールは先行車両との車間距離を保ち続けますが、特に先行車両を追い越すつもりがない場合は、追い越し加速が作動すると選択されている車間距離が短くなる点に注意することが重要です。

赤信号と一時停止標識の警告

警告: 赤信号および一時停止標識の警告機能は、車両が赤信号や一時停止標識があることを地図で認識している必要があります。場合によっては、地図データが不正確であるか古くなっているために、すべての赤信号や一時停止標識が含まれていないことがあります。したがって、赤信号および一時停止標識の警告機能では、一部の赤信号や一時停止標識を検出できない可能性があります。

警告: 赤信号および一時停止標識の警告機能においては、Model 3 にブレーキングや減速を適用せず、すべての信号機および一時停止標識を検出できるとは限りません。赤信号および一時停止標識の警告機能は、ガイダンス目的で設計されており、注意深い運転や適切な判断をしなくてもよいわけではありません。走行中は、赤信号および一時停止標識を警告する赤信号および一時停止標識の警告機能に任せきりにせず、常に道路に注意を払ってください。

警告: 赤信号および一時停止標識の警告機能は、目に見える赤信号が点灯または黄色の信号機の後半部分に近づいたときにのみ警告するように設計されています。信号が点滅している交差点については警告しない場合があります。また、「道譲れ」標識や工事現場などの一時的な停止標識についても警告しません。さらに赤信号および一時停止標識の警告機能は、赤信号や一時停止標識に接近しているときに、アクセルペダルやブレーキペダルを踏んでいる場合は警告を出しません（オートステアリングが無効になります）。

ナビゲート オン オートパイロット

警告: オフランプでの適切な車線を決定する際は、ナビゲート オン オートパイロットに依存しないでください。常に注意を払い、目視チェックを行い、安全で適切な走行車線を確実に選ぶように心がけてください。

警告: **「車線変更の確認をする」**をオフにした場合、ナビゲート オン オートパイロットは、近づく車線変更とオフランプを知らせますが、常に周囲環境を監視して Model 3 の制御を維持するのはドライバーの責任です。突然、急に車線変更をしなければいけない可能性があります。常にハンドルから手を離さず、前方の走行経路から目を離さないでください。

警告: ナビゲート オン オートパイロットは、自律的な運転を行うものではありません。ドライバーは、走行する道路に注意を払い、常にハンドルを握った状態を維持し、ナビゲーション ルートを認識し続けている必要があります。

警告: 通常の運転と同様に、見通しの悪い曲がり角や高速道路の入口、出口、またはインターチェンジでは、障害物が突然現れる可能性がありますので特に注意を払ってください。

警告: ナビゲート オン オートパイロットでは、近づいてくる車両、静止した物体、バイクやカープールや緊急車両などの専用の特別な車線を認識したり検出したりすることができない場合があります。常に警戒を怠らずに、即座に対応できる準備をしておいてください。そうしない場合は、損傷や重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

フルセルフドライビング（スーパーバイズド）（市街地でのオートステアリング）

警告: フルセルフドライビング（スーパーバイズド）（「市街地でのオートステアリング」とも呼ばれる）は Model 3 に自律運転するものではなく、ドライバーは周囲に注意を払い、すぐに運転を変わる準備ができている必要があります。

警告: フルセルフドライビング（スーパーバイズド） では、常に道路に注意を払い、いつでも操作を引き継げる準備をしている必要があります。常に注意を怠らず、道路状況や周囲の交通状況に注意し、歩行者や自転車に注意を払い、常にすぐに行動できるように準備してください（特に見通しの悪いコーナー、交差点、狭い場所での運転時には注意が必要です）。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。フルセルフドライビング（スーパーバイズド）の制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、制限と警告 ページ 135 を参照してください。

警告: すべての警告および指示に従わないと、損害、重大な怪我、または死亡事故につながる恐れがあります。

注意: フルセルフドライビング（スーパーバイズド）およびその関連機能は意図された通りに動作しない場合があり、ドライバーによる介入が必要となるいくつかの情況があります。例を挙げます（ただし、これらに限定されるものではありません）：

- 歩行者、自転車、およびその他の道路使用者との遭遇。
- 車両が高速に行き交う交差点での安全保護されていない右左折。
- 複数車線での右左折。
- 同時の車線変更。
- 細い道路で対向車が向かってくる場合や、車両が二重駐車している場合。
- トレーラー、ランプ、荷物、開いたドアなど通常車内に収められている物が車両から突き出ている場合。
- 交通量が多く、高速で移動する車両が行き交う道路への合流。
- 路上の障害物。
- 工事中のゾーン。
- 急カーブのある道路（特に走行速度が高い場合）。

フルセルフドライビング（スーパーバイズド）の利用には視界の確保が重要です。照明が暗い場合や気象条件が悪い（雨、雪、直射日光、霧など）場合、性能が著しく低下する可能性があります。

警告: Model 3 ドライバーの即座の介入を必要とする予期せぬ挙動や誤りが突然発生する場合があります。

上述のリストは、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）の予期せぬ挙動につながるシナリオのごく一部を取り上げたにすぎません。実際、Model 3 が障害物のないまっすぐ続く道路を進んでいるときに、突然道路からそれてしまうといったこともありえます。できるだけ早めに対応動作が必要であるか判断できるよう、警戒を怠らず常に道路に注意を払ってください。これは先行リリースの機能であって、特に注意して使用する必要があります。

注意: フルセルフドライビング（スーパーバイズド）の装備が拡張されるのに伴い、Tesla は米国以外の国のお客様を対象にした利用を段階的に可能にしていく予定です。それぞれの国においては、フルセルフドライビング（スーパーバイズド）を時間をかけて適応させる必要のある独自のインフラ、運転動作、および交通パターンがあるので、新たに対象となった国でフルセルフドライビング（スーパーバイズド）を使用するドライバーは特に注意を払う必要があります。いつでも安全に運転を代われる準備ができている必要があります。

オートパーキング

注意: オートパーキングのパフォーマンスは、車両が縁石、物体およびその他の車両に接近している程度を、カメラおよびセンサー（装備されていれば）が判定する能力によって左右されます。オートパーキングの使用前および使用中は、以下の警告に注意してください。

- ボール ヒッチ、バイク ラック、トレーラーなどをけん引ヒッチに取り付けている場合はオートパーキングを使用しないでください。 オートパーキング は、他の車両の間や前方に駐車する場合、ヒッチで停止しない可能性があります。
- 決してオートパーキングに任せきりにせず、合法かつ適切で、安全な駐車スペースを 見つけてください。 オートパーキング では、常にパーキング スペースの目標物を検出できるとは限りません。駐車スペースが適切かつ安全であることを、常に目で見て確認してください。
- Model 3 のオートパーキングが作動している時、ハンドルはオートパーキングによる調整に従って動きます。ハンドルの動きを邪魔しないようにしてください。ハンドルの動きを妨げると、オートパーキングがキャンセルされます。
- パーキング中は、常時周囲に目を配ってください。いつでもブレーキをかけて車両や歩行者や物体を避けられるようにしてください。
- オートパーキング作動中はタッチスクリーンに目を配り、オートパーキングからの指示を認識できるようにしてください。

注意:

オートパーキング は、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 道路が傾斜している場合。 オートパーキング は平らな道路のみで動作するよう設計されています。
- 視界が悪い場合 (激しい雨、雪、霧など)。
- 縁石が石以外のものでできている場合、または縁石が検出できない場合。
- 目標とする駐車スペースが、壁または柱に直接隣接している場合（たとえば地下立体駐車場の駐車スペースの列の終端など）。
- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。

警告: 予期しない状況により、オートパーキングで Model 3 を駐車できないことがあります。この点に留意してください。結果的にオートパーキングでは Model 3 を適切に駐車できない場合があります。Model 3 のパーキング時には注意を怠らず、いつでもすぐに制御ができるようにしてください。

Model 3 走行中の車線のマーカーおよび周囲に車両やその他の障害物がないか監視します。

警告: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（カメラのクリーニング ページ 205 を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model 3 のタッチスクリーンにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

警告: レーンアシストは誘導のみを目的としており、運転者の目視による確認の代わりになるものではありません。車線変更前には、必ずサイド ミラーを使用し、適切な肩越しチェックを実行して、車線を変更しても安全で、それが適切であるかを目で確認する必要があります。

警告: レーン アシストは、気付かないうちに走行レーンの外側を運転している状態や、 自車のそばや死角に車両がいるなどの状態を知らせてくれるものではありません。レーン アシストのパフォーマンスを損なう外的な要因はいくつかあります（制限事項および不正確性 ページ 140 を参照）。警戒を怠らず、走行車線や他の車両に注意を払うのはドライバーの責任です。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

ステアリング介入

レーンアシストは、Model 3 が隣の車線に入り込み（近づいて）車両などの物体が検出された場合、操舵に介入します。このような状況では、Model 3 は自動的にハンドルを操作して、走行車線内の安全な位置に移動します。このステアリングは、車線区分線がよく見える主要道路を Model 3 が 30〜85 mph（48〜140 km/h）で移動しているときのみ作動します。自動的なハンドリングが実行されると、少しの間、タッチスクリーンに警告メッセージが表示されます。

車線逸脱防止

車線逸脱防止機能は、Model 3 が走行車線から逸脱している、または走行車線の端に接近した場合に警告するように設計されています。

車線逸脱防止機能は、車線区分線がはっきり見える道路を時速 40〜90 マイル (64〜145 km)で走行中にのみ作動します。車線逸脱警報の有無、警告方法を選択するには、**コントロール** > **オートパイロット**、**「車線逸脱防止」**の順にタッチして以下のオプションのいずれかを選択します。

- **オフ**: 車線逸脱や隣接車線の車両との衝突が起こりそうな場合も警告は発せられません。
- **警告**: 前輪が車線区分線を越えると、青色のインジケーターラインがタッチスクリーンに表示され、ハンドルが振動します。（フルセルフドライビング（スーパーバイズド）を装備している車両の場合：前輪が車線区分線を越えると、ハンドルが振動します。）
- **アシスト**: 車両が越えようとしているラインに対応する青色のインジケーター ラインがタッチスクリーンに表示されます。Model 3 が隣接車線に入り込むか、道路の端に接近した場合、Model 3 を安全な位置に留めるため、ステアリング修正が適用されます。

車線逸脱防止が有効で、トラフィックアウェア クルーズコントロールが機能している場合、該当するウィンカーがオフの場合に Model 3 が走行車線を逸脱すると、レーンアシストが、ドライバーの手がハンドルの上にあるかを確認します。ドライバーの手が検知されなければ、タッチスクリーンには、オートステアリングで運転するときに使用したものと同様の連続警報が表示されます。手の検知に繰り返し失敗すると、Model 3 は速度制限または設定クルージング速度から 15 マイル（25 km/h）遅い速度まで徐々に減速し、ハザード ライトが点滅し始めます。

注: 車線逸脱防止機能では、対応する方向指示器がオンになっていて意図的な車線変更が示されていれば、車線を離れても警告は発生せず、操舵の割り込み動作も発生しません。

警告: 車線逸脱防止機能は、安全に走行できるようにアシストすることを目的としたものですが、必ず作動するものではありませんので、ドライバーは注意して車両を運転する必要があります。

警告: 常に手はハンドルに置いて、慎重に運転してください。

警告: ステアリング介入は最小限しか行われず、Model 3 を走行車線外に移動させることはありません。側面衝突を避けるためにステアリング介入に頼ることはしないでください。

緊急車線逸脱防止

緊急車線逸脱防止機能では、以下のような状況で衝突の危険性を回避するため、ハンドルが自動的に切られます:

- Model 3 が車線を離れて（方向指示器のステータスとは無関係に）、隣の車線で同じ方向に走行している車両と衝突しそうなとき。
- Model 3 が方向指示器がオフで車線を離れて対向車線に入りそうになり、対向車が検知されたとき。
- Model 3 が道路から逸脱しそうで、方向指示器がオフのとき（道路端に非常に近寄り過ぎて、衝突する恐れがある場合など）。

この機能をオン、オフするには、**コントロール** > **オートパイロット**をタッチして、**「緊急車線逸脱防止」**をタッチします。

緊急車線逸脱防止がステアリングに適用されると、チャイムが鳴り、タッチスクリーンには警告が表示されて車線区分線が赤色で強調表示されます。

緊急車線逸脱防止機能は、車線区分線がよく見える主要道路を Model 3 が 30〜90 mph（48〜 145 km/h）で移動しているときのみ作動します。

警告: 緊急車線逸脱防止機能があるからといって、注意深い運転や適切な判断が不要になるわけではありません。運転時は道路を注視し、緊急車線逸脱防止機能で衝突が回避できるとは思わないでください。運転パフォーマンスを低下させ、損なう要因がいくつかあります。緊急車線逸脱防止機能で衝突が回避できると考えてしまうと、重傷事故や死亡事故につながるおそれがあります。

ブラインドスポット インジケータ

ブラインドスポット衝突警告チャイム

死角に他の車両があり衝突の危険が検知されたときにチャイムがなるよう設定するには、**「コントロール」** > **「安全」** > **「ブラインドスポット衝突警告チャイム」**の順にタッチします。

警告: ブラインドスポットカメラ が搭載されていても、車線変更するときは周囲に注意を払い、肩ごしから後方確認を必ず行ってください。

警告: ブラインドスポット衝突警告チャイムは、すべての衝突を検出できるわけではありません。車線変更するときは、注意を怠らず、肩越しから後方確認を行うことはドライバーの責任です。

ブラインドスポット警告ライト

左右のフロント ドア ピラーにあるアッパー スピーカー グリルにはブラインド スポット警告ライトが装備されています。**「コントロール」** > **「安全」** > **「ブラインドスポットインジケータ」**の順にタッチすることで、このインジケータを有効または無効にすることができます。隣接する車線のドライバーの死角に障害物を検出した場合、アッパー スピーカー グリルに赤色のライトが表示されます。

- 赤色のライトが点灯している場合、ドライバーの死角に障害物が検出されたことを示します。
- 赤色のライトが点滅している場合、ドライバーの死角に障害物があり、その方向に曲がろうとしてウィンカーが出ていることを示します。
- 赤色のライトが急速点滅している場合、障害物が検出されていて、衝突を回避するためには直ちに是正措置をとる必要があることを示します。

ドライバーの死角に障害物が検出されているときにドアを開けようとすると（例えば、Model 3 が駐車中に後方から自転車が接近している場合）、ブラインドスポット警告ライトが点滅し、タッチスクリーンに警告が表示され、ボタンを押しても 1 回目はドアは開きません。少し待ってからボタンをもう 1 回押すと、障害物がまだ検知されている場合でも警告は解除されドアが開きます。

警告: ブラインドスポット警告ライトに頼って死角にある障害物を見つけようとしないでください。Model 3 がパーキングにシフトされているときにドライバーの死角に接近する障害物がある場合は、必ずドアがロックされるとは思い込まないでください。車線変更をする際やドアを開ける際は、障害物や車両、歩行者がないことを必ず目視確認してください。

制限事項および不正確性

レーン アシスト機能は、必ずしも常に車線区分線を検出できるわけではなく、以下の場合、不必要な警告または不正警告が発生することがあります。

- 視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合（豪雨、降雪、濃霧など）。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- Model 3 の前の車両がカメラの視野を妨げている。
- フロント ガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている（くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど）。
- 車線区分線が摩耗しすぎている、以前の車線区分線が見える、または道路工事のために変更されている、または（車線が分岐、交差、合流しているなど）急激に変化している場合。
- 道路がせまく、曲がりくねっている場合。
- 車線区分線上に影を落とすような物体や景観物がある場合。

以下の場合、レーンアシストが警告を出さなかったり、誤った警告を出したりすることがあります。

- 1 つ以上のセンサー（装備されている場合）またはカメラが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりしている場合。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。

- Model 3 に取り付けられている物体（バイクラックやバンパーステッカーなど）がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。

さらに、以下の状況では、 レーンアシストは Model 3 を隣の車両から離れるようにステアリング操作しなかったり、不要または不適切なステアリング制御をする場合があります。

- Model 3 が急カーブを走行中か、比較的高速でカーブを曲がっている。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- 隣のレーンにふらついたが、物体（車両など）が存在しない。
- 隣のレーンにいる車両が前に割り込むかあるいは自分の車線にふらついてきた。
- Model 3 レーン アシスト機能が動作する設計上の速度範囲内で走行していない。
- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）が損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model 3 に取り付けられている物（自転車ラックやバンパーステッカーなど）がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。
- 視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合（豪雨、降雪、濃霧など）。
- 車線区分線が摩耗しすぎている、以前の車線区分線が見える、または道路工事のために変更されている、または（車線が分岐、交差、合流しているなど）急激に変化している場合。

注意: トラック モードがオンの場合、ドライビングアシスト機能は自動的に無効になります。どのような場合にも（サーキット走行時を含みます）、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。トラック モードをオフにすると、ドライビングアシスト機能が自動的に再有効化されます。

警告: 上記のリストは、レーン アシスト機能を妨げるすべての状況を表しているわけではありません。レーン アシスト機能が想定どおり機能しない理由はさまざまです。衝突を回避するために、万が一の場合にできるだけ早く反応できるよう走行する道路に注意を払ってください。

衝突回避アシスト

以下の衝突回避機能は乗員の安全性を高めることを目的とするものです。

- **正面衝突警告**は、Model 3 が正面衝突の危険が高い状況を検出した場合、視覚、聴覚、による警告を発します（正面衝突警告 ページ 142 を参照）。
- **自動緊急ブレーキ**は、正面衝突の衝撃を緩和するために自動的にブレーキをかけます（自動緊急ブレーキ ページ 143 を参照）。
- **障害物検知走行モード** - Model 3　がその直進経路内に物体を検出した場合に加速を減少させます (障害物検知走行モード ページ 144　を参照)。

注意: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（カメラのクリーニング ページ 205 を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model 3 のタッチスクリーンにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

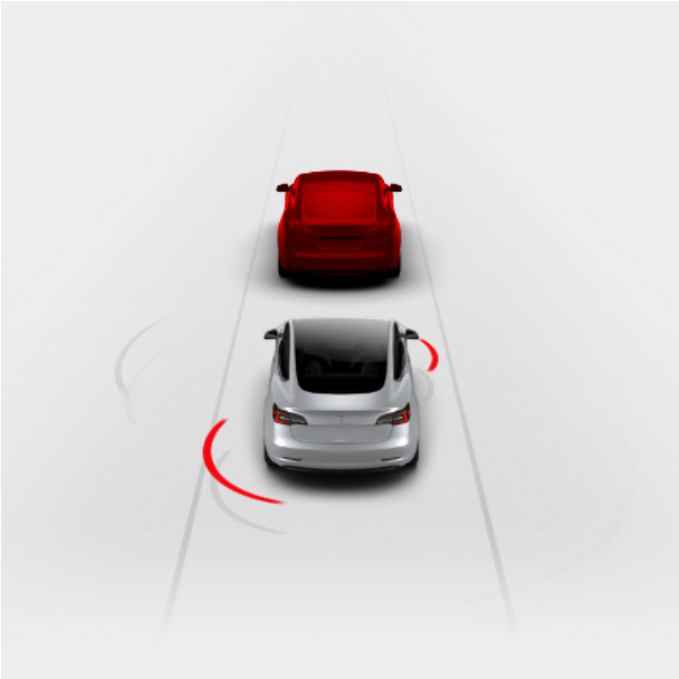
警告: 正面衝突警告は運転補助の目的のみに作られており、注意深い運転や適切な判断に代わるものではありません。走行中は常に道路に注意を払い、正面衝突警告に頼らずに衝突を回避するように心がけてください。性能はさまざまな要因によって低下するか妨げられ、不必要または不正確な警告を行う、あるいは警告を行わない可能性があります 。衝突危険性の探知を正面衝突警告のみに頼ることで、重大な事故や死亡事故が発生する恐れがあります。

警告: 自動緊急ブレーキは、衝突を完全に防止するように設計されたものではありません。状況によっては、走行速度を落とすことにより衝突の衝撃を最小限にくいとめることができます。衝突回避を自動緊急ブレーキに頼りすぎると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

警告: 障害物検知走行モードは、衝突を防止するように設計されたものではありません。状況によって、衝突時の衝撃を最小限に抑えるよう働きます。衝突回避を障害物検知走行モードに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

正面衝突警告

Model 3 前方に、車両、オートバイ、自転車または歩行者といった障害物が存在しているかを監視します。ドライバーがすばやい是正行動をとらない限り、衝突すると思われる場合、正面衝突警告によってチャイムが鳴り、タッチスクリーンに前方の車両が赤色で強調表示されます。これが表示されたら、**直ちに是正措置を取ってください。**



視覚および聴覚による警告は衝突の危険性が低くなったときに自動的に停止します（例えば Model 3 を減速または停止させた場合や、車両前方の物体が走行経路から外れた場合など）。

Model 3 が正面衝突警告を出したとき、衝突を回避する操作が即座に行われずに衝突の可能性が非常に高くなった場合は、自動緊急ブレーキ（有効になっている場合）がかかる場合があります（自動緊急ブレーキ ページ 143 を参照）。

初期設定では正面衝突警告はオンになっています。オフにする、または感度を調整するには、**コントロール** > **オートパイロット**にタッチして、**「正面衝突警告」**を選択します。標準設定の**「中間」**のほか、警告を**「OFF」**、**「遅め」**または **「早め」**に設定することができます。

注: 選択した設定は、手動で変更されるまで維持されます。

警告: 正面衝突警告に関係するカメラやセンサー（装備されていれば）は、走行ルート上およそ 525 フィート（160 m）の範囲を監視するよう設計されています。正面衝突警告システムは道路や気象条件によって悪影響を受ける場合があります。運転時には適切な注意を払ってください。

警告: 正面衝突警告は視覚的および音声的な警告を行うためだけに設計されています。ブレーキを作動させたり、Model 3 を減速させるものではありません。警告の表示や音声通知があった場合は、ただちに是正措置をとるのはドライバーの責任です。

警告: 正面衝突警告は、衝突の危険性がないにも関わらず誤って警告する場合があります。常に警戒を怠らず、Model 3 の前方に注意を払い、何らかのアクションの必要がないか予測してください。

正面衝突警告は、3 mph（5 km/h）～124 mph（200 km/h）で運転している場合にのみ作動します。

警告: 正面衝突警告は、ドライバーがすでにブレーキを踏んでいる場合、警告を出さないことがあります。ただし、他のアクティブ セーフティ 機能（自動緊急ブレーキなど）が作動した場合は、Model 3 がドライバーがブレーキ ペダルを踏んでいる状態でもブレーキを作動させることがあります。この場合、タッチスクリーンにメッセージが表示され、チャイム音が鳴ります。

自動緊急ブレーキ

Model 3 検出した物体までの距離を判定するように設計されています。自動緊急ブレーキは、衝突が不可避と見なされたときにブレーキをかけ、減速して衝突の衝撃を和らげるように設計されています。減速の程度は、巡航速度や環境など多数の要因に左右されます。

自動緊急ブレーキがかかると、タッチスクリーンに警告が表示され、チャイムが鳴ります。ブレーキ ペダルが急に押し下げられることにも気がつくでしょう。ブレーキ ライトも点灯し、他の道路ユーザーに減速中であることを知らせます。

緊急ブレーキが作動中です

自動緊急ブレーキは、3 mph（5 km/h）～124 mph（200 km/h）で運転している場合にのみ作動します。

自動緊急ブレーキは以下の状況ではブレーキをかけない場合や、作動させていたブレーキを解除する場合があります。

- ハンドルを急に回転させた場合。
- 自動緊急ブレーキがブレーキをかけている間、ブレーキ ペダルを踏んで放した場合。
- 自動緊急ブレーキがブレーキを作動させている際に運転手が加速した場合。
- 車両の前方または後方に、車両、オートバイ、自転車、および歩行者が検出されなくなった場合。

自動緊急ブレーキは、Model 3 を始動すると常に有効になります。現在の運転において無効化する場合、パーキングにシフトし、**コントロール** > **オートパイロット**にタッチして、**「自動緊急ブレーキ」**にタッチします。自動緊急ブレーキを無効にしても、最初の衝突を検知すると、車両がブレーキを掛けてさらなる衝撃を減らそうとする可能性があります(マルチ衝突ブレーキ ページ 143 を参照)。無効にすると、タッチスクリーンに視覚的なメッセージが表示されます。

自動緊急ブレーキが無効になっています

警告: 自動緊急ブレーキは無効にしないことを強く推奨します。無効にすると、Model 3 は衝突不可避と見られる状況でも自動的にブレーキをかけません。

注: 自動緊急ブレーキは正面衝突の衝撃だけを緩和するように設計されています。

注: 自動緊急ブレーキは、正面衝突および後進時の衝突の衝撃を緩和するように設計されていますが、リバースにシフトしているときは機能に制限があります。

自動緊急ブレーキは利用できない場合は、タッチスクリーンに、警告が表示されます。

自動緊急ブレーキは利用できません。

警告: 自動緊急ブレーキは衝撃を緩和するように設計されています。衝突を回避するようには設計されていません。

警告: 車両の一部が走行経路内にあるときや道路の破損があるときなど、自動緊急ブレーキの性能に影響を及ぼすいくつかの要因により、制動しない場合や、不適切またはタイミングの悪いブレーキをかける場合があります。どのような場合にも、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。決して自動緊急ブレーキに頼って衝突の衝撃を回避または緩和しようとしないでください。

警告: 自動緊急ブレーキは、前方の車両との安全な車間距離を維持する代わりになるものではありません。

警告: 自動ブレーキが作動すると、ブレーキ ペダルが急に下がります。ブレーキ ペダルは常に自由に動くようにしておいてください。運転席フロアマット（追加のマットも含む）の下にも上にも物を置かないようにして、常に運転席のフロアマットは正しく固定されているようにしてください。これを怠ると、ブレーキ ペダルの自由な動きが妨げられることがあります。

マルチ衝突ブレーキ

自動緊急ブレーキに加え、エアバッグまたはシートベルト プリテンショナーの作動がが検知されると、Model 3 は最初の衝突の後、その後の衝撃を防止または軽減するためにブレーキを掛けることがあります。ブレーキは運転速度に関係なく掛けられることがあります。

リア クロストラフィック アラート

Model 3 がリバースにシフトしていて、タッチスクリーンにはリア ビュー カメラの送信画像が表示されている場合、ある物体（他の車両または歩行者）が Model 3 の後方を横切ろうとしていることを Model 3 が検知すると、赤色の縦棒が表示されます。

例えば、駐車スペースから後進で出ようとしているときに、他の車両がドライバーの左側から接近している場合、カメラ表示の左側に赤色の棒が表示されます。Model 3 の両側から複数の物体が接近している場合、カメラ画像の両側に赤色の棒が表示されます。

Model 3 の後退中に、リア クロストラフィック アラートが物体の接近を検出したときにチャイムを鳴らしたい場合は、**「コントロール」** > **「安全」** > **「リア クロストラフィック チャイム」**の順にタップします。

「リア クロストラフィック チャイム」を有効にすると、以下の条件をすべて 満たした場合にのみチャイムが鳴ります。

- Model 3 がリバースにシフトされている。

- Model 3 が動いている（速度に関係なく）。
- Model 3 が横切る方向の他の交通を検知した。

Model 3 がリバースにシフトされているが、停止状態である場合、横切る方向の他の交通を検知してもチャイムは鳴りません。

Model 3 が後進しているときに、これを横切る交通が検出されると、衝突を回避しようとして、自動緊急ブレーキまたは障害物検知走行モードによってブレーキが作動することがあります。自動緊急ブレーキまたは障害物検知走行モードに頼って、衝突を回避しようとしないでください。詳細については、自動緊急ブレーキ ページ 143 と障害物検知走行モード ページ 144 を参照してください。

警告: 車両の周囲に物体や人間が存在しないことを確認するのに、リア クロストラフィック アラートの通知に過度に依存しないでください。このカメラは、損害や障害の原因となるおそれのある物体や障壁を、特にそれらが地上から極めて低い場合に、検出できない可能性があります。また、カメラの検出能力はレンズの汚れや視界の遮断など、いくつかの外的要因によって低下することがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、カメラは補助としてご利用ください。リア クロストラフィック アラートは目視確認の代わりとなるものではなく、また安全運転を不要にするものでもありません。

障害物検知走行モード

障害物検知走行モードは、Model 3 が走行経路に物体を検出すると、モーターのトルクを下げることによって、衝突の衝撃を緩和するように設計されています。ブレーキが自動適用されると、タッチスクリーンに、警告が表示され、チャイム音が鳴動します。例えば、Model 3 がドライブにシフトされた状態で閉じたガレージドアの前で駐車しているときに、アクセルペダルが強く踏まれたことを検出します。Model 3 は加速してガレージドアに衝突してしまいますが、トルクを下げたため損傷が軽減されることが期待できます。

障害物検知走行モードは、以下の条件が同時にすべて 満たされると作動します:

- ドライブまたはリバースにシフトされている。
- Model 3 停止しているか、または 10 mph（16 km/h）未満で走行している。
- Model 3 進路方向にある直近の物体を検出している。

障害物検知走行モードを無効にするには、**コントロール** > **オートパイロット**をタッチしてから、**「障害物検知加速」** をタッチします。

警告: 障害物検知走行モードは衝撃を緩和するように設計されています。衝突を回避するようには設計されていません。

警告: 障害物検知走行モードはあらゆる状況でトルクを制限するものではありません（例: 駐車スペースへの小回り旋回を実施している場合）。環境条件、障害物からの距離、およびドライバーの反応などの要因により、障害物検知走行モードは動作が制限、遅延、または抑制される場合があります。

警告: 障害物検知走行モードを利用して加速を制御したり、重大な衝突の回避を試みるなど、障害物検知走行モードを試さないでください。これを行うと、重大な損害やけが、死亡事故につながる恐れがあります。

警告: いくつか要因が障害物検知走行モードの性能に影響して、モーター トルクの不適切な、またはタイミングのずれた減少が生じたり、することがあります。どのような場合にも、安全運転と Model 3 のコントロール維持はドライバーの責任です。

制限事項および不正確性

衝突回避機能はすべての物体、車両、自転車または歩行者を確実に検知できるものではなく、特に以下の場合を含むさまざまな理由から不必要、不正確な警告あるいは見逃しが起こる場合があります。

- 道が鋭くカーブしている場合。
- 視界が悪い場合 (激しい雨、雪、霧など)。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- カメラまたはセンサーがさえぎられている（汚れている、覆われている、曇っている、ステッカーなどでふさがれている）。
- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）が損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。

注意: 衝突回避アシスト機能が故障した場合は、Model 3 に警告が表示されます。Tesla サービスにお問い合わせください。

注意: トラック モードがオンの場合、ドライビングアシスト機能は自動的に無効になります。どのような場合にも（サーキット走行時を含みます）、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。トラック モードをオフにすると、ドライビングアシスト機能が自動的に再有効化されます。

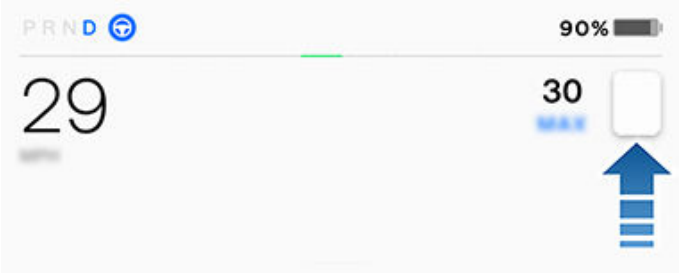
警告: 前述の制限事項は衝突回避アシスト機能の正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。これらの機能はその他の多くの理由でも当初の機能を発揮しない場合があります。ドライバーは、衝突を回避するために常に周囲に注意を払い、素早く回避行動が取れるようにする責任があります。

スピードアシストの動作原理

Model 3 タッチスクリーン上に制限速度が表示され、走行速度が制限速度を超えたときの警告の有無、警告方法を選択することができます。また、速度制限のアイコンの周りに青色の輪郭が表示された場合、速度制限を超えていることを知らせています。

検出された速度制限を利用せずに、手動で入力する任意の速度制限をもとに警告を出すこともできます。

注: トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用しているときにこの速度制限記号をタッチすると、検出した速度制限（設定したオフセットを含む）に設定速度を自動的に変更できます。



Model 3 が速度制限を判断できない状況、またはスピード アシストが不確実で取得された速度制限が正確であった場合、タッチスクリーンに速度制限標識が表示されず、警告がでないことがあります。

注: 速度制限警告は 10 秒後または Model 3 が速度制限未満に減速すると解除されます。

警告: 適切な速度制限または運転速度を判断するためにスピードアシストに頼らないでください。常に交通と道路の状況に基づいて安全な速度で運転してください。

スピードアシストの制御

制限速度警告を調整するには、**コントロール** > **オートパイロット**をタッチしてから、**「制限速度警告」**にタッチして、以下のいずれかのオプションを選択します。

- **オフ** - 速度制限警告は表示されず、警告チャイムが鳴りません。
- **表示** - タッチスクリーンに速度制限標識が表示され、設定した制限を超えると標識のサイズが徐々に大きくなります。
- **チャイム** - 速度制限を超えたら、視覚的な表示に加えて、チャイムを鳴らします。

速度制限をどのように決めるかを指定することもできます。

- **相対** - 速度制限に指定したオフセット分だけ超えた時に警告を出したい場合は、速度制限のオフセット値（+または-）を設定することができます。たとえば、速度制限を 時速 10 km（10 マイル）超えるときだけ警告を出したい場合、オフセット値を時速 10 km（10 マイル） 上げます。
- **絶対** - 20 mph から 140 mph（時速 30 km から 240 km） の間で速度制限を手動で指定します。

注: スピードアシストが必ずしも正確というわけではありません。道路の位置を誤って計算し、スピード アシストが速度制限の異なる直接隣接した道路の速度を表示する状況が発生する可能性があります。たとえば、Model 3 が高速道路または有料道路などアクセスが制限された道路を走行しているとスピードアシストが判断しても、実際には近くの一般道路を走っていることや、その逆となる場合があり得ます。

注: 選択した設定は、手動で変更されるまで維持されます。

制限事項および不正確性

スピードアシストは完全に機能しないことがあり、以下のような場合に不正確な情報を提示することがあります。

- 視界が悪く、速度制限標識がはっきり見えない (豪雨、降雪、霧など)。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- Model 3 走行中前方車両に近づきすぎて、カメラの視界がさえぎられている。
- フロント ガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている（くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど）。
- 速度制限標識が何かで隠れている。
- 地図データベースに保存されている速度制限が不正確であるか、古い情報である場合。
- Model 3 が GPS や地図データが利用できない場所や、速度制限標識が検出できない領域を走行している場合。
- デジタル式や一時的な速度制限標識といった、標準認識可能な様式に準拠していない交通標識である。
- 道路や速度制限が最近変わった。

警告: 前記のリストはオートパイロットコンポーネントの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。スピードアシスト警報が正しい警報を発することができなくなる理由は他にも数多くあります。

キャビン用カメラ

Model 3 は、バックミラーの上にキャビンカメラを装備しています。

キャビンカメラはオートパイロットが作動している場合、ドライバーの注意不足を判断して、道路を注視するように警報を出します。

デフォルトでは、データ共有を有効にしない限り、カメラで撮られた画像や動画が外部に流出したり他人（Tesla を含む）に送信されたりすることはありません。データ共有を有効にしているときに（衝突といった）深刻な安全上のリスクやイベントが発生すると、Model 3 により画像や短時間のビデオ クリップが Tesla と共有され、Tesla は、それらを今後の安全性強化のための開発やキャビン カメラを利用したインテリジェント機能の継続的な改良に役立てます。また、キャビン カメラ機能によって診断が要求される場合も、データを共有します。キャビン カメラは顔認識およびその他の本人確認方法を実行しません。お客様のプライバシーを守るため、キャビン カメラ データは車両 ID 番号と関連付けされていません。

データ共有設定を調整にするためには、**「コントロール」** > **「ソフトウェア」** > **「データ共有」** > **「キャビンカメラ分析を許可する」**の順にタッチします。データ共有設定はいつでも変更することができます。現在有効になっている機能で、キャビン カメラを使用するものを表示するには、**「コントロール」** > **「ソフトウェア」** > **「キャビンカメラ」**の順にタッチします。

注: カメラのレンズは、常にきれいに保ち障害物がないようにしてください。たまってくるゴミやほこりは、ときどききれいな布でカメラのレンズを拭いて取り除いてください。

注意: 薬品系や研磨剤系のクリーナーは使用しないでください。これらを使用すると、カメラ レンズの表面に傷がつく可能性があります。

注: 販売地域、年式、およびソフトウェア バージョンによっては、車両にキャビンレーダーが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

お客様の車両には、前列のルームライトの上にキャビンレーダーが装備されています。

キャビンレーダーは車内の人の存在を検知し、その測定値から乗車状況を判断することができます。キャビンレーダーはドライバー検知、シート着座状況、オートパーキング ブレーキの自動作動など、特定の車両および安全機能をサポートします。

警告: この装置を塞いだり遮ったりしないでください。障害物や、サングラス ホルダーといった市販の追加アクセサリーは、ドライバー検知のための重要な安全機能の指示値を不正確にする可能性があります。

注: キャビン レーダーは、人物の特定ができないので、個人を特定する情報を転送したり保持したりすることはありません。

セキュリティ システムについて

Model 3 が認証された携帯電話またはキー フォブを検出していない状態でロックされたドアやトランクが開かれると、アラーム音が鳴ります。ヘッドライトと方向指示器のランプが点滅します。アラームを解除するには、モバイルアプリにあるいずれかのボタンを押すか、キーカードで運転席側ドアピラーのオートパイロット用カメラのすぐ下にあるカードリーダーをタップします。

アラーム システムを手動でオン/オフするには、**「コントロール」** > **「安全」** > **「セキュリティ アラーム」**の順にタッチします。ON に設定すると、Model 3 から離れ、認識されたキーが車内またはその近くで検出されなくなってから 1 分経つとアラームが作動し、ドアがロックされます。

ロックされたドアやトランクが開かれたときに Model 3 が近くにキーを検知できない状況においては、バッテリーでバックアップされたサイレン（装備されている場合）が鳴動します。車両がキャビン内で動きを検知した時にこのサイレンが鳴るように設定したい場合は、**「チルト/侵入」** を有効にします(チルト/侵入（装備されている場合） ページ 148 を参照)。

注: Model 3 がセントリーモードの場合（セントリーモードの使い方（USB フラッシュ ドライブあり） ページ 152 を参照）、**「セキュリティアラーム」**設定は使用できません。

チルト/侵入（装備されている場合）

構成、販売地域、または製造日により、この機能が車両に装備されていない場合があります。

「セキュリティ アラーム」を有効にするには、**「傾き/侵入検知」**をオンにしなければなりません。

「傾き/侵入」設定がオンになっていると、Model 3 がキャビン内の動きを検出したり、車両が動かされたり傾けられたりした場合（けん引やジャッキアップにより）にサイレンが鳴ります。有効にするには、**「コントロール」** > **「安全」** > **「チルト/侵入」**の順にタッチします。

車両を離れた後に空調システムが作動している場合、侵入センサーは自動的に無効になります（を参照）。これを有効のままにするには、「エアコンをオンのままにする」、「ドッグ モード」、または「キャンプモード」を選択した後に手動で侵入センサーを ON にします。

チルト/侵入センサーは、各走行サイクルの開始時に自動的に再度有効になります。

注: キャビン過熱保護を使用するには、**チルト/侵入**アラームをオフにする必要があります（キャビン過熱保護 ページ 159 を参照）。

注: ロックした後、車内に何か動くものを残さなければならない場合、**チルト/侵入**は必ずオフにしてください。この設定がオンの場合、Model 3 内部で動きが検知された場合、侵入アラームが鳴動します。

注: Model 3 がセントリーモードの場合（セントリーモードの使い方（USB フラッシュ ドライブあり） ページ 152 を参照）、**「チルト/侵入」**設定は使用できません。

ペアレンタルコントロール

ペアレンタルコントロールにより、Model 3 の機能を制限し、安全設定を有効にして変更できないようにすることができます。

注: ペアレンタルコントロールは、Tesla モバイル アプリからもアクセスできます（バージョン 4.34.5 以降が必要です）。

注: 速度制限モードが有効になっている場合、ペアレンタル コントロールを有効にすることはできません。

安全機能が必要を有効にすると、Model 3 は以下の車両設定を有効にするか、または設定します：

注: 販売地域、車のコンフィギュレーション、購入したオプション、ソフトウェア バージョンによっては、一覧に示された機能がお客様の車両に装備されていない場合があります。

- **自動緊急ブレーキ**
- **障害物検知走行モード**
- **オートマティック ブラインドスポットカメラ**
- **ブラインドスポット衝突警告チャイム**
- 米国のみ: **自動 911 通報**
- **モバイル アクセスを許可**
- **パーキングアシストチャイム**
- **車線逸脱防止**: **「アシスト」**に設定。
- **制限速度警告**: **「チャイム」**に設定。
  - **速度制限**: **「相対」**に設定。
  - **オフセット**: 「+5mph (8 km/h)」に設定。
- **正面衝突警告**: **「早め」**に設定。

ペアレンタルコントロールを有効にしたい場合：

1. 車両をパーキングにシフトした状態で、タッチスクリーンで**「コントロール」** > **「安全」** > **「ペアレンタルコントロール」**の順にタッチします。
2. 使用したいペアレンタルコントロールを有効にするか、または設定します：
   - **速度を制限する：**Model 3 が走行できる速度の上限を設定します。
   - **加速を抑制する：**車両の**「加速」**を**「コンフォート」**に制限します。
   - **安全機能が必要：**車両のさまざまな安全機能を有効にします（装備されている場合）。ペアレンタルコントロールが有効な間は、ドライバーはこれらの設定を変更できません。
   - **使用禁止時間の通知を送信：**午後 11 時～午前 4 時の「使用禁止時間の通知」を有効にします。使用禁止時間の開始後に誰かが車両をドライブにシフトすると、Tesla モバイルアプリを通じて、車両とペアリングされているすべての電話キーに通知が送信され、Model 3 が使用中であることがユーザーに通知されます。
3. **確定**をタッチします。
4. PIN を入力します。

ペアレンタル コントロールを無効にしたい場合：

1. 車両が駐車中に、タッチスクリーンの **「コントロール」** > **「安全」**をタップします。
2. **「ペアレンタル コントロール」**に移動します。
3. **「Off」**をタッチします。
4. ペアレンタル コントロールを有効にするときに作成した PIN を再入力します。

   注: ペアレンタルコントロールの PIN を忘れた場合、または変更したい場合は、タッチスクリーンに表示される**「Tesla アカウント認証情報を入力」**リンクをタッチし、指示に従います。モバイル デバイスからペアレンタル コントロールを無効にすることはできません。

ドライブ用 PIN

セキュリティ強化のため、4 桁の PIN（個人識別番号）を入力するまでは Model 3 を運転することができません。この設定をオンにするには、**「コントロール」** > **「安全」** > **「ドライブ用 PIN」**の順にタッチして、画面の指示に従ってドライブ用 PIN を作成してください。

有効にすると、運転する前だけではなく、初めてバレーモードをオンにするときにも、4 桁のドライブ用 PIN が必要となるため、バレーモードを開始、終了するための 4 桁の暗証番号を作成します。バレーモードを開始すると、ドライブ用 PIN を入力せずにバレー係の人が Model 3 を運転できるようになります。バレーモードがオンになっているときは常に**ドライブ用 PIN** 設定はオフとなります。

ドライブ用 PIN を忘れた場合は、リンクをタッチして「ドライブ用 PIN」ポップアップに Tesla ログイン認証情報を入力し、タッチスクリーンの指示に従います。

注: まず発生しませんが、万一タッチスクリーンが反応しなくなると、PIN を入力することができなくなります。この場合は、まずタッチスクリーンの再起動を試みてください（タッチスクリーンの再起動 ページ 9 を参照）。タッチスクリーンが依然として反応しない場合でも、Tesla モバイルアプリの**「セキュリティとドライバー」** > **「PIN をクリア」**をタップすることで、ドライブ用 PIN を回避できます。PIN をクリアできるのは、車両のオーナーのみです。

グローブボックス PIN

4 桁の PIN（ドライブ用 PIN と無関係）を使用してグローブボックス内の物を保護します。有効にするには、**「コントロール」** > **「安全」** > **「グローブボックス PIN」**の順にタッチして、タッチスクリーンの指示に従います。有効にすると、グローブボックスを開くための PIN の入力を求めるプロンプトが表示されます。このセキュリティ保護を削除するには、トグルを選択して無効にしてから、PIN を入力します。

グローブボックス PIN を忘れた場合は、Tesla ログイン認証情報を入力してグローブボックスの PIN をいったんリセットし、タッチスクリーンの指示に従います。

注: グローブボックス PIN を使用すると、Model 3 がバレーモードのときでもグローブボックスを開けることができます。

速度制限モード

速度制限モードでは、加速や最大走行速度を 50〜120 mph（80〜193 km/h）の範囲内の所定の値で制限できます。この速度制限モードを初めて使用する際は、オンオフを切り替えるときに使用する 4 桁の PIN を設定する必要があります。有効な場合に車速が最大速度の約 3 mph（5 km/h）以内に近づくと、チャイムが鳴り、タッチスクリーンにメッセージが表示され、Model 3 がモバイル アプリに通知を送信します。また**「セキュリティ」** > **「速度制限モード」**の順にタッチして Tesla モバイル アプリから有効にすることもできます。速度制限モードの有効化:

1. Model 3 がパーキングに入っていることを確認してください。
2. タッチスクリーンで**「コントロール」** > **「安全」** > **「速度制限モード」**の順にタッチします。
3. 最大走行速度を設定します。
4. スライダーを**オン**の位置までドラッグします。
5. 速度制限モードをオンオフを切り替えるには、4 桁の PIN を入力します。

   注: PIN を忘れてしまった場合、Tesla アカウントのログイン認証情報を入力して速度制限モードを無効にすることができます。

注: 速度制限モードが有効になっている場合、加速設定は自動的に**「チル」**になります。

警告: 下り坂では走行速度が上昇し、Model 3 の速度が選択した最大速度を超えてしまうことがあります。

警告: 速度制限モードは、ドライバーの正しい状況判断、日々の鍛錬、制限速度および運転状態の注視にとってかわるものではありません。どの速度でも事故は発生します。安全に運転することはドライバーの責任です。

ブラウザのデータをクリア

「コントロール」 > **「サービス」** > **「ブラウザのデータのクリア」**の順に進むと、（コンピュータやスマートフォンで行う場合と同様の方法で）車両のブラウザのデータをクリアできます。これは、設定や他のドライバーがした検索を消去するといった、多くの状況で役立ちます。

都合に応じて、タッチスクリーン ポップアップのボックスをオンにして、ブックマークや履歴を除外します。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェア バージョンによっては、車両にダッシュカムが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。**カメラの使用に関しては、ドライバーの単独の責任において、すべての 地域の規則および財産権の制限を確認して、それらを遵守する必要があります。**

走行中、ダッシュカムは車両の周囲の動画を撮影しています。他の車両の外部ダッシュカムに対するのと同様にして、ダッシュカムを使用して走行中のインシデントやその他の注目されるイベントを記録します。

ダッシュカム アイコンはアプリ ランチャーにあります。アクセスを容易にするためにダッシュカム アプリを下部バーに追加することができます（マイ アプリをカスタマイズ ページ 7 を参照）。Model 3 がパーキングにシフトされているときに、ダッシュカム アイコンをタッチするとビューアが立ち上がります（録画映像を見る ページ 154 を参照）。

プライバシーを守るため、録画はフォーマットされた USB フラッシュ ドライブの車載メモリーにローカルに保存されます。記録が Tesla に送信されることはありません。 Model 3 ダッシュカムが**「オフ」**のときは、録画は実行されません。

ダッシュカムの使用方法

1. USB フラッシュ ドライブをフォーマットします。ダッシュカムで映像を保存し検索するには、正しくフォーマットされた USB ドライブを車両の USB ポートに挿入する必要があります。およそ 2020 年以降に製造された車両の場合、グローブボックスにフォーマット済みの USB ドライブが装備されています。必要な場合にフラッシュ ドライブをフォーマットするには次に示す 2 つの方法があります。
   - Model 3 を使用してフラッシュ ドライブをフォーマットします。フラッシュドライブを USB ポートに挿入し、**「コントロール」** > **「安全」** > **「USB ドライブをフォーマット」**の順に移動します。
   - コンピューター上でフラッシュ ドライブをフォーマットします。詳細情報については、ビデオ録画のための USB ドライブの要件 ページ 154 を参照してください。
2. USB フラッシュドライブを車両の USB ポートに挿入してください。グローブボックス内のポートを使用することを推奨します（装備されていれる場合）。

   注: 2021 年 11 月 1 日ごろ以降に製造された車両の一部では、センター コンソール USB ポートが充電サービスしかサポートしていない可能性があります。その他のすべての機能については、グローブボックス内の USB ポートを使用してください。
3. **「コントロール」** > **「安全」** > **「ダッシュカム」**の順にタッチしてダッシュカムを有効にします。ダッシュカムを使用して、映像の保存方法および保存タイミングを選択することができます。次から選択できます。
   - **オート**: Model 3 が衝突やエアバッグの展開といった安全重要イベントを検知すると、ダッシュカムは USB ドライブに録画を自動保存します。**「オート」**を選択している場合、検知はばらつく可能性があり、車両の電力、スリープおよびオートパイロットの状態に影響されます。

     注: ダッシュカムが安全上の重大な状況を自動保存するかしないかは、いくつかの要因によって決まります（力のかかり具合、エアバッグが作動したかなど）。安全上の重大な状況がすべてダッシュカムにより 自動録画されることを期待しないでください。
   - **マニュアル**: 最新 10 分間の映像を USB フラッシュ ドライブに保存するにはダッシュカム アイコンをタッチする必要があります。
   - **クラクション**: ホーンを押すと、ダッシュカムは最新 10 分間の映像を保存します。この機能は**「オート」**または**「マニュアル」**と同時に有効化することができます。
4. 有効にしている場合、ダッシュカム アイコンは映像が保存されていることを示します。**「コントロール」**でもダッシュカム アイコンの状態を表示することができます。

アイコンが変化してダッシュカムの状態を示します。

録画しています: ダッシュカムは録画中です。ビデオクリップを保存するには、このアイコンにタッチします。録画を一時停止するには、このアイコンを長押しします。

利用可能: ダッシュカムは利用可能ですが、アクティブな録画中ではありません。ダッシュカム アイコンにタッチすると映像の録画を開始します。

一時停止: ダッシュカムは一時停止しています。録画を再開するには、このアイコンにタッチします。ビデオクリップを消去してしまわないようにするには、ダッシュカムを一時停止してから、フラッシュ ドライブを取り出すようにしてください。

ビジー: ダッシュカムは映像の読み込み、保存または上書きをしています。ダッシュカムがビジー状態の場合、映像はキャプチャしたり録画されたりしていません。

保存済み: 映像が保存されました。走行中にアプリ ランチャーのダッシュカム アイコンにタッチしてもダッシュカムのクリップを保存できます。

5. 希望する映像を保存すると、そのクリップをタッチスクリーンまたはコンピューターで表示することができます。
   - タッチスクリーン: Model 3 がパーキングにシフトしていることを確認し、アプリ ランチャーのダッシュカム アイコンをタッチします。動画はタイムスタンプの順序で並んでいます。詳細情報については、録画映像を見る ページ 154 を参照してください。

- コンピューター: USB フラッシュ ドライブをコンピューターに挿入し、TeslaCam フォルダーに移動します。動画はタイムスタンプの順序で並んでいます。詳細情報については、録画映像を見る ページ 154 を参照してください。

6. これとは別に、モバイル アプリで**「セキュリティ」** > **「ダッシュカムビューワ」**（**「モバイルアプリからライブ カメラ映像を表示」**）の順に移動して、映像を表示および共有することができます。

   注: プレミアムコネクティビティが 必要です。iOS デバイスの場合、Tesla モバイルアプリのバージョン 4.39.5 以降が必要です。Android デバイスの場合、Tesla モバイルアプリのバージョン 4.43.5 以降が必要です。

7. ダッシュカムをオフにするには**「コントロール」** > **「安全」** > **「ダッシュカム」** > **「オフ」**の順に移動します。**「オート」**、**「マニュアル」**または**「ホーン使用時」**に設定している場合、運転する度にダッシュカムは自動的に有効になります（ただし設定によってはアクティブに 画像を保存しない場合があります）。

セントリー モード

注: 販売地域、車両構成、購入オプション、ソフトウェア バージョンによっては、車両にセントリーモードがない場合がありますまたは機能が説明通りに作動しない可能性があります。**カメラの使用に関しては、ドライバーの単独の責任において、すべての地域の規則および財産権の制限を確認して、それらを遵守する必要があります。**

有効な場合、Model 3 をロックしてパーキングにシフトしているときに車両のカメラやセンサー（装備されていれば）の電源がオンのままになり、不審な行動があればそれを記録できるようになります。セントリーモードは、近くに潜在的脅威を検知したときにアラートを発する、インテリジェントな車両セキュリティ システムであるとお考えください。

脅威が検知された場合、またはけん引されたり揺さぶられたりしたときのような、ぎくしゃくした動きが多いと車両のセンサーが判断した場合、セントリーモードは次の動作を行います。

- ヘッドライトを点滅させます。
- アラームを鳴らします。
- カメラが録画中であることを示すメッセージをタッチスクリーンに表示して、車外にいる人に知らせます。
- モバイル アプリでお客様にアラームの作動を知らせます。
- イベントの映像を USB ドライブ（取り付けられている場合）に保存します。

セントリーモードはデフォルトでは無効になっています音声コマンドや Tesla モバイル アプリを使用して、セントリーモードを簡単に有効化または無効化することができます。音声コマンドを使用してセントリーモードを有効にするには、「Tesla を安全に」、「自分の車の安全に」、「セントリー オン」、または「セントリーを有効にする」などと発話します（音声コマンド ページ 17 を参照）。

注: 2021 年 11 月 1 日ごろ以降に製造された車両の一部では、センター コンソール USB ポートが充電サービスしかサポートしていない可能性があります。その他のすべての機能については、グローブボックス内の USB ポートを使用してください。

低電力モードではセントリーモードを使用できません。（低電力モード ページ 192 を参照）。Model 3 が低電力モードに入ると、セントリーモードが無効になり、モバイルアプリから通知が送信されます。セントリー モードを有効にすると、バッテリー消費が増加する場合があります。

注: セントリーモードが有効になっている場合、セキュリティアラーム設定（**「コントロール」** > **「安全」** > **「セキュリティアラーム」**）は使用できません。

注意: セントリーモードを有効にしたからといって、潜在的なあらゆるセキュリティ上の脅威から Model 3 を保護できるわけではありません。セントリーモードは多くの要因を利用してセキュリティ アラームを発動させるかを判断します。すべての影響因子が検出されるわけではない可能性がありますし、あらゆる状況でアラームが発動するわけではない可能性があります。セントリーモードは車両を脅威から保護するのに役立ちますが、すべての攻撃を防げるわけではありません。

注: セントリーモードは、アラームがトリガーされたとき、誰かがドアやトランクを開けようとしたとき、または車両が突然のぎくしゃくした動きを検知したときに限って、モバイル アプリに通知を送信します。セントリーモードがそのイベントを明確な脅威とみなさない場合、車両は映像を記録しますが、アラームはトリガーされません。

セントリーモードの使い方（USB フラッシュ ドライブあり）

1. セントリーモードでは車両の USB ポートに正しくフォーマットされた USB ドライブを挿入する必要があります。およそ 2020 年以降に製造された車両の場合、グローブボックスにフォーマット済みの USB ドライブが装備されています。フラッシュ ドライブをフォーマットするには次に示す 2 つの方法があります。
   - USB ドライブを USB ポートに挿入し**「コントロール」** > **「USB ドライブのフォーマット」**の順に移動します。車両は自動的に USB ドライブをフォーマットします。
   - コンピューターで USB ドライブをフォーマットします。詳細情報については、ビデオ録画のための USB ドライブの要件 ページ 154 を参照してください。
2. USB ドライブを車両の USB ポート（できればグローブボックスの USB ポート（装備されていれば））に挿入します。
3. 車両をパーキングにシフトした状態で、**「コントロール」** > **「安全」** > **「ダッシュカム」**の順に移動してダッシュカムを有効にします（セントリーモードが機能するには、ダッシュカムを有効にする必要があります）。
4. **「コントロール」** > **「セントリーモード」** > **「オン」**の順にタッチします。有効になると**「コントロール」**のセントリーモード アイコンが赤色に変わります。

   注: リア カメラでの録画は 2018 年 2 月ごろ以降に製造された車両のみ使用可能です。

   有効になっている場合、セントリーモードはアイドル状態になり、トリガーされた場合に、すぐにアラームを出して、そのセキュリティ イベントを録画することができます。映像の表示については、録画映像を見る ページ 154 を参照してください。
5. アラームがトリガーされているときにセキュリティ アラームおよびオーディオ システムの音を止めるには**「コントロール」** > **「安全」** > **「セントリーサウンドを無効にする」**の順に移動します。有効になっている場合、依然としてセントリーモードによってモバイル アプリを介して通知が送信され、最新の 10 分間の映像が保存されます。
6. 次回の走行までセントリーモードを手動で有効/無効にするには、セントリーモード アイコンにタッチします。このアイコンが赤くなっていない場合、セントリーモードはオフです。

「コントロール」 > **「安全」** > **「セントリーモード」**でセントリーモードを**「オフ」**にすると複数回の走行サイクルで無効になります。

セントリーモードの使い方（USB フラッシュ ドライブなし）

セントリーモードが有効な場合に、セキュリティ イベントが検知されたものの、USB ドライブは USB ポートに挿入されていない場合、車両はモバイルアプリを介してドライバーに警告を出しますが、カメラ録画は行いません。

セントリーモードの設定

- **指定場所を除外する**

  「コントロール」 > **「安全」** > **「セントリーモード」**では、指定された場所でセントリーモードを有効に*しない*ことを設定することができます（詳細情報については自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 170 を参照）。

  - **自宅を除く**: お気に入りリストで「自宅」と設定した場所では、セントリーモードが自動でオンになりません。
  - **勤務先を除く**: お気に入りリストで「勤務先」と設定した場所では、セントリーモードが自動でオンになりません。
  - **お気に入りを除く**: お気に入りリストにある場所では、セントリーモードは自動でオンになりません。

    注: 自宅、勤務先またはお気に入りとしてリストされている場所を認識させるには、Model 3 を保存した場所の約 1,640 フィート（500 m）以内に駐車する必要があります。

  自宅または勤務先を設定するには、**「ナビ」** > **「自宅を設定/勤務先を設定」**の順にタッチします。**「お気に入り」**を設定するには、マップに住所が表示されているときに星印にタッチします。タッチスクリーンまたはモバイル アプリを使用して手動でセントリーモードをオンまたはオフにすると、次に車を運転するまで、自宅、勤務先またはお気に入りが無効になります。

- **カメラベース検出を設定する**

  「カメラベース検出」を有効にすると、セントリーモードが車両のセンサーの他に外部カメラを使用して駐車中のセキュリティ イベントを検出します。無効にした場合、物理的脅威が検出されても、車両は映像を USB ドライブに保存する以外のことをしません。調整するには**「コントロール」** > **「安全」** > **「セントリーモード」** > **「カメラベース検出」**の順にタッチします。

- **ライブカメラの表示**

  注: ライブカメラの表示には、プレミアム コネクティビティおよび Tesla モバイル アプリのバージョン 4.2.1（またはそれ以降）を電話機にインストールし、Model 3 のキーとしてとペアリングしておく必要もあります。

  セントリーモードが有効な場合、モバイル アプリを使用して Model 3 の周囲を、外部カメラを通して離れた場所から見ることができます。有効にするには、タッチスクリーンで**「コントロール」** > **「安全」** > **「セントリーモード」** > **「モバイルアプリでライブカメラを表示する」**の順にタッチして、セントリーモードでの録画をリアルタイムで表示します。車両に人がいないことと、すべてのドアがロックされていることを確認してください。次に、モバイル アプリで、**「安全」** > **「セントリーモード」** > **「ライブカメラの表示」**に移動します。

  「ライブカメラの表示」を使用しているときは、Model 3 のエクステリアライトを一定間隔で点滅させタッチスクリーンにメッセージを表示して、車両の周囲をカメラで監視していることを他の人に知らせます。

  ライブカメラの表示は 1 日につき通算使用時間が、約 1 時間（地域によっては 15 分）までに制限されています。

  Model 3 に歩行者警報スピーカー（歩行者警告システム ページ 98 を参照）が装備されている場合、モバイル アプリのマイクボタンを長押しするとこのスピーカーから自分の声を出すことができます。

  また、同時にドッグ モードを有効にして、ライブ カメラ ビューに切り替え、モバイル アプリから車内カメラで確認することもできます。詳細情報については、エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 158 を参照してください。オートパイロットコンピューター 2.0 または 2.5 を装備した車両の場合、この機能はサポートされていません。**「コントロール」** > **「ソフトウェア」**の順にタッチして、**オートパイロットコンピューター**を確認してください。

  注: ドッグとセントリーを同時に有効にすると、セントリーはデフォルトで**「セントリーサウンドを無効」**になり、ペットを保護します。

  注: 画質は、ネットワーク接続の状態によって異なる場合があります。音声をキャプチャしていません。

  注: ライブカメラの映像は完全に暗号化されているので Tesla がアクセスすることはできません。

セントリーモードの映像の表示に関する詳細は、録画映像を見る ページ 154 を参照してください。

注: 内部ストレージの空き容量がなくなると、新たな録画によって古い録画が上書きされます。

ビデオ録画のための USB ドライブの要件

一部の機能（ダッシュカム、セントリーモードおよびトラックモード（装備されている場合））では、以下の要件に適合する USB ドライブの使用が必要です。

- 最小ストレージ容量 64 GB。できるだけ保存領域が多い USB ドライブを使用してください。動画は大量の保存領域を占有することがあります。
- 4 MB/s 以上の持続書き込み速度であること。持続書き込み速度はピーク書き込み速度とは異なることに注意してください。
- USB 2.0 互換であること。USB 3.0 のドライブを使用する場合、USB 2.0 もサポートしている必要があります。
- （自動または手動 ページ 154 のいずれかで）（自動または手動のいずれかで）正しくフォーマットされています。

注: センター コンソール内およびリア タッチスクリーンの下にある USB-C ポートはフォーマット、ビデオクリップの保存および視聴をするための機能をサポートしていません。これらの機能については、グローブボックス内の USB-A ポートを使用してください（車内の電子装備品 ページ 11 を参照）。

注: 一部の販売地域では、http://www.tesla.com の推奨 USB ドライブを購入することができます。

USB ドライブの自動フォーマット

USB ドライブを、ビデオクリップのフォーマット、保存、視聴が可能なフロント USB ポートに挿入します（車内の電子装備品 ページ 11 を参照）。次に、**「コントロール」** > **「安全」** > **「USB ドライブをフォーマット」** の順にタッチします。これによって USB ドライブが exFAT として自動的にフォーマットされ、TeslaCam フォルダおよび TeslaTrackMode フォルダ（該当する場合）が作成されます。これで USB ドライブで動画映像を記録して保存する準備が整いました。

「USB ドライブをフォーマット」 は、USB ドライブ（1 つ以下のパーティションを持つもの）をフロント USB ポートに差し込んでいる場合に限って利用可能です。**「USB ドライブをフォーマット」** を選択すると、USB ドライブ上の既存のデータがすべて消去されます。この機能を使用する前に、保持したいデータを別のデバイスに移動してください。

USB ドライブの手動フォーマット

Model 3 で USB ドライブをフォーマットできない場合は、コンピューターを使用してフォーマットしてください。

1. USB ドライブを exFAT、MS-DOS FAT (for Mac)、ext3、または ext4 でフォーマットします（NTFS は現在サポートされていません）。
2. **TeslaCam** という名前のベース レベル フォルダを作成します。トラック モード（装備されている場合）で使用する場合は、**TeslaTrackMode** という名前のベース レベル フォルダを作成します 1 つの USB ドライブを、ダッシュカム、セントリーモード、トラック モード（装備されていれば）、、およびオーディオ ファイル用に使用することができますが、exFAT USB ドライブ上に個別のパーティションまたはフォルダを作成する必要があります。
3. フォーマットが完了したら、USB ドライブをグローブボックスの USB ポート（装備されていれば）に挿入するか、センター コンソール内のフロント USB ポートを使用してください。後部にある USB ポートはデバイスの充電専用ですので、使用しないでください。Model 3 が USB ドライブを認識するまでに数秒かかる場合があります。
4. 認識されたら、**「コントロール」** にタッチするとダッシュカムおよびセントリーモードのアイコンが利用できるようになることを確認します。 Model 3 はこれで動画を記録をすることができます。

   注: 最初にセントリーモード（装備されている場合）を有効にする必要がある場合があります。**「コントロール」** > **「セントリー」** の順にタッチしてください。

録画映像を見る

映像が保存されている場合、クリップをタッチスクリーン、Tesla モバイルアプリ、またはコンピュータで表示することができます。

USB ドライブに空き容量がない場合、これ以上動画を保存することはできません。USB ドライブに空きがなくなることを防ぐため、保存されたビデオを定期的に別の装置に移動し、USB ドライブから削除してください。

有効な場合、ダッシュカムとセントリーモードが映像を周期的に記録します。保存しない場合、映像は継続的に上書きされます。表示するためには希望する映像を保存する必要があります。そうしないとその映像は消去されて上書きされます。映像の保存については、セントリー モード ページ 152 およびダッシュカム ページ 150 を参照してください。

注: リア カメラでの録画は 2018 年 2 月ごろ以降に製造された車両でのみ使用可能です。

保存されたクリップには、各カメラ（前方、後方、左側、右側、左ピラー、右ピラー）からの 6 本の映像が記録されます。車両に搭載されているカメラの位置について詳しくは、カメラ ページ 19 を参照してください。

タッチスクリーンまたはモバイルアプリで録画を表示すると、録画時のギア位置、速度、ハンドル角度などの情報を確認できます。

注: この機能には、Tesla モバイルアプリ バージョン 4.51.5 以降が必要です。

タッチスクリーンでの表示

Model 3 がパーキングにシフトしているときに、タッチスクリーンで録画した映像を見ることができます。アプリ ランチャーにあるダッシュカム アイコンにタッチします。

ビデオクリップの一覧は、場所とタイムスタンプ順に整理されています。必要に応じて、再生の一時停止、巻き戻し、早送りが可能です。クリップを削除するには、リスト上部の **「その他のオプション」**（三点リーダー）をタッチし、削除したいクリップを選択します。

「コントロール」 > **「安全」** > **「ダッシュカムのクリップを消去」**の順に移動して、すべてのダッシュカムおよびセントリーモードの映像を消去することができます。

注: ビューアを起動すると、ダッシュカムの録画が一時停止します。

コンピューターで表示

USB ドライブをコンピューターに挿入し、TeslaCam または TeslaTrackMode（装備されている場合）フォルダに移動します。

TeslaCam フォルダには、以下のサブフォルダがあります。

- **RecentClips**：最大 60 分の録画されたコンテンツが含まれています。
- **SavedClips**：RecentClips フォルダから移動し、名前を変更して保存したすべての録画が含まれます。
- **SentryClips**：すべてのセントリーモード セキュリティ イベントで記録された録画が含まれます。USB ドライブの記憶スペースが制限されると、もっとも古いセントリー クリップが削除されて、新しいクリップのためのスペースを提供します。一旦削除されたクリップを復元することはできません。

温度調節の概要

空調は、タッチスクリーン下部からアクセスできます。温度調整は標準で**「オート」**に設定されています。この設定では、過酷な気象条件を除くあらゆる環境で最高の快適さが保たれます。キャビンの温度を**「オート」**で設定すると、空調システムは、暖房、エアコン、空気配分、ファン速度を調整して選択した温度を維持します。

空調設定を調整できるときは、タッチスクリーンの下部側にある表示温度にタッチして、メイン空調画面にアクセスできます。**「自動」**にタッチするといつでも自動に戻ることができます。メイン空調コントロール画面の電源ボタンにタッチすると、オンまたはオフに切り替えることができます。一般的なコントロールにすばやくアクセスするには、**<**または**>**にタッチして空調ポップアップを表示します。

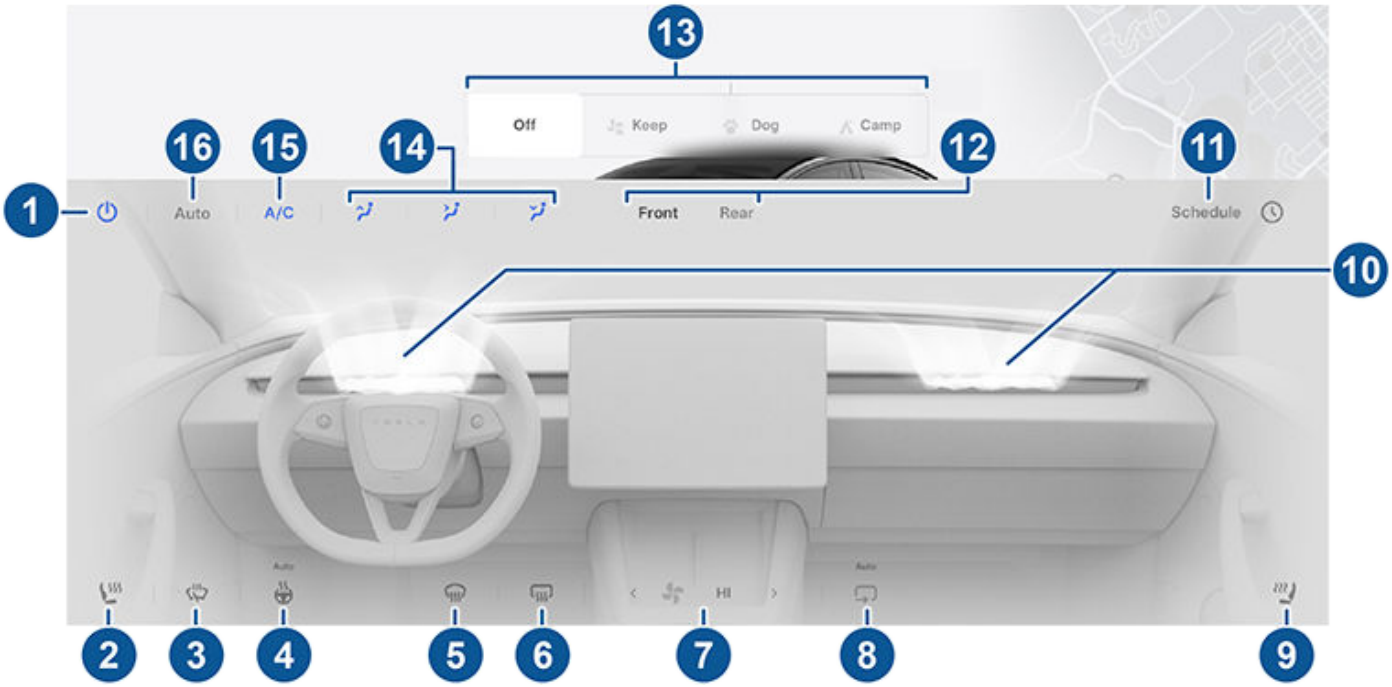
キャビンが暖まっているときや冷えているときは、ファンの速度が低下する場合があります。タッチスクリーンには、希望の温度に達するまで**「Warming Up」**または**「Cooling Down」**が表示されます。

注: 空調システムは高電圧バッテリーからの電力で運転します。したがって、長時間使用すると航続距離が減少します。

警告: 長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシート ヒーターの使用の際に十分注意してください。

空調設定の調整

注: シートヒーターをオンにしたり、キャビン温度を変更したりするといった空調の設定を、音声コマンドを使用してハンズフリーで簡単に調整することができます（音声コマンド ページ 17 を参照）。



注: シートヒーターおよびデフロスターにワンタッチでアクセスするために、これらのコントロールをマイ アプリに追加することができます。マイ アプリをカスタマイズ ページ 7 を参照してください。

1. タッチすると、空調システムのオンオフを切り替えできます。
2. 運転席側のシート アイコンにタッチすると、運転席のシート ヒーターを調整できます。シートには、3（最高）から 1（最低）までの 3 段階あります。シート アイコンの波線が設定レベルに応じて赤色（暖房）または青色（冷房）（装備されている場合）に変わります。**自動**は、車室内の温度に応じてフロントシートを暖めたりまたは冷やしたりします。シート ヒーターにワンタッチ アクセスするため、シート ヒーターをタッチスクリーンの下部バーに追加することができます（マイ アプリをカスタマイズ ページ 7 を参照）。
3. タッチするとワイパー デフロスターがオンになります（装備されていれば）。ワイパーは 30 分間霜取りしてから、自動でオフになります。

4. タッチしてハンドルの暖房を制御します（装備されている場合）。このアイコンには設定レベルに合わせて赤色の波線が表示されます。**「自動」**に設定すると、空調システムの設定から独立して、キャビン温度に基き、必要に応じてハンドルを暖めます。ワンタッチ アクセスするために、このコントロールをタッチスクリーンの下部バーに追加することができます（マイ アプリをカスタマイズ ページ 7 を参照）。
5. フロント ガラスのデフロスターはフロント ガラスの表面に空気を流します。1 回タッチすると、フロント ガラスの*霜取り*ができます（アイコンが青色に変わります）。2 回タッチするとフロント ガラスの*霜取り*を行ないます。3 回タッチするとオフに切り替わり、空気供給、ヒーター、ファンが元の設定に戻ります。
6. タッチするとリア ウィンドウを暖めます。15 分経つと、リア ウィンドウのデフロスターは自動的にオフになります。リア ウィンドウ デフロスターが作動しているときは、サイドミラーおよび充電ポートも加熱されます。寒冷時に備えるための情報は寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 163 を参照してください。
7. スライダーを使用してファン速度を調節します。**自動**の場合、ファン回転数は **Low**/**中間**/**High** に変わります。

   注: ファンの速度を調整すると、空気吹出し風量を増加または減少させるために、Model 3 内への空気吹出し設定が変更される場合があります。

8. タッチすると、キャビン内の空気の流れを制御できます。外部から Model 3 への空気の導入や、キャビン内での空気循環ができます。
9. 助手席側のシート アイコンにタッチすると、前席乗客のシート ヒーターを調整できます。シートには、3（最高）から 1（最低）までの 3 段階あります。シート アイコンの波線が設定レベルに応じて赤色（暖房）または青色（冷房）（装備されている場合）に変わります。**自動**は、車室内の温度に応じてフロントシートを暖めたりまたは冷やしたりします。
10. タッチすると、フロント通気口からの空気吹き出しの流れを調整できます。空調システムが作動しているとき、タッチスクリーン上の助手席の波線部分をタッチして長押しし、指示に従うことで、運転席側通気口とは独立して助手席側通気口をオフにすることができます。フロント通気口およびリア通気口の調整 ページ 161 を参照してください。
11. Model 3 をパーキングに入れた状態で、**「予約」**にタッチし、バッテリーと車内の空調をプレコンディショニングし、オフピーク時間帯に充電して、毎日同じ時刻に Model 3 の出発準備が整うように設定します（プレコンディショニングと充電の予約 ページ 190 を参照）。
12. タッチすると、フロント、またはリア キャビンの空調設定を調節することができます。リア キャビンで**「オート」**が有効になっており、乗員が検知されると、リア キャビンに対して設定温度が維持されます （フロント通気口およびリア通気口の調整 ページ 161 を参照）。
13. 「パーキング」にシフトされている場合、これらの設定が表示され、Model 3 から離れても空調システムを動作したままにしておくことができます（エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 158 を参照）。
14. フロント キャビンに送風する位置を選択します（フロントガラス、顔の高さ、足元のいずれか）。1 つ以上の通気口を選択できます。
15. これをタッチしてエアコン システムをオンまたはオフにします。オフにすると冷房効果は下がりますが、エネルギーの節約になります。

    注: これは、Model 3 はガソリン車と比べ走行音が格段に静かなため、エアコン コンプレッサーの動作音が気になることがあります。騒音を抑えるには、ファンの速度を下げてください。

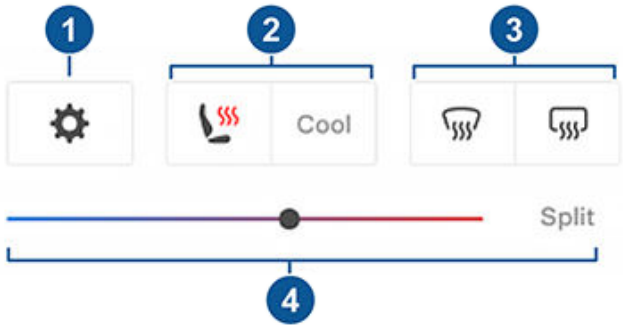
16. **「オート」**をタッチしてオート設定をオンまたはオフにします。

    注: **「通話中にファン速度を下げる」**が有効で、**「自動」**が選択されている場合、通話中はファン速度が自動的に下がり、周囲の雑音が低減されます。詳細な情報については、Bluetooth ページ 58 を参照してください。

    注: フルセルフドライビング（スーパーバイズド）の使用中に、フロントガラスやカメラが曇る可能性が高い場合、車両が自動的に AUTO に切り替わることがあります。

空調用ポップアップ

タッチスクリーンの下部にある温度矢印をタッチしてポップアップを表示すると、よく使う空調設定に簡単にアクセスできます。



注: シートヒーターおよびデフロスターにワンタッチでアクセスするために、これらのコントロールをマイ アプリに追加することができます。マイ アプリをカスタマイズ ページ 7 を参照してください。

1. タッチして、メインの空調画面にアクセスします。
2. フロント シートのシートヒーターまたはシートクーラー（装備されていれば）を有効または無効にします。
3. フロントまたはリアのウィンドウ デフロスターを有効または無効にします。リアデフロスターを有効にすると、エクステリア サイドミラーも加熱されます。エクステリア サイドミラーの加熱は、周囲温度に応じて自動的にオフになります。
4. スライダーをドラックしてキャビンの温度を調整します。また、温度調整する部分をスプリットして、運転席と助手席に座る人が自分の好みの温度にカスタマイズできるようにすることもできます。助手席に座る人は、タッチスクリーンの下部にある温度アイコンまたはメインの温度調節画面をタッチして調整します。もう一度**「スプリット」**をタッチして空調の分割を無効にします。

エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ

「エアコンをオンに保つ」、**「ドッグ」**および**「キャンプ」**設定を使うと、Model 3 から離れた後でも、車内にとどまることを選んでも、駐車中に空調を ON のままにしておくことができます。これらの設定は、暑い天候時や寒い天候時に車内温度を保つ必要がある場合に役立ちます。例：暑い日に Model 3 内に食料品を入れたままにするとき、「エアコンをオンに保つ」を使用して食料品が傷まないようにしたいと思う場合。

「ドッグ」は、ペットのために快適なキャビン温度を維持するように設計されており、モバイル アプリを使用してこの温度を積極的にかつ頻繁に監視します（電話機と車両にセルラー接続を確立する必要があります）。「ドッグ」では、タッチスクリーンに現在のキャビン温度が表示され、ペットが安全であることを通り過ぎる人に教えます。この設定は人用ではなく、短い間だけに使用して、温度を維持することができない状況で車両に戻る必要があるので、ドライバーは近くにいる必要があります。

注:（愛犬が踏むなどして）窓スイッチをまちがって押さないようにするため、「ドッグ」では窓を開けることができなくなっています。

注: ドッグとセントリーを同時に有効にすると、セントリーはデフォルトで**「セントリーサウンドを無効」**になり、ペットを保護します。詳細情報については、セントリー モード ページ 152 を参照してください。

セントリーモードまたはドッグ モード、あるいはその両方が有効になっている場合、ライブ カメラ ビューを利用できるようになりました。セントリーモードがオンの場合、カメラは車両周辺のライブ ビューを表示します。ドッグモードをオンにすると、車内のライブ映像を確認できます *（モバイル アプリ バージョン 4.15.0 以降が必要）*。また、車内の定期スナップショットや車内環境のライブ更新 *（モバイル アプリ バージョン 4.51.5 以降、かつ iOS 18 以上の iPhone が必要）* を受け取ることができ、いつでもペットの様子を確認できます。セントリーモードとドッグモードの両方が有効になっている場合は、モバイル アプリからそれぞれのカメラに対応する灰色の円または車内アイコンをタッチしてカメラを切り替えることができます。詳細情報については、セントリー モード ページ 152 を参照してください。

注: ドッグ モードまたはセントリーモードで車内カメラを有効にするには、モバイル アプリのバージョン 4.15.0 以降が必要です。オートパイロットコンピューター 2.0 または 2.5 を装備した車両の場合、この機能はサポートされていません。**「コントロール」** > **「ソフトウェア」**の順にタッチして、**オートパイロットコンピューター**を確認してください。

注: ライブカメラの表示は 1 日につき通算使用時間が、約 1 時間（地域によっては 15 分）までに制限されています。

「キャンプ」では、車内温度を維持することに加え、USB ポートと低電圧アウトレットから電子機器の電源を取ることができます。タッチスクリーンは表示されたままになりますので、音楽を再生したり、インターネット検索をしたり、アーケードでゲームをプレイしたり、Tesla シアターで映画を観ることができます。ペアリングした携帯電話でメディアや空調設定をコントロールすることもできます。「キャンプ」はキャンプ時やお子さまに付きそう場合など、車内に留まるときに最適です。このモードが有効な場合、セントリーモードと車両のアラームシステムが無効になります。降車後オートロックが作動していません。

「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」を有効にするには次のようにします。

1. Model 3 が低電力モードになっていないことを確認してください（低電力モード ページ 192 を参照）。
2. シフトをパーキングにします。**「エアコンをオンに保つ」**、**「ドッグ」**、および**「キャンプ」**設定は Model 3 のギアがパーキングに入っているときのみ使用できます。
3. 必要に応じて、空調設定を調節します。
4. 空調画面で、**「エアコンをオンに保つ」**、**「ドッグ」**、または**「キャンプ」**をタッチします。

   注: 空調画面の灰色のバーから上にスワイプすることで、モバイル アプリから**「ドッグ」**および**「キャンプ」**を制御することもできます。

空調システムは、パーキングからギアを動かす、または空調システムを手動でオフにするまで、空調の設定を維持しようとします。バッテリーの充電レベルが低い場合、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」の使用を控えてください。

キャビンの温度が高すぎる場合、または車両が空調システムに問題を検出した場合は、「ドッグ」を有効にすることはできません。「ドッグ」を有効にする前に、キャビンの温度が安全で快適なレベルであることを確認してください。

「エアコンをオンのままにする」、**「ドッグ」**、または**「キャンプ」**がオンになっている場合、何らかの理由でエアコンがオフになると、Tesla モバイルアプリから通知されます。これには、Model 3 が低電力モードに入った場合（「エアコンをオンのままにする」または「キャンプモード」使用時）、バッテリー残量が 20%を下回った場合（「ドッグモード」使用時）、または車両が空調システムの異常を検出した場合が含まれます。「ドッグモード」が有効な状態で、設定された室内温度から大きく変化した場合も、Tesla モバイルアプリから通知されます。

注: 「エアコンを ON のままにする」、「ドッグ」、または「キャンプ」が有効なときは、ソフトウェア アップデートは行えません。

警告: 子供を車の中に放置しないでください。

警告: 車両にペットを放置することに関する制限事項については、現地の法令を確認してください。

警告: ドライバーは犬などのペットの安全に責任を負っています。ペットを Model 3 の中に長時間放置しないでください。継続的に車内温度およびペットの健康状態を監視してください。電話機がカバーエリア内にあることや、必要に応じて、車両に戻るまでの時間を確認してください。

警告: 万が一、空調システムの整備が必要になったり、空調システムが予期した通りに作動しない場合は、「エアコンをオンのままにする」、「ドッグ」および「キャンプ」の使用を避けてください。ペットや子供の保護を車両に任せないでください。

警告: 空調システムはモバイル アプリから遠隔で調整および監視することができます。ただし、空調システムをモバイルアプリでオフにすると、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、「キャンプ」も併せて停止されます。

キャビン過熱保護

キャビン過熱保護は高外気温状態でキャビンが高温になりすぎないようにします。Model 3 から離れているときにいつも作動させる必要がない場合でも、空調システムは車両のキャビン温度を下げ、維持することができます。この機能は日光の当たる場所に駐車にしたときにキャビンが過熱することを防止し、帰ってきたときに車両をより快適にすることができます。キャビン過熱保護は、降車してから作動するまでに最長で 15 分かかる可能性があります。この機能は搭乗者の快適性を目的としたものであり、車両のコンポーネントの信頼性に影響を与えません。

オンにするには、**「コントロール」** > **「安全」** > **「キャビン過熱保護」**の順にタッチし、以下を選択します。

- **オン**: エアコンは、キャビンの温度が 105°F（40°C）を超えるか、タッチスクリーンまたはモバイル アプリで選択された温度（利用可能な場合）を超えると作動します。温度を調整するには、最新バージョンのモバイル アプリが必要になる場合があります。
- **A/C なし**: タッチ面が熱くなり過ぎないようファンのみが動作します。
- **オフ:** キャビン過熱保護を無効にします。

「除外：自宅」を有効にすると、Model 3 は、お気に入りリストで自宅として設定した場所に車両がある間、キャビン過熱保護がオフになります（自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 170 を参照）。

また、**「空調」**にタッチすることで、モバイル アプリからリモートでキャビン過熱保護を有効にすることもできます。下のメニューをスワイプアップして**「キャビン過熱保護」**から設定を選択します（モバイル アプリ ページ 54 を参照）。

キャビン過熱保護は、Model 3 を降りてから 12 時間経過またはバッテリー残量が低電力モードのしきい値を下回った時点（低電力モード ページ 192 を参照）のいずれか早い方の時点まで動作します。キャビン過熱保護を使用するにはバッテリーからのエネルギーが必要なので、航続距離が減少する可能性があります。

警告: 自動シャットダウン、極端な外気温またはその他の潜在的な機能不全などにより、キャビン過熱保護機能が有効になっていたとしても 車内の温度が危険な状態まで上昇する場合があります。選択した温度を繰り返し超える温度が発生する場合は、Tesla サービスまでお問い合わせください。

警告: 子供またはペットを車の中に置き去りにしないでください。自動シャットダウンまたは気温が著しく高い時などにより、キャビン過熱保護機能が有効になっていたとしても車内の温度が危険な状態まで上昇する場合があります。

温度調整の使い方のヒント

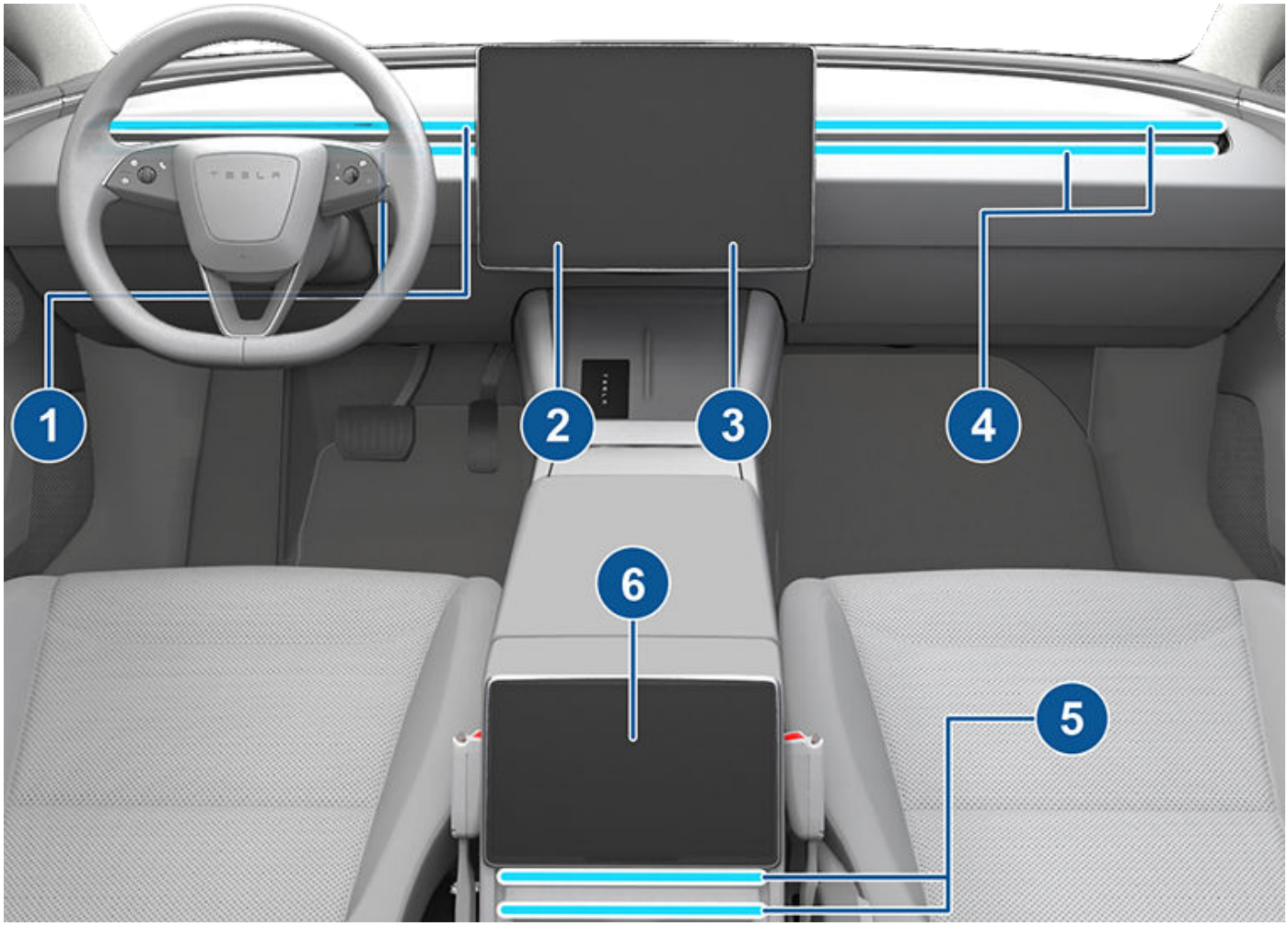
- モバイル アプリを使用して空調システムを起動すると、システムは 2 時間後に自動的に終了します。より長い間キャビンの暖房または冷房を行なうには、車両を充電し、モバイル アプリから空調設定を再度有効にしてください。
- 選択した加速モードを下げることで、キャビン暖房の効率を改善することができます（加速モード ページ 88 を参照）。これにより、ピーク加速性能を提供するためのバッテリーの能力を維持する代わりに、ヒートポンプ システムがバッテリーからより多くの熱を奪うことで、キャビンを効率的に暖房することができます。これは寒冷気象時における走行効率を最大限にするために役立ちます。その後に加速モードのレベルを上げる場合、増加した加速レベルが得られるまでにバッテリーを温めるための時間が必要になることに注意してください。
- 気温が極めて低く、霜が降りるような状況では充電ポートのラッチが凍結する場合があります。ラッチが凍結したために、充電ケーブルの取り外しまたは挿入ができない、または車両のスーパーチャージャーが機能しない場合、モバイル アプリで**「車の霜取り」**を有効にします。これにより、充電

ポートの留め金が融氷され、充電ケーブルを外したり差し込んだりできるようになります。詳細情報については、寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 163 を参照してください。

- 空調システムの運転音が気になる場合は、手動で風量を下げて使用してください。
- 車内を冷房するほか、エアーコンディショナー コンプレッサーはバッテリーも冷却します。したがって、暑いときは、エアーコンディショナー コンプレッサーを OFF に設定したとしても、ON になることがあります。これは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能に必要とされる最適な温度範囲にバッテリーを保つために、システムがバッテリーの冷却を優先するためであり、正常な動作です。
- 使用していないときでも、Model 3 からうなり音や水が循環するような音が聞こえる場合があります。これらの音が発せられるのは通常の状態で、内部の冷却システムがオンになり、低電圧バッテリーのメンテナンス、高電圧バッテリーの温度調節など、さまざまな車両の機能をサポートするときに発せられます。
- 空調システムを効率的に動作させるために、すべてのウィンドウを閉め、フロント ガラス前面の外部のグリルに氷、雪、木の葉、その他の破片がつまらないように注意してください。
- 湿度が非常に高い場合、空調を ON にした直後にフロント ガラスが少し曇ることがあります。
- 駐車している間、Model 3 の下に小さい水溜まりができることがあります。これは、湿気を除去する過程で発生した余分な水分が下から排出されたためで、正常な動作です。
- Model 3 最大限の効率化を自動的に図るための設計です。したがって、車外の気温が低いときは、車両で暖房の使用中やスーパーチャージャーの動作中でも、エアー コンディショナー コンプレッサーや外部ファンが動作してノイズが聞こえる場合があります。
- 駐車中、高温の気象条件で車内の温度を下げるために、ファンで送風を行うことがあります。これは、Model 3 が低電力モードでない場合にのみ発生します。
-

フロント通気口およびリア通気口の調整

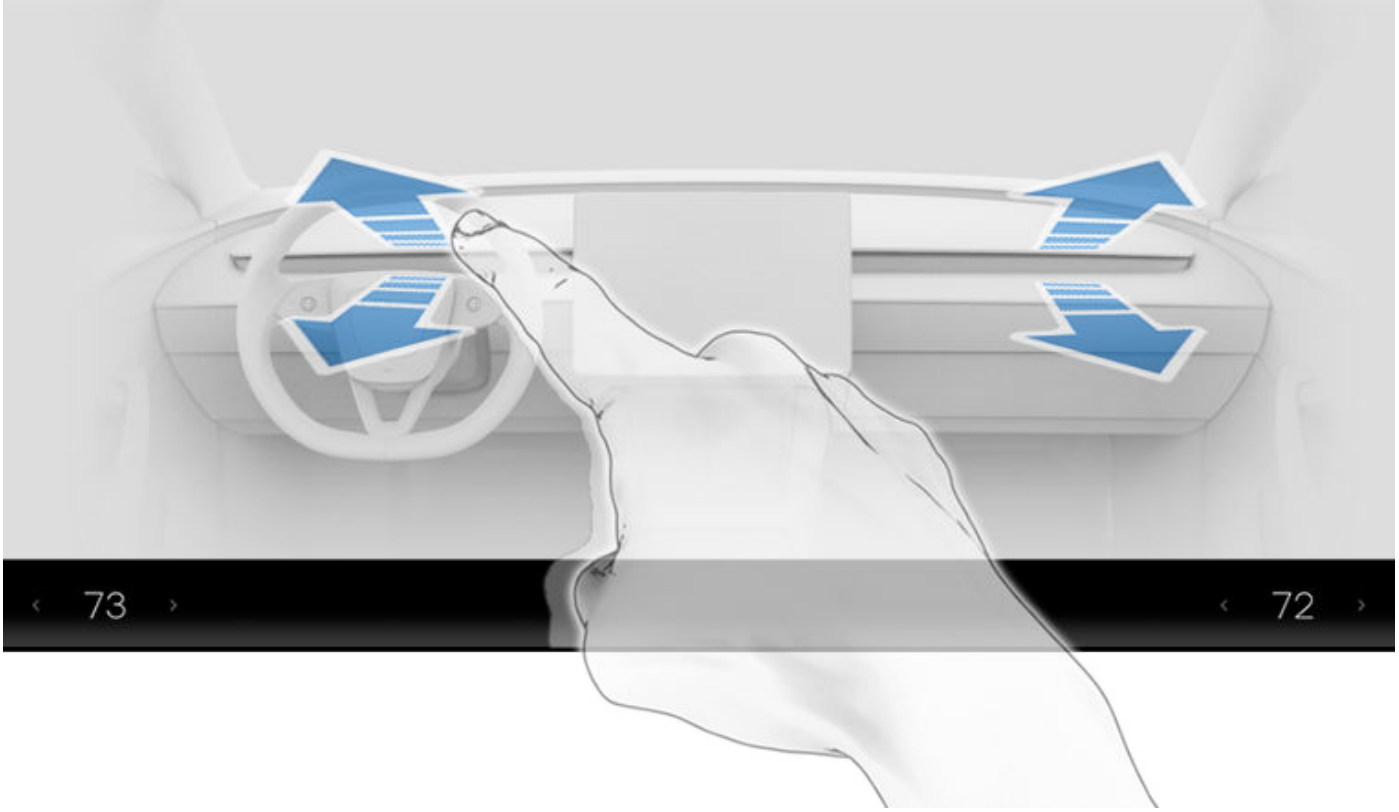
Model 3 には、ダッシュボード全幅に渡って顔の高さにあるユニークな通気口を備えています。センター コンソールの背面にもリア キャビン用の通気口があります。



1. 運転席通気口
2. 運転席コントロール
3. 助手席コントロール
4. 助手席通気口
5. 後部座席通気口
6. リアコントロール（装備されている場合）

フロント通気口およびリア通気口の調整

キャビンで暖房または冷房を使用するとき、タッチスクリーン（装備されていれば）を使用して空気が流れる方向をピンポイントで好きな向きに調整することができます。顔の高さレベルの通気口をオンにすると、各通気口から空気の流れの方向を調整することができます。空気が流れる方向を調整するには、タッチスクリーンで対応する通気口の波線部分をタッチしてドラッグします。通気口中央から外向きまたは内向きに空気の流れが向けられているとき、中央に向けられているときは流れが一つとなり、分割すると左右対称に流れ出します。



注: 空気の流れを分割すると、空気の流れは流れを一方向にしているときと比べると流れが弱くなります。

車両にリア タッチスクリーンが装備されていない場合は、センターコンソールの後ろにある通気口を調整して、リア キャビン空気の流れを調整できます。

注: 外気はフロント ガラス前方のグリルを通して Model 3 に取り込まれます。木の葉や雪などの障害物がグリルをふさがないようにしてください。

キャビン エア フィルター

Model 3 は、花粉、産業降下物、道のほこり、その他の粒子が通気口から入り込むことを防止するエア フィルターを 1 つ以上備えています。

注: キャビン エア フィルターは定期交換が必要です。定期サービス ページ 196 を参照してください。

寒冷環境におけるベストプラクティス

寒冷環境において Model 3 でのユーザー体験を最大限に向上させるには、次のベスト プラクティスを実施します。

運転の前に

雪や氷が車両に付着すると、ドアハンドル、ウィンドウ、ミラー、ワイパーなどの可動部が凍結する場合があります。走行距離を最大限に伸ばし、性能を確保するためにも、走行前にキャビンやバッテリーを暖めておくとよいでしょう。方法としてはいくつかあります:

- **「コントロール」** > **「予約」**（充電画面と空調画面でもアクセス可能）をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（プレコンディショニングと充電の予約 ページ 190 を参照）。
- モバイルアプリで、**「空調」**に移動し、車内を暖める温度を調整できます。また、これにより必要に応じて高電圧バッテリーも温まります。
- モバイルアプリで、**「空調」** > **「車を霜取り」**を選択すると、フロントガラス、充電ポート、ウィンドウ、ミラーについた雪、氷、霜を溶かすことができます。また、これにより必要に応じて高電圧バッテリーも温まります。

  注: 空調は、少なくとも出発の 30〜45 分前に作動させておくことをお薦めします（空調を操作する ページ 156 を参照）。プレコンディション開始時間は外気温およびその他の条件により異なります。モバイル アプリは、車両が希望するプレコンディショニング温度に達したことを知らせます。

充電ポート

充電ポートのラッチが凍結して充電ケーブルがポートに固定された場合は、**「コントロール」** > **「サービス」** > **「インレットヒーター」**をタッチします。.この方法で数分経って外れない場合は、手動で充電ケーブルの解除を試みてください。手動で充電ケーブルを外す ページ 188 を参照してください。

極端な寒冷時や凍結するような状況では、充電ポートラッチがそのまま凍ることがあります。I そのような天候時には、では充電ケーブルを抜き差しできるように充電ポートラッチの氷を溶かすことができます。そのためには、モバイル アプリを使用して**「車を霜取り」**を有効にします。

「スケジュール」設定を使用しても、充電ポートのラッチの凍結を防止することができます（プレコンディショニングと充電の予約 ページ 190 を参照）。

注: 充電ポートのラッチが凍結してしまった場合、充電ケーブルを挿入した時にロックしないことがあります。しかし、ラッチがかかっていなくても 充電速度は低下しますが充電は可能です。

充電通知

トリップ プランナー（使用可能な場合）を使用して Tesla 充電ポイントまで移動すると、Model 3 が高電圧バッテリーを予熱するので、充電ポイントに到着したときには、バッテリー温度は最適化され、充電の準備が完了しています。これにより、充電の所要時間を短縮できます。参照（トリップ プランナー ページ 172 を参照）。

注: Tesla では、充電ポイントに到着する前の少なくとも 30 分から 45 分間、トリップ プランナーを使用して充電ポイントへ移動することで、最適なバッテリー温度と充電条件を整えることをおすすめしています。充電ポイント到着までの走行時間が 30 分から 45 分よりも短い場合、運転前にバッテリーをプレコンディショニングしておくことを 検討してください（運転の前に ページ 163 を参照）。

注: ヒートポンプを搭載している車両の場合、特定の条件下でサーマルシステムから蒸気が発生することがあります（お客様の車両にヒートポンプが搭載されているかどうかは、**「コントロール」** > **「ソフトウェア」** > **「追加車両情報」**をタッチしてください）。たとえば、気温が低いときにスーパーチャージャーで 充電していると、無臭の蒸気が車両の前方から発生することがあります。これは正常な動作で、問題はありません。

ウィンドウ

モバイルアプリで、**「空調」**に移動し**「車を霜取り」**を選択します。これで、フロントガラス、ウィンドウ、ミラーについた雪、氷、霜を溶かすことができます。

低温時には、ドアを開けやすくし、凍結を防ぐために、ウィンドウが完全に閉まる際に車両のトリムよりわずかに下で停止します。

注: ウィンドウを破損しないように、車両に電力がない場合は常に、ドアを開ける前に外部の低電圧電源に接続するようにしてください。

Tesla ではサイド ウィンドウおよびリア ウィンドウ（フロントガラスは対象外）への疎水性コーティングを低価格で提供しておりますので、モバイル アプリを使用してサービス予約してください。

Doors

厳寒気象条件においては、着氷によってドアハンドルを 開くのがより困難になる可能性があります。この場合、モバイル アプリを使用して運転席ドアを自動で開くことができます。

1. モバイルアプリで 4 個のクイック コントロール ボタンのどれかを長押しし、指示に従って**「ドアのラッチ解除」**を使用したクイック コントロールをカスタマイズします。
2. 車のすぐそばにいるときに**「ドアのラッチ解除」**にタッチすると運転席ドアが自動で開きます。

ドアハンドルに付着した氷を取り除く

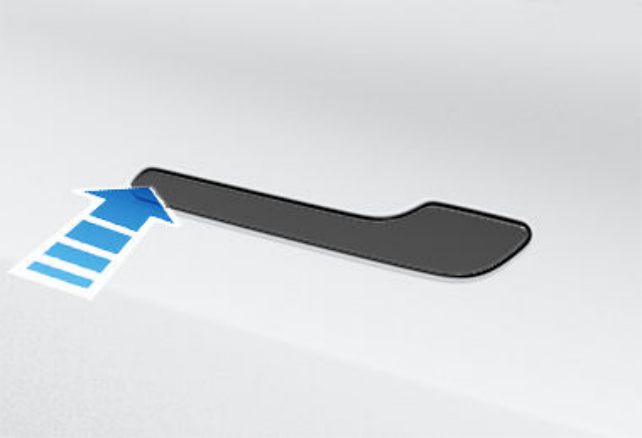
寒冷時には、ドアハンドル内に氷が付着しドアハンドルが開かなくなることがあります。Model 3 のドアハンドルを開くための手順は、着氷を除去するための他のモデルのものとは若干異なります。

注: 予め WD-40 をドアハンドルのピボットピンに塗布しておくと、ドアハンドル内部が凍結することを防ぐことができます。

注意: 工具を使用したり、過剰な力を加えたりして、ドアハンドルから氷を取り除こうとしないでください。

車両のドアハンドルが黒色の場合: ドアハンドルから氷を取り除くには以下の手順を実施します。

1. ドアハンドルの最前方を強く押し込みます。これにより内側に少し動いて氷を割るのに役立ちます。

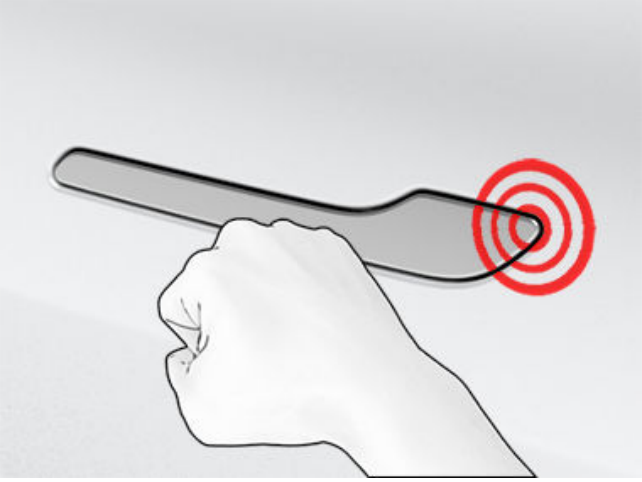


2. ドアハンドルの最後方を押して、普段するようにドアハンドルを開こうとしてください。
3. ドアハンドルが動くようになったら、ドアハンドルを数回開け閉めして残りの氷を取り除いてください。車両に入る前にドアハンドルが完全に格納されてことを確認し、運転前にドアが完全に閉じられていることを確認してください。

車両のドアハンドルが銀色の場合: こぶしの下側を使ってドアハンドルを数回叩いてみると、通常は氷を取り除くことができます。ドアハンドルから氷を取り除くには以下の手順を実施します。

注意: ジュエリーなど塗装を傷つけてしまうようなものは外してからこの手順を実施してください。また、道具や過度の力を使ってこの手順を行わないでください。

1. ドアハンドルの最後部に力を入れて押すことで、ドアハンドルを開くことができます。
2. こぶしの下側を使ってドアハンドルの周辺を円を描くように叩き、ドアハンドルの氷を取り除きます。
3. ドアハンドルの幅広になっている部分の後部を、こぶしの下側を使って叩きます。必要に応じて叩く力を強め、氷が除去されドアハンドルが開くようになるまで手順 1〜3 を繰り返します。



注意: 絶対に車両をへこましてしまうような力を使って叩かないでください。ドアをノックするのときと同等の力を使ってください。

4. ドアハンドルが動くようになったら、ドアハンドルを数回開け閉めして残りの氷を取り除いてください。車両に入る前にドアハンドルが完全に格納されてことを確認し、運転前にドアが完全に閉じられていることを確認してください。

ミラー

駐車時に着氷が予想される場合は、**「自動格納式ミラー」**をオフにしておきます。**「コントロール」** > **「自動格納」**の順にタッチします。凍結により、サイドミラーの展開、格納ができなくなる場合があります。

注: プレコンディショニング中や、リア デフロスターをオンにしたとき、サイドミラーが必要に応じて自動的に温められます。

ワイパー

駐車中に積雪や凍結が予想される場合は、**「コントロール」** > **「サービス」** > **「ワイパー サービス モード」**の順にタッチします。これで、ワイパーがフロントガラスから持ち上がり、フロントガラスの霜取り時に同時にワイパーの霜取りができます（ワイパーとウォッシャー ページ 79 を参照）。また、ワイパーデフロスターをオンにすることもできます（装備されていれば）。空調を操作する ページ 156 を参照してください。

タイヤおよびタイヤチェーン

雪道や凍結路面でトラクションを高めるにはスタッドレスタイヤを使用してください。ウィンタータイヤは Tesla ショップで購入することができます（季節別タイヤ保管 ページ 203 を参照）。

タイヤチェーンを装着することで、雪道や凍結路でトラクションを高めることができます。地域の法令を確認し、冬季に地域でタイヤチェーンが推奨されているか、使用が義務付けられているかを確認してください。詳細情報については、タイヤチェーンの使用 ページ 204 を参照してください。

周辺温度が低くなると、車両のタイヤ空気圧は低下します。TPMS インジケータ ライトが点灯した場合、走行前にタイヤに空気を補充してください。外気温が 10°F (6°C)低下するとタイヤ空気圧は 1 PSI 低下します（タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 198 を参照）。タイヤ空気圧を適正に保つことで、タイヤを路上の穴から保護し、航続距離を延ばせます。

運転中

寒冷時は、運転や車内の暖房、バッテリーの加熱などで電力消費が多くなります。電力消費を下げるためには以下が推奨されます。

- シート ヒーターで暖めます。シート ヒーターは車内ヒーターより消費エネルギーが少なくてすみます。車内の温度設定を下げ、シートヒーターを使用すれば電力消費を削減することができます（空調を操作する ページ 156 を参照）。
- 運転速度を落とし、急激、頻繁な加速を避けてください。

回生ブレーキ

バッテリーの温度が低すぎると回生ブレーキの働きが制限されることがあります。運転を続けるとバッテリーの温度が上がり、回生電力が増加します（回生ブレーキ ページ 81 を参照）。

注: 回生ブレーキの制限は、車両のプレコンディショニングに十分な時間をとるか、**「スケジュール」**を使用して出発時刻までModel 3 をプレコンディショニングすれば回避できます（プレコンディショニングと充電の予約 ページ 190 を参照）。

注: 冬用タイヤを取り付けると、回生ブレーキ力が一時的に減少することがありますが、少しの時間走行すれば、Model 3 によって正しいブレーキ力に再キャリブレーションされます。**「サービス」** > **「ホイールとタイヤ」** > **「タイヤ」**の順にタップしてウィンタータイヤを選択してこのプロセスを速めます。

バッテリー低温

バッテリー温度が下がって電力の利用可能量が減ると青色の雪の結晶アイコンがタッチスクリーンに表示されます。利用できない電力量はバッテリーメーターで青色に表示されます。回生ブレーキ、アクセル、および充電速度が制限される場合があります。バッテリーが十分に温まると、雪の結晶アイコンが消えます。

運転後

使用していないときは、Model 3 に充電プラグを挿入してください。これにより、バッテリーの代わりに充電システムが使用され、バッテリーは温めておくことができます（高電圧バッテリーに関する情報 ページ 182 を参照）。

プレコンディショニングの予約

駐車したら、充電画面と空調画面の両方にある**「コントロール」** > **「予約」**設定で Model 3 のプレコンディショニングを実行する時刻を設定します（プレコンディショニングと充電の予約 ページ 190 を参照）。**「予約」**を使用して、所定の場所での充電ポートラッチの凍結を防止することもできます。車両は、出発予定時刻までに車内とバッテリーが温まっているようプレコンディショニングを開始する時間を決定します。

Tesla では、車両に十分なエネルギーがあることを確認するため、プレコンディショニングに予約充電を設定することをお勧めしています。Model 3 が接続されていない場合でも、Model 3 が低電力モードでない限り、プレコンディショニングは作動します（低電力モード ページ 192 を参照）。

車両の保管

Model 3 を長期間駐車する場合は、充電ケーブルを挿入しておけば、正常な走行可能距離の短縮を防ぐことができ、さらにバッテリーを適切な温度に保つことができます。車両に充電ケーブルを挿したまま長期間放置しても安全です。

使用していないとき、Model 3 は自動的にスリープモードに入ってエネルギーを節約します。モバイル アプリで車両の状態をチェックする回数を減らしてください。チェックするたびに車両は自動的に起動し通常の電力を消費します。

暑熱環境におけるベストプラクティス

暑熱環境において Model 3 でのユーザー体験を最大限に向上させるには、次のベスト プラクティスを実施します。

運転の前に

以下に示すいくつかの方法でドライブのために車両を準備して、既に熱くなっている車両に乗り込まなくても済むようにすることができます。

- 通気口からの気流の向きを動かしてキャビンをプレコンディショニングし、シートヒーターをオンまたはオフにします。モバイルアプリで、**「空調」**に移動し、車内冷房温度を調整できます。
- 充電画面と空調画面の両方にある**「スケジュール」**をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（プレコンディショニングと充電の予約 ページ 190 を参照）。
- 暑い時にキャビンが熱くなりすぎないようにするための**キャビン過熱保護**を有効にします。キャビン温度が 105°F（40°C）または選択した温度（利用可能な場合）を越えた場合にエアコンを作動させるかファンだけを作動させるかを選択することができます。
- モバイル アプリで**「コントロール」**に移動して、ウィンドウを換気します。

注: 空調は、少なくとも出発の 30〜45 分前に作動させておくことを Tesla は推奨しています（空調を操作する ページ 156 を参照）。プレコンディション開始時間は外気温およびその他の条件により異なります。モバイル アプリは、車両が希望するプレコンディショニング温度に達したことを知らせます。

運転後

使用しないとき、特にプレコンディショニングまたはキャビン過熱保護を使用している場合は、Model 3 にプラグを挿入したままにしてください。これにより、バッテリーの代わりに充電システムを使用して、快適温度を維持します（高電圧バッテリーに関する情報 ページ 182 を参照）。さらに、以下に示すいくつかの方法で、キャビン温度の上昇を最小限に抑えることができます。

- 車両から離れる（ちょっと用足しするなどの）前に、ドッグモードを使用して、ペットや生鮮食料のためにキャビンを涼しく保ちます。詳細情報については、エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 158 を参照してください。
- Tesla では、車両の下に水たまりが発生するのをできる限り抑えるため、空調を 30 秒間オフにしてからパーキングにシフトすることを推奨しています。
- 日陰に駐車することは、電力消費の削減およびキャビン温度を低く維持するために役立ちます。
- 日の当たる屋外に駐車しなければならない場合は、サン シェード（Tesla ショップで購入可能）を使用してください。
- 駐車する際は Model 3 にプラグを挿入し、充電を**スケジュール**します。車両が充電を開始する適切なタイミングを判断し、オフピーク時間帯に充電を完了します。キャビンおよびバッテリーも設定した出発時刻までに準備されます。詳細な情報は、プレコンディショニングと充電の予約 ページ 190 を参照してください。

充電

トリップ プランナーを使用している場合またはスーパーチャージャー ステーションに移動している場合、最も効率的な充電をするために、車両が自動的にバッテリーの準備をします。酷暑の場合、スーパーチャージャーへの移動の際に車両がバッテリーのプレコンディショニングをしているメッセージが表示されないことがありますが、それでも車両はバッテリーの準備をしています。

注: Tesla では、充電ポイントに到着する前の少なくとも 30 分から 45 分間、トリップ プランナーを使用して充電ポイントへ移動することで、最適なバッテリー温度と充電条件を整えることをおすすめしています。充電ポイント到着までの走行時間が 30 分から 45 分よりも短い場合、運転前にバッテリーをプレコンディショニングしておくことを 検討してください（運転の前に ページ 163 を参照）。

可能であれば、温暖な天候であっても、使用していないときは、とりわけプレコンディショニングやキャビン過熱保護を使用している場合、車両に充電器のプラグを差し込んだままにしてください。

車両の保管

Model 3 を長期間駐車する場合は、充電ケーブルを挿入しておけば、正常な走行可能距離の短縮を防ぐことができ、さらにバッテリーを適切な温度に保つことができます。車両に充電ケーブルを挿したまま長期間放置しても安全です。

使用していないとき、Model 3 は自動的にスリープモードに入ってエネルギーを節約します。モバイル アプリで車両の状態をチェックする回数を減らしてください。チェックするたびに車両は自動的に起動し通常の電力を消費します。

地図の概要

タッチスクリーンには常に地図が表示されます（Model 3 がリバースにシフトされたときを除く）。

地図は指で操作します。

- 地図を任意の方向に動かすには、指を置いてドラッグします。
- 地図を任意の方向に回転させるには、2 本の指を置いて回転させます。
- ズーム イン、ズーム アウトするには、それぞれ 2 本の指でピンチ イン、ピンチ アウトします。

注: 地図を回転あるいは移動すると、現在位置の追跡はなくなります。地図の向きを示すアイコンのとなりに「トラッキングは無効」というメッセージが短時間表示され、アイコンはグレーになります。トラッキングを再度有効にするには、地図の向きを示すアイコンにタッチして北向きか進行方向を選択します。

注: ナビゲーション ルートがオンになっていると、地図は自動でズーム イン、ズーム アウトします。

マップの向きを変えるには以下のオプションを切り替えます。

ノースアップ: 北が常に画面の上になります。

ヘッディングアップ: 進行方向が常に画面の上になります。車の向きが変わると地図が回転します。このアイコンには運転方向を示すコンパスが組み込まれています。

注: 目的地に向かってナビゲーション中に、このアイコンにタッチすると、ルート概要が表示されます。

目的地に向かって移動しているときはルート概要が利用可能であり、（下にスワイプして）道順リストを開くと表示されます。上にスワイプして道順リストを折り畳むと、地図の表示は前回選択した向きになります。

注: 車両の地図上での位置は、GPS によって決定されます。GPS の精度は、天候や建物による遮蔽といった環境要因のほか、他の機器（他社製のドライブレコーダーや、車内の他の GPS 機器など）による干渉の影響を受ける可能性があります。

地図表示

Model 3 がパーキングにシフトしていると、マップ上に次のアイコンが表示され、マップに表示する情報のタイプをカスタマイズできます。走行中にこれらのアイコンにアクセスするためには、マップ上のどこかをタッチします（数秒するとアイコンは消えます）。

衛星の画像（プレミアムコネクティビティが 装備されている場合）。

交通状況（プレミアムコネクティビティが 装備されている場合）。

マップの詳細情報（人気スポットなど）

3D マップを表示します（プレミアムコネクティビティが装備されている場合）。

注: 衛星の画像を有効にしている場合、3D マップは利用できません。

地図の任意の場所にピンを設定するには、行きたい場所を指で長押しします。ピンを立てるかまたは既存のピンをタッチすると、その場所がマップの中央になり、その場所に関する情報がポップアップ表示されます。このポップアップでは、その場所へのナビゲーションを開始したり、目的地のお気に入りリストに追加または削除したり、自宅または勤務先として設定したりできます。（自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 170 を参照）。

充電ポイントです。マップ上の都市および対応するステーションの近辺を含むポップアップ リストを表示します。充電場所には、Tesla スーパーチャージャー、ディスティネーション チャージング サイト、サード パーティの急速充電器およびこれまでに使用したことのある公共の充電ポイントが含まれます。充電ポイント ページ 170 を参照してください。ポップアップ リストの雷アイコンにタッチし、最大出力に応じて充電器のタイプの検索範囲を絞ります。

注: 一部の市場地域では、充電場所を表示する場合、サード パーティの急速充電器もダーク グレーのピンとして地図に含まれています。

天気に関する追加情報です（プレミアムコネクティビティが装備されている場合）。タッチするとマップ上に天候状態を追加表示し、雨や雪の予測の動きを表示します。今後 3 時間の天候の変化を予測した時間経過が含まれます。

ナビ設定

注: *使用可能なナビ設定は、地域や車両構成によって変わる可能性があります。*

目的地への移動を開始してから**...**をタッチすると、ナビゲーション設定アイコンが表示されます。

注: このナビ設定は、**「コントロール」** > **「ナビゲーション」**をタッチしてもアクセスできます。

ナビゲーション設定アイコンをタッチしてナビゲーション システムが自分の好みに合うようにします（利用できる設定は、販売地域と車両構成によって異なります）。

- **ナビ ガイダンス**: **「音声」**にタッチして、ナビゲーション指示の音声読み取りを有効にします。
- ナビゲーションの音声指示の音量は、-または+をタッチして増減します。左端まで下げるか、またはスピーカー アイコンにタッチすると、指示はミュートされます。ナビゲーション指示をミュート/ミュート解除するには、スピーカー アイコンにタッチします。この音量設定はナビゲーションシステムの音声指示だけに適用されます。メディア プレーヤーや電話の音量は変わりません。

  注: 車速および空調設定に基づいて音量が自動的に調整されるようにすることができます。

  注: ペアリングしている電話が通話中のときは、ナビゲーションの指示はミュートされます。

- Model 3 に乗車したときに目的地までのナビを自動的に開始するには、オートナビゲーションを有効にします。目的地は、日常的に運転される経路、時刻、およびカレンダーの予定に基づいて予測されます（オートナビゲーション ページ 169 を参照）。
- **トリップ プランナー**（販売地域で利用可能な場合）を有効にして、必要に応じてスーパーチャージャーストップを 追加します。スーパーチャージャーストップを 経路案内に追加するのは、運転と充電に費やす時間を最小限に抑えることが目的です（トリップ プランナー ページ 172 を参照）。
- **「オンラインルート案内」**を有効にすると渋滞を避けで自動的にルート設定し、地域で利用可能になっている場合、ナビルートに沿ってリアルタイムの交通状況を取得することができます（オンラインルート案内 ページ 172 を参照）。
- フェリーを利用しないよう自動的に経路変更させるには、**「フェリーを使用しない」**をタッチします。
- 可能であれば、有料道路を利用しないよう自動的に経路変更させるために、**「有料道路を使用しない」**をタッチします。
- 高速道路を含まないルートを表示するには、**「高速道路を利用しない」**を有効にします。
- **「HOV 車線を使用」**を**「オフ」**、**「オン」**、**「自動」**から選択します。.**「オン」**, Model 3 に設定すると、高乗車率（HOV）車線がナビのルートに含まれます。**「オート」**, に設定すると、Model 3 はキャビン カメラ（キャビン用カメラ ページ 146 を参照）を使用して車内の乗員数を判定し、その情報に加えて時間、場所、道路規制を踏まえ、HOV レーンをルートに含めるかどうかを判断します。

  注: **「オート」**設定はメキシコでは利用できません。

目的地へのナビゲーション

場所にナビゲートするには、地図の角にある検索バーをタッチして目的地を入力し、携帯電話から目的地を送信するか、音声コマンド（音声コマンド ページ 17 を参照）を使用して住所、ランドマーク、会社名などを指定します。選択した目的地に他の目的地（空港のターミナルなど）が含まれている場合は、サブ目的地も選択できます。

検索バーをタッチすると、さまざまなオプションが表示されます：

- マップの別のエリアにズームインまたはドラッグしたときに検索を更新するには、**「このエリアを検索」**が表示されたらタップします（販売地域で利用可能な場合）。
- 保存された**「自宅」**または**「勤務先」**の場所（自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 170 参照）を選択します。
- **「充電」**の場所（充電ポイント ページ 170 参照）を選択します。
- **「最近の履歴」**の場所（最も直近の目的地がトップに表示）から選択します。
- **「お気に入り」**に設定した場所（自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 170 参照）から選択します。
- お腹がすいて人気レストランに行きたければ、**「食事」**。美術館やテーマパークなどの人気スポットに行きたければ、**「名所」**（「名所」および「食事」 ページ 170 を参照）。

次の方法でも目的地まで移動できます。

- 車両のタッチスクリーンで**「コントロール」** > **「検索」**をタッチし、目的地を入力します。
- Tesla モバイル アプリへのアクセスを許可した後、iOS®または Android デバイスの「共有」機能を使用します。
- 検索バーの下に表示される最近の目的地をタッチします。

注: iOS®または Android™デバイスからリモート操作でナビゲーションを開始するには、Tesla モバイル アプリのアクセスを許可してから「共有」機能を使用します。

場所を指定すると、タッチスクリーンがズームアウトして経路案内の概要が表示され、道順案内方式の経路案内リストが表示されます。予定到着時刻、運転時間、中間地点および目的地の天候状態、および走行距離が道順リストの下に表示されます。進路変更の一覧については次の事項をご注意ください。

- 目的地を入力した後、「**より速く**」または「**より少ない経由地**」を選択できます。
- ターン リストにあるバッテリー アイコンは、目的地に到着したときおよび目的地に行き現在地に戻った場合の残存エネルギーの推定値を視覚的に示したものです。エネルギー消費量の推測 ページ 171 を参照してください。
- **「到着%を設定」**を選択し（利用可能な場合）、スライダーを使用して、到着時のエネルギー量を設定します。
- 目的地に到着する前に充電が必要な場合で、なおかつ「トリップ プランナー」がオンになっている場合（販売地域で利用できる場合）は、経路案内にスーパーチャージャーストップが自動的に含まれます（トリップ プランナー ページ 172 参照）。

- 目的地に到達するために充電量が充分ではなく、かつスーパーチャージャーが予定ルート上にない場合、ナビゲーション表示の上部に警告が表示され、目的地に到着するまでに充電が必要であることを知らせます。
- 各進路変更では、曲がり角までの距離が先に表示されます。
- リストの一番最後を見るには、リストを上にドラッグしてください。
- リストを最小化するには、リスト最上部をタッチします。

目的地を設定すると検索バーには経由地を追加するための**「Search Along Route」**オプションが与えられます（経路に経由地を追加する ページ 169 を参照）。

ナビゲーション中、地図は車両の位置を追跡し、現在の行程を表示します。下にスワイプして、ターンバイターンの 方向リストを展開するか、またはルート概要アイコンにタッチすると、いつでもルート全体を表示することができます

ターンバイターンリストの 下には、目的地や次の停車地点までの距離を示す進捗バーが表示されます。オンラインルート案内が有効になっていると、進捗バーにはルート上の実際の交通状況も表示されます（オンラインルート案内 ページ 172 を参照）。

ナビゲーションを終了するには、道順案内の経路案内リストの下隅にある**「キャンセル」**にタッチします。候補の場所を右にスワイプするか、場所を長押しすると、特定の最近のナビゲーション検索結果を素早く削除できます。

注: データ接続ができない場合でも車載マップを使用すれば任意の目的地へのナビゲーションが可能ですが、その場所の正確かつ完全な住所の入力が必要です。

ナビゲート オン オートパイロットが有効になっている場合（販売地域で利用できる場合）、ターンバイターンの方向リストの**ナビゲート オン オートパイロット**をタッチして、ナビゲーションルート上で機能をオンにできます（この機能が有効な場合、アイコンは青色です）。**ナビゲート オン オートパイロット** は、高速道路などのアクセス管理された道路において、ナビルートに沿って、自動的に車線変更や Model 3 の操舵を行ないます。詳細はナビゲート オン オートパイロット ページ 111 を参照してください。

代替経路を選択する

地域や車両の設定により、お客様の車両でこの機能が利用できない場合があります。車両にプレミアム コネクティビティが装備されている必要があります。

1 つの経由地を持つ目的地を入力すると、マップには最大で 3 つの代替経路が表示されます。これにより、各ルートの総移動時間および交通情報を簡単に比較することができます。タイムアウトにする前に希望のルートを選択しなければ、最速の経路が自動的に選択されます。

経路に経由地を追加する

目的地を入力した後に、経由地を追加、消去または順序付けすることで経路を編集することができます。道順の下にある 3 つのドットをタッチして、ルートを編集するためのオプションを表示します。

経由地の追加は、場所を検索する、自宅を追加する、最近の目的地、またはお気に入りの目的地を追加することで経由地を追加できます。検索すると、ルートに近い場所が、そこまでの寄り道にかかる時間と共に表示されます。マップ上のピンをタップして、情報ポップアップから**追加**を選択することで、経由地を追加することもできます。

経由地の編集では、経路に経由地を追加または削除することで詳細な経路を設定することができます。等号サインをタッチして経由地をドラッグ アンド ドロップすると順番を並べ替えることができます。

また Tesla モバイル アプリを使用してルートを編集することもできます（販売地域で利用可能な場合）Tesla モバイル アプリで、**「場所」** > **「ナビゲート」**の順に移動し、**「走行ルートを編集」** > **「経由地を追加」**の順にタッチしてルートを編集したら、**「車に送信」**にタッチしてその走行ルートを車両と共有します。

注: Tesla モバイル アプリのバージョン 4.27.5 以降が必要です。

オートナビゲーション

注: *オートナビゲーション は、販売地域や車両構成によっては使用できない場合があります。*

オートナビゲーション は、乗車したときに目的地を予測することができます。Model 3 に携帯電話のカレンダーが同期されている場合、カレンダーには車両運転のために乗車したときから 2 時間以内に発生するイベントが含まれます。オートナビゲーションでは、そのイベントの位置を提案します（イベントが発生する有効な住所があることを前提とします）。

さらに、平日（月曜日～金曜日）の午前 5 時～午前 11 時の間に自宅で車両に乗車すると、オートナビゲーションによって自動的に指定されている「勤務先」までの経路が表示されます（自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 170 を参照）。平日の午後 3 時から午後 11 時の間に勤務先で車両に乗り込むと、オートナビゲーションは自動的に指定されている「自宅」までの経路を示します。

オートナビゲーションを有効にするには、**「コントロール」** > **「ナビゲーション」** をタッチして、**オートナビゲーション**を選択します。電話機のカレンダーを Model 3 に同期させる必要があり、イベントに重複のない指定された有効な住所を含める必要があります（電話、カレンダー、ウェブ会議 ページ 60 を参照）。

注: 手入力した、または Model 3 に送信したナビの道順は、オートナビゲーションの推奨経路より優先されます。

「名所」および「食事」

注: *販売地域や車両構成によっては、機能が使用できない場合があります。*

選択した目的地までのナビに加え、Model 3 はお客様の気分に合わせ近所にある**食事**または**名所**を提案することもできます。ナビ検索バーで**「食事」**または**「名所」**をタッチします。**「食事」**では、人気のレストランの一覧を提案し、**「名所」**では人気の目的地（美術館やアミューズメントパークなど）の一覧を提案します。関心のある目的地を見つけたら、**「ナビゲート」**をタッチして目的地へ進みます。

この機能には、最新版のナビゲーションマップが必要です。ダウンロードするには、Model 3 を Wi-Fi に接続してから、**「コントロール」** > **「ソフトウェア」**にタッチして、利用できるアップデートの有無をチェックします（地図のアップデート ページ 173 参照）。

自宅、勤務先、お気に入りの目的地

目的地をお気に入りとして追加する場合、ナビゲーション検索バーをタッチしてから**お気に入り**をタッチし、お気に入りのリストから目的地を選択することで、目的地に簡単に向かうことができます。

目的地をお気に入りに追加するには：

1. 地図上でそのピンをタッチし、表示されるポップアップ画面で星形アイコンをタッチします。
2. 名前(またはデフォルト名のまま) を入力 し、**お気に入りに追加**をタッチします。

星マークが塗りつぶされると、その目的地がお気に入りリストに設定されたことになります。

最近あるいはお気に入りの目的地を削除するには、目的地リストでその項目を長押しし、表示される**「X」**をタッチします。お気に入りの目的地リストは、目的地をタッチしてドラッグすることで並べ替えることもできます。変更が完了したら、**「完了」**をタッチします。

自宅または職場の場所を設定するには：

1. ナビゲーションの検索バーをタッチします。
2. **「自宅を設定」**または**「職場を設定」**をタッチします。
3. 住所を入力し、**「自宅として保存」**または**「勤務先として保存」**をタッチします。または、**「現在地を使用」**をタッチします。

ピンをドロップして、自宅または職場として設定することもできます。ピンのドロップ方法については、地図表示 ページ 167 を参照してください。自宅および職場を設定すると、それぞれのショートカットをタッチするだけで自宅や勤務先のナビゲーションができます。

自宅または職場の位置を変更するには、「自宅」または「職場」アイコンを長押しします。

自宅や勤務先が保存されると、Model 3 は、朝は勤務先、夕方は自宅にナビゲーションする指示を求めてくるようになるとともに、現在の交通状況に基づいて到着予定時刻が表示されます。オートナビゲーション ページ 169 を参照してください。**「自宅を削除」**または**「勤務先を削除」**にタッチして関連する住所を完全に削除します。使用パターンによっては、検索した目的地を自宅または勤務先として保存するように Model 3 から求められることがあります。

セキュリティ上の理由から、Model 3 を売却する、所有権譲渡する、または他の人に運転させる場合は、自宅と勤務先の場所情報を削除することを推奨します。個別に削除することもできますが、工場出荷リセットを実行して個人データをすべて消去することもできます（**「コントロール」** > **「サービス」** > **「工場出荷リセット」**にタッチします）。

充電ポイント

充電ポイントを地図に表示するには、地図の検索バーにタッチしてから、**「充電ポイント」**にタッチします。充電ポイントはリストで一覧表示（最寄りの充電ポイントが一番上に表示）されるとともに、地図上ではピンで表示されます。ピンにタッチすると、詳細情報を表示、ナビゲーション、またはお気に入りとしてマークできます。

充電器リストと地図に、Tesla が所有および運営していない充電ステーションを表示するには、**「コントロール」** > **「ナビゲーション」** > **「サードパーティ 充電ステーション」**の順にタッチします。この機能はデフォルトで無効になっていますトリッププランナーは、サードパーティ充電ステーションに自動的にナビゲートすることはありませんが、手動でルートに追加できます。

スーパーチャージャーへのルート案内中は、高電圧バッテリーのプレコンディショニングが行われます。これにより、最適なバッテリー温度で到着するので充電時間が短縮されます。サードパーティー製の急速充電器でバッテリーをプレコンディショニングするには、車両のナビゲーションでその充電器を検索し、目的地として選択してください。選択された目的地が急速充電器であると車両が自動的に認識し、それに応じてバッテリーのプレコンディショニングを行います。

稲妻アイコンをタッチして、地図に含める充電場所のタイプを指定します（デフォルトでは、マップにはスーパーチャージャーのみが表示されます）。

タッチして 70 kW までの低電力ステーション（ディスティネーション チャージング サイトなど）を含めます。

タッチして 70 kW を超える高電力チャージャーを含めます。

注: *一部の販売地域では、すべての充電場所を表示する設定にした場合、サード パーティーの急速充電器もダーク グレーのピンとして表示されます。*

充電ポイントにピンが表示されると、その場所の状態予測情報が表示されるようになります。ピンをタッチすると詳細が表示されます。

そのスーパーチャージャーのある場所は稼働しており、ピンに付けられている数字は到着時に使用可能であると予測されるスーパーチャージャー区画の数です。

注: 現在のナビゲーション ルート上にあるスーパーチャージャーは黒で表示されます（タッチスクリーンが夜間モードのときは白）。

このスーパーチャージャーの場所は利用者で混雑することが予測されています。充電までお待ちいただく必要がある場合があります。

この場所では、通常より利用可能なスーパーチャージャーが少ない可能性があります。

スーパーチャージャー ステーションは閉場している可能性があります。

この場所のスーパーチャージャーに関するデータはありませんが、稼働中です。

この場所にあるのは、目的の充電ステーションの場所、サード パーティの急速充電器、または過去に使用したことのある公共充電ステーションです。タッチすると、使用制限や利用可能な充電電流など詳細な情報が表示されます。

注: 地図がズーム アウトされ、エリア内に利用可能な充電ステーションが複数ある場合、ピンは丸くなりステーションの台数を表示します。ピンをタッチするとズームインされます。そこで個々のピンにタッチすると各地点の詳細が表示されます。

充電ポイントのピンにタッチすると、ポップアップが表示され、以下のようなことができます。

- 正確な場所と現在地からのおおよその距離がわかります。
- スーパーチャージャー設置場所がトレーラー フレンドリーであるかどうかを確認します。トレーラー フレンドリーのスーパーチャージャー設置場所には、トレーラーをけん引したまま車両を乗り入れて充電することができるスーパーチャージャー区画があります。

  注: Model 3 がけん引モード（装備されている場合）のとき、地図にはトレーラー フレンドリーのスーパーチャージャー設置場所がリストの一番上に表示されます。

- 徒歩で行ける範囲にある施設のリストを表示します。
- スーパーチャージャーのポップアップで施設アイコンをタッチすると、トイレ、レストラン、宿泊施設、ショッピング、Wi-Fi など、周辺エリアを手動で検索できます。
- 矢印アイコンにタッチすると、充電ポイントまでのナビを利用できます。

  注: スーパーチャージャー（地域によってはサードパーティの急速充電器）へと移動する場合、Model 3 は充電に備えてバッテリーのプレコンディショニングを実行します。場合によっては（寒冷時など）、モーターやコンポーネントからノイズが聞こえることがありますが、これはバッテリーを温めているためで異常ではありません（充電通知 ページ 163 を参照）。

- スーパーチャージャーの時間帯別の一般的な混雑状態と該当する充電料金および超過時間料金を表示します（スーパーチャージャー料金 ページ 187 を参照）。一部のスーパーチャージャー ステーションでは、**「サイト マップを表示」**をタップすると、サイト全体のレイアウトを 3D 表示で確認でき、リアルタイムの空き状況も地図上で確認できます。

エネルギー消費量の推測

目的地までナビゲートしている際に、Model 3 は目的地に到着した時点でのエネルギー残量を計算して、ドライバーが充電の必要性を事前に把握できるようにします。ナビゲーション中、地図にはターンバイターンの方向リストにあるバッテリー アイコンの隣にこの計算値が表示されます（目的地へのナビゲーション ページ 168 参照）。ターンバイターンの方向リストが縮小されている場合は、リストの上部をタッチすると広がります。

使用エネルギーを予測する計算は、運転スタイル（予測速度など）と環境要因（風速と風向、周囲温度と予報温度、空気密度、および湿度など）に基づいた推定値です。運転中、Model 3 は使用エネルギー量を継続的に学習し、時間の経過とともに精度を向上させます。 Model 3 は個々の車両で行われた運転スタイルに基づいてエネルギー使用量を予測します。たとえば、一定期間アグレッシブに運転すると、将来の航続距離予測では大きな消費量を想定します。エネルギー予測に寄与する要因（予測されている温度や風速など）の一部は、Model 3 がインターネットに接続されている場合にのみ使用できます。

注: 中古の Tesla 車両を購入する場合は工場出荷リセットを実施して（**「コントロール」** > **「サービス」** > **「工場出荷リセット」**）、予測エネルギーにできるだけ高い精度を確保することをお勧めします。

ルートの全体にわたって、Model 3 はエネルギー使用量を監視して、走行後の推定残存エネルギーを更新します。次の場合、ターンバイターン方式の方向リストに警告のポップアップが表示されます。

- 目的地到着までに必要な充電残量がごくわずかになったら黄色の警告が表示されます。電力を浪費しないように減速してください。エネルギーを節約する方法は航続距離を最大限に伸ばす ページ 191 を参照してください。
- 赤色の警告が表示される場合は、目的地に到達するために充電する必要があります。

往路および復路の走行に充電残量が十分か確認するには、ターンバイターンの方向リストにあるバッテリー アイコンにタッチして、往復走行に要する想定エネルギー量を表示します。または、目的地に向かってナビを実行する場合、**「到着時残量%を設定」**（利用できる場合）を使用して、到着時に車両が持っているエネルギー量を設定します。

オンラインルート案内

Model 3 は、リアルタイムの交通状況を検出して、自動的に所要時間と到着時刻を調整します。交通状況により予想到着時間が遅れる状況で別のルートがある場合、ナビゲーションシステムは目的地へのルート変更を行うことがあります。別のルートを拒否するには、タッチスクリーンのルート変更通知をタップします。ルートを変更する前に、時間短縮しなければならない最短時間を分数で指定することもできます。この機能のオンまたはオフを行うには、**「コントロール」** > **「ナビゲーション」** > **「オンラインルート案内」**の順にタッチします。

販売地域で利用可能な場合に、**「オンラインルート案内」** が有効になっていると、ナビ ルートに沿ってリアルタイムの交通状況が検出されたときに、その状況を示すアイコンが表示されます（プレミアム コネクティビティーが必要です）。

注: 対応するトラフィック アイコンは地域によって異なります。

フランス以外: 速度違反監視カメラが検出されると表示されます。速度違反カメラに近づいたときに、Model 3 からチャイム音を鳴らすこともできます。この機能を有効にするには、**「コントロール」** > **「ナビゲーション」** > **「速度違反カメラ チャイム」**の順にタッチします。

フランスのみ: 1 台または複数の速度違反カメラ、またはその他の一連の運転上の障害が含まれていることも、含まれていないこともあります。速度違反カメラに近づいたときに、Model 3 からチャイム音を鳴らすこともできます。この機能を有効にするには、**「コントロール」** > **「ナビゲーション」** > **「速度違反カメラ チャイム」**の順にタッチします。

停止標識および信号機を表示します。

信号が変わるまでの予測待ち時間をドライバーに知らせます。

ルート上に工事中の場所がある場合に表示されます。

道路が通行止めになっていることを示します。通行止めの道路を回避してルートが変更されると、タッチスクリーンに通知されます。

トリップ プランナー

トリップ プランナー（販売地域で利用可能な場合）を使えば、安心して長い道のりを運転できます。目的地到着までに充電が必要な場合、トリップ プランナーは適切なスーパーチャージャー施設を経由するように経路設定します。トリップ プランナーは、運転と充電にかかる時間を最小化するルートの選択と、充電時間を提供します。トリップ プランナーを有効にするには、地図の設定アイコン (ナビ設定 ページ 167 参照) をタッチしてから、**トリップ プランナー**をタッチします。

トリップ プランナーがオンになっていて、なおかつ目的地への到達に充電が必要な場合、ターンバイターン方式の方向リストにスーパーチャージャー所在地、各スーパーチャージャーでの推奨充電時間、スーパーチャージャー所在地到着時点の予測エネルギー残量が表示されます。

スーパーチャージャー所在地を削除して、道順だけを表示させるには、道順リストの下部にある**「充電ポイントを全て削除」**にタッチします。充電ポイントを削除する場合に、目的地到着には充電が必要だというアラートがターンバイターンの 方向リストに表示されることがあります。スーパーチャージャーストップを道順に再度追加するには、**充電ポイントを追加**をタッチします。

スーパーチャージャーで 充電している間充電スクリーンには次のスーパーチャージャー所在地または目的地まで（これ以上の充電が不要な場合）の運転に必要な残り充電時間が表示されます。実際の充電時間が長かったり、短かったりした場合には、後続のスーパーチャージャー所在地での充電時間が再調整されます。モバイル アプリを使用して、充電に要する残り時間を監視することもできます。

注: トリップ プランナーによってスーパーチャージャーまたは一部地域のサードパーティーの急速充電施設にナビゲーションされているあいだは、スーパーチャージャーまたはサードパーティーの急速充電施設に到着時点で最適なバッテリー温度になるように、Model 3 によりエネルギーが自動的に予熱に割り当てられることがあります。この結果、充電時間が短縮されます（充電通知 ページ 163 参照）。

トリップ プランナーが目的地までの往復に必要な電力がないと判断しても、ルート上にスーパーチャージャーが見つからない場合、トリップ プランナーはターンバイターンの 方向リストの最上部に警告を表示し、目的地到着には充電を要することを通知します。

注: ナビゲーション ルート上にあるスーパーチャージャーが故障中の場合には、トリップ プランナーは通知を表示して、別のスーパーチャージャー所在地に経路変更しようと試みます。

地図のアップデート

地図のアップデートが利用可能になると、それは Wi-Fi 経由で自動的に Model 3 に送られます。忘れずにそれを受け取るよう、定期的に Model 3 を Wi-Fi ネットワークに接続してください (Wi-Fi ページ 57 参照)。タッチスクリーンには、新しい地図がインストールされたことを告げるメッセージが表示されます。

概要

注: *メディア アプリは販売地域、車両設定、購入時オプション、およびソフトウェア バージョンによって異なります。販売地域によっては利用できないアプリがあり、別のアプリで代用されることがあります。*

メディア プレイヤーはタッチスクリーンに表示され、さまざまなタイプのメディアからの再生に使用できます。ミニプレーヤーの表示と同様に、メディア プレイヤーを上にドラッグすると展開し（ブラウズすることが可能になる）、下にドラッグすると最小化できます。ミニプレーヤーは便利にできており、現在再生中のものをタッチスクリーンに最小スペースで 表示するとともに、再生に必要な基本機能だけを表示します。

ウェブブラウザから音楽を再生し、それからブラウザを最小化する場合、Model 3 はバックグラウンドでブラウザの音楽の再生を継続します。メディア Miniplayer を使って、ブラウザの音楽を一時停止または再生することができます。ブラウザオーディオが開始される前に、あるメディアを再生していた場合、ブラウザの音楽が一時停止または終了した後に、そのメディアは再開されます。

ストリーミング サービスはデータ接続（Wi-Fi やプレミアムコネクティビティなど）が利用可能な場合に限って利用することができます。一部のメディア サービスでは、Tesla アカウントがデフォルト設定されています。それ以外は、初回使用時にアカウント認証情報の入力を求められることがあります。電話キーを車両とペアリングすると、ペアリングした携帯電話から認証を行うことができます。

注: メディア プレイヤーのドロップダウン リストからソースを選択して、メディア プレイヤー ウィンドウでソースを変更することができるため、さまざまなメディア アプリを起動する必要はありません。

「ラジオ」: 聴取可能なラジオ局のリストから選択するか、または数字キーパッドにタッチして、ラジオ局の周波数を直接入力して選曲します。周波数を次へ （または前へ） 移動させるには、周波数を選んでから、次への矢印あるいは戻るの矢印をタッチします。

「Bluetooth」: Bluetooth 接続された電話や USB デバイスに保存されている音源を再生します（デバイスからメディアを再生 ページ 175 参照）。

Caraoke（装備されている場合）: さまざまな曲を歌うことができます（カラオケ ページ 175 を参照）。

注: メディア アプリ/ソースを表示するまたは非表示にすることができます。メディアの設定 ページ 174 を参照してください。

Model 3 は、地域で利用可能な場合、以下のメディア アプリをサポートします。

- Amazon Music
- Apple Music
- Apple Podcasts
- Audible
- LiveOne
- スポッティファイ
- Tidal
- チューンイン
- YouTube Music

インターネット ラジオや音楽ストリーミング サービスを聴く場合、メディア プレイヤーで選択できるオプションは何を視聴するかによって変わります。次に進む（または、前に戻る）矢印にタッチすると、利用可能な次の（または前の）ラジオ局、エピソード、楽曲が再生されます。次の曲を再生、または前の曲を再生の操作は、ハンドル上の左スクロール ボタンでもできます。

注: 音声コマンドを使用して、音量コントロール、音楽再生、またはメディアソースの切り替えといったメディア設定や好みを調整することができます（音声コマンド ページ 17 を参照）。

音量調節

音量は次のようにして制御することが可能です。

- 再生音量を調節するには、ハンドルの左側にあるスクロール ホイールを上下に回します。これにより、メディア、音声コマンド、電話の音量が調整されます。
- 車速および空調設定に基づいて音量を調整することができます。
- タッチスクリーンのボタン コーナーにあるスピーカーアイコンに関連する**「<」「>」**の矢印にタッチします。
- メディアを一時停止するには、左スクロール ボタンを押してください。もう一回押すと再開します。
- 通話中に左のスクロール ボタンを押すと、サウンドとマイクの両方がミュートされます。

メディアの設定

注: *各種設定は、販売地域によって異なります。また、設定が適用されない音源もあります。*

オーディオ設定にアクセスするには、**「コントロール」** > **「オーディオ」**をタッチするか、タッチスクリーン下部の音量調整の上にある設定アイコンをタッチしてください。

以下の設定を調整することができます。

- **「トーン」**: スライダーをドラッグすることで、サブウーファーおよび 5 種類の波長帯域（低音、低中音、中音、中高音、高音）を調節できます。または、ドロップダウンリストをタッチしてプリセットを選択します。プリセットを作成するには、トーン設定をお好みに調整し、**「新しいプリセットに追加」**をタッチしてください。カスタムプリセットを削除するには、ドロップダウンから該当するプリセットを選択し、**「プリセットを削除」**をタッチします。

- **イマーシブサウンド**：プレミアム オーディオが装備されている場合、お好みに合わせてスライダーをドラッグすることで、サウンド イマーションのレベルを調整してミュージック エクスペリエンスをより 魅力あるものにすることができます。または、**「オート」**を選択すると、再生中のメディアに応じてイマ―ジョンが自動的に調整されます。
- **「バランス」**: 聴きたい Model 3 の位置に合わせて中央の円をドラッグします。
- **「オプション」**: オプション機能を設定します。たとえば、**「DJ コメンタリー」**、**「不適切なコンテンツ」**、**「モバイル コントロールを許可」**のオンオフの切り替えができます。
- **「ソース」**: 利用可能なすべてのメディアソースを 表示して、それぞれのソースの表示/非表示を選択することができます。使用しないメディアソースは非表示にすることができます。非表示にすると、そのメディアソースはメディアプレイヤーのドロップダウン リストに表示されなくなり、アプリ ランチャーにタッチしてもアプリ トレイに表示されなくなります。いつでもこの設定画面に戻って、非表示になったメディアソースを 再度表示させることができます。

オーディオ コンテンツの検索

特定の曲、アルバム、アーティスト、ポッドキャスト、ステーションを検索するにはメディアプレーヤーの虫眼鏡アイコンをタッチします。音声コマンドを使用してハンズフリーで 検索することもできます(音声コマンド ページ 17 を参照)。利用可能な場合、**「HD」**®をタッチして選択した周波数の高品質バージョンを再生します。

カラオケ

注: *車両の設定や地域により、お客様の車両ではカラオケを利用できない場合があります。Caraoke にはプレミアムコネクティビティが必要です。*

メディアプレイヤーに移動して、ドロップダウンメニューを選択してメディアソースをカラオケに変更します。または、カラオケをアプリランチャーのアプリとして追加します。様々な曲を検索して、歌いたい曲を選択します。マイクアイコンをタッチして曲のメインボーカルを有効/無効にします。マイクを無効にすると、曲の演奏やバックコーラスのみが流れます。歌詞アイコン（マイクアイコンの隣）をタッチして曲の歌詞を有効/無効にします。

米国のみ: カラオケスタジオを完成させるために、マイクを http://www.tesla.com で購入することができます。

警告: 運転中には絶対にカラオケの歌詞を読まないでください。常に道路状況や交通状況に注意を払ってください。運転時には、他の乗員がカラオケの歌詞を見ることを目的としています。

Grok（ベータ版）

注: Grok を使用するには、プレミアムコネクティビティまたは Wi-Fi 接続が必要です。

Grok は xAI によって開発されたインテリジェント アシスタントで、会話が可能になりました。Grok の声や性格は、「ストーリーテラー」から「アンヒンジド」まで、お好みに応じて選択できます。アプリランチャーから**「Grok」**をタッチするか、Grok にログイン後にハンドルの右側スクロールボタンを長押ししてください。

注: Grok との会話内容は Tesla に対して匿名で送信され、車両と関連付けられることはありません。

注: Grok は初期ベータ版であり、現在はナビゲーション関連のコマンドのみをサポートしています。現在ご利用中の車両用音声コマンドは引き続きそのままご利用いただけます。

最近の履歴とお気に入り

もっとも直近に使用したコンテンツは、最近の履歴でもお気に入りでも、使いやすいようにトップに表示されます。

現在再生中のラジオ局、ポッドキャスト、オーディオファイルをお気に入りリストに追加するには、メディア プレイヤー上の**「お気に入り」**アイコンをタッチします。

ある項目をお気に入りから削除するには、強調表示された**「お気に入り」**アイコンにタッチします。複数のお気に入りを削除するには、メディアプレイヤーを展開して、適用できるソース コンテンツのタイプごとにすべてのお気に入りを表示します。そしてお好きなお気に入りを押し続けます。**「X」**はすべてのお気に入り項目上に表示されます。お気に入りリストから削除したい項目の**「X」**にタッチします。

最近再生した選択は継続的に更新されるため、それらを削除する必要はありません。

注: （装備されていれば）FM ラジオ局で再生する選択局は「最近の履歴」リストには表示されません。

デバイスからメディアを 再生

USB フラッシュ ドライブ

フロント USB ポートにフラッシュ ドライブを挿入します（USB ポート ページ 11 参照）。**「メディアプレイヤー」** > **「USB」**の順にタッチして、希望するフォルダーの名前にタッチします。USB 接続したメディアを再生する場合、Model 3 はフラッシュドライブのみを認識します。iPod など別のタイプのデバイスからメディアを再生するには、当該デバイスを Bluetooth で接続する必要があります（Bluetooth 接続された機器 ページ 176 を参照）。

注: メディアプレーヤーは、exFAT でフォーマットされた USB フラッシュドライブに対応しています(NTFS には現在対応していません)。

注: センター コンソール前にある USB ポートを使用します。コンソールのリア側にある USB 接続は充電専用です。

注: 2021 年 11 月 1 日ごろ以降に製造された車両の一部では、センター コンソール USB ポートが充電サービスしかサポートしていない可能性があります。その他のすべての機能については、グローブボックス内の USB ポートを使用してください。

Bluetooth 接続された機器

Bluetooth 機能を持つデバイスを Model 3 にペアリングして（Bluetooth ページ 58 を参照）、保存されたオーディオ ファイルを再生します。メディア プレイヤーの **「電話」**ソースを選択して、Bluetooth 接続したデバイスの名前にタッチしてから、**「接続」**にタッチします。

概要

注: *地域、製造日、および車両構成によって、エンターテインメントオプションが異なる場合があります。*

「シアター」: 駐車中は、さまざまな動画ストリーミング サービス（Netflix、YouTube、Hulu など）をお楽しみください。Model 3 が Wi-Fi に接続しているか、プレミアムコネクティビティが 装備されていて、携帯電話信号が使用できる場合に限って利用可能です。

注: タッチスクリーンでコンテンツをストリーミング中にパーキングからシフトすると、映像は一時停止し、音声のみ再生が続きます。タッチスクリーンでストリーミングを閉じても、リア タッチスクリーンでは映像と音声が引き続き有効な状態でストリーミングが続きます。

「アーケード ゲーム」プレーしてみませんか。プレーするには、ハンドルのボタンや Bluetooth または USB のコントローラーを使用する必要があることがあります。ゲーミング コントローラー ページ 179 を参照してください。

注: 2021 年 11 月 1 日頃以降に製造された一部の車両では、センターコンソールの USB ポートは、デバイスの充電にのみ使用できます。これらの車両では、グローブボックス内の USB ポートを使用する必要があります。

「おもちゃ箱」: パーキングにシフトしているときにおもちゃ箱で遊んでください。

警告: これらの機能は、Model 3 が駐車しているときのみ使用してください。運転する時は、常に道路と周囲の交通環境に注意を払ってください。運転中のエンターテイメント機能の使用は、違法なうえに非常に危険です。

注: 音声コマンドを使用してこれらの機能にアクセスすることもできます(音声コマンド ページ 17 を参照)。

おもちゃ箱

車両のおもちゃ箱には、楽しく使える機能が含まれています。ここでは、おもちゃ箱の機能の一例をご紹介します。

これを選択すると...	できることは...
Boombox	Model 3 に歩行者警告システムが備わっていれば、パーキングにシフトしているときに、車両の外部スピーカーからさまざまなサウンドを流して歩行者を楽しませることができます。詳細についてはブームボックス ページ 178 を参照してください。 **注:** 公共の場所でブームボックスを使用する前に、現地の法律をご確認ください。
排出ガス	楽しみは、意外なところからやってくるものです。お好みのブーブー スタイルと目的のシートを選んでください。「いたずら」する準備ができたら、ウィンカーか左スクロール ホイールを押してブーブークッションを鳴らします。できれば、シートをブーブークッションに換えます。歩行者警告システムが備わっていれば、お客様の車両がパーキングにシフトしているときに、外部に向かって音を出すことができます。でも待ってください。お楽しみはそれだけではありません。モバイル アプリを使用すると、4 個のクイック コントロール ボタンのどれかを長押ししてから「おなら」ボタンを選択することで、遠隔音出しテストを実行することができます。
ライトショー	屋外に車を停めて、ボリュームを上げ、ウィンドウを下げて、ショーを楽しんでください。愛する人を驚かすために曲をカスタマイズすることができますし、車両のタッチスクリーンまたはモバイル アプリを使用して、ライトショーの予約をすることができます。 **注:** ライト ショーは、公道上または公道付近に駐車している場合は使用しないでください。使用すると、他の道路利用者の注意を妨げる可能性があります。有効にする前に、ライト ショーの使用が現地の法律および規制に準拠していることを確認するのは運転者の責任となります。 **注:** ライト ショーでは 1 つの USB ドライブからの複数のカスタム ショーをサポートしており、他の人と共に楽しんで共有することができます（画面上の指示にしたがってください）。

ライト同期	音楽に合わせて車内のアクセントライトを同期させることで、より豊かなドライビング体験をお楽しみいただけます。ライトを点灯させるタイミングを選ぶには、**「オン」**または**「夜間のみ」**を選択してください。気分に合わせてお好みの色を選択してください（「ライト」 ページ 76 を参照）。その後、**「アクセント ライトを音楽と同期」**を有効にすると、アクセントライトライトが Model 3 から再生される音楽のビートやリズムに反応して点滅します。 友達を何人か誘って車を停めたら、**「レーブ ケイブ」を有効にしましょう。「最大輝度」**で、Model 3 の車内がパーソナルなレイヴ空間に早変わりします。**「レインボーレーブ」**を選択すると、音楽のビートに合わせて虹色のライティングが切り替わる演出が追加されます。夜間や暗いガレージでのご利用がおすすめです。**レーブ ケイブ：明るさを調整すると、「最大輝度」**は自動的に無効になります。 **「アルバム アートの色に合わせます 」**を有効にすると、再生中の楽曲のアルバムカバーで最も目立つ色に合わせて、アクセントライトの色が自動的に変化します。楽曲にアルバムカバーがない場合は、Model 3 が設定済みのカラーに自動的に切り替わります。ライトの色を手動で変更すると、**「アルバム アートの色に合わせます」**は自動的に無効になります。
火星	マップには Model 3 が火星の大地を走る流浪者として表示され、**お客様の Tesla について** ボックスには SpaceX の惑星間スペースシップが表示されます。
Photobooth アプリ	車内をフォトブースに変身させましょう！（装備されている場合）Model 3 のキャビンカメラを使ってセルフィーを撮影できます。楽しいフィルター、ステッカー、絵文字を使って写真をアレンジできます。Tesla モバイルアプリ（バージョン 4.51.5 以降）から、撮影した写真を家族や友人と共有できます。
レインボー 充電ポート	Model 3 がロック状態で充電されているとき、モバイル コネクターのボタンを素早く 10 回押してください。どうです?
レインボーロード	カウベルがもっと必要? 一部のオートパイロット機能が有効なときは、タッチスクリーンで**「アプリランチャー」** > **「おもちゃ箱」** > **「レインボーロード」**.に進み、**「常にレインボー表示」**をオンにします。［レインボーロード］は、またはドライブストークを素早く 4 回下まで押し下げることで起動することもできます。 ボーナスレインボーを楽しみたいですか？**「Gotta Have More Rainbows」**をオンにすると、（装備されている場合）アクセントライトがレインボーにアニメーション表示されます！
ロマンス	もちろん車内で焚火を焚いて栗を焼くことはできませんが、このバーチャル暖炉を使えば大切な人とロマンティックなひと時を過ごすことができます。お気に入りの音楽を流して、ロマンチックな雰囲気を演出！
スケッチパッド	あなたの内なるピカソを呼び出してみましょう。あなたの才能を見せるチャンス！**出版** をタッチしてあなたの作品を Tesla まで送付ください。
TRAX	世界的に有名な DJ になる夢を追い続けるのに遅すぎることなんて決してありません。を使えば TRAX、車両を自分だけの音楽スタジオに変えられます。「P（パーキング）」に入れている間、たくさんの楽器やユニークなサウンドを組み合わせて新しいヒットソングを作り出せます。マイクとヘッドセットは含まれておりません。
生命、宇宙、そしてすべてにおける究極の質問に答える	車両の名前を**「42」**に変更します（**「コントロール」** > **「ソフトウェア」**にタッチしてから、車両の名前にタッチします）。新しい名前に注目してください。
車載用カラーライザー	タッチスクリーンで Model 3 の色を変更します。車両名の隣にある色見本にタッチすると、エクステリアのカラー、トーン、などをカスタマイズできます。

ブームボックス

注: ブームボックスは、歩行者警告システム（PWS）の装備車でしか使用できません。

注: 公共の場所でブームボックスを使用する前に、現地の法律をご確認ください。

ブームボックスを使用すると、Model 3 が駐車時に、歩行者警告システム（PWS）スピーカーから外部に音を出すことができます。例:

- **現在のメディアを再生**.
- **メガホン**を使用して、声を変調できます。

- ホーンを押すと互換性のある USB デバイスから任意のサウンドの最初の 5 秒間を再生します。

注: 空調でキャンプモードを選択している場合、降車後 Tesla アプリで音量を調整することができます。

ブームボックス用の USB ドライブの準備

これらのステップに従って最大で 5 つのカスタムブームボックスサウンドを追加することができます。

1. コンピューターで、USB ドライブを exFAT、MS-DOS FAT (for Mac)、ext3、または ext4 でフォーマットします（NTFS は現在サポートされていません）。
2. USB ドライブに「**Boombox**」というフォルダーを作成します。

   注: USB ドライブには、1 つのフォルダーのみを含めることができます。例えば、ダッシュカムと共有することはできません。

3. .wav と.mp3 の音声ファイルをフォルダーに追加します。USB ドライブの容量が許す限りファイルを追加することができますが、選択できるのは、アルファベット順に並べられたリストにある先頭の 5 つだけです。ファイル名は任意の長さで、大文字と小文字のアルファベット（a-z/A-Z）、0〜9 の数字、ピリオド（.）、ダッシュ（-）、アンダースコア（_）を使用できます。
4. USB ドライブをフロント USB ポートに差し込みます。

   注: 2021 年 11 月 1 日頃以降に製造された一部の車両では、センターコンソールの USB ポートは、デバイスの充電にのみ使用できます。これらの車両では、グローブボックス内の USB ポートを使用する必要があります。

5. **「ブームボックス」**ドロップダウンメニューで、USB ドライブからサウンドを選択します。

ゲームのアンインストール

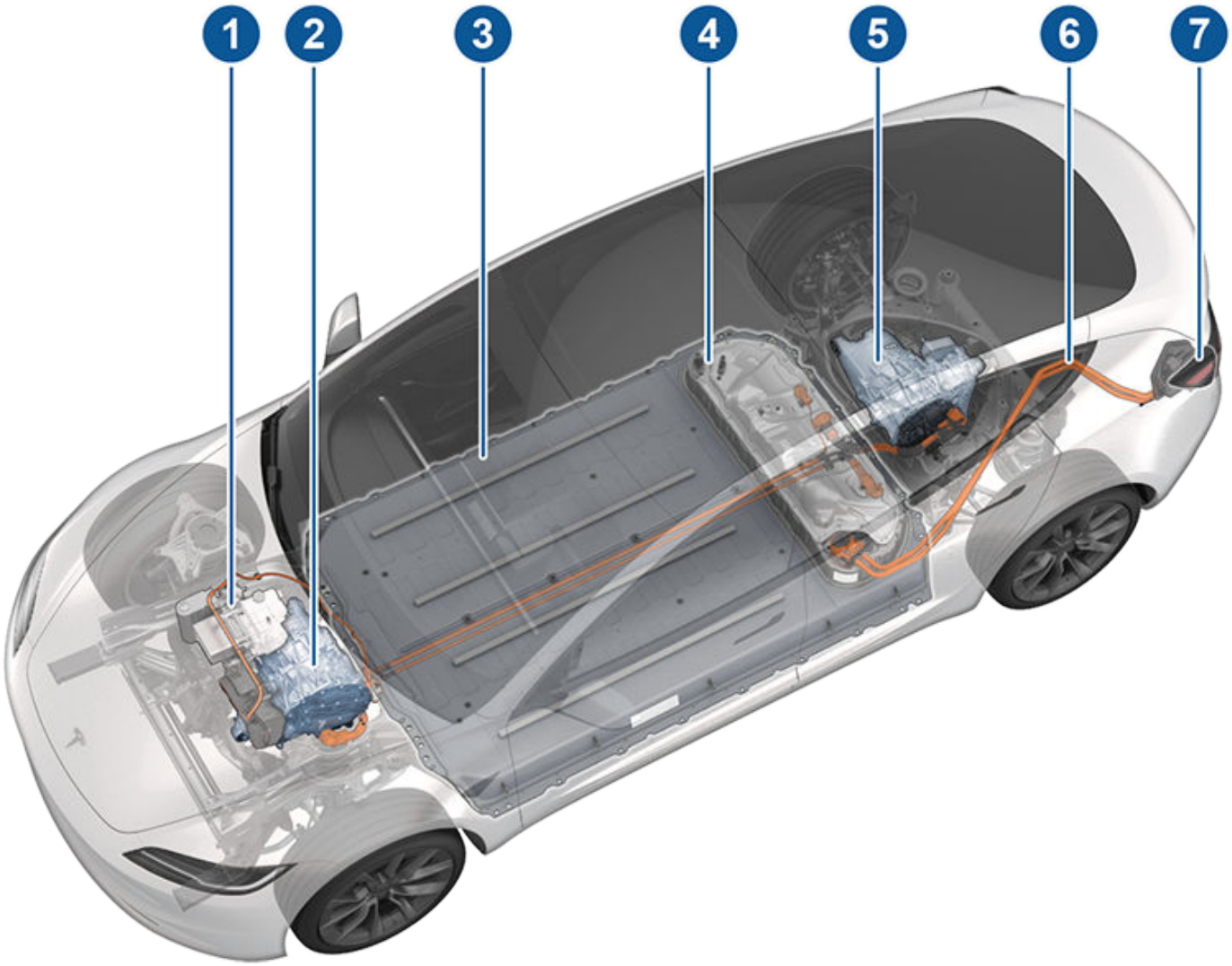
ゲームのアンインストールは、車両のストレージ容量を空けたい場合に便利です。ゲームをアンインストールするには、**「アーケード」**に移動し、アンインストールするゲームを選択し、**「アンインストール」**をタッチします。一度アンインストールしたゲームを再びプレイするには、ゲームをダウンロードする必要があります。

ゲーミング コントローラー

Bluetooth Classic ゲーミングコントローラーは、携帯電話のペアリングと同じ手順で Model 3 にペアリングできます（電話、カレンダー、ウェブ会議 ページ 60 を参照）。ペアリング後、コントローラーは自動的に車両に接続します。接続すると、コントローラーを使用して選択したゲームをプレイすることができます。 Model 3 一度に 2 台の Bluetooth デバイスのみに対応することが可能です（例えば、コントローラー 2 台、または携帯電話とコントローラー）。

およそ 2021 年 11 月 1 日よりも前に製造された車両の場合、USB 互換のゲームコントローラーを車両のセンターコンソールにあるフロント USB ポートに接続することができます。およそ 2021 年 11 月 1 日よりも後に製造された車両の場合、グローブボックスの USB ポートを使用する必要があります。

高電圧コンポーネント



1. ヒート ポンプ アセンブリ
2. フロント モーター（デュアルモーター車両のみ）
3. 高電圧バッテリー
4. 高電圧コンポーネント用のサービス アクセス パネル（補助ベイ）
5. リア モーター
6. 高電圧回線
7. 充電ポート

警告: 高電圧システムにはユーザーが整備可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーは通常オレンジ色が使われており、容易に見分けることができます。

警告: Model 3 に貼ってあるラベルの注意を読み、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。

警告: 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。

充電機器

Model 3 の充電専用に設計された充電機器は Tesla から入手できます。

お客様の販売地域で使用可能な充電機器については、http://shop.tesla.com を参照してください。

- ウォールコネクターは駐車スペースに 設置するタイプであり、車両を日常的な使用で最も高速に充電することができます。
- モバイル コネクターを使用することで、一般的に使用されているほとんどのコンセントに差し込むことができます。モバイル コネクタを使用する場合は、スマート アダプタをモバイル コネクターに取り付けてからコンセントに差し込み、その後、車両に接続してください。
- Tesla は地域で最も一般的に使用されている公共充電ステーションで使用できるアダプターも提供しています。公共充電ステーションでは、最初にアダプターをステーションの充電コネクターに取り付けてから、車両に接続してください。

高電圧バッテリーに関する情報

Model 3 は世界最高クラスの高性能バッテリーを搭載しています。高電圧バッテリーを長持ちさせるために最も重要なのは、車両を使用していない間も**充電プラグを差し込んだままにしておく**ことです。特に数週間以上 Model 3 を運転する予定がない場合、これは重要です。

注: 充電しないまま車両の電源を付けた状態にしているとき、バッテリーはシステム試験および 低電圧バッテリーの充電を必要に応じて実行する必要があるため電力を消費しています。

バッテリーのレベルが低下するまで充電を待つ必要はありません。実際、バッテリーは定期的に充電されていると最高の性能を発揮します。

注: バッテリーを 0%まで放電させると、他のコンポーネントが損傷し、場合によってはコンポーネントの交換が必要になることがあります（例：低電圧バッテリー）。このような場合には、お客様に修理費用や輸送費用を負担していただきます。放電により生じた費用は、保証やロードサイドアシスタンスポリシーの保証対象になりません。

スーパーチャージャーによる充電など、多数の急速 DC 充電セッションの後で、バッテリーのピーク充電速度がわずかに低下することがあります。航続距離とバッテリーの安全性を最大限に引き出すため、バッテリーが冷たすぎたり、バッテリーがフル充電に近くなっていたり、バッテリーの状態が使用状況や経過日数によって変化している場合は、バッテリー充電速度が低下します。バッテリーの物理特性によってこのようなバッテリーの状態変化が進むと、スーパーチャージングの総所要時間は、時間の経過とともに数分単位で延びる可能性があります。スーパーチャージャーに向かって走行中に、トリップ プランナー（販売地域で使用可能な場合）を使用してバッテリーを温めておくと、充電時間を最短にすることができます。詳細情報については、トリップ プランナー ページ 172 を参照してください。

バッテリーの保護

バッテリーを完全放電させないでください。

Model 3 を運転していない間も、バッテリーは車載電子回路に電源を供給するために非常にゆっくり放電しています。放電率は環境要因（寒い天候など）、車両構造、タッチスクリーン上の選択した設定により異なりますが、1 日におおよそ 1%の割合でバッテリーが放電します。Model 3 が充電されない状態が長期間続くような場合もあります (たとえば、空港の駐車場に車を置いて旅行に出かけるなど)。バッテリーを十分な充電レベルに保つために、前述の 1% について留意してください。たとえば、2 週間 (14 日) 充電しないと、バッテリーはおよそ 14% 放電します。

バッテリーを 0% まで放電すると車両のコンポーネントを損傷する恐れがあります。完全放電からバッテリーを保護するために、充電レベルが 0% 近くまで低下すると、Model 3 は低消費電力モードに入ります。このモードで、バッテリーは車載電子回路および低電圧バッテリーへの電源供給を停止します。低消費電力モードを有効にしたら、ジャンプスタートや低電圧バッテリーの交換などを避けるために、すぐに Model 3 を差し込んでください。

注: ロックが解除されない、ドアが開かない、充電が開始されないなど、Model 3 が反応しない場合は、低電圧バッテリーが放電している恐れがあります。このような場合は、低電圧 バッテリーのジャンプスタートをお試しください（ジャンプスタート ページ 238 を参照）。依然として車両が無反応である場合、モバイル アプリを使用してサービス予約してください。

温度限界

常に良好な性能を長期間維持するため、Model 3 を 140° F (60° C) 超または -22° F (-30° C)未満の環境に 24 時間以上連続して置かないでください。

省エネ機能

Model 3 には省エネ機能があり、Model 3 を使用していないときの消費エネルギーを減らすことができます。世代の新しい車両では、この機能は自動化され、最適なレベルの省エネモードが提供されています。一方、世代の古い車両では、**「コントロール」** > **「ディスプレイ」** > **「省エネモード」**の順にタッチして消費電力をコントロールすることができます。航続距離を最大限に伸ばし、電力を節減する方法について詳しくは、航続距離を最大限に伸ばす ページ 191 をご参照ください。

水没した車両について

他の自動車と同様に、お客様の Tesla が洪水や極端な気象現象にさらされたり、水（特に塩水）に浸かったりした場合は、事故に遭ったものとして扱ってください。詳細情報については、水没車両に関するガイダンス ページ 240 を参照してください。

注: 水没による損傷は保証の範囲外になります。

バッテリーに関する警告と注意事項

警告: 高電圧システムの保守は訓練された技術者**だけ**が実施するようにする必要があります。どのような状況下においても、バッテリーのフタを開けたり、バッテリーを改造したりしないでください。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーは通常オレンジ色が使われており、容易に見分けることができます。

注意: バッテリの充電レベルが 0%に達した場合は、プラグを差し込む必要があります。プラグを抜いたま長時間放置すると、低電圧バッテリーをジャンプ スタートさせるか、または交換しない限り、Model 3 を充電または使用できない場合があります。Model 3 を長期間にわたって充電せずに放置すると、バッテリーが損傷し、修復不能になる場合があります。低電圧バッテリーをジャンプスタートさせても Model 3 を充電できない場合は、サービス予約をしてください。

注意: バッテリーはオーナーによるメンテナンスを必要としません。クーラント フィラー キャップを開けたりバッテリー液を補充したりしないでください。タッチスクリーンに液レベルが低いという警告が表示された場合、モバイル アプリを使用してサービスを予約してください。

注意: このバッテリーは固定電源として使用しないでください。固定電源として使用した場合は、保証が無効になります。

充電ポートを開ける

充電ポートは Model 3 の左側に位置し、ドアの後ろ、リア テール ランプ アセンブリの一部にあります。充電ケーブルが充電ポートに届きやすいように、Model 3 を駐車します。

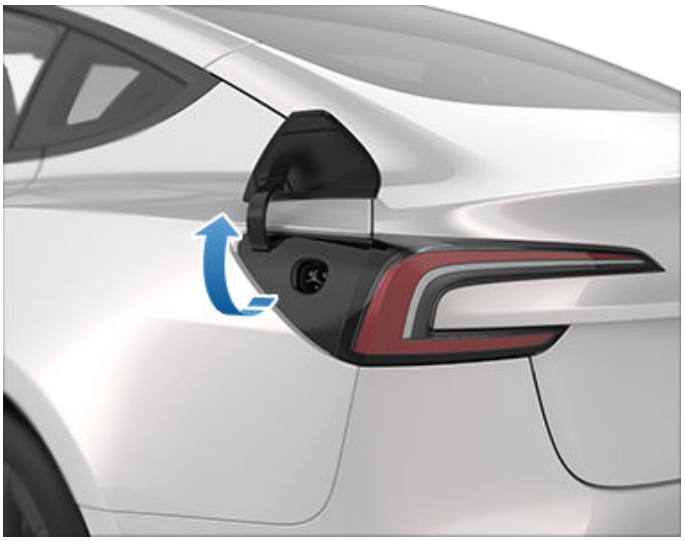
Model 3 がパーキングにシフトしている状態で、Tesla 充電ケーブル上のボタンを押して放すと充電ポートのドアが開きます

注: 一部の旧型 Tesla 充電機器では、充電ケーブルのボタンを押しても充電ポートのドアが開かない場合があります。その場合は、一覧にある別の方法を使用してください。

充電ポート ドアは、以下のいずれの方法でも開けることができます。

- タッチスクリーンから、**「コントロール」**をタッチして、充電ポートアイコン（稲妻アイコン）をタッチします。
- タッチスクリーンで、**「コントロール」** > **「充電」** > **「充電ポートを開く」**の順にタッチしてください。
- Model 3 がアンロックされ、認証された電話が近くにある状態で、充電ポート ドアの下側を押します。充電ポート ドアが開かない場合は、ドアハンドルを引いて車両を起動させ、再度お試しください。
- キー フォブ アクセサリー（別売）のリア トランク ボタンを 1〜2 秒間長押しします。
- 音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを開きます（音声コマンド ページ 17 を参照）。音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを閉じることや、充電を開始または停止することもできます。

注: *次の画像は、デモンストレーション目的でのみ提供されています。販売地域および製造日によっては、充電ポートに若干違いがある場合があります。*



注: 充電ポート扉を開けると、Tesla の「T」が点灯します。充電ポート扉を開いてから数分以内に充電ケーブルを充電ポートに接続されない場合、充電ポート扉は閉じます。その場合は、タッチスクリーンを使用して充電ポート ドアを再度開けてください。

注: 極端な寒冷時や凍結するような状況では、充電ポートラッチがそのまま凍ることがあります。一部のモデルには、寒冷時にリア デフロスターをオンにすると、連動してオンになる充電ポートヒーターがあります。モバイル アプリでプレコンディショニングを有効にすれば、充電ポート ラッチの氷を溶かすこともできます。これを防ぐには、**「予約」**設定（充電画面と空調画面の両方でもアクセス可能）をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（プレコンディショニングと充電の予約 ページ 190 を参照）。

注意: 充電ポートを無理に開けようとしないでください。

挿し込む

必要な場合は、タッチスクリーンを使用して充電制限と充電電流を変更します（充電設定 ページ 186 を参照）。

公共の充電ステーションで充電するには、適切なアダプターを車両の充電ポートに差し込み、ステーションの充電コネクターをアダプターに接続します。販売地域でよく使われているアダプターが付属しています。使用している充電器によっては、充電器の制御装置を使用して充電を開始、停止する必要があります。

モバイル コネクターを使用する場合は、先に電源に挿してから Model 3 につなぎます。

コネクターと充電ポートの向きを合わせて、コネクターを奥まで挿し込みます。コネクターが正しく差し込まれている場合に Model 3 が以下の状態になると、自動的に充電が開始されます。

- ラッチによってコネクターが所定の位置に固定されたとき。
- パーキングにシフトしたとき（他のギアに入っていた場合）。
- 必要に応じてバッテリーを加熱または冷却したとき。バッテリーを加熱または冷却する必要がある場合は、充電が開始されるまでに遅れが生じる場合があります。

注: Model 3 に充電ケーブルが差し込まれている状態で充電が行われていないときは、バッテリーに蓄積されたエネルギーではなく、充電機器からエネルギーが引き出されます。たとえば、ギアをパーキングに入れ、充電ケーブルを差し込んだ状態で、Model 3 の座席に座ってタッチスクリーンを操作している間、Model 3 が消費するエネルギーはバッテリーではなく充電機器から取り込まれます。

ただし、Model 3 が差し込まれているもののほとんどエネルギーを使用していない場合、バッテリーから直接エネルギーを取り込むことがあります。例えば、Model 3 を使用せずに数日間差し込んだままで放置すると、車両のシステムをサポートするために、バッテリーから直接少量のエネルギーを段階的に取り込むことがあります。

バッテリーが十分に放電すると、バッテリーは充電を開始して再び制限に到達します。点検時期によっては、バッテリーは十分に放電することなく、充電サイクルをトリガーすることがあります。その結果、長時間差し込んだ場合でも、充電限度よりも若干低くなることがあります。これは正常な作動であり、十分に放電した後に、Model 3 は再び充電を開始します。または、新しい充電サイクルを手動で開始するには、プラグ一旦を抜いてから Model 3 を差し込みます。

注意: 充電ケーブルのコネクター側を Model 3 の上に落とすと、塗装が損傷することがあります。

充電ポート ライト

充電ケーブルを Model 3 に挿入したら、数秒間待ち、充電ポートのライトが緑色で点滅を開始し、車両が充電されていることを確認します。このライトが黄色または赤色である場合は、車を離れる前に、充電が確実に行われるよう問題を解決してください。

- **白色（またはライトブルー色）:** 充電ポートが開いています。Model 3 充電準備ができていますが、コネクターが挿入されていないか、充電ポートのロックが解除されコネクターが取り外せる状態になっています。

  注: 初期世代の充電ポートが装備されている場合、車両が充電されておらず、周囲温度が 5°C（41°F）未満の場合は充電ポートのロックが解除されたままになります。これらの状況では、充電ポートのライトは白色で点灯します。

- **青色:** 充電器は接続されているが、Model 3 は充電をしていません（予約充電が有効になっている場合など）。
- **青色の点滅:** Model 3 充電器と通信しているが、まだ充電を開始していません（車両が充電準備をしている場合など）。
- **緑色の点滅:** 充電中。Model 3 の充電が終了に近いほど、点滅の頻度が遅くなります。
- **緑色の点灯:** 充電完了。
- **オレンジ色の点灯:** コネクターが完全に差し込まれていません。コネクターと充電ポートの向きを合わせて、コネクターを奥まで挿し込んでください。
- **オレンジ色の点滅:** Model 3 は電流を減少して充電しています（AC 充電のみ）。
- **赤色:** 故障が検出され、充電が停止しました。タッチスクリーンでアラートを確認してください。

充電ステータス

充電ポートのドアが開いていると、車のステータス画面の上部に充電ステータスが表示されます。

1. **残り時間:** 設定限度まで充電するための推定残り時間（充電設定 ページ 186 参照）

   注: 100%まで充電する場合、充電完了と表示されていても、車両は低電力で充電を継続している可能性があります。これは設計通りの動作です。このポイントを超えて追加されるエネルギーは小さいので、一般的には充電を継続しても利点はありません。

2. **充電**充電器の現在の電力。
3. **充電速度:** 接続している充電器ケーブル使用可能な最大電流。
4. **取得航続距離:** 充電で増加した推定航続距離。
5. **走行距離:** 推定総航続距離または利用可能エネルギー残量のパーセント表示（表示設定により異なる）で表示されます。

   注: 表示されるエネルギー単位を変更するには、**「コントロール」** > **「スクリーン」** > **「エネルギー表示」**の順にタッチします。

6. **充電ステータス:** 充電ステータス メッセージ（「スーパーチャージング」、「充電中」など）はここに表示されます（プレコンディショニングと充電の予約 ページ 190 参照）。

充電

充電中は、充電ポート ライト（Tesla の「T」のロゴ）が緑色に点滅し、タッチスクリーンに充電状況が表示されます。充電レベルが満充電に近づくにつれて、充電ポートのライトが点滅する周期が遅くなります。充電が完了すると、ライトの点滅が停止し、緑色の点灯になります。

注: 認証されたキーが近くにない場合、充電ポートのライトは点灯しません。

充電ポート ライトが充電中に赤く点灯する場合は、故障が検出されています。タッチスクリーンで故障に関するアラートを確認してください。故障は、停電などのよくある障害が原因で発生する可能性があります。停電が発生した場合は、電力が復旧すると自動的に充電が再開されます。

注: ヒートポンプを搭載している車両の場合、特定の条件下でサーマルシステムから蒸気が発生することがあります（お客様の車両にヒートポンプが搭載されているかどうかは、**「コントロール」** > **「ソフトウェア」** > **「車両の追加情報」**をタッチしてください）。たとえば、気温が低いときにスーパーチャージャーで充電していると、無臭の蒸気が車両の前方から発生することがあります。これは正常な動作で、問題はありません。

注: 充電中にノイズが聞こえますが異常ではありません。特に大電流で充電する場合は、必要に応じて冷媒コンプレッサーとファンが動作し、バッテリーを冷却します。

注: 通常充電は空調性能に影響を与えません。ただし、特定の状況（例えば、気温が高い日に大電流で充電しているなど）では、通気口から出る空気が冷たくない場合があり、タッチスクリーンにメッセージが表示されることがあります。これは正常な動作で、充電中にバッテリーを最適な温度範囲内にとどめ、バッテリー寿命と性能を最適になるようサポートします。

警告: 充電している間、絶対に充電ポートに勢いよく液体をかけないでください（高圧洗浄機など）。これらの指示に従わないと、重傷を負ったり、車両や充電器の損傷、財産の損失につながる恐れがあります。

充電の停止

充電ケーブルを取り外すか、タッチスクリーンで**「充電を停止」**にタッチすることにより、いつでも充電を停止できます。

注: 充電ケーブルの不正な取り外しを防止するため、充電ケーブル ラッチはロックされたままの状態となり、Model 3 のロックが解除されるか、キーを認識しない限り、充電ケーブルは取り外せないようになっています。

注: 初期世代の充電ポートが装備されている場合、Model 3 がロックされている場合でも、車両が充電されておらず、周囲温度が 5°（41°F）未満の低温の場合、充電ポートはロック解除されたままになります。

充電ケーブルを取り外す:

1. コネクタハンドル上のボタンを長押しして、ラッチを外します。
2. コネクターを充電ポートから引き抜きます。充電ポート扉は自動的に閉じます。

低温により充電ケーブルが差し込まれたまま凍結して抜けなくなった場合は、**「コントロール」** > **「サービス」** > **「インレット ヒーター」**をタッチします。これにより、充電ポートが最大 2 時間、加熱され、充電ケーブルの凍結を溶かすことができます。

注: 充電ポート ドアは、以下のいずれの方法でも閉じることができます。

- タッチスクリーン上で、車のステータス概要の充電ポート アイコン（雷マーク）にタッチします。
- タッチスクリーンで、**「コントロール」** > **「充電」** > **「充電ポートを閉じる」**の順にタッチします。
- 音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを閉じます（音声コマンド ページ 17 を参照）。

公共の充電ステーションでアダプターを使用して充電ケーブルを取り外す方法：

1. Model 3 をロック解除します。
2. 一方の手で公共充電ステーションの充電ハンドルを、もう一方の手でアダプターを押さえながら、充電ハンドルのボタンを長押しして外側に引くと、ハンドルとアダプターが同時に外れます。

   注: 充電ステーションのハンドルがアダプターから離れ、アダプターを Model 3 に挿入したままにしておく 場合は、タッチスクリーンを使用して充電ポートのロックを解除します。
3. 充電ハンドル ボタンをもう一度長押しして、公共用充電ハンドルからアダプターを外します。

注: 充電ポートは、コネクターを充電ポートから取り外すと約 10 秒以内に自動的に閉じます。

注: 充電ポート ドアは、以下のいずれの方法でも閉じることができます。

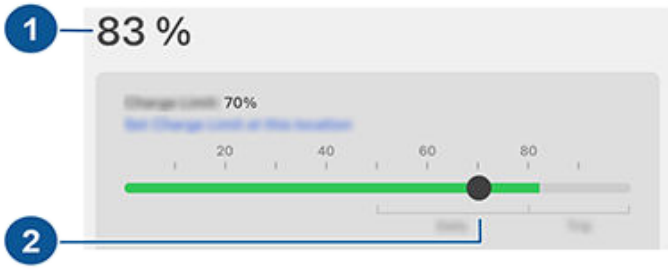
- タッチスクリーン上で、車のステータス概要の充電ポート アイコン（雷マーク）にタッチします。
- タッチスクリーンで、**「コントロール」** > **「充電」** > **「充電ポートを閉じる」**の順にタッチします。
- 音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを閉じます（音声コマンド ページ 17 を参照）。

注意: 充電ポート ドアを決して手で閉じないでください。さもないと、車に損傷を与える恐れがあります。

注意: Tesla では、Model 3 を使用していない場合でも、充電ケーブルを挿し込んだままにしておくことを強く推奨します。そうすることで、バッテリーの充電レベルが最適に保たれます。

充電設定

Model 3 がパーキングにシフトされているときに、**「コントロール」** > **「充電」**の順にタッチして、充電設定にアクセスします。タッチスクリーンのバッテリー アイコンにタッチして充電設定にアクセスすることもできます。



1. **使用可能なエネルギー：**高電圧バッテリーに残っている使用可能エネルギーを表示します。残りエネルギーをパーセンテージではなく推定走行距離（マイルまたはキロメートル）で表示するには、**「コントロール」** > **「スクリーン」** > **「エネルギー表示」**をタッチします。
2. **制限を設定する:** 充電スライダーを希望する充電レベルに調整します。選択した設定は、即時充電と予約充電に適用されます。

   注: 推奨される通常および長距離走行時の充電限度については車両のタッチスクリーンの情報（**「コントロール」** > **「充電」**に移動）またはモバイル アプリ（**充電**アイコンにタッチ）を参照してください。

   注: バッテリーの図の一部が青くなることがあります。これは、バッテリーが冷えているため、バッテリーに蓄えられているエネルギーのごく一部が運転に利用できないことを示しています。これは正常な動作で、問題はありません。バッテリーが温まると、青い部分が消えます。

充電限度をスライドさせ、通常の推奨充電限度を超えるまで動かすと、ポップアップ オプションが表示され、一時的に一度に限り通常の推奨充電限度を超えて充電することができます。これは長距離の移動に便利です。また選択した場合、元の充電制限にリセットされます。

さらに以下のようにして充電設定を変更できます。

- **この場所での充電上限設定：**現在地に対して場所固有の充電上限を選択でき、Model 3 がその場所を記憶します。 Model 3 は充電上限をその場所専用の上限に更新し、通常の充電上限を表示するために「デフォルトの充電上限」を追加します。同じ場所で充電するときは、充電上限を再度変更する必要はありません。
- **この場所での充電電流:** あらかじめ低い電流レベルに設定されていない限り、接続されている充電ケーブルから得られる最大電流に電流が自動的に設定されます。必要な場合は、- または + にタッチして電流を変更します（たとえば、他の機器と屋内配線を共有している場合に屋内配線が過負荷にならないように電流を下げることがあります）。接続されている充電ケーブルから得られる最大電流を上回るレベルに充電電流を設定することはできません。電流を変更すると、Model 3 はそのときの場所を記憶します。同じ場所で充電するときは、再度変更する必要はありません。

  国内用コンセントを持つモバイル コネクターを使用して充電する場合、車両はデフォルトの充電電流を自動で選択することができます。**この場所での充電電流**をカスタマイズするかモバイルアプリで、このデフォルト電流値をより高い設定にします。

- **充電ポートを開き、充電ポートのロックを解除して、充電を停止します。**充電していないときは、**「充電ポートを開く」**または**「充電ポートのロックを解除」**をタッチして、充電ポートのドアを開くか、充電ポートから充電ケーブルのロックを解除します。自動車のステータス概要で充電ポートの近くにある雷アイコンをタッチすることもできます。**「充電を停止」**を使用して充電を終了します。

  注: 寒冷時の気温が 5° C (41° F) 以下になった場合は、車両が充電中でなくても充電ポート（初期世代の充電ポート ハードウェアの搭載車両の場合）のロックは解除されます。

- **スケジュール：**プレコンディショニングと予約充電を表示します。保存した自宅と勤務先、または現在地のプレコンディショニングや予約充電を作成できます（プレコンディショニングと充電の予約 ページ 190 を参照）。
- **この場所で太陽光発電で充電:** *当該地域で利用可能な場合*、Tesla モバイル アプリを使用して、Tesla Powerwall により車両を余剰の太陽光発電電力で充電できるように設定します。自宅で車両を電源に接続し、**「太陽光発電で充電」**が有効になっている場合、車両は任意の電源からの最小充電制限まで充電され、その後、最大充電制限までは余剰太陽光発電電力のみで充電が続行されます。予約充電またはプレコンディショニングが設定されている場合、車両は余剰ソーラーを使用し、任意のソースから最小充電限度まで充電するために、指定された時刻まで待機します。*システム要件：車両ソフトウェア 2023.26 以降、Powerwall ソフトウェア 23.12.10 以降、および Tesla モバイルアプリ 4.22.5 以降。システム要件（**北米以外**）：車両ソフトウェア 2023.32 以降、Powerwall ソフトウェア 23.12.10 以降、および Tesla モバイルアプリ 4.30.5 以降。*
- **スーパーチャージャー充電:** スーパーチャージャーの使用料、場所、充電開始時間、そのセッションの推定費用を表示します（スーパーチャージャー料金 ページ 187 を参照）。

  注: 利用率の高いスーパーチャージャー サイトの混雑緩和のために、トリップ プランナー（販売地域で入手可能な場合）を利用していないときは、最大充電レベルが 80%に自動的に制限される場合があります。（トリップ プランナー ページ 172 を参照してください）。

スーパーチャージャー料金

Tesla スーパーチャージャーを使用して充電するときは、充電画面の下側に充電セッションの情報が表示されます。この情報には、場所、充電開始時間、そのセッションの推定費用が含まれます。スーパーチャージャー充電を停止すると、そのセッションにかかった推定費用が次回スーパーチャージャーで充電を開始する時まで表示されます。

注: 推定費用は、スーパーチャージャー充電セッションの最終費用を反映していない場合があります。そのセッションのスーパーチャージャー充電の料金は Tesla アカウントで確認することができます。

充電が完了した後、または使用頻度の高いスーパーチャージャーの場所において車両が混雑時限度に達した後は、追加料金がかかります。スーパーチャージャーは急速充電用に設計されており、これらの料金は充電完了後にドライバーが車両を移動するように促すものです。それぞれのサイトの料金体系は、超過時間料金や混雑時料金がかかるかどうかを含めて、タッチスクリーン上のサイトのポップアップ（充電ポイント ページ 170 を参照）または Tesla のモバイル アプリで確認できます。

- その場所の半分以上のスーパーチャージャーに車両が駐車している場合、**超過時間料金**が適用され、車両が充電限度に達すると追加課金が開始されます。Tesla モバイル アプリは充電完了が近づくと通知し、充電が完了すると再度通知します。超過時間料金が発生した場合は、追加で通知が送られてきます。充電が完了してから 5 分以内に車両を移動させれば、超過時間料金は免除されます。
- 米国のみ: 頻繁に混雑するスーパーチャージャー設置場所を選択した場合、**混雑時料金**が適用されます。そのステーションに空きがなく車両のバッテリー充電レベルが混雑時の充電限度を上回っている場合、混雑時料金が追加課金されます。最初の 5 分間は料金がかかりませんが、その後は車両を移動するまで課金されます。

Tesla アカウントにログインして、スーパーチャージャー充電の詳細と料金や、料金のお支払い方法の設定や決済を行うことができます。支払方法が保存されると、自分のアカウントから自動的に料金が引き落とされます。

サード パーティー充電器

充電器リストと地図に、Tesla が所有および運営していない充電ステーションを表示するには、**「コントロール」** > **「ナビゲーション」** > **「サードパーティ充電ステーション」**の順にタッチします。この機能はデフォルトで無効になっていますトリップ プランナーは、サードパーティ充電ステーションに自動的にナビゲートすることはありませんが、手動でルートに追加できま

す。一部の地域では、サードパーティ製の急速充電器にナビゲートすると、車両が自動的にバッテリーをプレコンディショニングします（充電ポイント ページ 170 参照）。

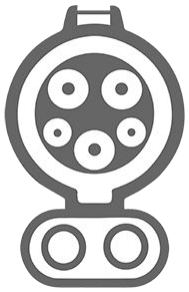
販売地域や車両構成に応じて、すべての Tesla 車には、Tesla が開発した**北米充電規格（NACS）**充電ポートが装備されており、この充電ポートは、サード パーティーの充電ステーションにおいて急速に普及しています。こういったステーションには NACS コネクターが装備されているので、個別のアダプターを必要としません。

すべての Tesla 車は Tesla ステーション（スーパーチャージャー、ウォール コネクター、モバイル コネクターなど）で充電することができますが、お持ちの車両には、一部の NACS 規格のサード パーティー DC 急速充電器を使用するために必要となるハードウェアが装備されていない可能性があります。すなわち、コネクターは互換性を持っているように見えるかもしれませんが、そのコネクターを Model 3 に挿入しても、車両は充電されません。これは、NACS コネクターを使用してサード パーティー DC 急速充電器で充電するためには、Model 3 が CCS 通信プロトコル（一部のサード パーティー充電器の充電システムで一般的に使用されています）もサポートする必要があるためです。

注: CCS コネクターを装備したサード パーティー ステーションで充電するためにはアダプターが必要であり、車両のハードウェアを改造して CCS 通信プロトコルをサポートする必要がある可能性があります。

車両が既に CCS と通信できるようになっているかを確認するには、**「コントロール」** > **「ソフトウェア」** > **「車両の追加情報」** > **「CCS およびサードパーティー NACS DC 急速充電器のサポート」**の順に移動します。

CCS 充電器:



NACS 充電器:

- **有効:** Model 3 CCS 通信プロトコルをサポートしており、あらゆる CCS ステーション（アダプターは必要）およびサード パーティー NACS ステーションで充電可能です。
- **有効ではない:** 車両は現在、NACS および CCS 充電ステーションの CCS 通信プロトコルをサポートしていません。ハードウェアの改造によって有効にするためのサービス予約の対象であるかどうかは、モバイル アプリを使用して確認してください。この改造ができるかどうかは場合によって異なる可能性があります。
- **互換性なし:** Model 3 CCS 通信プロトコルをサポートできないため、サード パーティーの NACS および CCS 充電ステーションで充電できません。

手動で充電ケーブルを外す

通常の方法（充電ハンドル取り外しボタン、タッチスクリーン、またはモバイル アプリの使用）で充電ケーブルを充電ポートから取り外せない場合は、以下の手順に慎重に従ってください。

1. タッチスクリーンの充電画面を表示させて、Model 3 が充電状態でないことを確認します。必要に応じて、**充電を停止**をタッチします。
2. リア トランクを開きます。
3. 充電ポート取り外しケーブルを下向きに引き、充電ケーブルのラッチを外します。

   警告: 充電ポートから充電ケーブルを引き抜こうとしているときに同時にリリースケーブルを引かないでください。リリースケーブルは必ず充電ケーブルを引き抜く*前に*引いてください。これらの指示に従わないと、感電および深刻な怪我をする恐れがあります。

   注: 解除ケーブルは、トリムの開口部に収めることができます。

4. 充電ケーブルを充電ポートから引き抜きます。

注意: リリース ケーブルは、通常の方法で充電ケーブルを引き抜くことができない場合に**のみ**使用してください。リリース ケーブルを頻繁に使用すると、リリース ケーブルや充電機器が損傷する恐れがあります。

警告: 車両の充電中や、橙色の高電圧電線が露出している場合は、この操作を実施しないでください。これらの指示に従わないと、感電および深刻な怪我、または車両を損傷する恐れがあります。この操作の安全性に不安がある場合は、最寄りのサービスセンターまでお問い合わせください。

充電におけるベストプラクティス

- バッテリーが極めて低い充電レベルにならないようにしてください（バッテリーの残り容量が 20%以下になるとバッテリー アイコンが黄色になります）。
- 推奨される通常および長距離走行時の充電限度については車両のタッチスクリーンの情報（**「コントロール」** > **「充電」**に移動）またはモバイル アプリ（**充電**アイコンにタッチ）を参照してください。
- 車両にプラグを接続したら、車両から離れる前に、充電ポートのライトが緑色で点滅し始めることを確認します（Model 3 が充電中であることを示します）。数秒経っても Model 3 が充電を開始しない場合、コネクターが充電ポートにしっかり挿入されていないか、充電を妨げる問題がある可能性があります。警告とその詳細についてはタッチスクリーンを 確認してください。

  注: 充電ポートのライトが黄色で点滅を開始した場合、Model 3 は電流量を減らした状態で充電をしています。充電ポートのライトが青色で点灯している場合、充電ポイントは接続されていますが、車両は充電をしていません（予約充電が有効になっている場合など）。詳細な情報は、充電ポート ライト ページ 185 を参照してください。

急速充電に関するアドバイス:

- ナビゲーション検索バーに表示される 3 本の雷マークで区別することで急速充電器を検索します。
- スーパーチャージャーや他社製急速充電器へのナビゲートにより、高電圧バッテリーのプレコンディショニングが行われます。
- 通常、充電済みの電力が少ないほど、充電速度は速くなります。

  注: 常に車両の充電を監視することは、ドライバーの責任です。車両が放電し尽くす前に接続してください。安全に充電ポイントに到着するために十分な充電量があることを必ず確認してください。

- スーパーチャージャーでは、隣の区画と電力をシェアすることがあるので、他の車両と間隔を空けて駐車してください。

プレコンディショニングと充電の予約

Model 3 のプレコンディショニングと充電の予約について説明します。車両がより効率的に充電するため、または Model 3 の出発前の準備のために、プレコンディショニングを予約することができます。

注: また、空調画面、充電ウィンドウ、Tesla モバイルアプリ（v4.34.5 以上が必要）からも**「予約」**にアクセスできます。

Model 3 は予約を作成した場所ごとに自動的に予約を保存します。**「現在地」**を選択すると、設定した予約はほぼ同じの物理的な場所に戻ったときにのみ使用できます。

注: 予約充電は、Tesla のスーパーチャージャーを含む急速充電器では使用できません。作成した予約充電は、急速充電器で充電する際には無視されます。

予約の作成

プレコンディショニングと**充電**の予約を作成し、 Model 3 にプレコンディショニングまたは充電をさせたい時間と曜日を指定します。予約を作成する方法:

1. **「コントロール」** > **「予約」**の順にタッチします。
2. 予約を設定したい場所を選択してください。
   - 現在地 GPS 座標に基づく車両の現在地。

     注: 現在地の予約を作成するにはパーキング状態である必要があります。

   - 自宅/職場: 自宅および職場の保存された場所。自宅や職場がない場合は、これらのオプションを選択することはできません（自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 170 を参照）。
3. **「プレコンディショニング」**をタッチして、車両にプレコンディショニングを適用する時間と頻度を設定します。
4. **「充電」**をタッチして、開始時間、終了時間、および充電の頻度を設定します。
5. **「作成」**を選択して予約を作成します。

注: **「毎週繰り返す」**がトグルされていない場合、Model 3 は一度だけ予約を実行します。その後、手動で予約を再度有効にするまで、車両は予約を無効にします。

予約充電の使用

予約充電を作成または有効にすると、充電のために車両にプラグを差し込むことができます。当日の遅い時間にプレコンディショニングや充電を予約した場合、Model 3 はその時間までプレコンディショニングや充電を待機します。

予約が重なる場合、必要に応じて車両は充電に最も長い時間帯を使用します。例: 午前 2 時と午前 3 時に充電を開始し、午前 2 時 30 分と午前 5 時に充電を停止するように Model 3 を予約すると、車両は午前 2 時から午前 5 時までの 2 つの予約充電を 1 つの時間帯にまとめます。

指定された**「終了時刻」**はあるが、**開始時刻**は指定されていない場合、車両は予約された充電の際にプラグを差し込むときに一時的に電力を引き、必要な開始時刻を計算します（クリック音が聞こえる場合があります）。例: **「終了時刻」**を午前 2 時に設定し、車両が充電制限を満たすには 2 時間の充電が必要です。午後 9 時に車のプラグを差し込むと、Model 3 は開始時間を計算するために短時間電力を消費し、午前 12 時に充電を開始します。

「開始時刻」を指定し、**「終了時刻」**を指定しない場合、車両は指定された時刻に充電を開始し、充電の上限に達するまで継続します。

「予約充電」がすぐに開始される場合もあります。これらのシナリオは、Model 3 がプラグインされているときに発生する可能性があります。

- 予約充電の最中。
- **「終了時刻」**が指定されていない場合は、予定充電開始後最大 6 時間まで。
- 次の予約充電が 18 時間以上先であり、当日でない場合。
- **「開始時刻」**を設定しておらず、**「終了時刻」**までに充電制限に達する時間が足りない場合。

注: Model 3 予約充電の**終了時刻**から 6 時間以内に車両にプラグを差し込んだ場合、次の予定充電がない限り、充電は自動的に開始されません。

オフピーク料金が適用されない市場地域でも、出発予定時刻に充電が完了するように予約を組むことで、エネルギーコストを削減することができます。たとえば、プラグを差し込んですぐに充電が開始されると、充電が完了するまでの時間が大幅に短縮される可能性があります。その場合、出発時間までに「バッテリー」が周囲の温度まで冷却されるため、今度は、バッテリーを暖めるエネルギーが必要になります。したがって、オフピーク料金が適用されない場合でも、Tesla では、出発予定時刻を予約する**「終了時刻」**として指定することにより、エネルギー消費量を削減するため、予定の出発時刻まで充電することを推奨しています。

プレコンディショニング

「プレコンディショニング」を使用して、Model 3 を運転可能にする時間を予約します。 Model 3 はプレコンディショニングをいつ開始する必要があるかを自動的に計算します。こうすることで、出発時刻までに確実にキャビンの空調とバッテリーをプレコンディショニングすることができます。

設定した出発時刻には、**「プレコンディショニング」**でバッテリーは暖められてパフォーマンスが向上し、車内の空調は快適に整えられます。**「プレコンディショニング」**を予約しない場合、Model 3 はバッテリーが冷えすぎて充電できない場合に充電前にバッテリーを暖めるだけで、車内環境を整えることはありません。

注: Model 3 が接続されていない場合でも、Model 3 が低電力モードでない限り、プレコンディショニングは作動します（低電力モード ページ 192 を参照）。

プレコンディショニングは、次回運転するときの航続距離を延ばすのにも役立ちます。プレコンディショニングされたキャビンとバッテリーは、運転開始時に消費するエネルギーが少なくなります。プレコンディショニングにより、ヒートポンプを備えた車両では、運転中にバッテリーの熱を利用してキャビンを暖めることができるため、エネルギー消費を削減できます。

電力消費量に影響する要因

走行中:

- 増加した走行速度。
- 環境条件（低温、高温、風など）
- 空調による車内温度調整
- 上り坂走行: 上り坂を走行するときには多くのエネルギーを必要とし、電力消費率が速くなり、航続距離の減りが早まります。その代わり下り坂の走行では、車両の回生ブレーキにより上り坂で消費されたエネルギーの一部を回収できます（回生ブレーキ ページ 81 を参照）。
- 短距離走行や交通渋滞車両の始動時、車内とバッテリーを指定の温度にするには電力を消費します。非常に短い距離を複数回走行したり、交通渋滞時に空調をオンにしたままでいると平均電力消費量が大きくなる場合があります。
- 過積載
- ウィンドウが複数下りている
- ホイールおよびタイヤがメンテナンスされていない
- 設定のカスタマイズまたはサードパーティーのアクセサリー（ルーフ、トランク内のラック、ホイール）

充電器に接続せずに駐車中

- キャビンをプレコンディショニングするまたは空調を使用する。
- サモン。
- 車載インフォテインメントと空調システム
- セントリーモード
- Tesla またはサードパーティーのモバイル アプリのリクエスト

航続距離を最大限に伸ばすためのヒント

ガソリンエンジン車で行うような省エネ運転で、航続距離を最大限に伸ばすことができます。航続距離を最大限に伸ばすために:

- 運転速度を落とし、急激、頻繁な加速を避けてください。加速とスピードの制御を支援するために、「コンフォート」モード（**「コントロール」** > **「ダイナミクス」** > **「加速」**にタッチおよびスピードアシスト（スピード アシスト機能 ページ 145 参照）の使用を検討してください。.
- 安全な場合は、ブレーキペダルを使用する代わりにアクセルペダルを調整して速度をゆっくり下げます。アクセルペダルを踏まずに Model 3 を走行させると、回生ブレーキが車両を減速させ、余剰エネルギーをバッテリーに戻します（回生ブレーキ ページ 81 を参照）。
- ヒーターやエアコンなどの電装品の使用を控えます。車内を空調で暖房するより、シート ヒーターおよびハンドルヒーター（搭載車の場合）を利用して温めるほうが効率的です。
- 運転する前に、車両を充電接続したままの状態で、モバイル アプリから**「空調」** > **「空調をオン」**の順にタッチして、優先設定をカスタマイズし、車両のプレコンディショニングを実行することで、車内を快適な温度にして、必要に応じてウィンドウの霜取りを行います（モバイル アプリ ページ 54 を参照）。
- **「予約」**（充電画面と空調画面でもアクセス可能）をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（プレコンディショニングと充電の予約 ページ 190 を参照）。
- ホイールは仕様どおりのものを使用し、タイヤには所定の空気圧（タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 198 参照）で充填したうえで必要に応じて、タイヤ位置を交換するようにします（メンテナンスサービスの間隔 ページ 196 参照）。
- エアロ カバーを装着（搭載車の場合）して、風力抵抗を低減します（ホイール カバーの取り外しと取り付け ページ 201 参照）。
- 不要な荷物は車両から降ろして、積載量を減らします。
- すべての窓を完全に上げます。
- セントリーモードやキャビン過熱保護などの機能は航続距離に影響します。不要な機能は無効にしてください。
- 車両の待機中にエネルギー消費が過剰にならないよう、使用していないときには車両を充電器に接続してください。

レベル オフする前の最初の数か月間に、予測航続距離がわずかに減少するのは正常です。時間が経つにつれて、フル充電における航続距離が徐々に、自然に減少していく可能性があります。これはバッテリーの効率、経年劣化といった要素によります。バッテリーや航続距離の過度の劣化の原因となるハードウェア問題が万が一発生すると、Model 3 がドライバーにそのことを知らせます。

タッチスクリーンのパワー メーターでは、エネルギー使用量のフィードバックを確認できます。

レンジ プランナー

Model 3 に表示される航続距離は、残存バッテリー エネルギーの推定量であり、EPA 評価消費量に基づいています。ドライバー個人の運転パターンや外的な条件には左右されません。タッチスクリーンに表示される航続距離は、実際に走行した距離に比べて減り方が速くなることがあります。お客様の直近の電力消費量を基に予想航続距離を確認するには、電力アプリを開きグラフを表示します。

注: 定格航続距離は、米国では EPA 評価消費量に基づいており、他の地域で掲示および実行されている試験によるものとは異なります。

車両は常にエネルギーレベルと最寄りの充電ステーションを監視します。

ナビゲーション検索バーの**「充電ポイント」**にタッチすると、スーパーチャージャーやデスティネーション チャージング サイトなど、充電ポイントがさまざまなタイプで切り替えできます。

航続距離を最大限に伸ばす

既知の充電ステーションの範囲外に出そうな場合、タッチスクリーンにメッセージが表示されて、範囲内にある充電ステーションのリストを表示するかどうかを尋ねます。充電場所をリストから選択する時、Model 3 がナビゲーションの指示とターンバイターン経路リストを表示し、充電場所に到着するまでのエネルギーの残量を予想します。

トリップ プランナー（販売地域で使用可能な場合）では、スーパーチャージャー経由のルート設定を行い、充電と走行にかかる時間を最低限に抑えます。有効にするには、**「コントロール」** > **「ナビゲーション」** > **「トリップ プランナー」**の順にタッチします。

エネルギーアプリ

エネルギーアプリでは、車両の推定エネルギー使用量をリアルタイムに視覚的に表示します。

1. 下側のバーにあるアプリ ランチャー（3 個の点）の中にあるエネルギー アプリを探します。
2. タッチしてエネルギー アプリを開き、いろいろなタブを選択します。エネルギー チャートの色付きの線は実際の走行時のエネルギー消費を示しており、灰色の線は予測使用量を示します。

   注: **「コントロール」** > **「ディスプレイ」** > **「エネルギー表示」**の順にタッチして表の値をカスタマイズできます。

- **ドライブ**: 走行中に使用されるエネルギー量を監視します。カテゴリごとのリアルタイムのエネルギー消費を追跡し、さまざまなベースライン予測に対して比較を行い、エネルギー効率の向上させ方を理解するために、ご自分のドライブに特化した航続距離に関するアドバイスを表示します。
  1. 目的地への移動中に**「トリップ」**を選択すると、予測に対して実際の使用量を比較します。
  2. **「定格値」**を選択すると、利用可能な推定走行距離（またはエネルギー）に対して実際のエネルギーまたは航続距離の使用量を比較します。
  3. **「現在の走行」**を選択して現在の走行から得られたデータを表示するか、**「前回の充電以降」**を選択して車両が最後に充電されて以降のデータを含めることができます。
  4. **「航続距離に関するヒント」**を表示すると、バッテリー消費量に関する影響と、航続距離および効率を最大化するための提案を理解することができます。
- **パーキング**: Model 3 がパーキングにシフトしている間に喪失するエネルギー量を監視します。
  1. **「前回の走行以降」**または**「前回の充電以降」**のどちらかを選択します。
  2. 車両がパーキングにシフトしている間に消費されるアイドル エネルギー量と、エネルギー喪失を減少させるための提案を表示します。
- **消費量**: 直近の走行 10、100、または 200 マイル（15、150、または 300 km）における車両の実際のエネルギー消費量と Model 3 の定格消費量を比較します。画面右上の距離を選択してください。距離が長いほど、運転スタイル、環境、ルートをより正確に把握し、予測航続距離を安定した値で算出することができます。電力消費量は、1 マイルあたりのワット時間（Wh/mi）で測定されます。この値が低いほど航続距離は長くなり、この値が高いほど、航続距離は短くなります。
  - **平均消費量**は、あなたの車両が 1 マイル走行する際に使用する電力量の平均で、走行ルート、運転のくせ、および環境に基づいて変化します。
  - **定格消費量**は、EPA が設定する標準的走行条件に基づく一定の値です。この値は、ディスプレイが距離に設定されている場合（**「コントロール」** > **「ディスプレイ」** > **「エネルギー表示」**）に、タッチスクリーン上でバッテリーの残電力を求めるために使用されます。

予測航続距離はバッテリー残電力と平均消費量を使用して計算されます。航続距離を延ばす方法について詳しく知りたい場合は「ドライブ」タブを使用してください。

低電力モード

低電力モードを有効にするには、**「コントロール」** > **「充電」** > **「低電力モード」** をタッチします。

また、低電力モードが自動的に有効になるバッテリー残量（10%～20%）を設定することもできます。初期設定値は 20%です。

低電力モードが有効になると、Model 3 は選択したパーセンテージを下回ったときに一部の機能を無効にすることでエネルギーを節約します。

Model 3 が低電力モードになると、以下の機能は無効になり、使用できなくなります。

- セントリー モード
- アクセサリーの電源をオンのままにする
- アクチュアリー スマートサモン（ASS）スタンバイ モード
- エアコンをオンのままにする、キャンプ
- キャビン過熱保護
- プレコンディショニング

注: 低電力モード中でも、Model 3 は待機機能、画面の動作、モバイルアプリとの通信のために電力を消費し続けます。寒冷時には、使用可能な電力が通常より早く減少することがあります。

注: お使いの車両にはバッテリー健全性テスト機能が搭載されていない場合があります。

Model 3 に搭載される高電圧バッテリーは、車両の全寿命にわたって良好に機能するように設計されています。しかし、他の充電式バッテリーと同様、経年劣化や使用状況により、時間の経過とともに効率が低下します。バッテリーのエネルギー保持量は、使用年数、バッテリー パックのサイズと化学的性質、車両の運転および充電方法など、多くの要因によって異なります。

バッテリーのエネルギー保持量を評価するには、**「コントロール」** > **「サービス」** > **「バッテリー健全性」**の順にタッチします。

タッチスクリーンには、車両のバッテリー健全性の評価が表示されます。この評価は、バッテリー管理システムからのデータを使用して計算され、特定のバッテリーの種類、使用年数、および使用状況で予想されるエネルギー保持量と比較されます。

オプションで、バッテリー健全性テストを実行できます。これには、Model 3 を AC 充電器に最大 24 時間接続する必要があります。テスト実行後、タッチスクリーンに新車時と比較したバッテリーのエネルギー保持量がパーセントで表示されます。

注: この機能を使用するには、Model 3 が Wi-Fi または携帯電話ネットワークに接続されている必要があります。

注: Tesla では、高電圧バッテリーのエネルギー保持量に懸念がある場合のみ、バッテリー健全性テストを使用することを推奨しています。

バッテリー健全性テストの実行

テストを開始するには、Model 3 を少なくとも 5kW の電力を供給する AC 充電器に接続する必要があります。

さらに、テストを開始する前に、次の要件がすべて満たされていることを確認してください。

- バッテリーまたは熱システムに関連するアクティブなアラートがない。

  注: この理由でバッテリー健全性テストを実行できない場合は、モバイル アプリからサービスを予約してください。タッチスクリーンで、高電圧バッテリー（BMS で始まるアラート）または熱管理（VCFRONT で始まるアラート）に関連するアラートがないか確認します。アクティブなアラートが表示されていない場合でも、テストが完了するまで実行できない状況が発生する可能性があります。

- Model 3 パーキングにシフトされている。
- 保留中のソフトウェアの更新がない。
- バッテリー残量が 20%未満。

テストを開始する準備ができたら:

1. 車両を AC 充電器に接続します。
2. **「コントロール」** > **「サービス」** > **「バッテリー健全性テスト」**の順にタッチします。ポップアップを読み、**「テストを開始」**をタップします。

このテストの実行には最大 24 時間かかります。テストの実行中、タッチスクリーンには進行状況バーと推定残り時間が表示されます。テスト中、部分的にタッチスクリーンがオフになり、バッテリーは 10%未満で放電され (0%まで放電される場合もあり)、車両の機能（セントリー モードや空調制御など）が無効になります。

警告: バッテリー健全性テストの実行中は、空調システムが無効になります。テストの実行中は乗員を車内に残さないでください。

注意: テスト中は、Model 3 または Tesla モバイル アプリを使用しないでください。車両のタッチスクリーンまたはモバイル アプリからいつでもテストをキャンセルできます。テストに失敗した場合、またはテストをキャンセルした場合、車両は設定値まで充電を開始します。

注意: テストの実行中は、Model 3 のプラグを抜かないでください。Model 3 のプラグを抜く必要がある場合は、まずタッチスクリーンでテストをキャンセルしてください。いつでもテストをキャンセルすることができます。

注: テストの実行中、Model 3 で熱が感じられたり、ノイズ音（ファンの高速回転など）が聞こえる場合があります。これは正常な動作で、問題はありません。

結果の理解

バッテリー健全性テストが完了すると、タッチスクリーンに新車時と比較したバッテリーのエネルギー保持量がパーセント表示され、タッチスクリーンに表示される航続距離の推定値が再調整される場合があります。

データ接続が利用可能な場合、Model 3 は車両の納車日と走行距離に基づいて、エネルギー保持量が予想どおりかどうかを判断できます。バッテリーのエネルギー保持量が車両の使用に影響を与える場合は、サービスに予約を入れてください。

テスト完了後は、車両のバッテリーに新らたにテストで測定できるほど変化があったことをバッテリー管理システムが検出するまで、バッテリー健全性テストは利用できません。

新しいソフトウェアの読み込み

Tesla は車両のソフトウェアをオーバー ジ エア（OTA）方式でアップデートし、定常的に新機能を提供しています。Tesla では、できるだけ早い時機に車両にソフトウェアのアップデートをインストールすることを推奨しています。ソフトウェアのアップデートを一番速く確実に行うため、常に Wi-Fi をオンにし、できる限り Wi-Fi に接続したままにしておいてください。ほとんどの場合で、ソフトウェアのアップデートをダウンロードするために車両を Wi-Fi に接続する必要があります（Wi-Fi ページ 57 参照）。

新しいソフトウェアのダウンロードとインストール

新しいアップデートを受けるには、ソフトウェアをダウンロードする（Wi-Fi が必要）かインストールするという 2 つの方法があります。ダウンロードやインストールは、Tesla モバイル アプリを使用して簡単に開始できます。

ダウンロード

ソフトウェアのアップデートをダウンロードすることが可能になると、ダウンロードが自動的に開始され、タッチスクリーンの上部に緑色の矢印が表示されます。車両が Wi-Fi に接続していない場合、ダウンロード アイコンが黄色で表示されます。ソフトウェアのアップデートをダウンロードしている時も運転はできますが、Wi-Fi 接続が切れた場合、ダウンロードが中断されることがあります。ソフトウェアのアップデートが完全にダウンロードされ、インストールできる状態になると、タッチスクリーンの上部に時計アイコンが表示されます。

注: ソフトウェアのアップデートを最も速くそして確実にダウンロードするには、できる限り Wi-Fi に常時接続した状態にしてください（Wi-Fi ページ 57 を参照）。

インストール

ソフトウェアをインストールしている間は、運転することができません。プラグが差し込まれている場合、インストールが完了するまで車両は充電を停止します。インストールを開始するには、タッチスクリーンの上部にある黄色の時計アイコンにタッチします。すぐにインストールを開始する場合は**「今すぐインストール」**を、インストール開始時間を選択する場合は**「この時間に設定」**にタッチします。アップデートがインストールされる前であれば、いつでもこの時計アイコンをタッチして、スケジュールを変更できます。予約したアップデート時刻に Model 3 を運転している場合、アップデートがキャンセルされますので、再予約する必要があります。**「コントロール」** > **「ソフトウェア」**の順に移動しても、ソフトウェアのアップデートを表示、ダウンロード、インストールすることができます。可能であれば、Wi-Fi に接続してアップデートをダウンロードしてください。

エアコンをオンのままにする、ドッグ モード、キャンプモード、など、特定の機能が有効な場合、ソフトウェアのアップデートは実行されません。

注: エアコンをオンのままにする、ドッグ モード、キャンプモードが有効な場合、ソフトウェアのアップデートはインストールされません（エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 158 を参照）。

注: 必要に応じて、Tesla ではセルラー接続を用いてソフトウェアアップデートを送信します。

注: 一部のソフトウェアのアップデートでは完了するまで約 30 分かかります（さらに時間のかかるものもあります）。 Model 3 ソフトウェアのアップデート中は、ギアをパーキングにシフトしておく必要があります。

警告: ソフトウェアのインストール中は、車両を使用しないでください。インストールの進行中は、一部の安全システムおよびドアおよび窓の開閉を含む車両機能が制限されたり無効となったりする場合があり、運転することで車両に損傷が生じる場合があります。

ソフトウェアのアップデート優先設定

Tesla では、各リリース固有の要因を考慮した上で車両にアップデートを送信する方法、時期、場所を判断しています。**「コントロール」** > **「ソフトウェア」**で、車両のために用意されたアップデートを受け取る時期を選択することができます。早く受け取るには**「Advanced」**を選択してください（追加リリースがあります）。他の人がインストールするまで待つ場合（結果的にリリース数が少なくて済む）は、**「標準」**を選択してください。**「Advanced」**を選択しても、早期取得プログラムに車両が登録されるわけではありません。

Tesla は、最新機能や最新の改善事項の受信を希望する方のリクエストを受けてソフトウェアのアップデートを行っているわけではありません。**「Advanced」**を選択し、常に Wi-Fi に接続（Wi-Fi ページ 57 参照）しておくことで、早い時期に最新のソフトウェアのアップデートを受け取ることができます。

ソフトウェアのアップデートが正しく完了しなかったことを示すメッセージがタッチスクリーンに表示された場合、次回のソフトウェアのアップデートまで待ってから、車両へ展開してください。

注: アップデートをインストールするまで、ソフトウェア アップデート画面が表示されたままになります。ソフトウェアのアップデートをできるだけ早くインストールしてください。ソフトウェアアップデートのインストールに失敗して危害があっても、車両の保証対象にはなりません。アップデートのインストールに失敗またはインストールを拒否した場合、一部の車両機能にアクセスできなくなり、デジタル メディア デバイスの互換性がなくなる可能性があります。

注: Tesla では、Tesla サービス内の通常の診断、修理およびメンテナンスの一環として、車両のソフトウェアをアップデートまたは再インストールすることがあります。

注: 以前のバージョンのソフトウェアにダウングレードすることはできません。

充電通知

ソフトウェア アップデートの開始時に Model 3 が充電中の場合、充電は中止されます。ソフトウェア アップデートが完了すると、充電が自動的に再開されます。

リリース ノートの表示

ソフトウェアアップデートが完了したら、タッチスクリーン上に表示されるリリースノートを読んで変更点や新機能について確認します。車両のソフトウェアの現行バージョンに関するリリース ノートを表示するには、**「コントロール」** > **「ソフトウェア」** > **「リリース ノート」**にタッチします。

Tesla では、すべてのリリースノートをお 読みいただくよう推奨しています。リリースノートには、Model 3 に関する重要な安全情報や操作説明が含まれています。

メンテナンスサービスの間隔

定期サービス

Tesla では、Model 3 の信頼性と効率を維持していただくため、以下のメンテナンス項目が車両に該当する場合には、以下の間隔で整備を受けていただくことを推奨しています。

車両の警告に関する追加情報については、k ページ 241 を参照してください。

- ブレーキ液の汚れ確認：4 年毎（必要に応じて交換）*。
- キャビン エアフィルター交換：2 年ごと。
- ワイパー ブレードは毎年交換。
- ブレーキ キャリパー清掃および潤滑：毎年または 12,500 マイル（20,000km）ごと（冬季、凍結防止剤がまかれる地域の場合）。
- 6,250 マイル（10,000 km）ごと、あるいはトレッド深さの差異が 2/32 インチ（1.5 mm）以上になったときのいずれか早い方にローテーションを行います。

*けん引、山岳部から下り坂、またはパフォーマンス走行によりブレーキの使用量が多い場合で、特に車両が高温多湿の環境にあった場合は、より頻繁にブレーキ液のチェックと交換が必要になる場合があります。

注: バッテリー冷却剤タンクを開けたことに起因する損害は保証対象外です。

注: 上記間隔は一般的な運転行動や状況に基づいています。運転挙動、使用状態、環境条件などのさまざまな周辺条件に応じて上記のメンテナンス事項は規定と異なる頻度で実施することが必要になる可能性があります。また、上記一覧は包括的なものではなく、フロントガラス ワイパー、ブレーキ パッド、低電圧バッテリーフルード類および冷媒などの消耗部品は含まれていません。

注: Tesla で認定されていない整備士によるメンテナンスまたは修理で生じた損傷、故障は保証の対象となりません。

自主メンテナンス手順および情報については、https://www.tesla.com/support/do-it-yourself-guides を参照してください。

サービスを予約する

モバイル アプリから、簡単にサービスを予約することができます。**「サービス」**にタッチし、必要な整備の種類を選択して、モバイル アプリの指示に従ってください。以下に示す詳細情報をできるだけ多く提供していただくと、サービス チームが懸念事項の原因を特定するのに役立ちます。

- 写真、音声あるいはビデオ録画。
- 問題が生じた日付、時刻およびタイムゾーン。
- ご利用になられている国、地域。
- 車両移動時の速度(該当する場合)。
- 環境条件(雨、雪、低温など)。
- 道路の名称と種類(該当する場合)。
- レーン標識の質(該当する場合)。
- 適用された車両設定。
- 気づいた症状。

サービスの予約についての詳細は https://www.tesla.com/support/service-visits をご覧ください。

毎日のチェック

- タッチスクリーン、またはモバイル アプリに表示されるバッテリーの充電レベルをチェックします。
- 各タイヤの状態と空気圧をチェックします（タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 198 を参照）。
- エクステリアライト、ホーン、ウインカー、ワイパー、ウォッシャーの動作をチェックします。
- タッチスクリーン上の予期せぬインジケーターライトまたは車両のアラートを確認します。
- パーキング ブレーキも含め、ブレーキの動作をチェックします。

  注: Model 3 は回生ブレーキ（回生ブレーキ ページ 81 を参照）を使用しているので、このブレーキ パッドは一般的に、従来のブレーキ システムのパッドほど頻繁には使用されません。錆や腐食の蓄積を避けるために、Tesla ではブレーキ ペダルを頻繁に踏んで機械式ブレーキをかけ、ブレーキ パッドおよびローターを乾燥させることを推奨しています。

- シートベルトの動作をチェックします（シートベルト ページ 40 を参照）。
- Model 3 の車体の下に通常はない液体の漏れなどがないかどうかチェックします。少量の水がたまっていても（空調システムの除湿プロセスによる）、異常ではありません。
- Model 3 の外周を目視して、直ちに腐食性物質（鳥の糞、樹液、タバコの灰、虫の死骸、産業放射性物質など）を取り除き、塗装へのダメージを防いでください（洗車 ページ 205 を参照）。

週ベースのチェック

- 湿気の多い時期は、オートパイロットのカメラを毎週洗浄してください（カメラのクリーニング ページ 205 を参照）。乾燥している時期は、1 か月ごとに洗浄してください。

毎月のチェック

- フロントガラスのウォッシャーの液位をチェックし、必要なら液を補充します（フロントガラス ウォッシャー液を補充 ページ 209 を参照）。
- 空調システムが正しく動作していることを確認します（空調を操作する ページ 156 を参照）。

注: 車内を冷房するほか、エアーコンディショナー コンプレッサーはバッテリーも冷却します。したがって、暑いときは、エアーコンディショナー コンプレッサーを OFF に設定したとしても、ON になることがあります。これは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能に必要とされる最適な温度範囲にバッテリーを保つために、システムがバッテリーの冷却を優先するためであり、正常な動作です。また、使用していないときでも、Model 3 がうなり音や水が循環するような音が聞こえる場合があります。これらの音が発せられるのは通常の状態で、内部の冷却システムがオンになり、低電圧バッテリーのメンテナンス、高電圧バッテリーの温度調節など、さまざまな車両の機能をサポートするときに発せられます。

定期的なチェック

必要に応じて以下のチェックを行います：

- ほこりの多い場所や汚染された場所を走行すると、時間の経過とともにラジエーターが詰まることがあります。これは空気の流れや暖房/エアコンの性能に影響を与えることがあります。モバイル アプリでサービスを予約してください。
- 視界を確保し、カメラの機能を最適に保つため、カメラ筐体内（カメラ ページ 19 を参照）のフロントガラス内側を定期的に清掃する必要があります。このような清掃が必要かどうかを確認するには、**「コントロール」** > **「サービス」** > **「メンテナンス」**の順にタッチして、車両のメンテナンスの概要を確認してください。必要に応じて、モバイル アプリでサービスを予約してください。

メンテナンスの概要

「コントロール」 > **「サービス」** > **「メンテナンス」**の順に移動することで、メンテナンス項目の現在の状態を表示できます。

「メンテナンスの概要」では、フロントガラス ワイパーブレードやフィルター類などの定期的メンテナンス項目の最終実施日を追跡して、次の実施時期を提案します。あなたは自分で実施することもできますし、Tesla や独立した修理会社に支援を依頼することもできます。メンテナンスが完了したら、車両のタッチスクリーンでそのメンテナンス項目をリセットすることができます。 Model 3 はタイムスタンプおよび該当する情報（現在の通算走行距離など）をキャプチャし、次回の通知のためにメンテナンス項目をリセットします。これまでに実施した整備の記録をご自身および将来のオーナーが確認できるように、車両の整備記録は常に車両と一緒にして保管してください。整備記録は工場リセットの影響を受けません。

注: サービス訪問の際、Tesla はメンテナンスの概要を必要に応じて更新しますが、情報に関して、とりわけ個人の修理会社や DIY 手段で実施されたサービスおよびメンテナンスに関する情報の正確性を確保することは、車両オーナー様の責任です。

液の定期交換

バッテリー冷却剤およびブレーキ液のレベルの点検は Tesla または専門的な自動車修理工場だけが行うようにしてください。サービス マニュアルには専門のサービス情報が記載されています。

- **バッテリー冷却剤:** ほとんどの状況下では車両寿命を延ばす目的でバッテリー冷却剤を交換する必要はありません。

  注: バッテリー冷却剤タンクを開けたことに起因する損害は保証対象外です。

- **ブレーキ液**ブレーキ液を補充しないでください。

ソフトウェア

ソフトウェアのアップデートは、車両コンポーネントを確実に正常作動させ、製品寿命を保つために重要です。できるだけ早い時機にソフトウェアのアップデートをインストールする必要があります。ソフトウェア アップデート ページ 194 を参照してください。

Tesla では、サービス内の通常の診断、修理およびメンテナンスの一環として、車両のソフトウェアをアップデートまたは再インストールすることがあります。

高電圧安全性

お客様の Model 3 は安全性を最優先して設計・製造されています。しかし、どのような高電圧システムにも負傷のリスクはつきものですので、安全のため、以下の注意事項に留意してください。

- Model 3 に貼ってあるラベルの注意を読み、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。
- 高電圧システムには、ユーザーがサービス可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーはオレンジ色になっており、容易に見分けることができます。
- 衝突事故発生時は、高電圧配線、コネクタ、配線に接続された部品に一切手を触れないでください。
- 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。

警告: Model 3 の下で作業をする場合は、充電中でなくても、必ず事前に充電ケーブルを抜いておいてください。

警告: 冷却ファンの吹き出し口を、手や衣類などでふさがないでください。冷却ファンの中には、Model 3 がパワーオフの状態でも動作するものがあります。

警告: 自動車で使用される液体（バッテリーの酸、バッテリー冷却剤、ブレーキフルード、フロントガラス ウォッシャー添加剤など）の中には有毒なものがあります。これらの液を吸入または嚥下したり、傷口に接触させたりしないでください。安全のため、液体容器に表示されている説明を必ず読み、その指示に従ってください。

タイヤ空気圧の表示

購入された車両構成により、直結 TPMS（タイヤ空気圧モニタリング システム）または間接 TPMS のいずれかがお客様の車両に搭載されています。直結 TPMS はホイールのタイヤ センサーに依存しますが、間接 TPMS はタイヤ空気圧の減衰を予測し、空気圧が下がった場合にのみアラートを生成します。お客様の車両のシステムがどちらかを確認するには、**「コントロール」** > **「サービス」**の順に進みます。Model 3 ビジュアライゼーションにタイヤ空気圧の値（XX PSI）が表示されたら、お客様の車両は直結 TPMS を使用しています。

直結 TPMS 搭載車

タイヤ空気圧はタッチスクリーンの車両ステータスのカードエリアで表示するか、**「コントロール」** > **「サービス」**の順にタッチして表示します。各タイヤの空気圧は、最後にタイヤ空気圧を測定した時刻と共に、Model 3 を視覚化して表示されます。タッチスクリーンには車両の推奨冷却タイヤ空気圧も表示されるので、タイヤの加圧量を簡単に求めることができます。また、タイヤ空気圧を BAR と PSI のどちらを使用して表示するかを、**「コントロール」** > **「表示」** > **「タイヤ空気圧」**の順にタッチして選択することができます。Tesla モバイルアプリでタイヤ空気圧を表示することもできます。

注: ビジュアライゼーションにタイヤ 空気圧を表示するには、車両を短時間走行させる必要がある場合があります。

間接 TPMS 搭載車

タイヤ空気圧の低下が検出されると、車両ステータス エリアのタッチスクリーンにアラートが表示されます。詳しくは、**「コントロール」** > **「サービス」**の順にタッチしてください。タイヤ空気圧の低下が検出されると、タイヤの横にアイコンが表示されます。

空気圧の低下を検出しました。タイヤの空気圧を確認してください。

著しい空気圧低下を検出しました。安全な場所に停車してください。

タイヤ空気圧が調整される場合やタイヤが交換される場合は、マニュアルでキャリブレーションが必要です（タイヤ空気圧のキャリブレーション ページ 199 参照）。

注: TPMS のタイヤ空気圧低下予測は運転中に限られます。

タイヤ空気圧の保守

タイヤの空気圧がタイヤに記載されている空気圧とは異なる場合でも、「タイヤと積載荷重情報」ラベルに表示される空気圧に従ってください。タイヤと積載情報のラベルは中央のドアピラーにあり、運転席のドアが開いているときに見ることができます。

注: お使いいただいている Model 3 に Tesla 製アクセサリーホイールまたはタイヤが装備されている場合、車両のラベルと違う情報があるかもしれません。

タッチスクリーン上のタイヤ空気圧表示灯が、1 つ以上のタイヤの空気圧が低すぎる場合または高すぎる場合に警告を表示します。

タイヤ空気圧表示灯は、タイヤ空気圧の調整後もしばらくは消えません（タイヤ空気圧の点検と調整 ページ 199 参照）。

Model 3 の電源を入れた時にインジケーターライトが 1 分間点滅する場合、TPMS の誤作動が検知されています（TPMS の不具合 ページ 203 参照）。モバイル アプリを使用してサービス予約をお取りください。

注: 周辺温度が低くなると、車両のタイヤ空気圧は低下します。TPMS インジケータ ライトが点灯した場合、走行前にタイヤに空気を補充してください。外気温度が 10°F (6°C)下がるごとに、タイヤ空気圧は約 1 PSI 低下します。タイヤ空気圧を適正に保つことで、タイヤを路上の穴から保護し、航続距離を延ばせます。

警告: タイヤの空気圧が足りない状態は、タイヤ温度の上昇、深刻なひび割れ、突然のトレッド剥離やパンクを引き起こすなど、タイヤの不具合の最も一般的な原因です。この結果、車両制御が予期せず失われ、けがや事故につながる危険性が高まります。低空気圧は車両の航続距離およびタイヤのトレッド寿命に悪影響を及ぼします。

警告: タイヤが冷えているときに、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用してタイヤ空気圧をチェックしてください。ほんの 1 マイル (1.6 km) ほど運転しただけでも、タイヤが温まってタイヤ 空気圧に影響が出ます。直射日光や高温な場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になり大変危険です。

タイヤ空気圧の点検と調整

タイヤが冷えており、Model 3 が 3 時間以上静止しているときに以下の手順に従ってください。

1. 運転席のセンタードア ピラーにある「タイヤと積載荷重情報」ラベルでタイヤ空気圧の対象値を参照してください。
2. バルブキャップを取り外します。
3. 圧力を測定するため、正確なタイヤ空気圧ゲージをバルブにしっかりと押しつけます。
4. 必要に応じて、推奨空気圧になるよう空気を充填または抜きます。

   注: バルブ中央の金属ステムを押すことによって空気を抜くことができます。

5. 精密なタイヤゲージを用いてタイヤ空気圧を再度確認します。
6. 必要に応じて、タイヤ空気圧が適正となるまで、手順 3 と手順 4 を繰り返してください。
7. 泥汚れが入るのを防ぐバルブキャップを再度装着します。バルブに損傷や漏れがないかを定期的に点検します。
8. *直結 TPMS 搭載車のみに適用されます。*しばらく時速 15 マイル（時速 25 km）以上で走行してから TPMS を起動してください。
9. *間接 TPMS 搭載車のみに適用されます。*タイヤ空気圧をキャリブレーションします（タイヤ空気圧のキャリブレーション ページ 199 を参照）。

タイヤ空気圧のキャリブレーション

間接 TPMS 搭載車（タイヤ空気圧センサー未登載車）のみに適用されます。

車両タイヤのタイヤ空気圧の調整、またはタイヤの交換、修理、ローテーションのいずれかを済ませたら、マニュアルでタイヤ空気圧のキャリブレーションが必要です。まず、必ず **4 本のタイヤすべて** を常温推奨空気圧にします（車両総重量 ページ 219 参照）。

警告: タイヤ空気圧が高すぎるか低すぎる状態でキャリブレーションすると、誤った警告の発信や、タイヤ空気圧が危険なほど低下した際に警告が出なくなる可能性があります。

次に、**「コントロール」** > **「サービス」** > **「タイヤ空気圧」** > **「タイヤ空気圧のキャリブレーション」**の順にタッチします。システムが新規ベースラインを学習できる状態になったことを示すメッセージがタッチスクリーン表示されます。時速 15 マイル（時速 25 km）以上で走行すると、キャリブレーションが開始されます。高速かつ安定した走行を心がけ、急加速や停止・発進を避けると、キャリブレーションはより早く完了します。屋内駐車場など、GPS 信号が不安定な場所ではキャリブレーションに時間がかかる場合があります。

時速 15 マイル（時速 25 km）で少なくとも 20 分走行すると、TPMS が新しい値を学習し直して、モニタリングします。

注: キャリブレーション中は、TPMS の空気圧低下予測は非アクティブ状態になります。

注意: TPMS のキャリブレーション精度の低下、空気圧の予測精度低下や遅延は、車両が次のような状態のときに起こります。

- 工場出荷時のタイヤ以外のタイヤ、スノー タイヤ、サイズの異なるタイヤ、非標準サイズのタイヤを装着している。
- 運転が荒い。
- タイヤ チェーンを装着、または冬季気象条件下で運転している。
- 非舗装道路で運転している。
- 駐車中。

警告: TPMS が空気圧を正確に判断してアラートを出してくれると過信しないでください。適切なタイヤの空気圧を維持するのはドライバーの責任です（タイヤ空気圧の保守 ページ 198 を参照）。空気が入り過ぎたタイヤや空気が十分に入っていないタイヤでは、重大な傷害につながる制御不能状態やタイヤの損傷を招く恐れがあります。

タイヤの点検と保守

トレッドとサイド ウォールにゆがみ（膨らみ）、異物、切り込み、または摩耗の兆候がないか定期的に点検してください。

警告: タイヤが損傷している、摩耗しすぎている、またはタイヤの空気圧が不適切な場合は、Model 3 を運転しないでください。タイヤの摩耗を定期的に点検し、切り込み、膨らみ、またはプライ/コード構造の露出がないことを確認してください。さらに、タイヤの内側のショルダー部分の摩耗にも注意してください。

タイヤ摩耗

適切なトレッド溝の深さはタイヤの性能発揮に重要なものです。トレッドの深さが 4/32 in. (3 mm) 未満のタイヤは濡れた路面でハイドロプレーン現象を引き起こしやすいため、使用しないでください。トレッドの深さが 5/32 in. (4 mm) 未満のタイヤは雪道やぬかるみ状態の道で性能を発揮できないため、冬期には使用しないでください。

Model 3 納車時には、トレッドパターンにウェアインジケーターが備えられたタイヤが取り付けられています。トレッドが 4/32 in. (3 mm) まで摩耗すると、トレッド パターンの表面にタイヤ幅にわたって連続するゴムの帯のように見えるウェア インジケーターが現れます。最適な性能と安全性を保つため、Tesla ではウェアインジケーターが現れる前のタイヤ交換を推奨しています。

車両のハンドリング特性を改善し、濡れた路面でのハイドロプレーニング現象を最小限に抑えるには、後輪にトレッドが最も多いタイヤを取り付けます。

ローテーション、バランス、ホイールアライメント

タイヤ ローテーションはタイヤのメンテナンスにおいて必須です。これによりトレッド摩耗パターンを均等に維持でき、タイヤの全体的な摩耗耐性の向上、ロード ノイズの削減、タイヤ寿命の最長化につながります。Tesla では、6,250mi（10,000 km）ごと、あるいはトレッド深さの差異が 2/32 インチ（1.5 mm）以上になったときのいずれか早い方に、タイヤのローテーションを実施することを推奨しています。激しい運転はタイヤの摩耗を早める可能性があり、より頻繁なタイヤサービスが必要になる場合があります。

前後でサイズが異なり、回転方向に指定のないタイヤを装着している車両の場合、左右でローテーションできますが、前輪と後輪のサイズが違うため、前後でローテーションすることはできません。左右でローテーションして、各タイヤの回転方向を変更すると、ショルダーの摩耗のバランスが取られることで、トレッドの寿命を延ばすことができます。

ホイールのバランスが崩れると、車両の操縦性やタイヤの寿命に影響します。通常の使用ではホイールのバランスが崩れる可能性があるため、タイヤとホイールのアセンブリ全体に均等に重量が分散されるように再バランス調整する必要があります。ハンドルを通して振動が感じられる場合は、ホイールバランスの調整を検討してください。

適切なホイール アライメントは、車両のハンドリング、タイヤの寿命、ハンドル コンポーネントの維持に役立ちます。タイヤの摩耗が不均一となっていることに気付いた場合（タイヤの片側）、またはハンドルをまっすぐに保ったまま車両が左または右に引っ張られる場合は、ホイール アライメントを行うよう予約してください。ローテーションや交換といったタイヤの整備をする必要がある場合、タイヤの構成をリセットして（タイヤ構成 ページ 202 を参照）ドライビング エクスペリエンスを向上させてください。車両に新しいタイヤセットを取り付けた後も、ホイール アライメントを実施することが推奨されます。

パンクしたタイヤ

タイヤはパンクすると、最終的には圧力を失います。タイヤ空気圧を頻繁に点検することが重要な理由はここにあります。パンクしたタイヤまたは損傷したタイヤは、できるだけ速やかに永続的修理をほどこすかまたは交換してください。

チューブレスタイヤは、物が刺さったとき、それがタイヤ内に残っていれば空気が漏れないことがあります。ただし、運転中に突然の振動や乗り心地の低下を感じた場合、またはタイヤの損傷が疑われる場合は、ただちに速度を落としてください。低速で走行し、急ブレーキや急なステアリングを避けながら、安全を確認して車両を停止します。Model 3 を Tesla サービスセンターまたは最寄りのタイヤ修理センターに輸送するよう手配します。

注: 場合によっては、Tesla から購入可能なオプションのタイヤ修理キットを使用して、軽度のパンク (1/4 インチ (6 mm) 未満) を応急修理することもできます。これにより、Model 3 を Tesla または最寄りのタイヤ修理施設に低速で移動させることができます。

警告: パンクした場合、たとえタイヤの空気が抜けていなくても、そのまま修理せずに運転しないでください。パンクしたタイヤは突然空気が抜けてしまう可能性があります。

フラットスポット

Model 3 を長期間動かさないでおくと、タイヤにフラットスポットが発生することがあります。Model 3 を運転すると、このフラット スポットが原因で振動が発生します。タイヤが温まるにつれ、しだいにこの振動は消え元の形状に戻ります。

タイヤの走行距離の改善

タイヤの走行距離を伸ばすには、タイヤの推奨空気圧を維持し、速度制限および推奨速度を順守し、以下の点にご注意ください。

- 急発進または急加速を避ける。
- 急カーブを切ることや急ブレーキをかけることを避ける。
- 穴や障害物のある道路を避ける。
- 駐車時に縁石にぶつからないようにする。
- タイヤに腐食性の高い液体が付着しないようにする。

タイヤとホイールの交換

タイヤは、紫外線、極端な高温・低温、高負荷、および環境条件によって時間とともに劣化します。タイヤは、トレッドの深さが最低深さ以上あったとしても、6 年ごとまたは必要に応じてそれより前に交換することが推奨されます。

タイヤ セットが摩耗した場合、4 本のタイヤすべてを 同時に交換してください。お客様の車両専用に設計された Tesla 認定タイヤを選んでください。ほとんどの Tesla 認定タイヤは、タイヤのサイドウォールにある「T マーク」仕様（T0、T1、T2 など）で識別できます。Tesla 認定タイヤは電動ドライブトレーンと共に使用することでパフォーマンス、安全性、信頼性および耐久性が最適化されるように設計されています。Tesla 認定交換タイヤに関する詳細については、サービスマニュアルを参照してください。

注: T マークは Tesla の規格に対応した特定のタイヤの発展を定めたものです。例えば T1 ミシュラン Primacy は T0 ミシュラン Primacy よりも新しいものですが、必ずしも T0 タイヤの他のモデルよりも多らしいものではありません。

パンクしているなどの理由でタイヤを早期に交換する必要がある場合は、他のタイヤが新しいタイヤのトレッド深さの 2/32 インチ（1.5 mm）以内である場合を除き、タイヤをペアで交換することをお勧めします。タイヤを交換する場合、古いタイヤと同じブランドの同じモデルにすることが重要です。常時 4 本のタイヤがすべて 同じサイズの場合は、新しいタイヤをリアに装着してください。タイヤを交換した後は、必ずホイールおよびタイヤのバランス調整を行ってください。さらに詳しい指導については、タイヤ販売専門業者や取付業者にお尋ねください。タイヤを交換するまたは別のタイヤを装着する場合は、マニュアルでタイヤをキャリブレーションします（タイヤ空気圧のキャリブレーション ページ 199 参照）。あわせて、タイヤ構成もリセットします（タイヤ構成 ページ 202 参照）。これにより学習したタイヤ設定がリセットされ、新しいタイヤのドライビン

グ エクスペリエンスが向上します。タイヤの交換または修理後に、タイヤの潤滑剤が完全に乾燥し、タイヤがリムに完全に吸着するまで最大で 24 時間かかることがあります。この期間は、タイヤがリムで滑らないように急加速は避けてください。

注: 交換するタイヤの本数に関わらず、性能を最大限引き出すために、車両に適合するタイヤの完全なセット使用することを推奨します。

指定された以外のタイヤを使用する場合は、タイヤにマーキングされた定格荷重および定格速度 (タイヤのマーキングについて ページ 226 を参照) が、元の仕様と等しいかあるいはそれを上回っていることを確認してください。

Model 3 に取り付けられている元々のホイールやタイヤの仕様については、（ホイールとタイヤ ページ 225 を参照）。

ホイール交換時には、TPMS（タイヤ空気圧監視システム）センサーをリセットして、タイヤの空気圧が低すぎる、または高すぎるときに確実に正確な警告が発信されるようにする必要があります （タイヤ空気圧監視システムセンサーの自動リセット（装備されている場合） ページ 203 を参照）。

注: 冬用のコンパウンドとトレッドデザインを採用したタイヤを取り付けると、回生ブレーキの制動力が一時的に低下する可能性があります。ただし、車両は継続的に再キャリブレーションするように設計され、タイヤ交換の後、中程度のトルクで直線に加速していくと回生ブレーキ力が徐々に回復していきます。大半のドライバーは通常運転を短時間行えば回復しますが、日頃ゆっくり加速するドライバーの方の場合は、再キャリブレーションが実行されている間は多少強く加速する必要がある場合があります。**「サービス」** > **「ホイールとタイヤ」** > **「タイヤ」**の順にタップしてウィンタータイヤを選択してこのプロセスを早めます。

警告: 安全のため、元の仕様と同じタイヤおよびホイールのみを使用してください。元の仕様と一致しないタイヤは、TPMS の動作に影響を与える可能性があります。

警告: 車両タイヤの定格速度を超えて運転しないでください。定格速度はタイヤのサイドウォール（タイヤのマーキングについて ページ 226 を参照）に表記されています。

非対称タイヤ

Model 3 のタイヤの一部は非対称であり、正しいサイドウォールが外側を向くようにホイールに取り付ける必要があります。タイヤのサイドウォールには単語が示されています **OUTSIDE**。新しいタイヤを取り付ける際は、タイヤにホイールを正しく取り付けてください。

警告: タイヤにホイールが正確に取り付けられないと、ロード ホールディング性能が著しく損なわれます。

ホイール カバーの取り外しと取り付け

Model 3 にホイール カバーが装備されている場合は、ラグ ナットにアクセスするためにホイール カバーを取り外す必要があります。

ホイール カバーの取り外し方：

1. 両手でホイール カバーを掴みます。
2. ホイール カバーを手前に引いて支持クリップを外します。

ホイール カバーを取り付ける：

1. ホイール カバーをバルブ ステムに合わせます。
2. カバーの中央部をしっかりと押して固定した後、次に各スポークの外周をしっかりと押し込みます。全てのスポークが固定されるまで、カバーの反対側を持つ必要があるかもしれません。
3. カバーを手で叩かずに中央部をしっかりと押し付けて固定します。
4. 最終チェックとして、各スポークを素早くく引っ張り、所定の位置に固定されていることを確認します。

ジェミニ ホイールの場合、ホイール面の位置が合うまでカバー周辺を押します。キャップがカチッとはまるまで、中央にある Tesla の「T」を押します。詳細情報については、部品とアクセサリー ページ 212 を参照してください。

注意: ホイール カバーの脱落を防止するため、完全に固定されていることを確認してから、運転するようにしてください。

ラグ ナット カバーの取り外しと取り付け

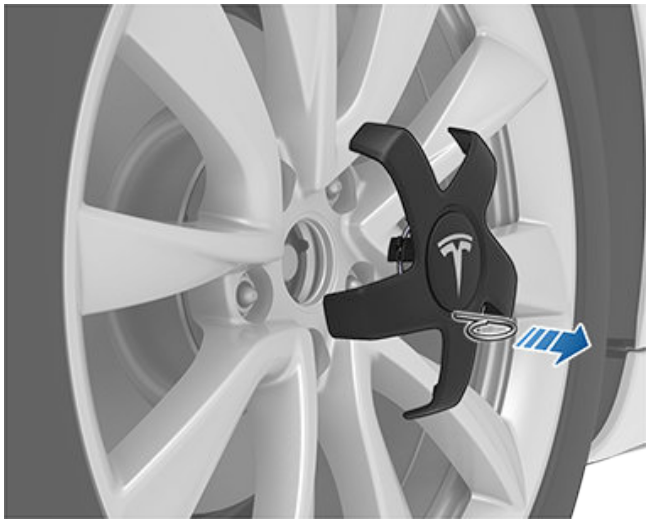
Model 3 にラグ ナット カバーが装備されている場合は、ラグ ナットにアクセスするためにラグ ナット カバーを取り外す必要があります。

ラグ ナット カバーの取り外し方:

1. Tesla の「T」のベース部分にある穴に、装備されていればラグ ナット カバー ツール（一部の車両ではグローブボックス内に装備、またはベット小型六角棒スパナを使用）の湾曲部分を挿入します。

   注: ラグ ナット カバー ツールは、自動車部品店やオンラインショップで購入することもできます。

2. ラグ ナット カバー ツールがラグ ナット カバーの穴に完全に挿入されるよう、ツールを操作します。
3. 湾曲した部分がラグ ナット カバー中央に触れるように、ラグ ナット カバー ツールをひねります。
4. ホイールからラグ ナット カバーが外れるまで、ラグ ナット ツールをしっかりと引っ張ります。



ラグ ナット カバーの取り付け方:

1. ラグ ナット カバーの位置を合わせます。
2. ラグ ナット カバーを強く押して元の位置に取り付けます。

   注意: 落下を防止するため、運転する前にラグ ナット カバーがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

ホイール設定

新しいホイールを取り付けたり別のホイールに交換する場合、**「コントロール」** > **「サービス」** > **「ホイール＆タイヤ」** > **「ホイール」**の順にタッチして車両のホイール設定をアップデートします。これにより、Model 3 が新しいホイールを理解し、車両でより正確なステータスアップデートを行えます。ドロップダウンメニューから、Model 3 に取り付ける予定の新しいホイールと合致するホイールを選択します。ホイール設定で新しいホイールを選択すると、タッチスクリーンの車両アバターに表示されるホイールも変更されます。

注: 車両のホイール構成を変更すると航続距離予測、タイヤ空気圧警告レベル、車両の外観に影響を与えます。

警告: ホイールを取り付けたり交換するときには、Tesla 認可のホイールのみを使用してください。Tesla で認可していないホイールを使用すると、深刻な損傷を招く恐れがあります。Tesla は、Tesla が認可していないホイールを使用して招いた損傷については責任を負いかねます。

タイヤ構成

最後のタイヤ ローテーションまたはタイヤ交換からの走行距離を表示するには、**「コントロール」** > **「サービス」**の順にタッチして「最後のタイヤサービス」の下を確認します。Model 3 のタイヤをローテーションした、交換した、または入れ替えた後は、**「リセット」**にタッチするか、同じ画面から**「ホイール＆タイヤ」** > **「タイヤ」**の順にタッチして、車両のタイヤ構成を更新します。これにより車両が学習したタイヤ設定はリセットされ、ドライビング エクスペリエンスが向上します。 直結 TPMS 搭載車ではさらに、6,250 マイル（10,000 km）走行してトレッド深さの低下が再検出されるまでは車両のトレッド摩耗アラートはクリアされリセットされます。サービスタイプを更新すると、車両のメンテナンスの概要にエントリーが追加されます（**「コントロール」** > **「サービス」** > **「メンテナンス」**の順にタッチします）。

車両が冬用タイヤを装着していることを確認してください。スタッドレスタイヤは、タイヤのサイド ウォールに山/雪のアイコンが表記されています。詳細情報については、スタッドレスタイヤ ページ 204 を参照してください。

注: 車両のタイヤ構成を変更すると、一時的に加速および回生ブレーキのレベルに影響が及ぶ可能性があり、タイヤローテーションまたはタイヤ交換後のみで行う必要があります。

タイヤ空気圧監視

Model 3 にはタイヤ空気圧モニタリングシステムが搭載され、タイヤ空気圧が低すぎるか。直結 TPMS 搭載車でタイヤ空気圧が高すぎる場合に、タイヤ空気圧インジケーター ライトを表示してドライバーに警告します。詳細については、運転席ドア ピラーにある「タイヤと積載荷重情報」ラベルを参照するか、タイヤ空気圧の保守 ページ 198 を参照してください。

各タイヤは、スペアタイヤ（装着されている場合）を含め、毎月冷間時に点検し、車両プラカードまたはタイヤ空気圧ラベルに記載されている、車両メーカー推奨の空気圧まで空気を入れてください。（車両のラベルまたはタイヤ空気圧ラベルに記載されたサイズと異なるサイズのタイヤが取り付けられている場合は、それらのタイヤの適正空気圧を確認してください。）

追加の安全機能として、車両にはタイヤ空気圧監視システム（TPMS）が装備されおり、1 本または複数のタイヤの空気圧が著しく低下すると、タイヤ空気圧低下警告灯が点灯します。したがって、タイヤ空気圧低下警告灯が点灯したら、できるだけ早く停車してタイヤを点検し、適正空気圧まで空気を入れてください。タイヤの空気圧が著しく低い状態で運転すると、タイヤが過熱しタイヤの不具合につながる可能性があります。低空気圧は、燃料の効率とタイヤのトレッド寿命に悪影響を与え、車両のハンドリングおよび停止能力にも影響を及ぼす可能性があります。

次のことにご注意ください。TPMS はタイヤの適切なメンテナンスに代わるものではありません。空気圧不足が TPMS タイヤ空気圧低下警告灯の点灯レベルに達していなくても、タイヤの空気圧を適正に保つことはドライバーの責任です。

TPMS の不具合

お客さまの車両には、システムが正しく作動していないときに知らせる TPMS 故障指示灯も搭載されています。TPMS 故障指示灯は、タイヤ空気圧低下警告灯に組み込まれています。システムが故障を検出すると、指示灯が約 1 分間点滅し、その後点灯したままの状態になります。このシーケンスは、故障が存在する限りその後も車両を始動するたびに繰り返されます。

故障指示灯が点灯した場合、システムがタイヤ空気圧の低下を意図したとおりに検知したり、信号を伝えたりできない可能性があります。タイヤまたはホイールの交換などさまざまな要因によって TPMS の故障が発生し、TPMS が正しく作動しない場合があります。1 本または複数のタイヤまたはホイールを交換した後は、必ず TPMS 故障指示灯をチェックして、交換用または代替のタイヤおよびホイールで TPMS が引き続き正しく機能することを確認してください。

TPMS 故障インジケーターは、タイヤ空気圧インジケーター ライトに組み込まれています。Model 3 の電源を入れて、Model 3 が TPMS の誤作動を検知した場合、このインジケーターライトが 1 分間点滅します。

注: Tesla が提供するタイヤシーラントと異なるシーラントを使用してタイヤを交換または修理した後に、低タイヤ空気圧が検出された場合は、タイヤセンサーが損傷している可能性があります。

注: Tesla が承認していないアクセサリーを取り付けた場合、TPMS と干渉する可能性があります。

タイヤ空気圧監視システムセンサーの自動リセット（装備されている場合）

直結 TPMS 搭載車のみに適用されます。

1 個または複数のホイールを交換した後（タイヤ交換は含まれません）、タイヤ空気圧警告を正確にするために TPMS センサーを再度学習します。時速 15 マイル (25 km)以上で 10 分以上走行すると、TPMS は自動的にリセットされます。

警告: Model 3 が「タイヤと積載荷重情報」ラベルに印刷されているものとサイズが異なる市販タイヤを装着している場合（車両総重量 ページ 219 を参照）、適切なタイヤの空気圧を判断するのはドライバーの責任です。適切なタイヤ圧になっていない時には公道を走行しないでください。

警告: タイヤ圧を判断して警告を出すタイヤ空気圧監視システムセンサーに任せきりにしないでください。適切なタイヤの空気圧を維持するのはドライバーの責任です（タイヤ空気圧の保守 ページ 198 を参照）。空気が入り過ぎたタイヤや空気が十分に入っていないタイヤでは、重大な傷害につながる制御不能状態やタイヤの損傷を招く恐れがあります。

タイヤ センサーの交換（装備されている場合）

直結 TPMS 搭載車のみに適用されます。

タイヤ空気圧警告インジケーターが頻繁に表示される場合は、モバイル アプリを使用してサービス予約をし、タイヤ センサーを交換する必要があるかどうかを確認してください。Tesla 以外の修理施設でタイヤを修理または交換した場合、タイヤセンサーは Tesla がセットアップを実行するまで作動しないことがあります。

季節別タイヤ保管

タイヤのタイプを理解する

車両がもともと装着しているタイヤのタイプは車両モデルと販売地域によって異なります。車両のタイヤの性能と、夏季、オールシーズンまたは冬季の走行に適しているのかを理解することが重要です。タイヤの性能特性については、タイヤのサイドウォールにある情報を確認してください（タイヤのマーキングについて ページ 226 を参照）。

サマー タイヤおよびオールシーズン タイヤ

これらのタイヤは、ドライとウェットの道路状況で性能を最大限に発揮しますが、冬季の道路状況で十分な性能を発揮するようには作られていません。オールシーズンタイヤは一年を通してほとんどの状況で十分なトラクションを発揮するように設計されていますが、氷雪条件ではウィンター タイヤほどのトラクションを発揮できない可能性があります。オール シーズン タイヤは、タイヤのサイド ウォールに「ALL SEASON」および/または「M+S」 (mud and snow) と表記されています。

低温時や路面に雪や氷が付着している可能性のある場所で走行する場合、Tesla はウィンター タイヤの使用を推奨します。

警告: 低温時または路面に雪や氷が付着している場合、サマー タイヤやオールシーズン タイヤは十分なトラクションを発揮しません。安全で最適な Model 3 のパフォーマンスを確実に引き出すために、冬の状況に適したタイヤを選び取り付けることが重要です。

スタッドレスタイヤ

雪道や凍結路面でトラクションを高めるにはスタッドレスタイヤを使用してください。スタッドレスタイヤを装着する際は、必ず 4 輪ひと組で同時に装着してください。スタッドレスタイヤは、全車輪で同一のサイズ、メーカー、構造およびトレッドパターンのものを使用してください。

スタッドレスタイヤは、タイヤのサイド ウォールに山/雪のシンボルが表記されています。

スタッドレスタイヤを装備している場合、より大きな走行音が発生し、トレッド寿命が短くなるほか、乾いた路面ではトラクションが減少する場合があります。

注: 冬用のコンパウンドとトレッドデザインを採用したタイヤを取り付けると、回生ブレーキの制動力が一時的に低下する可能性があります。しかし、お客様の車両は、短時間通常通りに運転すると、回生ブレーキを回復するよう自動的にキャリブレーションするように設計されています。

注: ウィンタータイヤを装着した場合、またはタイヤを交換した場合、**「コントロール」** > **「サービス」** > **「ホイールとタイヤ」** > **「タイヤ」**に移動して、タイヤ構成をリセットします（タイヤ構成 ページ 202 を参照）。これにより学習したタイヤ設定がリセットされ、新しいタイヤのドライビング エクスペリエンスが向上します。

警告: 車両タイヤの定格速度を超えて運転しないでください。定格速度はタイヤのサイドウォール（タイヤのマーキングについて ページ 226 を参照）に表記されています。

低温時の運転

周囲温度が低い状況ではタイヤの性能は低下し、そのためグリップが低下して、衝撃による損傷をより受けやすくなります。パフォーマンス タイヤ（夏用）は外気温が 40°F（5°C）以下になるとトラクションが低減するので、氷雪環境にはお勧めできません。パフォーマンス タイヤは冷えた場合一時的に固くなることがあり、タイヤが温まるまでの最初の数 mi (km) は回転ノイズが聞こえます。

タイヤチェーンの使用

Tesla では、雪道でのトラクションを高めるための次のタイヤチェーン（スノー チェーン）を試験し、認定しています。タイヤチェーンは、リア タイヤにのみ装着できます。認定済タイヤチェーンは Tesla でお買い求め頂けます。

タイヤサイズ（インチ）	推奨チェーン
第 18	König CG-9 102
19	König CG-9 103
20	König K-Summit K34

注意: Model 3 にホイール カバーが装備されている場合は、ラグ ナットにアクセスするためにホイール カバーを取り外す必要があります（ホイール カバーの取り外しと取り付け ページ 201 を参照）。それを行わずに損傷が生じた場合は保証対象外になります。

注意: サマータイヤにはタイヤチェーンを 装着しないでください。さもないと、車に損傷を与える恐れがあります。

タイヤチェーンを 装着する際は、タイヤチェーン製造元の取扱説明書の指示に従ってください。均一に、また可能な限りきつく装着してください。

チェーンを使用する際には、次の点にご注意ください。

- 使用前には、チェーンが緩んでいないか、またリンクに破損がないか確認してください。
- Model 3 に重量物を積載しないでください (重量物はタイヤとボディ 間のクリアランスを減少させる可能性があります)。
- チェーンを適切に装着していない場合には、車両を運転しないでください。
- ゆっくり運転してください。時速 30 mph (48 km/h) を超えないようにしてください。
- タイヤチェーンは状況が許せばただちに取り外してください。

注: タイヤチェーンの使用は一部の地域では禁止されています。タイヤチェーンを取り付ける前に当該地域の法律を確認してください。

注意: 非推奨タイヤチェーンやサイズ違いのタイヤチェーンを使用すると、サスペンション、ボディ、ホイール、またはブレーキ ラインを損傷する可能性があります。推奨されていないタイヤチェーンの使用や不適切に装着されたタイヤチェーンによって 起きた損傷は、保証の対象外です。

注意: 前輪にはスノー チェーンを使用しないでください。

注意: チェーン装着時にタイヤの空気圧を抜かないでください。チェーンを装着したままタイヤに空気を入れると、チェーンがきつくなり過ぎてタイヤが損傷する可能性があります。

注意: チェーンがサスペンション コンポーネントやブレーキ ラインに触れないようにしてください。チェーンから Model 3 との接触を示す異常なノイズが聞こえたら直ちに停車して、確認してください。

外装のクリーニング

塗装への損傷を防ぐため、腐食性物質（油脂、鳥のフン、樹液、虫の死骸、タール汚れ、凍結防止剤、大気中降下物など）が付着した場合は、ただちに除去してください。Model 3 の次回の洗車時期まで待たないでください。必要に応じて変性アルコールを使用してコールタールや頑固な油汚れを除去し、その後ただちに水と界面活性剤を含まないマイルドな石けんでアルコールを除去してください。

エクステリアカメラに泥、水滴、障害物が付着していないようにします。これらの物質は、画像が不鮮明になったり、オートパイロットや安全機能の動作が停止したりする原因になる場合があります（カメラのクリーニング ページ 205 を参照）。

Model 3 の外装を洗うときは以下の手順に従ってください。

1. 洗車する前に、ホースを使用して車両に付着した汚れや砂粒を洗い流します。異物がたまりやすい場所 (ホイール ウェルやパネルの継ぎ目など) にたまっている 泥を洗い流します。冬の間など、道路で塩が使用された場合は、車両の下、ホイール ウェル、およびブレーキに付着している道路塩をすべて 除去します。
2. きれいでやわらかい布、冷水、またはぬるま湯、および中性の高品質自動車用洗剤。

   注意: 一部のクリーナーや車両用シャンプーには、特にプラスチック製のトリム ピース、エクステリアライト、カメラ レンズに損傷や変色を引き起こす可能性のある化学物質が含まれています。たとえば、一部のカー クリーニング フォーミュラには、外装部品を損傷させる可能性のある水酸化物またはその他の高アルカリ性あるいは苛性成分が含まれています。酸性製品も使用しないでください。製品の洗浄による損傷や変色は、保証の対象外です。

3. 洗車した後、洗剤が表面に残ったまま乾かないように清潔な水ですすぎます。
4. セーム革で徹底的に拭いて乾かします。必要に応じて、車を短時間運転してブレーキを数回踏んで乾燥させます。

イソプロピルアルコール ワイプ（ガラスや画面の汚れ落としに使用する物）で小さな汚れを落とします。

窓のクリーニングと手入れ

自動車用のガラス クリーナーで窓ガラスとミラーをクリーニングします。ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。エクステリア ガラスのクリーニングに関するベスト プラクティスについては、外装のクリーニング ページ 205 の指示に従ってください。

車両の窓への撥水コーティングの追加については、サイドおよびリアの窓だけに塗布して、フロント ガラスには塗布しないでください。さもないとオートパイロット カメラの視認性に影響を与えてしまいます。塗布の詳細については、撥水コーティング製造会社の指示に従ってください。

注: Tesla は車両への窓処理に関連する損傷については一切責任を負いません。

洗車モード

Model 3 を洗車機に入れると、洗車モードによってすべてのウィンドウが閉じ、充電ポートがロックされ、ワイパー、セントリーモード、降車後オートロックおよびパーキング センサー チャイムが無効になります。有効にするためには**「コントロール」** > **「サービス」** > **「洗車モード」**の順にタッチします。車両は、停止した状態にし、充電は行わないでください。

自動洗車機を使用する場合、**「フリーロールを有効にする」**によって車両はニュートラルになり洗車中はフリーロールが有効になり、ドライバーが運転席を離れても Model 3 のパーキングブレーキがかからないようになります。有効にするためにはブレーキ ペダルを踏み、**「フリーロールを有効にする」**にタッチするか、ニュートラルにシフトします。

車速が 9 mph（15 km/h）を超えるか、タッチスクリーンで**「終了」**にタッチすると洗車モードは無効になります。

注意: Model 3 を「洗車モード」しないと、損傷を招く恐れがあります（充電ポートやフロントガラスのワイパーなど）。洗車により生じた損傷については、保証の対象になりません。

カメラのクリーニング

明瞭な画像を維持するには、カメラのレンズをきれいに保ち、視界が遮られないようにしてください。

土や破片の堆積を取り除くには、カメラレンズに水を噴射し、マイクロファイバーの布で乾かしてください。カメラの洗浄は、雪、雨、みぞれなどの湿気の多い時期は毎週、乾燥している時期は 1 か月ごとに実施してください。

前向きカメラ（搭載車の場合）にはスプレー ノズルが装備されています。前向きカメラを清掃するには、アプリ ランチャーをタッチしてカメラ アプリを選択し、スプレー アイコンを押します。

注: 視界を確保し、カメラの機能を最適に保つため、フロントカメラ筐体内（カメラ ページ 19 を参照）のフロントガラス内側を定期的に清掃する必要があります。このような清掃が必要かどうかを確認するには、**「コントロール」** > **「サービス」** > **「メンテナンス」**の順にタッチして、車両のメンテナンスの概要を確認してください。必要に応じて、モバイル アプリでサービスを予約してください。

注意: 薬品系や研磨剤系のクリーナーは使用しないでください。使用すると、 レンズの表面が損傷するおそれがあります。

注意: 超音波センサー（装備されている場合）またはカメラのレンズを洗浄する際にその表面を傷つけたり損傷したりする恐れのある尖った物や研磨剤を使用しないでください。

外装のクリーニングに関する注意事項

注意: 直射日光の当たる場所では洗車しないでください。

注意: フロントガラスにはっ水処理液を使用しないでください。はっ水処理液を使用すると、ワイパーとフロントガラスとの摩擦によってびびり音が発生することがあります。

注意: 温水、洗剤、または強アルカリ性または苛性アルカリ性のクリーニング製品（特に水酸化物を含むもの）を使用しないでください。pH 13 を超える石けん水やケミカル製品は使用しないでください。わからないときは、製品ラベルを確認するか、洗車場のスタッフにおたずねください。不適切な洗車方法で生じた損傷は、保証対象になりません。

注意: 高圧洗浄機を使用する場合は、ノズルを Model 3 の表面から 12" (30 cm) 以上離してください。パーキングセンサー（装備されている場合）に直接水流を向けないでくださいノズルを動かし続け、水流を一箇所に集中させないでください。

注意: ホースの水をウィンドウ シール、ドア シール、フード シールに直接当てたり、電気モジュールまたは露出しているケーブル部分に当てたりしないでください。

注意: 保証範囲に含まれない腐食による損傷を防ぐために、車両の下側、ホイール ウェル、およびブレーキに付着した道路塩をすすぎ流してください。洗車した後は、車を短時間運転してブレーキを数回踏んで乾燥させます。

注意: 洗浄ミットなどの毛羽だった布や目の粗い布を使わないでください。高品質のマイクロファイバー布を使用することを推奨します。

注意: 自動洗車機で洗車する場合は、タッチレス洗車機以外は使用しないでください。タッチレス洗車機は Model 3 の表面にブラシなどが一切触れないで洗車します。

注意: 自動洗車場で洗車する場合は、車両がロックされていることを確認してください。さらに、車両の洗車中にドアやトランクが偶発的に開かないように、タッチスクリーンの各コントロールの使用は控えます。何らかの損傷が発生しても、保証対象外となります。

注意: ワイパーの損傷を避けるために、Model 3 を洗車する前に必ずワイパーをオフにしてください。

注意: 化学物質系のホイール クリーナーやプレウォッシュ製品は使用しないでください。ホイールの表面が損傷することがあります。

警告: Model 3 を充電している間、充電ポートに高速で液体を絶対にかけないでください（高圧洗浄機など）。これらの指示に従わないと、重傷を負ったり、車両や充電器の損傷、財産の損失につながる恐れがあります。

内装のクリーニング

内装の美しさを保ち、早期の摩耗を防止するために、頻繁に内装を点検し、クリーニングしてください。可能であれば、こぼれた物をただちに拭き取り、シミを取ってください。全般的なクリーニングでは、ぬるま湯にマイルドな非界面活性剤クリーナーを混ぜた液体で湿らせた柔らかい布（マイクロ ファイバーなど）を使用して内装の表面を拭き取ります（クリーナーを使用する前に、内装の目に見えない部分でクリーナーを試してください）。拭き跡が残らないように、糸くずの出ないやわらかい布でただちに水分を拭き取ります。

内側のガラス

ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。鏡の反射面やリア ウィンドウの発熱体が損傷することがあります。

エアバッグ

エアバッグ カバーに洗剤などの物質が入り込まないように注意してください。エアバッグの動作に支障をきたすおそれがあります。

ハンドル

ハンドルを使用する際は、手を清潔かつ完全に乾いた状態に保ってください。ハンドルに触れる前に、ハンドクリーム、日焼け止め、その他の液体が手に残っている場合は、必ず拭き取ってください。ハンドルにアルコール系の手指消毒剤が触れないように注意してください。ハンドルに異物や液体が付着した場合は、できるだけ早く、ぬるま湯と中性の非洗剤系クリーナーを混ぜた液を少量含ませた柔らかい布（マイクロファイバーなど）で拭き取ってください。

ダッシュボードとプラスチックの表面

ダッシュボードの上面を磨かないでください。表面を磨くと光が反射し、運転時の視界を妨げるおそれがあります。

室内灯

注: 本 Tesla 保証は、このオーナーズマニュアルで推奨されていない洗浄剤や工具の使用などの不適切なメンテナンスによって生じた損傷には適用されません。

室内照明には石けんや化学洗浄剤を使用しないでください。一般用の洗浄剤や物質は、照明のレンズや部品を劣化させ、時間の経過とともにひび割れや損傷を引き起こす可能性があります。Tesla では、室内照明のクリーニングには、ぬるま湯で湿らせた柔らかい布を使用し、汚れた部分やシミを優しく拭き取ることを推奨しています。室内照明には以下の照明が含まれますが、これらに限定されません（装備されている場合）：

- 足元スペース
- パドル
- 予測
- ドームライト
- アクセント
- アンビエント

石けんやマイルドな非界面活性剤クリーナーでインテリアをクリーニングする場合、まずすべての照明を以下のような何らかの手段で保護することを Tesla では推奨しています：

- 布。
- マスキングテープ。
- プラスチックフィルム。

- 車両インテリア用保護カバー。

Seats

注: 本 Tesla 保証は、このオーナーズマニュアルで推奨されていない洗浄剤や工具の使用などの不適切なメンテナンスによって生じた損傷には適用されません。

お客様の車両のシートは、レザーよりも柔らかく、耐久性に優れ、汚れに強い、特別な持続可能なヴィーガンレザーで作られています。Tesla では、性能と新車同様の外観を維持するために、車内の定期的な清掃と掃除機がけを推奨しています。万能クリーニングキットを Tesla ショップで販売しています。

一部の化粧品を含む刺激の強い薬品が触れることのないようにしてください。このような物質は、時間の経過とともに損傷、劣化、変色を引き起こす可能性があります。

一般的な汚れやシミは、内装の表面からできるだけ早くこぼした液体や化学物質の残留物を拭き取ってください。柔らかい布（できればマイクロファイバー）をぬるま湯と中性石鹸で湿らせ、円を描くようにやさしく汚れを拭き取ります。その後、糸くずの出ない柔らかい布で水分を拭き取ります。ドライヤーで乾かさないでください。石鹸以上のものは、刺激が強すぎる場合があります。他のクリーニング溶液、消毒剤、コンディショナー、保護剤の使用は推奨されません。

白色のシートの場合：最後の手段として、柔らかい布（マイクロファイバーなど）にぬるま湯とイソプロピルアルコールを含ませ、円を描くようにやさしく汚れを拭き取ります（黒色のシートにはこの方法を使用しないでください）。イソプロピルアルコールが残っている場合は、湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。イソプロピルアルコールを過度に使用したり、長時間使用したりすると、素材の上塗りを傷め、汚れやすくなり、また保証を受けることができなくなります。

注意: アルコール、漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）、柑橘類、ナフサ、シリコン系の添加物を含む製品は使用しないでください。シートに直接スプレーをかけないでください。シートベルト機構に水が入らないようにしてください。

さまざまな衣服、アクセサリー、化粧品には染料や油分が含まれている場合があり、時間が経つとシートに移染することがあります。このようなシミを防ぐのは難しく、損傷を与えることなくシミを取り除くことが不可能な場合もあります。

注意: Tesla 純正品ではない市販のシートカバーは使用しないでください。シートカバーはシートの汚れや損傷の原因となり、シートの乗員センサーの感度に影響を及ぼしたり、エアバッグの展開を制限したりするおそれがあります。

カーペット

カーペットを濡らしすぎないように注意してください。汚れがひどい部分には希釈した布製家具クリーナーを使用します。

シートベルト

ベルトを引き出して拭き取ります。種類のいかんに関わらず、洗剤や化学洗浄剤は使用しないでください。可能であれば直射日光を避けて、ベルトを引き出したまま自然乾燥させます。

ドア シール

湿らせた布でドア シールを拭いて汚れを取り除いてください。ドア シールに汚れがたまると、周囲の面に接触したときに損傷の原因になるおそれがあります。アルコール系の拭き取り剤や化学製品はドア シールのコーティングを劣化させるおそれがあるので使用を避けてください。

フロントおよびリア タッチスクリーン（装備されている場合）

モニターやディスプレイの清掃用に特別に設計された、柔らかい糸くずの出ない布を使用してください。クリーナー（ガラスクリーナーなど）やアルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンド ローションなど）を使用しないでください。濡れた雑巾や静電気を帯びた乾いた布（洗ったばかりのマイクロ ファイバーなど）を使用しないでください。フロント タッチスクリーンを清掃するときは、ボタンを作動させたり設定を変えたりしないように、画面クリーニングモードに切り替えます。**「コントロール」** > **「スクリーン」** > **「画面クリーニングモード」**.の順にタッチします。ディスプレイが暗くなり、ホコリや汚れが見やすくなります。「画面クリーニングモード」を終了するには、**「長押しして終了」**を長押しします。

クロームや金属の表面

研磨剤、研磨洗浄剤、アルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンド ローションなど）、硬い布を使用すると、クロームや金属の仕上がりが損なわれるおそれがあります。

内装のクリーニングに関する注意事項

注意: 溶剤（アルコールを含む）、アルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンド ローションなど）、漂白剤、柑橘系、ナフサまたはシリコン系の製品や添加剤を内装部品に使用すると、内装コンポーネントが損傷する恐れがあります。

注意: 静電気を帯びた物質はタッチスクリーンを損傷する恐れがあります。

警告: エアバッグやシートベルトの損傷に気付いたら、ただちに Tesla にご連絡ください。

警告: 水、クリーナー、布がシートベルト機構に入り込まないように注意してください。

警告: インテリアアクセントライトには、溶剤や石けんを使用しないでください。

警告: 化学洗剤は目や皮膚に付くと炎症を引き起こす可能性があり、危険です。化学洗剤の製造元が提供する説明書をよく読み、指示に従ってください。

つや出し、補修塗り、ボディの修理

ボディの外観の美しさを保つには、以下のものを含む承認済みの光沢剤で塗装面を処理します。

- 塗装をはがしたり傷つけたりしないで表面の汚れを落とすための非常にマイルドな研磨剤。
- 傷を埋めて目立たなくする充填剤。
- 塗装を自然環境から保護する被膜を形成するためのワックス。

定期的に外装の塗装を点検し、損傷の有無を確認します。タッチ アップ ペン（販売地域によっては Tesla から購入可能）を使用して小さい欠けや傷を修復します。洗車した後、つや出しやワックスがけをする前に、タッチ アップ ペンを使用します。

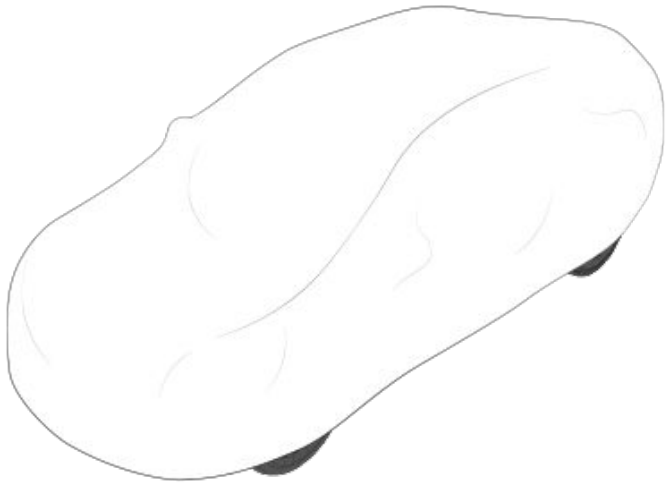
石による欠け、割れ、傷を修復します。修理や利用できるサービスに関する情報は、https://www.tesla.com/support/body-shop-support をご参照ください。

注意: カッティング ペースト、色補修剤、粗い研磨剤が含まれた光沢剤は使用しないでください。表面が傷つき、塗装が恒久的に損傷するおそれがあります。

注意: クローム光沢剤やその他の研磨剤入りクリーナーは使用しないでください。

自動車用カバーの使用

Model 3 を使用していない間、車体の外観の美しさを保つために、Tesla 正規品の自動車用カバーを使用してください。自動車用カバーは Tesla ショップから購入できます。



注意: Model 3 に充電ケーブルを接続しているときは Tesla 承認済みの自動車用カバーのみを使用してください。Tesla 以外の自動車用カバーを使用すると、充電中にバッテリーを適切に冷却できないおそれがあります。

フロア マット

カーペットを長持ちさせ、簡単に洗えるようにするためには、http://www.tesla.com でオンライン購入可能な Tesla 純正フロアマットを使用してください。フロアマットは定期的にクリーニングし、正しく取り付けられていることを確認してください。摩耗のひどいフロアマットは交換してください。

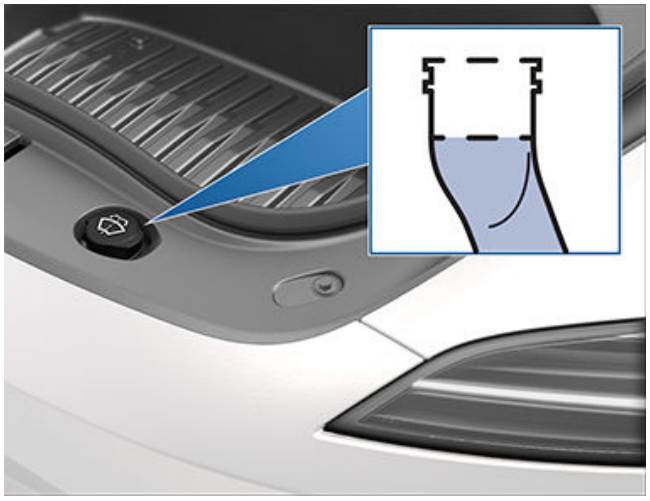
警告: マットがフット ペダルに干渉しないように、運転席のフロア マットがしっかりと固定されていることを確認してください。フロア マットの上に別のフロア マットを絶対に置かないでください。フロアマットは必ず車両のカーペット用の表面に敷き、別のフロアマットやその他のカバーの上に重ねないでください。

フロントガラス ウォッシャー液を補充

お客様ご自身でフルードを補充できるリザーバーは、フロントトランク奥にあるウォッシャー液リザーバのみです。レベルが低下すると、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。

ウォッシャー液の補充：

1. フードを開きます。
2. リザーバにゴミが入らないように、キャップを開ける前にフィラー キャップ周辺を掃除します。
3. フィラー キャップを開けます。
4. 液体がフィラーネックのちょうど下に見えるまで、こぼさないようにリザーバーを満たします。リザーバーの容量は 3.2 リットルです。



5. こぼれたらすぐに拭き取り、こぼれた箇所を水で洗ってください。
6. フィラー キャップを再び取り付けます。

注: 国や地方によっては、揮発性有機化合物 (VOC) の使用が制限されています。VOC はウォッシャー液の不凍剤としてよく使われます。Model 3 がさらされるあらゆる気候でウォッシャー液が適切な耐凍性を持っている場合にのみ VOC の含有量が限られたウォッシャー液を使用してください。

注意: Tesla は、車両に推奨されているフロントガラス ウォッシャー液のみを使用することを推奨しています。推奨品はサービスセンターで購入できます。詳細は、parts.tesla.com を参照してください。未処理水など他の物質を使用すると、空調システムに微生物が繁殖し、臭いや、保証の対象とならない損傷が発生する可能性があります。

注意: はっ水剤や虫洗浄剤が含まれた特殊なウォッシャー液を補充しないでください。この種のウォッシャー液は、汚れの筋、しみ、軋む音やその他の騒音の原因になることがあります。

警告: 気温が 40° F (4° C) 以下の場合は、不凍剤の含まれたウォッシャー液を使用してください。寒冷地で不凍剤が入っていないウォッシャー液を使用すると、フロントガラスの視界が妨げられることがあります。

警告: フロントガラス ウォッシャー液は眼や肌を刺激する可能性があります。ウォッシャー液の製造業者が提供する取扱説明書をよく読みそれに従ってください。

ワイパーブレードの確認と清掃

定期的にワイパーブレードのエッジをきれいにし、ゴムにひび割れや裂け目が生じていないか、また凸凹がないか確認します。ブレードが損傷している場合は、ガラスが傷つくのを防ぐとともに視認性を上げるため、すぐにブレードを交換してください。

フロントガラスやワイパーブレードの汚れにより、ワイパーの効果が下がる可能性があります。汚れには、氷や洗車スプレーのワックス、防虫、防水対応のウォッシャー液、鳥のフン、樹液その他の有機物質などがあります。

以下のクリーニングのガイドラインに従ってください。

- 自動車のガラスやゴムへの使用を承認されているウォッシャー液、イソプロピル（消毒用）アルコール、または研磨剤の含まれていないガラスクリーナーを使用しフロントガラスやワイパーブレードをきれいにします。不適切な製品は、損傷や汚れ、フロントガラスのぎらつきを引き起こす可能性があります。
- ワイパー アームを少し持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。ワイパー アームを想定された位置以上に持ち上げないでください。

クリーニング後もワイパーの効果がない場合は、ワイパー ブレードを交換してください。

注: ワイパーが有効に機能していないと、フロントガラスのカメラの視認性が低下し、オートパイロット機能の性能低下や利用不可につながる可能性があります。詳細については、カメラ ページ 19 を確認して、オートパイロット 制限と警告 ページ 135 を参照してください。

ワイパーブレードの交換

最良の性能を発揮するには、ワイパー ブレードを少なくとも 1 年に 1 回交換してください。交換ブレードは次の基準に適合している必要があります。

- 運転席側のブレードは長さ 26 インチ（650 mm）、助手席側は長さ 19 インチ（475 mm）である必要があります。
- 交換ブレードのコネクターが元々のブレードと同じであることを確認します。コネクターが異なると、交換ブレードを車両のワイパー アームに接続することができない可能性があります。

Tesla ショップから交換用のワイパー ブレードを購入することができます。

注: 必ず、元のブレードと同じ交換用ブレードを取り付けてください。不適切なブレードを使用すると、ワイパー システムおよびフロント ガラスが損傷するおそれがあります。

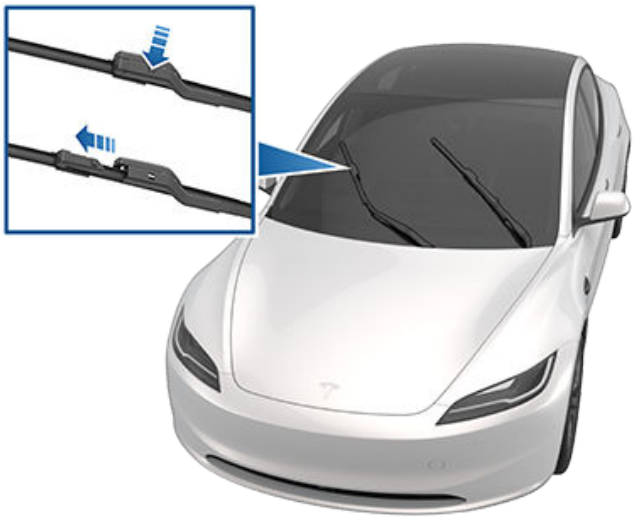
ワイパー ブレードを交換する手順は、次のとおりです。

1. パーキングにギアを入れてワイパーをオフにします。

2. **「コントロール」** > **「サービス」** > **「ワイパーサービスモード」**の順にタッチして、ワイパーを交換できる位置まで動かします。
3. ワイパー アームを少し持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。

   注意: ワイパー ブレードは持ち上がった状態ではロックされません。ワイパー アームを想定された位置以上に持ち上げないでください。

4. フロントガラスに傷やひびが生じるのを防ぐため、ワイパーアームとフロントガラスの間にタオルを挟みます。
5. アームからブレードをスライドさせるときは、ワイパーアームを持ち、ロッキング タブを押します。



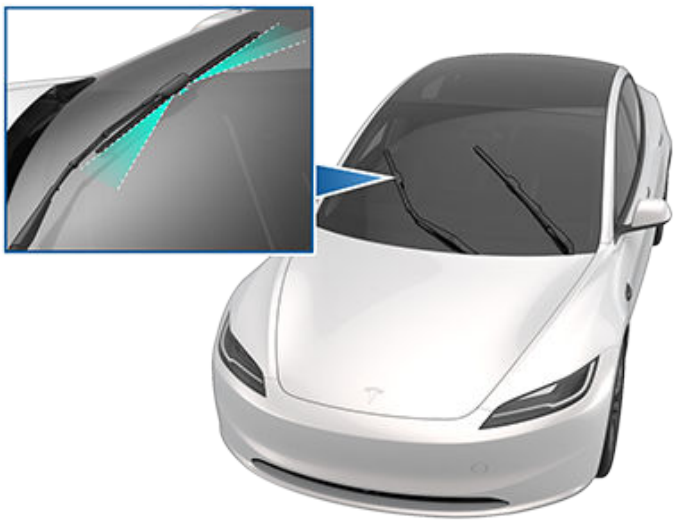
6. 新しいブレードをワイパー アームに揃え、固定されるまでアームのフック端側に向かって滑らせます。

   注意: 新しいブレードが所定の位置にロックされ、動かないことを確認します。押したり引いたりして確認します。ロックされていないと（ロックされると「カチッ」と音がして感触があります）、使用中にワイパーブレードが外れて重大な損傷につながるおそれがあります。

7. 「ワイパー サービス モード」をオフにして、ワイパーを通常の位置に戻します。

ウォッシャー液噴出口を清掃する

フロントガラス ウォッシャー液が噴射されない場合は、細いワイヤーでノズル内のつまりを取り除いてください。

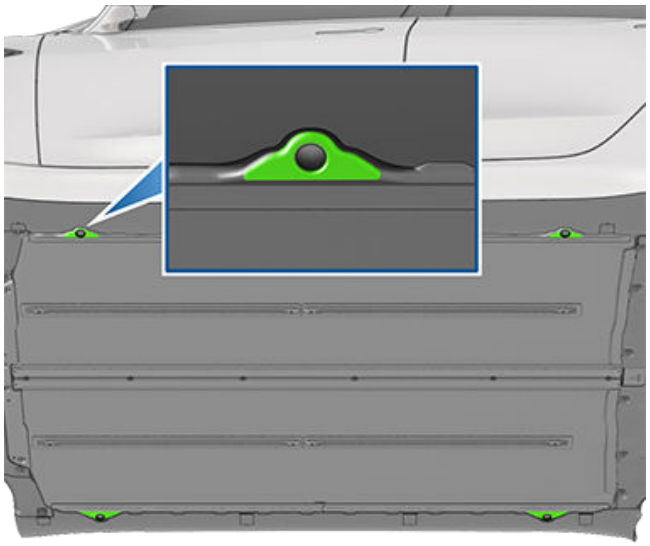


警告: Model 3 の清掃中はウォッシャーを操作しないでください。フロントガラス ウォッシャー液は眼や肌を刺激する可能性があります。ウォッシャー液メーカーからの説明書を読み、それに従ってください。

以下の手順に従って Model 3 をジャッキアップします。Tesla 以外の修理施設で行う場合は、リフト ポイントおよび警告を含め、これらの指示が理解されていることを確認してください。

1. Model 3 をリフト ポストの間に置きます。
2. リフトのアーム パッドを図に示す指定されたボディ リフト ポイントの下側に当ててください。

   警告: リフト アーム パッドをバッテリーの下側やサイド レールの下に配置**しないでください**。



3. リフトのアーム パッドの高さと位置を適切に調整します。
4. 助手に手伝ってもらいリフトを必要な高さまで上げ、リフト アーム パッドが正しい位置にとどまっていることを確認します。
5. リフトの安全ロックをかけます。リフトメーカーの説明に従ってください。

警告: 充電ケーブルを接続しているときは、たとえ充電中でなくても絶対に Model 3 を持ち上げないでください。

警告: 車両が正しく支持されていない状態で作業を行わないでください。重大な損傷、負傷事故、死亡事故につながる可能性があります。

注意: 車両およびその周囲を監視することは作業者の責任です。Model 3 を上げるまたは下げるときは、エリア内に何もないこと、ならびにドア、フロント トランク、およびリア トランクが必要に応じて損傷を防止するために閉じられていることを確認します。

注意: バッテリーまたはサイドレールの下から引き上げないでください。リフト アーム パッドは専用ボディ リフト ポイントの下側以外には当てないでください。ここで示す位置だけが、Model 3 で認定されているリフティング ポイントです。これ以外のポイントで引き上げようとすると、損傷が発生する可能性があります。誤ったリフト方法で Model 3 を損傷した場合は保証対象にはなりません。

部品、アクセサリー、改造

Tesla 正規品の部品/アクセサリーのみをお使いください。Tesla は部品に厳しい試験を実施し、その適合性、安全性、信頼性を確認しています。これらの部品は Tesla から購入してください。Tesla では、専門的な経験を積んだプロがこれらの部品の取り付けを行い、また Tesla から Model 3 の改造について専門的なアドバイスを受けることができます。アクセサリーは、Tesla ストアまたはオンライン（www.tesla.com）でご購入いただけます。

注: 車両にアクセサリーを追加すると、予想航続距離や車両寸法などが影響を受ける場合があります。

注: アクセサリーによってはお住いの地域で利用できない場合があります。

Model 3 に Tesla 製ではない部品を使用する場合、Tesla は他の業者が製造した部品を評価することができないため、一切責任を負いません。

警告: 承認されていない部品およびアクセサリーの取り付け、または承認されていない改造を行うことにより、Model 3 の性能やその乗員の安全が損なわれる可能性があります。無認可の部品の使用または取り付け、あるいは無認可の改造によって生じた損害は、保証の対象となりません。

警告: 無認可のアクセサリーの使用または取り付け、あるいは無認可の改造があった場合の死亡、負傷、または損害について、Tesla は一切責任を負いません。

車体の修理

Model 3 が衝突した場合は、必ず Tesla の純正部品で修理できるように Tesla または Tesla 認定ボディショップにご連絡ください。Tesla は、訓練、設備、仕事の質、顧客満足度などの厳しい要求水準を満たすボディ ショップを選定しています。

場合によっては、費用節約のため、修理業者や保険会社が正規部品以外の使用や破損した車体の中でまだ使える部品の再利用を勧めることがあります。しかし、それらの部品は品質、適合性、耐腐食性などの面で Tesla の高い基準に適合しません。また、正規部品以外の部品や再利用した部品は (それらによって生じる損害または故障とともに) 保証の対象とはなりません。

キャビン フィルターの交換

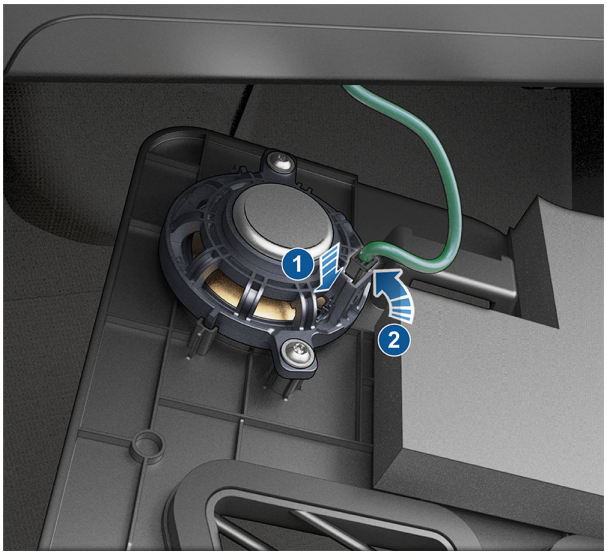
注: 車両製造日によっては、ねじがキャビン フィルター カバーの少しだけ違う位置にあることがあります。

Model 3 は、花粉、産業降下物、道のほこり、その他の粒子などが通気口からキャビンに侵入することを防止するエア フィルターを備えています。これらのフィルターは 2 年ごとに交換してください (中国市場は毎年)。キャビン フィルターは Tesla ショップで購入できます。

キャビン フィルターを交換するには:

1. 空調システムをオフにします。
2. 右側のフロント シートを完全に後方に移動し、フロアマットを取り外します。
3. クリップ プライ ツールを使用して、右側のフロント足元スペース カバーをインストゥルメントパネルに固定しているプッシュ クリップを慎重に取り外します。足元スペース カバーを抑えながら、電気コネクターを 2 個取り外し、足元スペース カバーを横に動かします。
   - ライトの場合、タブを慎重に押し下げながらコネクターを外します。
   - スピーカーの場合、車両側コネクターを慎重に傾けて、フットウェル カバー側コネクターの穴から小さなタブが離れるようにしながら、コネクターを外します

   注意: 損傷を防止するため、コネクターを外すときにワイヤを引っ張らないでください。コネクターを外すときは、コネクター自体のプラスチックから確実に引き出してください。



4. トリムツールを使用して右側パネルをセンター コンソールから上から下の順で慎重に取り外します。
5. キャビン フィルター カバーを暖房、換気、およびエアコン (HVAC) モジュールに固定する T20 ネジを取り外したら、キャビン フィルター カバーを取り外して横に移動します。車両によっては、ネジは T20/6 mm ハイブリッド型ファスナーが使用されます。一部の車両では、ネジの代わりにロッキング タブが使用されています。人差し指と親指を使用して、キャビン フィルター カバーの底部にある 2 つのタブをつまんでください。カバーを外側に倒して外します。

   注: HVAC モジュールにキャビン フィルター カバーがない場合、トリム パネルを付け直して Tesla に連絡します。

   警告: キャビン フィルター カバーに取り付けられている橙色の高電圧 (HV) ケーブルを引っ張ったり、折り曲げたり、損傷したりしないよう取り扱います。HV ケーブルに損傷がある場合は、この手順をすぐにやめてください。高電圧の感電により重傷、または死亡につながる恐れがあります。

6. 上キャビン フィルター タブを上に折り曲げ、下キャビン フィルター タブを下に折り曲げます。
7. 上キャビン フィルタ-のタブを持ち、上フィルターを HVAC モジュールから引き出します。
8. 下キャビン フィルタ-のタブを持ち、下フィルターを引き上げ HVAC モジュールから取り出します。
9. 両方の新しいフィルターの矢印が車両**後方**に向いていることを確認して、下キャビン フィルターを HVAC フィルターに挿入したら所定位置に下げます。次に、上部キャビン フィルターをその上に挿入します。
10. キャビン フィルター カバーが挿入できるようタブを内側に曲げます。
11. 下カバー タブをはめてキャビン フィルター カバーを取り付け、T20 ネジまたは T20/6mm ハイブリッド型ファスナーで固定します。ネジを 1.2 Nm/0.89 ft-lbs で締め付けます。T20 ネジの代わりにタブが使用されている車両の場合、キャビン フィルター カバーの上部ノッチを所定位置に移動し、HVAC モジュールの底部でタブを固定します。
12. 右側のフロント足元スペースにあるコンポーネントに電気コネクター 2 か所を接続し、プッシュ クリップでカバーを固定し直します。
13. 右側パネルをセンター コンソールのフロントおよびリアのロケーター スロットに合わせたら、圧力を掛けてすべてのクリップをはめます。
14. 右側のフロアマットを取り付け、右側シートを元の位置に戻します。
15. 車両のメンテナンスの概要で、キャビンエアフィルターのメンテナンス間隔をリセットする（メンテナンスの概要 ページ 197 参照）。

RFID トランスポンダーの利用

RFID トランスポンダー（多くの自動料金所システムで使用されるもの）を Model 3 の車内に取り付ける際は、図のようにリアビューミラーの横にトランスポンダーを取り付けてください。これによって、運転時の視界を妨げる要因が最小化できます。専用の配置については RFID の製造会社の指示を参照してください。

注: 防水トランスポンダーをフロントのナンバープレート。

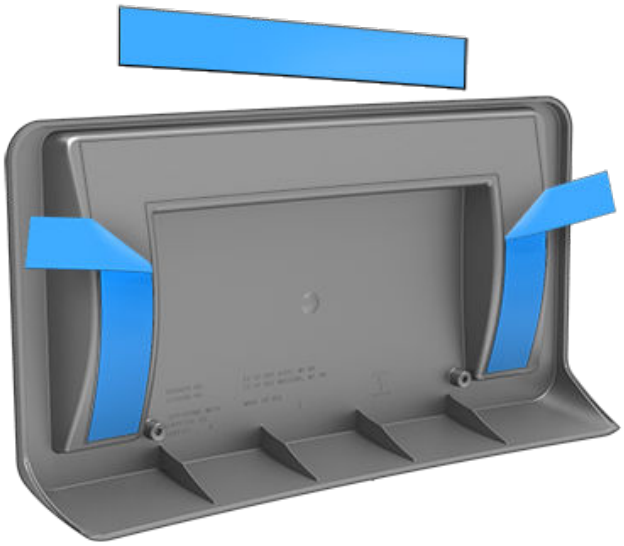
フロント ナンバープレート用ブラケットの取り付け

車両の前面にナンバープレートを付ける義務のある地域に対応できるよう、Model 3 にはナンバープレートブラケットが取り付けられています。このブラケットは、車両のフロントバンパーの形状に合わせた形状で、強力な接着剤で取り付けられています。

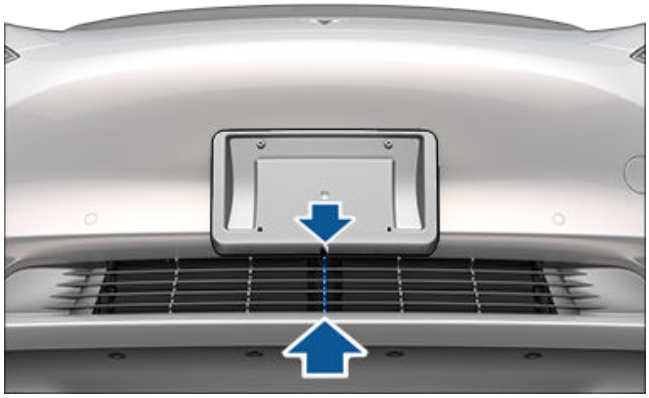
注: この作業は、温暖な日にきれいで乾燥した取り付け面に行うことが推奨されます。気温が低いとき、または濡れた状態で行うと、接着剤がしっかりと接着しない場合があります。

フロント ナンバープレート用ブラケットの取り付け方法

1. イソプロピルアルコールを使用し、車両の目立たない塗装面で試用し、損傷となったり塗装を落とさないことを確認してください。
2. 取り付け面をイソプロピルアルコールできれいにふき取り、最低 1 分間乾燥させます。
3. 保護テープをブラケット上部の接着面から取り去り、両側の接着面の上部から保護テープを部分的に剥がします。両側のテープの下側半分を所定の位置に置いたまま、ブラケットをバンパーに合わせた後で容易に取り外しできるよう貼っていないテープ部分を外側に折ります。

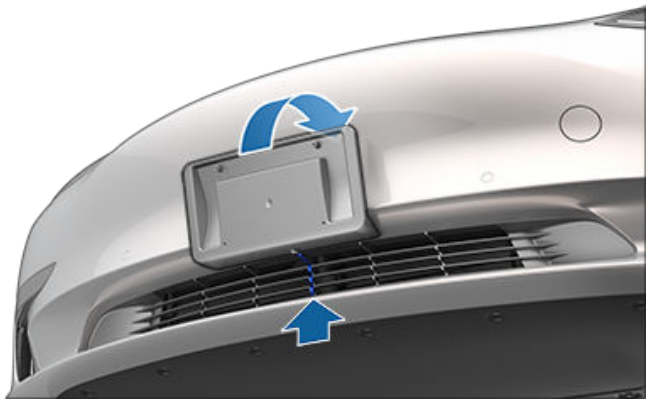


4. ナンバープレート ブラケットの上部をバンパーから傾けて離し（間違った位置に貼らないように）、図で示すようナンバープレート ブラケットの下側中央をグリルの中心に合わせます。



注: バンパーに一度接着させると位置調整はできませんので、ブラケットの位置を慎重に合わせてください。

5. 正しい位置に取り付けたら、ブラケット上部をバンパー方向に動かし、所定の位置で押し付けて接着させます。



6. 残りのテープをブラケットの側面から取り外し、ブラケット全体をバンパーにしっかりと押し付けて、ブラケットが接着面全体で固定されていることを確認します。
7. ブラケットがしっかりと取り付けられたら、付属のネジ 4 本を使用してナンバープレートをブラケットに取り付けます（3Nm/2.2 ft-lbs で締めます）。

応急タイヤ修理キットは Tesla ショップでお求めになれます。

警告:

- 空気の抜けた状態のタイヤで走行しないでください。
- タイヤに刺さっている異物が見つかっても取り除かないでください。
- コンプレッサーは 20 分以上連続してオンにしないでください。
- 高速での運転や長時間運転はしないでください。応急修理は、車両が早急かつ安全にタイヤ修理ショップにまでたどり着けるようにするためのものです。応急修理したタイヤで長時間走行すると、深刻な損傷や負傷の原因になる可能性があります。

注意: タイヤ空気入れキットに記載されているすべての指示や警告に従ってください。

タイヤの修理

タイヤ空気入れキットは応急処置のみに利用できます。損傷したタイヤはただちに修理または交換する必要があります。1/4 インチ（6 mm）より大きい穴が開いた場合、トレッドがひどく損傷している場合、タイヤが裂けている場合、タイヤがリムから外れている場合は、ロードサイド アシスタンスを呼んでください。タイヤを応急修理方法:

1. 車両を安全で、開けた場所に駐車します。
2. コンプレッサーがオフであることを確認します。
3. 車両に取り付けられているパンクしたタイヤのバルブ キャップを取り外し、透明なシーラント チューブをバルブ穴に接続します。

4. 車両の低電圧アウトレットの一方に電気プラグを挿し込みます。
5. セレクター スイッチをタイヤのアイコンまで回してからオンにします。シーラントがタイヤ内に正しく注入されると、ゲージに現在のタイヤ空気圧が表示されます。理想的な圧力は、車両の運転席側ドア ピラーに表示されています。数分経って、ゲージに理想的な圧力が表示されていることを確認したら、次に進みます。

   注: 15 分間連続して作動させた後も、ゲージに 22 psi（1.5 bar）未満の圧力が表示される場合、透明なシーラント チューブを取り外し、タイヤのバルブ キャップを元通りに締めます。数フィート（数メートル）走行して、タイヤ内にシーラントを行き渡らせます。Model 3 を駐車し、ステップ 2～5 を再度行います。これでも効果がない場合は、Tesla ロードサイドアシスタンスに電話します。
6. キットをオフにしてチューブをタイヤから外します。タイヤのバブル キャップを元通りに締めます。
7. 記載されている制限速度（タイヤ修理キットのステッカーに記載）の範囲内で、急激な加速や減速をしないで運転してください。約 10 分間走行したら、安全で開けた場所に再び駐車します。シーラントがタイヤ内に行き渡ったら次にタイヤに空気を入れます。

   警告: このシーラント液剤は-40°F（-40°C）から 122°F（50°C）の間で効力を発揮します。ラベルに記載されている有効期限を過ぎたシーラント液剤は使用しないでください。使用したまたは期限の切れたキャニスターの交換に関する詳細については、キャニスターの交換 ページ 216 を参照してください。

タイヤに空気を入れる

1. タイヤ コンプレッサーがオフであることを確認します。
2. スイッチをポンプのアイコンまで回します。
3. 車両の低電圧アウトレットの一方に電気プラグを挿し込みます。
4. タイヤのバルブ キャップを取り外し、黒色のインフレーション チューブをバルブ穴に接続します。

5. コンプレッサーをオンにして、車両の運転席側ドア ピラーに表示されている理想的な圧力に達するのを待ちます。
6. 黒色のインフレーション チューブを取り外し、タイヤのバルブ キャップを元の位置に取り付けます。
7. コンプレッサーをオフにし、安全で乾燥した場所に保管します。

キャニスターの交換

1. 製造会社から、または https://shop.tesla.com/からオンラインで、リフィルを購入します。
2. 透明なシーラント チューブを取り出し、脇に置いておくことで、使用したキャニスターを取り外します。
3. 赤色のリリース ボタンを押しながらキャニスターを持ち上げて外します。
4. 新しいキャニスターをケースにしっかりと押し付けて挿入します。透明なシーラント チューブを元通りに取り付けます。新しいキャニスターの使用期限を書き留めます。

5. 空になったキャニスターは地域の規則に従って適切に廃棄します。

ワイパー ブレードやキャビン フィルターの交換、または塗装保護フィルムの取り付けといった簡単な自分でできる作業の実施方法について学びましょう。これらの手順に関する指示、アニメーションおよび動画については、https://www.tesla.com/support/do-it-yourself-guides を参照してください。

注: 地域や車両の設定により、一部の部品および手順については、車両に対して使用できない場合があります。https://www.tesla.cn/support/do-it-yourself-guides（）へ移動する際は、販売地域と/言語を選択して、販売地域で入手可能な部品およびアクセサリーの最新リストを表示してください。

注意: 各手順は、乾燥した明るい場所で実施してください。安全のため、安心して操作できる場合に限って手順を実施してください。常に手順に従う必要があります。

サービス モード

Model 3 は、資格を持った自動車技術者が Tesla 車の診断、修理、メンテナンスを行うために使用することを目的としたサービス モードが搭載されています。サービス モードでは、車両の警告に関する詳細情報を表示したり、ブレーキのバーニッシングなどの簡単な手順を実行したりできます。

サービス モードの詳細とアクセス方法については、http://service.tesla.com の該当するサービス マニュアルを参照してください。

注意: サービス モードの不適切な使用は、車両の動作不能、恒久的な車両の損傷、または重大な人身事故を引き起こす可能性があります。サービス モードの使用中は、車両の速度が制限され、特定の機能 (装備されている場合はセントリー モードなどのセキュリティ機能を含む) が無効になります。安全上の注意事項と手順については、必ず車両のサービス マニュアルを参照し、業界のベストプラクティスに従ってください。誤った方法でサービス モードを使用して車両に損傷を与えた場合は保証対象にはなりません。

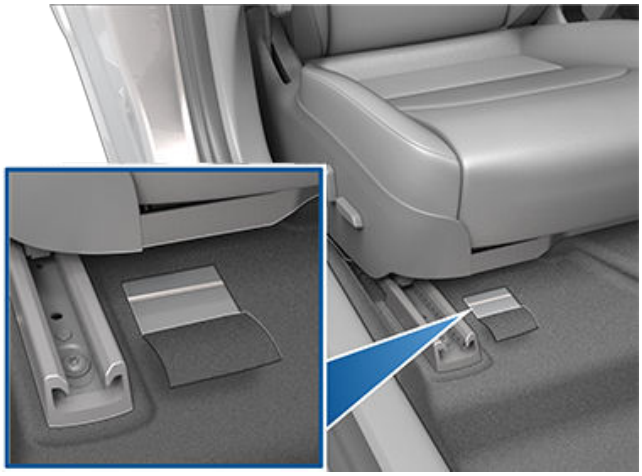
車両識別番号

VIN は以下の場所に表示されています。

- タッチスクリーンの**「コントロール」** > **「ソフトウェア」**をタッチします。
- ダッシュボードの上にあるプレートに刻印。外からフロントガラス越しに見えます。

- ドア ピラー上にある車両識別ラベルに印刷されています。運転席ドアを開くと見えます。

- Gigafactory 上海で製造された車両：VIN は、フロアに刻印されており、フロント右側シートを後退させてカーペットを持ち上げると確認できます。



排気コントロール ラベル

排気コントロールラベルは、リフトゲートの開口面上に貼り付けられています。

注: 2022 年式以降の車両の場合、エミッション コントロール ラベルはフロント フードの内側にあり、図示されているラベルと同じではない可能性があります。

車両ラベル

車両の当初のタイヤ サイズおよび圧力ならびに GVWR（車両総重量）および（定格総軸荷重）、、およびを理解することが重要です。これらの情報は Model 3。

両方のラベルとも、前席ドアを開くと、ドアピラー上に見えます。

注: Model 3 に Tesla アクセサリー ホイールまたはタイヤが装着されていると、値に差異がある可能性があることを示すラベルが Model 3 に追加されている場合があります。

1. タイヤと荷重載情報ラベル
2. 車両承認ラベル

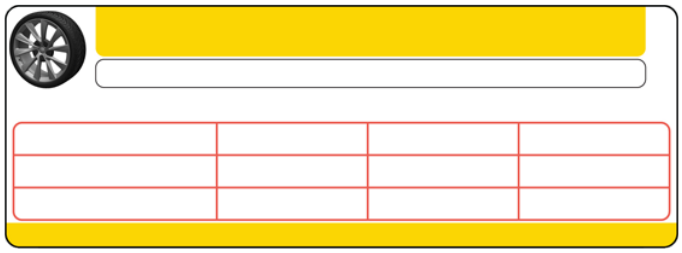
警告: Model 3 が過積載状態になると、ブレーキとハンドリングに悪影響を及ぼし、安全性が低下し、車両を損傷する可能性があります。

注意: Model 3 に大量の液体を絶対に保存しないでください。大量の液体の流出は、電気部品の誤動作の原因になることがあります。

タイヤと荷重載情報ラベル

- 車両の最大座席数。
- 車両の最大可搬重量。
- 元のタイヤのサイズ。
- 元のフロントおよびリアタイヤのタイヤ空気圧（冷間時）。乗り心地とハンドリング特性を最適化するため、これらの圧力が推奨されます。

ラベルのフォーマット



将来異なるタイヤを使用しても、このラベルは変更しないでください。

注: Model 3 の容量一杯に積載した場合は、すべてのタイヤを 確認して、空気圧が推奨圧力レベルであることを確認してください。

車両承認ラベル

車両識別ラベルの記載事項。

- GVWR - 定格車両総重量 Model 3 の最大許容総質量。この値は、工場で選択可能な総重量が最大のオプションを装備した Model 3、すべての 乗員、液体、貨物の重量として計算されます。
- GAWR FRT および GAWR RR - フロントアクスルとリアアクスルの定格総軸荷重。GAWR は各アクスルが許容できる最大分散荷重です。

注意: 損傷を防止するため、Model 3 に対して車両が GVWR より重くなったり、個別の GAWR の重量を上回るような積載を行うことは絶対に避けてください。

トレーラーの牽引

警告: Model 3 をけん引に使用しないでください。Model 3 現在、けん引には対応していません。けん引を行うと、損傷をきたしたり衝突事故につながる恐れがあります。

注意: Tesla 認定のけん引コンポーネントとアクセサリーを使用せずに Model 3 をけん引に使用すると、保証が無効になることがあります。

ルーフ ラック

Model 3 は、Tesla 専用取り付けアクセサリーを使用した Tesla 認定ルーフラックに対応しています。このアクセサリおよび Tesla が認定するルーフラック システムのみを必ず使用して、ルーフラックを取り付けてください（部品とアクセサリー ページ 212 を参照）。これに従わないと、重大な故障の原因になる恐れがあります。

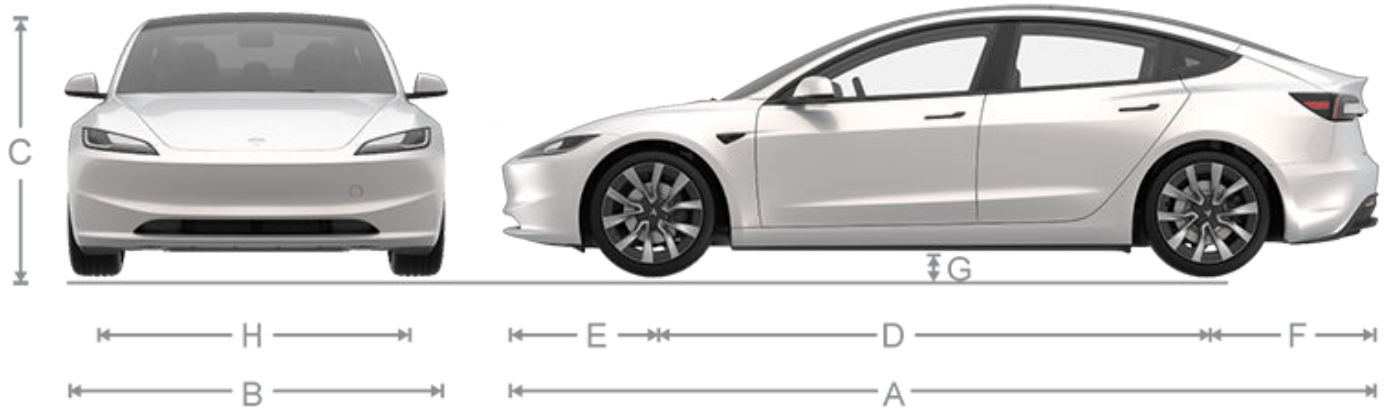
正しい積載制限の決定手順

1. 車両のプラカードで、「乗客と積載物の合計重量は絶対に XXX kg または XXX ポンドを超えないこと」という記載を見つけます。
2. 車両に乗車する運転者と乗員の総重量を計算します。

3. XXX kg または XXX ポンドから運転者と乗員の総重量を引きます。
4. その結果得られる数字は積載物と荷物の許容可能な積載量に等しくなります。例えば、「XXX」が 1400 ポンドで、運転者と乗員合わせて 5 人が乗車し、各自の体重が 150 ポンドの場合、利用可能な積載物と荷物の積載量は 650 ポンドになります。（1400-750 (150 × 5) = 650 ポンド）
5. 車両に積載する荷物と積載物の総重量を求めます。この重量が、手順 4 で計算した利用可能な積載物と荷物の積載量を超えると安全性が損なわれるおそれがあります。
6. トレーラーをけん引する場合、トレーラーの荷重は車両にかかります。これにより、車両で利用可能な積載物と荷物の積載量がどのように減少するかについては、このマニュアルを参照してください。

警告: 物品を運ぶときはなるべくトランクに入れてください。衝突事故、または急ブレーキや急なカーブの際、車内で固定されていない荷物によって、乗員が怪我を負う危険性があります。

外形寸法



後輪駆動/ロングレンジ		測定値（in）	測定値（mm）
A	全長	第 185.8	第 4,720
B	全幅（ミラー含む） 全幅（ミラー折りたたみ時） 全幅（ミラー含まない）	82.2 76.1 72.8	2,089 1,933 1,850
C	全高	第 56.7	第 1,440
D	ホイール ベース	第 113.2	第 2,875
東	オーバーハング - フロント	第 34.2	第 868
F	オーバーハング - リア	第 38.5	第 977
G	最低地上高	第 5.4	第 138
H	トレッド - フロント トレッド - リア	62.4 62.4	1,584 1,584

*値は概算値です。寸法は車両のオプションやその他の要因によって変わります。
**車両のトレッドは、ホイールセンターでの測定に基づいています。

パフォーマンス		測定値（in）	測定値（mm）
A	全長	第 185.9	第 4,724
B	全幅（ミラー含む） 全幅（ミラー折りたたみ時） 全幅（ミラー含まない）	82.2 76.1 72.8	2,089 1,933 1,850
C	全高	第 56.3	第 1,431
D	ホイール ベース	第 113.2	第 2,875
東	オーバーハング - フロント	第 34.3	第 872
F	オーバーハング - リア	第 38.5	第 978
G	最低地上高	第 5.0	第 128
H	トレッド - フロント トレッド - リア	62.3 61.4	1,582 1,560

パフォーマンス	測定値（in）	測定値（mm）
*値は概算値です。寸法は車両のオプションやその他の要因によって変わります。 **車両のトレッドは、ホイールセンターでの測定に基づいています。		

注意: 構成（ホイール選択など）に応じて、車両のリア トランクを最大で高さ約 6.5 フィート（2 m）まで開くことができます。電動トランクの開放時高さの調整 ページ 31 を参照してリア トランクの高さを調整して、低い位置にある天井やその他の物体に当たらないようにします。

インテリア寸法

室内高	フロント リア	40.3 in 37.8 in	1,023 mm 961 mm
足元スペース	フロント リア	42.7 in 34.5 in	1,084 mm 877 mm
肩周りスペース	フロント リア	56.7 in 54.2 in	1,441 mm 1,376 mm
腰周りスペース	フロント リア	53 in 52.3 in	1,344 mm 1,328 mm

貨物量

フロントトランク	88 L (3.1 立方フィート)
2 列目シートの背後	594 L (21 立方フィート)
5 名乗車時の最大貨物積載容量	682 L (24.1 立方フィート)

モータータイプ

リアモーター: AC 永久磁石同期モーター、水冷式、可変周波数ドライブ。

フロントモーター（AWD 車両）: AC インダクションモーター、水冷式、可変周波数ドライブ。

トランスミッション

トランスミッション	仕様
タイプ	単速固定ギア
ギヤボックス比	9.03:1

ステアリング

ハンドル	仕様
タイプ	ラック アンド ピニオン電動パワー ステアリング 速度感応型
ロック ツー ロック回転数	第 2.14
最小回転半径 (最外輪外面)	11.7 m（38.4 ft）

ブレーキ

RWD/AWD	仕様
タイプ	電子制御制動力配分/統合アドバンスト スタビリティー コントロール/電子アクセラレーター ペダル作動回生ブレーキ システム付き 4 輪アンチロック ブレーキ システム (ABS)
非パフォーマンス仕様車ローター径 (ベンチレーテッド)	フロント: 12.6"/320 mm リア: 13.2"/335 mm
パフォーマンス仕様車ローター径 (ベンチレーテッド)	フロント: 13.98 インチ/355 mm リア: 13.2”/335 mm
フロント ローター厚	新品: 0.98"/25 mm サービス限界: 0.91”/23 mm
リア ローター厚	新品: 0.79"/20 mm サービス限界: 0.71”/18 mm
側面の振れ	0.050 mm (非パフォーマンス仕様車のブレーキ ローター)、0.150 mm (パフォーマンス仕様車のブレーキ ローター)

RWD/AWD	仕様
弦方向の振れ	0.040 mm
ディスク厚変動 (DTV)	0.010 mm
非パフォーマンス仕様車フロント ブレーキ パッド厚 (バック プレートを除く)	新品: 0.393"/10 mm サービス限界: 0.110"/2.8 mm
非パフォーマンス仕様車リア ブレーキ パッド厚 (バック プレートを除く)	新品: 9 mm 使用限界: 2.1 mm
パフォーマンス仕様車フロント ブレーキ パッド厚 (バック プレートを除く)	新品: 0.393"/10 mm サービス限界: 0.085 インチ/2.15 mm
パフォーマンス仕様車リア ブレーキ パッド厚 (バック プレートを除く)	新品: 0.393"/10 mm サービス限界: 0.071 インチ/1.8 mm
パーキング ブレーキ	電動で作動するパーキング ブレーキがリア キャリパーに統合

サスペンス

サスペンス	仕様
前	独立、ダブル ウイッシュボーン、コイル スプリング/テレスコピック ダンパー、スウェイ バー
リア	独立、マルチリンクのコイル スプリング/テレスコピック ダンパー

バッテリー - 低電圧

バッテリー - 低電圧	仕様
定格	毎時 6.9 アンペア
電圧	15.5V

バッテリー - 高電圧

バッテリー - 高電圧	仕様
タイプ	液冷式リチウム イオン (Li-ion)
公称電圧	DC 355V
温度範囲	Model 3 を 140° F（60° C） を越える温度環境または -22° F（-30° C） を下回る温度環境に、 24 時間を超える期間連続して放置しないでください。

ホイール仕様 (工場出荷時)

ホイールの種類	位置	規模	オフセット（mm）
18"	フロント/リア	18 x 8.5J	第 38
19"	フロント/リア	19 x 8.5J	第 38
20 インチ	フロント リア	20 x 9.0J 20 x 10.0J	34 45

ラグナット トルク	129lb ft (175Nm)
ラグナット ソケット サイズ	21 mm

注: Model 3 をジャッキアップする方法については、ジャッキ アップと引き上げ ページ 211 を参照してください。

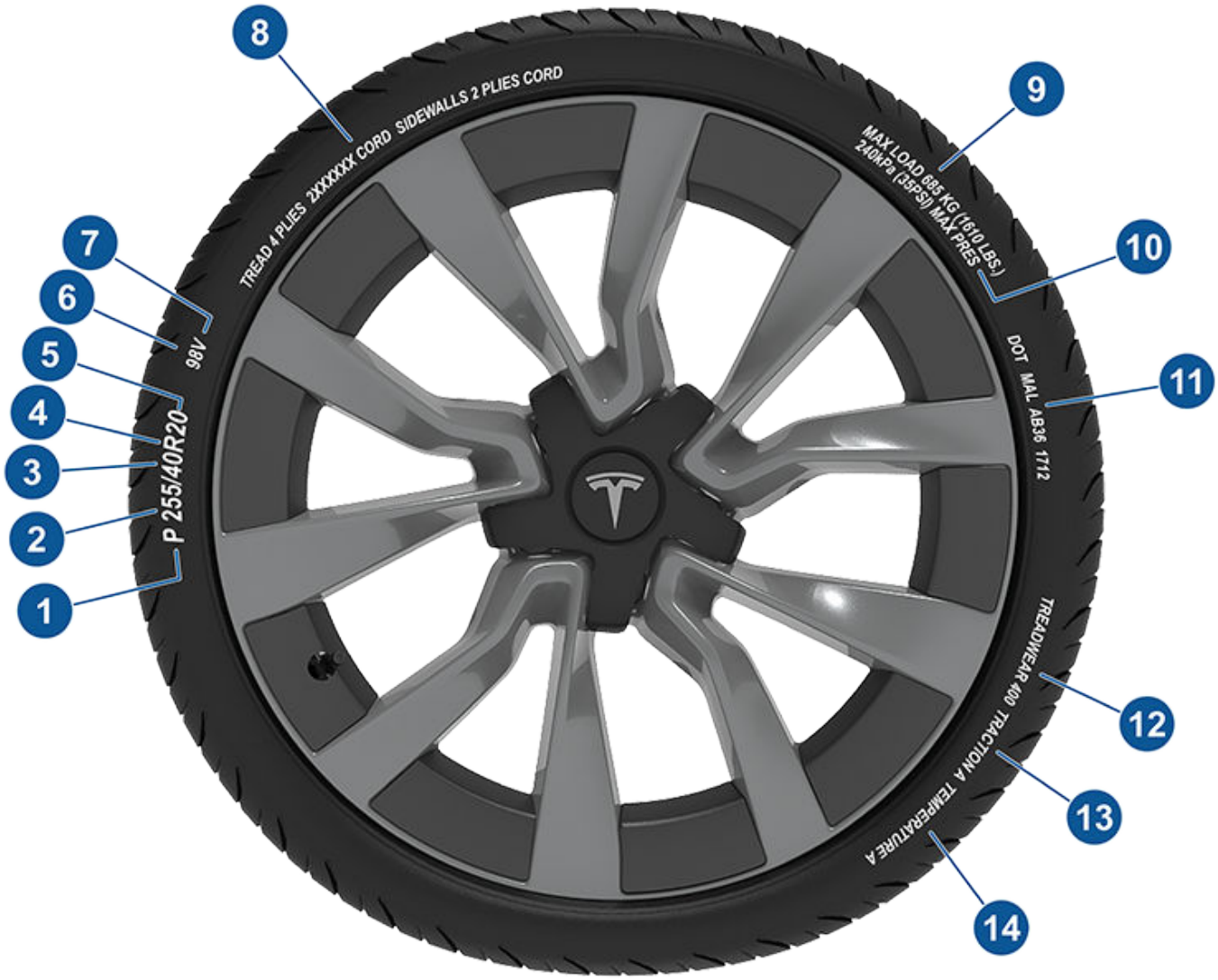
タイヤ仕様 (工場出荷時)

タイヤ サイズ	位置	規模
18"	フロント/リア	235/45R18
19"	フロント/リア	235/40R19
20 インチ	フロント リア	235/35R20 275/30R20
適切なタイヤ空気圧は、装備されているタイヤの種類によって異なります。「タイヤと積載荷重情報」ラベルに印刷されたタイヤ空気圧を参照してください。このラベルは中央のドア ピラー上にあり運転席側ドアを開けると確認することができます (タイヤ空気圧の保守 ページ 198 を参照)。		
冬用タイヤは、Tesla サービスセンターで購入できますが、Tesla ウェブサイトで購入できる場合もあります。 *地域によってはご利用になれません		

タイヤのマーキングについて

タイヤ メーカーは、標準化された情報をタイヤのサイドウォールに記載することを法律で義務付けられています。これらは、タイヤの特性を含むさまざまな情報を表示します。また、安全標準の認定やリコールの場合のために、タイヤ識別番号 (TIN) も提供されます。

注: *各種イラストは、コンセプトの理解の促進のみを目的としています。購入された車両の構成や市場地域によって、デザインが異なる場合があります。*



注: ほとんどの Tesla 認定タイヤは、タイヤのサイドウォールにある「T マーク」仕様（T0、T1、T2 など）で識別できます。Tesla 認定タイヤは電動ドライブトレーンと共に使用することでパフォーマンス、安全性、信頼性および耐久性が最適化されるように設計されています。Tesla 認定交換タイヤに関する詳細については、サービスマニュアルを参照してください。

1. **タイヤの分類:** P は乗用車用のタイヤであることを示しています。
2. **タイヤ幅:** この 3 桁の数字は、タイヤのサイドウォールの端から端までの幅をミリ単位で表した値です。
3. **アスペクト比:** この 2 桁の数字は、トレッド幅に対するサイドウォールの高さの比をパーセントで表示したものです。したがって、トレッド幅が 205 mm でアスペクト比が 50 であれば、サイドウォールの高さは 102 mm です。
4. **タイヤの構造:** R はタイヤの構造がラジアル プライであることを示しています。
5. **ホイール径:** この 2 桁の数字はホイール リム径をインチ単位で示したものです。

6. **荷重指数:** この 2 桁または 3 桁の数字は、タイヤ 1 本で支えることのできる重量です。この数字は記載されていないことがあります。
7. **速度記号:** 記載されている場合は、タイヤを長期にわたって使用できる最高速度 (マイル毎時) を示します。Q=99 mph (160 km/h)、R=106 mph (170 km/h)、S=112 mph (180 km/h)、T=118 mph (190 km/h)、U=124 mph (200 km/h)、H=130 mph (210 km/h)、V=149 mph (240 km/h)、W=168 mph (270 km/h)、Y=186 mph (300 km/h)、(Y)=車両の最高速度（「Y」の定格を上回る）。
8. **タイヤの構成と材質:** トレッド エリアとサイドウォール エリアの両方のプライ数は、タイヤを構成するゴム被覆材料の層の数を示しています。使用されている材料の種類に関する情報も表示されています。
9. **最大タイヤ荷重:** タイヤで運搬できる最大荷重。
10. **最大許容タイヤ空気圧:** 通常の運転でこの空気圧を使用しないでください。
11. **米国運輸省タイヤ識別番号 (TIN) 。**先頭の文字「DOT」は、タイヤがすべての 米連邦基準に適合していることを示します。それに続く 2 桁の文字はタイヤが製造された工場を表す記号であり、末尾の 4 桁は製造された週と年を表しています。たとえば、1712 は 2012 年の第 17 週を表しています。その他の番号は、メーカーが任意に決めている販売記号です。タイヤの欠陥に伴うリコールを行う際には、この情報を利用して消費者に連絡することができます。
12. **トレッド磨耗等級:** この数字はタイヤの摩耗等級を示します。グレードが高いほど耐磨耗性に優れていることを示します。たとえば、等級 400 のタイヤは、等級 200 のタイヤの 2 倍の耐摩耗性があります。
13. **トラクション等級:** タイヤが濡れた路面で停止する能力を示します。タイヤのグレードが高いほど、車を停止するまでの距離が短くなります。トラクションのグレードは、高い順に AA、A、B、C です。
14. **温度等級:** タイヤの熱に対する耐性が A、B、C に等級分けされており、A が最も高い耐性を示します。この等級分けは、速度および荷重の限度内で正しい空気圧のタイヤを使用することを前提としています。

統一タイヤ品質等級基準

次の情報は、国家道路交通安全局 (NHTSA) によって開発されたタイヤ等級基準に関係するもので、トレッドの摩耗、トラクション、温度性能によってタイヤを 等級付けするものです。深いトレッドをもつタイヤやスタッドレス タイヤに関しては、これらの情報の表記は義務づけられていません。

必要に応じて、品質等級基準はタイヤのトレッド ショルダーと最大セクション幅の間のサイドウォール部に表示されています。例:

- TREADWEAR 180
- TRACTION AA
- TEMPERATURE A

次に品質等級基準について説明します。

注: この表記要求に加えて、乗用車用タイヤは国家安全要件に従う必要があります。

トレッド磨耗

トレッド磨耗等級は、管理された状態で政府指定のテストコースでテストされた時点のタイヤの摩耗率に基づいた比較尺度です。

たとえば、等級 150 のタイヤは、政府テストコースで等級 100 のタイヤよりも 1.5 倍ほど摩耗性が良好だということになります。タイヤの相対的性能は、その実際の使用状況によりますが、運転習慣や整備状況、路面特性、天候などの変動によって基準から大きく離れます。

トラクション

トラクションの等級は高い順に AA、A、B、C となります。この等級は、アスファルトとコンクリートのテスト路面において管理された条件下で測定される、濡れた舗装道路でのタイヤの停止性能です。評価 C のタイヤはトラクション性能が低い可能性があります。

警告: 不具合のあるタイヤは危険です。タイヤが損傷している、摩耗しすぎている、またはタイヤの空気圧が不適切な場合は、運転しないでください。車両および乗員の安全を損なうことがあります。タイヤの摩耗を定期的に点検し、切り込み、膨らみ、またはプライ/コード構造の露出がないことを確認してください。

警告: タイヤにつけられるトラクション等級は、直線路でのブレーキ テストに基づき、加速やコーナリング、ハイドロプレーニングやピーク トラクション特性を含んでいません。

温度

温度等級は、A (最高)、B、C に分かれ、タイヤの発熱に対する耐性と熱の拡散能力を、室内研究所内の特定の試験用ホイールによる管理された環境下で評価したものです。高温が継続すると、タイヤが変性して寿命を短くし、過度な高温は突然のタイヤ損傷につながります。

等級 C は、国家自動車安全標準 No. 109 で乗用車が必ず満たさなければならない最低レベルの性能です。等級 B と A は、研究所内の試験用ホイールでの性能レベルが最低条件を上回っていることを表します。

警告: タイヤの温度等級は、空気圧が適切で、過負荷状態でないタイヤに対して定められます。過度な速度、空気圧不足、過大な荷重などのいずれかあるいは複数の組み合わせにより、熱が蓄積されてタイヤ損傷の可能性が高まります。

タイヤと荷重載情報に使用される専門用語

一般的にホイールおよびタイヤに使用される用語

アクセサリー重量	工場で取り付けられる機器として用意されているものの合計重量 (交換されたものより多い)。
ビード	タイヤ内部の縁のことで、この部分がリムに密着し、気密性のあるシールを形成する。ビードはプライ コードで包まれて補強された鋼線で構成される。

冷間時タイヤ空気圧	3 時間を超える停車かまたは 1.6 km 未満の走行後のタイヤ空気圧。
車両重量	標準の車両重量で、装着されているオプション機器や適正レベルの液体を含む。
車両総重量	運転者、乗員、負荷、荷物、装備を含む車両の最大許容重量。
kPa (キロ パスカル)	圧力を測るメートル系単位。1 キロ パスカルは約 0.145 psi。
最大空気圧	タイヤに入れられる空気の最大圧力。この圧力は、タイヤのサイドウォールに psi 単位で示されています (lbf/in^2)。 **注意:** タイヤに刻印されているこの圧力は、タイヤ メーカーが認めている最大値です。Tesla が Model 3 に推奨している圧力ではない。
最大負荷時車両重量	車両重量、アクセサリー重量、車両の積載容量、製造オプション重量の総和。
製造オプション重量	取り付けられたオプションのうち交換された標準品よりも 1.4 kg（3 ポンド）重いものと、車両重量やアクセサリー重量に含まれていないものの合計。
PSI (lbf/in^2)	Pounds per square inch (平方インチ当たりのポンド、タイヤ空気圧の測定単位)。
推奨タイヤ空気圧	テスラが定めたタイヤ空気圧で、工場で車両に取り付けられたタイヤの種類に基づく。この情報は、ドアピラーの「タイヤと積載荷重情報」ラベルにあります。
リム	タイヤあるいはタイヤとチューブを 支持する金属で、これにタイヤのビードが密着する。
車両の積載容量	シート数に 68 kg（150 ポンド）をかけた値に、荷重/荷物の規定量を加えたもの。

荷重積載に関する定義

通常の乗員体重	荷重制限を計算するには、表の 2 列目に規定されている乗員数に 68 kg（150 lb）を掛けます（このオーナーズマニュアルの車両荷重のトピックを参照してください）。
乗員の配置	車内に座る乗員の配置
旅客用車両タイヤ	（P またはハード メトリック）10000 ポンド（4536 kg）以下の車両総重量（GVWR）を有する旅客車両、多目的旅客車両、およびトラックに使用されるタイヤ。
ライト トラック タイヤ	（LT）積載容量を追加する必要がある場合に使用するタイヤ。
リム直径	ビード シートの呼び径
指定リム サイズ	リムの直径と幅。
指定リム タイプ	スタイルまたはコードで製造者が指定するリム
リム幅	トリム フランジ間の公称距離
タイヤの車両最大積載量	各車軸に最大積載された車両の荷重を分配した数値を 2 で割ることによって算出される各タイヤの荷重。
タイヤの車両通常荷重	各車軸に整備荷重、アクセサリー重量、および通常乗員重量を分配した数値を 2 で割ることによって算出される各タイヤの荷重。

空気入りラジアルタイヤの定期

ビードの分割	ビード内のコンポーネント間にあるボンドの内訳。
バイアス タイヤ	ビード部分から覆われるプライ コードが 90 度以下の角度で交互にトレッドの中心線で交差して付けられている空気入りタイヤ。
カーカス	トレッド、サイドウォール部分を除いたタイヤの構造部分で膨らまされた時に荷重を支えます。
チャンキング	トレッドまたはサイドウォールの部分的に剥がれ落ちること。

コード	タイヤでパイルを形成する編み込み部分。
コード剥離	コードをゴム製コンポーネントから剥離する。
クラック	タイヤのトレッド、サイドウォール、またはライナーでコード材質まで届く部分。
高空気圧対応タイヤ	同等の標準タイヤと比較して、高い荷重と高い空気圧で使用されるタイヤ。
グルーブ	トレッド リブ間の隙間。
インナー ライナー	タイヤ内に膨張媒体を含むチューブレスタイヤ内側を形成する層。
インナー ライナー剥離部分	カーカスのコード材料からインナー ライナーが剥離した部分。
定格荷重	ある空気圧で膨らませらたタイヤが支えられる最大荷重。
最大定格荷重	そのタイヤに許容される最大空気圧力におけるタイヤの定格荷重。
リムの測定	取り付けられるタイヤに必要なリムの実寸法
オープン スプライス	コード材料と接合するトレッド、サイドウォール、またはインナー ライナーの張り合わせ部分の剥離
外径	新しいタイヤを膨らましたときの直径。
全幅	膨らました時のサイドウォールの外側までの直線距離で、ラベルによる高さ、装飾、または保護バンド、またはリブを含む。
プライ	平行に並ぶゴム被覆されたコードの層。
プライの剥離	プライ間のゴム コンパウンドの剥離。
空気入りタイヤ	ゴム、化学薬品、繊維、および金属またはその他の素材から作られ、自動車のホイールに取り付けられた時にけん引力を伝達する機械的な装備で、荷重を支えるために気体、または液体が充填される。
ラジアル タイヤ	ビード部分から覆われるプライ コードが 90 度の角度でトレッドの中心線で交差して付けられている空気入りタイヤ。
補強タイヤ	同等の標準タイヤと比較して、高い荷重と高い空気圧で使用されるタイヤ。
断面幅	膨らました時のサイドウォールの外側までの直線距離で、ラベルによる高さ、装飾、または保護バンドを除く。
サイドウォール	タイヤのトレッドとビード間の部位。
サイドウォールの剥離	サイドウォールのコードからゴム コンパウンドが剥離した部分。
スノータイヤ	ASTM F1805-00 に記載されているような雪上けん引試験を用いる場合（参照により統合、§ 571.5 を参照）、少なくとも 1 つのサイドウォールに S5.5（i）で指定された Alpine Symbol でマークされ、ASTM E1136-93（2003 年再承認、参照により統合、§ 571.5 を参照）標準タイヤ試験タイヤと比較して 110 以上のけん引インデックスを達成するタイヤ。
テスト用リム	テストに使用されるタイヤを付けたリムで、そのタイヤでの使用に適切と認めらるすべてのリム。
トレッド	タイヤで路面に接触する部分。
トレッド リブ	タイヤ円周のトレッド部分。
トレッドの剥離	カーカスからトレッドが剥がれる状態。
トレッド摩耗インジケータ（TWI）	主要なグルーブ内に設けられた表示部分で、トレッドの摩耗具合を目視で確認できる。
ホイール固定具	テスト中、ホイールとタイヤ アッセンブリ―を固定する。

ホイールを接地させた状態で輸送しないでください

ホイールが回転すると Model 3 のモーターは発電をしてしまいます。Model 3 を輸送する時は必ず 4 本のタイヤすべてを 地面から離してください。輸送中はタイヤが回転しないことを確認してください。

警告: タイヤが回転してしまうような状態では絶対に車両の輸送を行なわないでください。重大な損傷または過熱につながる恐れがあります。まれにではありますが、極度に加熱すると周りのコンポーネントに引火する恐れがあります。

Tesla が指定している以外の方法で Model 3 の輸送を行わないでください以下のセクションに示す指示に従い、記載されるすべての警告および注意事項を厳守してください。誤った方法で輸送中に発生した車両の損傷は保証対象にはなりません。

注: Tesla では、Tesla ロードサイドアシスタンスによる出動ではないサービスの料金を返済する義務や責任を負いません。

認定された輸送方法

Model 3 の輸送に推奨されるのは、平ボディトラックまたは同等の輸送車両です。平ボディトラックを使用時は、前後どちらの方向で載せても構いません。

平ボディトラックを使用しないで Model 3 を輸送する必要がある場合は、タイヤスケートを使用してタイヤを地面から離してから輸送を開始してください。この方法は時速 35 マイル（55 km）以下で行い、絶対にタイヤスケートの製造元が指定する制限速度を超えてはなりません。この方法を使用する場合は、フロントタイヤを浮かせて、リヤタイヤにタイヤスケートを履かせて車両を前向きすることを Tesla は推奨します。

注意: 平ボディトラックに Model 3 をウィンチで載せる前に、けん引モード（有効 けん引モード ページ 231 参照）を有効にしてください（平ボディ トラックに引き上げます ページ 232 参照）。けん引モードが使用できない、またはタッチスクリーンが利用できない場合は、必ずセルフローディングドーリーまたはタイヤスケートを 使用して、認定された輸送位置に車両を積載してください。Tesla は、セルフローディングドリーまたはタイヤスケートを使用した Model 3 の輸送が原因となる、個人財産の損害などのいかなる損害についても責任を負いません。

注: けん引モード は、Model 3 をウィンチを使用して平ボディトラックに載せるため、または車両を駐車スペースから移動するためだけに使用されます。けん引モード中は、タイヤをゆっくり（3 mph（5 km/h）未満）、極めて短い距離（30 フィート（10 m）未満）を回転させることしかできません。有効 けん引モード ページ 231 を参照してください。これに従わないと、車両に保証の対象とならない重大な損傷および過熱を与える恐れがあります。

警告: Model 3 には、衝突により損傷する可能性のある高電圧コンポーネントが取り付けられています（高電圧コンポーネント ページ 180 参照）。Model 3 を輸送する前に、必ずコンポーネントが通電されている前提で作業することが重要です。緊急対応する専門業者が車両の安全を確認しすべての 高電圧システムに電圧がかかっていないことを正確に確認するまで、必ず高電圧安全注意事項（個人保護具の着用など）に従ってください。これらを怠ると重大な事故につながる恐れがあります。

有効 けん引モード

けん引モード Model 3 を平ボディトラックにウィンチで巻き上げる際に、パーキングブレーキを解除します。けん引モードを有効にすると、車両がけん引モードに進入するための要件を示す確認ポップアップが表示されます。けん引モードが有効になると、Model 3 はフリーローリングのままになります。けん引モードを有効にするには以下が必要です。

- 車両が充電器に接続されていないことを確認します。 けん引モード は、Model 3 にプラグが挿入されている場合使用できません。
- Model 3 はキーを検出しなければなりません。 けん引モード は、キーが検出されている時のみ有効となります。
- パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- ブレーキペダルを踏み、維持します。
- Model 3 低電圧電源が必要です。車両に低電圧電源がない場合は、タッチスクリーンを使用してけん引モードを有効にするために、低電圧システムのジャンプスタートを試みてください（有効 けん引モード ページ 231 を参照）。

けん引モードを有効にするには：

1. Model 3 がパーキングに入っていることを確認してください。

2. タイヤに輪留めをかけるか、Model 3 が確実に固定されていることを確認してください。
3. ブレーキ ペダルを踏み込んだまま、タッチスクリーンで**「コントロール」** > **「サービス」** > **「けん引」**の順にタッチします。タッチスクリーンには、Model 3 の正しい輸送方法を促すメッセージが表示されます。
4. [**けん引モードに入ります**] をタッチします。ボタンが青色に変わって、Model 3 がけん引モードであることを示します。 Model 3 はブレーキが解除され、短い距離を押して動かす（歩行する速度以下）またはウィンチで（平ボディトラックなどに）引き上げることができます。

けん引モードをキャンセルするには、**「輸送モードを終了します」**をタッチするか、Model 3 をパーキングにシフトします。車両を再起動するには、電話キーまたはキー カードが必要です。

注意: 電気系統が故障している場合、タッチスクリーンを使用してけん引モードを有効にすることができないため、セルフローディング ドリーまたはタイヤスケートを使用します。車両をドーリーに積載する前に、必ずドーリーの製造元による仕様および推奨積載重量を確認してください。

平ボディ トラックに引き上げます

注: Model 3 に電源から低電圧電力の供給がない場合にボンネットを開く、またはタッチスクリーンを使用するには、外部の低電圧電源が必要になります（ジャンプスタート ページ 238 を参考）。

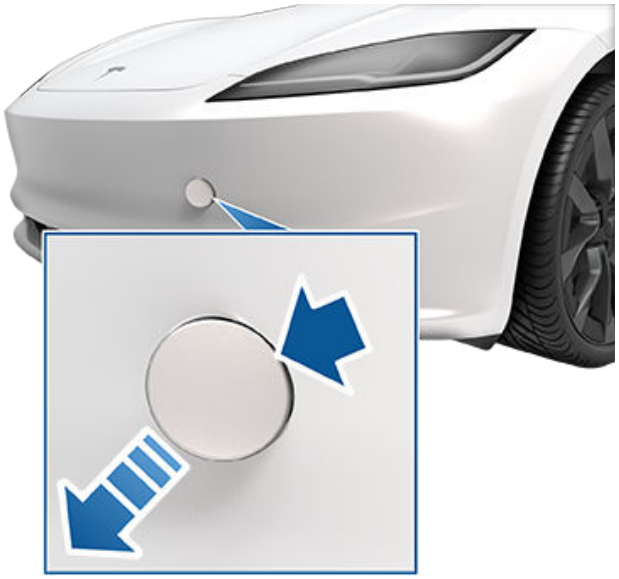
注意: 損傷を避けるために、車両を平ボディ トラックに引き上げるときは、適切に取り付けられたけん引アイを使用してください。シャーシ、フレーム、またはサスペンション コンポーネントを使用して引っ張ると、車両を損傷する恐れがあります。

1. けん引用アイボルトを見つけます。けん引フックはフロントトランクに収納されています。

2. 車両にはフロントに 1 つ、リアに 1 つ、合計 2 つのけん引ボルト カバーがあります。どちらかのけん引ボルト カバー開くには、けん引ボルト カバー周囲の右上をしっかり押してカバーを内側に倒し、持ち上がった部分をゆっくりと手前に引いてください。

注: ヒッチレシーバー搭載車両は、後部のけん引ボルトでけん引できません。平ボディトラックに載せる際など、車を安全な場所までけん引する場合は、けん引バーまたはヒッチレシーバーのみを使用してください。タイヤを接地させた状態で輸送しないでください

注: フロントけん引ボルト カバーだけには、フロント トランクを開くためのプラスおよびマイナスの端子があります。



3. けん引ボルトをしっかりと挿入し、確実に固定されるまで**反時計回り**に回します。

4. けん引ボルトにウィンチ ケーブルを取り付けます。

   注意: 引く前に、けん引ボルトがしっかりと締まっていることを確認します。

5. けん引モードを有効にします。
6. Model 3 をゆっくりと平ボディトラックの上に乗せてください。

タイヤの固定

8 点留めタイダウン法で車両のタイヤをトラック上で固定する必要があります。

- 固定用ストラップの金属部品が、車輪の塗装面または面に接触しないようにしてください。
- ボディパネル上または車輪を介して固定用ストラップを配置しないでください。

注意: 固定用ストラップを車両ボディのシャーシ、サスペンション、その他の部品に取り付けると、車に損傷を与える可能性があります。

車両に電力供給がない場合

Model 3 に低電圧電源から電力の供給がない場合、以下の手順でボンネットを開くかまたは低電圧バッテリーでジャンプスタートします。

1. フードを開きます。車両に電力がない場合にフードを開くための詳細情報については電源がない状態でフードを開ける ページ 236 を参照してください。
2. 低電圧バッテリーをジャンプスタートさせます（ジャンプスタート ページ 238 を参照）。

注: けん引業者: 車両を充電スタンドまで輸送して、充電準備をするための詳細情報については電力切れ ページ 235 を参照してください。

注意: ドアを開閉すると窓は自動で少しだけ下がるので、車両に電力がない場合は、ドアを開く前に必ず外部の低電圧電源に接続して、窓が壊れないようにしてください（ジャンプスタート ページ 238 を参照）。

Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する

Tesla ロードサイドアシスタンスは、保証期間中に限り年中無休で 24 時間いつでもご利用いただけます。Tesla ロードサイド アシスタンスでは、あらゆるご質問に回答し、車両の輸送手順をご案内する、ロードサイド プロフェッショナルに問い合わせることができます。

Tesla ロードサイド アシスタンスにご連絡される場合は、次の情報を予めご準備ください。

- 車両識別番号（VIN）。**「コントロール」** > **「ソフトウェア」**にタッチすると VIN が表示されます。運転席側のフロントガラスからのぞき込むことでも、VIN を確認できます。
- お客様の現在地。
- 故障・問題の性質。

地域でご利用いただける場合は、Tesla モバイル アプリの「ロードサイド アシスタンス」オプションを選択すると、さらに素早く要求の提示ができます。

注: Tesla のロードサイド アシスタンス ポリシーに関する詳細な説明は、お客様の地域の Tesla ウェブサイトにあるサポート ページを参照してください。

国別電話番号

カナダ: 1-877-79TESLA（1-877-798-3752）

メキシコ: 800-228-8145

米国: 1-877-79TESLA（1-877-798-3752）

注: **「コントロール」** > **「サービス」**をタッチしても電話番号は確認できます。

注意: 高電圧バッテリーの状態および車両の残りの航続距離を監視することは、ドライバーの責任です。タッチスクリーンに表示される航続距離が 0 マイル（0 km）（または 0%）であるときに、使用できる航続距離があると仮定しないでください。航続距離を超えて走行したことによる低電圧バッテリーへの損害は、保証の対象外になります。

注: 走行中に万が一、電力切れになった場合、安全であれば、車両を路肩に寄せ、Tesla ロードサイド アシスタンス ページ 234 または希望するけん引業者に連絡してください。

Model 3 が電力切れになった場合、低電圧バッテリーはサポートされなくなり、低電圧がサポート対象ではない場合、その車両を充電することはできません。そのため、低電圧バッテリーは高電圧（HV）バッテリーの充放電が可能な外部の充電器でサポートされている必要があります。車両が充電を開始すると、外部充電器は不要になります。

充電器から離れた場所で電力切れを起こした場合、けん引業者は Model 3 を最寄りの充電スタンドまで輸送して、充電器のケーブルの届く範囲内に車両を降ろす必要があります。車両を充電器の近くに配置したら、次の指示に従ってください。

注: 車両を充電器まで輸送している場合、車両の高電圧バッテリーが充電されていることを確認するまでけん引業者が立ち去らないようにしてください。

1. 低電圧バッテリーをジャンプスタートさせます（ジャンプスタート ページ 238 を参照）。低電圧バッテリーは、高電圧バッテリーをサポートするためにジャンプスタートさせる必要があります。
2. 数分待ちます。タッチスクリーンの電源がオンになったら、充電器ケーブルを Model 3 に挿入して、高電圧バッテリーの充電を開始します。
3. Model 3 が充電を開始したら、低電圧バッテリーをサポートしている外部充電器をバッテリーから取り外します。

   注: 外部電源が切断されてから 2 分経過しても、車両のタッチスクリーンに VCFRONT_a478 アラートがまだ表示されている場合は、低電圧バッテリーを回復するために追加の手順を実行してください。詳細については、service.tesla.com で車両のサービスマニュアルにアクセスし、「LV バッテリー - 回復」の手順を参照してください。

Tesla 以外の充電器に移動する前に、使用する特定のタイプの充電ステーションに対応するアダプターが車両に装備されていることを確認してください。Tesla 以外の充電器でも、充電を開始する前に低電圧システムをジャンプスタートさせる必要があります。

注意: ドライブの際や長期間保管する際は、Model 3 に十分な航続距離が残っていることを必ず確認してください。タッチスクリーンやモバイル アプリの航続距離予測をあてにしすぎないでください。外気温、運転動作、風、車両設定（セントリーモードなど）によって航続距離の減少が予測よりも早まる可能性があります。

注: 航続距離の問題による車両のけん引は補償の対象になりません。

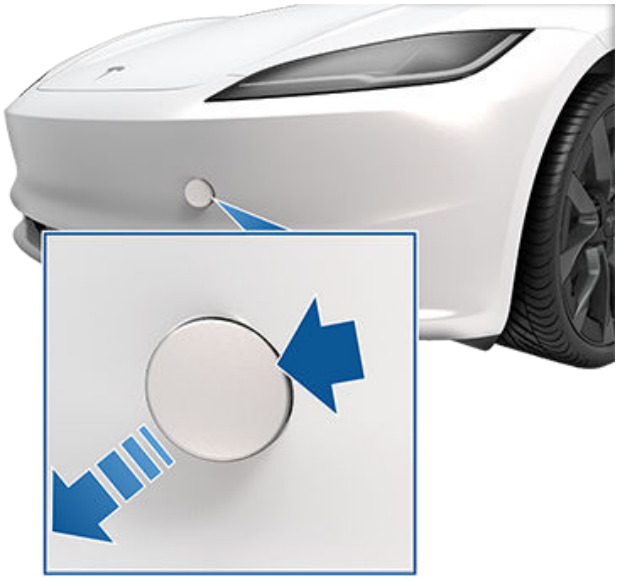
電源がない状態でフードを開ける

Model 3 で低電圧電源が供給されなくなると、タッチスクリーン、またはモバイルアプリを使用してフロントトランクを開けることができなくなります。以下の状況でフロントトランクを開く方法を説明します。

注: Model 3 がロックされ、なおかつ低電圧の電力が供給されている場合は、以下のステップに従ってもフロント トランクは開きません。

1. 外部低電圧電源（たとえば、ポータブルのジャンプスターターなど）を用意します。
2. 牽引ボルト カバーの右上を強く押してカバーを外します。牽引ボルト カバーを取り外すと配線が見えます。1 本は赤色、もう 1 本は黒色です。

   注: あなたの車両には、リア バンパーの近くにけん引用アイ カバーが取り付けられている場合もあります。これは輸送のみに使用され、ジャンプ スタート用の適切なワイヤーは含まれていません。フロントけん引用アイ カバーのみを使用してください。

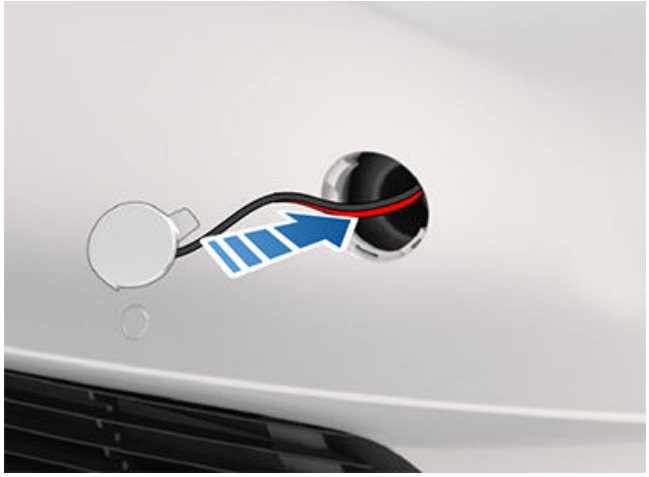


3. 配線 2 本をけん引ボルト用開口部から引き出して、車両側の端子を露出します。

4. 低電圧電源のプラス側（+）赤色ケーブルをプラス側（+）赤色端子に接続します。
5. 低電圧電源のマイナス側（−）黒色ケーブルをマイナス側（−）黒色端子に接続します。

   注: 外部低電圧電源をこれらの端子に接続するとボンネットのラッチのみリリースします。これらの端子を使用して低電圧バッテリーを充電することはできません。低電圧電源ケーブルを 30 秒以上端子に接続したままにしないでください。ボンネットのラッチが外れたらすぐに端子から取り外してください。

6. 外部電源をオンにします（製造元の取扱説明書を参照）。フードラッチがすぐにリリースされ、フードを開けてフロントトランク部にアクセスすることができます。
7. 外部電源ケーブルを外すときは、黒色マイナス（−）ケーブルから外してください。
8. 平ボディトラックに車両を引き上げる場合は、けん引ボルトカバーを交換しないでください。必要な場合は、けん引ボルト開口部にワイヤーを挿入し、けん引ボルトカバーの位置に合わせ、所定の位置に回してけん引ボルトカバーを取り付けます。



ジャンプスタート

以下の説明では、外部低電圧電源（ポータブル ジャンプスターターなど）を使用していることを想定しています。他の車両を使用して Model 3 をジャンプスタートさせるときは、その車両のメーカーの取扱説明書を参照してください。

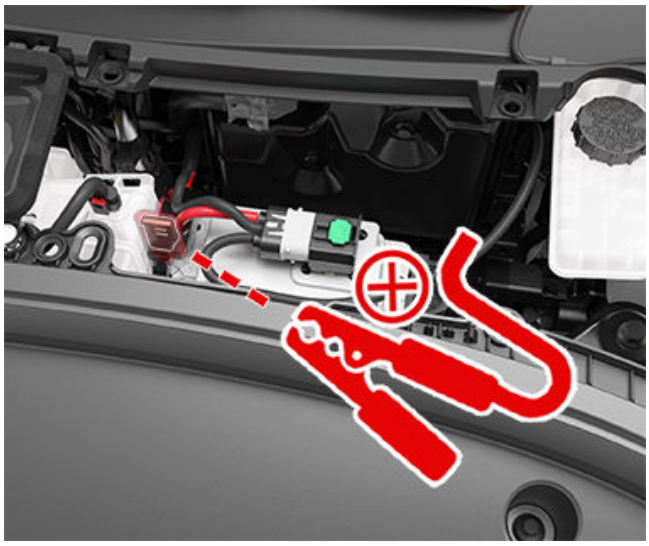
注意: Model 3 他の車両のジャンプスタートに使用することはできません。故障の原因となることがあります。

注意: Model 3 のジャンプスタート時に短絡させないでください。誤ったジャンプポストにケーブルを 接続したり、リード同士を接触させたりすると、Model 3 が損傷する可能性があります。

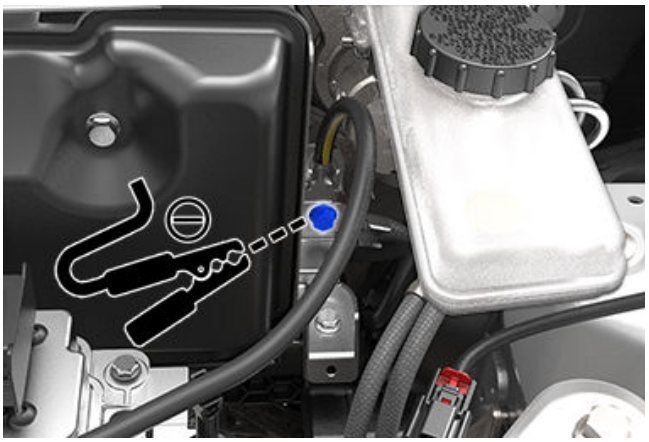
低電圧（リチウムイオン）バッテリーのジャンプ スタート

1. ボンネットを開きます（電源がない状態でフードを開ける ページ 236 を参照）。
2. メンテナンス パネルを取り外すには、パネル後方の端を上方向へ引き上げ、パネル固定用のトリム クリップを外してください。
3. 赤色のカバーを取り外し、外部低電圧電源の赤色プラスのプラス（+）側ケーブルを赤色のプラス（+）側ジャンプ ポストに接続します。

   注意: 車両の損傷を避けるため車両、このプラス側ケーブルを他の金属部に接触させないようにしてください。



4. 外部低電圧電源の黒色マイナス（-）側ケーブルをブレーキ液リザーバーの横にあるボルトに接続します。このボルトは外部サポートのアース ロケーションとして使用されます。



5. 外部電源をオンにします（製造元の取扱説明書を参照）。タッチスクリーンをタッチして車両を起動します。

   注: タッチスクリーンが起動するまでに数分かかることがあります。

6. 外部低電圧電源を使用する必要がなくなった場合、両方のケーブルを、黒色のマイナス側ケーブルから先に外します。
7. メンテナンス パネルを元の位置に合わせて固定されるまで押し付けながら再度取り付けてください。
8. フードを閉じます。

電力がない状態でフロント ドアを開く

万が一、Model 3 の電源が切れている状況でフロント ドアを開ける場合は、ウィンドウ スイッチの前にある手動ドア リリースを引き上げてください。

2025 年 2 月頃にギガファクトリー上海で生産された車両：

電力がない状態でリア ドアを開く

Model 3 に電力がないといった稀な事態にリア ドアを手動で開くことができます。

2025 年 2 月頃にギガファクトリー上海で生産された車両：

1. リア ドア ポケットの下部、リリース カバーの前にスロットがあります。スロットに指を入れて、持ち上げてカバーを取り外します。
2. メカニカル リリース ケーブルを前方に引きます。

警告: 車両が動いているときは手動ドア リリースを使用しないでください。

注意: Model 3 に電源がない場合、またはその他やむを得ない場合のみ、手動ドア リリースを使用してください。Model 3 に電力が供給されているときは、車内ドア ハンドル最上部にあるボタンを使用します。手動ドア リリースを使用する際は注意してください。ドアを開けてもウィンドウは自動で下がらないため、ウィンドウや車両トリムが損傷するおそれがあります。

水没車両に関するガイダンス

洪水や悪天候により車両が水没する可能性があります。Tesla では、車両が水没する危険性がある場合や、車両が水没した場合に備えてドライバーが方策を用意しておくことを求めています。

推奨事項を確認することで、万が一車両が水没した場合に備え、水没車両の扱い方を知り、利用可能な方策を見つけることができます。

洪水に備えるためのベスト プラクティス

水没する事態が予測されているときに、あらかじめ車両を安全に移動しておくことできる場合、Tesla では Model 3 を危険がない場所やより高い場所に移動することを推奨しています。充電設備に影響が及ぶ可能性を考慮して、Tesla ではあらかじめ車両を 100%まで充電することを推奨しています。

車両を洪水の可能性のない場所まで移動することができない場合は、損害を防止するのに役立つ可能性のある以下のベストプラクティスを検討してください。

- 充電器のプラグを車両から確実に抜く。
- 蓄電状態を下げる。このためには、事前に車両を運転してプラグを抜いたままにするか、空調をオンにするか、または車両のタッチスクリーンまたは Tesla モバイルアプリを使用して**「空調 ON のまま」**を有効にします（空調を操作する ページ 156 を参照）。これは、車両が水没した場合に充電率をできる限り低くするためです。
- ジャッキスタンド、シリンダーブロック、スロープなどで車両の位置を高くすることで、高電圧バッテリーが洪水時の水面よりも上になるようにします。セルフレベルングによる損傷を防ぐために、エアサスペンション（装備されている場合）を使用した**[ジャッキモード]**を有効にします（ジャッキアップと引き上げ ページ 211 参照）。
- Model 3 に自動車用防水カバーまたは洪水からの車両保護に対応した、それと同等の製品を被せておきます。

注: 冠水した道路を走行する場合、圧力を開放するためにダストカバーが開くことがあります。安全な場所に駐車したら、ダスト カバーを車両へ再び取り付けてください。

水没車両の取扱い

お持ちの車両が電気自動車であれ、内燃機関車両であれ、長時間水没していた場合にすべきことを知っておきましょう。

警告: 火災、発煙、キーという音やシャーという音、または車両からの放熱に気付いた場合、その場から離れ、速やかに最寄りのファーストレスポンダーに連絡してください。

車両が水没状態から脱し、安全に近づけるようになったら、以下の手順に従ってください。

1. 車両を事故の場合と同様に取扱い、保険会社に連絡します。
2. 認定工場による検査が完了するまでは車両を運転しないでください。あなたが Tesla 車のオーナーである場合、Tesla サービスで点検の予定を組むことができます。
3. 車両を安全にけん引して、他の車両や個人資産などの燃えやすい素材または構造から 50 ft（15 m）以上離します。
   - Tesla オーナーは、当社からのけん引支援を要望することができます。詳細情報については、Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する ページ 234 を参照してください。
   - 安全にけん引する方法や車両を移動する方法については車両輸送者向け注意事項 ページ 231 を参照してください。

このセクションには、車両に表示される各種アラートに関する情報が記載されています。このセクションを参照して、アラートが何を意味するか、およびそのアラートに関連する問題のトラブルシューティングの手順を理解してください。

app_w009
自動緊急ブレーキ使用不可
次のドライブで機能が回復する可能性

このアラートの意味:

自動緊急ブレーキ機能は、現在のドライブの残りの部分では使用できません。この警告は、他のブレーキ機能が使用できないことを具体的に示すものではありません。

このアラートはいくつかの理由で表示される可能性があります。自動緊急ブレーキを使用できない状態の場合は、他の警告が表示されることがあります。

対応策:

通常特に対応は必要ありません。通常、次のドライブを開始すると、自動緊急ブレーキが再び使用可能になります。

アラートが何度も続く場合、または運転するうちに発生頻度が高くなる場合は、早急に修理を依頼されることをお勧めします。

詳細な情報は、衝突回避アシスト ページ 142 を参照してください。

APP_w048
オートパイロットは一時的に使用できません
次回運転時に機能が再起動されます

このアラートの意味:

オートパイロット 機能をお客様の車両で現在使用することができません。車両の構成に応じて、無効となるオートパイロット機能には次が含まれます。

- オートステアリング
- トラフィックアウェア クルーズコントロール
- 自動緊急ブレーキ
- 正面衝突警告
- 車線逸脱警告

対応策:

このアラートはいくつかの理由で設定される可能性があります。この状態の原因を示す追加アラートがないか確認してください。

通常オートパイロット機能は次回走行時に回復します。このアラートが今後の走行でも継続的に発生する場合は、早急にサービスを予約してください。

詳細およびオートパイロット機能の完全なリストについては、関連事項 オートパイロット ページ 106 を参照してください。

APP_w207
オートステアリングは一時的に利用できません

このアラートの意味:

オートステアリング は一時的に使用できません。これは以下の外部要因などによる一時的な状況である可能性があります。

- 車線の境界線がないまたは薄くなっている。
- 極端にせまい道や曲がりくねった道を運転している。

- 雨、雪、霧、その他の気象によって視認性が低くなっている。
- 外気温度が極端に高いまたは低い。
- 対向車のヘッドライトや直射日光などの明るい光が当たっている。

このアラートは、オートステアリングが有効な場合のオートステアリングに対する最大速度制限を超過している場合にも表示されます。この場合、そのまま運転してもオートステアリングが再び有効になることはありません。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。 オートステアリングを目的地に到着するまでそして次回車両を使用しているときに利用できない場合は、次について点検してください。

- 泥、氷、雪などの環境要因により損傷または障害物が発生している
- 自転車ラックのような物体が車両に取り付けられ、障害となっている
- 塗料、またはラップ、ステッカー、ラバー コーティングのような粘着性物質など障害物が車両に付けられている
- バンパーが損傷している、または位置がずれている

明らかな障害物がない場合、または車両の損傷を見つけた場合、都合のよいときにサービスを予約してください。 その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報については、オートパイロット 機能 ページ 109 を参照してください。

APP_w218
オートステアリング制限速度を超えています
ハンドル操作を引き継いでください

このアラートの意味:

オートステアリング は、車両が ドライビングアシスト機能の最高速度制限を超えたため利用できません。

対応策:

すみやかにハンドルを自分で操作して目的地まで運転してください。

多くの場合、そのまま運転してもオートステアリングが再び有効になることはありません。オートステアリングをリセットするには、車両を完全に停止して、パーキングにシフトします。次の目的地に向かう移動のためにドライブにシフトすると、オートステアリングは再び使用可能になります。

次の走行時にオートステアリングが引き続き有効にならない場合は、ご都合のよいときにサービスを予約してください。 その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報については、オートパイロット 機能 ページ 109 を参照してください。

APP_w222
クルーズコントロール利用不可
フロントカメラの視認性が低下

このアラートの意味:

トラフィックアウェア クルーズコントロール とオートステアリングは、車両の 1 台以上のフロント カメラが外部条件で妨害されているか視界を遮られているため無効です。

トラフィックアウェア クルーズコントロール とオートステアリングは、フロント カメラの十分な視程が得られない限り引き続き使用できません。 以下の原因によりカメラの視界が制限されている場合や確保できない場合があります。

- カメラ表面の汚れまたはごみ。
- 雨、霧、雪、露などの環境的条件。

- 日光または別の光源による眩しい光。
- 照明不足または照明の制限された状態（夜間の照明のないまたは不十分な照明の道路を含む）。
- カメラ表面の結露（水滴または霧）。
- トンネル壁面や高速道路分離帯など、単調な周囲状況。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。 車両を運転しても問題はありません。

これはしばしば独自でクリアされる一時的問題になります。走行終了時までにそのアラートがクリアされない場合:

- 次回の計画した走行の前にフロント ガラスの上部中央にあるフロント カメラの領域を点検して清掃する。
- カメラ表面に結露、ほこり、あるいはその他ちりがないか確認し、障害物は取り除いてください。

車両の該当部分からの汚れや異物の除去に関する詳細情報については、カメラのクリーニング ページ 205 を参照してください。

フロント カメラのエンクロージャ内部の結露は完全に拭き取ることができませんが、通常は、以下の手順でり簡単にクリーニングを行えます。

1. 温度を高に設定し、A/C をオンにして車内の空調を入れます。
2. 前方の霜取り装置をオンにします。

フロント カメラで障害物が見えないのに、その後の運転時にもこのアラートが解消されない場合は、できるだけすみやかにサービスを予約してください。 その間は車両を運転することに問題はありません。

APP_w224
クルーズコントロール利用不可
カメラ補正のため運転を続けてください

このアラートの意味:

トラフィックアウェア クルーズコントロール とオートステアリングは、車両のカメラのキャリブレーションが不十分なため利用できません。

トラフィックアウェア クルーズコントロールおよびオートステアリングなどの機能が有効なとき、車両は高精度で動作する必要があります。初めてこれらの機能を使用するときは、事前に、カメラの初期セルフキャリブレーションを実施する必要があります。場合によっては、１台以上のカメラがキャリブレーションなしで使用されることがあります。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。 車両を運転しても問題はありません。

トラフィックアウェア クルーズコントロール およびオートステアリングは、カメラのキャリブレーションが完了するまで使用できません。

キャリブレーションが完了すると、トラフィックアウェア クルーズコントロールとオートステアリングが使用可能になります。

利便性のために、プログレス インジケータがタッチスクリーンに表示されます。キャリブレーションは通常、20〜25 マイル（32〜40 km）走行後に完了しますが、この距離は道路条件や環境条件によって異なります。たとえば、車線区分線がはっきりと見える直線路を走行すると、カメラは短時間にキャリブレーションできます。

100 マイル（160 km）以上走行後も、アラートが解消されず、カメラ キャリブレーションが完了しない場合、あるいはカメラ キャリブレーションが成功したのにも関わらず、トラフィックアウェア クルーズコントロールとオートステアリングが利用できない場合は、できるだけすみやかにサービスを予約してください。 その間は車両を運転することに問題はありません。

APP_w304
カメラに障害物あり
カメラを清掃するか視界復帰するまで待機

このアラートの意味:

外部条件により、1 つ以上の車載カメラの視認性が制限されているかありません。正確な視覚情報が車載カメラにより生成できない場合は、オートパイロット機能の一部またはすべてが一時的に使用できなくなる場合があります。

以下の原因によりカメラの視界が制限されている場合や確保できない場合があります。

- カメラ表面の汚れまたはごみ。
- 雨、霧、雪、露などの環境的条件。
- 日光または別の光源による眩しい光。
- 照明不足または照明の制限された状態（夜間の照明のないまたは不十分な照明の道路を含む）。
- カメラ表面の結露（水滴または霧）。
- トンネル壁面や高速道路分離帯など、単調な周囲状況。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。 車両を運転しても問題はありません。 多くの場合、これは一時的な問題であり、結露が蒸発したときや、特定の環境条件がなくなったときに解消されます。

目的地に到着するまでにアラートが消えない場合は、カメラの表面に結露、汚れ、またはその他のごみがないか確認してください。カメラの位置は、カメラ ページ 19 を参照してください。

次回のドライブをする前に必要に応じてカメラをクリーニングしてください。推奨されるクリーニング手順については、カメラのクリーニング ページ 205 を参照してください。

このアラートがカメラのクリーニング後も引き続き表示される場合は、ドアピラーのカメラ筐体内側に結露がないか確認してください。 カメラのエンクロージャ内部の結露は完全に拭き取ることができませんが、通常は、以下の手順で簡単にクリーニングを行えます。

1. 空調をオンに設定し、温度を「高」に設定し、A/C がオンになっていることを確認して、キャビンをプレコンディショニングします
2. 前方の霜取り装置をオンにします。
3. 吹出し口をドアピラーのカメラに向けます。

カメラのエンクロージャから結露を取り除く方法に関する詳細情報については、カメラのクリーニング ページ 205.を参照してください。

示されたカメラのクリーニングを行ない、結露を取るために推奨される手順を実施したにも関わらず、次回のドライブの終了までにアラートが解消しなかった場合は、次のご都合のよいときにサービスする予約をしてください。 その間は車両を運転することに問題はありません。

APP_w396
フロント カメラの視界が制限されています
オートパイロット
機能は制限中または利用不可の可能性

このアラートの意味:

フロントガラスを曇らせる残留物の層が検出され、カメラの視界を妨げています。そのため、1 つ以上の車載カメラの視界が制限されている恐れがあります。

車両のカメラが正確な視覚情報を取得できない場合、オートパイロット機能の一部またはすべてが制限される場合があります。

対応策:

車両を運転しても問題はありません。引き続き目的地まで向かってください。

目的地に到着するまでに警報が解除されない場合は、フロントガラスで次の点を確認してください。

- 土、霧、氷、雪、またはその他の環境要因による妨げ。
- ワイパーによる拭き残りのすじによる妨げ。

はっきり確認できる障害物がなく、次回の運転中に警告が表示される場合は、都合の良いときにサービスを予約して、フロントガラスのカメラ取り付け部の内側を清掃してください。

車両のフロントガラス カメラ取り付け部の内側を清掃する必要かあるかどうかを確認するには、車両のタッチスクリーンで**「コントロール」**>**「サービス」**>**「メンテナンス」**の順にタップして、メンテナンスの概要を確認します。

BMS_a067
高電圧バッテリーのパフォーマンスが制限されます
運転可能 – すぐにサービスを予約

このアラートの意味:

車両が高電圧バッテリー内部がバッテリーの性能を制限している状態であることを検出しました。 完全な性能を回復するためにはサービスが必要です。

車両の最大航続距離が短くなる可能性があり、今までより車両の充電に時間がかかる場合があります。通常、最大充電速度は、場所、電源、および充電設備によって異なります。

対応策:

車両を運転しても問題はありません。

できるだけ早くサービスを予約することをお勧めします。サービスを行わないと、車両は引き続き最大と充電航続距離および充電性能の低下を引き起こし、運転中に出力と加速が低下する可能性もあります。

このアラートが表示されている間は、車両のタッチスクリーンに表示される推定航続距離と実際の高電圧バッテリーの充電レベルとの間に矛盾が生じないように、車両を充電容量の 30%以上に充電しておいてください。

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、高電圧バッテリーに関する情報 ページ 182 を参照してください。

BMS_a068
高電圧バッテリーは、サービスが必要
加速および充電性能低下

このアラートの意味:

車両が高電圧バッテリー内部がバッテリーの性能を制限している状態であることを検出しました。

車両の最高速度が低下し、加速要求に対する応答が以前よりも遅くなっていると感じる可能性があります。

車両の最大航続距離が短くなる可能性があり、今までより車両の充電に時間がかかる場合があります。通常、最大充電速度は、場所、電源、および充電設備によって異なります。

完全な性能を回復するためにはサービスが必要です。

対応策:

車両を運転しても問題はありません。

できるだけ早い機会にサービスを予約することをお勧めします。サービスを行わないと、車両の出力、加速、航続距離、および充電性能が低下することがあります。

このアラートが表示されている間は、車両のタッチスクリーンに表示される推定航続距離と実際の高電圧バッテリーの充電レベルとの間に矛盾が生じないように、車両を充電容量の 30%以上に充電しておいてください。

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、高電圧バッテリーに関する情報 ページ 182 を参照してください。

BMS_a069
バッテリー充電レベルが低い
いますぐ充電してください

このアラートの意味:

高電圧バッテリーには、運転をサポートするための十分なエネルギーが残っていないことが検出されました。 この警告は通常、通常の操作によって車両の高電圧バッテリー充電レベルが低下したために発生します。

車両は充電されるまで運転することまたは運転を継続することができません。

運転中にこのアラートが発生した場合、車両をシャットダウンする必要があります。この状態を示すために個別の車両アラートが表示されます。また、車両が予期せずシャットダウンするおそれがあります。

車両を駐車したときにこの警告が表示される場合は、運転することができない可能性があります。

対応策:

すぐに車両を充電してください。車両を充電すると、車両の走行能力が回復します。

このアラートが後続のドライブで発生した場合、バッテリーの充電レベルが 5%以上と表示されていても、できるだけ早くサービスを予約してください。

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、高電圧バッテリーに関する情報 ページ 182 を参照してください。

充電に関する情報は、充電方法 ページ 184 を参照してください。

BMS_a074
最大バッテリー充電レベルが低下
運転可能 - サービス予約してください

このアラートの意味:

高電圧バッテリーの内部の状況により、バッテリーの性能が制限されている状態であることが検出されました。この結果、最大充電レベルと航続距離が減少しています。完全な性能を回復するためにはサービスが必要です。

対応策:

- 車両を運転しても問題はありません。充電状態が 50%を下回ると車両の充電が可能になります。充電状態がすでに 50%を超えている場合、充電は開始されません。
- このアラートが解消されない場合は、早急にサービスを予約してください。サービスを行わないと、車両の最大充電レベルと航続可能距離がさらに減少する可能性があります。

- 高電圧バッテリーに関する詳細情報については、高電圧バッテリーに関する情報 ページ 182 を参照してください。

BMS_a079
充電不可 - 最大充電レベルに到達
最大充電レベル低下 - サービスを予約

このアラートの意味:

高電圧バッテリー内部の状況により、バッテリーの充電能力が充電状態 50%までに制限されていることが検出されました。

対応策:

- 車両を運転しても問題はありません。充電状態が 50%を下回ると車両の充電が可能になります。充電状態がすでに 50%を超えている場合、充電は開始されません。
- このアラートが解消されない場合は、早急にサービスを予約してください。サービスを行わないと、車両の最大充電レベルと航続可能距離がさらに減少する可能性があります。

- 高電圧バッテリーに関する詳細情報については、高電圧バッテリーに関する情報 ページ 182 を参照してください。

CC_a001
充電不可 - アース配線不十分
正しい配線またはコンセント接地の検証が必要

このアラートの意味:

ウォールコネクターで 接地接続が検出されません。

対応策:

ウォールコネクターを 電気技師に検査してもらい、適切に接地されていることを確認してください。サーキット ブレーカーまたは分電盤ボックスが正しく接地され、ウォールコネクターが正しく接続されていることの確認を電気工事士に依頼してください。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a002
充電不可 - ウォールコネクター漏電を検知
プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気技師に相談するか、Tesla までご連絡ください。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a003
充電不可 - ウォールコネクター漏電を検知
プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気技師に相談するか、Tesla までご連絡ください。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a004
充電不可 - ウォールコネクターに問題があります
ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォール コネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、10 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事業者に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a005
充電不可 - ウォールコネクター漏電を検知
プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気技師に相談するか、Tesla までご連絡ください。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a006
充電不可 - ウォールコネクター過電流
プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

過電流保護。

対応策:

車両の充電電流設定を下げてください。問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a007
充電不可 - 入力電圧が高過ぎます
ウォールコネクターには定格内電圧が必要

このアラートの意味:

過電圧または減電圧保護。

対応策:

ウォール コネクターのサーキット ブレーカーの正しい電圧について電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a008
充電不可 - 入力電圧不足
ウォールコネクターには定格内電圧が必要

このアラートの意味:

過電圧または減電圧保護。

対応策:

ウォール コネクターのサーキット ブレーカーの正しい電圧について電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a009
充電不可 - 誤った入力配線
ウォールコネクターへの入力配線の修正が必要

このアラートの意味:

入力側誤配線: ラインと中性が反対に接続されている可能性があります。

対応策:

壁側電源とウォールコネクター間の入力配線が誤って接続されています。電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a010
充電不可 - ウォールコネクターに問題があります
ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォール コネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、10 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事業者に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a011
充電不可 - ウォールコネクターが過熱
ウォールコネクターが冷えるまでお待ち下さい

このアラートの意味:

加熱防止（ラッチオフ）。

対応策:

ウォール コネクターが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。通常の周囲温度（100°F または 38°C未満）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a012
充電不可 - ウォールコネクター接続部が過熱
コンセントまたはウォールコネクターの点検が必要

ウォールコネクターによる高温検出アラートは、ウォールコネクターへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクターを保護するために充電が停止したことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクターの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクターへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

正常な充電動作を回復するには、以下の手順に従って操作してください。

ウォール コネクターを壁面コンセントに差し込んだら、以下の事項を確認してください:

- プラグがコンセントに完全に差し込まれている
- プラグ/コンセントに異物が詰まっていない/異物で覆われていない
- 近くに熱源がない

問題が解決しない場合や、ウォール コネクターが固定配線の場合、電気技術者にウォール コネクターまでの建物の建物の配線接続の調査を依頼してください。ウォールコネクターの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a013
充電不可 - 充電ハンドルが過熱
充電ハンドルまたはポートの異物を確認下さい

このアラートの意味:

加熱防止（ラッチオフ）。

対応策:

コネクターが車両の充電ポートに確実に挿入されていて、それが何かで覆われていたり熱源が近くにないことを確認してください。通常の周囲温度（100°F または 38°C未満）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a014
充電不可 - ウォールコネクターに問題があります
ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォール コネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、10 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事業者に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a015
充電不可 - 車両側の接続が不良です
充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォール コネクターまたはモバイル コネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a016
充電不可 - 車両側の接続が不良です
充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォール コネクターまたはモバイル コネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a017
充電不可 - 車両側の接続が不良です
充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォール コネクターまたはモバイル コネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a018
充電不可 - 車両側の接続が不良です
充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォール コネクターまたはモバイル コネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a019
充電不可 - 車両側の接続が不良です
充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォール コネクターまたはモバイル コネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a020
充電不可 - ウォールコネクターに問題があります
ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォール コネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、10 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事業者に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。

4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a021
充電不可 - マスターウォール コネクターなし
マスターがオンで使えることを確認して下さい

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: ウォール コネクターは 1 台のみをプライマリーに設定してください。

対応策:

1 台のウォールコネクターのみがプライマリーとして設定できます。担当した電気工事士は以下を確認します：

1. ウォール コネクターは 1 台のみをプライマリーに設定します。
2. プライマリーユニットにリンクされている他のすべてのウォールコネクターは 、ペアの位置（F 位置）に設定されます。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a022
充電不可 - マスターが複数あります
マスターのウォールコネクターは 1 台のみです

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: ウォール コネクターは 1 台のみをプライマリーに設定してください。

対応策:

1 台のウォールコネクターのみがプライマリーとして設定できます。担当した電気工事士は以下を確認します：

1. ウォール コネクターは 1 台のみをプライマリーに設定します。
2. プライマリーユニットにリンクされている他のすべてのウォールコネクターは 、ペアの位置（F 位置）に設定されます。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a023
充電不可 - ウォールコネクターが多過ぎます
マスターとペアできるユニットは 3 台以下です

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: 4 個以上のウォール コネクターが同じプライマリーユニットとペアリングされているます。

対応策:

電気工事士は、1 つまたは複数のペアリングされているウォールコネクターを別の回路に移動し、このロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワークから切断（ペアを解除する）してもらいます。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a024
充電不可 - ウォールコネクター電流低下
現在のマスターの設定を上げる必要あり

このアラートの意味:

ロータリー スイッチの設定が不正です。

対応策:

電気工事士に、ウォールコネクターの内部ロータリースイッチを有効な動作電流設定に調整してもらいます。電気工事士は、最初にウォール コネクターに電気がきていないことを確認してください。スイッチ設定と電流の対応関係は、ウォール コネクターの内側に印刷されている場合があります。電気工事士は、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の「動作電流を設定」の項も参照してください。

ウォール コネクターのロード シェアリング (サーキットブレーカーの共有) の設定をし、他のウォール コネクターとのペアリングができたら、プライマリー ユニットのロータリー スイッチは、ペアリングのそれぞれの片方のウォール コネクターが充電電流を 6A 以上受け取る動作電流設定に設定する必要があります。

例: 負荷分散のため、3 つのウォール コネクターがペアリングされています。プライマリー ユニットは、3 * 6A = 18A 以上の電流値に設定してください。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a025
充電不可 - ウォールコネクターに問題があります
ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォール コネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、10 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事業者に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a026
充電不可 - ウォールコネクターに問題があります
ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォール コネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、10 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事業者に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a027
充電不可 - ウォールコネクターに問題があります
ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォール コネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、10 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事業者に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a028
充電不可 - 誤ったスイッチ設定
ウォールコネクターロータリースイッチの 調整が必要

このアラートの意味:

ロータリー スイッチの設定が不正です。

対応策:

電気工事士に、ウォールコネクターの内部ロータリースイッチを有効な動作電流設定に調整してもらいます。電気工事士は、最初にウォール コネクターに電気がきていないことを確認してください。スイッチ設定と電流の対応関係は、ウォール コネクターの内側に印刷されている場合があります。電気工事士は、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の「動作電流を設定」の項も参照してください。

ウォール コネクターのロード シェアリング (サーキットブレーカーの共有) の設定をし、他のウォール コネクターとのペアリングができたら、プライマリー ユニットのロータリー スイッチは、ペアリングのそれぞれの片方のウォール コネクターが充電電流を 6A 以上受け取る動作電流設定に設定する必要があります。

例: 負荷分散のため、3 つのウォール コネクターがペアリングされています。プライマリー ユニットは、3 * 6A = 18A 以上の電流値に設定してください。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a029
充電不可 - 車両側の接続が不良です
充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォール コネクターまたはモバイル コネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a030
充電不可 - マスター/ユニットペアの不一致
現在のウォールコネクターの定格が一致する必要あり

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: ペアリングしたウォール コネクターの最大電流容量が異なります。

対応策:

ロードシェアリング（サーキット ブレーカーの共有）ネットワークにペアリングできるのは同じ最大電流容量のウォール コネクターのみです。電気工事士は、ウォール コネクターのタイプ ラベルで、電流容量がマッチしていることを確認してください。また、電気工事士は、同じ部品番号のウォール コネクターでペアリングすることを推奨します。ペアリング対象ユニットが互換性があることを簡単に確認できるからです。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a041
充電速度低下 - ウォールコネクター接続部熱い
コンセントまたはウォール コネクターの配線の点検

このアラートの意味:

ウォールコネクターによる高温検出アラートは、ウォールコネクターへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクターを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクターの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクターへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォール コネクターまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクターの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CC_a043
ウォールコネクターの設定を完了する必要あり
設置ガイドを参照して充電を有効にしてください

このアラートの意味:

ウォールコネクターの設定が未完了です。

対応策:

ウォールコネクターを試運転して、サーキット ブレーカーのサイズと保護アースの接続タイプを正しく設定する必要があります。

詳細についてはウォールコネクターの設置マニュアルにある試運転手順を参照してください。問題が解決しない場合、電気工事業者に連絡してウォール コネクターまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。業者は電力出力およびアース接続が、ウォールコネクターの設置ガイドに従って正しく設定されているかを確認する必要があります。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CP_a004
充電機器が認識されません
再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

充電ケーブルが挿入されているかどうか、または接続されている充電ケーブルの種類を充電ポートが検知できない。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ケーブルが接続されて**いる**ときにこのアラートが表示された場合、充電機器または車両の原因による問題かを判断します。 別の外部重電機器を使用して車両の充電を試してみます（充電ケーブル、充電ステーション、充電用駐車場など）。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。

- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ケーブルが接続されて**いない**ときにこのアラートが発生する場合、または問題が車両にあると疑われる場合、 充電ポート入口および充電ケーブル コネクターに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、充電方法 ページ 184 を参照してください。

CP_a010
充電機器に通信エラーが発生しました
再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

外部充電機器と有効な通信ができないために車両を充電できません。充電機器からの有効なコントロール パイロット信号を検知できません。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

まず、有効な通信がない原因が、外部充電機器によるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

別の外部重電機器を使用して車両の充電を試してみます（充電ケーブル、充電ステーション、充電用駐車場など）。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

問題が車両にあると疑われる場合、 充電ポート入口および充電ケーブル コネクターに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、充電方法 ページ 184 を参照してください。

CP_a043
充電ポート ドア センサー故障
充電ポートが作動しない場合があります

このアラートの意味:

充電ポート ドア センサーの 1 つが正常に機能していません。この故障が発生すると、充電ポートは充電ポート ドアの位置を正確に検知することができなくなり、充電ポートは予定通りに作動しなくなる可能性があります。

- 充電ポート ドアが開いているときに、充電ポート ラッチが断続的にかかったままになります。
- 充電ポート ドアが開いているとき、充電ポートのライトが断続的しか点灯しなくなる可能性があります。

対応策:

充電ポート ドアを閉じ、再度開いてみます。

詳細な情報については、充電ポートを開ける ページ 184 を参照してください。

充電に関する情報は、充電方法 ページ 184 を参照してください。

CP_a046
充電機器の通信が失われました
電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

車両と外部充電機器との間の通信が中断したため充電が停止した。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

外部充電機器のステータスライト、画面、またはインジケーターなどを確認して電源が入っているかどうかを確認します。

機器の電源が**入っていない**場合、外部充電機器の電源が復旧できるかどうか試みます。

- 公共の充電ステーションで充電する場合で電源が復旧できない場合、その充電ステーションの管理者に連絡します。
- 専用の充電ステーション（自宅など）で充電する場合で電源が復旧できない場合、電気工事業者に連絡します。

機器の電源が入る場合、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CP_a051
押したときに充電ポートが開かない可能性
別の方法で充電ポートを開いてください

このアラートの意味:

充電ポート ドア センサーの 1 つが正常に通信していません。充電ポート ドアが押されたときに充電ポートが開くリクエストを認識しない可能性があります。

対応策:

また、次のような一般的方法を使用して、充電ポート ドア開くこともできます。

- 車両のタッチスクリーンを使用してください。
- Tesla モバイルアプリを使用してください。
- 車両のロックを解除した状態で、ウォール コネクター、モバイル コネクタ、またはスーパーチャージャーを含む T 充電ケーブルの充電ハンドル ボタンを押す。
- キーフォブのトランク ボタンを押し続ける。

詳細な情報については、充電ポートを開ける ページ 184 を参照してください。

CP_a053
充電不可 - 充電ステーションが停止しています
充電ポストを確認するか、別の充電ポストをお試しください

このアラートの意味:

充電機器の準備ができていないため、充電を開始できません。充電ハンドルが検出されましたが、充電ステーションは車両と通信していません。この問題の想定原因：

- 充電ステーションに電力が供給されていません。
- 充電ステーションと車両との間の制御パイロット信号が中断されました。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電をお試しください。別の充電機器または別の充電ステーションで

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

モバイル コネクターまたはウォール コネクターを使用している場合は、まず前面にあるステータス ライトを確認します。ステータス ライトが表示されない場合は、電源を確認し、電気工事士に連絡して、壁のコンセントにつながる建物側の配線接続を調べて、すべての配線が正しく接続され、しっかり締めつけられていることを確認します。

他の外部充電機器を使用している場合は、ステーションに電源が供給されていることを確認するために、製品のオーナーズマニュアルを参照してください。必要に応じて、電気工事士に連絡して、建物側の配線と充電機器を点検してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

CP_a054
充電ポート ラッチが接続されていません
充電ケーブルを完全に差し込むか障害物を確認

このアラートの意味:

充電ポート口で充電ポート ラッチが充電ケーブルを固定しない。ラッチがはまらない場合は、AC 充電（Tesla モバイル コネクターまたはウォール コネクターでの充電など）では電流が 16 A に制限され、DC 急速充電/スーパーチャージャー充電は利用できません。

充電ポート ライトは、AC 充電中にこのアラートが表示されると、黄色で点滅し、DC 充電/スーパーチャージャー充電を試みているときにこのアラートが表示されると、黄色で点灯します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ポート口に充電ケーブルをしっかりと挿入します。

車両が充電を開始し、充電ポート ライトが緑色で点滅した場合、その充電ケーブルは前回完全に挿入されていなかった可能性があります。 AC 充電は既に制限されず、DC 急速充電/スーパーチャージャーが使用できるようになります。

充電が依然制限されている場合、または車両がまったく充電をしない場合、充電ポート入口および充電ケーブル コネクターに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

充電がまだ制限されている場合、または車両がまったく充電されない場合は、充電ポートのラッチ マニュアル リリース ケーブル（トランクの左側にある）が引かれていないことを確認してください。手動ケーブル リリースのためのハンドル（通常リング状または紐）に障害物がなく（荷物ネットや傘など）が取り付けられていないことを確認します。 充電ポート手動リリースの使用に関する詳細については、手動で充電ケーブルを外す ページ 188 を参照してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、充電方法 ページ 184 を参照してください。

CP_a055
充電機器の通信が失われました
電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

車両と外部充電機器との間の通信が中断したため充電が停止した。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

外部充電機器のステータスライト、画面、またはインジケーターなどを確認して電源が入っているかどうかを確認します。 モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

機器の電源が**入っていない**場合、外部充電機器の電源が復旧できるかどうか試みます。

- 公共の充電ステーションで充電する場合で電源が復旧できない場合、その充電ステーションの管理者に連絡します。
- 専用の充電ステーション（自宅など）で充電する場合で電源が復旧できない場合、電気工事業者に連絡します。

機器の電源が入る場合、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

CP_a056
充電が停止しました - 充電ケーブルが外れています
充電ポートを閉じる - ブレーキペダルを踏み再試行

このアラートの意味:

充電ポートと充電ケーブルの接続が不意に遮断されたことを車両が検知したために充電が停止しました。

対応策:

充電ケーブルを外す前に、充電を停止したことをまず確認してください。

一部の外部充電機器を使用した場合、充電ハンドルのボタンを押すと充電が停止する可能性があります。

また、車両のタッチスクリーン、Tesla モバイル アプリ、または充電ステーションからも充電を停止することができます。

詳細な情報は、充電の停止 ページ 186 を参照してください。

CP_a058
AC 充電できません - システムはすぐに再試行します プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

車両が以下の状態の 1 つを検出したために充電はできません。また、充電しようと何回も試みましたが成功しませんでした。

- 充電ケーブルが挿入されているかどうか、または接続されている充電ケーブルの種類を充電ポートが検知できません。
- 車両が充電ステーションからの有効なパイロット コントロール信号を検知することができず、外部充電機器との有効な通信を行なうことができません。
- 車両と外部充電機器の通信が遮断されています。
- 外部充電機器が、車両の充電を阻止するエラーを報告しました。

対応策:

この警告が表示されている場合、車両はしばらくしてから充電を再試行します。上記の問題が解決されれば、車両は充電を再開します。すぐに充電を再試行したい場合は、充電ケーブルを充電ポートから取り外し、再度接続してください。

詳細情報およびトラブルシューティングの提案については、車両のタッチスクリーンで**「コントロール」**>**「サービス」**>**「通知」**にタッチして充電に関わるその他の最新アラートを確認してください。

CP_a066
充電機器準備未完了 機器の説明書を見て充電を開始してください

このアラートの意味:

充電ステーションが車両と通信中で、その外部充電機器の準備が完了していないか、充電が認証されていないために充電を開始できません。充電ステーションと車両の間のコントロール パイロット信号は、充電を開始することを車両が許可されていないことを示します。

これが発生するのは以下が理由です。

- 充電ステーションが能動的に充電の遅延を生じている。例えば、ステーションが予約充電機能を有効にしているためにこの状態が生じます。
- 充電セッションを開始できるようになるためには充電ステーションをさらに有効にする必要があります。ステーションが車両に充電を開始する前に、充電カード、モバイル アプリ、またはクレジットカードといった追加認証が必要となる場合があります。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電を可能にするために必要な手順について述べている指示について、充電ステーションを点検します。例えば、タッチスクリーン端子、LED ステータス インジケータ、印刷された説明書、指針となる支払インターフェースを 探します。現在の充電ステーションに充電することができない場合、他の充電機器を使用するか、他の充電ステーションにおいて、車両を充電してください。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、充電方法 ページ 184 を参照してください。

CP_a078
ケーブル閉塞 - 充電ポートのラッチが凍結したおそれ
モバイル アプリの「車の霜取り」ボタンを使用してみてください

このアラートの意味:

充電ポート ラッチが充電ケーブルのラッチの解除をすることができず、低い外気温が検出されました。

対応策:

ケーブルのひずみを取り除くため、充電ポート口に充電ケーブルをしっかりと挿入します。もう一度実行して充電ケーブルのラッチを解除します。

依然、充電ケーブルを取り外すことができない場合、充電ポートのラッチが凍結する可能性があります。

充電ポート ラッチの氷を溶かすために、Tesla モバイル アプリの**「車の霜取り」** ボタンを押して、約 30〜45 分間、車両の霜取りをします。

注: 車両の霜取りには、モバイル アプリの **「車の霜取り」**を確実に使用してください。車両のタッチスクリーンで空調設定を調節しても効果はありません。

車両のタッチスクリーンからリア デフロスターをオンにしても、充電ポート ラッチに影響のある氷を溶かすことができます。車両によっては充電ポートヒーターが装備されており、寒冷気象でリア デフロスターをオンにするとヒーターもオンになります。

寒冷気象時の充電に関する詳細については寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 163 を参照してください。

充電ケーブルを取り外すことが依然としてできない場合、車両のトランク内にある充電ポート手動リリースを試してみてください。

1. 車両が能動的な充電をしていないことを確認してください。
   - 車両のタッチスクリーンで充電画面にアクセスします。
   - 必要に応じて、「充電を停止」にタッチします。
2. リア トランクを開きます。
3. 充電ポート取り外しケーブルを下向きに引き、充電ケーブルのラッチを外します。
   - **注:** 取り外しケーブルはリア トランクの左側にあります。トランクのインテリアトリムの小さな開口部内にはまっている場合があります。
4. 充電ケーブルを充電ポートから引き抜きます。

充電ポート手動リリースの使用に関する詳細については、手動で充電ケーブルを外す ページ 188 を参照してください。

充電に関する情報は、充電方法 ページ 184 を参照してください。

CP_a079
充電速度低下 - 充電ポートのが凍結したおそれ
モバイル アプリの「車の霜取り」ボタンを使用してみてください

このアラートの意味:

充電ポート入口で充電ポート ラッチが充電ケーブルを固定できず、低外気温を検知しています。ラッチが掛からない場合、AC 充電（Tesla モバイル コネクターまたはウォール コネクターでの充電など）では電流が 16 A に制限され、DC 急速充電/スーパーチャージャー充電は利用できません。

充電ポート ライトは、AC 充電中にこのアラートが表示されると、黄色で点滅し、DC 充電/スーパーチャージャー充電を試みているときにこのアラートが表示されると、黄色で点灯します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ポート口に充電ケーブルをしっかりと挿入します。 車両が充電を開始し、充電ポート ライトが緑色で点滅した場合、その充電ケーブルは前回完全に挿入されていなかった可能性があります。 AC 充電は既に制限されず、DC 急速充電/スーパーチャージャーが使用できるようになります。

充電がまだ制限されている場合、または車両がまったく充電されない場合は、充電ポートのラッチ マニュアル リリース ケーブル（トランクの左側にある）が引かれていないことを確認してください。手動ケーブル リリースのためのハンドル（通常リング状または紐）に障害物がなく（荷物ネットや傘など）が取り付けられていないことを確認します。 充電ポート手動リリースの使用に関する詳細については、手動で充電ケーブルを外す ページ 188 を参照してください。

充電が依然制限されている場合、または車両がまったく充電をしない場合、充電ポート入口および充電ケーブル コネクターに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

ごみや異物がないか点検して取り除いたけれども充電に依然制限がある場合、または車両がまったく充電しない場合、充電ポートのラッチが凍結している可能性があります。 充電ポート ラッチの氷を溶かすために、Tesla モバイル アプリの**「車の霜取り」** ボタンを押して、約 30〜45 分間、車両の霜取りをします。

注: 車両の霜取りには、モバイル アプリの **「車の霜取り」**を確実に使用してください。車両のタッチスクリーンで空調設定を調節しても効果はありません。

車両のタッチスクリーンからリア デフロスターをオンにしても、充電ポート ラッチに影響のある氷を溶かすことができます。車両によっては充電ポートヒーターが装備されており、寒冷気象でリア デフロスターをオンにするとヒーターもオンになります。

寒冷気象時の充電に関する詳細については寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 163 を参照してください。

このアラートが依然存在する場合でも、制限された AC 充電は依然として使用できるようになっています。

充電に関する情報は、充電方法 ページ 184 を参照してください。

CP_a101
充電速度低下 - ウォールコネクター接続部熱い
コンセントまたはウォール コネクターの配線の点検

このアラートの意味:

ウォールコネクターによる高温検出アラートは、ウォールコネクターへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクターを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクターの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクターへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォール コネクターまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクターの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

ウォール コネクターの設置ガイドはここから入手できます。

CP_a102
充電不可 - ウォールコネクター接続部が過熱
コンセントまたはウォールコネクターの点検が必要

このアラートの意味:

ウォールコネクターによる高温検出アラートは、ウォールコネクターへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクターを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクターの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクターへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォール コネクターまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクターの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CP_a133
充電不可 - 車両側の接続が不良です
充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

充電はご利用いただけません。外部充電装置の近接センサーが、充電ハンドルが押されているか、ラッチが外れていることを示しています。これは、外部充電ハンドルが完全に差し込まれておらず、ラッチが外れたままになっていることが原因の場合があります。

対応策:

別の充電機器または別の充電ステーションで充電をお試しください。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。 お住まいの地域で Tesla 以外の充電ステーションが利用可能な場合は、そのステーションで問題を特定できることがあります。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。 Tesla 以外の外部充電機器を使用されている場合は、そのメーカーの取扱説明書にあるトラブルシューティングの手順をご参照ください。

CP_a139
充電機器がエラーを報告しました
機器のエラー コードまたはメッセージを確認

このアラートの意味:

外部充電機器の故障により、車両の充電が中断されました。

対応策:

外部充電機器のステータスライト、画面、またはステータスインジケーターなどを確認します。 その他のトラブルシューティングの方法については、オーナーズマニュアルを確認してください。

別の充電機器または別の充電ステーションで充電をお試しください。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。 お住まいの地域で Tesla 以外の充電ステーションが利用可能な場合は、そのステーションで問題を特定できることがあります。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。 Tesla 以外の外部充電機器を使用されている場合は、そのメーカーの取扱説明書にあるトラブルシューティングの手順をご参照ください。

CP_a141
充電機器がエラーを報告しました
機器のエラー コードまたはメッセージを確認

このアラートの意味:

外部充電機器の故障により、車両の充電が中断されました。

対応策:

外部充電機器のステータスライト、画面、またはステータスインジケーターなどを確認します。 その他のトラブルシューティングの方法については、オーナーズマニュアルを確認してください。

別の充電機器または別の充電ステーションで充電をお試しください。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。 お住まいの地域で Tesla 以外の充電ステーションが利用可能な場合は、そのステーションで問題を特定できることがあります。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。 Tesla 以外の外部充電機器を使用されている場合は、そのメーカーの取扱説明書にあるトラブルシューティングの手順をご参照ください。

CP_a143
充電アダプターにアーク放電の危険あり
別の充電装置を使用してください

このアラートの意味:

車両が、複合充電システム（CCS）の充電ハンドルを車両の充電ポートに接続するために使用されたサードパーティの充電アダプターにアーク放電の危険を検出したため、充電ができなくなっています。

このサードパーティの充電アダプターを使用して充電している時にプラグを抜こうとすると、アーク放電が発生し、重傷や物的損害が発生する可能性があります。

対応策:

以下の手順に従ってリスクを軽減してください。

- 充電が完全に停止していることを確認します。
  1. 車両のタッチスクリーンを使用して、充電が停止していることを確認し、必要に応じて充電を停止させます。
  2. 充電ステーションのディスプレイとコントロールを使用して充電が停止していることを確認し、あるいは実行中の充電セッションを終了します。
- 車両の充電ポートで緑色または青色のライト（LED）が点滅していないことを確認します。
- 充電アダプターを車両の充電ポートから外します。
- 実行中の充電セッションがないことが充電ステーションに表示されていることを再度確認します。
- 充電アダプターを充電ハンドルから外します。

別の充電装置を使用して車両を充電します。 充電に関する情報は、充電方法 ページ 184 を参照してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

CP_a146
充電ステーションがエラーを報告
充電ステーションのエラー コードまたはメッセージを確認

このアラートの意味:

外部充電機器の故障により、車両の充電が中断されました。

対応策:

外部充電機器のステータスライト、画面、またはステータスインジケーターなどを確認します。 その他のトラブルシューティングの方法については、オーナーズマニュアルを確認してください。

別の充電機器または別の充電ステーションで充電をお試しください。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。 お住まいの地域で Tesla 以外の充電ステーションが利用可能な場合は、そのステーションで問題を特定できることがあります。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。 Tesla 以外の外部充電機器を使用されている場合は、そのメーカーの取扱説明書にあるトラブルシューティングの手順をご参照ください。

CP_a151
充電ポートでエラーを検出 - サービスが必要です
AC 充電が機能しない可能性あり / スーパーチャージャー充電は可能です

このアラートの意味:

車両の充電ポートでサービスが必要です。 充電ポートは、有効なコントロール パイロット信号を確立できず、一部の AC 充電機器および電源と効率的に通信することができません。

このアラートが表示されている間は、Tesla 以外の充電ステーションでの AC 充電と DC 急速充電が制限されているか、利用できない場合があります。

対応策:

できるだけ早く車両の充電ポートを点検するサービスを予約することをお勧めします。

その間、スーパーチャージャー充電が継続して利用可能です。スーパーチャージャーのある場所は車両のタッチスクリーンの地図に表示することが可能です。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

AC 充電は、Gen 2 モバイル コネクターまたは Gen 3 ウォール コネクターを使用すると利用可能です。ただし、車両の充電ポートが Tesla 充電製品と通信できることを確認することをお勧めします。Gen 2 モバイル コネクターまたは Gen 3 ウォール コネクターで充電してみて、そのまま継続する前に、車両が通常どおりに充電されていることを確認してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、充電方法 ページ 184 を参照してください。

CP_a164
ラッチ解除リクエスト後も充電ハンドルが検出される
必要に応じて充電ポート手動リリース ケーブルを使用

このアラートの意味:

車両の充電ポートは、充電ケーブル/充電ハンドルを取り外すために複数の解除リクエストを受信した後も、まだ接続されていることを検出しています。

このアラートは、充電ポートのラッチが期待どおりに充電ケーブルを解除していない可能性があります。

対応策:

充電ケーブルが複数回の解除試行の後に充電ポートから取り外せない場合は、車両のトランクにある手動リリースケーブルを試してみてください。

1. 車両が能動的な充電をしていないことを確認してください。
   - 車両のタッチスクリーンで充電画面にアクセスします。
   - 必要に応じて、「充電を停止」にタッチします。
2. リア トランクを開きます。
3. 充電ポート取り外しケーブルを下向きに引き、充電ケーブルのラッチを外します。
   - **注:** 取り外しケーブルはリア トランクの左側にあります。トランクのインテリアトリムの小さな開口部内にはまっている場合があります。
4. 充電ケーブルを充電ポートから引き抜きます。

充電ポート手動リリースの使用に関する詳細については、手動で充電ケーブルを外す ページ 188 を参照してください。

依然、充電ケーブルを取り外すことができない場合、充電ポートのラッチが凍結する可能性があります。

充電ポート ラッチの氷を溶かすために、Tesla モバイル アプリの**「車の霜取り」** ボタンを押して、約 30〜45 分間、車両の霜取りをします。

注: 車両の霜取りには、モバイル アプリの **「車の霜取り」**を確実に使用してください。車両のタッチスクリーンで空調設定を調節しても効果はありません。

車両のタッチスクリーンからリア デフロスターをオンにしても、充電ポート ラッチに影響のある氷を溶かすことができます。車両によっては充電ポートヒーターが装備されており、寒冷気象でリア デフロスターをオンにするとヒーターもオンになります。

寒冷気象時の充電に関する詳細については寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 163 を参照してください。

このアラートが複数回の走行および充電試行で繰り返し発生する場合は、できるだけ早くサービスを予約して、車両の充電ポートを検査することを推奨します。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

Tesla 以外の外部充電機器を使用されている場合は、そのメーカーの取扱説明書にあるトラブルシューティングの手順をご参照ください。

充電に関する情報は、充電方法 ページ 184 を参照してください。

DI_a116
モーターがリセットされました - 運転可能です
車両ホールドが利用できません - ペダルを使用してブレーキをかけます

このアラートの意味:

モーターの駆動インバータがリセットされました。エンジンがリセットされる間、車の運転方法が一時的に変化したり、一時的に振動が生じたりすることがあります。この現象は低速時に顕著になります。

車両の自動停止機能である車両ホールドは一時的に利用できません。停止時に車両を保持するためにブレーキペダルを踏む準備をしてください。トラクションコントロールなどの他の機能は利用できない場合があります。

ほとんどの場合、エンジンは自動的に回復し、次回の運転後に警告は消えます。万が一、モーターが短時間に 10 回リセットされた場合、車両の電源が切れます。

対応策:

車両を運転しても問題はありません。 車両ホールド機能とトラクション コントロールは次回の運転までオフのままなので、停止時には注意してブレーキ ペダルを踏んでください。

DI_a138
フロント モーター無効 - 走行可能
車両出力は制限される可能性あり

このアラートの意味:

車両のフロント モーターが使用できません。出力、速度および加速は減少する可能性がありますが、車両はリア モーターを使用して走行を継続します。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。 車両を運転しても問題はありません。

このアラートは自動的に解消される一時的な状態によって生じている可能性があります。現在の走行中にこのアラートがクリアされた場合や、次回の走行を開始したときに発生しない場合、一時的な状態によって生じたものと思われます。特に対応は必要ありません。

このアラートはフロント モーターの点検やサービスを必要とする状態を示している可能性もあります。その後の走行でもこのアラートが解消されない場合、サービス予約することを推奨します。 その間は車両を運転することに問題はありません。

DI_a166
移動しないように車両が自動でパーキング
シートベルトを装着しドアを閉めて、ギアをそのままにしてください

このアラートの意味:

運転者が車両を離れているまたは存在しないと車両が判断したために、車両は自動でパーキング（P）にシフトしました。これはさまざまな環境において期待される車両の挙動です。

以下の条件が**すべて** 真である場合、車両は自動的にパーキングにシフトします。

- オートパーキング が有効ではありません
- 車両がドライブまたはリバースで 1.4 mph（2.25 km/h）よりも低い速度で移動している。

- 最後のドライバーのアクティビティが 2 秒前よりも以前に検知されている。ドライバーのアクティビティには 次が含まれます。
  - ブレーキ ペダルおよび/またはアクセル ペダルを踏む
  - 車両を操縦によって操舵する

およびこれらの条件の少なくとも **2 つ**が真である。

1. ドライバー シートベルトが、バックルされていない状態で検知された。
2. ドライバーが現存するとして検出されない。
3. ドライバー ドアが、開いているとして検知された。

注: 充電ケーブルが充電ポートに接続されている場合にも、車両は自動的にパーキングにシフトします。

対応策:

パーキングへの自動シフトに関する詳細については、ギアシフト ページ 73 を参照してください。

DI_a175
クルーズコントロール利用不可

このアラートの意味:

クルーズコントロール、トラフィックアウェア クルーズコントロールを含み、は現在利用できません。

クルーズコントロールが使用できないのは以下の原因が考えられます。

- 運転者が要望をキャンセルした。
- 運転者がシートベルトのバックルを外そうとした。
- フロントトランク、トランクまたはドアが開いたままになっている。
- 車両は、クルーズコントロールの最小速度である 18 mph（30 km/h）よりも低い速度で移動します。
- これには視認性の制限といった環境状態があります。
- バレーモードが有効。
- トラック モードが有効。

対応策:

車両の各種操作や運転は手動で行ってください。

クルーズ コントロールの起動を妨げている条件が解消されると、クルーズ コントロールは使用できます。 このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報については、トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 109 を参照してください。

DI_a184
オートパーキングがキャンセルされました
運転を変わってください

このアラートの意味:

オートパーキング がキャンセルされました。

オートパーキング は、次の理由によりキャンセルされた可能性があります。

- 運転者がタッチスクリーンの「キャンセル」ボタンを押しました。
- 運転者がハンドルを動かしました。

- 運転者がアクセル ペダルを踏んだか、ブレーキ ペダルを踏んだか、ドアを開きました。
- 急な坂道があります。
- 視認性に影響のある気象条件です。
- 縁石は検知できません。
- 車両にトレーラーが連結されています。

対応策:

車両を手動でパーキングするか、パーキングを終了してください。 パーキングを終了したら、ブレーキをかけて、パーキングにシフトします。そうしないと、車両が動き出すおそれがあります。

オートパーキング は、次回運転時には使用できます。

詳細な情報については、オートパーキング ページ 129 を参照してください。

DI_a185
オートパーキングが中止されました

このアラートの意味:

オートパーキング が停止し、電子パーキング ブレーキがかかりました。

オートパーキング は、次の理由によりキャンセルされた可能性があります。

- 運転者がタッチスクリーンの「キャンセル」ボタンを押しました。
- 運転者がハンドルを動かしました。
- 運転者がアクセル ペダルを踏んだか、ブレーキ ペダルを踏んだか、ドアを開きました。
- 急な坂道があります。
- 視認性に影響のある気象条件です。
- 縁石は検知できません。
- 車両にトレーラーが連結されています。

対応策:

車両を手動でパーキングするか、パーキングを終了してください。

オートパーキング は、次回運転時には使用できます。

詳細な情報については、オートパーキング ページ 129 を参照してください。

DI_a190
リア タイヤのトレッド深さが小さい - サービスを予約
タイヤのローテーション/交換を点検

このアラートの意味:

注: このアラートは、タイヤのパンクを示すものでは「ありません」。

車両で、リア タイヤの摩耗がフロント タイヤより大きく、その摩耗量の差異は推奨される量を超過していることが検出されました。

対応策:

すべてのタイヤのトレッド 深さを点検することが推奨されます。通常の運転でタイヤは摩耗し、リア タイヤはフロント タイヤよりも早く摩耗するのが普通です。

タイヤのローテーションを行うことで、すべてのタイヤをバランスよく 摩耗させることができます。

推奨された通りにタイヤをローテーションさせないと、ハイドロプレーニング現象が発生し、濡れた路面で車両をコントロールできなくなる恐れがあります。タイヤのローテーションを行わないと、タイヤの寿命も短くなり、交換が必要な日も早くなります。。

Tesla モバイル アプリまたは最寄りのタイヤショップでサービスを予約し、次の場合にタイヤのローテーションを行うことが推奨されます。

- フロント タイヤとリア タイヤのトレッド深さの差が 1.5mm を超える
- 車両は、前回のローテーションから 6,250 マイル（10,000 km）以上走行した

リア トレッドの深さが危険なレベルと判定され、タイヤ ローテーションがもはや適切ではない場合、タイヤを交換する必要がある可能性があります。

タイヤの点検を行い、必要なタイヤのサービスを終えたら、車両のタイヤ構成を更新して、車両設定をタイヤに最適化し、少なくとも 6,250 マイルの間、警告をクリアします。詳細な情報は、タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 198 を参照してください。

タイヤのトレッドの深さを定期点検せずに、このアラートだけに依存することは推奨されません。この警告は、推奨サービス間隔をおおきく超過していると推定した場合に限って表示されます。

この警告は Tesla のタイヤに対してキャリブレーションされており、別のタイヤブランドやモデルを含む異なるタイプまたはサイズのタイヤに対して使用されることを想定していません。Tesla が推奨していないタイヤを装着している車両の場合、表示が出ない、または早期に表示が出てしまう可能性があります。推奨されるタイヤに関する詳細については、ホイールとタイヤ ページ 225 を参照してください。

DI_a245
車両ホールド機能利用不可
停車中はブレーキを踏み続けてください

このアラートの意味:

システム上の制約のため、現在、「車両ホールド」を使用できません。停止時には、ブレーキ ペダルを踏んで、車両を完全に停止させ、車両を停止した状態を維持してください。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。 車両を運転しても問題はありません。

このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細については、オートブレーキ ホールド ページ 86 を参照してください。

DI_a250
アダプティブ ライド コントロール使用不能
車速は制限されています - 慎重に進んでください

このアラートの意味:

アダプティブ サスペンション ダンピング システムに問題があるために、車両スピードは 90 mph（144 km/h）に制限されています。

システムは乗り心地とハンドリングの両方を最適化するためにサスペンション システムをリアルタイムで調整することができないため、乗り心地は普段よりもソフトになります。

対応策:

このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

このアラートではタッチスクリーンに赤色のインジケーター ライトの点灯が付随します。詳細な情報については、サスペンション ページ 89 を参照してください。

DIF_a251 / DIR_a251
ギアボックス フルードのサービスが推奨されます
サービスを予約する

このアラートの意味:

車両がギアボックス フルードの点検が必要な状態にあることを検出しました。

対応策:

サービスを予約することをお勧めします。

このアラートがあっても車両を運転することに問題はありません。ただし、この警告が表示された状態で長期間運転を続けると、ギアボックスやパワートレインに永久的な損傷が生じる恐れがあります。

EPBL_a195 / EPBR_a195
移動しないように車両が自動でパーキング
シートベルトを装着しドアを閉めて、ギアをそのままにしてください

このアラートの意味:

運転者が車両を離れているまたは存在しないと車両が判断したために、車両は自動でパーキング（P）にシフトしました。これはさまざまな環境において期待される車両の挙動です。

次の条件が組み合わさって成立すると、車両は自動的にパーキングにシフトします。

- オートパーキング が有効ではありません
- 車両がドライブまたはリバースで非常に低速走行している
- 充電ケーブルが充電ポートに接続されている
- 最後のドライバーのアクティビティが 数秒前よりも以前に検知されている。ドライバーのアクティビティには 次が含まれます。
  - ブレーキ ペダルおよび/またはアクセル ペダルを踏む
  - 車両を操縦によって操舵する
- 次の条件の組み合わせに基づいて、ドライバーが車両から離れたか、または乗車していないと検出されることがあります。
  - 車両が運転席シートベルトの未装着を検出している。
  - 車両がドライバーの不在を検出している。
  - 運転席側のドアが開いている。
  - 上記の 3 つの条件（シートベルト バックル、着座、ドア ラッチ）を検知するために使用されているセンサーが 1 つ以上、正常に機能していない

対応策:

パーキングへの自動シフトに関する詳細については、ギアシフト ページ 73 を参照してください。

ESP_a118
ブレーキ性能低下アシストを起動
停止するには、ペダルを強く踏み続けてください

このアラートの意味:

油圧フェード補正が有効です。このブレーキアシスト機能は、車両がブレーキ性能の低下を検出した場合にブレーキ能力を確保するために一時的に作動します。

このアシスト機能が作動すると、ブレーキペダルが足から離れるのを感じ、ブレーキ圧力が大幅に増加することに気付く場合があります。また、車両前部にあるブレーキ油圧ユニットからポンピング音が聞こえる場合があります。これは通常、路面と車速に応じて数秒間続きます。これは正常な状態であり、車両の問題を示すものではありません。

対応策:

ブレーキペダルは通常どおり使用してください。ペダルを「ポンピング」（繰り返し押して離す）すると機能が中断されます。

このアラートは、車両が停止するか、ブレーキペダルを踏んでいないときに解除されます。解除後、アラートは最大 5 秒表示される場合があります。

通常、ブレーキ性能の低下は一時的なものであり、急ブレーキによるブレーキ温度上昇、極端な低温または雨天時の運転など、さまざまな理由で発生する可能性があります。また、ブレーキパッドまたはローターが摩耗し、定期交換が必要なことを示している場合もあります。

しばらく時間が経過してもブレーキ性能の低下が改善されない場合は、Tesla サービスに連絡してブレーキの点検を依頼してください。

詳細な情報は、油圧フェード補正 ページ 81 を参照してください。

ICR_a137
キャビン乗員検知レーダーが遮られています
ドームライト付近の障害物を取り除いてください

このアラートの意味:

現在、すべてのドアが閉まっている状態で、キャビンレーダーが遮られ、正常に作動しません。この遮蔽状態は、すべてのドアが閉まっているときに検知され、以下のような原因で発生する可能性があります。

- 障害物がリア ビュー ミラーの上のヘッドライナ―に付着している。
- キャビン内の前部付近に大きな障害物がある。

キャビン内レーダーが遮られると、正確な測定ができなくなることがあります。これは乗員感知、自動パーキングブレーキ、車両のステータス表示などの機能に影響を与える可能性があります。

対応策:

この問題を解決するには、障害物をキャビン内レーダーから離してください。障害物が取り除かれると、障害物警告は自動的に消えます。

障害物を取り除いてもこの警告が表示される場合は、お早めにサービスを予約してください。

PCS_a016
充電できません - グリッド電力の品質が低い可能性あり
再試行するか他の充電場所やスーパーチャージングを試してください

このアラートの意味:

車両を AC 電源で充電することを阻む条件があるため、充電が停止しました。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

これは、外部充電器または電力網によって引き起こされる電力障害が原因で発生する場合があります。場合によっては、この状態は、近くにある大量の電力を消費する電気機器を使用したことで発生することもあります。

このような考えられる原因を除外できる場合は、車両自体が AC 充電に影響を与えている可能性があります。

対応策:

このアラートに付随して AC 充電に影響を与える状態を示す別のアラートが発生している場合、そのアラートの調査を先に開始してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクターを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。

- 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
- それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクターに問題があることが考えられます。

- ウォール コネクターを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクターなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
  - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクターに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクターに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

複数の場所で異なる充電装置を使用して充電しようとしてもアラートが消えない場合、サービスを予約することを推奨します。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a017
充電停止 - 充電中に停電
電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

充電途中で電源が切れました。充電機器の電源（壁面コンセントなど）損失か、充電器の問題が原因と考えられます。

対応策:

このアラートは、しばしば問題を特定し、トラブルシューティングするのに役立つ他のアラートを伴っていることがあります。充電問題に関連して表示された他のアラートを調査開始します。

あるいは、モバイル コネクターやウォール コネクターのステータス ライトをチェックして、装置までの電源を確認し、さらに点滅コードに従って製品のオーナーズ マニュアルでトラブルシューティング情報を参照してください。他の（Tesla 以外の）外部充電器を使用している場合は、トラブルシューティングの助けになるディスプレイや他のユーザーインターフェイスを確認してください。

明らかに充電機器に電源が切れている場合は、壁面コンセントやウォール コネクターのサーキット ブレーカーが切れていないか確認してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクターを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
  - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
  - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクターに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクターを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクターなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
  - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクターに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクターに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a019
電力系統または車両の問題によって AC 充電が制限される
プラグを抜いてから再試行/別の充電現場を試す

このアラートの意味:

車両の AC 充電に悪影響を与える条件があるため、充電速度が制限されています。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

これは、外部充電器または電力網によって引き起こされる電力障害が原因で発生する場合があります。場合によっては、この状態は、近くにある大量の電力を消費する電気機器を使用したことで発生することもあります。

このような考えられる原因を除外できる場合は、車両自体が AC 充電に影響を与えている可能性があります。

対応策:

このアラートに付随して AC 充電に影響を与える状態を示す別のアラートが発生している場合、そのアラートの調査を先に開始してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクターを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
  - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
  - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクターに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクターを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクターなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
  - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクターに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクターに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

複数の場所で異なる充電装置を使用して充電しようとしてもアラートが消えない場合、サービスを予約することを推奨します。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a032
グリッド電源の品質低下を検出
他の充電設備または場所で再試行

このアラートの意味:

車両の AC 充電に悪影響を与える条件があるため、充電速度が制限または中断されています。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

車両の車載充電器が、電力網の電力障害を検出しました。これらの障害は、車両の充電プロセスと干渉します。

これらの電力障害の一般的な原因は次のとおりです。

- 建物側の配線または壁面コンセントの異常。
- 外部充電器の異常。
- 洗車機や空調ユニットといったその他の大型電気機器が、一時的に大きな電力を消費し、電力網を阻害した場合。
- 電力網に影響を与える外的条件。

対応策:

このアラートは一般に、外部充電器と電源に特有のもので、一般整備で対応できる車両の問題ではないため、以下の対応をお薦めします。

- 別の壁面コンセントで充電を試してください。
- その他の大型電気機器が電力を消費していない場合、充電を再度試みてください（いったん外してから再接続して再試行）。
- 複数の場所で、複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a052
外部充電機器が給電不可
電源を確認するか、別の機器で再試行

このアラートの意味:

車両を AC 電源で充電することを阻む条件があるため、充電を開始することができませんでした。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

車両が外部充電器に AC 電源を要求しましたが、車載充電器は外部充電器からの供給電圧を検出していません。

これは、外部充電器固有のハードウェア問題が原因である場合があります。これにより、要求されたときに充電器が車両の充電をオンまたはオフに切り替えることができなくなります。外部充電器に影響を与える別の問題、または車両自体に影響を与える問題が原因で発生する可能性もあります。

対応策:

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a053
充電速度低下 - 不測の電圧降下
延長コードを外します/配線の点検が必要

このアラートの意味:

充電中に大きな電圧降下を検出したため、車載充電器が充電速度を下げました。

これには以下のような理由が考えられます。

- 建物側の配線または壁面コンセントの異常。
- 求められる充電電流に対応していない延長コードまたはその他の配線。

この問題は車両の充電中に、電気機器が同じ分岐回路から大きな電力を消費している場合も起こる可能性があります。

この警告は、非対応の充電アダプターを充電ステーションで使用した場合にも表示されることがあります。

対応策:

普段よく充電する場所で同じ問題が何度も発生する場合は、電気工事士に連絡して電気設備の点検を依頼してください。電気工事士が確認すべき点は次の事項です。

充電アダプターを使用する場合は、必ず充電ステーションに適したアダプターを使用してください。

- J1772 AC 充電ステーションの場合は、J1772 アダプターのみを使用します。
- CCS コンボ 1 DC 充電ステーションの場合は、CCS コンボ 1 アダプターのみを使用します。
- 誤った種類のアダプターは、物理的には接続または装着できるように見えても、正しく電力が供給されないおそれがあります。

- 接続されている充電機器およびそこから建物までの接続。
- モバイル コネクターを接続するすべての壁面コンセントを含む建物側の配線。
- 配電網から建物に引き込まれる電気系の接続。

車両の充電電流を下げる必要があるか、またはより高い充電電流に対応するように設備をアップグレードする必要があるか、電気工事士にご相談ください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a054
大幅な電圧降下のため充電停止
延長コードを外します/配線の点検が必要

このアラートの意味:

車載充電器が異常な電圧降下を検出したため、充電が中断されました。

これには以下のような理由が考えられます。

- 建物側の配線または壁面コンセントの異常。
- 求められる充電電流に対応していない延長コードまたはその他の配線。

この問題は車両の充電中に、電気機器が同じ分岐回路から大きな電力を消費している場合も起こる可能性があります。

対応策:

普段よく充電する場所で同じ問題が何度も発生する場合は、電気工事士に連絡して電気設備の点検を依頼してください。電気工事士が確認すべき点は次の事項です。

- 接続されている充電機器およびそこから建物までの接続。
- モバイル コネクターを接続するすべての壁面コンセントを含む建物側の配線。
- 配電網から建物に引き込まれる電気系の接続。

車両の充電電流を下げる必要があるか、またはより高い充電電流に対応するように設備をアップグレードする必要があるか、電気工事士にご相談ください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a073
外部充電器にエラーを検知
他の充電器で再試行してください

このアラートの意味:

車両を AC 電源で充電することを阻む条件があるため、AC 充電を開始することができませんでした。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

車両の車載充電器は、外部充電器から電力が要求されていないときに充電ポートで入力電圧を検出しています。これは、外部の充電器が通常どおりに機能していないことを示しています。

これは、外部充電器固有のハードウェア問題が原因である場合があります。これにより、要求されたときに充電器が車両の充電をオンまたはオフに切り替えることができなくなります。また、外部充電器に影響を与える別の問題、または車両自体に影響を与える問題が原因で発生する可能性もあります。

対応策:

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a090
充電制限 - 一部の AC 相で電力なし
電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

車両の AC 充電に悪影響を与える条件があるため、充電速度が制限されています。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

車両の車載充電器が、1 台または複数の電力コンバーターに必要な AC 入力電圧がないことを検出しました。例：三相充電中に、外部ソースから供給される AC 入力電力から 1 つの相が欠落している可能性があります。これは、外部充電器に影響を与える条件、接続している電源、または車両自体が原因で発生する可能性があります。

対応策:

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、充電およびアダプター製品ガイドにある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PM_a092 / PMF_a092 / PMR_a092
パワートレインの問題を検出 - サービスを予約してください
機能が復旧しても問題が解消しない可能性があります

このアラートの意味:

あなたの車両のパワートレインはサービスが必要です。出力、速度および加速が減速する可能性があり、車両を走行中にシャットダウンさせることが必要になる可能性があります。

このアラートはパワートレインの点検およびサービスを必要とする持続的な状態を示します。

現在のドライブの後にこのアラートが解消し、その後のドライブで戻ることがなかったとしても、サービスを実施して車両が検出したパワートレインの問題を解決する必要があります。

対応策:

できるだけ早い機会に車両のパワートレインのサービスを予約することをお勧めします。

サービスを実施しない場合、車両の出力が低下し、速度および加速度が減少した状態が継続します。運転中に車両をシャットダウンしなければならない事態や運転できない状態になる可能性があります。

TAS_a313
アダプティブ ライド コントロールの機能低下
乗り心地が低下する可能性があります

このアラートの意味:

これは車両のアダプティブ サスペンション ダンピング システムに関する問題です。結果的に、サスペンション システムをリアルタイムで調整して、乗り心地とハンドリングの両方を最適化することができなくなります。

その代わり、すべてのダンパーは一定の電流を受けます。乗り心地は通常よりもソフトになるかしっかりとします。

対応策:

このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

このアラートではタッチスクリーンに黄色のインジケーター ライトの点灯が付随します。詳細な情報については、サスペンション ページ 89 を参照してください。

TAS_a314
アダプティブ ライド コントロール使用不能
車速は制限されています - 慎重に進んでください

このアラートの意味:

これは車両のアダプティブ サスペンション ダンピング システムに関する問題です。結果的に、システムは乗り心地とハンドリングの両方を最適化するためにサスペンション システムをリアルタイムで調整することができないため、乗り心地は普段よりもソフトになります。

対応策:

このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

このアラートではタッチスクリーンに赤色のインジケーター ライトの点灯が付随します。詳細な情報については、サスペンション ページ 89 を参照してください。

UI_a004
フロントトランクが開いています
慎重に進んでください

このアラートの意味:

車両のフロントトランク（フード）が、運転中に開いていることが検出されました。

このアラートは、フードを固定している 2 つのラッチ（フロントトランクのプライマリーラッチおよびセカンダリーラッチ）のうち少なくとも 1 つが、パーキング以外のギアにシフトされたときに完全に確実に閉じられていないことを示しています。

対応策:

走行中にフロントトランクが開く可能性がありますので、安全に停車し、パーキングにシフトするまで慎重に走行することをお勧めします。

駐車後、フロントトランク（フード）が完全に閉まっていること（両方のラッチが完全にかみ合っている）を確認してください。詳細については、フロント トランク ページ 33 を閉める方法を参照してください。

車両がパーキングにシフトされると、アラートは解除されます。ただし、フードを点検して完全に閉じないと、運転の再開時にアラートが再発する可能性があります。

アラートが何度も続く場合、または運転するうちに発生頻度が高くなる場合は、早急に修理を依頼されることをお勧めします。

フロントトランクに関する詳細情報については、フロント トランク ページ 33 をご参照ください。

UI_a006
整備が必要です
今すぐ/サービスを予約してください

このアラートの意味:

この警告は、サービスが必要な状態が車両に検出されると、Tesla がリモートで設定します。

この警告はさまざまな状況によって設定される可能性があります。サービスを予約すると、より詳細な情報を入手することができます。

この警告は車両のサービスが完了した後に、サービス技術者によってしかクリアすることができません。

対応策:

この警告はさまざまな状態で発生するおそれがありますので、できるだけ早くサービスを予約することをお勧めします。

UI_a013
タイヤの空気圧が低すぎます
安全に車両を駐車し、パンクしていないか確認してください

このアラートの意味:

このアラートは、車両の 1 つ以上のタイヤの空気圧が極端に低いか、またはパンクしていることを示しています。

タイヤ空気圧モニタリングシステム（TPMS）は、1 つ以上のタイヤ空気圧が推奨された低温時のタイヤ空気圧より著しく低下していることを検知しました。

対応策:

注意しながらすぐに車両を路肩に停車させてください。安全な場所でパンクしていないかを確認してください。

必要に応じて、テスラ ロードサイドアシスタンス オプション（出張タイヤ交換サービス、レンタルホイール、けん引）をご依頼いただけます。さらなる詳細は、Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する ページ 234 をご参照ください。

緊急時以外であれば、地域のタイヤ販売店を訪れて支援を求め、Tesla モバイル アプリを使用してサービス予約することを推奨します。

車両のタイヤの寒冷時推奨圧力値（RCP）の記載箇所、タイヤ空気圧の点検方法、およびタイヤ空気圧の正しい維持方法に関する詳細な情報については、「タイヤ空気圧の維持」 ページ 198 を参照してください。

TPMS がタイヤ空気圧測定を行い、各タイヤの空気圧力が寒冷時推奨値の誤差 3 psi 以内であることが確認されると、アラートは解除されます。

- タイヤに推奨低温時圧力まで空気を入れた直後は、このアラートがまだ存在し、タイヤ空気圧インジケーター ライトがまだ点灯している可能性がありますが、これら両方は短い距離を運転した後には解消します。
- タイヤ空気圧モニタリング システムが更新されたタイヤ空気圧を測定して報告するには、15 mph（25 km/h）を超えて 10 分以上運転する必要がある場合があります。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 198 を参照してください。

UI_a014
タイヤの空気圧が推奨値以下
空気圧を確認し、必要に応じて充填してください

このアラートの意味:

このアラートは、タイヤのパンクを示すものでは「ありません」。

タイヤ空気圧モニタリングシステム（TPMS）は、1 つ以上のタイヤ空気圧が推奨された低温時タイヤ空気圧より少なくとも 20% 低下していることを検知しました。

車両のタイヤの寒冷時推奨圧力値（RCP）の記載箇所、タイヤ空気圧の点検方法、およびタイヤ空気圧の正しい維持方法に関する詳細な情報については、「タイヤ空気圧の維持」 ページ 198 を参照してください。

タイヤの空気は冷えると自然に収縮して、タイヤ空気圧は減少するので、このアラートは寒冷気象の際に発生する可能性があります。

対応策:

空気を入れて、推奨低温時タイヤ空気圧を維持してください。より気温の低い気象条件ではタイヤ空気圧の低下が予測されますが、常に推奨低温時タイヤ空気圧を維持するようにしてください。

車両が走行するとアラートが消えることがあります。これはタイヤが暖まることで、タイヤ空気圧が増加するためです。アラートが消えても、冷却後にタイヤに空気を入れてください。

それぞれのタイヤが推奨低温時圧力まで加圧されていることを、タイヤ空気圧モニタリングシステムが検知するとこのアラートは解消されます。

- タイヤに推奨低温時圧力まで空気を入れた直後は、このアラートがまだ存在し、タイヤ空気圧インジケーター ライトがまだ点灯している可能性がありますが、これら両方は短い距離を運転した後には解消します。
- タイヤ空気圧モニタリング システムが更新されたタイヤ空気圧を測定して報告するには、15 mph（25 km/h）を超えて 10 分以上運転する必要がある場合があります。

同じタイヤでこのアラートが繰り返し表示される場合は、タイヤの空気漏れがないかを点検してください。最寄りのタイヤ販売店を訪問するか、Tesla モバイル アプリを使用してサービス予約をすることができます。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 198 を参照してください。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 198 を参照してください。

UI_a137
サービスが車両に接続しています
サービスがリモート診断実行中

このアラートの意味:

サービス技術者がお客様の車両に遠隔でログインし、診断または修理を行います。接続中にインフォテイメント機能の一部が使用できなくなる場合がありますが、このアラートは車両の問題を示すものではありません。

車両を運転しても問題はありません。

対応策:

このアラートは、技術者が車両の診断または修理を完了すると自動的にクリアされます。アラートがクリアされた後、完全なインフォテインメント機能を復元するには、タッチスクリーンを再起動する必要がある場合があります。 詳細の情報は、車両の「DIY ガイド」にある「タッチスクリーンの再起動」を参照してください。

このアラートが 24 時間経過してもクリアされない場合は、Tesla モバイル アプリを介して、または地元業者にサービス予約することを推奨します。地元業者の選択は、車両の構成やお住いの場所により異なります。

UMC_a001
モバイル コネクターを使用した充電不可
不適切なコンセントのアース - 別のコンセントで試行

このアラートの意味:

モバイル コネクターにより電気コンセントのアースが不十分であることが検出されました。アース接続が不十分またはないためと思われます。

これはモバイル コネクターまたは車両に問題があることを示すものではありませんが、モバイル コネクターが接続している壁面コンセント/電気設備に問題があることを示します。

対応策:

電気技術者による電気設備の点検を行ってください。電気技術者はサーキット ブレーカーまたは配電ボックスが正しくアースされていることを確認する必要があります。また、モバイル コネクターを再度差し込む前にコンセントへ適切な接続がなされていることを確認する必要があります。

その間にも充電する必要がある場合、別のコンセント、別の場所、または他のタイプの充電ステーションを使用して充電をしてみてください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

UMC_a002
充電不可 - モバイルコネクター漏電を検知
充電ポートから充電ハンドルを外して再試行します

このアラートの意味:

モバイル コネクターの漏電遮断器（GFCI）が落ちたため、車両は充電を行えません。

壁付けコンセントの GFCI 同様、この機能は、問題がある時に電気の流れを遮断するように設計されています。充電を中断して車両と充電機器を保護します。

これは、さまざまな要因により発生します。充電ケーブル、充電ハンドル、充電ポート、または車載コンポーネントに問題が発生しています。

対応策:

水が溜まっていたり、いつもより結露が多く付着していないか、充電ポートと充電ハンドルを点検します。過剰な結露に気づいたら、もう一度試す前に、待機して、充電ポートの内側と充電ハンドルの露出部分の両方を十分に乾かします。

充電機器に損傷がないか点検してください。

- ケーブルに何か損傷があるか、ケーブルが劣化している場合、**使用しないでください**。別の充電機器をお試しください。
- ケーブルが良好な状態である場合、同じモバイル コネクターを使用して充電を再度お試しください。

問題が解決しておらず充電できない場合、別の充電機器を使用して充電をお試しください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

UMC_a004
モバイルコネクタを使用した充電はできません
電圧超過 / 別の壁面コンセントをお試しください

このアラートの意味:

モバイル コネクターが以下の**いずれか**に該当するため、車両を充電できないか、充電が中断されています。

- 壁付けコンセントの電圧が異常に高い、**または**
- 壁面コンセントで想定外の供給電圧上昇が検出されている。

対応策:

別の壁付けコンセントを使用して、車両の充電をお試しください。 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。電気工事業者に連絡し、このコンセントまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。

別の壁付けコンセントを試しても車両が充電されない場合、別の場所で充電をお試しください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

UMC_a005
モバイルコネクタを使用した充電はできません
電圧低下 / 別の壁面コンセントをお試しください

このアラートの意味:

モバイル コネクターが以下の**いずれか**に該当するため、車両を充電できないか、充電が中断されています。

- 壁付けコンセントから十分な供給電圧を検知していない、**または**
- 壁付けコンセントから予期せぬ供給電圧の低下が検出されている。

対応策:

別の壁付けコンセントを使用して、車両の充電をお試しください。 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。電気工事業者に連絡し、このコンセントまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。

別の壁付けコンセントを試しても車両が充電されない場合、別の場所で充電をお試しください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

UMC_a007
モバイル コネクター制御 ボックスの温度が高い
モバイル コネクターの温度を下げてから充電を再開してください

このアラートの意味:

モバイル コネクターが制御ボックスハウジング内の高温を検知したために充電が中断しました。

対応策:

モバイル コネクターが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。 通常の周囲温度（100°F または 38°C 未満）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

UMC_a008
充電不可 - 壁プラグが高温
壁コンセントおよび配線の点検を推奨

このアラートの意味:

モバイル コネクターによる高温検出アラートは、充電に使用するコンセントが非常に高温になったため、コンセントを保護するために充電が停止したことを示しています。

これはモバイル コネクターまたは車両に問題があることを示すものではありませんが、モバイル コネクターが接続している壁面コンセント/電気設備に問題があることを示します。

コンセントに高温が発生している原因は、プラグが完全に差し込まれていないこと、コンセントへの建物の配線に緩みがあること、コンセントが摩耗し始めていることが考えられます。

対応策:

アダプターがコンセントに完全に挿入されていることを確認します。充電速度が正常な状態に戻らない場合は、電気工事業者に連絡し、コンセントおよび建物の配線を調査して必要な修理を行ってください。

コンセントが古くなっている場合は、品質の高いコンセントと交換してください。Tesla ウォールコネクターのアップグレードを検討してください。利便性および充電速度をさらに向上できます。

UMC_a009
充電不可 - 充電ハンドルの温度が高い
充電ハンドルまたはポートに異物がないか確認してください

このアラートの意味:

モバイル コネクターが、車両の充電ポートに接続している充電ハンドルの高温を検出したため、充電が中断されました。

対応策:

モバイル コネクターが車両の充電ポート入口にしっかり挿入されていることを確認してください。

充電ポート入口およびモバイル コネクター ハンドルに障害物や水分がないか点検してください。充電ポートまたはモバイル コネクターの障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、モバイル コネクター ハンドルを再度、充電ポートに挿入します。

さらにモバイル コネクターの充電ハンドルが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。

正常な周辺温度（100°F または 38°C未満）でも警告が消えず、複数回充電を試みても発生する場合、モバイル コネクターまたは車両に影響を及ぼしている状態を示している可能性があります。都合の良いときにサービスを予約することをお勧めします。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

UMC_a010
モバイル コネクターからアダプターまでの接続部が加熱
冷えるのを待つ - アダプターをモバイル コネクターにしっかり差し込む

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁面プラグ アダプターと制御ボックスの間の接続に高温を検知したため、充電が中断されました。

対応策:

壁面プラグ アダプターがモバイル コネクターの制御ボックスにしっかり接続していることを確認します。

さらに壁面プラグ アダプターが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。

電源（壁面コンセント）からプラグを抜いたら、壁面プラグ アダプターの接続およびモバイル コネクターの制御ボックスの接続に障害物や水分がないか点検してください。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、壁面プラグ アダプターを再度モバイル コネクターに挿入してから、さらに電源（壁面コンセント）に接続します。

モバイル コネクター制御ボックスの温度が下がり、障害物を取り除いたら、警告が消えて充電が可能になります。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

UMC_a011
充電機器に通信エラーが発生しました
再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

モバイル コネクターと有効な通信ができないために車両を充電できません。モバイル コネクターは、充電ハンドルが車両にしっかり接続していることを、近接検知によって確認することができません。

対応策:

まず、有効な通信がない原因が、モバイル コネクターによるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

これを確認するためには、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、モバイル コネクターの問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ポート入口およびモバイル コネクター ハンドルに障害物がないことを確認してください（必要に応じてフラッシュライトを使用）。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってからモバイル コネクター ハンドルを充電ポートに挿入します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、充電方法 ページ 184 を参照してください。

UMC_a012
充電機器に通信エラーが発生しました
再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

モバイル コネクターと有効な通信ができないために車両を充電できません。モバイル コネクターは有効な制御パイロット信号を生成または維持できないことを検出しました。

対応策:

まず、有効な通信がない原因が、モバイル コネクターによるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

これを確認するためには、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、モバイル コネクターの問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ポート入口およびモバイル コネクター ハンドルに障害物がないことを確認してください（必要に応じてフラッシュライトを使用）。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってからモバイル コネクター ハンドルを充電ポートに挿入します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、充電方法 ページ 184 を参照してください。

UMC_a013
壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下
アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁プラグ アダプターと通信できません。 モバイル コネクターは壁プラグ アダプターの温度を監視できないため、充電電流は自動的に 8A に減少します。

対応策:

1. 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクターを完全に抜きます。
2. 壁プラグ アダプターとモバイル コネクター本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
   a. モバイルコネクター本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。
   b. 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクター本体に完全に再挿入します。
3. 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクターを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
4. 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクターに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
   a. アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた AC アダプターに問題がある可能性があります。
   b. アラートが続く場合は、モバイルコネクターに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクターを購入します。

それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は 8A に制限されるため、充電速度は低下します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

UMC_a014
壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下
アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁プラグ アダプターと通信できません。 モバイル コネクターは、AC アダプターが接続されているコンセントの種類を識別できないため、充電電流は自動的に 8A に減少します。

対応策:

1. 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクターを完全に抜きます。
2. 壁プラグ アダプターとモバイル コネクター本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
   a. モバイルコネクター本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。
   b. 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクター本体に完全に再挿入します。
3. 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクターを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
4. 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクターに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
   a. アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた AC アダプターに問題がある可能性があります。

b. アラートが続く場合は、モバイルコネクターに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクターを購入します。 それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は 8A に制限されるため、充電速度は低下します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

UMC_a015
壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下
アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁プラグ アダプターと通信できません。 モバイル コネクターは、AC アダプターが接続されているコンセントの種類を識別できないため、充電電流は自動的に 8A に減少します。

対応策:

1. 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクターを完全に抜きます。
2. 壁プラグ アダプターとモバイル コネクター本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
   a. モバイルコネクター本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。
   b. 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクター本体に完全に再挿入します。
3. 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクターを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
4. 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクターに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
   a. アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた AC アダプターに問題がある可能性があります。
   b. アラートが続く場合は、モバイルコネクターに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクターを購入します。 それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は 8A に制限されるため、充電速度は低下します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

UMC_a016
モバイル コネクター制御ボックス高温
最大充電速度低下

このアラートの意味:

モバイル コネクターが制御ボックスハウジング内の高温を検知したために充電電流が一時的に低下しています。

対応策:

モバイル コネクターが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。 通常の周囲温度（100°F または 38°C 未満）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

UMC_a017
充電速度が低下 - 壁プラグが高温
壁コンセントおよび配線の点検を推奨

このアラートの意味:

モバイル コネクターによる高温検出アラートは、充電に使用するコンセントが非常に高温になったため、コンセントを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはモバイル コネクターの問題ではなく、コンセントの問題です。コンセントに高温が発生している原因は、プラグが完全に差し込まれていないこと、コンセントへの建物の配線に緩みがあること、コンセントが摩耗し始めていることが考えられます。

対応策:

アダプターがコンセントに完全に挿入されていることを確認します。充電速度が正常な状態に戻らない場合は、電気工事業者に連絡し、コンセントおよび建物の配線を調査して必要な修理を行ってください。

コンセントが古くなっている場合は、品質の高いコンセントと交換してください。Tesla ウォールコネクターのアップグレードを検討してください。利便性および充電速度をさらに向上できます。

UMC_a018
充電電流減少 - ハンドルの温度が高い
充電ハンドルまたはポートに異物がないか確認してください

このアラートの意味:

モバイル コネクターが、車両の充電ポートに接続している充電ハンドルの高温を検出したため、充電電流が一時的に減少しています。

対応策:

モバイル コネクターが車両の充電ポート入口にしっかり挿入されていることを確認してください。

充電ポート入口およびモバイル コネクター ハンドルに障害物や水分がないか点検してください。充電ポートまたはモバイル コネクターの障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、モバイル コネクター ハンドルを再度、充電ポートに挿入します。

さらにモバイル コネクターの充電ハンドルが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。

正常な周辺温度（100°F または 38°C未満）でも警告が消えず、複数回充電を試みても発生する場合、モバイル コネクターまたは車両に影響を及ぼしている状態を示している可能性があります。都合の良いときにサービスを予約することをお勧めします。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

UMC_a019
モバイル コネクターからアダプターまでの接続部が加熱
最大充電速度低下

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁面プラグ アダプターと制御ボックスの間の接続に高温を検知したため、充電電流が削減されました。

対応策:

壁面プラグ アダプターがモバイル コネクターの制御ボックスにしっかり接続していることを確認します。

電源（壁面コンセント）からプラグを抜いたら、壁面プラグ アダプターの接続およびモバイル コネクターの制御ボックスの接続に障害物や水分がないか点検してください。

ごみ/異物をすべて取り除くことをお勧めします。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、壁面プラグ アダプターを再度モバイル コネクターに挿入してから、さらに電源（壁面コンセント）に接続します。

さらに壁面プラグ アダプターが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。 正常な周辺温度（100°F または 38°C未満）でも警告が消えず、複数回充電を試みても発生する場合、モバイル コネクターまたは車両に影響を及ぼしている状態を示している可能性があります。都合の良いときにサービスを予約することをお勧めします。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については地図とナビゲーション ページ 167 を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

UMC_a040
モバイルコネクターの接地不良
接地されたコンセントに接続

このアラートの意味:

モバイルコネクターが接続された電源コンセントに、適切な接地がされていないことを検出しました。これは、モバイルコネクターや車両自体の不具合を示すものではありません。この警告は、電気設備側に問題があることを示しています。

警告: 接地されていないコンセントで充電を行うと、感電の恐れがあります。

対応策:

別の電源コンセントにモバイルコネクターを接続してみてください。延長コードやサードパーティ製アダプターは取り外してください。

モバイルコネクターを接続するコンセントが適切に接地されているか、電気工事士に確認を依頼してください。

モバイルコネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

また、Tesla スーパーチャージャーを含む他の充電方法を利用することも可能です。これらの充電ステーションは、車両のセンター画面に表示される地図上で検索できます。問題の切り分けのため、お住まいの地域にサードパーティの充電ステーションが利用できる場合もあります。詳細は、航続距離を最大限に伸ばす ページ 191 内の「レンジアシュアランス」セクションをご参照ください。

VCFRONT_a180
電力システムの電力減少
車は突然シャットダウンされることがあります

このアラートの意味:

電気系が車両の全機能をサポートする電圧を維持できません。

運転中にこのアラートが発生した場合、車両が突然停止する可能性があります。

車両がパーキング レンジにあるときまたは最初に起動したときにアラートがある場合、ドライブを開始するために十分な電力がない可能性がある場合があります。個々の車両アラートはその状態を示すためにあるのかも知れません。

対応策:

必須ではない機能の使用をやめるか減らすことを推奨します。こうすると車両が必須機能のために十分な電力を維持することを支援することができます。

このアラートが有効なままになっている場合、サービスの予約を直ちにしてください。整備を行わない場合、車両が走行しなくなる、突然シャットダウンする、または再起動しなくなるおそれが生じます。

VCFRONT_a182
サービスを予約し低電圧バッテリーを交換する
バッテリーを交換するまでソフトウェア更新不可

このアラートの意味:

低電圧バッテリーの性能が劣化しているため、交換する必要があります。低電圧バッテリーを交換するまで、車両ソフトウェアのアップデートはできません。

対応策:

できるだけ早急に低電圧バッテリーを交換することを推奨します。

サービス予約は Tesla モバイル アプリからや、車両の低電圧バッテリーの交換を提供する独立系サービス プロバイダーで実施することができます。地元業者の選択は、車両の構成やお住いの場所により異なります。

低電圧バッテリーに十分な電力がないために、車両の電源を入れることができない場合やドアが開かなくなっている場合は、ジャンプスタート ページ 238 の指示に従ってください。

バッテリーシステムに関する詳細情報については、高電圧バッテリーに関する情報 ページ 182 をご参照ください。

VCFRONT_a191
電力システムの電力減少
車はシャットダウン中

このアラートの意味:

低電圧バッテリーは、ドライブまたはドライブの継続に必要な電力を供給することができません。車両をシャットダウンして、ドライブ以外の重要な機能に使用するためのエネルギーを節約します。

この状態が継続している間は、車両を運転することやドライブを継続することはできません。

対応策:

運転中にこのアラートが発生した場合、車両を直ちに停止させる必要があります。以下のとおりにしてください。

- 直ちに安全を確かめて車両を停めてください
- モバイル アプリを使用して、Tesla のロードサイドアシスタンスに直ちに連絡するか、希望するのであればその他のロードサイドアシスタンスをリクエストします。

すぐに安全な場所に停車できない場合、車両は突然シャットダウンする可能性があります。また、一旦駐車すると、車両を再始動させることができない可能性もあります。

このアラートが発生した場合、電気系は車両の全ての機能をサポートするために必要な電圧を維持できません。車両の多くの機能が作動しなくなる可能性があります。

車両がすべての電力を喪失する可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は車内からドアを開ける ページ 26 を参照してください。

このアラートはさまざまな車両の状況によって発生する可能性があります。詳細情報およびその他の推奨されるアクションについては、その他の能動的車両アラートを確認してください。

このアラートが依然として存在している場合、サービスの予約を直ちにしてください。整備を行わない場合、車両が走行しなくなる、突然シャットダウンする、または再起動しなくなるおそれが生じます。

VCFRONT_a192
電気系はすべての機能をサポートすることができない
機能をオフにしてエネルギーを節約する

このアラートの意味:

電気系はすべての車両の機能をサポートすることはできません。車両は必須ではない機能をシャットダウンして必須機能のためのエネルギーを保持します。

このアラートが出たときに走行している場合、不意に車両がシャットダウンする可能性があります。また、一旦駐車すると、車両を再始動させることができない可能性もあります。

必須ではない機能は使用できない可能性があり、これにはシート ヒーター、キャビン環境コントロール、および車両内のエンターテイメントが含まれます。これは、車両が必須機能（ヘッドライト、ウィンドウ/ドア、ハザード ランプおよびフロント トランク（フランク）の操作機能 など）に対して十分な電力を維持するための予測される挙動です。

車両がすべての電力を喪失する可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は車内からドアを開ける ページ 26 を参照してください。

対応策:

このアラートはさまざまな車両の状況によって発生する可能性があります。詳細情報およびその他の推奨されるアクションについては、その他の能動的車両アラートを確認してください。

VCFRONT_a216
車両が再始動しない可能性 - サービスが必要
電気系に問題を検出

このアラートの意味:

異常に大きく継続的な電力の引き込み走行中または高速充電/DC 急速充電中のによって、車両の電気系が、すべての機能をサポートできなくなっています。

電気系のサービスを実行するまで車両は再始動しません。

キャビン空調と通気口の位置調整、電動トランク リフトゲート、およびステアリング コラム調整は制限されるか使用できない可能性があります。

その他の機能も使用できないか、その性能に影響が生じる可能性があります。 これには次が含まれます。

- 電動ドア
- パワーウインドウ
- フロントシート（動きおよび加熱）
- 後部座席シート ヒーター
- サイドミラーの動き

対応策:

できるだけ早い機会にサービスを予約することを推奨します。 サービスをしない場合、車両は依然として再始動することができず、電気系はすべての機能をサポートすることができないままになります。

車両の電動ドアおよび窓の一部または全部が電力を失う可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。更なる情報は、車内からドアを開ける ページ 26 を参照してください。

VCFRONT_a220
電気系はすべての機能をサポートすることができない サービスの予約

このアラートの意味:

低電圧バッテリーを使用できないため、車両機能への電気的サポートを提供できません。

車両が予期せずシャットダウンするおそれがあります。最後のドライブの後に車両を再始動させることができない可能性もあります。

必須ではない機能の一部が使用できなくなっている可能性があります。これは、車両が必須機能に対するエネルギーを維持するための予測される挙動です。

対応策:

必須ではない機能の使用をやめるか減らすことを推奨します。そうすることで、整備が完了するまでの間、運転以外の重要機能に対して、車両が十分な電力を保持することが可能になります。

このアラートが依然として存在している場合、サービスの予約を直ちにしてください。整備を行わない場合、車両が走行しなくなる、突然シャットダウンする、または再起動しなくなるおそれが生じます。

VCFRONT_a396
クーラント低 - サービスを予約してください 空調/走行性能が制限される可能性あり

このアラートの意味:

車両がクーラントの不足を検出しました。これは多くの場合、漏れが原因です。

クーラントが著しく少ない場合、走行性能や空調機能に影響を与えたり、車両部品に損傷を与えるおそれがあります。

対応策:

車両を安全な場所に停車してください。車両の下を点検し、漏れや損傷の兆候がないか確認してください。以下の明らかな兆候がないか確認してください。

- 青色またはオレンジ色の液体（クーラント）の漏れやたまり
- 車両下部のいずれかの部分に著しい損傷が見られる

明らかな漏れや重大な損傷が確認された場合は、直ちにサービスを予約してください。そのまま走行を続けると、車両が動かなくなったり、機能が制限されるおそれがあります。

明らかな漏れや損傷が見つからない場合でも、早めにサービスの予約を行ってください。その間は車両を運転することに問題はありません。問題を正確に診断・解決するためにも、サービスを予約することを引き続きおすすめします。

クーラントを適正なレベルまで補充することで、警告が消える場合があります。ただし、警告が再び表示される場合は、漏れが発生している可能性が高いため、引き続きサービスを予約してください。クーラントを補充する際は、必ず Tesla が承認したクーラントのみを使用してください。適切なクーラントの種類については、車両のサービスマニュアルをご参照ください。

VCFRONT_a402
電気系バックアップ電力利用不能 アイドリング中車両はより多くのエネルギーを消費します

このアラートの意味:

電気系のバックアップ電源である低電圧バッテリーを利用できません。または車両のすべての 機能をサポートするために必要な電圧を提供できません。

一次電力源である高電圧バッテリー システムは車両がアイドリング状態であっても、車両の機能をサポートし続けます。高電圧バッテリーに関する詳細情報については、高電圧バッテリーに関する情報 ページ 182 を参照してください。

必須ではない機能の一部が使用できなくなっている可能性があります。これは、車両が必須機能に対するエネルギーを維持するための予測される挙動です。

また、運転中以外に、車両が普段よりも多くのエネルギーを消費していることや、充電後に通常予測するよりも短い予測航続距離が車両に表示されていることに気付くことがあります。このアラートが発生した場合、このは車両の通常の挙動であり、バックアップ電源を回復するまでこの状態を継続します。

一次電源に影響を及ぼす問題によって、車両が突然シャットダウンする可能性があります。

対応策:

必須ではない機能の使用を制限するか、やらないようにするを推奨します。こうすると車両が必須機能のために十分な電力を維持することを支援することができます。

できるだけ早急にサービスを予約し、電気系のバックアップ電源のサービス予約をして、電気系のバックアップ電源が回復するようにすることを推奨します。

VCFRONT_a496
車両はシャットダウンの準備中
安全を確かめて停車してください

このアラートの意味:

電気系はドライブのためのまたはドライブを継続するための十分なサポートを提供できません。車両は、ドライブ以外の重要な機能のためのエネルギーを確保するためにシャットダウンする準備をしています。

この状態が継続している間は、車両を運転することやドライブを継続することはできません。

対応策:

運転中にこのアラートが発生した場合、車両を直ちに停止させる必要があります。以下のとおりにしてください。

- できるだけ早く、安全を確かめて車両を停めてください
- モバイル アプリを使用して、Tesla のロードサイドアシスタンスに直ちに連絡するか、希望するのであればその他のロードサイドアシスタンスをリクエストします。

すぐに安全な場所に停車できない場合、車両は突然シャットダウンする可能性があります。また、一旦駐車すると、車両を再始動させることができない可能性もあります。

車両がすべての電力を喪失する可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は、車内からドアを開ける ページ 26 を参照してください。

このアラートはさまざまな車両の状況によって発生する可能性があります。詳細情報およびその他の推奨されるアクションについては、その他の能動的車両アラートを確認してください。

VCFRONT_a592
運転不能 - サービスが必要
電気系に問題を検出

このアラートの意味:

異常に大きく継続的な電力の引き込みによって、車両の電気系が、すべての機能をサポートできなくなっています。

このアラートが存在しているときは、車両を走行させることができず、車両は再始動しません。

キャビン空調、電動トランク リフトゲート、およびステアリング コラム調整は制限されるか使用できない可能性があります。 車両の 左側 の多くの機能は使用できないか、その性能に影響が生じる可能性があります。 これには次が含まれます。

- 電動ドア
- パワーウインドウ
- フロントシート（動きおよび加熱）
- 後部座席シート ヒーター
- サイドミラーの動き

対応策:

サービスをしない場合、車両は依然として走行することができず、電気系はすべての機能をサポートすることができないままになります。

車両の電動ドアおよび窓の一部または全部が電力を失う可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。更なる情報は、車内からドアを開ける ページ 26 を参照してください。

VCFRONT_a593
運転不能 - サービスが必要
電気系に問題を検出

このアラートの意味:

異常に大きく継続的な電力の引き込みによって、車両の電気系が、すべての機能をサポートできなくなっています。

このアラートが存在しているときは、車両を走行させることができず、車両は再始動しません。

キャビン空調、電動トランク リフトゲート、およびステアリング コラム調整は制限されるか使用できない可能性があります。 車両の 左側 の多くの機能は使用できないか、その性能に影響が生じる可能性があります。 これには次が含まれます。

- 電動ドア
- パワーウインドウ
- フロントシート（動きおよび加熱）
- 後部座席シート ヒーター
- サイドミラーの動き

対応策:

サービスをしない場合、車両は依然として走行することができず、電気系はすべての機能をサポートすることができないままになります。

車両の電動ドアおよび窓の一部または全部が電力を失う可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。更なる情報は、車内からドアを開ける ページ 26 を参照してください。

VCFRONT_a596
運転不能 - サービスが必要
電気系に問題を検出

このアラートの意味:

異常に大きく継続的な電力の引き込みによって、車両の電気系が、すべての機能をサポートできなくなっています。

このアラートが存在しているときは、車両を走行させることができず、車両は再始動しません。

通気口の配置調整は制限されるか使用できないことがあります。 車両の 右側 の多くの機能は使用できないか、その性能に影響が生じる可能性があります。 これには次が含まれます。

- 電動ドア
- パワーウインドウ
- フロントシート（動きおよび加熱）
- 後部座席シート ヒーター
- サイドミラーの動き

対応策:

できるだけ早い機会にサービスを予約することを推奨します。 サービスをしない場合、車両は依然として走行することができず、電気系はすべての機能をサポートすることができないままになります。

車両の電動ドアおよび窓の一部または全部が電力を失う可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。更なる情報は、車内からドアを開ける ページ 26 を参照してください。

VCFRONT_a597
運転不能 - サービスが必要
電気系に問題を検出

このアラートの意味:

異常に大きく継続的な電力の引き込みによって、車両の電気系が、すべての機能をサポートできなくなっています。

このアラートが存在しているときは、車両を走行させることができず、車両は再始動しません。

通気口の配置調整は制限されるか使用できないことがあります。 車両の 右側 の多くの機能は使用できないか、その性能に影響が生じる可能性があります。 これには次が含まれます。

- 電動ドア
- パワーウインドウ
- フロントシート（動きおよび加熱）
- 後部座席シート ヒーター
- サイドミラーの動き

対応策:

できるだけ早い機会にサービスを予約することを推奨します。 サービスをしない場合、車両は依然として走行することができず、電気系はすべての機能をサポートすることができないままになります。

車両の電動ドアおよび窓の一部または全部が電力を失う可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。更なる情報は、車内からドアを開ける ページ 26 を参照してください。

VCSEC_a221
タイヤの空気圧が推奨値以下
空気圧を確認し、必要に応じて充填してください

このアラートの意味:

このアラートは、タイヤのパンクを示すものでは「ありません」。

タイヤ空気圧モニタリングシステム（TPMS）は、1 つ以上のタイヤ空気圧が推奨された低温時タイヤ空気圧より少なくとも 20% 低下していることを検知しました。

車両のタイヤの寒冷時推奨圧力値（RCP）の記載箇所、タイヤ空気圧の点検方法、およびタイヤ空気圧の正しい維持方法に関する詳細な情報については、「タイヤ空気圧の維持」 ページ 198 を参照してください。

タイヤの空気は冷えると自然に収縮して、タイヤ空気圧は減少するので、このアラートは寒冷気象の際に発生する可能性があります。

対応策:

空気を入れて、推奨低温時タイヤ空気圧を維持してください。より気温の低い気象条件ではタイヤ空気圧の低下が予測されますが、常に推奨低温時タイヤ空気圧を維持するようにしてください。

車両が走行するとアラートが消えることがあります。これはタイヤが暖まることで、タイヤ空気圧が増加するためです。アラートが消えても、冷却後にタイヤに空気を入れてください。

それぞれのタイヤが推奨低温時圧力まで加圧されていることを、タイヤ空気圧モニタリングシステムが検知するとこのアラートは解消されます。

- タイヤに推奨低温時圧力まで空気を入れた直後は、このアラートがまだ存在し、タイヤ空気圧インジケーター ライトがまだ点灯している可能性がありますが、これら両方は短い距離を運転した後には解消します。
- タイヤ空気圧モニタリング システムが更新されたタイヤ空気圧を測定して報告するには、15 mph（25 km/h）を超えて 10 分以上運転する必要がある場合があります。

同じタイヤでこのアラートが繰り返し表示される場合は、タイヤの空気漏れがないかを点検してください。最寄りのタイヤ販売店を訪問するか、Tesla モバイル アプリを使用してサービス予約をすることができます。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 198 を参照してください。

VCSEC_a228
タイヤの空気圧が低すぎます
安全に車両を駐車し、パンクしていないか確認してください

このアラートの意味:

このアラートは、車両の 1 つ以上のタイヤの空気圧が極端に低いか、またはパンクしていることを示しています。

タイヤ空気圧モニタリングシステム（TPMS）は、1 つ以上のタイヤ空気圧が推奨された低温時のタイヤ空気圧より著しく低下していることを検知しました。

対応策:

注意しながらすぐに車両を路肩に停車させてください。安全な場所でパンクしていないかを確認してください。

必要に応じて、テスラ ロードサイドアシスタンス オプション（出張タイヤ交換サービス、レンタルホイール、けん引）をご依頼いただけます。さらなる詳細は、Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する ページ 234 をご参照ください。

緊急時以外であれば、地域のタイヤ販売店を訪れて支援を求め、Tesla モバイル アプリを使用してサービス予約することを推奨します。

車両のタイヤの寒冷時推奨圧力値（RCP）の記載箇所、タイヤ空気圧の点検方法、およびタイヤ空気圧の正しい維持方法に関する詳細な情報については、「タイヤ空気圧の維持」 ページ 198 を参照してください。

タイヤ空気圧モニタリングシステムがタイヤ空気圧測定を行い、各タイヤの空気圧力が 30 psi であることが確認されると、アラートは解除されます。

- タイヤに推奨低温時圧力まで空気を入れた直後は、このアラートがまだ存在し、タイヤ空気圧インジケーター ライトがまだ点灯している可能性がありますが、これら両方は短い距離を運転した後には解消します。
- タイヤ空気圧モニタリング システムが更新されたタイヤ空気圧を測定して報告するには、15 mph（25 km/h）を超えて 10 分以上運転する必要がある場合があります。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 198 を参照してください。

オーナー情報について

文書の適用可能性

お客様の車両に関する最新かつ重要な情報を得るには、車両のタッチスクリーンで**「コントロール」** > **「サービス」** > **「オーナーズマニュアル」**の順にタッチしてオーナーズ マニュアルを表示します。この情報は、購入された機能、車両設定、マーケット地域、およびソフトウェア バージョンに応じた、お客様の車両に特有のものです。これとは対照的にテスラが提供するオーナー情報は適宜更新されるものであり、お客様の車両に特有の情報が含まれない可能性もあります。

ソフトウェアのアップデート後に、タッチスクリーンに新機能に関する情報が表示されます。また、**「コントロール」** > **「ソフトウェア」** > **「リリース ノート」**をタッチすれば、いつでも表示できます。車両の使用方法に関してオーナーズマニュアルの内容がリリースノートの情報と矛盾する場合は、リリースノートを優先してください。

イラスト

本文書に掲載されるイラスト図は例示のために描かれています。車両のオプション、ソフトウェア バージョン、販売地域により、車両のタッチスクリーンに表示される情報は多少異なる場合があります。

利用できる機能

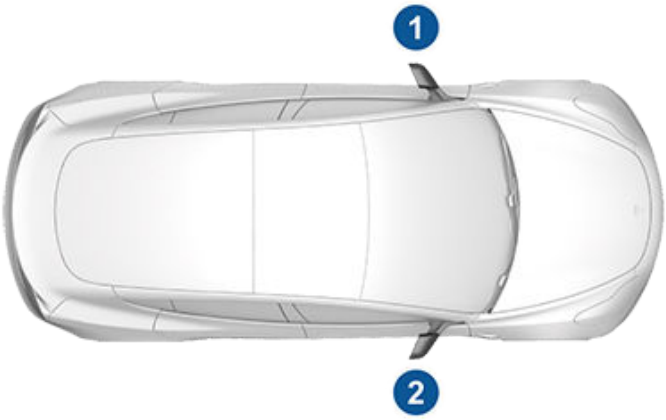
ご利用になれる機能は車両構成または販売市場地域によって異なります。オーナー情報でオプションまたは機能が記されている場合がありますが、お客様の車両でご利用になれることを保証するものではありません。詳細情報については、機能の使用可否に関する声明 ページ 301 を参照してください。

誤りまたは不正確な記述

すべての仕様および記述は、公開の時点で正確であることを確認済みです。ただし、改良を続けることが Tesla の目標であるため、当社はいつでも製品変更を行う権利を留保します。誤記・脱字の報告やオーナーズマニュアルの品質に関する一般的なご意見・ご提案は、ownersmanualfeedback@tesla.com までメールにてお願いいたします。

コンポーネントの位置

オーナー情報は、コンポーネントの位置を車両の左側または右側に示すことがあります。図のように、左 (1) と右 (2) はシートに座った時の車両の左側、右側を示します。



著作権および商標

© 2012-2025 Tesla, Inc. 本書にあるすべての情報およびすべての車両ソフトウェアは、Tesla, Inc.およびライセンス許諾者の著作権およびその他知的財産権の対象となります。本ガイドは、Tesla, Inc. およびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。詳細情報は要求により入手可能です。Tesla はオープンソースのコミュニティによって 制作されたソフトウェアを使用しています。Tesla のオープン ソース ソフトウェアについてはウェブサイト www.tesla.com/opensource を参照してください。HD Radio は、iBiquity Digital Corporation の登録商標です。以下は、Tesla, Inc. の米国またはその他の国における商標または登録商標です。

TESLA

TESLA MOTORS

TESLA ROADSTER

MODEL S

MODEL X

MODEL 3

MODEL Y

CYBERTRUCK

TESLA

本ガイドに含まれる他のすべての 商標はそれぞれの所有者の財産であり、係る商標の本ガイドにおける使用は、これら製品またはサービスを推奨または是認するものではありません。本書または車両に表示されている商標を不正に使用することを固く禁じます。

機能の使用可否に関する声明

Tesla は常に変化しており、ソフトウェアのアップデートのたびに新しい機能が追加され、改良されています。ただし、お客様の車両で動作しているファームウェアによっては、すべての機能が搭載されていない場合や、本オーナーズマニュアルに記載されたとおりに動作しない場合があります。搭載されている機能は、販売地域、車両構成、購入オプション、ソフトウェアのアップデートなどによって異なります。

オーナーズマニュアルでオプションまたは機能が記されている場合がありますが、お客様の車両でご利用になれることを保証するものではありません。最新かつ最高の機能を確実に入手する最善の方法は、通知を受け取ったらすぐに車両のソフトウェアを更新することです。優先設定は、**「コントロール」 > 「ソフトウェア」 > 「ソフトウェアの優先設定」 > 「詳細設定」**でも設定できます。詳細情報については、ソフトウェア アップデート ページ 194 を参照してください。車両で利用可能な機能については、常に現地の法律と制限を遵守して、あなた自身や同乗者、周囲の人々の安全を確保するために、必ず現地の法律や制限を遵守してください。

イベント データ レコーダー（EDR）

Model 3 には、イベント データ レコーダー（EDR）が装備されています。EDR の主な目的は、エアバッグが展開したときや道路にある障害物との衝突したときなど、事故が起こった状況や事故が起こりそうな状況で、車両システムがどのように働いたのかをより理解するのに役立つデータを記録することです。EDR は、車両ダイナミクスおよび安全システムに関連するデータを短時間（通常は 30 秒以下）記録するように設計されています。Model 3 の EDR は以下のようなデータを記録するように設計されています。

- 車両の諸システムがどのように機能したか
- 運転席および助手席のシートベルトがバックルに挿入され、着用されていたかどうか
- ドライバーがアクセルペダルやブレーキ ペダルをどれだけ押していたか
- 車両の移動速度

このデータは、事故や怪我がどのように発生するのかを理解するのに役立ちます。

注: EDR データが記録されるのは重大事故の発生時のみです。普段の運転時に、EDR でデータは記録されず、個人情報データ（名前、性別、年齢、事故発生場所など）も記録されません。しかし、法執行機関などの他の当事者は、EDR データと事故調査中に定期的に取得した個人識別可能データを組み合わせることができます。

EDR で記録されたデータを読み取るには特別な装置が必要であり、車両または EDR にアクセスする必要があります。自動車製造業者に加えて、この特殊な機器を持つ法執行機関など他の当事者は、車両または EDR にアクセス権があればその情報を読み取ることができます。衝突事故の状況によっては、Tesla が EDR に遠隔でアクセスすることがあります。

車両テレマティクス

Model 3 は、モーター、オートパイロットコンポーネント、バッテリー、ブレーキおよび電気系統を含むさまざまな車両システムからのデータを監視および記録する電子モジュールが搭載されています。これらの電子モジュールは、ブレーキング、加速、距離およびその他車両に関連する情報を含む、さまざまな運転および車両の状態に関する情報を記録します。これらのモジュールは、充電イベントとステータス、各種システムの有効化/無効化、診断問題コード、VIN、速度、方向および場所など車両独自の情報も記録します。

車両に保存されるこのデータは、車両の整備中に Tesla サービス技術者によってアクセス、使用、保存することができます。または、車両のテレマティクスシステムを通じて Tesla にワイヤレスで定期的に送信することができます。このデータは次のようなさまざまな目的で Tesla が使用しますがこれらに限定されません。お客様に Tesla テレマティクスサービスを提供すること。トラブルシューティング、車両の品質、機能、性能の評価。Tesla およびそのパートナーが車両の改善と設計のために実施する分析および調査。Tesla の弁護。法律で要求された場合。車両の整備を通して、Tesla は車両のデータログを調査するだけで、遠隔から問題を解決できる場合があります。

Tesla のテレマティクスシステムは、Tesla に情報を定期的にワイヤレス送信します。データは前述の通りに使用され、車両を適切に保守するのに役立てられます。Model 3 の追加機能により、車両のテレマティクス システムおよび提供される情報を使用することがありますが、これら追加機能には充電リマインダー、ソフトウェア更新、車両のさまざまなシステムに対するリモートアクセスおよび制御が含まれます。

Tesla は、以下の場合を除き車両に記録されたデータを第三者に開示することはありません:

- 車両の所有者 (またはリース車両の場合はリース会社) からの同意または合意が得られている場合。
- 警察またはその他の当局により正式に要求された場合。
- Tesla の弁護目的で使用された場合。
- 裁判所により命令された場合。
- 車両所有者の詳細情報または識別情報を開示せずに調査目的で使用する場合。
- 継承者または譲受人を含む Tesla の子会社、もしくは情報システム、およびデータ管理プロバイダーに開示する場合。

お客様の車両から収集したデータの Tesla による処理方法のその他の情報については、http://www.tesla.com/about/legal にある Tesla プライバシー通知を参照してください。

データ共有

品質保証と、オートパイロットなどの高度機能の継続的な改良をサポートするため、お客様の Model 3 から、分析データ、 道路セグメント データ、診断データ、車両使用データが収集され、分析のために Tesla に送信されることがあります。Tesla 車が運転された膨大な走行距離の実績により、この分析を Tesla による製品とサービスの改善に役立てることができます。Tesla は、このデータを同様のデータを提供するパートナーと共有しますが、収集した情報でお客様の身元が特定されることはなく、収集した情報はお客様の明示的な同意によってのみ送信されます。お客様のプライバシー保護のため、個人情報は記録されることはなく、プライバシー保全技術の下で扱われ、あるいは Tesla に送信される前にすべてのレポートから削除されます。お客様は、**「コントロール」** > **「ソフトウェア」** > **「データ共有」**にタッチすることで、共有するデータを管理できます。

お客様の車両から収集したデータの Tesla による処理方法のその他の情報については、http://www.tesla.com/about/legal にある Tesla プライバシー通知を参照してください。

注: ただし、本文書に記載されているように、Model 3 は運転と操作に関連して GPS を使用していますが、Tesla は衝突事故が発生した場所を除き、車両固有の GPS 情報を記録または保存しません。このため、Tesla は車両の位置に関する履歴情報を提供することはできません（例えば特定日時に Model 3 が駐車/走行していた場所についての記録を Tesla は取りません）。

サウンド検知

あなたの車両にはセンサーおよびマイクを使用したサウンド検知技術が装備されています。サウンド検知に依存する機能は、初期設定でデータを処理して車両に保存することだけを実行します。すなわち、データ共有を有効にしている場合を除き、情報を保存したり、送信したりすることはできません。Tesla は、継続的に記録をキャプチャすることはなく、ライブ視聴機能を持っていません。

Tesla が車両の安全性、インテリジェンス、および利便性の機能（緊急車両接近検知機能、音声コマンドなど）を向上できるように、あなたはサウンド検知データを Tesla と共有することを選択することができます。データ共有設定を調整する、またはサウンド検知履歴を任意の時期に消去するためには、**「コントロール」** > **「ソフトウェア」** > **「データ共有」** > **「サウンド検知分析を許可する」**の順に移動します。

あなたがこの情報を Tesla と共有することを選択していた場合であっても、サウンド検知データ（最長で 60 秒間の記録）は、あなたのアカウント、車両または VIN に関連付けされません。

サウンド検出を使用する機能（音声コマンドを含む）がアクティブな場合、上部のステータス バーにオレンジ色のインジケーターが表示されます。

注: 車内の乗員の同意を確認することはあなたの責任になります。

品質管理

Model 3 の納車時に、オドメーターの表示に若干の数値 (数 マイル/km) の走行距離が表示されている場合があります。これは、Model 3 の品質を保証するための包括的テスト プロセスの結果です。

テスト プロセスには、生産中および生産後の広範囲な検査が含まれます。最終検査は Tesla で実施され、技術者が実施するロードテストが含まれます。

サウンド ライブラリ

「無料サウンド ライブラリ」（装備されている場合）

無料のサウンド エフェクト サイトです。

ライセンス: Attribution 4.0 International (CC BY 4.0)。あなたは、商用または非商用目的のマルチメディア プロジェクトに、サウンド エフェクトを使用することを無料かつロイヤリティフリーで許可されています。

http://www.freesoundslibrary.com

絵文字

Photobooth アプリ（装備されている場合）の Twemoji 絵文字。

Twemoji は、X Corp.（旧 Twitter, Inc.）によりライセンスされています。（©2025 X Corp. およびその他の貢献者）Creative Commons Attribution 4.0 International（CC BY 4.0）ライセンスの下で提供されています。

カリフォルニア州プロポジション 65

警告: 乗用車またはオフハイウェイ指定車両の運転、サービスおよびメンテナンスに際しては、カルフォルニア州で発がんおよび先天性欠損症またはその他の生殖器機能不全の原因として知られているフタル酸エステルおよび鉛に曝されるおそれがあります。曝される危険性を最小限にするには、作業中に手袋を着用したり、まめに手を洗うなどしてください。詳細については次を参照:ww.P65Warnings.ca.gov/passenger-vehicle.

警告: エアバッグ モジュールやシートベルト プリテンショナーなど、この車両の特定のコンポーネントには、過塩素酸塩物質が含まれることがあります。整備および、耐用期間終了後の廃棄には特別な取り扱いが求められます。詳細は、www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate をご覧ください。

警告: バッテリー ポスト、端子、関連アクセサリーには鉛および鉛化合物が含まれます。取り扱い後には手を洗ってください。

Tesla に連絡する

お客様の Model 3 に関する詳細を見るには、http://www.tesla.com に進んでお客様の Tesla s アカウントにログインするか、アカウントをお持ちでない場合は新規でサインアップしてください。

Model 3 についてご質問や懸念がある場合は、米国、カナダ、またはプエルトリコでは 1-877-79TESLA（1-877-798-3752）、メキシコでは 1-800-228-8145 までご連絡ください 。

注: また、音声コマンドを使用して Tesla にフィードバックを与えることもできます。「 「レポート」」、「「フィードバック」」または「「バグレポート」」と発話し、簡単なコメントを言ってください。 Model 3 現在のロケーション、車両の診断データ、およびタッチスクリーンのスクリーンショットを含むシステムのスナップショットを取得。Tesla は定期的にこれらの情報を確認し、Model 3 の継続的な改良に利用します。

安全上の不具合を報告する - 米国

お客様の Model 3 に衝突事故、またはけがや死亡の原因となり得る不具合があるとお考えの場合は、ただちに Tesla にお知らせいただくとともに、国家道路交通安全局 (NHTSA) にも連絡してください。

NHTSA が同様の苦情を複数受けた場合は、調査を開始することがあります。一定の車両に安全上の不具合があることが判明した場合、リコールや修理キャンペーンを指示することがあります。ただし、NHTSA はお客様、ディーラーまたは Tesla との間の個別の問題には関与できません。

NHTSA に問い合わせるには、フリーダイアル 1-888-327-4236、Vehicle Safety Hotline（TTY: 1-800-424-9153）に電話で問い合わせるか、www.safercar.gov にアクセス、または以下の所在地までお手紙でご連絡ください。Administrator, National Highway Traffic Safety, 1200 New Jersey Avenue SE., Washington, DC 20590.その他、自動車の安全に関する情報は、www.safercar.gov から得ることもできます。

安全上の不具合を報告する - カナダ

お客様の Model 3 に衝突事故、またはけがや死亡の原因となり得る不具合があるとお考えの場合は、ただちに Tesla にお知らせいただくとともに、カナダ運輸省にも連絡してください。To contact Transport Canada, call their toll-free number: 1-800-333-0510.

所有権の譲渡

Model 3 を売却する際は、Tesla モバイルアプリで所有権を削除し、車両を新しい所有者に譲渡できます。

所有権を譲渡する前に、セキュリティ保護のため、Model 3 アカウントから削除する前に工場出荷時のリセットを実行してください。工場リセットによる個人データの消去 ページ 305 を参照してください。

Tesla アプリで Model 3 を削除または譲渡するには、アプリ内のアカウントにアクセスし、**「マイプロダクト」** > **「所有権の削除または譲渡」**をタッチしてください。Tesla モバイルアプリから車両を削除または譲渡する前に、その車両をすでに所有していない、またはその車両へのアクセスが今後不要であることを確認してください。

Tesla アカウントから Model 3 を削除すると、その車両に関連付けられた有料サブスクリプションはすべて終了します。また、元の所有者が獲得または保持していたインセンティブも削除されます。削除されたインセンティブは復元できません。

注: この機能にアクセスするには、Tesla モバイルアプリの最新版を使用していることを確認してください。

Model 3 を新しい所有者に譲渡すると、譲渡手続きが完了した時点で、譲渡元と譲渡先の双方に確認メールが送信されます。この手続きには 3〜5 営業日かかる場合があります。スーパーチャージャーのクレジット、アップグレード、サブスクリプション、その他一部の機能は譲渡できないことがあります。

注: Tesla 車両は 1 台につき、同時に 1 人の所有者と 1 つの Tesla アカウントしか登録できません。

中古の Tesla の所有権を取得する方法

Tesla アカウントを作成した後、前の所有者に所有権の譲渡を依頼してください。前の所有者が所有権を譲渡できない場合は、第三者から購入した Model 3 の所有権を、Tesla モバイルアプリから申請することができます。この操作を行う前に、Wi-Fi に接続できる環境と車両へのアクセスがあることを確認してください。

アプリに Tesla 車両が登録されていない場合は、アカウント画面で**「マイ プロダクト」** > **「製品を追加」**をタッチしてください。

すでにアプリに Tesla 車両が登録されている場合は、画面左上の車両名をタッチし、**「製品を追加」**を選択してください。

所有権を申請するには、車両識別番号（VIN）の入力、書類のアップロード、および所有者情報の提出を求められます。本人確認書類 1 点と、所有権を証明する書類 1 点をアップロードしてください。法人を所有者として登録する場合は、認められた法人関連書類の提出も必要です。認められる書類の種類は以下のとおりです。

- 本人確認書類
  - 運転免許証の写真
  - パスポートの写真
  - 州発行の身分証明書の写真
- 所有権の証明
  - 一時的な登録証明書
  - 登録証の写真
  - 所有権証書の写真（車両のタイトル）
  - 売買契約書の写真
- 法人関連書類
  - 名刺
  - 会社の営業許可証
  - DBA 登録書類

リクエストの送信が完了すると、Tesla アプリに Model 3 が追加されるまでに 3〜5 営業日かかることがあります。

工場リセットによる個人データの消去

Model 3 の所有権を譲渡する場合は、セキュリティ上の理由から、*お客様のアカウントから車両を削除する前に*、**「コントロール」** > **「サービス」** > **「工場リセット」**の順にタッチして工場リセットを実行してください。データの消去を実行する前に、Model 3 がドライバーの認証情報を確認するため、Tesla アカウントのユーザー名とパスワードの入力が求められます。

注: 工場リセットの実行は、車両がお客様のアカウントに登録されている場合にのみ可能です。車両がお客様のアカウントから削除されると、カスタマイズした設定を工場出荷時のデフォルトにリセットし、すべての個人データを消去するためのアクセス権が失われます。

FCC および ISED 認証

コンポーネント	製造元	車種	動作周波数 (MHz)	FCC ID	IC ID
B ピラー エンドポイント	テスラ	第 1783148	13.56、2400-2483.5、6000-8500	2AEIM-1783148	20098-1783148
インテリア エンドポイント	テスラ	第 1815669	2400-2483.5、6000-8500	2AEIM-1815669	20098-1815669
リア左 BLE（装備されている場合）	テスラ	第 1817073	2400-2483.5、6000-8500	2AEIM-1817073	20098-1817073
Vivaldi エンドポイント	テスラ	第 1752108	2400-2483.5、6000-8500	2AEIM-1752108	20098-1752108
フェイシア エンドポイント	テスラ	第 1733130	2400-2483.5、6000-8500	2AEIM-1733130	20098-1733130
TPMS	テスラ	1472547G	2400-2483.5	2AEIM-1472547G	20098-1472547G
グローブボックス BT USB モジュール（装備されている場合）	テスラ	第 1776863	2400-2483.5	2AEIM-1776863	2AEIM-1776863
キャビン内レーダー（装備されている場合）*	テスラ	第 1616631	60000-64000	2AEIM-1616631	20098-1616631
Homelink（装備されている場合）	Gentex	ADHL5C	286～440MHz	NZLADHL5C	4112A-ADHL5C
TCU	テスラ	1727111	--	XMR2020AG525RGL XMR202303AF51Y	10224A-2020AG525R 10224A-202201AF51Y
ワイヤレス電話充電器	テスラ	WC5	13.56 MHz、127.72 KHz	2AEIM-WC5	20098-WC5

*キャビン内レーダーは工場取り付けだけに限定されています。

上記装置は、FCC 規則パート 15 およびカナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 標準、EU 指令 2014/53/EU に適合しています。

動作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受ける干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

無線周波数情報

本装置はテスト済みであり、FCC 規則のパート 15 に従って、クラス B デジタル装置の制限に準拠することが確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉に対して適切な保護を行うことを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生および使用し、また放射することがありますので、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に対して有害な干渉を発生する可能性があります。ただし、特定の設備において干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に対して有害な干渉を発生する場合 (本装置のスイッチのオンオフで判断可能)、ユーザーは以下の方法の 1 つまたは複数を行って干渉の修正を試みるよう勧奨されます。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 本装置と受信機との距離を広げる。
- 装置を受信機が接続されている回路と別の回路のコンセントに接続する。
- サポートが必要な場合には、販売業者または経験のあるラジオ/テレビ技術者に相談してください。

注意: 本装置およびそのアンテナは、他のアンテナや送信機のそばに設置したり、近くで動作させたりしないでください。

放射線被ばくに関する声明

本製品は、低電力消費のワイヤレス電力伝送に関する、FCC/ISED 無線周波数暴露規則に準拠しています。無線周波数暴露制限は制御されていない環境のために定められており、本マニュアルに記載されている目的の操作を安全に行うためのものです。また、無線周波数曝露のコンプライアンスに関しては、利用者の身体から 20 cm 以上離すか、可能な場合にはデバイスを最も低出力にすることで実証されたものです。

カナダ

CANICES-003 (B)/NMB-003(B)

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radioexempts de licence.L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareilne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre lefonctionnement.

Cet équipement est conforme aux limites d’exposition aux rayonnements ISED établies pour unenvironnement non contrôlé.

Déclaration d'exposition aux radiations

Le produit est conforme à l'exposition RF ISED pour le transfert de puissance sans fil de consommateurs de faible puissance.La limite d'exposition RF fixée pour un environnement non contrôlé est sans danger pour le fonctionnement prévu tel que décrit dans ce manuel.L'exposition RF supplémentaire que la conformité a été démontrée à 20cm et plus de séparation du corps de l'utilisateur ou de mettre l'appareil à la puissance de sortie inférieure si une telle fonction est disponible.

メキシコ

IFT-008-SCFI-2015 / NOM-208-SCFI-2016

TPMS、モデル: 1472547G、IFT 番号: RCPTE1421-4384

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

1. Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial.
2. Este equipo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

索引

記号

安全情報: 48
　チャイルドシート: 48
引き上げ: 211
運転後の冷却（トラック モード）: 90
往復にかかるエネルギー（ナビゲーション）: 171
往復にかかる予想エネルギーの常時表示: 171
温度: 13, 70, 156, 182, 228
　タイヤ: 228
　バッテリー（高電圧）、限界: 182
　外: 13
　車内、調整: 156
音声コマンド: 17
音量調節: 6
音量調節 (メディア): 174
加速、コンフォート: 88, 89
加速、スポーツ: 88, 89
加速、標準: 88, 89
加熱式: 156
荷重限度: 219
貨物エリア: 31
貨物量: 223
回生ブレーキ: 81
回生ブレーキ、トラック モード中: 90
改造: 212
寒冷環境におけるベストプラクティス: 163
寒冷地設定: 163
機能、新しいものをダウンロード: 194
機能の使用可否: 301
勤務先位置: 170
緊急ブレーキ: 142
緊急車線逸脱防止機能: 139
緊急灯: 78
空調: 156
空調コントロール: 156
携帯電話アプリ: 60
警告用フラッシャー: 78
個人情報、消去: 306
後方カメラ: 97
公共充電ステーション: 181
工場出荷デフォルト、復元: 306
工場出荷時リセット: 306
航続距離: 81, 191
　回生ブレーキ: 81
　最大限に伸ばす運転のヒント: 191
降車後オートロック機能: 27
高電圧: 180, 197, 225
　コンポーネント: 180
　バッテリーの仕様: 225
　安全: 197
最近の履歴（ナビゲーション）: 167
最近の履歴（メディアプレーヤー）: 175
最低地上高: 221, 223
仕様: 221, 223, 225
　インテリア: 223
　エクステリア: 221
　サスペンション: 225
　サブシステム: 223
　ステアリング: 223
　タイヤ: 225
　トランスミッション: 223
　ブレーキ: 223
　ホイール: 225
　モーター: 223
　貨物量: 223
　高電圧バッテリー: 225
　寸法: 221
　低電圧バッテリー: 225
始動: 65
自宅位置: 170
自動ワイパー: 79
自動緊急ブレーキ: 143
自動車用カバー: 208
車に何がついてるって？: 177
車線逸脱防止: 139
車体の修理: 212
車内温度コントロール: 156
車両でトレーラーをけん引: 99
車両に名前を付ける: 10
車両のライト: 76
車両の名前を変更する: 10
車両をセットアップする: 10
車両識別ラベル: 219
車両所有権の管理: 306
車両積載量: 219
車両総重量: 219
充電: 180, 181, 184, 185, 186
　コンポーネントおよび機器: 180
　スケジューリング: 185, 186
　公共充電ステーション: 181
　手順: 184
　充電ステータス: 185, 186
　充電設定: 185, 186
充電ステーション、地図に表示: 167
充電ポイント、検索: 170
充電ポート: 184
充電ポート ライト: 185
充電ポート リリース ケーブル: 188
充電ポート手動リリース: 188

充電予約: 190
出発予定時刻: 190
使用: 190
瞬間値: 192
所有権の削除: 306
所有権の譲渡: 306
所有権の変更: 306
商標: 300
消去およびリセット: 306
消費量チャート: 192
衝突回避アシスト: 142
障害物検知走行モード: 142
乗員センサー、助手席: 50
乗員の識別: 51
乗員感知: 50
乗員感知、フロント: 50
乗車後カレンダーを表示: 60
侵入検出: 148
水没車両: 240
寸法: 221
整備データ記録: 302
正面衝突警告: 142
設定、加速: 88, 89
設定、消去: 306
絶ぜったいそくどせいげん: 145
洗車: 205
洗車モード: 205
走行後オートロック: 27
側面衝突警告: 139
地図の向き: 167
地図の更新: 173
著作権: 300
追跡無効: 167
低電圧電源アウトレット: 12
定員: 219
定格総軸荷重: 219
定期サービス: 196
電気式パーキング ブレーキ: 82
電源のオン/オフ: 65
電力: 81
回生ブレーキの効果: 81
電力切れ: 235, 238
電話: 21, 58, 60
アプリ: 60
接続中: 58
通話の履歴: 58
ペアリング: 58
連絡先のインポート: 58
受話: 60
通話中オプション: 60
認証された電話機: 21
発話: 60
電話キー: 21, 23
キーの削除: 23
キーの追加: 23
電話充電器、ワイヤレス: 11
電話充電器、誘導式: 11
統一タイヤ品質等級基準: 228
読書灯、リア: 35
納車後の走行距離: 303
納車走行距離: 303
表示設定: 6
部品の交換: 212
平均値: 192
便利な検索機能: 167
料金徴収システム トランスポンダー、取り付け: 212
連絡先: 304
テスラ: 304
連絡先情報: 235
ロードサイドアシスタンス: 235
録画: 150, 152

A

ABS（アンチロック ブレーキシステム）: 80

B

Bluetooth: 58, 60, 175
一般情報: 58, 60
デバイス、オーディオ ファイルの再生: 175
電話、ペアリングと利用: 58

C

CCS (コンボ): 181
CHAdeMO: 181

E

EDR（イベントデータ記録）: 302

F

FCC & ISED にんしょう: 306

G

G-メーター: 90
GAWR: 219
GVWR: 219

H

HomeLink: 62
プログラミングと利用: 62

索引

J

J1772: 181

L

LATCH 対応チャイルドシート、取り付け: 45

M

myQ: 62
　プログラミングと利用: 62

N

NHTSA、への連絡: 304

P

PIN: 94

R

RFID トランスポンダー: 212

T

Teslacam: 150, 152
Tesla プロフィール: 93
TPMS: 202
　の概要: 202

U

USB デバイス、接続: 11
USB フラッシュドライブ: 148, 150, 152
USB ポート、コンソール: 11

W

Wi-Fi への接続: 57
Wi-Fi への接続: 57

あ

アーケード: 177
アクセサリー、電源アウトレットへの差し込み: 12
アプリ: 6
アラーム: 148, 152
安全上の不具合、報告: 304
アンチロック ブレーキ （ABS）: 80

い

イージーエントリー、ドライバーのプロフィール: 93
イベントデータ記録: 302
インテリア: 4, 156, 206, 223
　クリーニング: 206
　温度コントロール: 156
　概要: 4
　寸法: 223

う

ウィンカー、ライト: 77, 78
ウィンド ウォッシャー液、補充: 209
ウィンドウ、キャリブレーション: 28
ウィンドウキャリブレーション: 28
ウェブ会議: 61
ウォール コネクター: 181
ウォッシャー、使用: 79
ウォッシャー液、補充: 209
ウォッシャー液噴出口、清掃: 210

え

エアコンを ON のままにする: 158
エアバッグ、位置: 49
エアバッグ安全情報: 42, 53
　シートベルト: 42
エクステリア: 3, 205, 208, 221
　クリーニング: 205
　つや出し、補修塗り、修理: 208
　概要: 3
　自動車用カバー: 208
　寸法: 221
エネルギー: 13, 81
　回生ブレーキの効果: 81
　航続距離情報: 13
エネルギー アプリ: 192
エネルギー使用予測（ナビゲーション）: 171

お

オーディオ: 174, 177
　ファイルの再生: 174, 177
　音量調節: 174
　設定: 174
オートチルト: 71
オートナビゲーション: 167
オートパイロット: 106, 109, 110, 111, 116, 117, 124, 128, 135
　オートステアリング: 106, 110, 111, 135
　　オートレーンチェンジ: 106, 111, 135
　　ナビゲート オン オートパイロット: 106, 111, 135
　サスペンション: 116, 128
　しんごうきといちじていしのこんとろーる: 106, 117
　トラフィックアウェア クルーズコントロール: 106, 109, 135
　フルセルフドライビング（スーパーバイズド）: 106, 124
オートブレーキホールド: 86
オートホールド: 71
オーナー情報について: 300

オーバーハング寸法: 221
オール シーズン タイヤ: 203
オドメーター: 96
オフピーク充電: 190
おもちゃ箱: 177
オンライン ルート案内: 172
お楽しみ: 177
お気に入り（ナビゲーション）: 167
お気に入り（メディアプレイヤー）: 175

か

カーペット、クリーニング: 207
カナダ運輸省、連絡する: 304
カメラ、後ろ向き: 97
カラーライザー: 177
カラオケ: 175
カリフォルニア州プロポジション 65: 303
ガレージ ドア、開く: 62
カレンダー: 60

き

キー: 21, 23, 24
　キー カードと電話キーの削除: 23
　キー カードと電話キーの追加: 23
　バッテリーの交換: 24
　リストの表示: 23
　概要: 21
キャビンレーダー: 147
キャビン内レーダー: 147
キャンプ: 158

く

クリーニング: 205
クルーズコントロール: 109
　トラフィックアウェアクルーズコントロール: 109
グローブボックス、開ける: 35
グローブボックス PIN: 149

け

ゲート、開く: 62
ゲーミングコントローラー: 177
けん引に関する指示: 231
けん引: 235, 238
けん引、アクセサリー: 99
けん引、トレーラー: 99
けん引モード: 99
けん引能力: 99
けん引用アクセサリー: 99

こ

コート ハンガー、リア: 35
コンソール: 35
　リア: 35
コンソール、低電圧電源アウトレット: 12

さ

サービスの予約: 54
サイド カメラ: 97
坂道、で停止する: 86
サスペンションの仕様: 225
サマー タイヤ: 203

し

シート: 37, 156
　ヒーター: 156
　調整: 37
シートカバー: 39
シートヒーター: 156
シートベルト: 40, 41, 207
　クリーニング: 207
　の概要: 40
　プリテンショナー: 41
　衝突した場合: 41
　妊娠中の女性が着用するとき: 41
識別ラベル: 218
シフティング: 73
車載カメラ: 146
ジャッキアップ: 211
車内車載カメラ: 146
車両識別番号: 218
車輪止め: 233
ジャンプスタート: 235, 238
ショートカット: 7, 9
　タッチスクリーンの再起動: 9
　マイ アプリに追加: 7
暑熱環境におけるベストプラクティス: 166

す

スーパーチャージャー、地図に表示: 167
スーパーチャージャー充電: 187
　記述: 187
　混雑時料金: 187
　従量制プラン: 187
　超過時間料金: 187
ズーム: 61
スケジュール: 190
スタッドレスタイヤ: 204
スタビリティ アシスト（トラック モード）: 90

スタビリティ コントロール: 87
スタンバイ: 152
ステアリングの仕様: 223
すぴーどあしすと: 145
スマートフォン: 21
認証された電話機: 21

せ

セキュリティ設定: 148
セントリーモード: 152

そ

そうたいそくどせいげん: 145
そくどせいげんからおふせっと: 145
そくどせいげんけいこく: 145
ソフトウェア アップデート: 194
ソフトウェア リセット: 306
ソフトウェアのアップデート優先設定: 194
ソフトウェアの再インストール: 194

た

タイ ダウン ストラップ: 233
タイヤ: 198, 199, 200, 203, 204, 225, 226, 228
ウィンター: 204
オール シーズン: 203
サマー: 203
タイヤ センサーの交換: 203
タイヤのマーキング: 226
チェーン: 204
トラクション等級: 228
トレッド磨耗: 228
バランス調整: 200
ホイール設定: 198
ローテーション: 200
圧力、表示: 198
温度等級: 228
空気圧、チェック方法: 198
交換: 200
構成): 198
仕様: 225
点検と保守: 199
品質等級基準: 228
タイヤと荷重載情報ラベル: 219
タイヤのノイズ: 204
タイヤのローテーション: 200
タイヤ空気圧、けん引時: 99
タイヤ空気圧、チェック: 198
タイヤ空気圧、表示: 198
タイヤ空気圧監視システム: 202
の概要: 202
ダッシュカム: 150
ダッシュボードの概要: 4
タッチスクリーン: 6, 7, 9, 194, 207
クリーニング: 207
ショートカットを追加: 7
ソフトウェア アップデート: 194
マイ アプリをカスタマイズ: 7
メイン: 6
リア: 6
概要: 6
再起動: 9
停止: 9
表示設定: 6
無反応: 9
タッチスクリーンの再起動: 65

ち

チェーン: 204
チャイルドシート、取付および使用: 43
チャイルドプロテクション: 28
リアウィンドウ スイッチをロックする: 28

て

データ記録: 302
データ共有: 302
デバイス: 175
Bluetooth、オーディオ ファイルの再生: 175
テレマティクス: 302
でんぱきせいじょうほう: 306

と

ドア: 26, 27, 239
チャイルドロック: 27
パーキング時のロック解除: 27
ロック: 26
ロック解除: 26
外側から開ける: 26
外部ドア ハンドル: 26
電力がない状態で開く: 239
内側から開ける: 26, 239
内部ロックとロック解除: 26
ドア シール: 207
クリーニング: 207
ドア ハンドル: 26
ドア ラベル: 219
ドア機能: 27
降車後オートロック機能: 27
ドッグ: 158
ドライバー: 93
プロフィール: 93

ドライブ: 37, 65, 191
航続距離を最大限に伸ばすヒント: 191
座位置: 37
始動: 65
ドライブ モード: 73
ドライブ用 PIN: 149
トラクションコントロール: 87
トラック モード: 90
トランク、フロント: 33
トランク、リア: 30
トランスポンダー、取り付け: 212
トランスミッションの仕様: 223
トリップ チャート: 192
トリップ プランナー: 172
トリップ メーター: 96
トルクの仕様: 223
トレーラー ヒッチ: 219
トレーラーのけん引: 219

な

ナンバープレートブラケット: 213

に

にんしょう（FCC、IC、CE、NCC）: 306

は

パーキング アシスト: 84
パーキング ブレーキ: 82
パーキング時のロック解除: 27
排気ラベル: 218
ハザード: 78
ハザードライト: 78
バッテリー (キー)、交換: 24
バッテリー（高電圧）: 182, 225
温度限界: 182
仕様: 225
バッテリー（低電圧）: 182, 225
完全放電: 182
仕様: 225
ハブ キャップ: 201
バレーモード: 94
パワーウィンドウ: 28, 217
パワーサイクリング: 65
ハンドリング バランス（トラック モード）: 90

ひ

ヒッチ: 219
ビデオ クリップ: 150
ビデオと記録（トラック モード）: 90
ビデオの録画（トラック モード）: 90
ビデオ通話: 61

ふ

ファームウェア (ソフトウェア) アップデート: 194
ブームボックス: 177, 178
ブラインドスポット衝突警告: 139
ブラインドスポット衝突警告チャイム: 139
フラッシャー、ハザード: 78
フラッシュ ドライブ: 150, 152
フルード: 197
交換間隔: 197
ブレーキ: 80, 143, 223
の概要: 80
緊急時自動作動: 143
仕様: 223
プレコンディショニング: 190
フロア マット: 208
プロポジション 65: 303
フロント エアバッグ、助手席: 50
フロント トランク: 33, 236
電力がない状態で開く: 236
フロント ナンバープレート: 213
フロントおよびリア シート: 37

へ

ヘッドライト、アダプティブ ハイビーム: 76
ヘッドライト、ハイビーム: 76
ヘッドレスト: 38

ほ

ホイール: 200, 201, 225
アライメント: 200
トルク: 225
ホイール カバー、取り外しと取り付け: 201
ラグ ナット カバー、取り外しと取り付け: 201
交換: 200
仕様: 225
ホイール カバー: 201
ホーム: 6
ボタン: 6
画面: 6
ホーン: 70
歩行者警告: 98
ボディの補修塗り: 208
ボディ 補修塗り: 208
ボンネット: 33, 236
電力がない状態で開く: 236

ま

マイ アプリ: 7

マット: 208

み

ミラー: 71
　調整: 71

め

メディア: 174, 177
　ソース、表示および非表示: 174
　設定: 174
メンテナンス: 196, 197, 198, 205, 209, 210
　ウォッシャー液、補充: 209
　ウォッシャー液噴出口、清掃: 210
　クリーニング: 205
　タイヤ: 198
　フルード交換間隔: 197
　ワイパー ブレードの交換: 209
　定期サービス: 196
　定期的なチェック: 197
　毎月のチェック: 196
　毎日のチェック: 196

も

モーターの仕様: 223
モバイル アプリ: 54
モバイル コネクター: 181, 184
　使用: 184
　説明: 181
モバイルアプリアクセス: 54

ゆ

輸送: 231

ら

ライト、インテリア: 76
ライト、エクステリア: 76
ライト、ハザード: 78
ライト、フォグ: 76
ライト、ルーム（マップ）: 76
ライブカメラの表示: 152
ラグ ナット カバー: 201
ラジオ: 174, 177
ラップ タイマー: 90
ラベル: 219
　タイヤと荷重載情報: 219
　車両識別: 219
ランバー調節: 37

り

リア ビュー カメラ: 97
リアウィンドウ スイッチ、ロックする: 28
リアシート、折りたたみと引き上げ: 38
リリース ノート: 195

る

ルート変更: 172
ルーフラック: 219

れ

レーンアシスト: 139
レンジプランナー: 191

ろ

ロードサイドアシスタンス: 235
ロケーション追跡: 167
ロック: 26
ロック解除: 26

わ

ワイパー ブレード、交換: 209
ワイパー、使用: 79

掲載日: 2025/12/16